和歌山市地域防災計画

（総則・予防計画）

令和７年３月

和歌山市防災会議

総則・予防計画の構成

- 第1編　総則
  - 第1章　計画の策定方針
    - 第1節　計画の目的等
    - 第2節　計画の構成
    - 第3節　計画の策定に当たって
  - 第2章　防災関係機関等の処理すべき事務及び業務の大綱
    - 第1節　防災関係機関等の責務
    - 第2節　処理すべき事務及び業務の大綱
  - 第3章　市の概況と災害特性
    - 第1節　自然条件
    - 第2節　社会条件
    - 第3節　地域の危険性の総合的把握
  - 第4章　被害想定
    - 第1節　地震被害の想定
    - 第2節　風水害の想定
  - 第5章　防災ビジョン
- 第2編　災害予防計画
  - 第1章　災害に強いまちづくり
    - 第1節　防災空間の整備
    - 第2節　道路の整備
    - 第3節　河川の整備
    - 第4節　海岸保全施設・港湾施設・漁港の整備
    - 第5節　建築物の災害予防
    - 第6節　ライフライン施設等の整備
    - 第7節　農林業の災害予防
    - 第8節　土砂災害の防止
  - 第2章　災害に強いひとづくり
    - 第1節　地域防災力の充実・強化
    - 第2節　自主防災組織等の育成
    - 第3節　防災知識の普及啓発
    - 第4節　防災訓練
    - 第5節　ボランティアとの連携
    - 第6節　要配慮者支援体制の整備
  - 第3章　災害に強いシステムづくり
    - 第1節　総合防災体制の推進
    - 第2節　広域応援体制の整備
    - 第3節　情報収集・伝達体制の整備
    - 第4節　避難体制の整備
    - 第5節　学校及び幼稚園、保育所等の防災体制の整備
    - 第6節　物資の備蓄及び確保体制の整備
    - 第7節　消防活動体制の整備
    - 第8節　医療体制の整備
    - 第9節　保健衛生体制の整備
    - 第10節　遺体収容体制の整備
    - 第11節　緊急輸送体制の整備
    - 第12節　災害廃棄物処理体制の整備
    - 第13節　罹災証明書等交付体制の整備
    - 第14節　危険物等災害予防対策
  - 第4章　災害の抑制と被害の軽減
- 第3編　資料

総 則 ・ 予 防 計 画　 目 次

第１編　 総則

第１章　計画の策定方針

第１節　計画の目的等 ---------- 1
第２節　計画の構成 ---------- 2
第３節　計画の策定に当たって ---------- 3

第２章　防災関係機関等の処理すべき事務及び業務の大綱

第１節　防災関係機関等の責務 ---------- 5
第２節　処理すべき事務及び業務の大綱 ---------- 6

第３章　市の概況と災害特性

第１節　自然条件---------- 13
第２節　社会条件---------- 20
第３節　地域の危険性の総合的把握---------- 22

第４章　被害想定

第１節　地震被害の想定---------- 29
第２節　風水害の想定 ---------- 57

第５章　防災ビジョン

---------- 69

第２編　災害予防計画

第１章　災害に強いまちづくり

第１節　防災空間の整備---------- 71
〔危機管理部、農林水産部、建設総務部、道路河川部、都市計画部、各部〕
第２節　道路の整備 ---------- 74
〔危機管理部、道路河川部、都市計画部〕
第３節　河川の整備 ---------- 79
〔危機管理部、道路河川部、各部〕
第４節　海岸保全施設・港湾施設・漁港の整備---------- 88
〔危機管理部、観光国際部、農林水産部、道路河川部、各部〕

第５節　建築物の災害予防 ---------- 91
〔危機管理部、税務部、文化スポーツ部、建築住宅部、都市計画部、消防局、建物を管理する各部〕
第６節　ライフライン施設等の整備---------- 97
〔危機管理部、水道工務部、下水道部、各部〕
第７節　農林業の災害予防 ---------- 110
〔危機管理部、農林水産部、各部〕
第８節　土砂災害の防止---------- 113
〔危機管理部、道路河川部、都市計画部、消防局、各部〕

第２章　災害に強いひとづくり

第１節　地域防災力の充実・強化 ---------- 117
〔危機管理部〕
第２節　自主防災組織等の育成 ---------- 121
〔危機管理部〕
第３節　防災知識の普及啓発---------- 123
〔危機管理部、消防局、各部〕
第４節　防災訓練---------- 127
〔危機管理部、消防局、各部〕
第５節　ボランティアとの連携 ---------- 129
〔危機管理部、総務部、市民部、健康推進部、社会福祉部、観光国際部、企業局各部、消防局、各部〕
第６節　要配慮者支援体制の整備 ---------- 133
〔危機管理部、財政部、健康推進部、保険医療部、社会福祉部、産業部、観光国際部、消防局、消防団、建物を管理する各部、各部〕

第３章　災害に強いシステムづくり

第１節　総合防災体制の推進---------- 139
〔危機管理部、各部〕
第２節　広域応援体制の整備---------- 142
〔危機管理部、各部〕
第３節　情報収集・伝達体制の整備---------- 146
〔危機管理部、各部〕
第４節　避難体制の整備---------- 151
〔危機管理部、社会福祉部、道路河川部、都市計画部、観光国際部、健康推進部、建物を管理する各部〕
第５節　学校及び幼稚園、保育所等の防災体制の整備---------- 159
〔危機管理部、こども未来部、教育学習部、学校教育部〕
第６節　物資の備蓄及び確保体制の整備 ---------- 162
〔危機管理部、総務部、財政部、産業部、農林水産部、経営管理部、各部〕
第７節　消防活動体制の整備 ---------- 168
〔消防局、消防団〕

第８節　医療体制の整備---------- 173
〔保険医療部、健康推進部、消防局〕
第９節　保健衛生体制の整備---------- 176
〔健康推進部〕
第10節　遺体収容体制の整備---------- 179
〔保険医療部、健康推進部〕
第11節　緊急輸送体制の整備---------- 181
〔危機管理部、総務部、財政部、農林水産部、道路河川部、都市計画部、各部〕
第12節　災害廃棄物処理体制の整備---------- 184
〔危機管理部、環境部、下水道部〕
第13節　罹災証明書等交付体制の整備 ---------- 187
〔危機管理部、税務部、都市計画部、消防局〕
第14節　危険物等災害予防対策 ---------- 189
〔危機管理部、健康推進部、環境部、消防局、各部〕

第４章　災害の抑制と被害の軽減

---------- 195
〔危機管理部、総務部、産業部、都市計画部、各部〕

※ 第３編資料は巻末に記載

※ 様式は別冊の「災害対策計画」に記載

第１編　総　　則

第１章　計画の策定方針

第２章　防災関係機関等の処理すべき
　　事務及び業務の大綱

第３章　市の概況と災害特性

第４章　被害想定

第５章　防災ビジョン

第１章　計画の策定方針

第１章　計画の策定方針

第１節　計画の目的等

第１項　計画の目的

この計画は、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、災害対策基本法（昭和36年法律第223号）第42条の規定に基づき、市域の災害予防、災害応急対策及びその事前対策、災害復旧についての事項を定め、防災活動を総合的、かつ計画的に実施することにより、防災の万全を期するとともに、社会秩序の維持及び公共福祉の確保に資することを目的とする。

計画策定機関	和歌山市防災会議

第２項　上位・関連計画との整合

この計画は、国の防災基本計画（中央防災会議）、和歌山県地域防災計画、市域における防災関係機関の防災業務計画及び国土強靭化基本計画、和歌山市国土強靭化地域計画との整合を図るとともに、市の長期総合計画の基本理念、地域の特性・災害環境を踏まえた計画である。

市の防災関連計画は、この計画との整合性を確保する。

第３項　対象とする災害

災害対策基本法第２条１項１号に規定する災害のうち、暴風、竜巻、豪雨、洪水、崖崩れ、土石流、高潮、地震、津波、地滑りその他の異常な自然現象又は大規模な火事若しくは爆発、放射性物質（原子力は除く）の大量の放出、多数の者の遭難を伴う船舶の沈没、その他大規模な事故とする。

第４項　計画の修正

この計画は、災害対策基本法第42条の規定に基づき、毎年検討を加え、必要があるときは修正を行う。

第２節　計画の構成

この計画の構成及び内容は、次のとおりとする。

構成		内容
総則・予防計画	第１編　総則	計画の目的と構成、基本方針、計画の前提条件の整理及び防災機関の業務の大綱について定める。
	第２編　災害予防計画	災害の予防と被害の軽減対策について定める。
	第３編　資料	この計画の関連資料について示す。
災害対策計画	第１編　災害応急対策	災害（地震・津波・風水害）に対応する組織構成、活動内容について、災害発生直後から応急対策の終了に至る活動事項について定める。
	第２編　災害復旧・復興対策	応急対策活動後の、被災者の生活及び都市機能の復旧・復興に至る活動事項について定める。
	第３編　広域停電事故応急対策・その他非常災害応急対策	広域的に発生した停電事故や大規模火災等、地震・津波・風水害以外の災害に対応する組織構成、活動内容について、災害発生直後から応急対策の終了に至る活動事項について定める。
	第４編　東海地震の警戒宣言に伴う対応	東海地震注意情報及び警戒宣言が発令された場合の、警戒体制に関する事項について定める。
	第５編　南海トラフ地震防災対策推進計画	南海トラフ地震に伴い発生する津波からの防護及び円滑な避難の確保に関する事項、緊急に整備すべき施設等の整備に関する事項等を定める。
	第６編　様式	この計画に関連する報告書様式等について示す。

第３節　計画の策定に当たって

近年、本市における災害は、台風や豪雨によってもたらされる風水害が主なものであり、今後も、気候変動等による台風の大型化や集中豪雨も懸念されているところである。

一方、平成 26 年（2014 年）に、南海トラフ地震防災対策推進地域及び南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域に指定され、また、中央構造線断層帯を直下に抱える市としては、地震に対する対策は急務となっている。

平成７年（1995 年）１月の兵庫県南部地震では、大都市を直下型地震が襲った場合の様々な問題が提起された。平成 16 年（2004 年）10 月の新潟県中越地震や最近相次いだ記録的な豪雨災害において、応急対策の課題や、要配慮者の避難支援対策、情報伝達体制などについての課題が明らかになった。さらに平成 23 年（2011 年）３月の東日本大震災では、地震・津波災害と原子力災害が同時に発生するという「複合災害」となり、広範囲にわたり様々な影響を与えた。東日本大震災では、応急対策における「想定外」の事態への備え、各種自然災害の「複合型災害」への備え等の課題が明らかになった。

この計画の策定に当たっては、過去の災害の教訓を反映することはもとより、高齢化、情報化などの社会情勢の変化にも対応しつつ、次に掲げることに重点的に取り組み、減災社会の実現を目指す。

第１項　地域の防災力の向上

「和歌山市みんなでとりくむ災害対策基本条例」の基本理念である自助・共助・公助を尊重し、お互いが連携を図りながら、日頃からの災害に対する、以下に示す具体的な対策を実践することにより、地域防災力の向上を目指す。

１　市民への防災意識の浸透

２　地域・事業所における防災への取組みの推進

３　高齢者等要配慮者への支援充実・強化

第２項　減災目標の達成

ハード・ソフトの様々な対策を推進し、南海トラフ巨大地震が発生（マグニチュード9.1相当）した場合の想定死者数の軽減を図り、死者ゼロを目指す。

想定死者数	１　振動による建物倒壊・・・・・1,600人 ２　斜面崩壊による建物倒壊・・・・・４人 ３　津波・・・・・15,800人 ４　火災・・・・・740人

【注】地震発生時刻（冬季18時）、風速８ｍ、津波避難条件（早期避難しない）

本市の被害想定をもとに定めた減災目標を達成するため、ハード・ソフトの様々な対策を組み

合わせて、災害時の被害を最小化する「減災」への取組みを強化するとともに、和歌山市国土強靭化地域計画で想定する「起きてはならない最悪の事態」を回避すべき施策を推進する。

第３項　災害応急対応力の強化

災害時に迅速かつ的確な対応が実施できるよう、最悪のケースが想定される事態にも対応可能な体制の充実、防災関係機関との連携強化等により、災害応急対応力の強化を図る。

災害応急対応力の強化	1　初動体制の充実・強化 2　不測の事態も想定した情報伝達体制の整備・充実 3　被災者支援体制の充実

第４項　男女共同参画の視点からの防災・復興の取組

多様な視点を反映した防災対策の実施による防災力向上を図るため、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制を推進する。

１　基本的な考え方

男女の役割を固定せず、男女双方が平常時からあらゆる場面の合意形成に積極的に参画し、それぞれの力を発揮できるようにする。

２　各段階における主な取組

項目	概要
平常時	1　女性、子どもを含めた地域コミュニティづくりを推進する。 2　女性が相談しやすい体制整備を推進する。
災害時（応急対策時）	1　女性の意見を踏まえた、避難所運営体制を推進する。 2　性暴力・ＤＶを発生させない避難所環境づくりと意識啓発 3　女性相談窓口の設置 4　避難所における、固定的性別役割分担の解消を図る。
災害時（復旧・復興対策時）	1　高齢者、女性及び地域のつながりに配慮した応急仮設住宅の入居・運営体制を構築する。 2　男女の多様な視点を踏まえた、復興計画を策定する。

第２章　防災関係機関等の処理すべき事務及び業務の大綱

第２章　防災関係機関等の処理すべき事務及び業務の大綱

第１節　防災関係機関等の責務

本市の区域を管轄し、又は区域内に所在する防災関係機関等は、おおむね次の責務に基づき防災活動を推進する。

第１項　防災関係機関等の責務

１　市の責務

市は、基礎的な地方公共団体として、市の地域並びに市民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、県、防災関係機関、他の地方公共団体及び市民等の協力を得て、防災活動を実施する。

２　県の責務

県は、市を包括する広域的地方公共団体として、県の地域並びに住民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、防災関係機関及び他の地方公共団体等の協力を得て、防災活動を実施するとともに、市及び指定地方公共機関が処理する防災に関する事務又は業務を援助し、かつ、活動の総合調整を行う。

３　指定地方行政機関の責務

指定地方行政機関は、自ら必要な防災活動を実施するとともに、他の指定地方行政機関と相互に協力して、市の活動が円滑に行われるよう、協力、指導、助言する。

４　指定公共機関及び指定地方公共機関の責務

指定公共機関及び指定地方公共機関は、自ら必要な防災活動を実施するとともに、市の活動が円滑に行われるよう協力する。

５　公共的団体及び防災上重要な施設の管理者の責務

公共的団体及び防災上重要な施設の管理者は、平常時から災害予防体制の整備を図るとともに、災害発生時には防災活動を実施する。また、市、その他防災関係機関が実施する防災活動に協力する。

第２項　市民及び事業者の役割

大規模災害に備え、市民や事業者は、飲料水、非常用食料、生活必需品等の備蓄及び自ら災害に備えるための必要な手段を講ずるとともに、災害発生時には自発的な防災活動を実施するよう努める。

第２節　処理すべき事務及び業務の大綱

本市の区域を管轄し、又は区域内に所在する防災関係機関等が推進する防災活動は、おおむね次のとおりとする。

第１項　市及び県

機関名	処理すべき事務及び業務の大綱
和歌山市	1　和歌山市防災会議に関する事務 2　防災に関する施設、組織の整備と訓練 3　自主防災組織、事業所防災組織の育成 4　防災教育及び過去の災害から得られた教訓の伝承 5　ボランティアの支援 6　災害に関する情報の伝達、収集及び被害調査報告 7　消防及び水防 8　避難の指示等及び誘導 9　医療、救助、防疫、保健衛生等、被災者の救助保護 10　救助物資の備蓄及び調達 11　市営施設の応急対策 12　災害時の文教対策 13　災害対策要員の動員並びに雇用 14　災害時における交通、輸送の確保 15　市内関係団体が実施する災害応急対策等の調整 16　その他災害の発生及び拡大の防止のための措置 17　災害復旧資材の確保と物価の安定 18　被災者に対する融資等の対策 19　被災施設の復旧 20　災害復興
和歌山県	1　和歌山県防災会議に関する事務 2　防災に関する施設、組織の整備と訓練 3　災害に関する情報の伝達、収集及び被害の調査報告 4　災害の防除と拡大の防止 5　救助、防疫等、被災者の救助保護

機関名	処理すべき事務及び業務の大綱
	6　被災県営施設の応急対策 7　災害時の文教対策 8　災害時の公安対策 9　災害対策要員の動員並びに雇用 10　災害時における交通、輸送の確保 11　災害復旧資材の確保と物価の安定 12　被災者に対する融資等の対策 13　市町村が処理する事務、事業の指導、あっせん等 14　被災施設の復旧

第２項　指定地方行政機関

機関名	処理すべき事務及び業務の大綱
近畿管区警察局	1　管内各府県警察の指導・調整 2　他管区警察局との連携 3　関係機関との協力 4　情報の収集及び連絡に関すること。 5　警察通信の運用に関すること。 6　警察官の応援派遣に関すること。
近畿財務局 （和歌山財務事務所）	1　公共土木等被災施設の査定の立会 2　地方自治体単独災害復旧事業（起債分を含む）の査定 3　地方自治体に対する災害融資 4　災害時における金融機関の緊急措置の指示 5　未利用の国用地の情報提供
近畿農政局 （和歌山県拠点）	1　農業関係被害情報の収集 2　被害農林漁業者等に対する金融対策 3　農地・農業用施設等の災害復旧事業 4　応急用食料・物資の支援 5　国内の病害虫防除対策 6　土地改良機械の緊急貸付
近畿中国森林管理局 （和歌山森林管理署）	1　国有保安林、治山施設、地すべり防止施設等の整備 2　国有林における予防治山施設による災害予防 3　森林火災予防対策

機関名	処理すべき事務及び業務の大綱
	4　災害対策復旧用資材の供給 5　国有林における荒廃地の災害復旧
近畿経済産業局	1　電気、ガス、工業用水道の復旧支援 2　災害対策用物資の供給に関する情報の収集及び伝達
中部近畿産業保安監督部 近畿支部	1　電気、ガス、火薬類施設等の保安確保対策 2　鉱山における危害の防止、施設の保全及び鉱害の防止についての保安確保対策
近畿運輸局 和歌山運輸支局	1　所管する交通施設及び設備の整備についての指導 2　災害時における所管事業に関する情報の収集及び伝達 3　災害時における旅客輸送確保に係る代替輸送・迂回輸送等実施のための調整 4　災害時における貨物輸送確保に係る貨物運送事業者に対する協力要請 5　特に必要があると認める場合の輸送命令 6　災害時における交通機関利用者への情報の提供
近畿地方整備局 和歌山港湾事務所	1　港湾施設の整備と防災管理に関すること。 2　港湾及び海岸（港湾区域内）における災害対策の指導に関すること。 3　海上流出物の除去及び、海上の流出油に対する防除措置に関すること。 4　港湾・海岸保全施設等の応急復旧工法の指導に関すること。
大阪航空局 （関西空港事務所 南紀白浜空港出張所）	1　密集地帯上空の低空飛行の禁止 2　航空保安無線施設の完全な状態の維持管理 3　航空機救難に関し、非常の際は自衛隊の協力を得て損害を最小に止めるための緊急措置の実施
第五管区海上保安本部 （和歌山海上保安部）	1　海上における人命、財産の救助及び防災活動 2　海上における船舶交通安全の確保、港内の整頓、災害の拡大防止 3　海上緊急輸送に関すること 4　海上における治安の維持 5　海上において人命、財産の救助を行うもの並びに船舶交通に関する障害を除去するものの監督 6　通信体制の維持及び運用

機関名	処理すべき事務及び業務の大綱
大阪管区気象台 和歌山地方気象台	1　気象、地象、地動及び水象の観測並びにその成果の収集及び提供 2　気象、地象（地震にあっては、発生した断層運動による地震動に限る）及び水象の予報並びに警報等の防災気象情報の発表、伝達及び解説 3　気象業務に必要な観測、予報及び通信施設の整備 4　地方公共団体が行う防災対策に関する技術的な支援・助言 5　防災気象情報の理解促進、防災知識の普及啓発
近畿総合通信局	1　電波の監理、並びに有線電気通信の監理 2　非常通信訓練の計画及びその実施指導 3　非常通信協議会の育成・指導 4　防災及び災害対策に係る無線局の開設、整備の指導 5　非常時における重要通信の確保 6　災害時における通信機器及び移動電源車の貸出し 7　情報伝達手段の多様化・多重化の促進
和歌山労働局	1　工場、事業場における労働災害の防止 2　救助の実施に必要な要員の確保
近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所	1　土木施設の整備と防災管理 2　水防のための警報等の発表、伝達と水災応急対策 3　被災土木施設の災害復旧 4　緊急を要すると認められる場合の緊急対応の実施

第３項　自衛隊

機関名	処理すべき事務及び業務の大綱
陸上自衛隊 第37普通科連隊	1　人員の救助、消防、水防及び救援物資の輸送並びに通路の応急啓開 2　応急救援、防疫、給水、入浴支援及び通信支援

第４項　指定公共機関

機関名	処理すべき事務及び業務の大綱
日本郵便㈱ （和歌山中央郵便局）	1　災害時における郵便事業運営の確保並びに災害特別事務の

機関名	処理すべき事務及び業務の大綱
	取扱い及び援護対策の実施 2　被災郵便業務施設の復旧
西日本旅客鉄道㈱ (近畿統括本部　和歌山支社)	1　輸送施設の整備と安全輸送の確保 2　災害対策用物資の緊急輸送 3　災害時の応急輸送対策 4　被災施設の調査と災害復旧
日本銀行 (大阪支店)	1　災害時における金融機関に対する緊急措置の指導等
西日本電信電話㈱ (和歌山支店) ㈱ＮＴＴドコモ ｴﾇ・ﾃｨ・ﾃｨ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ㈱	1　電気通信施設の整備と防災管理 2　災害時における緊急通話の取扱い 3　被災施設の調査と災害復旧
日本赤十字社 (和歌山県支部)	1　災害時における医療、助産及び被災地での医療、助産、救護 2　災害救助等の協力奉仕者の連絡調整 3　義援金品の募集配布
日本通運㈱(和歌山支店) 福山通運㈱(和歌山支店) 佐川急便㈱(京都支店和歌山営業所) ヤマト運輸㈱(和歌山主管支店) 西濃運輸㈱(和歌山支店)	1　災害時における緊急陸上輸送
関西電力送配電㈱ (和歌山配電営業所)	1　電力供給施設の整備と防災管理 2　災害時の電力供給 3　被災施設の調査と災害復旧
大阪ガスネットワーク㈱ (南部事業部)	1　ガス供給施設の整備と防災管理 2　災害時のガス供給 3　被災施設の調査と災害復旧
日本放送協会 (和歌山放送局)	1　放送施設の整備と防災管理 2　防災知識の普及と警報等の周知徹底 3　災害状況及び災害対策等の周知徹底
西日本高速道路㈱ (関西支社和歌山高速道路事務所)	1　所轄道路の整備と防災管理 2　災害時における輸送路の確保 3　所轄道路の応急対策、復旧対策
ＫＤＤＩ㈱ ソフトバンク㈱	1　電気通信設備の整備と防災管理

機関名	処理すべき事務及び業務の大綱
楽天モバイル(株)	２　電気通信の疎通確保と設備の応急対策の実施 ３　被災電気通信設備の災害復旧

第５項　指定地方公共機関

機関名	処理すべき事務及び業務の大綱
南海電気鉄道㈱	１　輸送施設の整備と安全輸送の確保 ２　災害時の応急輸送 ３　被災施設の調査と災害復旧
和歌山バス㈱ その他指定輸送機関	１　災害時における被災者及び一般利用者等の輸送の確保 ２　災害時の応急輸送
和歌山県トラック協会 南海フェリー その他指定輸送機関	１　災害時における被災者及び一般利用者等の輸送の確保 ２　災害時の応急輸送
一般社団法人 和歌山県ＬＰガス協会	１　災害時のエルピーガス供給 ２　被災施設の調査と災害復旧
㈱和歌山放送 ㈱テレビ和歌山	１　放送施設の整備と防災管理 ２　防災知識の普及と警報等の周知徹底 ３　災害状況及び災害対策等の周知徹底
和歌山県医師会 和歌山県看護協会	１　災害時における医療救護の実施 ２　災害時における防疫の協力
和歌山県土地開発公社	１　管理地及び施設の整備と防災管理 ２　被災施設等の調査と災害復旧
和歌山県住宅供給公社	１　被災施設の調査と災害復旧 ２　住宅の被害調査と応急対策への協力
土地改良区	１　土地改良施設の整備と防災管理 ２　農地たん水の防除施設の整備と活動 ３　農地及び農業用施設の被害調査並びに災害復旧

第６項　公共的団体及び防災上重要な施設の管理者

機関名	処理すべき事務及び業務の大綱
和歌山電鐵㈱	１　輸送施設の整備と安全輸送の確保 ２　災害対策用物資の緊急輸送

機関名	処理すべき事務及び業務の大綱
	3　災害時の応急輸送 4　被災施設の調査と災害復旧
一般社団法人 和歌山市医師会 和歌山市歯科医師会 和歌山市薬剤師会	1　災害時における医療の確保 2　負傷者の医療、助産、救護
病院等医療施設管理者	1　避難施設の整備と避難訓練の実施 2　被災時の病人等の収容保護 3　災害時における負傷者等の医療、助産、救護
社会福祉施設管理者	1　避難施設の整備と避難訓練の実施 2　災害時における収容者の収容保護
学校施設管理者	1　避難施設の整備と避難訓練の実施 2　災害時における教育の応急対策計画の確立と実施
農業協同組合 森林組合 漁業組合等	1　市本部が行う農林水産関係の被害調査等応急対策への協力 2　農林水産物等の災害応急対策についての指導 3　被災農林漁業者に対する融資又はあっせん 4　農林漁業共同利用施設の災害応急対策及び災害復旧 5　飼料、肥料、その他資材及び船舶等の確保又はあっせん
商工会議所、 商工会等商工業関係団体	1　市本部が行う商工業関係の被害調査等応急対策への協力 2　救助用物資、復旧資材の確保についての協力
金融機関	1　被災事業者に対する資金融資
危険物及び高圧ガス施設等 管理者	1　安全管理の徹底 2　危険物及び高圧ガス施設等の点検

「総則・予防計画第３編２－５　関係機関連絡先」参照

第７項　市民及び事業者

市民及び自主防災組織等の地域組織、並びに事業者は、「和歌山市みんなでとりくむ災害対策基本条例」の自助・共助の基本理念を尊重し、自ら災害に備えるとともに、災害発生時は、自発的な防災活動を実施する。

自助の理念	市民及び事業者が自己の責任により自らを災害から守る。
共助の理念	市民及び事業者が地域において互いに助け合い、互いを災害から守る。

「総則・予防計画第２編第２章第１節　地域防災力の充実・強化」参照

第３章　市の概況と災害特性

第３章　市の概況と災害特性

第１節　自然条件

第１項　地勢

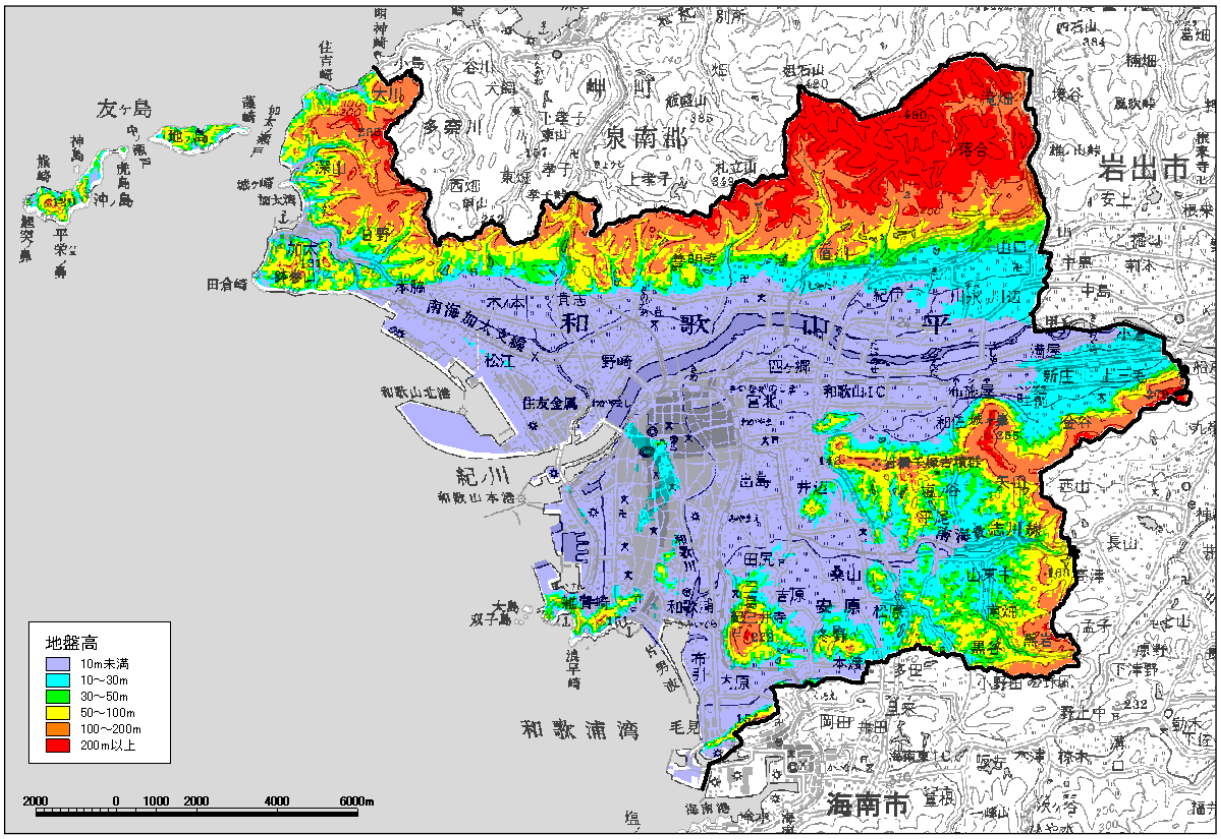
和歌山市の位置は、東西は東経135度19分から135度０分の間、南北は北緯34度９分から34度19分の間であり、市域の面積は208.85k㎡を有している。

地勢は、おおむね市域を東西に流れる紀の川の河口に形成された扇形の平野を中心として、周辺は北境を東西に連ねる和泉山脈があり、西南部には雑賀丘陵が海に面し、また南部より東部にかけ竜門山系に属する岩橋丘陵等がある。海岸線の一部は瀬戸内海国立公園の一角を占め、奇岩絶壁の景勝地となっている。

１　地盤高

和歌山城の天守閣は 48.9m、秋葉山公園は 66.0mの地盤高であり、これらの周辺は中心市街地の中の小高い丘陵を形成しているが、その他は６m以下の地盤高の地域である。紀の川の両岸に沿った区域は、一部の区域を除き、２～３mの地盤高である。

■地盤高区分図

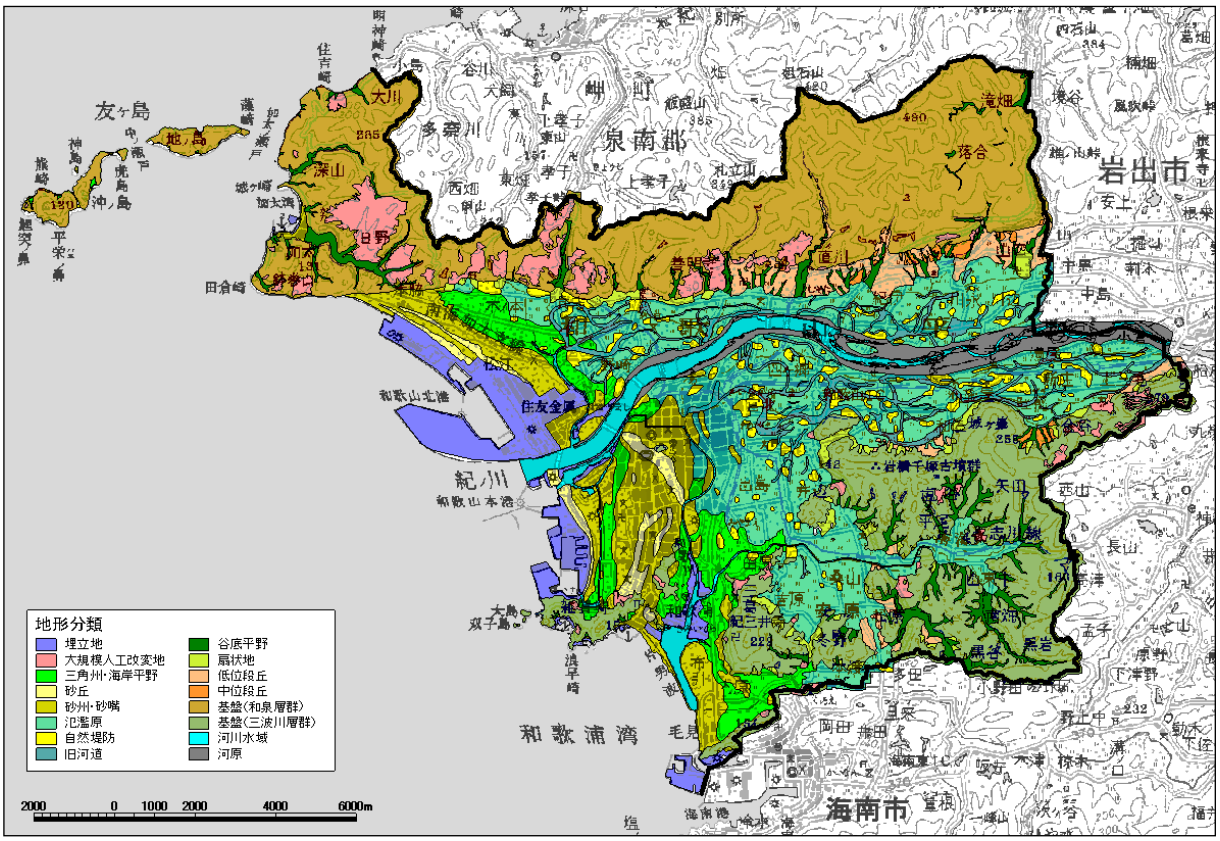


２　地盤

市街地の発達している紀の川や和歌川、和田川沿いの地域は、氾濫原や旧河道、三角州・海岸平野などの軟弱な地盤であり、地震に弱く木造家屋の倒壊危険性が高い。西部の紀の川の河口付近の地域には砂丘や自然堤防が分布している。海岸部の工業地帯は埋立地である。

市街地周辺の山地や丘陵地の基部は、扇状地や段丘などの地盤に当たり、切り崩して住宅地が造成されている。北部や東部の山地、丘陵地には基盤にあたる固い地盤が分布している。

■地盤分類図



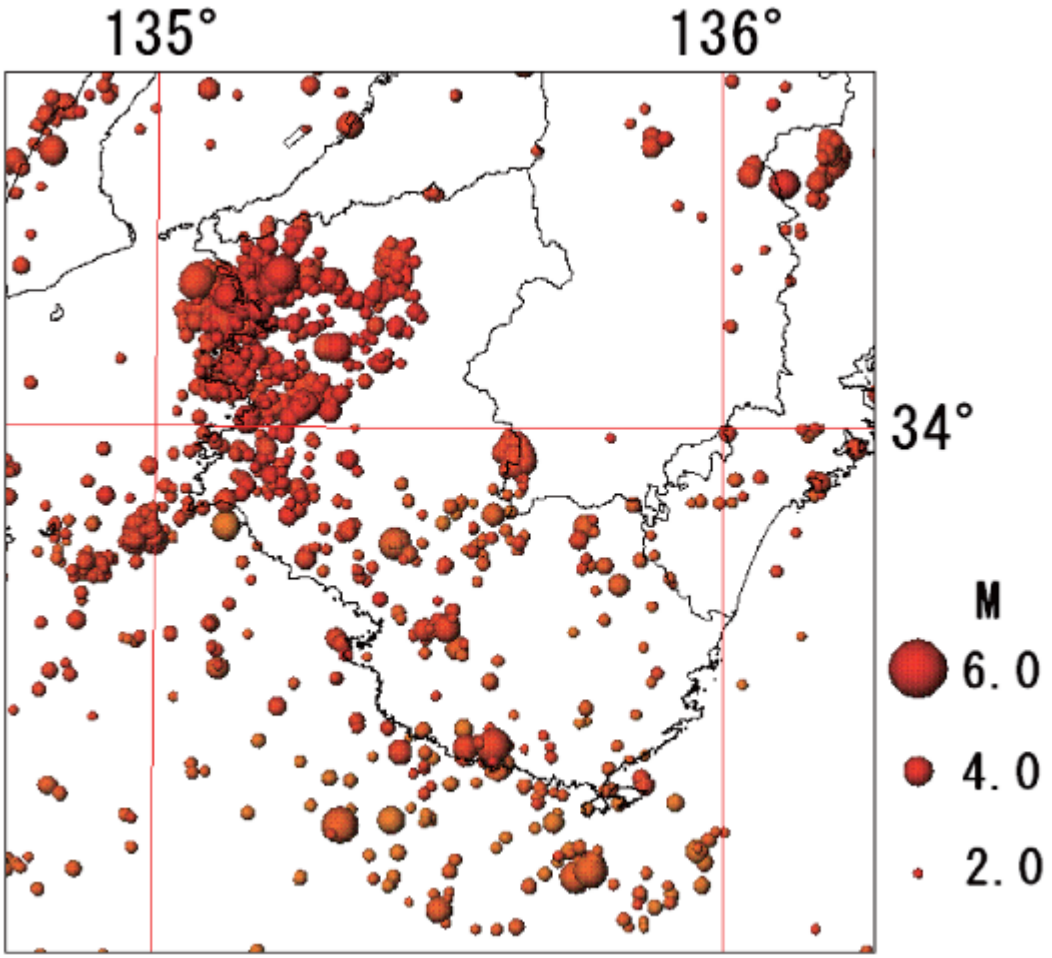
第２項　地震環境

１　市域の地震活動

和歌山市付近では定常的に地震活動が活発である。ほとんどがマグニチュード５程度以下の中小規模の地震であるが、有感地震回数は年平均 19 回程度にのぼり、日本で最も有感地震回数の多い地域のひとつである。特に 1920 年以降報告回数が増えたことが知られている。近年この地域に大規模な地震の発生は知られていないので、この地震活動は特定の大地震の余震ではない。その規模は最大でもマグニチュード５程度であるが、震源がごく浅いために、局所的に被害が生じたこともある。この付近の東側と西側では、フィリピン海プレートの沈み込む角度が違い、この付近の地下構造は複雑になっている。また、この付近の深さ数 km までの浅い

ところは、堅いけれども脆い性質を持つ古い時代の岩石が分布している。これらのことが、本市付近の定常的な地震活動の原因と考えられる。また、この地震が発生する深さは数 km よりも浅いところに限られており、上記の岩石が分布している深さで発生していると考えられる。（地震調査研究推進本部）

和歌山市に影響を及ぼす地震には、大きく分けて、太平洋沖の海溝で発生する巨大地震と活断層で発生する直下型地震の２種類である。



和歌山県とその周辺における小さな地震まで含めた最近の浅い場所で発生した地震活動
（マグニチュード２以上、1997年10月～2007年7月、深さ30km以浅）
（資料：地震調査研究推進本部）

２　太平洋沖の海溝で発生する巨大地震

本市は、太平洋沖の南海トラフで発生する東南海地震や南海地震によっても被害を受ける可能性がある。東南海地震及び南海地震は 90 年～150 年の間隔で発生する大規模地震で、今世紀前半での発生が懸念されている。南海トラフで発生する地震の確率は、次表のように予想されている。

■南海トラフで発生する地震の確率（マグニチュード８～９クラス）

今後 10 年以内	30%程度
今後 30 年以内	80%程度
今後 50 年以内	90%程度もしくはそれ以上

令和７年（2025年）１月１日評価　（資料：地震調査研究推進本部）

■南海トラフで過去に起きた大地震の震源域の時空間分布

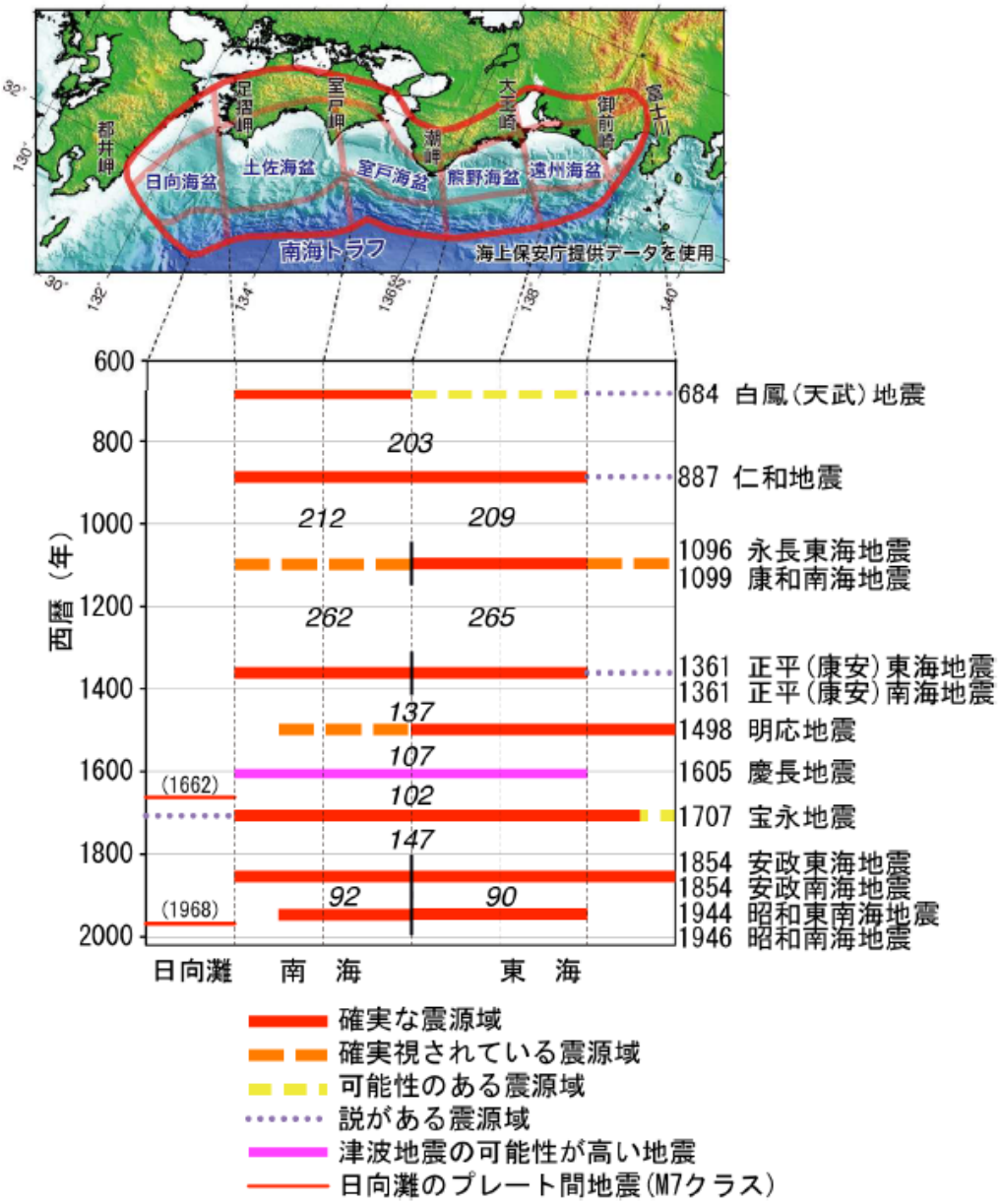


図２　南海トラフで過去に起きた大地震の震源域の時空間分布（石橋，2002 をもとに編集）
・白鳳（天武）地震（684 年）以降の地震を示している。
・図中イタリック体で表した数字は、地震の発生間隔（年）を示す。
・震源域は地形の境界（都井岬、足摺岬、室戸岬、潮岬、大王崎、御前崎、富士川）で東西方向に区切っている。
・黒の縦棒は、南海と東海の地震が時間差（数年以内）をおいて発生したことを示す。

（資料：地震調査研究推進本部）

３　活断層で発生する直下型地震

和歌山市に被害を及ぼす直下型地震としては、中央構造線で発生する地震が挙げられる。中央構造線断層帯は、近畿地方の金剛山地の東縁から、和泉山脈の南麓、淡路島南部の海域を経て、四国北部を東西に横断し、伊予灘、別府湾を経て由布院に達する長大な断層帯であり、断層帯全体が同時に活動した場合は、マグニチュード８．０程度もしくはそれ以上の地震が発生すると推定される。

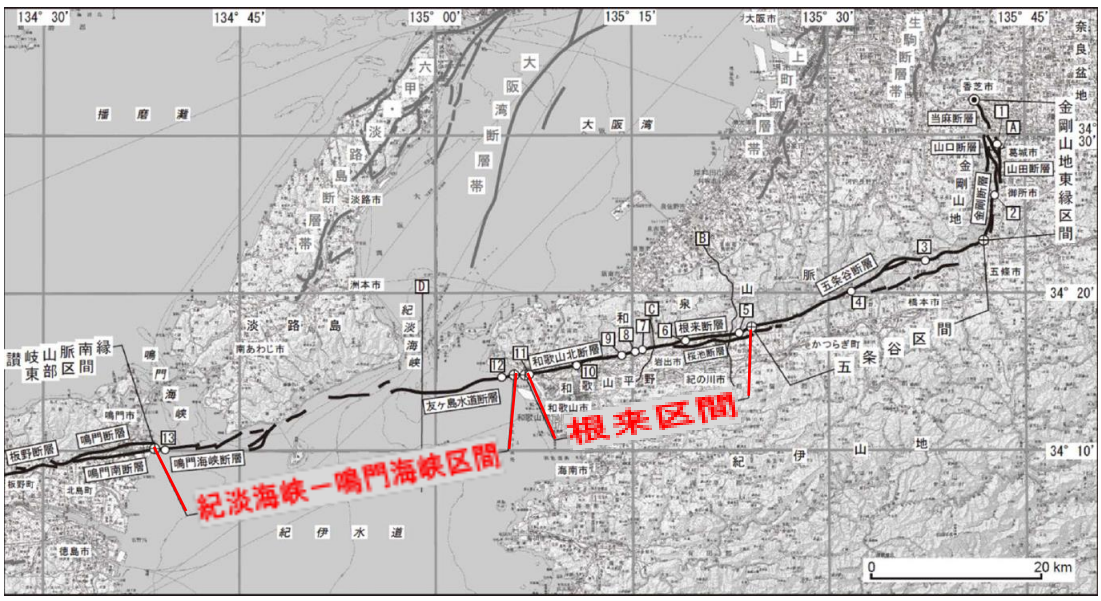
中央構造線断層帯は、過去の活動時期や断層の形状等の違い、平均的なずれの速度などから、全体が 10 の区分に分けられ、このうち、和歌山市に近い区間である根来区間、及び紀淡海峡－鳴門海峡区間について、次表のとおり評価されている。

■中央構造線断層帯の区間別活動評価

区間		根来区間	紀淡海峡－鳴門海峡区間
推定される過去の最新活動		７世紀以後８世紀以前	約3,100年前以後、約2,600年前以前
推定される平均活動間隔と地震経過率		2,500年～2,900年（経過率0.4－0.6）	約4,000年～6,000年（経過率0.4－0.8）
想定される地震規模		マグニチュード7.2程度	マグニチュード7.5程度
地震発生確率	今後 30 年以内	0.008～0.3%	0.005～1%
	今後 50 年以内	0.02～0.5%	0.009～2%
	今後100年以内	0.04～1%	0.02～4%

令和７年（2025年）1月1日評価　（資料：地震調査研究推進本部）

■中央構造線断層帯の位置



（資料：地震調査研究推進本部）

第３項　気候概要

１　平均気温、年降水量からみた和歌山市の気象特性

和歌山市の気候は、日本の気候区細分（「日本の気候区分」東京教育大学地理学研究報告 関口 1959）によると、瀬戸内気候区に属する。

一般に、瀬戸内気候区の特徴は、雨が少なく晴天が多いことである。梅雨期や台風期には、比較的多く雨が降るが、年間を通して日照時間が多く、降水量が少ない乾燥した気候区である。

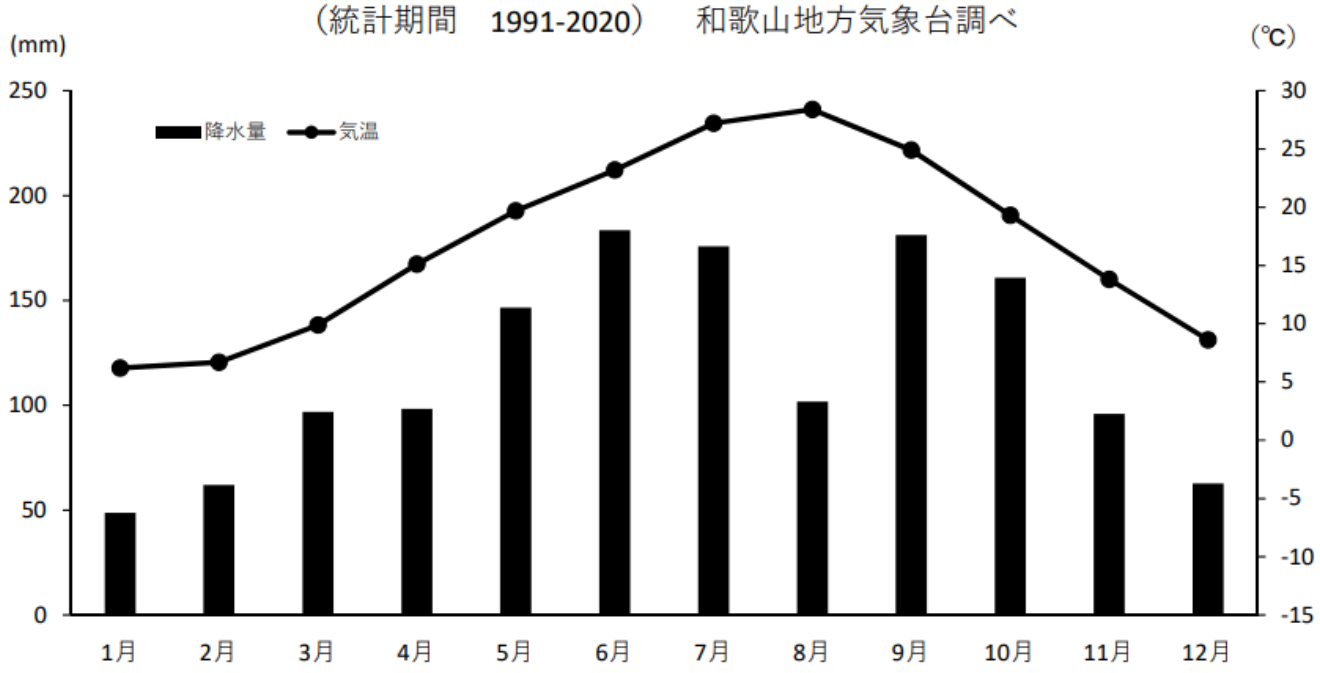
和歌山市の年平均気温は、16.9℃、年降水量は 1,414.4 ㎜である。

気温及び降水量の年変化の特徴は、「月平均気温・降水量の年変化図」から、降水量は暖候期に多く、寒候期には少ない。特に５月から７月及び９月から 10 月に多くなっている。気温は、12 月から３月まで 10℃以下で 20℃以上は６月から９月までとなっている。

月平均気温からみた年較差は、１月と８月の 22.2℃である。

「月平均気温・降水量の年変化図」

（統計期間　1991-2020）　和歌山地方気象台調べ



２　和歌山市における気象の極値

和歌山市における、観測史上の極値は、表「気象の極値」のとおりとなっている。風については、最大風速 39.7m/s 南南西（平成 30 年（2018.9.4）、最大瞬間風速 57.4m/s 南南西（2018.9.4）が共に平成 30 年台風第 21 号によって観測されている。

2000 年以降に極値を更新して観測したのは、雨では、日降水量 353.5 ㎜（2000.9.11）、最大１時間降水量 122.5㎜（2009.11.11）がある。気温では、最高気温が 38.5℃（2013.8.11）となり、1994 年８月に観測された 38.1℃を上回った。

■気象の極値（和歌山地方気象台　気象観測資料）令和3年(2021年)10月現在

	第　1　位	年　月　日	備　　考
最低海面気圧	939.0hPa	昭和 36 年(1961 年)9 月 16 日	第二室戸台風
最高気温	38.5℃	平成 25 年(2013 年)8 月 11 日	
最低気温	-6.0℃	昭和 20 年(1945 年)1 月 28 日	
最小相対湿度	6%	平成 16 年(2004 年)4 月 29 日	
最大風速 同　風向	39.7m/s 南南西	平成 30 年(2018 年)9 月 4 日	平成 30 年台風第 21 号
最大瞬間風速 同　風向	57.4 m/s 南南西	平成 30 年(2018 年)9 月 4 日	平成 30 年台風第 21 号
最大 24 時間降水量	407.7 ㎜	昭和 31 年(1956 年)9 月 26 日	
日降水量	353.5 ㎜	平成 12 年(2000 年)9 月 11 日	
最大 1 時間降水量	122.5 ㎜	平成 21 年(2009 年)11 月 11 日	
最大 10 分間降水量	34.5 ㎜	昭和 25 年(1950 年)4 月 5 日	
積雪の深さ	40 ㎝	明治 16 年(1883 年)2 月 8 日	

第２節　社会条件

第１項　市の概要

本市は、明治22年（1889年）４月の市制施行により面積5.51㎢、人口51,603人を擁する市として開市した。

以来、紀の川河口の平野と京阪神の大市場をひかえるという立地条件に恵まれ、メリヤス、捺染、化学、木工、皮革などの産業が発達した。昭和20年（1945年）の戦災により、市の中心部の68%が焼失し、人口も激減した。戦後、意欲的な復興に取り組み、製鋼を主産業として発展、繁栄を取り戻した。

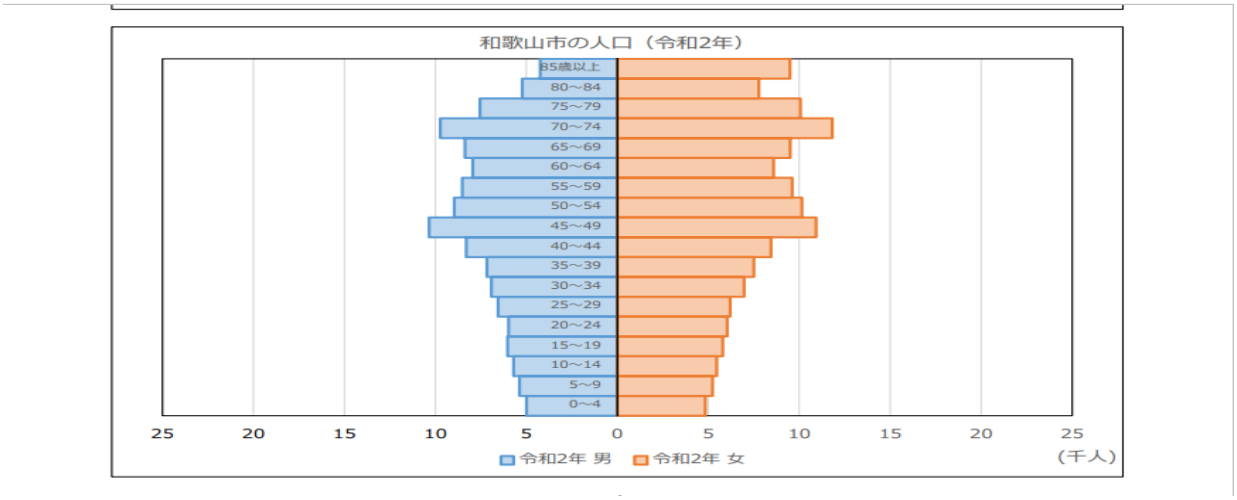
また、市勢の進展とともに昭和30年（1955年）から隣接市町を合併して市域を拡張し、現在の地方中心都市としての形態が整えられてきた。

第２項　人口

本市の人口は 356,729 人（国勢調査、令和２年 10 月１日）である。

総　数（人）	男　性（人）	女　性（人）	世 帯 数（世帯）	1世帯当たり人数（人）
356,729	167,947	188,782	157,666	2.26

■年齢別人口階層



年齢	男（人）	女（人）	総数（人）
１５歳未満	21,601	20,739	42,340（11.9%）
１５歳～６４歳	98,698	103,024	201,722（56.5%）
６５歳以上	45,956	63,994	109,950（30.8%）
年齢不詳	1,692	1,025	2,717（0.8%）
合計	167,947	188,782	356,729

第３項　交通

本市の交通は、一般国道24・26・42号及び近畿自動車道紀勢線（以下阪和自動車道という）等の幹線道路、ＪＲ和歌山線、紀勢本線、阪和線及び南海本線等により大阪、奈良及び紀南方面へと結ばれ、市の中心部からは南海和歌山港線、南海加太線、和歌山電鐵貴志川線が放射状に延びている。

また、徳島との間には、定期航路が開かれている。

港湾は、国際拠点港湾の和歌山下津港（和歌山港区、和歌山北港区）があり、大型船舶の接岸が可能である。

このように、本市は県都として海陸交通の重要な位置を占めている。

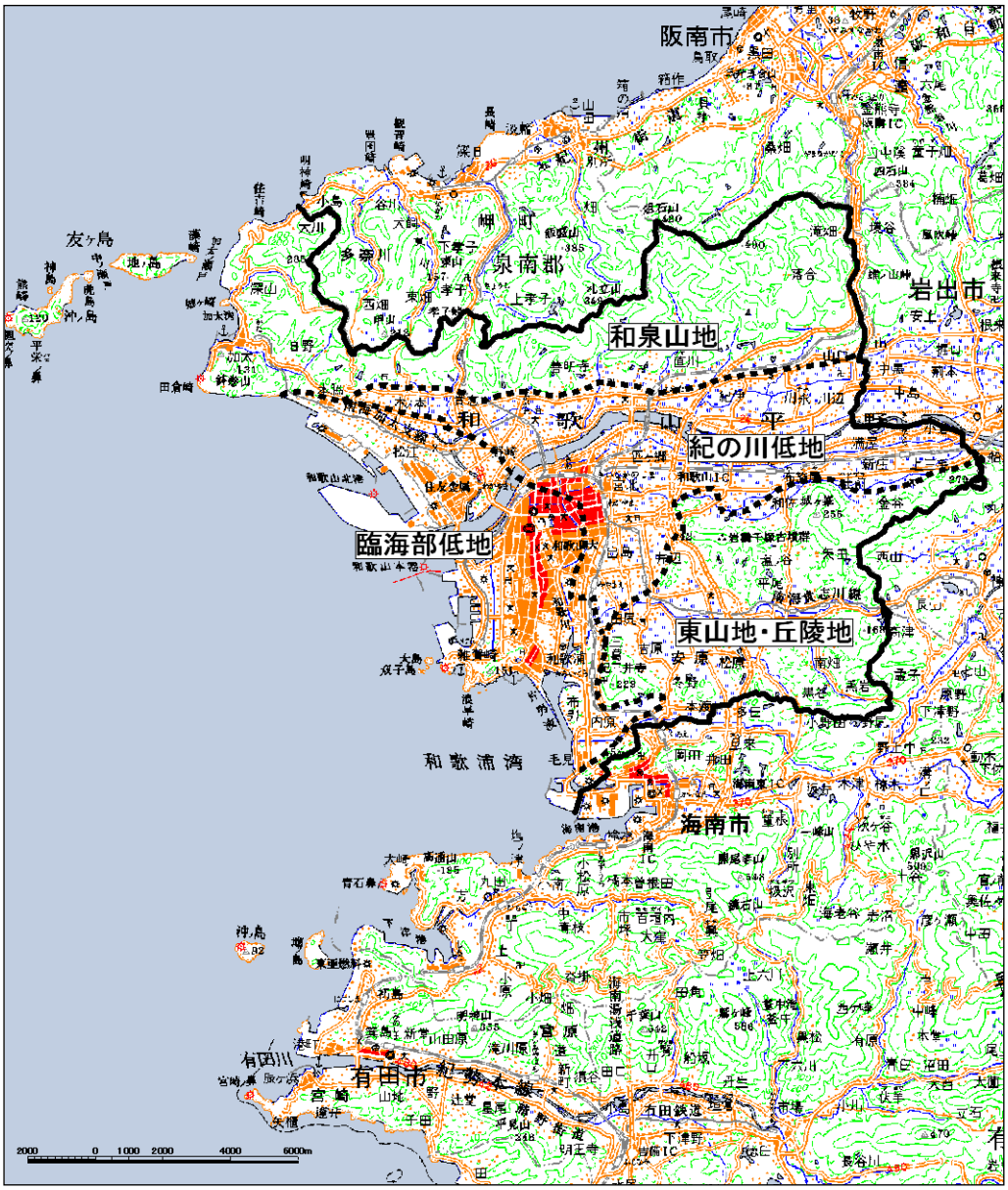
■交通網



第３節　地域の危険性の総合的把握

市域を４つの地域に区分し、それぞれの地域について、地形、地質、土地利用の変遷の自然的素因からみた水害、土砂災害、地震・津波災害について災害特性を整理した。

■地域区分図



（1）地形・地質・土地利用の変遷

地区区分	地形状況	表層地質	土地利用の変遷
和泉山地	・起伏高 200m以下の山地が、直線的に分布 ・上記の山地の北部に県境をはさんで起伏高200m～ 400mの山地が分布 ・一部に発達した谷底平野がみられる。	・和泉層群と呼ばれる海成層 ・砂岩、泥岩が規則的な互層をなす。	・山地南縁での人工改変が進んでいる。 ・大規模な造成により住宅地として利用 ・ゴルフ場等が造成 ・山地に規定された細長い谷底平野では、以前より集落がみられた。
東山地・丘陵地	・南北両域が起伏高 200m～ 400mと比較的高い。 ・上記の山地間は丘陵地 ・和田川による沖積平野と、広い範囲にわたり発達した谷底平野が山地部を避けて分布	・三波川変成岩類と呼ばれる高い圧力を受けて出来た岩石から成る。 ・岩質は、緑色片岩、黒色片岩	・市域の中では、市街化のスピードが緩やかな地域 ・丘陵に囲まれた平野部で、盛土による住宅の増加 ・丘陵地では改変が容易なため、人工改変地がみられる。
紀の川低地	・紀の川の本流、支流によって形成された沖積低地 ・氾濫平野、谷底平野、旧河道、自然堤防が分布	・沖積層（砂、シルト、粘土）から成る。	・かつては自然堤防上の微高地に集落が分布し､その他は農地等 ・本地区西側では、急激な都市化に伴い盛土による宅地化 ・紀の川上流域は小集落が分布
臨海部低地	・紀の川下流の河口域に、土砂が堆積して形成された低地 ・海岸平野、三角州、砂州、砂丘が分布	・沖積層（砂、シルト、粘土）から成る。	・かつては既成市街地以外は、集落と農地が分布 ・大規模な人工改変により、海岸線は人工堤防となる。 ・急激な市街化により農地の分布が著しく低下

（２）水害（内水氾濫）

地区区分	自然的素因からみた災害特性・危険地域
和泉山地	・山地内に分布する谷底平野では、集水域となる山地からの距離が近く、傾斜30度以上の斜面に囲まれていることから降雨時には雨水が集中しやすい。また、和泉山地は岩質が堅く、そこに広がる谷底平野の幅が狭小であることから、洪水流の広がりが地形的に拘束され、水位の上昇が急激となるため、大雨時には浸水被害が生じるおそれがある。 ・大規模な人工改変地においては、排水設備の充実が求められる。
東山地・丘陵地	・丘陵地や扇状地に囲まれた地区では、周囲からの雨水が集中することから浸水被害の危険性が高い。 ・調整区域内の水田が宅地化されると、雨水流出量の増大により、内水氾濫の危険性が高まる。よって、調整区域内の水田は、雨水流出量抑制の観点から、開発の規制が求められる。
紀の川低地	・低地の中でも相対的な低地である旧河道は、洪水時に周辺から雨水が集中しやすく、特に危険性が高い。 ・排水阻害要因である鉄道等の連続した盛土地により、排水が阻害され、被害が増大している。 ・元々水害に対して脆弱な氾濫平野において、市街化の進行により、内水氾濫が多発しており、今後も被害の拡大が予測される。
臨海部低地	・海岸平野、三角州では、急激な市街化に伴い内水氾濫の危険性が高まっている。 ・和歌川、和田川の河口付近では、背後の山地及び丘陵地からの雨水が集中しやすいことや、鉄道等の連続した盛土地による排水阻害要因から浸水危険性は高い。 ・元々の地形が砂丘又は砂州であった地域は、砂質であることから水はけがよく浸水被害が生じたとしても、長時間浸ることは希である。

（３）水害（外水氾濫）

地区区分	自然的素因からみた災害特性・危険地域
和泉山地	・紀の川支川では、流路の屈折部や下流側に狭窄部がある場合、上流からの洪水流の疎通が悪くなり、破堤（堤防の決壊）や溢水（水があふれる）を生じる危険性がある。 ・紀の川支川で、上流部に溜池のあるものについては、一層の注意が必要である。
東山地・丘陵地	・和田川の氾濫時には、低地の一般面である氾濫平野や、地盤高の低い地域においては、浸水被害の危険性が高い。しかし、現在は水田が多く、遊水池としての機能を果たしているため、人家に影響を及ぼす可能性は低い。
紀の川低地	・地域のほとんどが、旧河道及び氾濫平野で構成されているため、相対的な低地であり危険性が高い。 ・地盤高２ｍ未満の地域は少ないが、ひとたび本川が氾濫するとその被害は大きい。 ・地域東部では、自然堤防上に集落が分布しており、一時貯留可能な水田が多い。旧河道は特に水が集中しやすいことから、宅地化に際しては、注意が必要である。
臨海部低地	・市域でも地盤高２ｍ未満の地域が最も広く、ひとたび河川が氾濫すると、その浸水被害は大きい。 ・支川が本川や海に流入する地点が多いため、洪水時には逆流する危険性も考えられるため、十分な注意が必要である。

（4）土砂災害

地区区分	自然的素因からみた災害特性・危険地域		
	急傾斜地の崩壊	地すべり	土石流
和泉山地	・土砂災害（特別）警戒区域（急傾斜地の崩壊)、急傾斜地崩壊危険区域、山腹崩壊危険地区や傾斜30度以上の斜面が多く、崩壊の危険性が高い。 ・宅地造成による人工斜面の急増により、一層の注意が必要	・断層の影響による地質の変化から、地すべり地形がみられる。 ・土砂災害警戒区域（地すべり)、地すべり防止区域では、災害を繰り返すことが多く、危険性が高い。	・山地内の谷底平野の幅が狭小で、傾斜が急であることから、土石流が一気に流下し、その危険性が高い。
東山地・丘陵地	・山地の縁辺部では、風化が著しい地区があり崩壊の危険性が高い。 ・造成しやすい丘陵地においては、崖地付近にも集落が広がっており危険性が高い。	・地すべり地形を表している地域では、(土砂災害警戒区域（地すべり)、地すべり防止区域）繰り返し災害が起こる可能性がある。 ・連続した降雨時には注意が必要	・山地から平地へ出る部分においては、土石流の危険性が高い。
紀の川低地	・特に該当なし。	・特に該当なし。	・特に該当なし。
臨海部低地	・一部孤立丘において災害の履歴があり、山地付近では注意が必要	・特に該当なし。	・特に該当なし。

（５）地震・津波災害

地区区分	自然的素因からみた災害特性・危険地域
和泉山地	・固い地盤が分布している地域であり、地震による揺れは比較的小さい。ただし、中央構造線の地震が発生した場合は、震源断層が直下にあるために非常に大きな揺れに襲われる。 ・土砂災害警戒区域等では、崖崩れや地すべりが発生する。 ・造成された住宅地では、盛土や法面が崩壊する危険性がある。
東山地・丘陵地	・かつて入り江がこの地域にまで達していたため、軟弱な地盤が厚く堆積しており揺れが増幅されて大きくなるところがある。 ・地盤が比較的固いため、地震の揺れによる被害はあまり大きくない。 ・丘陵地の裾部にある住宅地では、裏山の崩壊によって建物被害が発生するおそれがあり、注意が必要である。
紀の川低地	・地域のほとんどが沖積層の地盤であり、地震の揺れは大きい。 ・広範囲に渡って液状化が発生し、構造物の不等沈下及び地下埋設管の被害が発生する。 ・木造建物を中心として倒壊が多く発生し、建物や家具の下敷きになり大勢の人が死傷する。 ・密集市街地では地震火災が発生し、大規模な延焼火災につながるおそれがある。 ・交通機能の断絶により帰宅困難者が多く発生する。
臨海部低地	・地盤が軟弱であり、地震の揺れや液状化によって建物被害が多く発生する。 ・危険性物質を取り扱っている施設に被害が生じた場合は、大規模な二次災害が発生する可能性がある。 ・海溝型の地震の場合は、広範囲に渡って浸水被害が発生する。津波によって倒壊する建物もある。 ・一部の河川では津波が遡上し、内陸部においても浸水が発生する。

第４章　被害想定

第４章　被害想定

第１節　地震被害の想定

第１項　過去の記録

近畿地方は古くから文化の発達した地域であるため、地震の古記録は豊富にある。

それらの古記録等の分析から和歌山市に大きな影響を及ぼしたと考えられる地震は以下のとおりである。

これらの地震の多くは、太平洋沖合いなどのプレート境界付近で発生する海溝型の地震である。マグニチュード「８」を超える大規模地震が90年から150年の間隔で繰り返し発生しており、紀伊半島から四国にかけての広範囲に被害をもたらしている。

【和歌山市に影響を及ぼした主な大規模地震】

684年	天武地震（東海・東南海・南海地震）	マグニチュード8
1096年	永長地震（東海・東南海地震）	マグニチュード8.4
1099年	康和地震（南海地震）	マグニチュード8～8.3
1361年	正平地震（南海・東南海地震）	マグニチュード8～8.5
1605年	慶長地震（東海・東南海・南海地震）	マグニチュード7.9
1707年	宝永地震（東海・東南海・南海地震）	マグニチュード8.6
1854年	安政南海地震（南海地震）	マグニチュード8.4
1854年	安政東海地震（東南海・東海地震）	マグニチュード8.4
1944年	東南海地震	マグニチュード7.9
1946年	南海地震	マグニチュード8.0

第２項　地震被害想定調査の目的

地震被害想定調査は、近い将来発生することが予想される東海・東南海・南海地震等の巨大地震による被害の軽減について検討するために、地震の特徴を過去の記録から想定するとともに、地震の発生時期・時間、地勢、人口密度、土地利用の状況等を前提として、地震や津波による物的被害及び人的被害の発生状況を高い精度で予測することである。

和歌山市では、東海・東南海・南海３連動地震及び南海トラフ巨大地震について、県が想定（平成26年３月）した地震被害想定調査、中央構造線の地震については市が平成16年に実施した地震被害想定調査の結果を本計画の条件とする。

地震被害想定調査の項目は、以下のとおりである。

地震に伴う自然現象の予測	震度・液状化・津波浸水・土砂災害の予測
物的・人的被害の予測	建物・火災・ライフライン施設・死傷者・避難者数等の予測

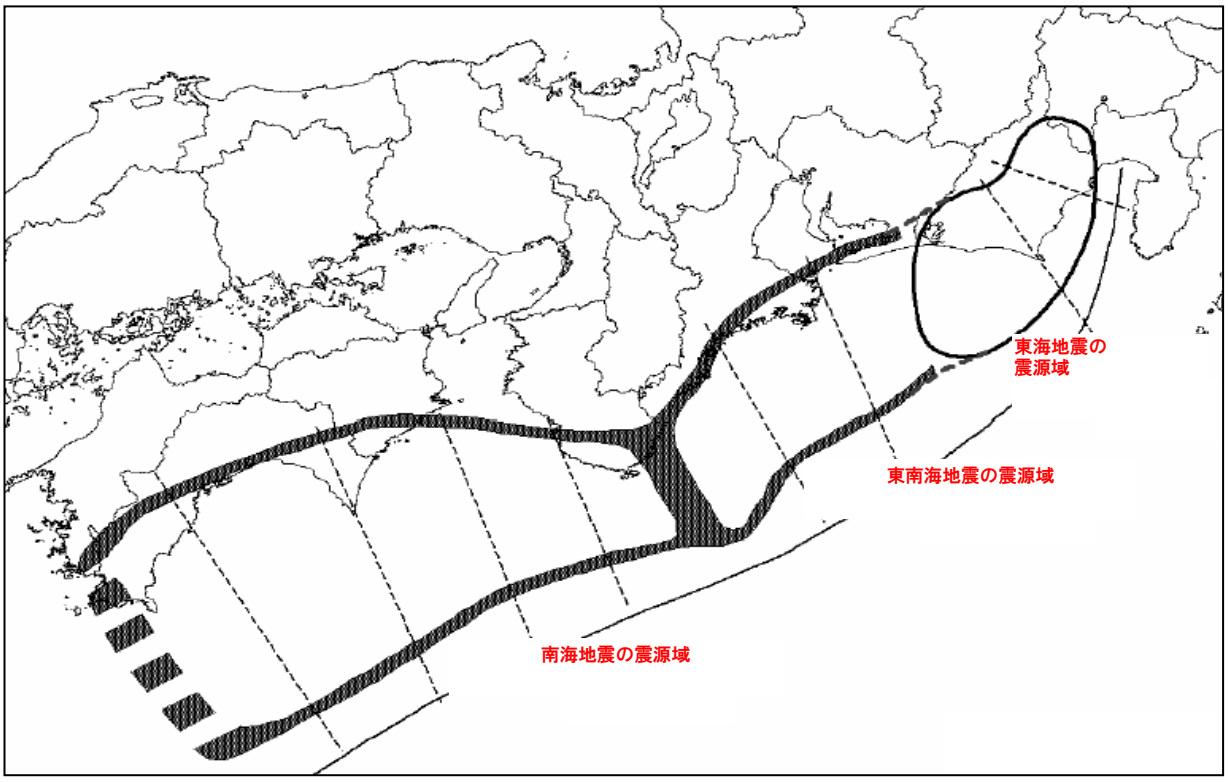
第３項　想定地震・前提条件

１　想定地震

被害想定を行うに当たり、和歌山市に大きな影響を及ぼす地震として、次の３つの地震を想定する。

（１）東海・東南海・南海３連動地震：マグニチュード8.7

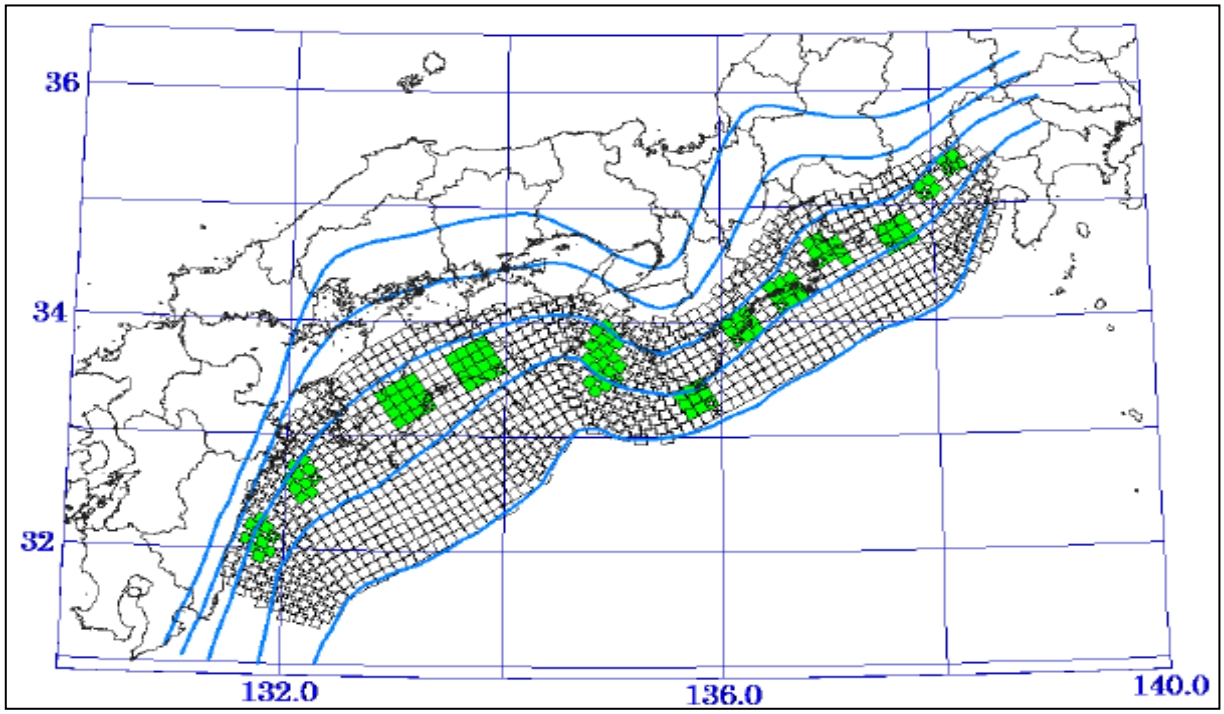
約 100 年周期で発生すると想定されるＭ８クラスの地震として、南海トラフにおいて、震源域が静岡県から高知県に及ぶ地震である。中央防災会議が示した 2003 年モデルによる。



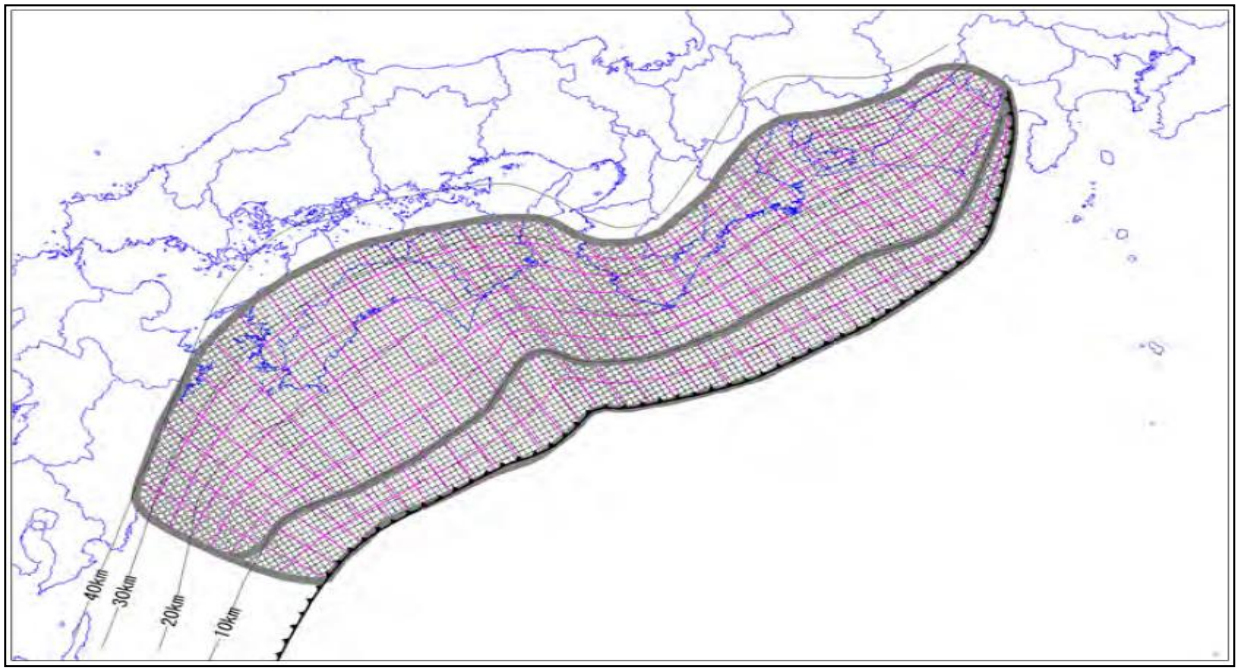
東海・東南海・南海地震の想定震源域（資料：中央防災会議）

（２）南海トラフ巨大地震：マグニチュード9.1

千年に一度、１万年に一度と想定されるＭ９クラスの地震として、震源域が静岡県から宮崎県に及ぶ地震である。内閣府が示した 2012 年モデルによる。



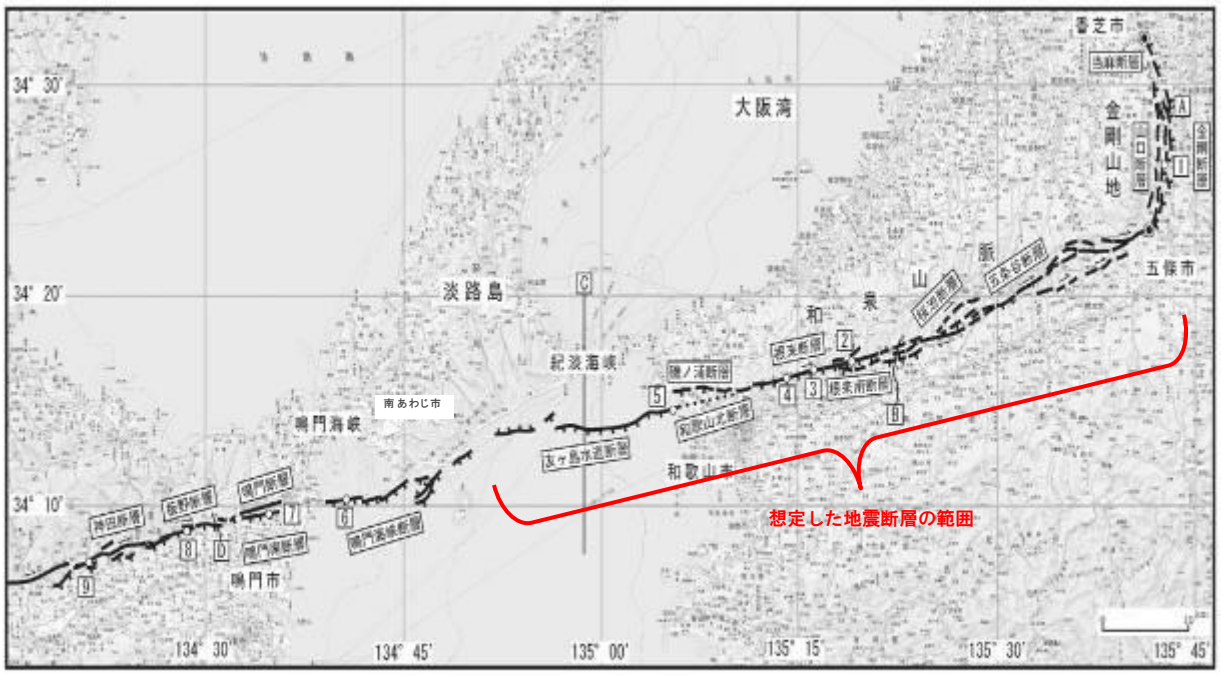
南海トラフ巨大地震の想定震源域
（資料：中央防災会議）



南海トラフ巨大地震の津波断層面
（資料：内閣府）

（３）中央構造線の地震：マグニチュード8.0

和歌山市北部に存在する中央構造線が活動することによって起きる地震を想定した。中央構造線の中でも、地震が発生した場合に本市に大きな影響を与える範囲として、淡路島南東端－和泉山脈東端の区間（80km）を地震断層として設定している。



中央構造線の地震で想定した地震断層の範囲（資料：地震調査研究推進本部）

２　前提条件

（１）被害想定における設定

地震	津波	季節	時刻	風速
東海・東南海・南海３連動地震	３連動地震津波	夏	昼12時	4m
		冬	夕方18時	4m
		冬	夕方18時	8m
		冬	深夜2時	4m
南海トラフ巨大地震陸側ケース	巨大地震津波ケース３	夏	昼12時	4m
		冬	夕方18時	4m
		冬	夕方18時	8m
		冬	深夜2時	4m
中央構造線地震	―	冬	朝5時	
	―	春秋	昼12時	
	―	冬	夕方18時	

また、人的被害の予測において、津波から住民の避難パターンを以下のとおり設定した。

避難行動区分	直接避難（昼間は5分、夜間は10分で避難を開始）	用事後避難（昼間は15分、夜間は20分で避難を開始）	切迫避難又は避難せず。（津波浸水後に避難を開始、あるいは避難せず。）
ケース１	100%	－	－
ケース２	70%	30%	－
ケース３	35%	40%	25%

（２）津波浸水想定のための計算条件（主なもの）

地震	朔望平均満潮位※	コンクリート構造物（護岸・防波堤等）	盛土構造物（堤防）
東海・東南海・南海３連動地震	T.P.　＋1.00m	・地震動により「破壊する」ものとする。（ただし、技術的評価結果があれば沈下量を算定） ・津波が越流し始めた時点で「破壊」とする。	・地形データとして取り扱う。（破壊しない。）
南海トラフ巨大地震	T.P.　＋1.00m	・地震動により「破壊する」ものとする。	・地震動により、地震前の25％とする。（75%沈下） ・その後、津波が越流し始めた時点で「破壊」するものとする。

注）「道路・鉄道」は、地形データとして取り扱う（破壊しない）
注）「建築物」は、建物の代わりに津波が遡上する時の摩擦（粗度）を設定
注）「地盤変動量」は、地盤の隆起は考慮しない
注）「朔望平均満潮位※」は、朔（新月）及び望（満月）の日から５日以内に現れる、各月の最高満潮面の平均値

第４項　予測手法

１　東海・東南海・南海３連動地震、南海トラフ巨大地震の予測手法

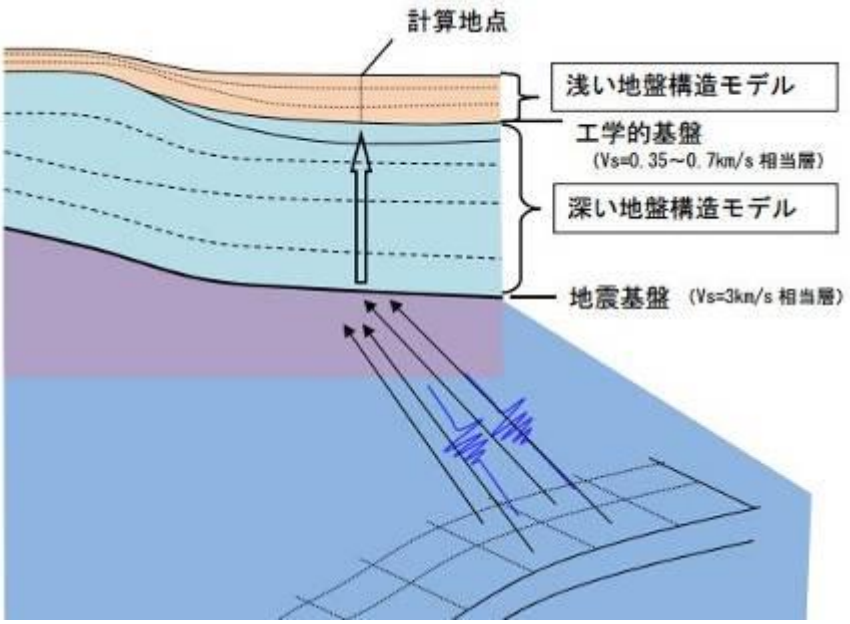
（１）震度の予測

地震被害を予測するために、震度を予測した。

震源で発生した地震波は岩盤や地表近くの地層を伝播し、その間に増幅される。

内閣府は巨大地震の震度を予測するに当たり、地表付近の浅い地盤の下端（工学的基盤という）までは地震波の伝播シミュレーションを実施し、工学的基盤での震度を求めている。その上で浅い地盤の地震波増幅特性を示すAVS30を用いて震度の増分を推定し、地表面での震度を求めている（下図）。

本調査でも同様に検討するために、内閣府より３連動地震、巨大地震の震度予測に係る資料の提供を受け活用した。ただし、AVS30については、和歌山県が平成16-17年度調査の際に作成した地盤モデルにより設定し、これを用いて新たに震度を予測した。



震源から地表までの地震波伝播のモデル図（内閣府 2012 による）

（２）液状化の予測

地震被害の予測のために液状化を予測した。液状化の発生しやすさを示す液状化危険度は、地表の揺れと地盤モデルの関係から液状化指数（PL 値）を算出して評価した。

（３）津波の予測

項目	概要
東海・東南海・南海３連動地震による浸水想定	内閣府が 2003 年（平成 15 年）に宝永地震、安政地震など実際に発生した地震を基に想定し、従来から和歌山県が防災・減災対策の「想定津波」としてきたものを、新しい地形データ等を用いて想定した。
南海トラフ巨大地震による浸水想定	内閣府が平成 24 年８月に公表した浸水想定を基に、より詳細な地形データ等を用いて想定した。

（４）建物被害の予測

建物の被害について、揺れ等（液状化・震動・斜面崩壊）、津波、地震に伴う火災の順にその影響を考慮し、予測した。

予測手法の概要	液状化による被害は、地盤の液状化に伴う地盤沈下量との関係から求めた。 震動による被害は、震度（計測震度）と被害率の関係から求めた。 斜面崩壊による被害は、崩壊危険度が高いと判断された斜面の 10%が崩壊するものとし、その影響範囲にある家屋について被害を求めた。 津波による被害は浸水深と被害率の関係から求めた。

	地震に伴う火災による被害は、出火から初期消火、消防による消火を予測し、消火できなかったものが延焼する過程を延焼クラスター法という手法により予測した。

（５）人的被害の予測

３連動地震、巨大地震による人的被害を下記の表の順で予測した。ここでは、重傷者より死者を優先するなどしたほか、災害事象に関しては発生順に優先して被害を計上した。これにより災害事象ごとに予測される数量が重複しないようにした。

【被害の程度と災害事象による人的被害予測の優先順位】

	建物倒壊	斜面崩壊	津波	火災
死亡	1	2	3	4
重傷	5	6	7	8
軽傷	9	10	11	12

予測手法の概要	1　震動による建物被害に伴う死傷者・閉じ込め者数 （1）震動による木造建物・非木造建物の全壊数・全半壊数 （2）時刻別の木造建物内・非木造建物内の滞留人口の割合 2　斜面崩壊による建物被害に伴う死傷者数 （1）斜面崩壊による木造建物の全壊数 （2）時刻別の木造建物内の滞留人口の割合 3　津波による死傷者数 まず、津波に対する避難シミュレーションを実施し、避難が成功しなかった者について、津波浸水深ごとの死者率を適用して予測した。 また、30cm 以上の浸水を被った場合、死亡にいたらなくても負傷するものとし、そのうちの 34%が重傷者、残りが軽傷者とした。 さらに、閉じ込め者の一部は自力脱出や家族・近隣者等による早期避難ができず、津波浸水域に残された場合には死亡する者があるものとした。 4　火災による死傷者数 （1）炎上出火建物からの逃げ遅れ （2）閉じ込め者の受火災 （3）延焼中の逃げ惑い 5　建物内の転倒物等による死傷者の予測 屋内での家具等の移動・転倒、落下、ガラス飛散等による被害について予測した。なお、これらは震動による建物被害に伴う死傷者数の内数とした。 （1）木造建物・非木造建物の大破率・中破率 （2）木造建物内・非木造建物内の滞留人口

	これらは災害事象の順に検討し、重複のないように予測を実施した。

（６）上水道被害の予測

上水道の被害について、上水道管の延長資料（管種・管径ごと）を基礎データとし、地震時の揺れと液状化の影響を考慮し被害を予測した。

予測手法の概要	阪神・淡路大震災を含む過去の地震時の被害実態より、震度（計測震度）・液状化危険度ごとに、管の耐震性を考慮し、管種・管径ごとの上水道管被害率を設定し被害箇所数を算出した。この被害箇所数より、断水率を求め、市町村ごとの断水人口を予測した。 復旧については、１日後、１週間後、１ヶ月後の復旧率により、断水人口を求めた。津波による全壊建物は復旧対象外とした。 水管橋、浄水場、配水場等については、施設の津波浸水深により災害危険性を評価した。水管橋については、液状化危険度による評価もあわせて行った。

（７）下水道被害の予測

下水道の被害について、下水道管の延長資料（管種ごと）を基礎データとし、地震時の揺れと液状化の影響を考慮し被害を予測した。

予測手法の概要	過去の地震時の被害実態より、震度（計測震度）・液状化危険度ごとに、管の耐震性を考慮し、管種ごとの下水道管被害率を設定し被害延長を算出した。この被害延長より支障率を求め、市町村ごとの支障人口を予測した。加えて、下水処理場が 30cm 以上の津波浸水を受ける場合は下水処理施設が被災し全面的に支障を被るものとした。 復旧については、東日本大震災の下水処理場の復旧実績、管については阪神・淡路大震災時の応急措置対処日数の実績値より、１日後、１週間後、１ヶ月後の支障率を算出し、支障人口を求めた。津波による全壊建物は復旧対象外とした。

（８）電力施設被害の予測

電力施設の被害について、関西電力送配電株式会社にて、県が提供した震度（計測震度）・津波浸水深・浸水エリア・建物被害想定データを用いて被害想定を実施し、その結果を県がとりまとめた。

予測手法の概要	被害想定・復旧見通しについては、現状の電力設備と復旧要員等の実情を考慮した上で、揺れ・津波による影響評価に基づき停電軒数・率を算出した。

（９）通信施設被害の予測

通信施設の被害について、通信事業者（ＮＴＴ株式会社）の市町村ごとの電信柱数、回線契約者数を基礎データとし、地震時の揺れと液状化、津波浸水と延焼被害の影響を考慮し被害を予測した。

予測手法の概要	被害想定・復旧見通しについては、震度と液状化による電柱折損、建物倒壊による電柱折損、津波や延焼による施設の影響評価に基づき停止回線数・率を算出した。

(10) 都市ガス施設被害の予測

都市ガスの被害について、大阪ガスネットワーク株式会社、新宮ガス株式会社のデータを基礎データとし、県の震度及び液状化危険度、津波浸水深、建物被害想定を使用し、事業者協力のもと被害予測を実施した。

予測手法の概要	被害想定・復旧予測は、設備、応急復旧要員等を考慮した上で実施した。 供給停止予測は、地震時の揺れ（ＳＩ値）が 60 カイン以上となる供給ブロックを予測し、供給停止戸数を算出した。施設復旧については、１日後、１週間後、１ヵ月後の復旧状況より、停止戸数を予測した。

(11) 道路施設被害の予測

地震時の揺れと液状化、津波浸水の影響を考慮し、県内の市町村道を含む道路（約１万３千 km）の被害予測を行った。また、高速道路、直轄国道、補助国道、県道、主要な市道（和歌山市）について、道路の位置情報を反映させた上、詳細な被害予測を実施した。

予測手法の概要	被害想定は、道路施設を対象として、震度及び津波浸水深30cm以上の区域について実施した。

(12) 鉄道施設被害の予測

鉄道施設の被害についての調査対象は、西日本旅客鉄道（JR 西日本）、南海電気鉄道、和歌山電鐵、紀州鉄道とし、地震時の揺れと液状化、津波浸水の影響を考慮し被害を予測した。

予測手法の概要	被害想定は、鉄道路線を対象として、震度及び津波浸水深30cm以上の区域により実施した。

(13) 港湾施設被害の予測

港湾施設の被害についての調査対象は、岸壁、物揚場などの物資輸送が可能な係留施設とし、地震時の揺れの影響を考慮し被害を予測した。

予測手法の概要	被害想定は、係留施設を対象として、東日本大震災の実態より設定された計算式を用いて、工学的基盤の加速度より係留施設被害を予測した。

(14) 空港施設被害の予測

調査対象を南紀白浜空港及び県内のヘリコプター発着予定地とし、定性的に評価した。

(15) 避難者数の予測

地震被害、津波浸水及びライフライン途絶（断水）により、避難生活が必要となる人数を算出した。

予測手法の概要	避難者数の予測においては、地震被害と津波被害の事象に分けて、避難者数を算出した。また、避難者数については、避難所生活者と避難所外生活者に区分して予測した。

(16) 帰宅困難者数の予測

鉄道、バス、自動車、二輪車による外出者を対象とした帰宅困難者を算出した。

予測手法の概要	想定手法は、パーソントリップ調査を使用して算出した。和歌山市の外出者が最も多い 11 時台で算出した。帰宅距離が 10km～20km の 50%、20km 以上の全外出者が、帰宅困難となるとして予測した。 和歌山県の場合、自動車による外出者が多いため、道路等の通行止めにより自動車での帰宅が困難な場合を予測した。

(17) 必要物資数の予測

避難所避難者数に応じた物資数を算出した。

予測手法の概要	想定手法は、１日後～３日後、４日後～７日後の期間で算出した。

(18) 医療機能被害の予測

調査対象は、和歌山県内の 86 か所の病院を対象とし、被災による要転院者数、供給可能数を想定し、死者数、重傷者数、軽症者数と比較した。

予測手法の概要	建物被害率、津波浸水深 30cm 以上の区域、震度より、病院の支障率を予測した。

(19) 災害廃棄物の予測

建物の全壊等に起因する「災害廃棄物」と、津波により陸上に運ばれて堆積した土砂・泥状物等の「津波堆積物」の発生量に関して予測した。

予測手法の概要	災害廃棄物は、全壊建物の構造３区分（木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造）ごとに床面積に即したがれき量を算出した。 津波堆積物は、津波浸水域の全体に 2.5cm ないし４cm の土砂が堆積するものとして体積を算出した。密度は経過時間とともに変化するため、２種類の値をとるものとし、土砂堆積厚とともに幅を持った値としている。

（20）要配慮者利用施設等における津波浸水の予測

県内の要配慮者利用施設等は、全 2,920 か所（H25.4 月現在）であり、これについて津波浸水の予測を行った。

２　中央構造線の地震の予測手法

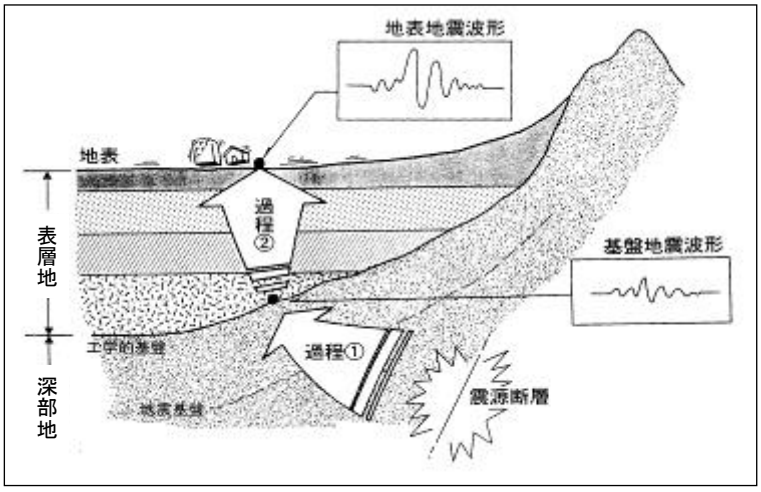
（１）震度の予測

地震動の予測は、地盤を「深部地盤」と「表層地盤」の２つに分けて行う。

断層の運動によって生じた地震波は、地下深くの硬い深部地盤を通過する過程では距離に比例して小さくなっていくが、地表近くの軟らかい地盤に達すると地層の重なりに応じて増幅する傾向がある。そのため、各地の地震動の大きさは、ａ）地震の規模、ｂ）震源（断層）からの距離、ｃ）地盤の揺れやすさに大きく影響される。

このことから、地震動の予測は、基盤地震動と表層増幅過程の２段階に分けて計算を実施した。過程①の基盤地震動の予測は、震源から地下深いところ（山地では地表近く）にある基盤まで地震動が伝わる過程の計算であり、主にａ）地震の規模とｂ）震源（断層）からの距離を計算要素とする。過程②の表層増幅過程では、多くの場合、基盤から地表まで地震動が伝えられる間に軟弱な地層により地震動が増幅される。

基盤地震動の予測は、Ｓ波と呼ばれる地震波の伝達速度が 700m/s を超えるような硬い岩盤を「工学的基盤」とし、それより深部を「深部地盤」として実施した。深部基盤は、地震波が波形を変えずに振幅だけが減少しながら伝播する十分に硬い地盤である。また、工学的基盤より浅い部分を「表層地盤」として、表層増幅過程の計算を実施した。



地震動の予測に関わる地盤構造

（２）液状化危険度の予測

液状化の発生は、地下水位、砂の粒度分布などに大きく影響を受けるため、それらを反映した地盤モデルを計算に用いることが、より現地の状況を的確に反映することとなる。そこで、地震動の予測で設定された地盤モデルに対して、市内で得られたボーリングデータから粒径分布等のパラメータを付加し、現地状況をより反映できるものとして計算を実施した。

（３）土砂災害の予測

市内の急傾斜地崩壊危険箇所、山腹崩壊危険地区、地すべり危険箇所、土石流危険渓流等について、地震発生時における崩壊の危険度を判定した。

項目	概要
急傾斜地崩壊危険箇所・山腹崩壊危険地区	急傾斜地崩壊危険箇所及び山腹崩壊危険地区における地震動による土砂災害の危険度について、降雨を対象とした点検結果を応用して予想した。この方法は、各危険箇所の点検結果を1978年宮城県沖地震などの地震被害事例に適用し、地震時の急傾斜地の危険度判定を行うために作成されたものである。
地すべり危険箇所等	地すべり危険箇所及び地すべり危険地区について、既存の点検評価結果と震度とを重ね合わせて相対的な評価を行った。
土石流危険渓流	土石流危険渓流の分布域での地震動の大きさを考慮するため、土石流危険渓流の流域にかかるメッシュの最大震度を求めた。

（４）建物被害の予測

建物は構造により振動特性や耐震性に大きな違いがあるため、５つの構造（木造、木質プレハブ造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造、軽量鉄骨造）に区分して被害予測を行った。建築年代、階層等の違いについても考慮した。

建物が被害を受ける要因としては、地震動、液状化、土砂災害、津波を想定した。

項目	概要
地震動による建物被害	中央防災会議が、1995年兵庫県南部地震における西宮市、2000年鳥取県西部地震における米子市、2001年芸予地震における呉市の木造建物の被害に関するデータ等をもとに構築した震度と建物全壊率の関係式に整合し、半壊についての評価や木造建物の建築年代の違いの反映が可能な計算手法を採用した。
液状化による建物被害	中央防災会議で用いられている手法に準じ、半壊率についての解釈を加えて被害量を算定した。地震動による被害との重複が出ないように処理を行った。
土砂災害による建物被害	急傾斜地崩壊危険箇所に関する危険度ランクの予測結果に、震度別被害率を適用して算定した。被害量は、各危険箇所の保全対象人家戸数にもとづき、地震動による建物被害量を差し引いて計算した。対策工の設置状況についても考慮した。
津波による建物被害	地震動や液状化によって倒壊していない建物を対象に、津波浸水深にもとづいて建物の被害量を算定した。

（５）火災被害予測

地震動によって起こる出火を予測し、各出火点からの延焼シミュレーションを行って焼失棟数を算出した。火災被害の予測は、出火予測、炎上出火点の配置、延焼拡大の予測という

流れで実施した。

項目	概要
出火予測	過去の被害地震での火災記録から求めた建物の全壊率と出火率の関係をもとに、出火点数を予測した。消火活動については、地震直後に運用可能な消防力の想定が困難であるため、実施されない条件を設定した。そのため、発生した出火はすべて延焼火災に拡大することとなる。
炎上出火点の配置	炎上出火点の位置は、出火危険度（全壊率から求められる出火件数の値）に応じて分配した。
延焼拡大の予測	1995 年兵庫県南部地震での実績をもとにした、建ぺい率・混成率などの市街地指標と地震による地表加速度や風速をもとに市街地火災の延焼危険性を評価するシミュレーションを行い、炎上出火点から延焼が拡大していく状況を予測した。延焼遮断要因としては、幅員 15m 以上の道路や鉄道、河川といった延焼遮断帯を考慮し、地震発生から６時間後までの延焼拡大を計算した。

（６）ライフライン被害予測

上水道、下水道、都市ガス、電力、電話の各ライフライン施設について、被害の発生状況を予測した。浄水場や発電所などの基幹施設は過去の地震で大きな被害が発生していないことから、上水道、下水道、都市ガスの埋設管路や電力、電話の電柱・ケーブル等、地域へ供給するルートを被害予測の対象とした。

被害量は、過去の地震における被害の記録をもとにして設定された、地震動と各施設の被害率の関係を用いて算定した。

（７）交通・輸送機能被害予測

市内の主な道路及び鉄道について、地震動、液状化危険度、土砂災害の危険度、建物被害率などの算定結果にもとづき、さらに橋梁の建設年度も考慮の上、交通・輸送機能に対する通行支障影響度を評価した。

（８）水際構造物被害予測

地表最大加速度や液状化の危険性、施設の耐震性能を踏まえ、岸壁等の水際構造物の被害程度のランク分けを行った。

（９）危険物施設被害予測

危険物施設での危険性物質の流出と出火の危険度について、施設の査察とアンケート調査の解析事例にもとづいて評価した。危険物施設の被害要因としては地震動と液状化を考えるが、地震動と液状化による被害が重複して算定されないよう、地区ごとにどちらか被害率の高い方を被害量として計上した。

（10）人的被害予測

建物被害、土砂災害、津波、火災被害の予測結果を踏まえて、死者数、負傷者数、要救助者数及び避難者数を予測した。負傷者数については、負傷の程度により重篤者、重傷者、中等傷者に区分して人数を算定した。

項目	概要
死者数、負傷者数の予測	1　地震動による死者数、負傷者数の予測 死者数は、過去の被害地震から求められた全壊棟数と死者数との関係にもとづいて算定した。負傷者数についても建物被害と負傷率の関係から人数を求め、重篤者数、重傷者数、中等傷者数をそれぞれ予測した。 2　土砂災害による死者数、負傷者数の予測 過去の崖崩れの被害実態から求められた建物被害棟数と死者数及び負傷者数との関係から算定した。負傷者については、重篤者、重傷者、中等傷者に区分して人数を予測した。 3　津波による死者数の予測 津波高さに応じた死者率を用いて予測した。ただし、和歌山市の津波到達時間を考慮した住民の避難活動による被害軽減の補正を加えている。津波に巻き込まれた者はすべて死亡すると考え、負傷者数は算定していない。 4　火災による死者数、負傷者数の予測 過去の平常時火災の集計結果をもとに導出された、焼失棟数と死者数及び負傷者数の関係から算定した。地震動や土砂災害による負傷者の一部が、逃げ遅れて火災により焼死することについても考慮した。
要救助者数の予測	地震動により被災した建物からの要救助者数を、過去の地震における要救助者発生数のデータを用いて算定した。土砂災害による要救助者数については、崖崩れによって大破した建物内にいる者を対象とした。
避難者数の予測	地震により自宅が損壊や焼失の被害を受け、避難所で避難生活を送る住民の人数を、建物被害及び火災被害の予測結果をもとに算定した。ライフラインの途絶による避難者は含めていない。避難所生活者数と、親戚知人宅等へ避難する避難所外生活者数の割合については、過去の地震時におけるアンケート調査の結果を踏まえて設定した。

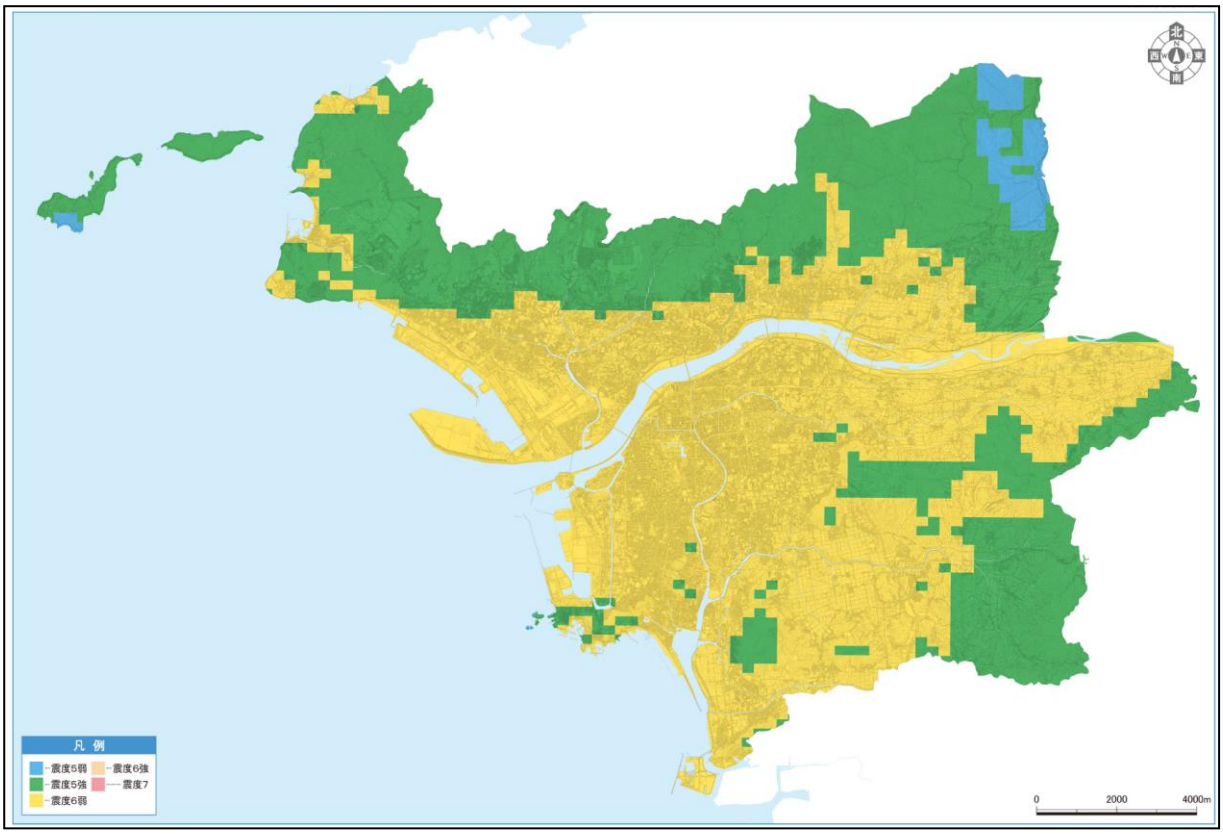
第５項　地震に伴う自然現象の予測

１　震度の予測

（１）東海・東南海・南海３連動地震

３連動地震の場合、紀の川沿いの低地部を中心に市域の大部分が震度６弱の揺れとなっているが、河口付近に形成された砂丘の周辺では震度５強と予想されている。また、和泉山脈一帯では震度５強の揺れが予想されているが、市域の北東部「滝畑」付近は震度５弱とされた。

■震度分布図

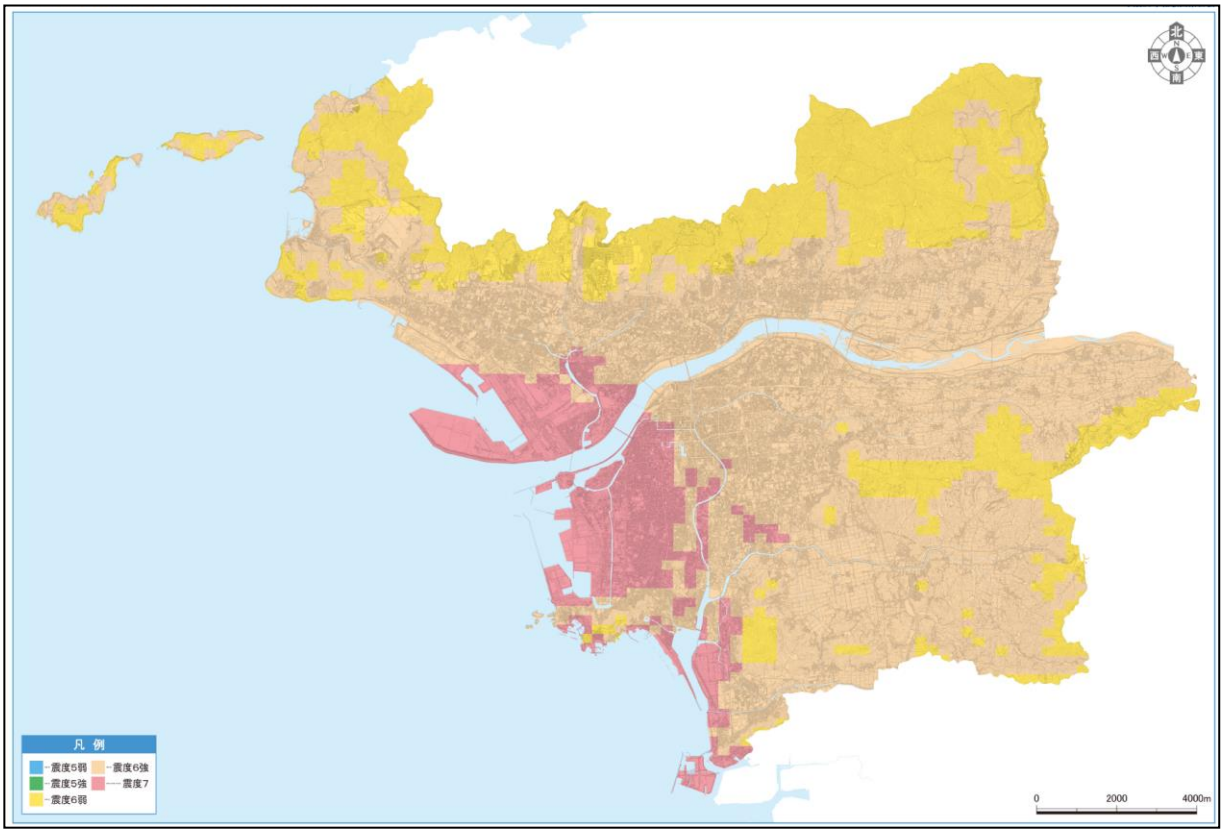


（資料：和歌山県）

（２）南海トラフ巨大地震

巨大地震の場合、紀の川沿いの低地部を中心に市域の大部分が震度６強の揺れとなっているが、地盤の弱い沿岸平野部では震度７の揺れが予想されている。また、和泉山脈一帯では震度６弱の揺れが予想されている。

■震度分布図

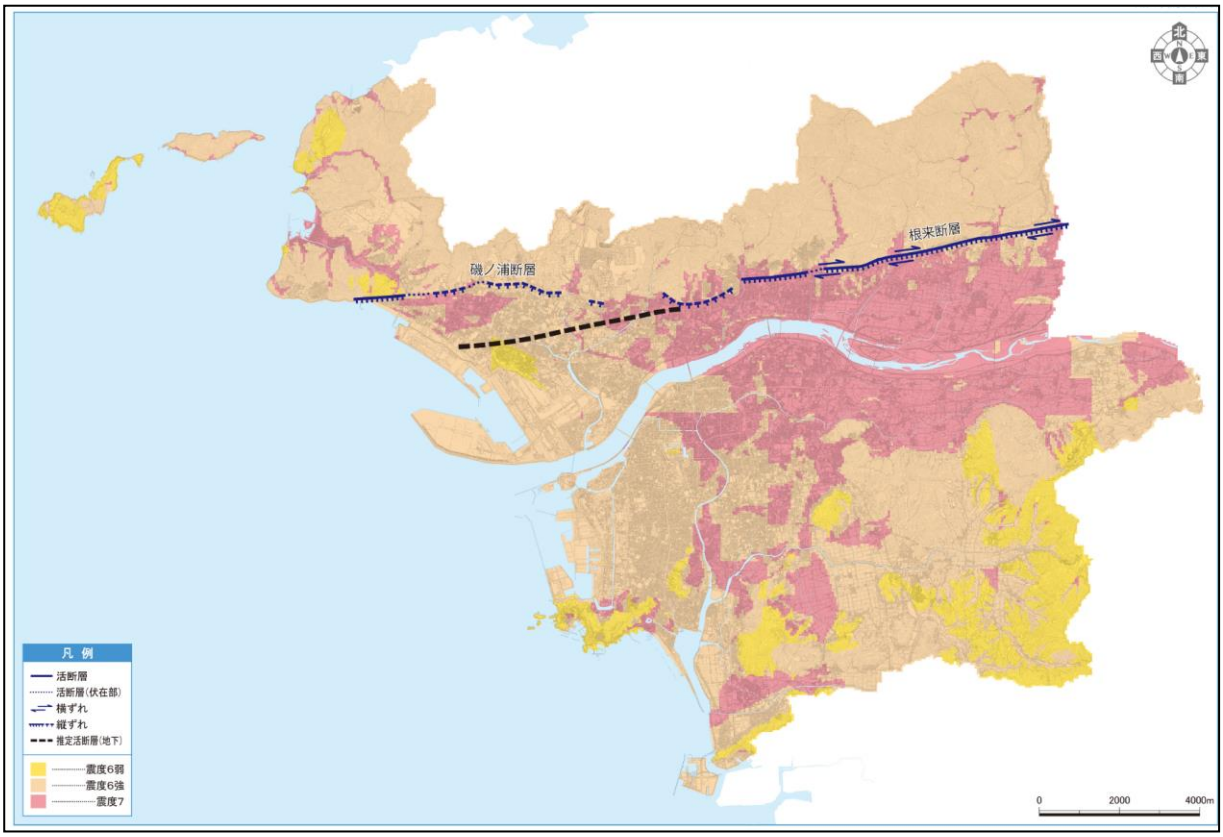


（資料：和歌山県）

（３）中央構造線の地震

中央構造線の地震の場合では、市の大部分で震度６強の揺れとなり、紀の川沿いの低地部では震度７に達することが予想される。本市近傍の中央構造線を震源としているため、市域全体で大きい揺れが予想されている。

■震度分布図



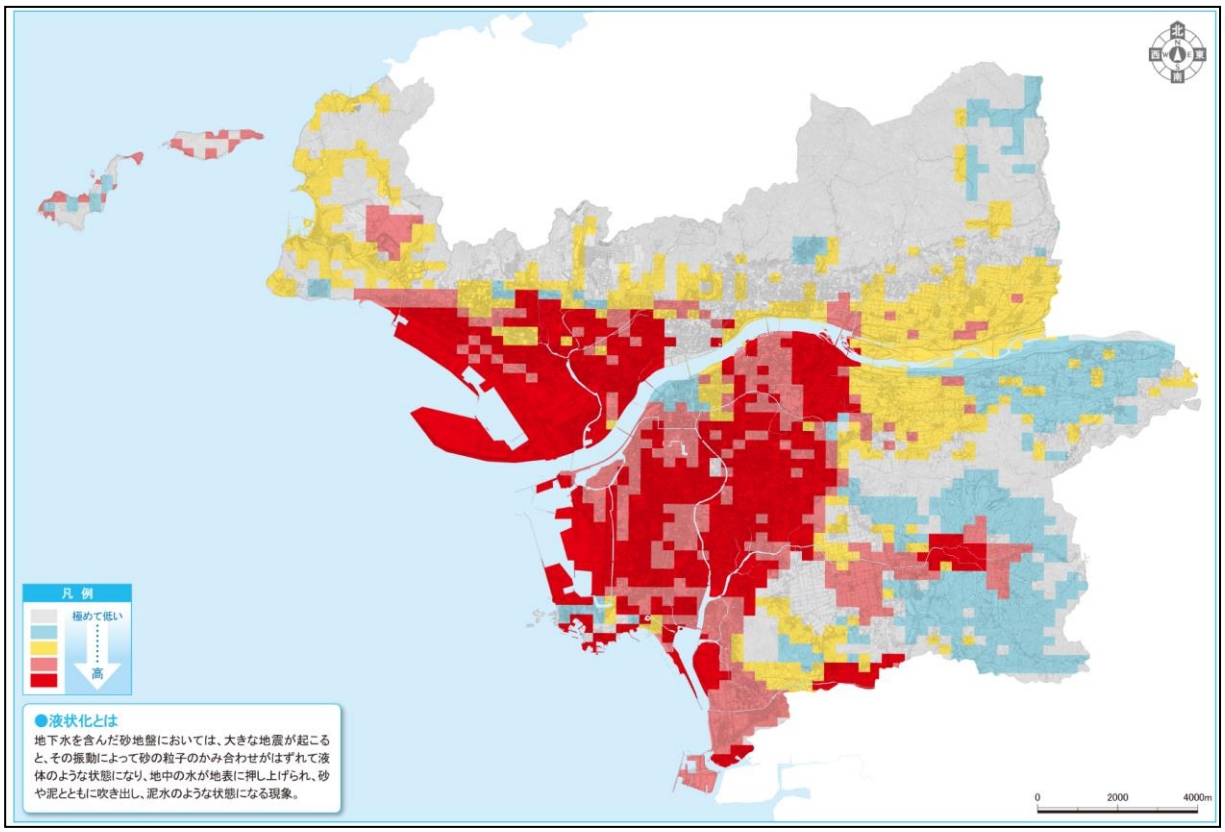
（資料：和歌山県）

２　液状化危険度の予測

（１）東海・東南海・南海３連動地震

３連動地震の場合、液状化危険度は、揺れが大きく、地下水があり液状化を引き起こす砂層が厚い平野部を中心に大きくなっている。ただし平野部でも、地盤の堆積環境によって砂の粒度が微妙に異なるため、液状化危険度の「中程度」地域と「大きい」地域等が混在して分布する。

■液状化分布図

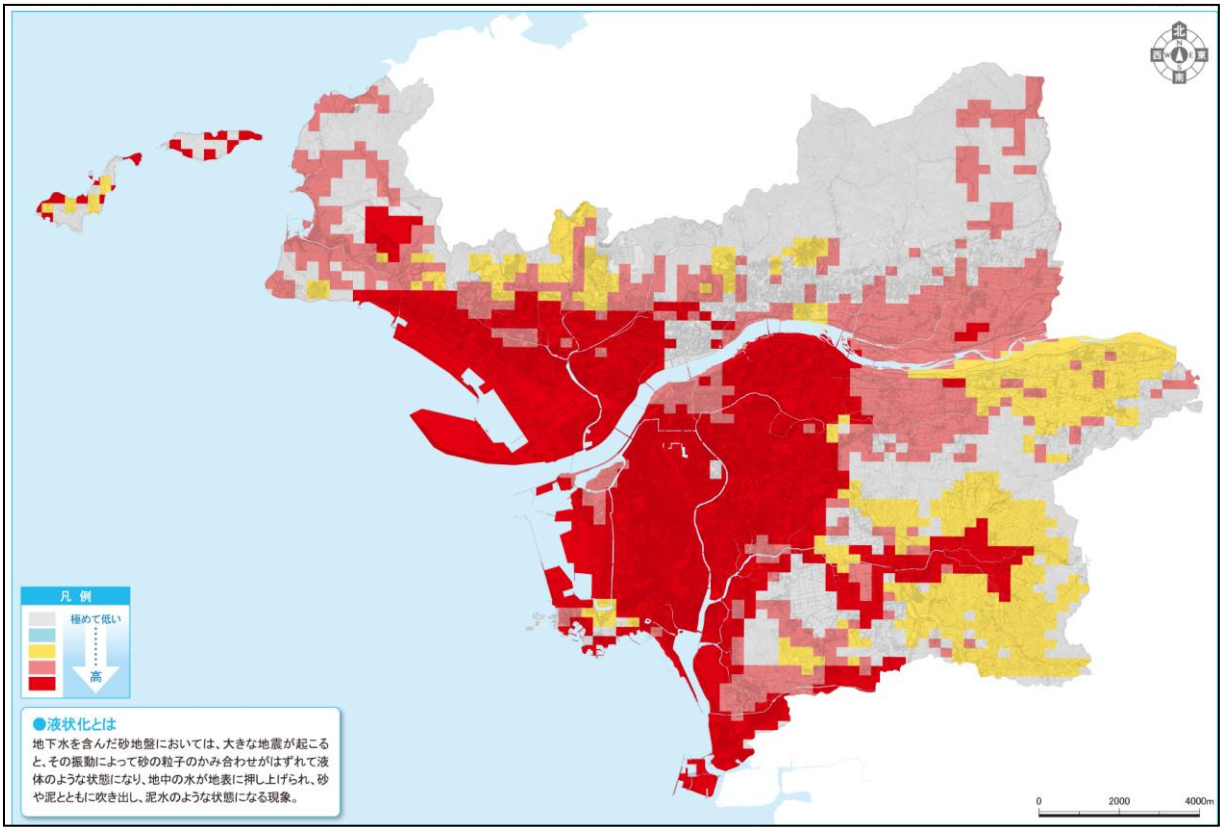


（資料：和歌山県）

（２）南海トラフ巨大地震

巨大地震の場合、揺れが３連動地震に比べさらに大きいため、液状化危険度は、一層大きくなっている。そのため、平野部における液状化危険度は、ほぼ一様に「大きい」地域となっている。

■液状化分布図

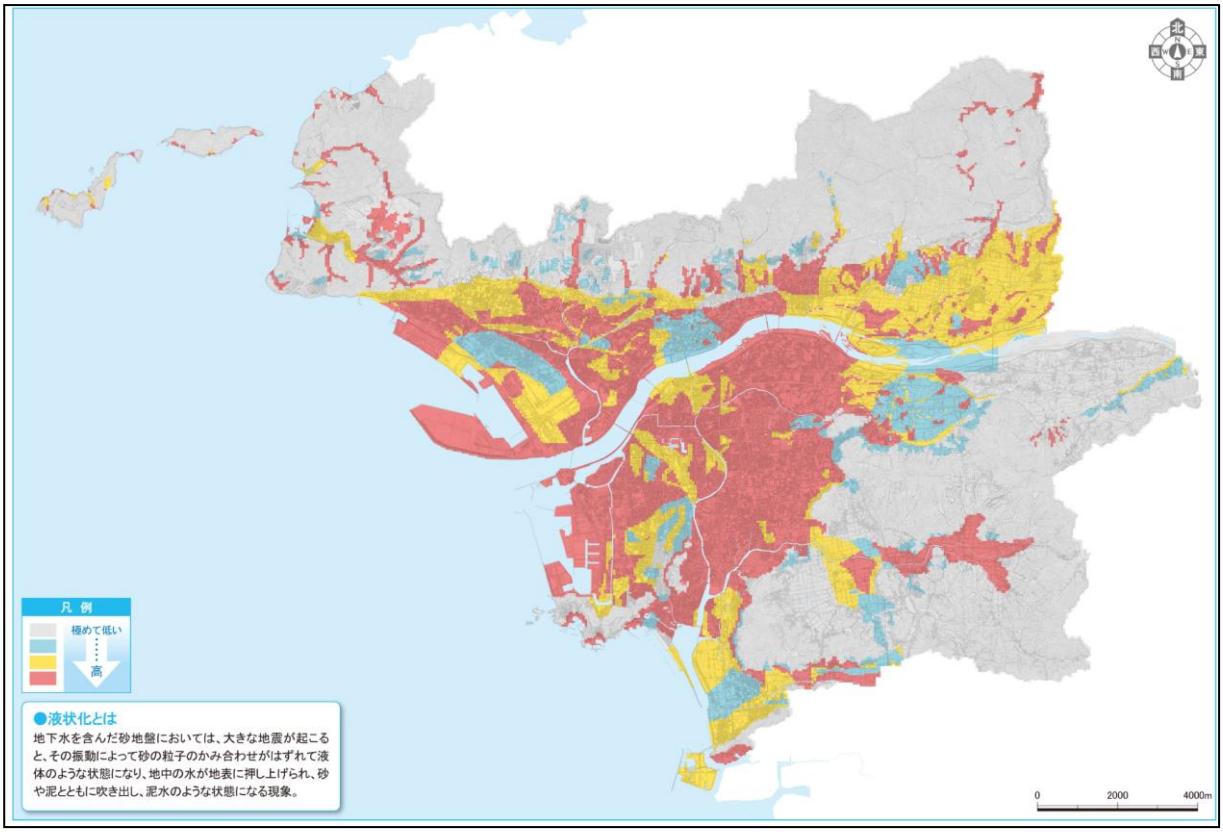


（資料：和歌山県）

（３）中央構造線の地震

中央構造線の地震の場合では、３連動地震での予測結果に比べ、液状化危険度が全体的に高い結果が出ている。直下型地震である中央構造線の地震では、揺れの周期が小さいことと、揺れ自体が大きいことが影響して、液状化危険度が高くなっていると考えられる。

■液状化分布図



（資料：和歌山県）

３　津波浸水の予測

（１）東海・東南海・南海３連動地震

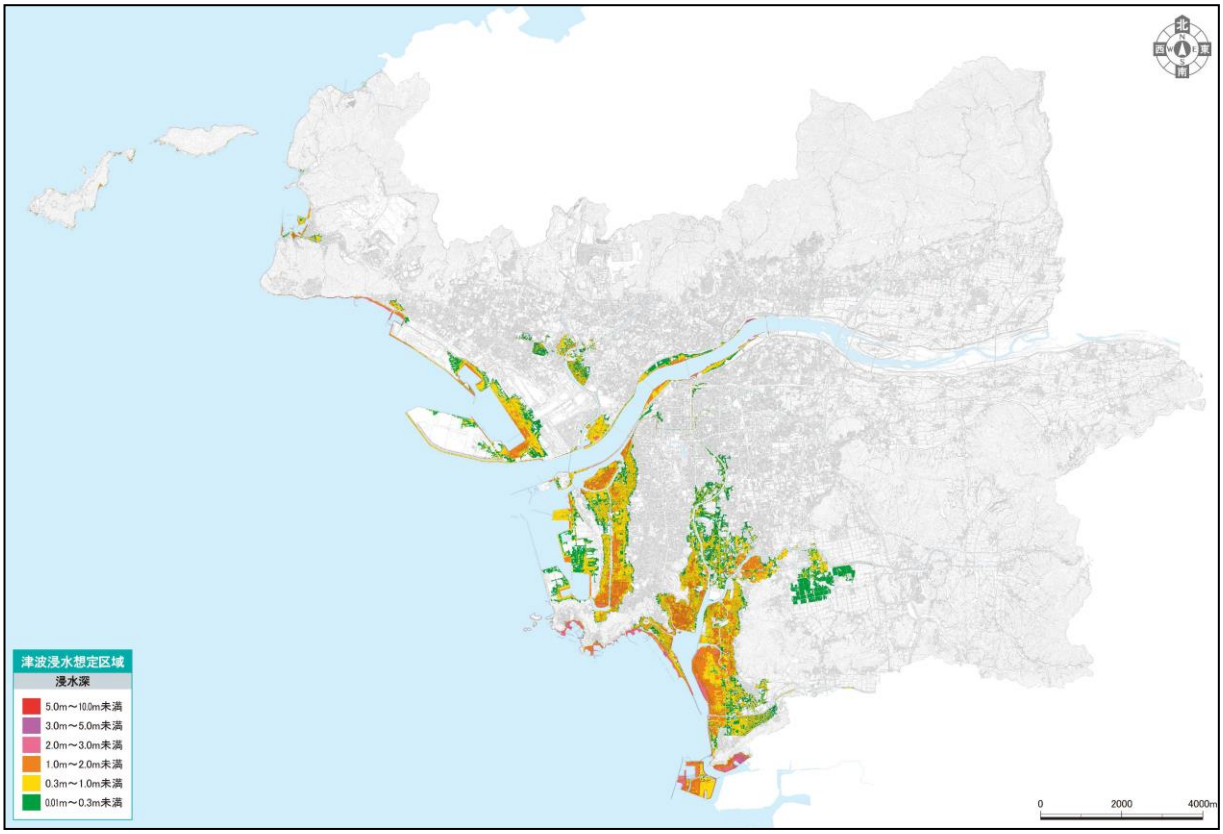
３連動地震の場合、津波による浸水は、沿岸部の低地の広い範囲に及ぶ結果となっている。また、和歌山平野では河川の勾配が緩いため、津波は内陸の奥深くまで遡上し、河口から数km上流でも河川から津波があふれ出て浸水すると考えられる。

なお、本市内の主要施設中、県立医科大学附属病院が浸水深１m到達時間113分で、１～２m浸水予測区域内となっている。

■津波による浸水想定予測量

項　目		予　測　量
津　波　高	最　　大	6m
	平　　均	4m
平均浸水深		0.8m
津波浸水面積		1,540ヘクタール
津波到達時間（第1波最大津波）		53分

■津波浸水想定図



（資料：和歌山県）

■浸水想定区域町丁目

地区名	浸水想定区域町丁目
本町	宇治鉄砲場、宇治家裏、宇治藪下、嘉家作丁、北新１～５丁目、北新金屋丁、北新七軒丁、北新博労町、雑賀町、元寺町１～３・５丁目
城北	十一番丁、十二番丁、十三番丁、杉ノ馬場１・２丁目、西蔵前丁、橋丁、東蔵前丁、舟大工町、元博労町、寄合町
広瀬	雄松町３・４丁目、船場町、鷹匠町５・６丁目、東紺屋町、広瀬通丁３丁目、広瀬中ノ丁２丁目、三木町中ノ丁、三木町掘詰、三木町南ノ丁、南片原２丁目、元町奉行丁２丁目、屋形町１丁目、和歌町
雄湊	網屋町、植松町、上町、小野町１・３丁目、加納町、北田辺丁、北土佐丁、久保丁４丁目、材木丁、伝法橋南ノ丁、土佐町１丁目、西河岸町、西長町２～４丁目、湊、湊北町１丁目、湊紺屋町１・３丁目、湊本町１・３丁目、南牛町、南田辺丁、南中間町
大新	北休賀町、新雑賀町、鈴丸丁、橋向丁、畑屋敷新道丁、畑屋敷千体仏丁、畑屋敷端ノ丁、畑屋敷兵庫ノ丁、南休賀町、南雑賀町、南材木丁１～３丁目
新南	木広町２・３丁目、新留丁、吹屋町１～３丁目、新生町
吹上	島崎町７丁目、鷹匠町５～７丁目
砂山	築港１～６丁目、出口甲賀丁、出口新端ノ丁、出口中ノ丁、出口端ノ丁、土佐町２～３丁目、舟津町１～４丁目、湊、湊御殿１～３丁目、湊通丁北４丁目、湊通丁南４丁目、砂山南２～４丁目
今福	湊、今福４～５丁目、砂山南３～４丁目
高松	打越町、塩屋１丁目、宇須２～４丁目、新堀東２丁目
宮	出水、太田
宮北	黒田、納定
四箇郷	有本、新在家
中之島	中之島
芦原	雄松町３～６丁目、汐見町１～３丁目、島崎町５～６丁目、鷹匠町６丁目、三沢町１・３～４丁目
宮前	杭ノ瀬、小雑賀、中島、手平１・４～６丁目、小雑賀１～３丁目、北中島１丁目
湊	湊、湊１・３・５丁目
野崎	梶取、北島、狐島、福島、島橋東ノ丁、島橋西ノ丁、島橋南ノ丁、島橋北ノ丁
三田	坂田、田尻、和田
松江	松江、松江北１～５・７丁目、松江東４丁目
木本	榎原、古屋
貴志	栄谷、土入、延時
楠見	船所、粟
岡崎	西、森小手穂
西脇	磯の浦、西庄、本脇
安原	朝日、相坂、馬場、冬野、本渡、江南、吉原
有功	園部
加太	大川、加太、深山
雑賀	関戸４丁目、西小二里２・３丁目、西浜、西浜３丁目、松ヶ丘３丁目、塩屋２～６丁目
雑賀崎	雑賀崎
和歌浦	新和歌浦、和歌浦東１～４丁目、和歌浦中１～３丁目、和歌浦西１～２丁目、和歌浦南１～３丁目、和歌川町
名草	内原、紀三井寺、毛見、布引、三葛
田野	田野

（２）南海トラフ巨大地震

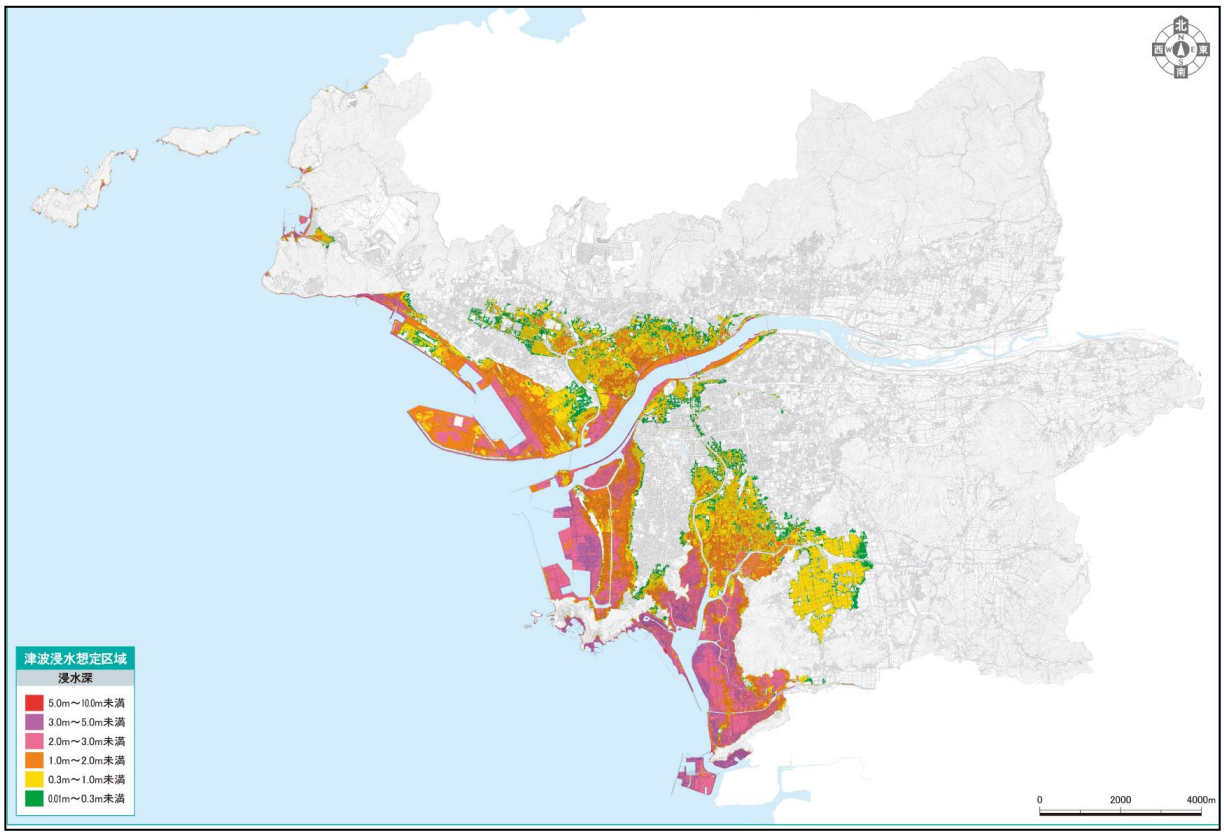
南海トラフ巨大地震の場合、盛土構造物が 75%沈下するものと想定し、３連動地震に比べより甚大な浸水予測結果となった。

そのため、本市内の主要施設中、県立医科大学附属病院が浸水深１ｍ到達時間 60 分、３～５ｍ浸水予測区域内になっているのに加え、和歌山北警察署及び和歌山労災病院が 0.3～１ｍ浸水予測区域内となっている。

■津波による浸水想定予測量

項　目		予　測　量
津　波　高	最　　大	8m
	平　　均	6m
平均浸水深		1.5m
津波浸水面積		3,660ヘクタール
津波到達時間	津波高1m	40分
	津波高3m	50分
	津波高5m	53分

■津波浸水想定図



（資料：和歌山県）

■浸水想定区域町丁目

地区名	浸水想定区域町丁目
本町	宇治鉄砲場、宇治袋町、宇治家裏、宇治藪下、嘉家作丁、北釘貫丁、北新１～５丁目、北新戎ノ丁、北新桶屋町、北新金屋丁、北新七軒丁、北新中ノ丁、北新博労町、米屋町、雑賀町、新魚町、畳屋町、鍋屋町、西仲間町１～２丁目、西旅籠町、東釘貫丁２～３丁目、東仲間町１～２丁目、東旅籠町、本町４～９丁目、元寺町１～５丁目、元寺町北ノ丁、元寺町西ノ丁、元寺町東ノ丁、元寺町南ノ丁、山吹丁
城北	十一番丁、十二番丁、十三番丁、一筋目、二筋目、三筋目、四筋目、五筋目、石橋丁、板屋町、九家ノ丁、源蔵馬場１～２丁目、鷺ノ森、鷺ノ森片町、鷺ノ森新道、鷺ノ森中ノ丁、鷺ノ森西ノ丁、鷺ノ森東ノ丁、鷺ノ森明神丁、杉ノ馬場１～５丁目、徳田木丁、西鍛冶屋町、西釘貫丁１～３丁目、西蔵前丁、西布経丁１～６丁目、西ノ店、橋丁、東蔵前丁、東布経丁１～６丁目、舟大工町、卜半町、元博労町、山吹丁、寄合町
広瀬	雄松町１～４丁目、雑賀道、島崎町１～４丁目、船場町、鷹匠町１～６丁目、谷町、西紺屋町２丁目、東紺屋町、広瀬通丁２～３丁目、広瀬中ノ丁１～２丁目、三木町中ノ丁、三木町堀詰、三木町南ノ丁、南片原１～２丁目、元町奉行丁１～２丁目、屋形町１・４～５丁目、和歌町
雄湊	網屋町、植松町、上町、小野町１・３丁目、駕町、加納町、北相生丁、北牛町、北甚五兵衛丁、北田辺丁、北中間町、北土佐丁、久保丁４丁目、材木丁、伝法橋南ノ丁、土佐町１丁目、西河岸町、西長町１～４丁目、東長町１～４丁目、湊、湊北町１丁目、湊紺屋町１～３丁目、湊本町１・３丁目、南牛町、南甚五兵衛丁、南田辺丁、南中間町、七曲り
大新	餌差町１丁目、北休賀町、蔵小路、毛革屋丁、新雑賀町、新通１～６丁目、新中通１丁目、鈴丸丁、茶屋町、橋向丁、畑屋敷新道丁、畑屋敷千体仏丁、畑屋敷西ノ丁、畑屋敷端ノ丁、畑屋敷兵庫ノ丁、南休賀町、南雑賀町、南材木丁１～３丁目、柳丁
新南	木広町２～５丁目、田中町２～５丁目、新留丁、吹屋町１～５丁目、新生町、北出島１丁目
吹上	島崎町７丁目、鷹匠町５～７丁目
砂山	金龍寺丁、作事丁、築港１～６丁目、出口甲賀丁、出口新端ノ丁、出口中ノ丁、出口端ノ丁、土佐町２～３丁目、舟津町１～４丁目、湊、湊御殿１～３丁目、湊通丁北４丁目、湊通丁南４丁目、南相生丁、砂山南２～４丁目
今福	湊、葵町、今福４～５丁目、砂山南３～４丁目
高松	打越町、塩屋１丁目、宇須２～４丁目、新堀東２丁目、東高松１～２・４丁目
宮	北出島、出水、太田
宮北	黒田、納定
四箇郷	有本、新在家
中之島	中之島
芦原	雄松町１～６丁目、汐見町１～３丁目、島崎町５～６丁目、鷹匠町６丁目、三沢町１～４丁目
宮前	手平、杭ノ瀬、小雑賀、新中島、田尻、手平出島、中島、南出島、手平１～６丁目、小雑賀１～３丁目、北中島１丁目
湊	湊、湊１～５丁目
野崎	梶取、北島、狐島、野崎、福島、松江、島橋東ノ丁、島橋西ノ丁、島橋南ノ丁、島橋北ノ丁
三田	坂田、田尻、和田
松江	松江、松江東１・４丁目、松江中２～３丁目、松江北１～５・７丁目
木本	榎原、木ノ本、古屋、西庄、梅原、松江北７丁目
貴志	梅原、栄谷、次郎丸、土入、中、中野、延時、向
楠見	粟、市小路、楠見中、善明寺、船所
岡崎	神前、西、森小手穂
西脇	磯の浦、西庄、本脇
安原	朝日、桑山、相坂、馬場、広原、冬野、本渡、吉原、江南
有功	園部
加太	大川、加太、深山
雑賀	秋葉町、関戸１～５丁目、新高町、西小二里１～３丁目、西浜、西浜１～３丁目、松ヶ丘３丁目、塩屋２～６丁目
雑賀崎	雑賀崎
和歌浦	新和歌浦、和歌浦東１～４丁目、和歌浦中１～３丁目、和歌浦西１～２丁目、和歌浦南１～３丁目、和歌川町
名草	内原、紀三井寺、毛見、布引、三葛
田野	田野

４　土砂災害の予測

（１）東海・東南海・南海３連動地震、南海トラフ巨大地震

斜面崩壊による被害は、崩壊危険度が高いと判断された斜面の 10%が崩壊するものとし、その影響範囲にある家屋について被害を求めた。

「本節第４項」参照

（２）中央構造線の地震

土砂災害危険箇所において崖崩れ及び地すべりが発生する危険性は以下のとおり予測される。

	予測結果	
	危険性の評価	中央構造線の地震
地すべり危険箇所等 （全9か所）	地すべりの危険性が高い	9 か所
	〃　やや高い	0 か所
	〃　低い	0 か所
土石流危険渓流 （全304か所）	危険渓流区域内の最大震度が5弱	9 か所
	〃　5強	127 か所
	〃　6弱	168 か所

第６項　地震による物的・人的被害の予測

１　東海・東南海・南海地震３連動地震及び南海トラフ巨大地震

			東海・東南海・南海３連動地震			南海トラフ巨大地震		
マグニチュード			8.7			9.1		
震　　度			平野部で震度5強～6弱			平野部で震度6強～7		
液状化危険度			平野部で液状化危険度「極めて高い」～「高い」			平野部の大半で液状化危険度「極めて高い」		
津 波 被 害			沿岸部の低地の広い範囲で浸水			沿岸部の低地の広い範囲で浸水		
建物被害	全壊棟数		揺れ等	5,200棟	7,300棟※	揺れ等	32,000棟	55,200棟※
			津　波	1,300棟		津　波	10,000棟	
	全壊率		揺れ等	4%	5%	揺れ等	22%	38%
			津　波	1%		津　波	7%	
	半壊棟数		36,900棟			42,600棟		
	半壊率		25%			29%		
	焼失棟数		940棟			13,300棟		
	焼失率		1%			9%		
ﾗｲﾌﾗｲﾝ被害	上水道	管被害か所数	1,200か所			5,500か所		
		被害率	0.81か所/km			3.73か所/km		
		断水人口（発災直後）	337,600人			358,100人		
	下水道	支障人口（発災直後）	114,700人			143,000人		
		支障率（発災直後）	80%			100%		
	都市ガス	復旧対象となる供給停止戸数（発災直後）	15,900戸			10,500戸		
		同供給停止率（発災直後）	35%			23%		
	電力	停電軒数（1日後）	25,400軒			89,600軒		
		停電率（1日後）	18%			96%		
	通信	固定電話不通（発災直後）	16,600回線			78,400回線		
		同　不通率（発災直後）	21%			100%		
		携帯電話ﾗﾝｸ(発災直後)	被害なし			非常につながりにくい		
交通被害	道路	地震被害か所数	21か所			22か所		
		津波被害か所数	8か所			20か所		
		浸水深30ｃｍ以上の区間(km)	52区間			103区間		
	鉄道	地震被害か所数	100か所			118か所		
		津波被害か所数	20か所			45か所		
		浸水深30ｃｍ以上の区間(km)	10区間			23区間		
港湾施設被害（和歌山下津港）			和歌山港区：岸壁･物揚場4ﾊﾞｰｽ その他係留施設2ﾊﾞｰｽ 被害率5% 海南港区：岸壁･物揚場1ﾊﾞｰｽ その他係留施設2ﾊﾞｰｽ 被害率9% 下津港区：岸壁･物揚場1ﾊﾞｰｽ その他係留施設3ﾊﾞｰｽ 被害率10% 有田港区：岸壁･物揚場1ﾊﾞｰｽ その他係留施設1ﾊﾞｰｽ			和歌山港区：岸壁･物揚場57ﾊﾞｰｽ その他係留施設27ﾊﾞｰｽ 被害率75% 海南港区：岸壁･物揚場10ﾊﾞｰｽ その他係留施設18ﾊﾞｰｽ 被害率77% 下津港区：岸壁･物揚場7ﾊﾞｰｽ その他係留施設24ﾊﾞｰｽ 被害率87% 有田港区：岸壁･物揚場4ﾊﾞｰｽ その他係留施設3ﾊﾞｰｽ		

	東海・東南海・南海３連動地震	南海トラフ巨大地震
	被害率22%	被害率95%
ヘリコプター発着予定地（津波浸水30ｃｍ以上箇所）	設定施設12か所のうち2か所	3か所

注）全壊棟数※合計には焼失分を含む。（予測結果等は概数で示している。）

			東海・東南海・南海３連動地震	南海トラフ巨大地震
人的被害（冬の18時 風速8m）	死者数		2,100人	18,100人
	負傷者	重傷者数	1,300人	4,800人
		軽傷者数	3,500人	13,600人
	閉込者※		18人	480人
避難者数（夏の12時 風速4m）	1日後	避難者総数	133,100人	227,900人
		うち避難所避難者	88,300人	150,300人
		うち避難所外生活者	44,900人	77,700人
	1週間後	避難者総数	77,700人	118,200人
		うち避難所避難者	56,200人	89,500人
		うち避難所外生活者	21,600人	28,700人
	1か月後	避難者総数	100,900人	193,500人
		うち避難所避難者	30,300人	58,100人
		うち避難所外生活者	70,600人	135,500人
帰宅困難者数			86,800人	86,800人
要配慮者利用施設等※の津波浸水予測			津波浸水0.3m以上の区域に立地する施設：109施設	津波浸水0.3m以上の区域に立地する施設：270施設

注）閉込者※の一部は自力脱出や家族・近隣者等による早期避難ができず、津波浸水域に残された場合には死亡する者があるものとした。

注）要配慮者利用施設等※は、学校等（幼稚園・小学校・中学校・高等学校）、児童福祉施設、障害児者施設、老人施設、病院、その他（隣保館・地域福祉センター等）とした。

２　中央構造線の地震

	中央構造線の地震			
マグニチュード				8.0 相当
震　　度				平野部で震度6強～7
液状化危険度				平野部の大半で液状化危険度「極めて高い」
津 波 被 害				－
建物被害	全壊棟数	地 震 動	33,024	33,483 棟
		津　　波	－	
		土砂災害	459棟	
	全壊率			20.1 %
	半壊棟数			38,518 棟
	半壊率			23.1 %
火災被害（冬の18時に地震が発生した場合）	炎上出火件数			98 件
	焼失棟数			30,648 棟
	焼失面積			9.5 km^2
ﾗｲﾌﾗｲﾝ被害	上水道 被害箇所数			1,305 か所
	下水道 被害箇所数			1,823 か所
	都市ｶﾞｽ 被害箇所数			325 か所
	電力 電柱被害本数			1,866 本
	電話 電話柱被害本数			406 本
交通・輸送機能被害				大規模な被害
水際構造物被害（全70施設）				被害なし：1施設 簡単な手直しで供用可能：0施設 簡単な手直しでは供用不可能：69施設
危険物施設被害	危険性物質の流出件数			301 件
	危険性物質の出火件数			4 件
人的被害（冬の18時に地震が発生した場合）	死者数			1,788 人
	負傷者	重篤者数		403 人
		重傷者数		2,175 人
		中等傷者数		4,728 人
	要救助者数			10,200 人
	避難所生活者数			130,867 人

第２節　風水害の想定

風水害の原因は、集中豪雨、台風等が考えられ、計画策定のための想定される主な災害を定めた。

第１項　風水害の事例

和歌山市は古くから、紀の川の氾濫による水害を被っており、紀の川の水害は、江戸時代には45回の発生が記録されている。

明治22年（1889年）には、台風が南海上から非常にゆっくり北上しながら高知県東部に上陸して、その後北上を続け、鳥取県を通り日本海に抜けた。この台風により、奈良県南部と和歌山県南部及び紀中内陸に大雨が降った。奈良県南東部に降った大雨により、紀の川右岸、左岸とも決壊し、紀の川のほとんどの支流も氾濫し、紀の川流域一体が浸水した。県下の被害は、死者1,247人、家屋の全・半壊3,868戸、同流失3,675戸、床上・床下浸水33,081戸等になっている。

昭和９年（1934年）９月の室戸台風、昭和34年（1959年）９月の伊勢湾台風は、全国で死者 3,000人以上の被害をもたらし、歴史に残る台風となり、和歌山県に甚大な被害を与えた。

室戸台風は、９月21日明け方室戸岬付近に上陸して、上陸時に室戸岬測候所で911.6hPaを観測し、非常に強い台風となった。進路付近に記録的災害を起こしながら、同６時頃徳島市西方を経て同７時45分阪神間に上陸して、京都北西を経て昼頃佐渡、同夜東北中部を北東進し、太平洋上に去った。このため日本の大部分は稀有の風水害となり、特に和歌山県下では高潮災害による被害が沿岸一帯に起こり、特に有田郡以北沿岸は最も惨状を呈した。

台風のコース別特徴を示すため、伊勢湾台風（昭和34年(1959年)９月）と第二室戸台風（昭和36年(1961年)９月）及び最近の20年間（1999年～2018年）の災害について、和歌山市における気象状況（和歌山地方気象台　観測資料）と災害の発生状況を中心に記述する。

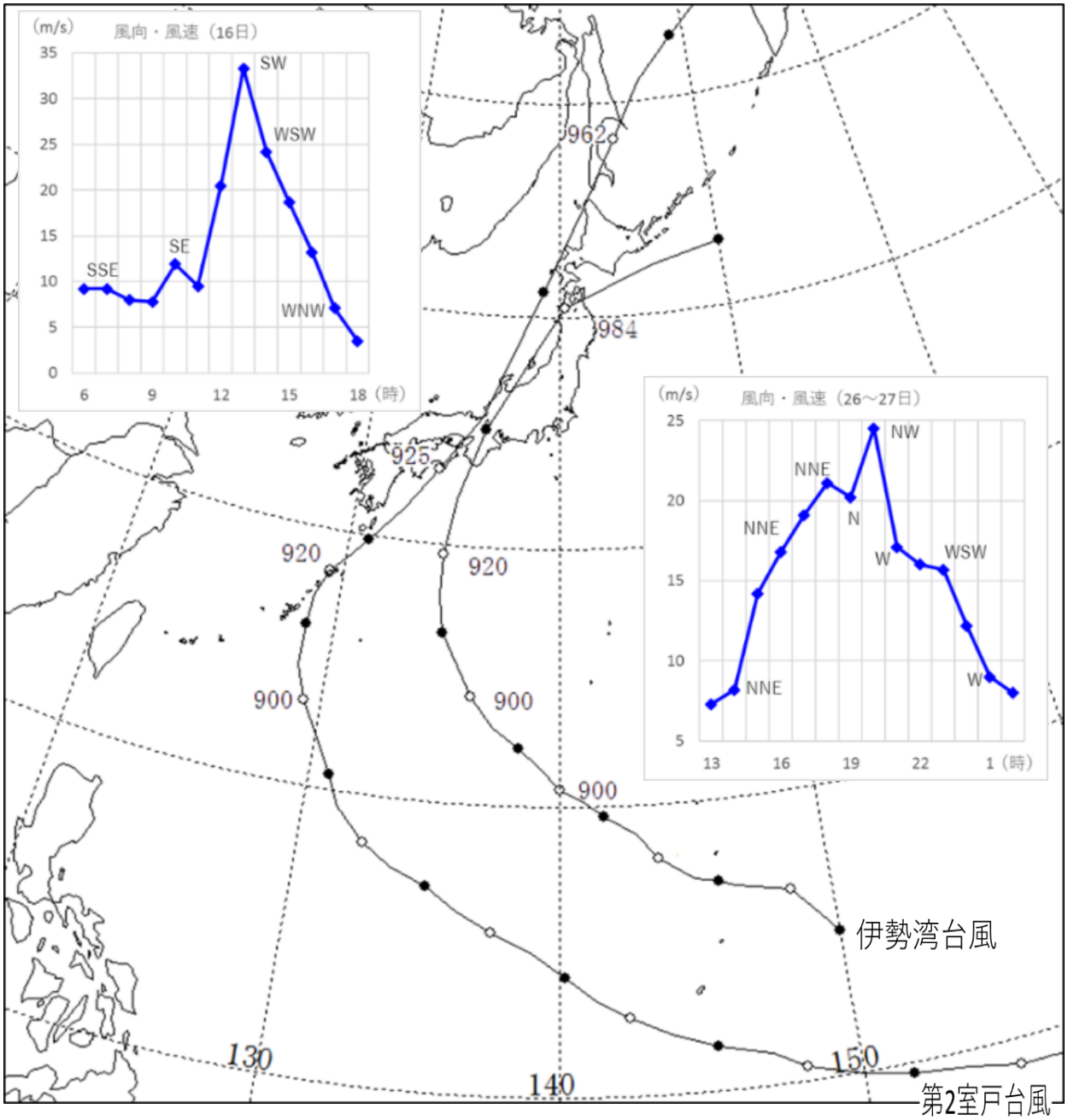
１　伊勢湾台風、第二室戸台風

項目	概要
伊勢湾台風	昭和34年（1959年）９月26日18時すぎ潮岬の西方に上陸し、潮岬測候所では、18時13分最低気圧929.2hPaを観測し、和歌山市では、18時20分　最大瞬間風速38.3m/s、20時00分　最大風速24.5m/sを観測した。 和歌山市で、死者１人、負傷者２人、家屋の全・半壊25棟、同流失31棟、床上・床下浸水 234棟等の被害が起こり、紀の川では、奈良県川上村入之波一帯で、900mm程度の豪雨が降ったため、岩出市船戸の水位は、26日21時に警戒水位4.0mを突破し、22時に紀の川に対し「洪水警報」が出された。
第二室戸台風	和歌山市では、昭和36年（1961年）９月16日12時43分　最大瞬間風速56.7m/s、12時50分　最大風速35.0m/sを観測した。和歌山市での被害は、死者３人、負傷者63人、家屋の全・半壊1,658棟、同流失45棟、床上・床下浸水11,258棟等の被害が起こり、紀の川上流の紀伊半島の山岳地帯で、500～600mmの大雨が降り、岩出市船戸の水位は16日20時00分4.40mと警戒水位を上回った。

【伊勢湾台風と第二室戸台風の記録】

	伊勢湾台風	第二室戸台風
最低海面気圧	957.1 hPa	939.0hPa
最大風速（10分間平均）・風向	24.5m/s・北西	35.0m/s・南南西
最大瞬間風速・風向	38.3m/s・北北東	56.7m/s・南
総降水量 降り始め 降り終わり	78.3mm 25日06時45分 26日22時35分	151.8mm 15日00時20分 16日17時32分
最大1時間降水量	20.7mm	34.0mm
風速10m/s以上吹続時間	26日14時30分から 27日00時50分まで	16日10時00分から 16日16時00分まで
風向の変化	反時計回り	時計回り

■台風経路図



和歌山地方気象台気象観測資料

２　最近の災害

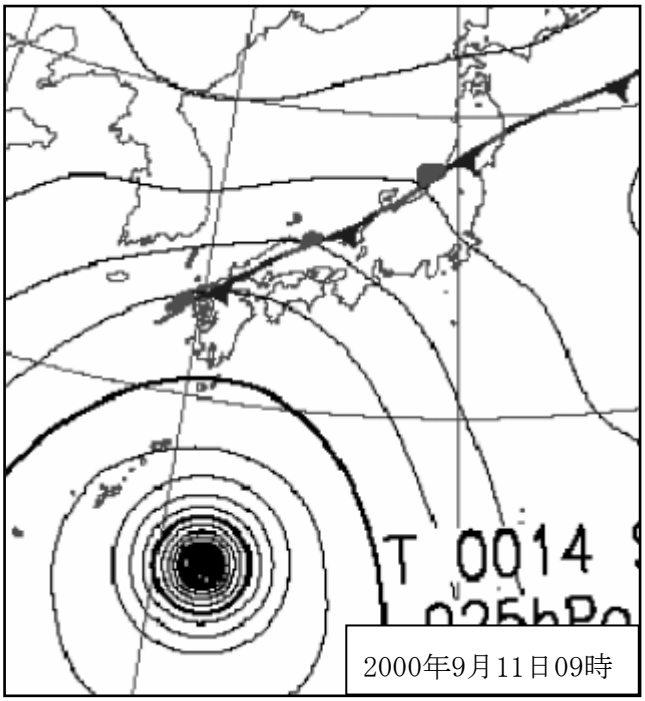
（１）平成12年（2000年）９月10日から12日にかけて台風と前線による大雨（浸水害）

大型で非常に強い台風第14号が南海上から北上し、日本海に停滞していた前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み前線活動が活発になり、和歌山市では９月10日の夕方から雨が降り出し12日夜にかけ400㎜を超える大雨となった。特に９月11日の夜から１時間30㎜を超す短時間強雨が数時間続いた。和歌山市では最大24時間降水量（９月11日07時から12日07時まで）375.0㎜を観測した。また11日の日降水量353.5㎜は観測史上１位となった。

和歌山市での被害は、床上浸水 50 棟、床下浸水 859 棟等であった。

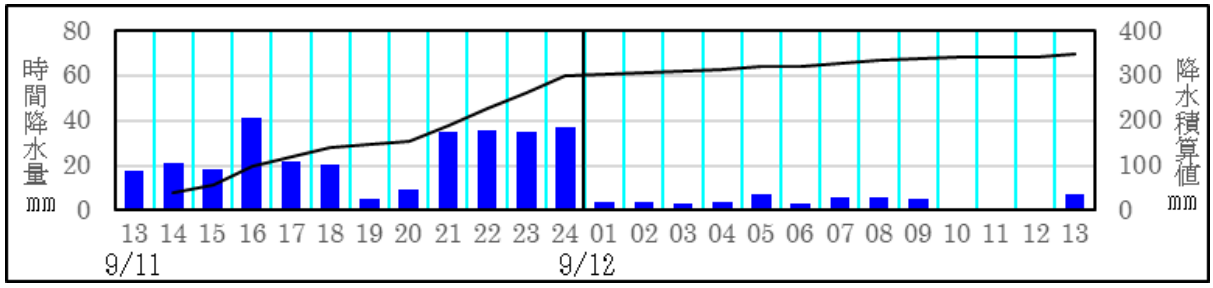
前線が和歌山市の北側に位置し、南から台風などが北上する気圧配置は、前線活動が活発となって和歌山市で大雨が降りやすい気圧配置のひとつである。

■地上天気図（2000年9月11日9時）



■アメダス時系列グラフ（2000年9月11日13時～2000年9月12日13時）

和歌山市



（和歌山地方気象台の観測データによる）

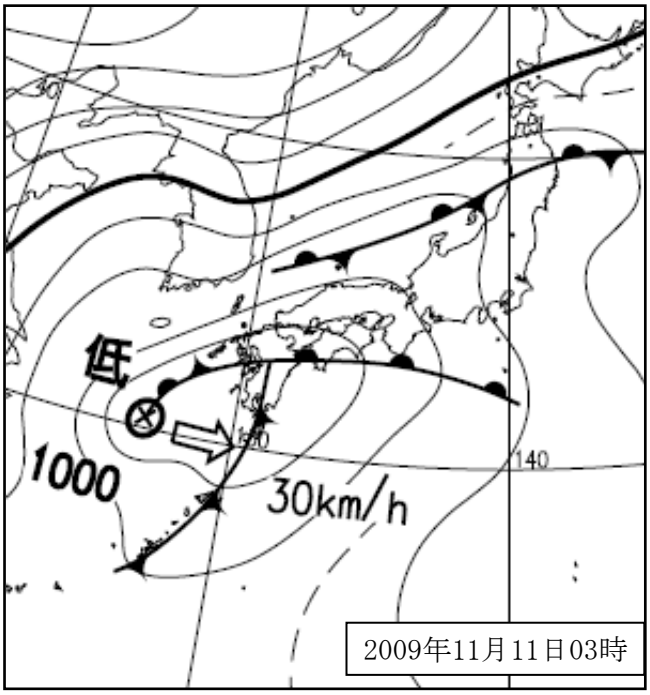
（２）平成21年（2009年）11月11日前線による大雨（浸水害）

東シナ海の低気圧から四国の南岸を経て紀伊半島にのびる温暖前線に向かって南海上から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。

このため、西日本の太平洋側を中心に雷を伴った大雨となり、11 日 3 時 57 分までの前１時間に和歌山市で 122.5㎜ の猛烈な雨を観測し、観測史上１位となった。また、11 日２時 58 分までの前１時間に和歌山市友ヶ島で 83.5 ㎜の猛烈な雨を観測した。

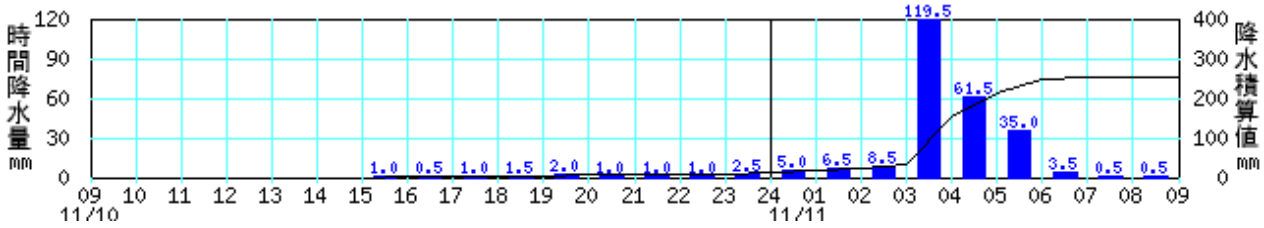
和歌山市での被害は、死者１名、床上浸水 612 棟、床下浸水 1,768 棟等であった。

■地上天気図（2009年11月11日3時）



■アメダス時系列グラフ（2009 年 11 月 10 日 9 時～2009 年 11 月 11 日 9 時）

和歌山市



（和歌山地方気象台の観測データによる）

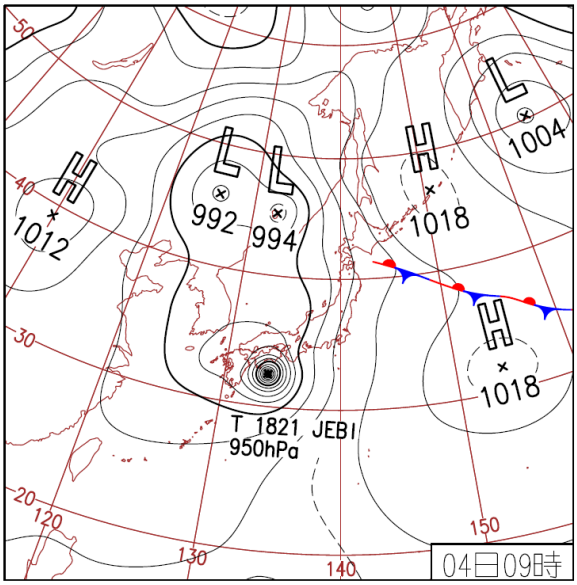
（３）平成30年（2018年）９月４日の台風第21号による暴風

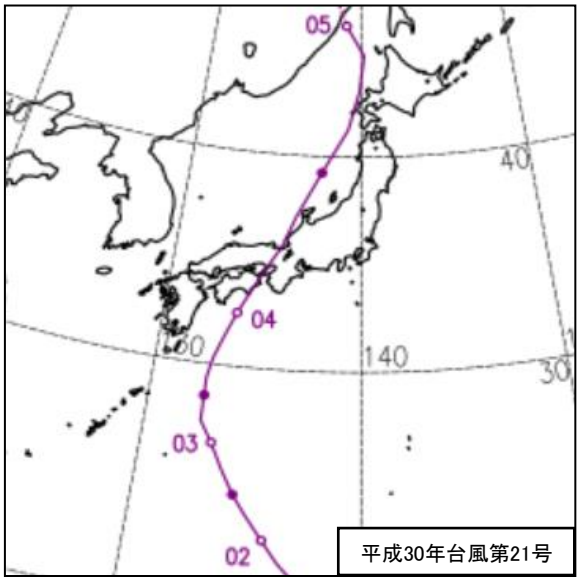
台風第21号は、９月４日12時前に非常に強い勢力で徳島県南部に上陸し、その後、14時前には兵庫県神戸市付近に再び上陸し近畿地方を縦断した。

この台風の接近により、４日の県内は猛烈な風が吹き、和歌山市で最大風速39.7m/s、最大瞬間風速57.4m/sを観測し、いずれも観測史上１位となった。

和歌山市での被害は、全壊５棟、大規模半壊２棟、半壊39棟等であった。

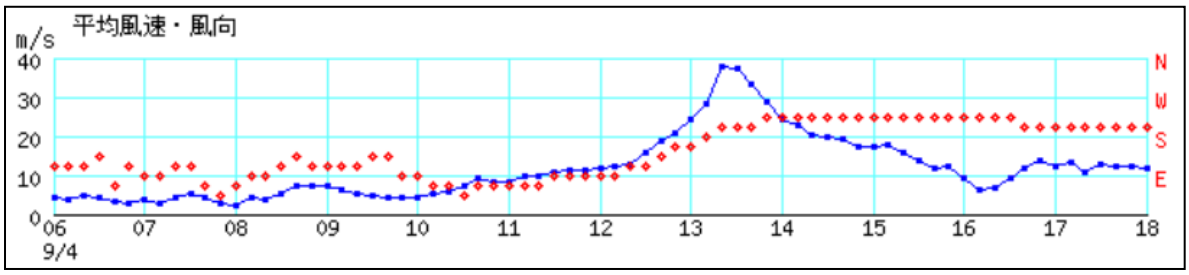
■地上天気図（2018年9月4日9時）と台風経路図





■アメダス時系列グラフ（2018年9月4日6時～2018年9月4日18時）

和歌山市



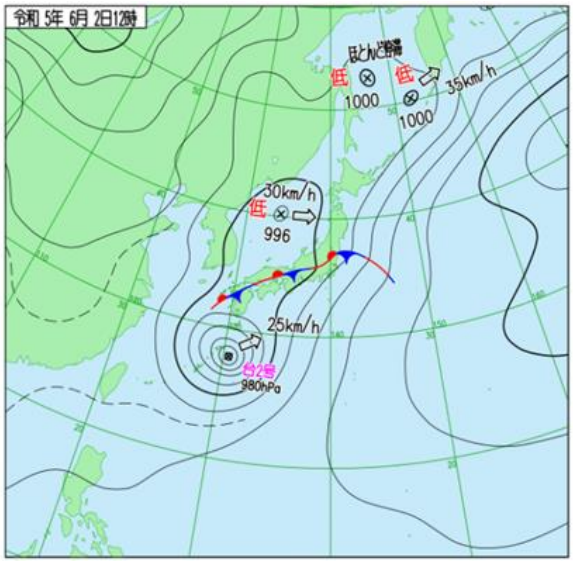
（和歌山地方気象台の観測データによる）

（４）令和５年（2023年）６月２日から３日にかけて台風と前線による大雨

６月２日から３日にかけて梅雨前線が西日本に停滞し、前線に向かって台風第２号周辺の暖かく湿った空気が流れ込んだため大気の状態が非常に不安定となり、近畿地方、四国地方の太平洋側を中心に記録的な大雨となった。６月２日は「顕著な大雨に関する和歌山県気象情報」が初めて和歌山県内に発表され、線状降水帯が発生したため、降水が長時間持続した。和歌山市では24時間降水量（６月１日22時10分から２日22時10分まで）202.0㎜を観測し、亀の川が越水するなど、和歌山市南部で被害が発生した。

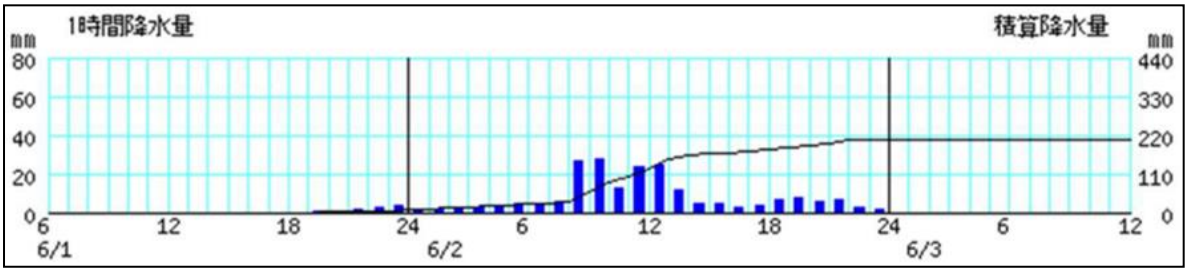
和歌山市での被害は、床上浸水71棟、床下浸水203棟等であった。

■地上天気図（2023年6月2日21時）



■アメダス時系列グラフ（2023年6月1日6時～2023年6月3日12時）

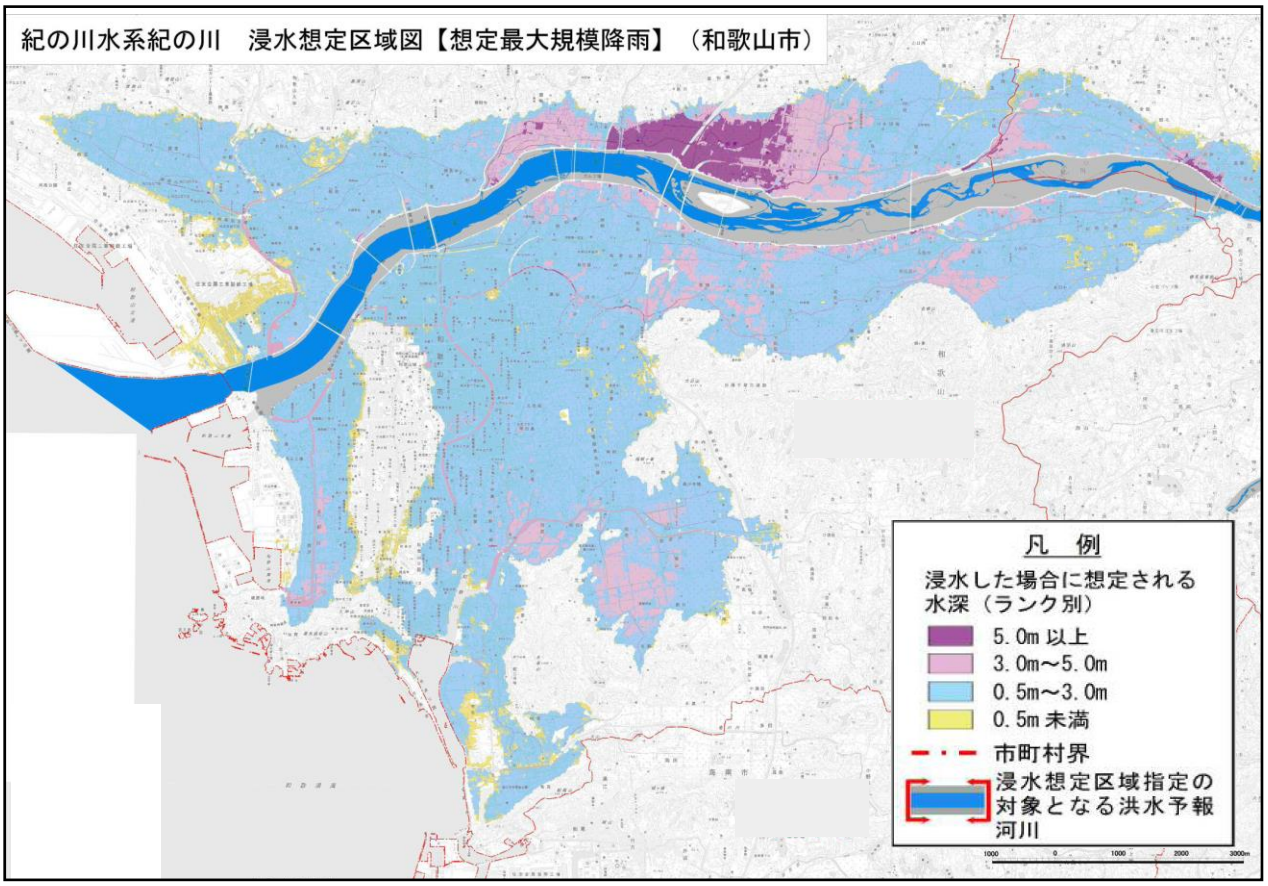
和歌山市



第２項　河川の浸水想定

１　紀の川の氾濫

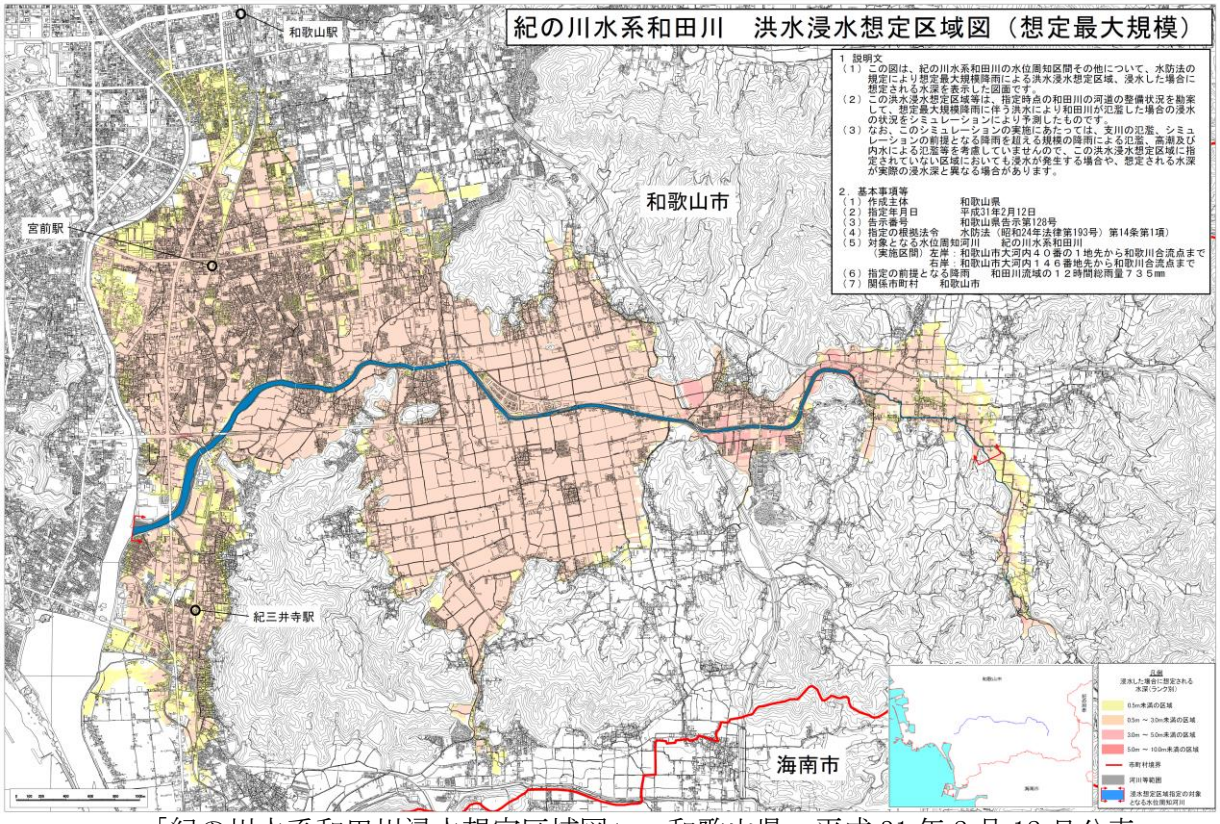
国土交通省近畿地方整備局は、紀の川浸水想定区域図を公表した。（市内面積のおよそ半分が浸水）



「紀の川水系紀の川浸水想定区域図」国土交通省近畿地方整備局　平成28年6月14日公表

２　和田川の氾濫

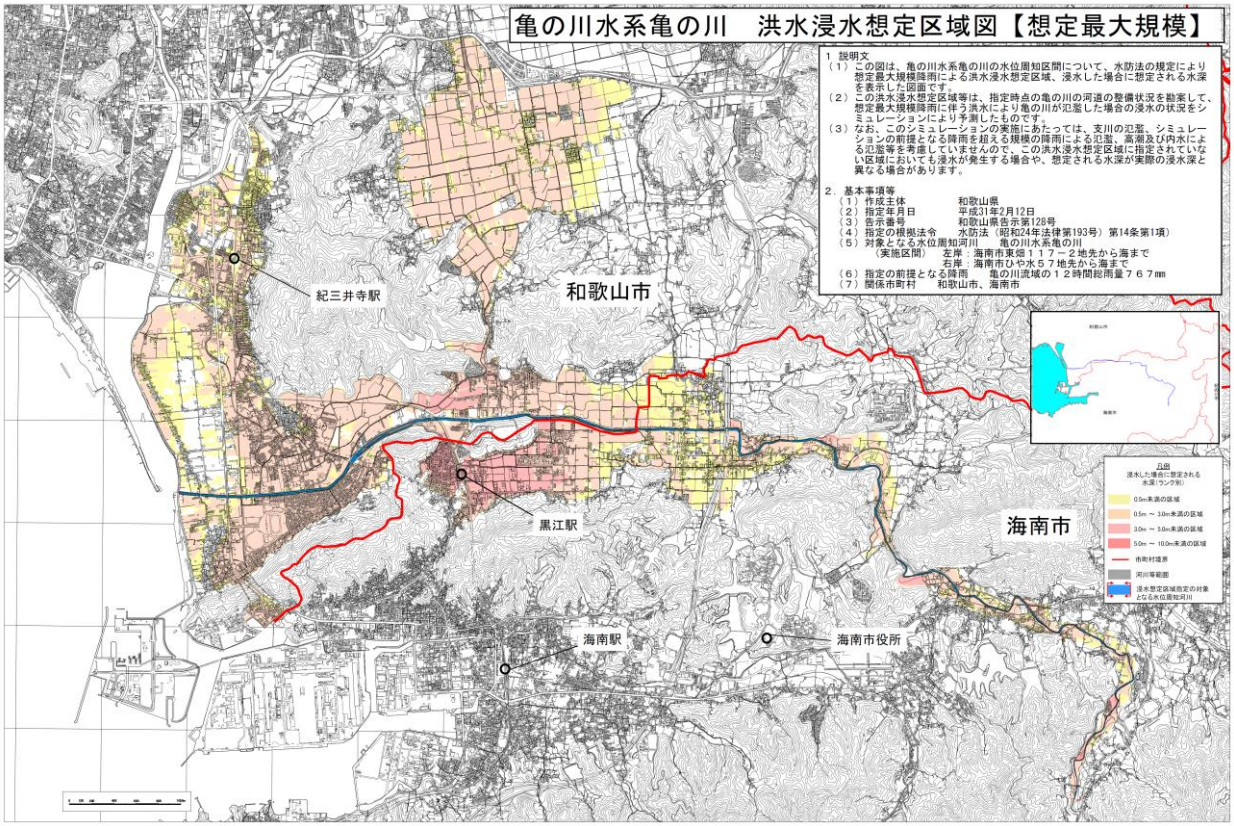
和歌山県は、和田川浸水想定区域図を公表した。



「紀の川水系和田川浸水想定区域図」　和歌山県　平成 31 年 2 月 12 日公表

３　亀の川の氾濫

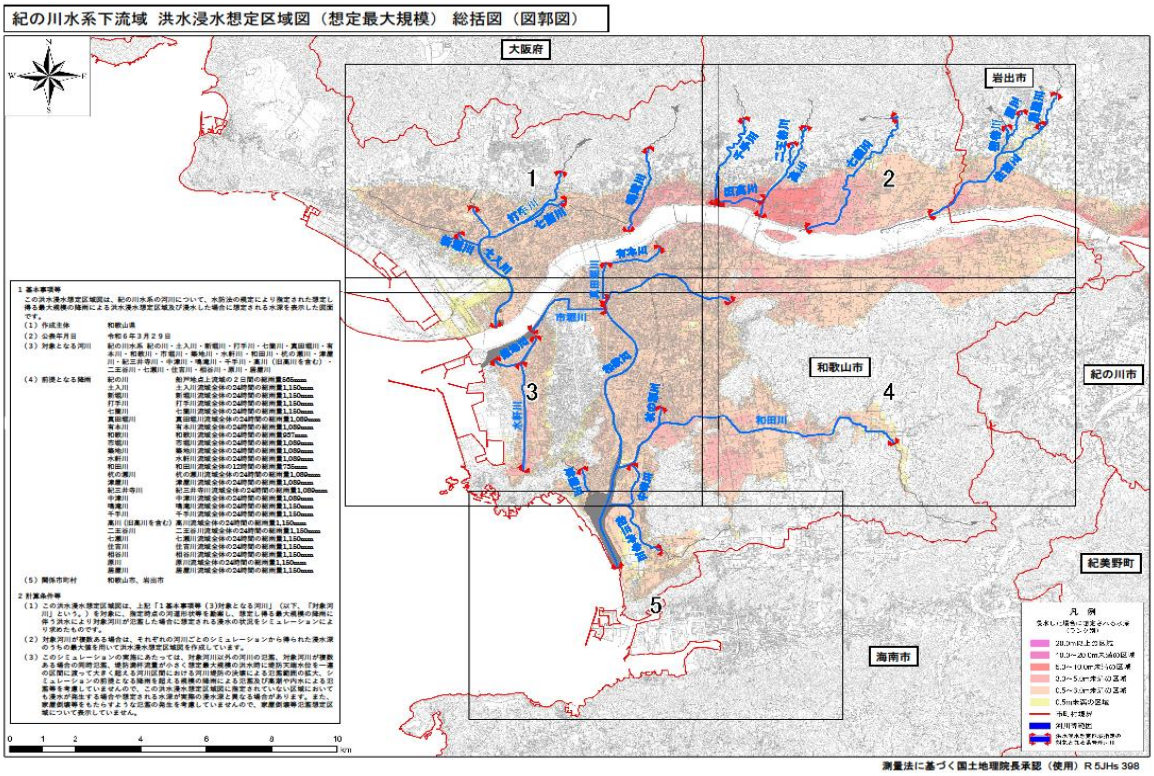
和歌山県は、亀の川浸水想定区域図を公表した。



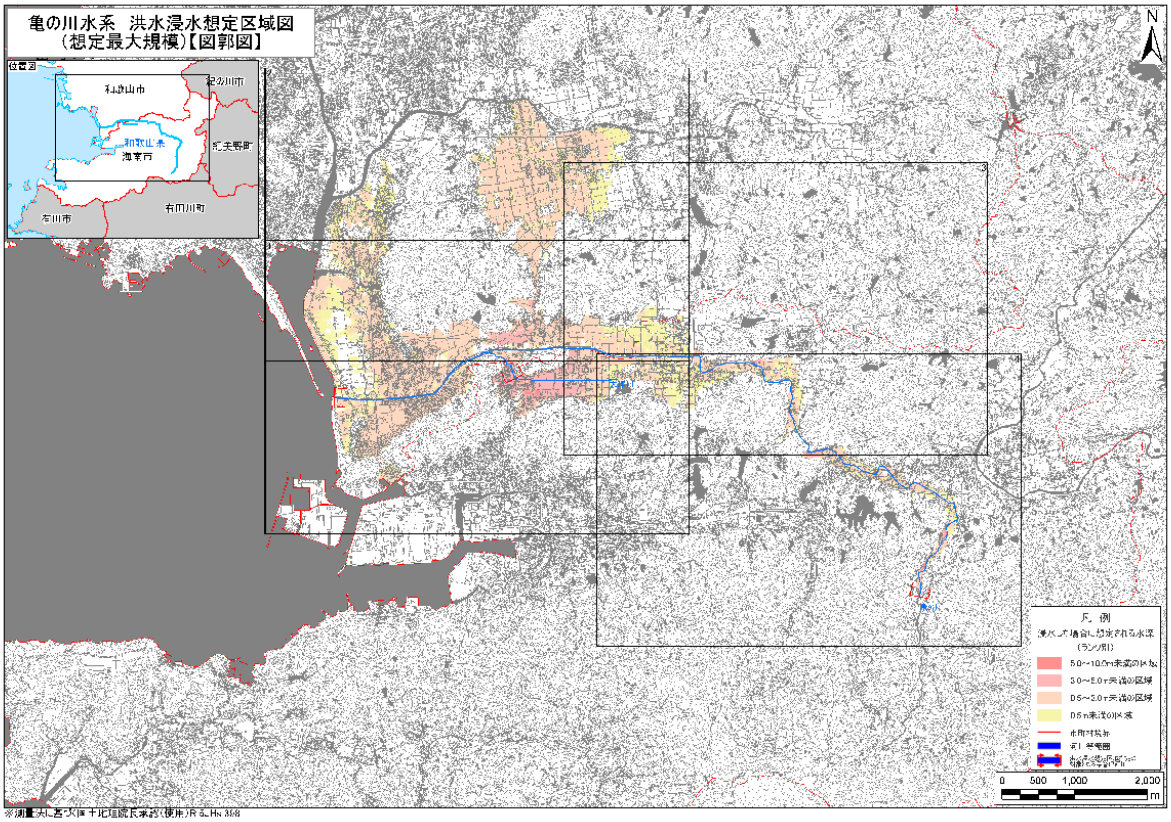
「亀の川水系亀の川浸水想定区域図」　和歌山県　平成 31 年 2 月 12 日公表

４　小規模河川等の氾濫

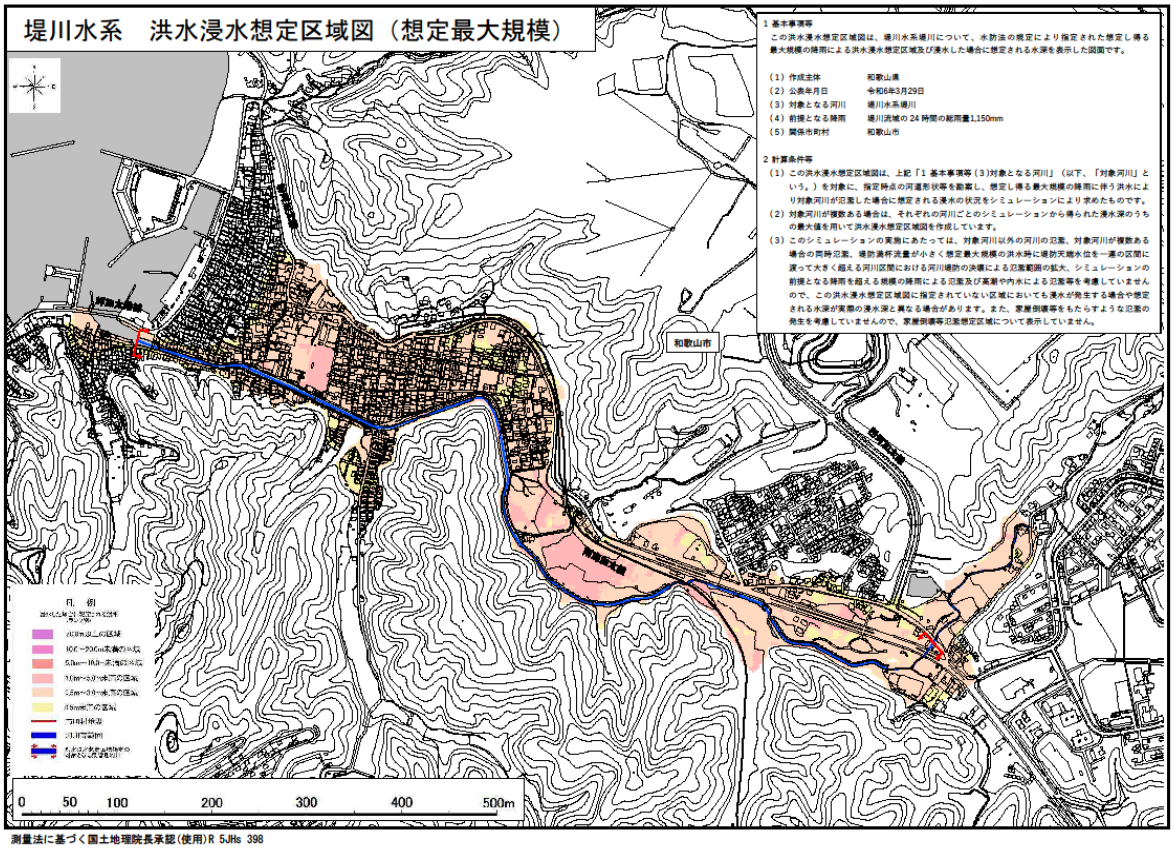
和歌山県は、洪水予報河川や水位周知河川の指定外区間や小規模河川（洪水予報河川及び水位周知河川以外の河川）を含めた洪水浸水想定区域図を公表した。



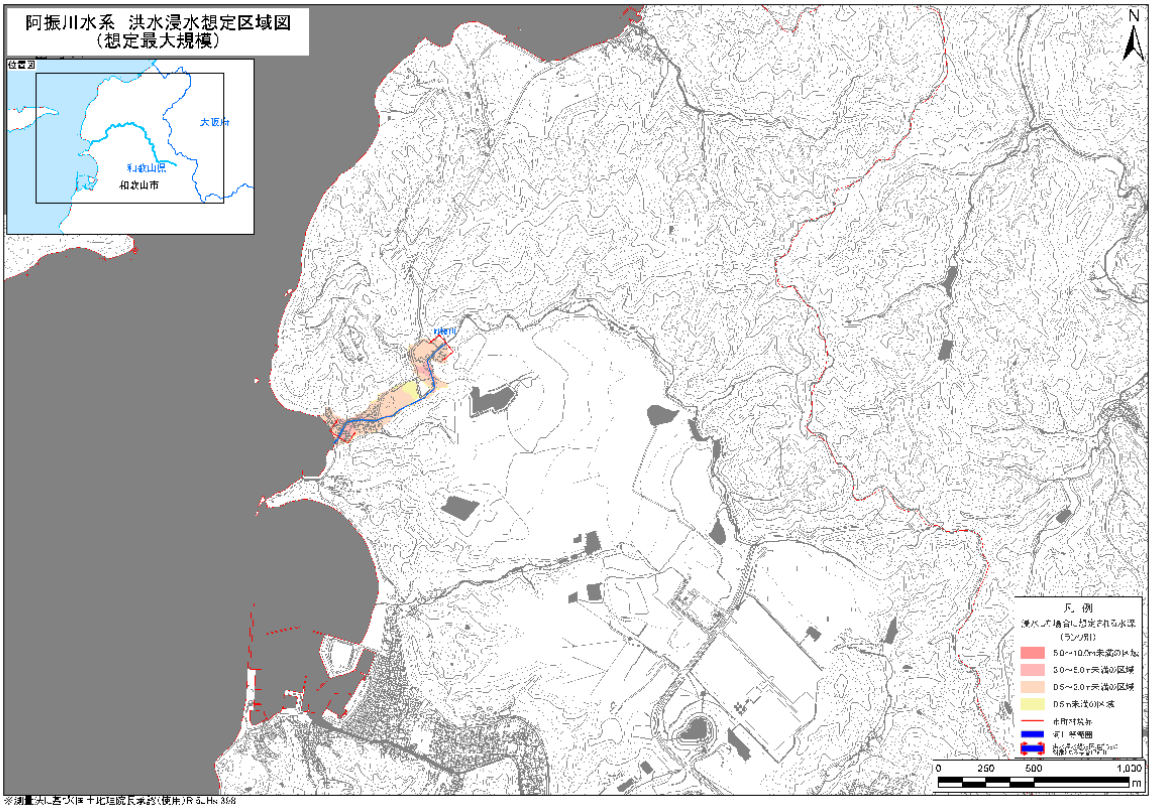
「紀の川水系（下流域）洪水浸水想定区域図」　和歌山県　令和 6 年 3 月 29 日公表



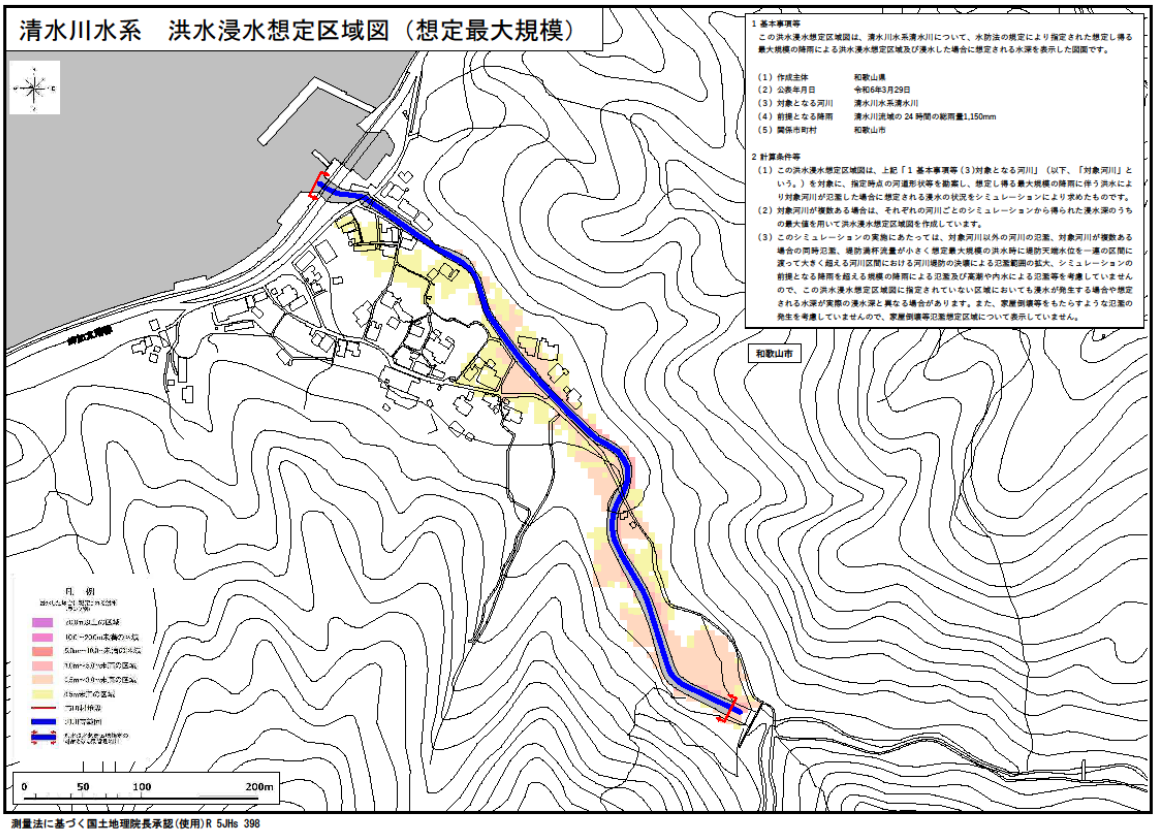
「亀の川水系洪水浸水想定区域図」　和歌山県　令和６年３月 29 日公表



「堤川水系洪水浸水想定区域図」　和歌山県　令和６年３月 29 日公表



「阿振川水系洪水浸水想定区域図」　和歌山県　令和６年３月 29 日公表



「清水川水系洪水浸水想定区域図」　和歌山県　令和６年３月 29 日公表

第３項　風水害の想定

本計画の想定条件として、台風及び河川氾濫を想定する。

１　台風被害想定

災害想定規模は、第二室戸台風を想定する。

２　河川氾濫想定

国土交通省近畿地方整備局「紀の川浸水想定区域図」の浸水範囲
和歌山県「和田川浸水想定区域図」の浸水範囲
和歌山県「亀の川浸水想定区域図」の浸水範囲

第５章　防災ビジョン

第５章　防災ビジョン

市職員及び市民が災害に対する危機意識を持ち、充分な災害対応能力を備えるとともに、災害応急活動体制を整備し、災害が拡大しないための都市基盤の整備を長期的視点にたって行う。

第１項　防災ビジョンと施策

防災ビジョンは、長期的総合的な視点に基づき、防災の目的を達成する基本目標である。
防災ビジョンの基本目標と、その達成のための基本施策とは、次のとおりである。

項目	概要
基本目標	１　人命の保護が最大限図られる。 ２　市及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持される。 ３　市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化 ４　迅速な復旧復興
基本施策	１　災害に強いまちづくり ２　災害に強いひとづくり ３　災害に強いシステムづくり

第２項　ビジョン達成への視点

ビジョンと現実との隔たりは大きく、この隔たりを埋める（施策遂行）ために、次の視点から、施策を行う。

１　長期展望に立つ。
２　短期の成果（形式的成果）にこだわらず、着実な前進を続ける。
３　官民の合意形成と協同活動化を目指す。
４　あらゆる局面で、防災的視点をおろそかにしない。
５　危機管理体制を官民共に徹底させる。

第２編　災害予防計画

第１章　災害に強いまちづくり

第２章　災害に強いひとづくり

第３章　災害に強いシステムづくり

第４章　災害の抑制と被害の軽減

第１章　災害に強いまちづくり

第１章　災害に強いまちづくり

第１節　防災空間の整備

計画の方針

都市計画に基づく基盤整備を進めるとともに、防災機能に充実した施設整備を図り、災害に強いまちづくりを推進する。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　都市計画に関する防災化	都市計画部	県県土整備部
第２項　公園等の整備	都市計画部、農林水産部	
第３項　不燃化促進事業の推進	都市計画部	
第４項　公共土木施設の整備	農林水産部、建設総務部、道路河川部	県県土整備部、県農林水産部、近畿地方整備局和歌山河川国道事務所
第５項　防災拠点の整備	危機管理部、各部	
第６項　地籍調査の推進等	建設総務部、都市計画部	

第１項　都市計画に関する防災化

１　立地適正化計画による防災化

市（都市計画部）は、立地適正化計画に基づく居住誘導区域の設定において、災害リスクを十分考慮し、防災まちづくりの推進を図る。

２　地域指定による防災化

市（都市計画部）は、火災に強いまちづくりを推進するため、建築物が密集している地域を対象に、防火機能向上の観点から、防火地域及び準防火地域の指定を行い、建築物の不燃化を促進する。

項目	概要
防火地域	階数が３以上であり、又は延べ面積が100㎡を超える建築物は耐火建築物とし、その他の建築物は耐火建築物、又は準耐火建築物としなければならない。
準防火地域	地階を除く階数が４以上である建築物又は延べ面積

項目	概要
	が1,500㎡を超える建築物は耐火建築物とし、延べ面積が500㎡を超え1,500㎡以下の建築物は耐火建築物又は準耐火建築物とし、地階を除く階数が３である建築物は耐火建築物、準耐火建築物又は外壁の開口部の構造及び面積、主要構造部の防火の措置その他の事項について防火上必要な政令で定める技術的基準に適合する建築物としなければならない。

３　面的整備の実施による防災化

市（都市計画部）は、道路等の公共施設が未整備のまま市街化が見込まれる地域や、木造家屋が密集している既成市街地等について、土地区画整理事業、市街地再開発事業等を推進し、道路等公共施設の整備や建築物の不燃化を促進し、都市の防災化を図る。

項目	概要
土地区画整理事業の推進	土地区画整理事業は、公共施設の整備改善と宅地の利用促進を図るため、土地の区画形質の変更、公共施設の配置及び宅地の整備等を行い、健全な市街地の造成を図ることを目的とした事業で、防災面からも有効である。 土地区画整理事業のうち、密集市街地の再開発についても当事業を検討して、可能な地区から事業を進め、建築物の不燃化及び火災の延焼阻止機能を備えた道路、公園等を確保し、防災機能の向上と住環境の整備に努める。
市街地再開発事業の推進	市街地再開発事業は、木造建築物等が密集している市街地において、建築物と公共施設の一体的な整備を図るなど、土地の合理的な高度利用を進め、避難広場等のオープンスペースの確保や道路等を整備するとともに、建築物の耐震不燃化を図ることにより都市機能の刷新を図り、災害に強いまちづくりを推進するものであり、可能な地区から事業化を促進する。

第２項　公園等の整備

火災の延焼防止と避難者の安全確保のため、公園の計画的配置等、オープンスペースの確保を図る。

項目	概要
公園の整備	市（都市計画部）は、都市公園の新設、既設公園の拡充及び再整備を推進するとともに、緑道等による緑のネットワーク化を図るとともに、災害時の防災空間として、防災施設の設置スペースの確保等、災害対応機能の強化推進を

	図る。
農地・緑地の保全	市（農林水産部及び都市計画部）は、農地及び緑地の保全・整備を推進する。

第３項　不燃化促進事業の推進

市（都市計画部）は、避難所、避難路の周辺等、防災上重要な区域を不燃化促進区域に指定し、沿道建築物の不燃化を促進する。

第４項　公共土木施設の整備

市（農林水産部、建設総務部及び道路河川部）は、公共土木施設の整備を計画的に推進する。

「総則・予防計画第２編第１章第２節　道路の整備」参照
「総則・予防計画第２編第１章第３節　河川の整備」参照
「総則・予防計画第２編第１章第４節　海岸保全施設・港湾施設・漁港の整備」参照

第５項　防災拠点の整備

市（危機管理部）及び市（各部）は、施設管理者の協力を得て、災害時の応急対策が速やかに実施できるよう、防災拠点の整備を推進する。

項目	概要
地域防災拠点	応急対策の活動拠点（備蓄倉庫、物資拠点、応急給水所、消防施設、医療救護施設、臨時ヘリポート、遺体収容所等）
地区防災拠点	被災状況の調査及び被災者への情報提供並びに食料等の供給拠点（支所・連絡所、避難所）

第６項　地籍調査の推進等

市（建設総務部）は、各公共施設の整備及び災害発生後の円滑な復旧・復興を確保するため、地籍調査を行い、地籍図の整備を推進する。

また、市（建設総務部及び都市計画部）は、液状化の可能性があるとされる沖積地や埋立地に関する地域地盤の概要を把握し、各公共施設管理者と連携を図り、施設の耐震点検及び設計、工事計画時における活用を図る。

第２節　道路の整備

計画の方針

道路は、災害時における円滑な避難、救助活動、緊急物資輸送、復旧活動等の動脈として極めて重要な役割を担っているため、道路機能が十分発揮できるよう積極的な防災事業の推進を図る。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　道路に関する用語		
第２項　道路の防災計画	道路河川部	県県土整備部、近畿地方整備局和歌山河川国道事務所、西日本高速道路㈱関西支社
第３項　避難路の指定	危機管理部、都市計画部、道路河川部	県県土整備部
第４項　道路啓開計画	危機管理部、道路河川部	和歌山県道路啓開協議会構成機関

【道路の状況】

区分	延長（市内）	路線名
高速道路	18km	阪和自動車道
国道	31km	一般国道24号・一般国道26号・一般国道42号
県道	212km (令和6年4月1日時点)	粉河加太線・岩出海南線・和歌山橋本線・和歌山打田線・新和歌浦梅原線・和歌山港線・和歌山停車場線・和歌山貝塚線・岬加太港線・小豆島岩出線・和歌山海南線・秋月海南線・三田海南線・和歌山野上線・小豆島船所線・善明寺北島線・有功天王線・三田三葛線・井ノ口秋月線・岩橋栗栖線・鳴神木広線・西脇梅原線・八軒家鳴神線・和歌山港北島線・紀伊停車場田井ノ瀬線・紀ノ川停車場平井線・新和歌浦線・紀ノ川停車場線・紀和停車場線・紀三井寺線・紀三井寺停車場線・加太停車場線・山東停車場線・布施屋停車場線・沖野々森小手穂線・小野田内原線・木ノ本岬線・和歌山阪南線・紀の川自転車道線
市道	1,196km	5,615線（令和6年3月時点）

第１項　道路に関する用語

本計画において、道路に関する用語は次のとおり取り扱う。

項目	概要
緊急輸送道路	災害時の緊急輸送を確実に実施するため、高速道路を始めとする幹線道路、並びに、これらの道路と行政機関、港湾・空港、災害医療拠点などの防災拠点を連絡する道路で国、県、市、警察、自衛隊等からなる協議会において指定されている。
緊急輸送ルート	県地域防災計画で定める緊急輸送道路を踏まえ、国土の骨格をなす幹線道路である高速道路、直轄国道を中心に全国から広域応援部隊や緊急物資輸送車両の広域的な移動を確保するとともに、甚大な地震・津波被害が見込まれる区域及び防災拠点に到達するため、必要に応じて県等が管理するその他の道路も含めて選定したネットワーク
避難路	広域避難場所等へ通じる道路又は緑道であって、避難圏内の住民を当該広域避難場所等に迅速かつ安全に避難させるために、あらかじめ市が指定する道路等
避難経路	避難する場合の経路で、自助、共助の精神に基づき、住民、自主防災組織等が自ら設定する。
特定避難路	「津波からの円滑な避難に係る避難路沿いの建築物等の制限に関する条例」（和歌山県条例平成24年第45号）を活用し、市からの提案に基づき、県が指定する道路
都市計画道路	都市施設として、都市計画法に基づき都市計画決定された道路であり、災害発生時の緊急輸送や避難路等の都市防災機能を併せ持っている。

「総則・予防計画第３編５－４－１　緊急輸送道路ネットワーク図」参照

第２項　道路の防災計画

市（道路河川部）及び各道路管理者は、計画的かつ総合的な災害に強い道路整備を推進する。

１　都市計画道路の推進

各道路管理者と連携に努め、都市計画道路の整備を推進し、防災機能の向上を図る。

２　避難路整備

円滑な避難を確保するため、道路ネットワークを構築するよう、関係機関及び諸計画と整合を図り積極的に整備を推進する。

３　道路施設の点検

道路施設の点検を実施し現状把握に努めるとともに、点検結果を反映させた適切な対策を推

進する。

４　他事業との連携

防災対策工の実施に当たり、必要に応じて他事業との積極的な連携を図り、総合的な対策を推進する。

５　長寿命化

道路施設の維持管理・更新等を効率的、効果的に推進するため、対象施設、計画期間、方針等を検討し、道路施設の長寿命化の推進を図る。

６　橋梁耐震化計画

緊急輸送道路上の橋梁、跨線橋及び跨道橋等、重要橋梁から優先し耐震化を図る。

７　液状化対策

新設の橋梁など重要構造物の建設においては、液状化対策を実施する。

８　バリアフリー化

円滑に避難が実施されるよう、歩行区間におけるバリアフリー化を推進する。

９　ライフラインの強化

ライフラインの確保、台風や地震といった災害時に電柱倒壊による道路閉塞防止を図るため、耐震性が向上するよう電線類地中化を推進する。

10　道路のり面対策

土砂崩壊や落石などによる、道路災害の発生を防止するため、危険箇所については、のり面をコンクリートなどで防護したり、コンクリート擁壁や落石防止対策などの整備を図る。

11　落石防護対策

落石等による道路災害の発生を防止するため、危険箇所については、落石防止対策などの整備を図る。

12　道路冠水対策

道路冠水による事故を未然に防止するため、下水道事業及び河川事業等と連携をとり必要な施設整備を図るとともに、県警等と協力し、適切な道路管理に努める。

13　資機材調達

迅速かつ円滑な災害応急対策を実施するため、燃料、発電機、建設機械等の資機材調達が必要となることから、関係機関及び民間事業者との連携に努める。

14　応急復旧連携

災害発生時における道路状況の把握及び緊急輸送道路等の応急復旧について、相互連携体制の充実を図る。

第３項　避難路の指定

市（危機管理部、道路河川部及び都市計画部）は、避難圏域内の住民を迅速かつ安全に避難させるとともに、緊急車両の通行に配慮した、できる限り広い幅員（概ね８ｍ以上※）を有する道路を、避難路として指定するよう努める。

また、避難路及び避難経路の内、地震により倒壊した建築物等が津波からの円滑な避難の際に避難路の通行を妨げることを防止するため、「津波からの円滑な避難に係る避難路沿いの建築物等の制限に関する条例」（和歌山県条例平成24年台45号）に基づき、「特定避難路」の指定を促進する。

※　阪神・淡路大震災の調査結果では、沿道建築物の倒壊があっても、幅員８ｍ以上の道路については、車両通行が可能であった。（都市防災実務ハンドブック編集員会編「都市防災実務ハンドブック　地震防災編」）

「総則・予防計画第３編５－２－４　災害時における避難路図」参照

第４項　道路啓開計画

１　和歌山県道路啓開協議会との連携

市（危機管理部及び道路河川部）は、発災後、早急に緊急輸送ルートを確保するため、和歌山県道路啓開協議会と連携し、関係機関と調整する。

また、建設業協会や関係団体等と協力体制を確立して迅速かつ的確な道路啓開作業が実施できるよう、道路啓開に関する協定の締結及び体制の整備を図る。

【和歌山県道路啓開協議会】

構成機関	近畿地方整備局、和歌山県、西日本高速道路㈱関西支社、陸上自衛隊第37普通科連隊、県警、和歌山市他県内２９市町村、（一社）和歌山県建設業協会、（一社）和歌山県測量設計業協会、（一社）日本建設業連合会関西支部、関西電力送配電㈱和歌山本部、西日本電信電話㈱和歌山支店
幹事会	沿岸部の幹線道路を対象にした道路啓開幹事会、県管理道路等を対象にした道路啓開幹事会

２　道路啓開計画

市（危機管理部及び道路河川部）は、人命救助や人命検索、緊急車両の通行が早期に確保できるよう和歌山県道路啓開協議会と連携し、南海トラフ地震に伴う津波浸水に対する道路啓開計画や風水害等による大規模な道路災害に備え、関係機関と調整する。

【選定路線】

○津波浸水発生時

高速道路及び高速道路インターから沿岸部の幹線道路（県道和歌山阪南線（旧国道26号）及び国道42号）へ至る道路。

○風水害等による大規模災害発生時

緊急輸送道路を中心に、必要な防災拠点を再度確認するとともに、災害に対し脆弱な箇所を整理し、道路啓開を効率よく支援する迂回ルートを検討する。

３　交通規制の実施体制

市（道路河川部）は、災害発生時において緊急輸送道路等の道路、橋梁等の被害状況を把握し道路交通を確保するため、県警と連携を図り、速やかに必要な交通規制等が行えるよう体制の整備に努める。

第３節　河川の整備

計画の方針

大雨・高潮・津波等による災害を未然に防止し、被害の軽減を図るため、河川改修等の治水対策を計画的に推進する。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　河川の防災計画	道路河川部	県県土整備部、近畿地方整備局和歌山河川国道事務所
第２項　調整池の防災計画	道路河川部	
第３項　水門等操作体制の確立	道路河川部	
第４項　放置艇対策	道路河川部	
第５項　警戒避難体制の整備	危機管理部、各部、道路河川部	
第６項　紀の川（下流部）の減災に係る取組	危機管理部、各部	紀の川下流部大規模氾濫に関する減災対策協議会構成機関
第７項　紀の川水系流域治水プロジェクト	道路河川部、各部	紀の川流域治水協議会構成機関
第８項　海草地域の県管理河川流域の減災に係る取組	危機管理部、道路河川部、各部	海草地域における大規模氾濫減災協議会構成機関

【河川の状況】

管理者	河川名
国	一級河川　紀の川
県	１　一級河川 土入川・新堀川・打手川・七箇川・鳴滝川・真田堀川・有本川・和歌川（大門川含む）・市堀川・築地川・水軒川・和田川・杭ノ瀬川・津屋川・紀三井寺川・中津川・千手川・高川・二王谷川・七瀬川・住吉川 ２　二級河川 清水川・阿振川・堤川・亀の川・大坪川

市	1　準用河川 前代川・永山川・平尾川 2　普通河川 日野川・川尻川・大年川・打手川・北島川・矢田川・大浦川・市町川・中島川・杭の瀬川・紀三井寺川・前の川・名草川・米田川・井戸裏川・平尾川・永山川・和田川（本流・支流）・春日川・雄の山川・出吐川・大谷川・阿振川・清水川・滝畑川・旧大門川・早子川・殿川（市道三田35号線）

第１項　河川の防災計画

市（道路河川部）及び各河川管理者は、大雨・高潮・津波等による水害の防止を図るため治水対策を重点的に推進する。

１　長寿命化及び耐震化

河川管理施設の維持管理・更新、耐震化等を効率的、効果的に推進するため、整備期間、整備方針等を検討し、適切な長寿命化と耐震化を推進する。

２　維持管理について

河川管理施設の定期的な点検を実施し、危険箇所の把握に努めるとともに流下機能を確保し、浸水被害を軽減するため、浚渫等適切な維持管理を推進する。

「災害対策計画第６編様式６　河川・海岸警戒区域調査表」参照
「災害対策計画第６編様式10　警戒区域一覧表」参照

３　河川改修事業の推進

浸水被害を軽減するため、河道拡幅等の河川改修事業を推進し、治水安全度の向上を図る。

４　総合的治水事業の推進

都市化の進行と流域の開発に伴い、雨水が河川へ流出されるまでの時間が短縮化されており浸水被害が増加しているため、適切な計画規模による河川改修事業を計画的、積極的に進めるとともに、流域のもつ保水、遊水機能を適正に確保するなど、効果的な流出抑制対策を促進し総合的な治水事業の推進を図る。

５　他事業との連携

下水道事業を始め、農地防災事業等必要に応じて他事業との連携を図り、総合的、効率的なハード整備の推進を図る。

６　津波対策

河川を遡上する津波による被害を防止するため、河川管理施設について、背後地の土地利用状況や緊急性、重要性、経済性の観点から総合的に勘案し、整備を推進する。

第２項　調整池の防災計画

市（道路河川部）は、災害の発生を想定した巡視調査を行い、状況把握に努めるとともに、流出抑制機能の確保が図れるよう適切な整備を推進する。

第３項　水門等操作体制の確立

各河川管理者は、水門等の維持管理を適正に行うとともに、大津波警報、津波警報発表時の安全確保、災害発生時の迅速な操作が可能となるよう、定期的に訓練を行う。

また、津波の河川遡上に対する操作体制の構築を図り円滑な運用に努めるとともに、自動化・遠隔操作化を推進する。

第４項　放置艇対策

各河川管理者は、公共水域の秩序ある利用を実現するとともに、津波来襲時の二次災害防止のため、係留環・係船柱の充実及び係留保管施設の整備を推進するとともに、不法係留船の状況を把握し、当該所有者に対して移動又は撤去の勧告を行い、船舶の適切な保管・管理を促進する。

第５項　警戒避難体制の整備

１　情報伝達

市（危機管理部）は、河川水位等に基づく避難指示等の判断基準等を整理したタイムラインの策定及び「避難情報の判断・伝達マニュアル」を改訂するとともに、多様な情報伝達手段を整備し、市（各部）と連携して、市民への情報伝達のための必要な体制整備を推進する。

各河川管理者は、河川水位観測計の設置を推進し、河川管理システムの構築を図る。

２　周知

国及び県は水防法第１４条第１項の規定により、想定最大規模降雨により対象とする河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域（洪水浸水想定区域）等の指定・公表を行う。

市（道路河川部）は、洪水浸水域等の区域、情報伝達方法及び避難情報等を図示した洪水ハザードマップを作成し、住民への周知を図る。

第６項　紀の川（下流部）の減災に係る取組

市（危機管理部及び各部）は、紀の川下流部大規模氾濫に関する減災対策協議会構成機関と連

携して減災のための目標を共有し、「紀の川（下流部）の減災に係る取組み方針（平成２８年９月１２日策定)」に基づき、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進し、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」の再構築を図る。

１　本市の主な取組

目標時期	主な取組項目
引き続き実施	・過去の浸水実績を整理し、ハザードマップ等を通じて住民に周知 ・住民に分かりやすく利活用されるハザードマップの策定・周知に向けた検討 ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表に伴う洪水ハザードマップの更新・周知 ・防災に関する補助教材を活用し、小中学校と連携した防災に関する教育の取組 ・防災（水防）訓練の実施 ・避難対策ワークショップの実施 ・沿川自治会単位での防災に関する啓発活動の実施 ・出前講座等の実施 ・「自主避難できる住民」の育成（マイ防災マップ、マイタイムラインの作成支援） ・避難指示等の発令に着目したタイムラインの見直し（策定） ・関係者の役割分担をより明確にしたタイムラインの策定 ・避難のための時間を十分に確保した避難指示等を発令するためのタイムラインの検証と改善（活用訓練等の実施） ・洪水時の河川状況等を河川管理者と関係市町が直接連絡し合うホットラインの取組 ・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施 ・水防団等の組織維持のため、団員の募集等の促進 ・水害リスク情報の共有に向けた水防団等との共同点検の実施 ・水防訓練の実施（協議会全体） ・水防資機材の整備 ・水門、樋門、排水施設等の確実かつ的確な運用体制の確保及び点検・維持管理の実施 ・排水施設等について現況施設、保有資機材の情報共有 ・庁舎、災害拠点病院等に関する情報の共有 ・庁舎等における防災機能の確保（耐水化の検討） ・避難情報を各世帯へ確実に届けるため、防災行政無線や防災情報電話案内サービス、防災情報メール等の普及及び住民への周知 ・避難情報を対象者へ確実に届けるため、ケーブルテレビや防災メール、緊急速報メールへの登録・配信サービスやＳＮＳ、ＩＣＴの活用等 ・災害時における逃げ遅れをなくすため、地域防災訓練等で避難行動要

	支援者を支援する人の訓練の実施 ・沿川自治会単位での防災訓練・避難所運営訓練の実施 ・避難場所等周知のための標識の設置、避難誘導にかかる案内板・誘導灯等の検討、確認及び設置 ・段階的な避難を考慮した広域避難計画の検討 ・災害時における逃げ遅れをなくすため、避難行動要支援者の避難計画の検討・作成 ・要配慮者利用施設管理者等へ説明会等を実施 ・要配慮者利用施設の地域防災計画への記載 ・要配慮者利用施設への通知と避難確保計画の確認 ・民間施設等を活用した緊急的な避難先の検討 ・被災者支援の確認、見直し ・防災用資機材倉庫の整備

２　近畿地方整備局の主な取組

目標時期	主な取組項目
令和３年度	・氾濫水を迅速かつ的確に排水するための排水計画の見直し（策定）
令和７年度	・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強
引き続き実施	・想定最大規模降雨による洪水氾濫シミュレーションの公表 ・パイピング対策 ・流下能力対策 ・河川整備計画に基づく河川整備の推進（和田川） ・早期に氾濫が発生する地域等における洪水時の避難指示等の発令判断に活用するため簡易水位計・量水標を設置し、情報共有 ・水防団等の水防活動を支援するため（CCTV）カメラ・水位計による情報共有 ・防災に関する補助教材を活用し、小中学校と連携した防災に関する教育の取組 ・防災（水防）訓練の実施 ・避難対策ワークショップの実施 ・沿川自治会単位での防災に関する啓発活動の実施 ・「自主避難できる住民」の育成（マイ防災マップ、マイ・タイムラインの作成支援） ・避難指示等の発令に着目したタイムラインの見直し（策定） ・洪水時の河川状況等を河川管理者と関係市町が直接連絡し合うホットラインの取組 ・水害リスク情報の共有に向けた水防団等との共同点検の実施 ・水防訓練の実施（協議会全体）

	・排水施設等について現況施設、保有資機材の情報共有 ・避難情報を対象者へ確実に届けるため、ケーブルテレビや防災メール、緊急速報メールへの登録・配信サービスやＳＮＳ、ＩＣＴの活用等 ・防災対策や住民の避難行動の判断をより分かりやすくするため、ウェブサイト、テレビで洪水予報や河川水位、カメラ映像、気象情報の提供 ・住民の避難行動を促すためのプッシュ型の洪水予報等の情報発信のための整備 ・洪水予報文の改良と運用・周知 ・わかりやすい大滝ダム放流関係情報等の提供

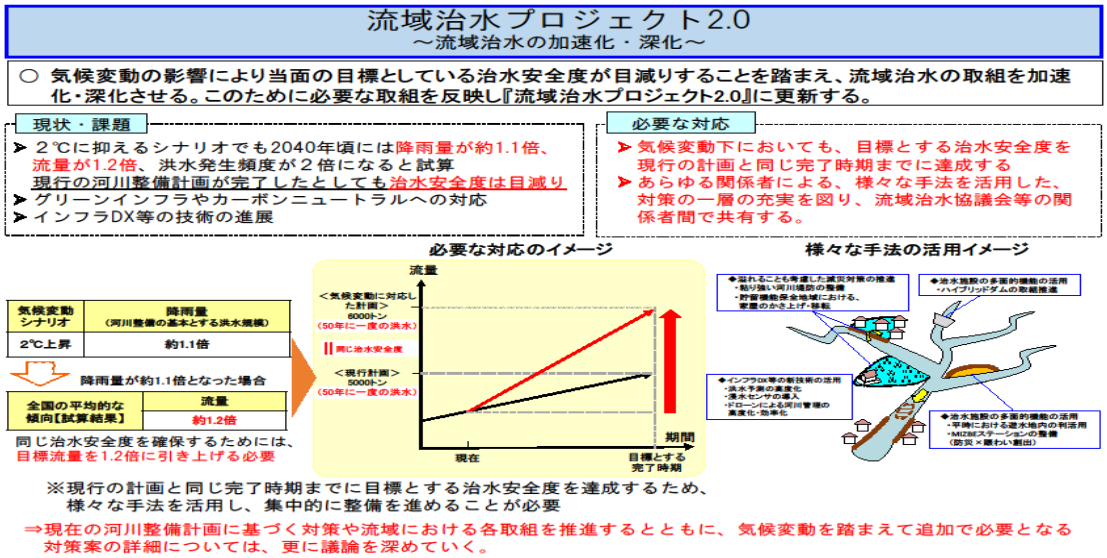
３　紀の川下流部大規模氾濫に関する減災対策協議会構成機関

事務局：国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所
和歌山市、海南市、岩出市、紀の川市、紀美野町、和歌山県、西日本旅客鉄道株式会社、南海電気鉄道株式会社、和歌山電鐵株式会社、気象庁和歌山地方気象台、国土交通省近畿地方整備局紀の川ダム統合管理事務所

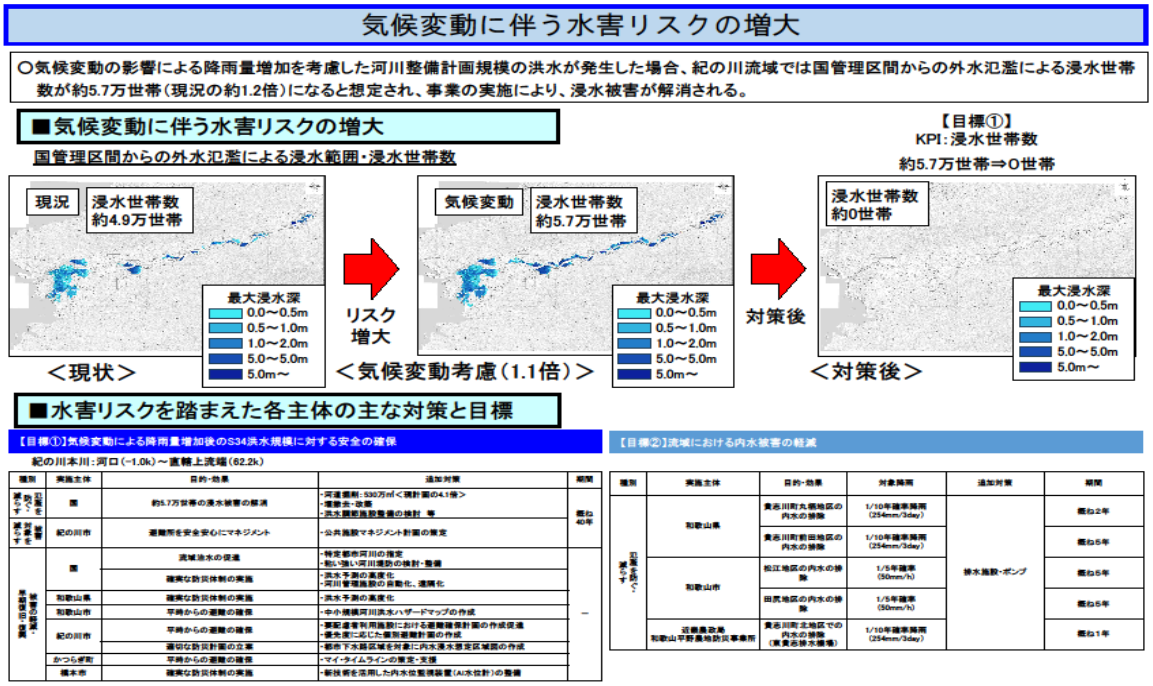
第７項　紀の川水系流域治水プロジェクト

市（道路河川部及び各部）は、令和元年東日本台風をはじめとした近年の激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、紀の川流域において、河川・下水道管理者等が行う治水対策に加え、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを目的として設置された「紀の川流域治水協議会」が策定した「紀の川水系流域治水プロジェクト」に基づき、治水対策の実施を図っているところであるが、更なる気候変動シナリオを踏まえた河川及び流域での対策の方針を反映した流域治水プロジェクト２．０への更新を進める。

１　流域治水プロジェクト２．０（概要）



２　気候変動に伴う水害リスクの増大と各主体の主な対策と目標



３　紀の川水系流域治水プロジェクト２．０

＜対策位置図＞



＜対策メニュー表＞

紀の川水系流域治水プロジェクト

氾濫を防ぐ・減らす	被害対象を減らす	被害の軽減・早期復旧・復興
○気候変動を踏まえた治水計画への見直し（2℃上昇下でも目標安全度維持） ＜具体の取組＞ ・気候変動を考慮した河川整備計画に基づくハード対策 ○流域対策の目標を定め、役割分担に基づく流域対策の推進 ＜具体の取組＞ ・流域水害対策計画に基づくハード対策 ○あらゆる治水対策の総動員 ＜具体の取組＞ ・更なる洪水調節施設整備の検討 ○溢れることも考慮した減災対策の推進 ＜具体の取組＞ ・貯留機能保全区域の指定の検討	○溢れることも考慮した減災対策の推進 ＜具体の取組＞ ・浸水被害防止区域の指定の検討 ・まちづくりとの連携、土地利用の工夫（公共施設マネジメント計画の策定の推進）	○気候変動を踏まえた治水計画への見直し（2℃上昇下でも目標安全度維持） ＜具体の取組＞ ・気候変動を考慮した河川整備計画に基づくソフト対策 ・マイ・タイムラインの策定・支援 ○流域対策の目標を定め、役割分担に基づく流域対策の推進 ＜具体の取組＞ ・流域水害対策計画に基づくソフト対策 ・中小規模河川洪水ハザードマップの作成 ○溢れることも考慮した減災対策の推進 ＜具体の取組＞ ・粘り強い河川堤防の検討・整備 ・都市下水路区域を対象に内水浸水想定区域図の作成 ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進 ・優先度に応じた個別避難計画の作成 ○インフラDX等の新技術の活用 ＜具体の取組＞ ・洪水予測の高度化 ・河川管理施設の自動化・遠隔化 ・新技術を活用した内水位監視装置（AI水位計）の整備

※　特定都市河川の指定や流域水害対策計画の策定に向けた検討を実施し、対策を推進。

4　紀の川流域治水協議会構成員

事務局：和歌山河川国道事務所　流域治水課

和歌山県危機管理部長、和歌山県農林水産部長、和歌山県県土整備部長、奈良県危機管理監、奈良県環境森林部長、奈良県県土マネジメント部長、和歌山市長、海南市長、紀の川市長、岩出市長、紀美野町長、かつらぎ町長、九度山町長、高野町長、橋本市長、五條市長、東吉野村長、川上村長、吉野町長、黒滝村長、大淀町長、下市町長、近畿農政局和歌山平野農地防災事業所長、近畿農政局南近畿土地改良調査管理事務所長、国立研究開発法人　森林研究・整備機構　森林整備センター和歌山水源林整備事務所長、国立研究開発法人　森林研究・整備機構　森林整備センター奈良水源林整備事務所長、近畿中国森林管理局和歌山森林管理署長、近畿中国森林管理局奈良森林管理事務所長、近畿地方整備局紀の川ダム統合管理事務所長、近畿地方整備局和歌山河川国道事務所長

○オブザーバー

奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局長、奈良県食農部長、気象庁和歌山地方気象台長、近畿地方環境事務所環境対策課長

第８項　海草地域の県管理河川流域の減災に係る取組

市（危機管理部及び道路河川部）は、市（各部）と連携し、海草地域の県管理河川流域における河川管理者、市等が連携・協力して、減災のための目標の共有化及びハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進して洪水に備えるために設置された『海草地域における大規模氾濫減災協議会』が策定した「亀の川水系流域治水プロジェクト」に基づき、治水対策の実施を図る。

○海草地域における大規模氾濫減災協議会構成員

事務局：県土整備部河川・下水道局河川課及び海草振興局建設部
和歌山県総務部危機管理局長、和歌山県農林水産部農林水産政策局長、和歌山県農林水産部森林・林業局長、和歌山県県土整備部河川・下水道局長、和歌山県県土整備部都市住宅局長、和歌山県海草振興局長、和歌山市長、海南市長、和歌山地方気象台長
○オブザーバー
近畿地方整備局河川部地域河川調整官

第４節　海岸保全施設・港湾施設・漁港の整備

計画の方針

市民の安全の確保及び復旧・復興に幅広く貢献する防災拠点を確保するため、関係機関と連携を図り、海岸保全施設、港湾施設及び漁港の整備を推進する。

東海・東南海・南海３連動地震に対しては、堤防、閘門等で津波からの浸水を防ぎきることを目標とし、海上物流機能の維持による災害時緊急物資輸送の円滑化、生活再建及び産業の復旧・復興の迅速化を図る。

南海トラフ巨大地震に対しては、津波等による壊滅的な損壊を可能な限り防ぎ、津波の到達遅延、波高の低減をさせるなど、浸水を前提にした避難対策等による減災効果向上を図る。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　施設整備	農林水産部、道路河川部	県県土整備部、県農林水産部、近畿地方整備局和歌山港湾事務所、海水浴場関係者等
第２項　陸閘等門扉閉鎖体制の確立	農林水産部	
第３項　放置艇対策	農林水産部	
第４項　警戒避難体制の整備	危機管理部、各部、観光国際部、農林水産部	

第１項　施設整備

１　海岸保全施設

海岸保全区域内にある海水の進入又は海水による侵食を防止する海岸保全施設について、県及び近畿地方整備局和歌山港湾事務所は、「国　海岸保全基本方針」に基づく「和歌山県　紀州灘沿岸海岸保全基本計画」により海岸保全施設の整備を推進する。

整備に関して定めるべき基本的事項	１　海岸保全施設の新設又は改良に関する事項 （１）　海岸保全施設を新設又は改良しようとする区域 （２）　海岸保全施設の種類、規模及び配置 （３）　海岸保全施設による受益の地域及びその状況 ２　海岸保全施設の維持又は修繕に関する事項 （１）　海岸保全施設の存する区域 （２）　海岸保全施設の種類、規模及び配置等 （３）　海岸保全施設の維持又は修繕の方法

２　港湾施設

県及び近畿地方整備局和歌山港湾事務所は、船舶及び背後港湾施設の安全確保等防災に配慮した、港湾施設の整備を推進する。

市（道路河川部）は、港湾施設管理者と連携を図り、大規模地震災害に備え物資輸送のための大水深・多目的ターミナルの拡充、港湾内の円滑な交通を確保するための臨港交通体系の充実強化及び緊急避難、緊急物資輸送等の対策に資する港湾施設の整備を促進する。

港湾施設	1　水域施設（航路、泊地、船だまり等） 2　外郭施設（防波堤、導流堤、水門、閘門等） 3　係留施設（岸壁、係船浮標、桟橋等） 4　臨港交通施設（道路、駐車場、橋梁、ヘリポート等） 5　航行補助施設（航路標識、信号施設、照明施設等） 6　荷さばき施設（固定式荷役機械、荷さばき地、上屋等） 7　旅客施設（旅客乗降用固定施設、手荷物取扱所等） 8　保管施設（倉庫、貯木場、貯油施設等） 9　船舶役務用施設（船舶用給水施設、給油施設等） 10　港湾公害防止施設（汚濁水浄化施設、緩衝地帯等） 11　港湾環境整備施設（海浜、緑地、広場、植栽等） 12　港湾厚生施設（船舶乗組員及び港湾労働者の休泊所等） 13　港湾管理施設（港湾管理事務所、港湾管理用資材倉庫等） 14　港湾施設用地　港湾施設の敷地 15　移動式施設（移動式荷役機械、移動式旅客乗降用施設等） 16　港湾役務提供用移動施設（船舶の離着岸補助船舶等） 17　施設認定をうけた港湾施設（港湾・臨港区域外の施設で国土交通大臣が認めた施設）

「総則・予防計画第３編５－４－２　和歌山下津港湾岸壁位置図」参照

３　漁港

市（農林水産部）、県及び指定管理者は、地震・津波による被害軽減を図るため、耐震性及び耐火性を強化した漁港施設の整備を推進する。

また、水産施設、漁船及び水産物被害の予防措置について啓発・指導を行うとともに、他都市の漁港・市場関係者との協力体制を構築し、流通経路の確保に努める。

第２項　陸閘等門扉閉鎖体制の確立

港湾・漁港・海岸の各管理者は、陸閘等門扉の維持管理を適正に行うとともに、災害発生時の迅速な操作が可能となるよう、定期的に訓練を行う。

また、操作員の安全管理に配慮した操作体制の確立を図るとともに、自動化・遠隔操作化を推進する。

第３項　放置艇対策

港湾・漁港・海岸の各管理者は、公共水域の秩序ある利用を実現するとともに、津波来襲時の二次災害防止のため、係留環・係船柱の充実及び係留保管施設の整備等により、プレジャーボート等の適切な保管・管理を促進する。

第４項　警戒避難体制の整備

市（危機管理部）は、津波、高潮等による避難指示等の判断基準等を整理した「避難情報の判断・伝達マニュアル」を改訂するとともに、多様な情報伝達手段を整備し、市（各部）と連携して、市民への情報伝達のための必要な体制整備を推進する。なお、市（危機管理部、観光国際部及び農林水産部）は、津波警報等の視覚的な伝達手段として、津波フラッグの普及について海水浴場関係者等と連携する。

また、市（危機管理部）は、避難情報に関する情報の伝達・入手方法、避難所に関する事項その他円滑な避難を確保する上で必要な事項を記載した印刷物（防災マップ等）を作成し、その周知を図るとともに、地区避難計画の策定を推進する。

【港湾・漁港の管理者連絡先】

対象施設	連絡先
和歌山下津港港湾区域 ・加太港・大川港	和歌山下津港湾事務所 ＴＥＬ431-7266・ＦＡＸ431-7165
和歌浦漁港	和歌山下津港湾事務所 ＴＥＬ431-7266・ＦＡＸ431-7165 有限会社ベイサイド和歌浦 ＴＥＬ446-3308・ＦＡＸ446-5983
雑賀崎・田ノ浦漁港	市（農林水産部　農林水産課） ＴＥＬ435-1049・ＦＡＸ435-1264

第５節　建築物の災害予防

計画の方針

「和歌山市住宅・建築物耐震改修促進計画」及び「建築基準法」等関係法令による適切な指導を行い、建築物の耐震化・耐火性能等の向上を促進する。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　建築物の災害予防	建築住宅部、都市計画部、税務部、危機管理部、消防局	県県土整備部
第２項　宅地の災害予防	都市計画部	県県土整備部
第３項　市有建築物の防災対策	建物を管理する各部	
第４項　文化財の災害予防	文化スポーツ部、消防局	県教育委員会、文化財の所有者又は管理者

第１項　建築物の災害予防

１　耐震性の向上

市（建築住宅部及び都市計画部）は、関係法令及び「和歌山市住宅・建築物耐震改修促進計画」により、住宅及び特定建築物に対し、耐震診断、耐震改修を促進する。

項目	概要
住宅耐震化の促進	地震に強い安全なまちづくりを推進するため、以下の各種支援制度を活用し、旧耐震基準の住宅（昭和56年５月31日以前に着工）及び新耐震基準の住宅（平成12年５月31日以前に着工）を対象に、耐震診断・耐震改修を促進する。 １　木造住宅耐震診断事業（無料） ２　住宅耐震診断事業（非木造住宅の耐震診断費の一部補助） ３　住宅耐震改修事業（住宅の耐震改修費、建替え費、耐震ベッド・耐震シェルターの設置費の一部補助） ４　市（税務部）による、一定要件を満たす耐震改修工

項目	概要
	事を行った住宅の固定資産税減額等の税制優遇措置
特定既存耐震不適格建築物耐震化の促進	特定既存耐震不適格建築物とは、耐震改修促進法（以下「促進法」という。）第１４条各号に定める地震に対する安全性に係る建築基準法等に適合しない建築物で同法第３条第２項の規定の適用を受けるもの 地震発生時、利用者及び道路通行を確保するため、以下の特定既存耐震不適格建築物に対して、耐震診断・耐震改修を促進する。 １　学校、体育館、病院、百貨店その他多数の者が利用する一定規模以上の建築物（促進法第１４条１号） ２　火薬類、石油類その他政令で定める危険物を一定数量以上貯蔵、処理する用途に供する建築物（促進法第１４条２号） ３　倒壊により、道路通行及び円滑な避難を妨げるおそれのある県耐震改修促進計画に記載された道路に接する建築物（促進法第１４条３号）
避難路沿い建築物の耐震化促進	市（危機管理部）及び県と連携して、「津波からの円滑な避難に係る避難路沿いの建築物等の制限に関する条例」（和歌山県条例平成24年台45号）に基づく「特定避難路」の指定を促進するとともに、地震による建築物の倒壊による安全な避難及び緊急車両の進入を妨げることを防止するため、避難路沿いの建築物の耐震化を指導する。
申請受付時の指導等	建築物等の各種申請受付時において、耐震に関する各種法令等の周知徹底を図るとともに、必要に応じて中間検査を実施する。
相談体制の整備	建築士会その他の団体と協力して、地震対策を始めとした建築物全般に係る相談の実施に努める。

２　総合的な安全対策に関する事業の推進

市（建築住宅部及び都市計画部）は、ブロック塀の倒壊対策、窓ガラス・屋根瓦・天井の崩落防止対策、エレベーターの閉じ込め防止対策等の総合的な安全対策について、建築確認申請時及び特殊建築物の定期報告時に、安全対策の周知徹底を図る。また、空き家等の適切な管理について対策を図る。

項目	概要
ブロック塀の安全対策	点検や補強手法に関し、必要な情報を積極的に提供し、ブロック塀の安全性の点検及び改修について指導するとともに、費用の一部補助により、ブロック塀倒壊防止対策を図る。

項目	概要
窓ガラス、屋根瓦、天井の落下防止対策	通行の多い沿道建築物や避難路沿いにある建築物の窓ガラスの地震対策や、外壁に使用されているタイルや屋外広告物、及び屋根瓦等の落下防止対策を促進する。 また、大規模空間を持つ建築物の天井崩落対策について、建築物の所有者・管理者に対し、安全対策の推進について、指導・啓発を行う。
エレベーターの地震防災対策	建築基準法による定期検査時に、現行指針に適合しないエレベーターについて、耐震安全性の促進を図る。 １　エレベーターの耐震安全性の確保 ２　地震時管制運転装置の設置
空き家等の対策	平常時から災害による被害が予測される空き家等の状況の確認に努める。 また、適切な管理のなされていない空き家等の所有者・管理者に対し、必要に応じて、外壁等の飛散のおそれのある部分や応急措置の支障となる空き家等の全部又は一部の除却等の措置を講ずるよう、助言・指導を行う。

３　耐火性能等の向上

市（都市計画部及び消防局）は、「建築基準法」及び「消防法」等に基づく指導を行い、建築物の耐火性等の向上を促進する。

項目	概要
耐火・防火性能の維持向上	新築・増築時の申請受付時及び建築基準法第12条に基づく定期報告時に、関係法令の周知徹底を図り、主要構造部、防火区画、排煙・換気設備、内装等について火災等に対する安全性の維持及び向上を促進する。
特殊建築物の指導強化	建築基準法第２条第１項第二号に定める病院や劇場、旅館・ホテル等不特定多数の人が利用する一定規模以上の特殊建築物について、指導を徹底し、防災上の安全確保を図る。
特定防火対象物の火災予防	特定防火対象物とは、消防法施行令別表第１に記載される防火対象物のうち不特定多数の者が出入する防火対象物のことで、一定以上の収容人員及び規模の特定防火対象物について、防火対象物定期点検報告時に対象施設の関係者の防火に対する認識を高め、点検基準適合（防火セイフティマークの取得）の取組みを推進するとともに、スプリンクラー設備等の重要な消防用設備等の未設置違反に対して是正指導を行うなど、消防法令違反対象物の撲滅を図る。

４　被災建築物応急危険度判定

市（都市計画部）は、余震等による二次被害を防止するため、県が行う被災建築物応急危険度判定士育成のための講習会等実施に、積極的に参加するとともに、地震災害発生時の必要な体制整備を推進する。

５　啓発

市（都市計画部及び消防局）は、建築物防災週間を中心に、公共施設、駅、その他人目につきやすい場所にポスターの掲示等を行い、建築基準法等の遵法精神の高揚を図りながら、耐震・耐火の周知徹底を図る。

第２項　宅地の災害予防

１　宅地の耐震化

市（都市計画部）は、都市計画法及び宅地造成等規制法※に基づき、必要な規制・指導を行うとともに、大規模地震発生時に滑動崩落による被害を受けるおそれのある大規模盛土造成地の存在を市民に公表するとともに、脆弱性を解消させるため、宅地耐震化推進事業を推進する。

※　宅地造成等規制法の一部を改正する法律附則第２条の規定によりなお従前の例によることとされた同法による改正前の宅地造成等規制法

項目	概要
変動予測調査	大規模盛土造成地マップの作成・公表・危険度判定
滑動崩落防止事業の促進	１　滑動崩落防止工事の支援 ２　住宅金融支援機構による融資制度の活用

「総則・予防計画第３編４－４－１　宅地造成工事規制区域図」参照
「総則・予防計画第３編４－４－２　大規模盛土造成地図」参照

２　液状化対策の推進

市（都市計画部）は、液状化の可能性があるとされる沖積地や埋立地に関する地域の概要を把握することにより、個人住宅等の小規模建築物の液状化対策に有効な基礎構造等についての普及促進を図る。

３　被災宅地危険度判定

市（都市計画部）は、余震等による二次被害を防止するため、県が行う被災宅地危険度判定士育成のための講習会等実施に、積極的に協調するとともに、災害発生時の必要な体制整備を推進する。

第３項　市有建築物の防災対策

市（建物を管理する各部）は、災害発生時においても、その機能が発揮できるよう、以下のとおり計画的に防災対策を推進する。

項目	概要
耐震性の向上	「和歌山市市有建築物耐震化促進計画」により、防災活動拠点となる市有施設の耐震診断、耐震改修を計画的に推進する。
屋内対策の推進	「市有施設における屋内地震対策に関する指針」に基づき、施設の安全対策を推進するとともに、大規模空間における天井の崩落対策を推進する。
避難所としての措置	災害時の避難所開設に配慮した、施設整備を推進する。 「総則・予防計画第２編第３章第４節　避難体制の整備」参照
機能確保	非常用電源の確保、消火設備等に必要な水源及び災害時の応急措置に必要な資材等を計画的に整備する。

第４項　文化財の災害予防

歴史的に価値の高い文化財を保存し、後世に伝えるために、防災対策の推進を図るとともに、文化財愛護精神の啓発を図る。

１　指導・啓発

市（文化スポーツ部）は、市（消防局）と連携して、文化財の所有者又は管理者に対して、必要な、指導・助言を行うとともに、文化財保護思想等の啓発を図る。

項目	概要
指導・助言	パトロール及び防火査察等により、文化財の管理状況を調査し、文化財の所有者等に対し、防災組織、災害時の対策等につき必要な指導助言を行う。
啓発	「文化財保護月間」、「文化財防火デー」等の行事を通じて、文化財愛護精神の普及を図りながら、防火防災の周知徹底を図る。

２　災害予防対策

文化財の所有者又は管理者は、貴重な文化的遺産を災害から保護するための防災対策を実施する。

項目	概要
地震対策	日常的な点検を徹底し、柱や梁の腐朽や蟻害、瓦の損傷等を早期に発見し、速やかに修理を行うとともに、文化財及びその周辺の機械、器具等の転倒・転落防止のための安全対策を推進する。
火災対策	１　防火管理者の選任、消防計画の作成等、自主防火管理体制の充実を図る。 ２　建物規模・構造等を考慮した上、必要な消防用設備

項目	概要
	等防災施設の設置に努める。 ３　火気の使用制限、たき火・禁煙区域の設定、自動火災報知設備の設置、漏電警報器の設置、消火栓（貯水槽を含む）の施設設備、ドレンチャー設備、防火壁、防火戸の設置、防災進入道路の整備・敷設、収蔵庫・保存庫の建設等の推進を図る。
台風対策	台風に関する的確な情報の把握に努めるとともに、台風の進路及び規模によっては、必要な予防措置をとる。
雷害対策	各建物及び敷地全体としての、避雷設備の設置に努める。
訓練の実施	定期的に、防火訓練を実施する。

「総則・予防計画第３編４－４－３　指定文化財の状況」参照

第６節　ライフライン施設等の整備

計画の方針

上・下水道、電気、通信、ガス、鉄道等の各ライフライン事業者等は、施設の耐震性及び代替性を確保するとともに、迅速に応急復旧できるよう、資機材備蓄、他事業者・関係団体等との協力体制を確保し、災害に強いライフラインづくりを目指す。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　上水道施設	水道工務部	
第２項　下水道施設	下水道部、危機管理部、各部	
第３項　電力施設		関西電力送配電㈱和歌山配電営業所
第４項　公衆電気通信施設		西日本電信電話㈱和歌山支店、㈱ＮＴＴドコモ
第５項　都市ガス施設		大阪ガスネットワーク㈱南部事業部
第６項　液化石油ガス施設		一般社団法人和歌山県ＬＰガス協会市内各支部
第７項　鉄道施設		西日本旅客鉄道㈱和歌山支社、南海電気鉄道㈱、和歌山電鐵㈱

第１項　上水道施設

１　基本方針

市（水道工務部）及び関係機関は、重要性・緊急性を考慮し、優先順位を付けて水道施設の耐震化等防災対策の推進を図り、災害による給配水施設の被害を軽減し、かつ飲料水を確保するため、日頃から導水管、送水管、幹線配水管、浄水施設、配水施設等の水道施設を整備点検し、円滑な給配水に努める。

なお、災害による水道諸施設の被害の実態に応じて適切な送水を行うため、また、甚大な被害を受けて一時的に送水が不可能になった場合において、迅速な応急処置をとり給水を行うため、応急給水施設及び応急給水資機材の整備を図る。

２　事業計画

既存施設の立地条件や老朽度合い等を含め施設の再点検を行い、その結果に基づき目標年度を決め順次計画的に防災事業を進める。

なお、日本水道協会が制定した「水道施設設計指針」、「水道施設耐震工法指針」等に基づき施設の耐震化を図り、特に次の事項を推進する。

（１）水道施設の整備

ア　浄水施設については、耐震強化を行い給水拠点機能を備えた整備を図る。

イ　配水池については、飲料水貯留量の増量と耐震強化を行い、給水拠点施設としての整備を図る。また、被災した水道施設が復旧し、断水が解消するまでの間の飲料水・生活用水を確保するため、耐震化された主要な配水池については緊急遮断弁の設置を進める。

ウ　送配水管施設については、早期に配水を確保すべき重要路線を選定し、管路の耐震化並びに被災直後の管路復旧を円滑に行えるよう整備に努める。

エ　配水管のループ化及び複線化の整備を図る。

オ　石油、高圧ガス等の危険物については、災害等による危険を防止するため、収納庫、収納施設の改善を図るとともに、巡視点検等必要な措置を講ずる。

カ　配水管事故には、仕切弁操作による断水を伴うため、日頃より配水管設備図及び仕切弁位置図の整備、保管に万全を期する。

キ　貯水池及び浄水場からの導水管、送水管等の給配水施設については、定期的な巡回点検を行うとともに、幹線配水管については、配水池等において給水量及び水位を点検（記録）し、事故の未然防止と早期発見に努める。

（２）給水車の整備点検等

給水施設の被災により、一時的な送水不能、又は水の汚染等による飲料水の供給不能等の事態に備えて、日頃から給水車及び給水タンクを点検整備するとともに、消防局所有のタンク車を活用できるよう、あらかじめ協議する。

（３）資機材の備蓄

災害により被災した給水施設を迅速に応急復旧できるよう、日頃から一定量の復旧資機材を備蓄する。

３　水道業務に関する相互応援協定並びに関係団体との協定

市独自では対応しきれない災害の発生に備えて、周辺事業体と相互応援協定を結んでいる。これら周辺事業体と相互に連携を深め、災害への備えを行う。

また、本市における災害等発生時において給水機能を早期に回復するため、関係団体と応援協定を結んでいる。

「水道災害相互応援対策要綱に基づく協定書」

「公益社団法人日本水道協会関西地方支部災害時相互応援に関する協定」

「災害発生時における水道施設の応急復旧の応援に関する協定書」
「連絡配水管等運用に関する協定書」
「水質分析にかかる相互応援に関する協定書」
「災害の発生時における資材の供給に関する協定」
「災害時における応急対策業務の応援に関する協定書」
「災害時におけるレンタル機材の供給に関する協定書」
「災害発生時における応急対策業務に関する協定書」
「災害の発生時における水の供給に関する協定書」

４　緊急時措置訓練

緊急時措置の迅速、確実に万全を期すため、平日昼間、休日・夜間において事故が発生する場合を想定し、参集、情報の収集・伝達、応急給水、応急復旧、広報等を含む訓練を随時実施する。

第２項　下水道施設

１　基本方針

下水道は重要なライフラインであり、地震、大雨等の災害により汚水処理及び雨水排除機能を喪失した場合は、公衆衛生被害及び浸水被害を生じるおそれがあることから、下水道施設の整備を推進し、ライフラインとしての信頼性の向上を図る。

２　用語

下水道施設に関する用語は次のとおり取り扱う。

項目	概要
管路施設	１　汚水や雨水を収集し、ポンプ場、処理場又は河川の放流先まで流下させる役割を担う施設 ２　管きょ、マンホール、ます、取付管等の総称
処理場施設	１　管路施設に接続して下水を処理するために設けられた処理施設の総体
ポンプ場施設	１　管路施設や処理場施設を補完するために設けられたポンプ施設の総体 ２　管路施設で集められた下水を処理施設に送水し、又は雨水を公共用水域に放流する機能をもつ施設

「総則・予防計画第３編５－５－４　低地排水ポンプ場一覧表」参照
「総則・予防計画第３編５－５－５　公共下水道の整備計画（分流（雨水））」参照
「総則・予防計画第３編５－５－６　公共下水道の整備計画（合流）」参照

３　下水道施設の防災計画

市（下水道部）は、災害による被害を最小限にとどめるために必要な整備、補強を計画的に

推進する。

（１）浸水対策事業

公共下水道事業による浸水対策として、雨水ポンプ施設の新設及び増強、管路施設の整備、雨水貯留施設の設置等を推進し、浸水被害の解消に努める。

（２）整備計画

下水道施設の維持管理、更新、耐震化等を効率的、効果的に推進するため、対象施設、方針、計画規模等を検討し効果的な整備を推進する。

（３）液状化対策

地盤の液状化に伴うマンホールの浮き上がりや管路の損傷に伴う道路陥没による交通障害は、被災者救助、避難、救援活動、復旧作業に支障をきたすことから緊急輸送道路等、重要な路線から優先的に管路施設の対策工を推進する。

（４）マンホールトイレ

震災時の避難所において、仮設トイレが有効に機能するようマンホールトイレ下部構造物の整備を計画的に推進する。

（５）処理場施設、ポンプ場施設の機能確保

災害時においても処理場施設やポンプ場施設の処理機能及び揚水機能が確保できるよう土木構造物、機械電気設備等について対策工を推進する。

（６）耐水化の推進

処理場施設、ポンプ場施設の一部に浸水があっても機能が保持できるよう必要な機器類の耐水化を推進する。

（７）幹線連絡化

災害時においても幹線機能の効率性を図るよう必要に応じて幹線相互の連絡化に努める。

（８）管路施設の維持管理

災害時においても管路施設の排水機能を保持するため、日常点検やテレビカメラ調査などによる不良箇所の発見、管内清掃、補修、改築等、既設管路の整備を推進する。

（９）停電対策

停電や断水に備え、非常用自家発電機の整備、燃料及び冷却水の循環化及び補給水の確保に万全を期す。

(10) 復旧資材の備蓄

災害により被災した下水道施設を迅速に応急復旧できるよう、日頃から一定量の復旧資機材の備蓄に努める。

４　樋門等操作体制の確立

災害発生時の迅速な対応が可能となるよう、遠隔化、自動化を推進するとともに、定期的に訓練を行い、操作員の安全管理に配慮した操作体制の構築を図る。

５　内水氾濫に備えた警戒避難体制の整備

市（危機管理部）は、避難指示等の判断基準等を整理した「避難情報の判断・伝達マニュアル」を改訂するとともに、多様な情報伝達手段を整備し、市（各部）と連携して、市民への情報伝達のための必要な体制整備を推進する。

市（下水道部）は、近年の集中豪雨の多発や都市化の進展に伴い、短時間に大量の雨水が流出し内水氾濫の被害リスクが増大していることから、従来からのハード対策を着実に推進する。

また、ソフト対策として作成した内水ハザードマップは、内水による浸水被害の最小化を図るために啓発を行い、ハード対策の進捗に伴いマップを改訂する。

６　緊急時措置訓練

緊急時措置の迅速、確実に万全を期すため、下水道ＢＣＰを基に、平日昼間、休日・夜間において災害時に事故が発生する場合を想定し、参集、情報の収集・伝達等に関する緊急操作、応急処置、広報等を含む訓練を随時実施する。

第３項　電力施設

１　計画方針

電力施設の災害を防止し、また発生した被害の最小化を図り、早期に復旧を実現するため、災害発生原因の除去と防災・減災環境の整備に常に努力を傾注する。

２　事業計画

各設備については次のような災害予防措置を講ずる。

（１）水害対策

項目	措置概要
送電設備	鉄塔位置選定では、土砂崩れの危険性がある箇所を回避する。 やむを得ず、土砂崩れ等や斜面崩壊が懸念される箇所を選定する場合は、必要に応じて、基礎や斜面の補強等の技術対策を実施する。 地中電線路については、ケーブルヘッドの位置の適正化等による防水対策を実施する。
変電設備	浸冠水のおそれのある箇所は、床面の嵩上げ、窓の改造、出入口の角落し、防水扉の取付け、ケーブル入線孔等建物地下開口部の閉鎖、上下水施設の浸水対策等を行うが、建物の構造上、上記防水対策の不可能な箇所では主要機器の嵩上げを実施する。 また、屋外機器は、基本的に嵩上げを行うが、嵩上げが困難なものについては、防水・耐水構造化、又は防水壁等を組み合わせて対処する。

（２）風害対策

各設備とも、計画・設計時に建築基準法及び電気設備に関する技術基準等に基づいた対策を行う。

（３）塩害対策

塩害の著しい地域は、次のような諸対策を実施する。

項目	措置概要
送電設備	耐塩懸垂がいしの採用、がいし増結で対処するとともに、必要に応じ、がいし清掃を実施する。
変電設備	耐塩用がいし、耐塩用ブラッシング、活線がいし洗浄装置等を使用して対処するとととともに、特に必要な箇所は、がいしにシリコン塗布を行う。
配電設備	耐塩用がいし、耐塩用変圧器及び耐塩用開閉器等を使用して対処する。

（４）雪害対策

雪害の著しい地域は次のような諸対策を実施する。

項目	措置概要
送電設備	鉄塔には、オフセット及び耐雪結構を採用し、がいし装置は、適切な間隔で耐張型を採用するとともに、電力線・架空地線には、線下状況に応じて難着雪対策を実施する。 また、気象通報等により雪害を予知した場合は、系統切替等により災害の防止又は拡大防止に努める。
変電設備	機器架台の嵩上げ、機器の防雪カバー取付け、融雪装置等の設置を実施する。
配電設備	縁まわし線の支持がいし増加、雪害用支線ガードの取付け、難着雪電線の使用等により対処する。

（５）雷害対策

項目	措置概要
送電設備	架空地線、避雷装置、アークホーンの設置及び接地抵抗の低減等を行うとともに、電力線の溶断防止のため、アーマロッドの取付け等を行う。 また、気象通報等により雷害を予知した場合は、系統切替等により災害の防止又は拡大防止に努める。
変電設備	耐雷しゃへい及び避雷器を重点的に設置するとともに、重要系統の保護継電装置を強化する。
配電設備	襲雷頻度の高い地域においては、避雷器等の避雷装置を取付け対処する。

（６）地盤沈下対策

地盤沈下地帯及び将来沈下が予想される地域に構造物を設ける場合は、将来沈下量を推定し設計する。将来沈下量は既往の実績、土質試験の結果、地下水位、構造物の重量等に基づいて算定する。

（７）土砂崩れ対策

土砂崩れによる被害が想定される箇所の電力設備については、巡視点検の強化、社外モニターの活用等により、被害の未然防止に努める。

なお、土砂採取、土砂等の野積み、土地造成等の人為的誘因による土砂崩れを防止するため、平素から関係業者へのＰＲを徹底する。

第４項　公衆電気通信施設

１　防災教育

災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、社員の安全確保を図るとともに関係社員が迅速かつ適切に防災業務を遂行しうるよう、防災に関する教育を実施する。

２　防災訓練

防災を円滑、かつ迅速に実施するため、次に掲げる内容の訓練を年１回以上実施する。

（１）災害予報及び警報の伝達

（２）非常招集

（３）災害時における通信そ通確保（災害用伝言ダイヤル等安否確認のためのサービスの運営を含む。）

（４）各種災害対策用機器の操作

（５）電気通信設備等の災害応急復旧

（６）消防及び水防

（７）避難及び救護

３　防災訓練への参加

地方防災会議等が主催して行う防災訓練に積極的に参加し、これに協力する。

４　電気通信設備等に関する防災計画

（１）電気通信設備等の高信頼化

災害の発生を未然に防止するため、次のとおり電気通信設備と、その付帯設備（建物を含む。以下「電気通信設備等」という。）の防災設計を実施する。

ア　豪雨、洪水、高潮又は津波等のおそれがある地域にある電気通信設備等について、耐水構造化を行うこと。

イ　暴風又は豪雪のおそれのある地域にある電気通信設備等について、耐風又は耐雪構造化を行うこと。

ウ　地震又は火災に備えて、主要な電気通信設備等について耐震及び耐火構造化を行うこと

（２）電気通信システムの高信頼化

災害が発生した場合においても通信を確保するため、次の各項に基づき通信網の整備を行う。

ア　主要な伝送路を多ルート構成、若しくはループ構成とすること。
イ　主要な中継交換機を分散設置すること。
ウ　大都市において、とう道（共同溝を含む。）網を構築すること。
エ　通信ケーブルの地中化を推進すること。
オ　主要な電気通信設備について、必要な予備電源を設置すること。
カ　重要加入者については、当該加入者との協議により加入者系伝送路の信頼性を確保するため、２ルート化を推進すること。

（３）電気通信処理システムに関するデータベース等の防災化

電気通信設備の施設記録等重要書類並びに通信処理システム及び通信システム等のファイル類について、災害時における滅失若しくは損壊を防止するため、保管場所の分散、耐火構造容器への保管等の措置を講ずる。

（４）災害時措置計画

災害時等において、重要通信の確保を図るため、伝送措置、交換措置及び網措置に関する措置計画を作成し、現行化を図る。

５　重要通信の確保

（１）災害時に備え、重要通信に関するデータベースを整備する。
（２）常時そ通状況を管理し、通信リソースを効率的に運用する。
（３）災害時には、設備の状況を監視しつつ必要に応じてトラヒックコントロールを行い電気通信のそ通を図り、重要通信を確保する。

６　災害対策用機器及び車両等の配備

災害発生時において、通信を確保し又は災害を迅速に復旧するため、あらかじめ保管場所及び数量を定め、必要に応じて、次に掲げる機器及び車両等を配備する。

（１）非常用衛星通信装置
（２）非常用無線装置
（３）非常用伝送装置
（４）非常用電源装置
（５）応急ケーブル
（６）特殊車両

７　災害対策用資機材等の確保と整備

（１）災害対策用資機材等の確保

災害応急対策及び災害復旧を実施するため、平常時から復旧用資材、器具、工具、防災用機材、消耗品等の確保に努める。

（２）災害対策用資機材の輸送

災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、災害対策用機器、資材及び物資等の輸送を円滑に行うため、必要に応じ、あらかじめ輸送ルート、確保すべき車両、船舶、ヘリコプター等の種類及び数量並びに社外に輸送を依頼する場合の連絡方法等の輸送計画を定めておくとともに、輸送力の確保に努める。

（３）災害対策用資機材等の整備点検

災害対策用資機材等は、常にその数量を把握しておくとともに、必要な整備点検をおこない非常事態に備える。

（４）災害対策用資機材等の広域運営

保有する主要な災害対策用資機材の効率的な運用を図るため、必要に応じて配備等の調整を図る。

（５）食料、医薬品等生活必需品の備蓄

非常事態に備え食料、飲料水、医薬品、被服、生活用備品等の保有量を定めて確保する。

（６）災害対策用資機材等の仮置場

災害対策用資機材等の仮置場について、非常事態下の借用交渉の難航が予想されるため、あらかじめ公共用地等の候補地について、地方防災会議の協力を得て、非常事態下の用地確保の円滑化を図る。

８　設備事故の防止

（１）電気通信設備の点検調査

電気通信設備を常に法令に定める技術基準に適合するように保持し、さらに事故の未然防止を図るため定期的に電気通信設備の巡視点検（災害発生のおそれがある場合等には特別の巡視）を行い不具合の早期発見とその改修に努める。

（２）広報活動

社外工事による被加害事故防止のため、道路管理者等と緊密な連携をとるとともに、報道機関等を通じて広報を行う。

第５項　都市ガス施設

災害時における被害の拡大防止、ガスの安定供給及び迅速かつ的確な応急復旧を行うために防災体制を整備する。

１　応急復旧体制の強化

（１）緊急装置判断支援システム（地震発生時に地震計、圧力計などの情報を迅速かつ的確に把握するシステム）の活用による被災地区の供給停止判断の迅速化を図る。

（２）緊急時ガス供給停止システムを強化する。

ア　感震自動ガス遮断方式及び遠隔ガス遮断方式によって導管網のブロック単位でガス供給を遮断するシステムの活用により、被災地区の供給停止の迅速化を図る。

イ　基準値以上の揺れを感知すると自動的に一般家庭及び業務用の都市ガス供給を自動的に停止するマイコンメーターの設置促進を図る。

（３）被災を免れた地区への供給を確保し、被災地区の二次災害の防止と早期復旧を図るため、細分化された導管網ブロックの維持管理を行う。
（４）被害状況と復旧作業工程に応じて、従業員及び協力会社作業員を効率的に編成動員するため、職能別要員を把握し、連絡体制及び動員体制を整備する。
（５）充用施設への供給を早期に確保するため、復旧順序の決め方や臨時供給方式について、あらかじめ計画を策定する。
（６）ガス管の漏洩箇所の特定、管内異物の効率的除去等の復旧技術の開発、改良及び向上に努める。
（７）施設の現況が把握できる施設管理図書等の整備、分散保管を図る。
（８）関係行政機関と連携し、前進基地の確保に努める。
（９）関係行政機関と連携し、早期復旧に資する手続きの合理化に努める。
　ア　復旧時における仮設配管及び導管地中残置。
　イ　事前届出を行っていない車両に対する緊急通行車両確認標章交付の迅速化。

２　災害対策用資機材の整備、点検

（１）災害復旧用資機材及び代替燃料（圧縮天然ガス、カセットコンロ等）の確保体制を整備する。
（２）緊急時通信機器の整備充実に努める。
（３）消火・消防設備の整備充実に努める。
（４）資機材の点検に努め、緊急時の輸送体制を整備する。
（５）適切な導管材料の備蓄に努める。

３　防災訓練の実施

情報収集連絡体制及び他機関との協力体制の充実強化、緊急対応・応急復旧の手順の熟知、並びに防災意識の高揚を図るため、計画的に防災訓練を実施する。

４　協力応援体制の整備

「地震・洪水等非常事態における救援措置要綱」（日本ガス協会）に基づき、単独復旧が困難な場合に備え、他の事業者との相互応援体制を整備する。

５　広報

被害状況、供給状況、復旧状況と今後の見通しを関係機関、報道機関に伝達し広報する。加えて、大阪ガスネットワーク株式会社のホームページ上に供給停止エリア、復旧状況など掲載することで幅広い情報伝達に努める。

第６項　液化石油ガス施設

１　業者等の防災体制

緊急事態に備えて、事業者等は、地震等の災害発生時において、消費者の安全を確保する重

要な責務を有するため、次の防災体制の整備を図る。

（１）事業者等自身の安全対策、一般消費先における液化石油ガス施設の耐震性の強化等

（２）一般社団法人和歌山県ＬＰガス協会市内各支部における情報収集、連絡及び協力体制の整備

（３）「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」第 83 条第３項に基づく、事業所内等への立入検査の実施

（４）緊急出動のための事前対策として、次のことを行う。

ア　緊急事態発生直後における消費先の液化石油ガス設備の緊急点検体制の確立

イ　緊急時における消費先の容器置場等の緊急措置体制の確立

ウ　応急復旧用資機材、容器回収用資機材等の整備

エ　事業者等、卸売事業者、認定保安機関等による効率的な緊急点検体制の整備

（５）事業者等自身による緊急時のための教育・訓練の実施及びマニュアルの整備

以下の危害予防規定規範の遵守に関する当該充填所等関係機関への周知徹底に努める。

ア　液化石油ガス充填所危害予防規定規範

イ　液化石油ガススタンド危害予防規定規範

（６）消費者への保安啓発

ア　安全機器等の設置の啓発

イ　地震等緊急事態発生時の場合の消費者のとるべき措置の啓発

（７）災害発生時の事業者等の行動基準の熟知

（８）市等の行う防災訓練への参画

２　広報活動

（１）災害の発生に備えて、消費者が適切に対応できるよう、日頃から広報活動を行い、その徹底を図る。

（２）非常時の液化石油ガスに係る情報提供の方法、電話相談窓口の開設等について周知させる。

第７項　鉄道施設

１　西日本旅客鉄道㈱和歌山支社

（１）現　況（和歌山市域内）

項目	紀勢本線	和歌山線	阪和線	計
営業距離（km）	11.0	11.9	14.5	37.4
橋梁（箇所）	42	17	39	98
トンネル（箇所）	0	0	4	4
踏切（箇所）	25	37	25	87

（２）計画方針

西日本旅客鉄道株式会社（以下「ＪＲ西日本」という。）の列車運転の安全確保を確立して輸送業務を災害から未然に防止し、地震災害発生という異常時においても常に健全な状態を保持できるよう、早期復旧及び輸送の確保を図って社会的使命を果たす。また、災害の発

生するおそれがある場合の警戒体制をあらかじめ策定しておき、更に線路施設等諸設備の被災状況を的確に把握して、広域災害に対処する体制を確立して輸送の円滑化を図る。

（３）事業計画

災害を防止するため、おおむね次の各号に掲げる事項について計画実施する。

ア　橋梁の維持、補修並びに改良
イ　河川改修に伴う橋梁改良
ウ　トンネルの維持、補修並びに改良
エ　のり面、土留の維持補修並びに改良
オ　落石防止設備の強化
カ　空高不足による橋げた衝撃事故防止及び自動車転落事故防止の推進
キ　線路周辺の環境条件の変化における線路警戒体制の確立
ク　台風並びに豪雨時等における線路警戒体制の確立
ケ　鉄道事故並びに災害応急処理要領に基づく、旅客対応支援体制の推進
コ　その他防災上必要な設備改良

２　南海電気鉄道㈱

（１）現　況（和歌山市域内）

項目	南海本線	加太線	和歌山港線
営業距離（km）	6.7	9.6	2.8
橋梁（箇所）	22	23	8
トンネル（箇所）	6	0	0
踏切（箇所）	12	36	12

（２）計画方針

鉄道施設における災害を防止するため、線路諸設備の実態を把握し、併せて周囲の諸条件を調査して、災害時においても、常に健全な状態を保持できるよう諸施設の整備を行う。

（３）事業計画

鉄道施設の災害予防のため、次の各号に掲げる事項について計画実施する。

ア　橋梁の維持、補修及び改良強化
イ　トンネルの維持、改修及び改良強化
ウ　のり面、土留の維持及び改良強化
エ　落石防止設備の維持、補修
オ　その他、建物設備の維持、修繕
カ　気象情報装置（雨量警報、風速警報、地震警報）の設置
キ　沿線情報装置（河川水位警報、冠水警報、落石警報、架道橋衝撃警報、自動車転落警報）の設置
ク　台風並びに豪雨時等における線路警戒体制の確立

ケ　その他防災上必要なもの

３　和歌山電鐵㈱

（１）現　況（和歌山市域内）

項目	貴志川線
営業距離（km）	11.3
橋梁（箇所）	22
トンネル（箇所）	0
踏切（箇所）	40

（２）計画方針

鉄道施設における災害を防止するため、線路諸設備の実態を把握し、併せて周囲の諸条件を調査して、災害時においても、常に健全な状態を保持できるよう諸施設の整備を行う。

（３）事業計画

鉄道施設の災害予防のため、次の各号に掲げる事項について計画実施する。

ア　橋梁の維持、補修及び改良強化

イ　のり面、土留の維持及び改良強化

ウ　落石防止設備の維持、補修

エ　その他、建物設備の維持、修繕

オ　気象情報装置（雨量警報、風速警報、地震警報）の設置

カ　沿線情報装置（河川水位警報、冠水警報、落石警報）の設置

キ　台風並びに豪雨時等における線路警戒体制の確立

ク　その他防災上必要なもの

第７節　農林業の災害予防

計画の方針

地震、大雨等による災害を未然に防止し、被害の軽減を図るため、土地改良施設の整備を計画的に推進するとともに、森林保全活動の推進に努める。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　ため池の防災計画	農林水産部、危機管理部、各部	県農林水産部、土地改良区
第２項　農地、農業用施設の防災計画	農林水産部	県農林水産部、土地改良区
第３項　調査体制の整備	農林水産部	県農林水産部、土地改良区
第４項　森林整備保全事業の促進	農林水産部	県農林水産部

第１項　ため池の防災計画

農業用水確保のため、ため池が利用されているが、これらのため池は築造年数も古く老朽化しており、地震、大雨によるため池決壊を未然に防止するよう改修工事を推進する。

（１）ため池改修加速化計画の推進

市（農林水産部）は、ため池下流の影響を考慮し、安全度の向上を図るよう「和歌山県ため池改修加速化計画」に基づき、計画的に改修事業計画の作成を推進する。

また、県（農林水産部）と連携し、ため池改修の実施を推進する。

「総則・予防計画第３編１－６　防災重点農業用ため池一覧」参照

項目	概要
現況把握	市（農林水産部）は、ため池管理者と調査体制の確立を推進するとともに、現地調査を実施し現況把握に努める。 「災害対策計画第６編様式５　ため池警戒区域調査表」参照 「災害対策計画第６編様式10　警戒区域一覧表」参照

項目	概要
改修計画	市（農林水産部）は、調査結果により対象施設、計画期間、維持管理の方針、耐震化の方針等を考慮した改修計画の策定を推進する。
改修工事	１　対策工について 計画に基づき、効果的な対策工を推進する。 ２　洪水吐改修について 受益を考慮した適切な水位設定が行われるようため池管理者に対し啓発に努めるとともに、洪水吐の改修を推進する。 ３　他事業計画との整合について 河川事業等必要に応じて他事業計画との整合を図り、地域の安全度の向上を図るよう整備を推進する。

（２）警戒避難体制の整備

市（危機管理部及び農林水産部）は、ため池防災支援システムなどの情報を共有し、市（各部）と連携して、市民への情報伝達のために必要な体制整備を推進する。

（３）ため池ハザードマップの作成

市（農林水産部）は、ため池決壊時の浸水情報及び円滑な避難を確保する上で必要な事項を記載した、「ため池ハザードマップ」の作成及び周知を推進する。

第２項　農地、農業用施設の防災計画

市（農林水産部）は、大雨や地震等による災害から農地被害を防止するため、農業用施設の整備を推進する。

項目	概要
農業防災の推進	１　用排水路の整備 排水能力の向上を図るため農業用用排水路の整備、改修を推進する。 ２　農業用河川工作物について 洪水、高潮、及び地震等による災害を未然に防ぐため、河川内にある農業用河川工作物の点検、改修について、施設管理者に対し啓発に努めるとともに、市管理施設についても適切な維持管理を推進する。 ３　排水機の改修推進 排水機の改修を推進し、排水能力を高め農地湛水の防止に努める。
農業技術の向上	気象情報に留意して、農作物被害の防止と予防措置について啓発・指導を行う。

第３項　調査体制の整備

市（農林水産部）は、災害発生に際し、関係機関及び農業従事者等と連携して、迅速に農業被害の調査を行うため、必要な体制整備を推進する。

第４項　森林整備保全事業の促進

市（農林水産部）は、森林機能の維持増進を図るため、森林保全関係者と協力し、林道の維持、管理等を行い、森林保全活動を推進するとともに、森林の防災機能を高めるため、国・県と必要な連携を行い、「和歌山県森林整備保全事業計画」に基づく対策事業の実施を促進する。

（１）森林整備

森林の有する多面的機能が持続的に発揮されるよう、健全な森林の育成のため、間伐等の実施やニーズに応じた多様な森林の整備を効果的かつ効率的に行う。

（２）治山

森林のもつ公益的機能の確保のため、治山施設の設置や機能の低下した森林の整備を推進する。

「総則・予防計画第３編１－１　山地災害危険地区一覧表」参照

第８節　土砂災害の防止

計画の方針

土砂災害を未然に防止し、又は軽減するため、崖崩れ等の危険が予想される箇所を把握し市民に公表するとともに、土砂災害警戒情報に基づく警戒避難体制の整備を図り、県と連携して崩壊防止工事を促進する。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　土砂災害防止法の推進	危機管理部、都市計画部、各部	県県土整備部
第２項　ハード対策の推進	道路河川部、消防局、都市計画部	県県土整備部、県農林水産部
第３項　宅地造成及び特定盛土等規制法の推進	都市計画部	県県土整備部

第１項　土砂災害防止法の推進

「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」（平成12年法律第57号。以下「土砂災害防止法」という。）に基づき、土砂災害のおそれがある区域を明らかにし、当該区域における警戒避難体制の整備を図るために、以下の手順により各対策を推進する。

（土砂災害をもたらす主な自然現象）

項目	概要
急傾斜地の崩壊	傾斜度が 30 度以上である土地が崩壊する自然現象
土石流	山腹が崩壊して生じた土石等又は渓流の土石等が水と一体となって流下する自然現象
地滑り	土地の一部が地下水等に起因して滑る自然現象又はこれに伴って移動する自然現象

１　基礎調査

県は、土砂災害（特別）警戒区域の指定及びその他土砂災害防止法に基づき行われる土砂災害防止のための対策に必要な基礎調査として、急傾斜地の崩壊等のおそれがある土地に関する

地形、地質、降水等の状況及び土砂災害の発生のおそれがある土地の利用状況等に関する調査を行う。

２　指定

県は、基礎調査結果を公表するとともに、市と協議を行い、発生原因となる自然現象の種類を定めて、土砂災害（特別）警戒区域の指定を行う。

なお、指定については公示を行うとともに、必要に応じて、市（危機管理部）と連携して当該区域の住民に対して基礎調査結果等について、説明会を実施し、その周知を図る。

項目	概要
土砂災害警戒区域	警戒避難体制を特に整備すべき区域
土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域のうち、一定の開発行為の制限及び居室を有する建築物の構造の規制をすべき土地の区域

「総則・予防計画第３編１－６　土砂災害（特別）警戒区域指定一覧」参照

３　警戒避難体制の整備

（１）情報伝達

市（危機管理部）は、県と和歌山地方気象台が共同で発表する土砂災害警戒情報及び国土交通省又は県による緊急調査の結果を踏まえた土砂災害緊急情報に基づく、避難指示等の判断基準及び避難先を整理した「避難情報の判断・伝達マニュアル」の改訂、県・和歌山地方気象台との避難指示等発令及び解除時の助言等気象情報の防災活用に関する連携強化を推進するとともに、防災行政無線及び警戒区域内の福祉保健施設、学校、医療施設等への戸別受信機の計画的配置等多様な情報伝達手段を整備し、市（各部）と連携して、市民への土砂災害警戒情報等防災情報伝達のための必要な体制整備を推進する。

（２）土砂災害の危険性の周知

市（危機管理部）は、土砂災害の危険が予測される区域や箇所、情報の伝達・入手方法、避難所及び避難経路に関する事項その他円滑な避難を確保する上で必要な事項を記載した印刷物（ハザードマップ）を作成し、その周知を図る。

（３）訓練

市（危機管理部）は、自主防災組織等と連携して、土砂災害に係る情報伝達を含めた実践的な避難訓練を実施する。

（４）救助

市（消防局）は、土砂災害における救助体制の充実強化に努める。

「総則・予防計画第２編第２章第４節　防災訓練」参照
「総則・予防計画第２編第３章第７節　消防活動体制の整備」参照
「総則・予防計画第３編４－３－４　土砂災害（特別）警戒区域内の施設」参照

４　建築物の構造規制

市（都市計画部）は、土砂災害特別警戒区域内において、開発行為の抑制及び居室を有する

建築物の技術的基準について確認を行う。

第２項　ハード対策の推進

１　対策工事の促進

土砂災害を防止するため、県による砂防三法指定区域の指定等による土砂災害防止施設の整備を促進するとともに、土地所有者等に対する保安措置の指導を行う。

項目	概要
危険箇所の巡視	市（消防局）は、災害の発生を想定し、土砂災害警戒区域等の巡視調査を行い、その状況把握に努める。 異常が見られるときは、必要な応急措置を行うとともに、直ちに県及び道路河川部に情報提供を行う。
対策工事の促進	市（道路河川部）は、危険箇所等が対策工事の採択基準を満たす場合、県と連携して、県による急傾斜地崩壊対策事業等対策工事の促進を図る。

「総則・予防計画第３編１－２　砂防指定地一覧表」参照
「総則・予防計画第３編１－３　急傾斜地崩落危険区域一覧表」参照
「総則・予防計画第３編１－４　地すべり防止区域一覧表」参照
「災害対策計画第６編様式７　急傾斜地等警戒区域調査表」参照
「災害対策計画第６編様式８　土石流警戒渓流調査表」参照
「災害対策計画第６編様式 10　警戒区域一覧表」参照

２　宅地耐震化推進事業の推進

市（都市計画部）は、大地震時における、大規模盛土造成地の滑動崩落による被害を軽減するため、宅地耐震化推進事業を推進する。

「総則・予防計画第２編第１章第５節　建築物の災害予防」参照

第３項　宅地造成及び特定盛土等規制法の推進

市（都市計画部）は、宅地造成、特定盛土等又は土石の堆積に伴う崖崩れ又は土砂の流出による災害の防止のため、宅地造成及び特定盛土等規制法による規制を推進する。

第２章　災害に強いひとづくり

第２章　災害に強いひとづくり

第１節　地域防災力の充実・強化

計画の方針

市民、自主防災組織、事業所は、「自助・共助」の理念のもと、災害予防対策を推進し、地域防災力の充実・強化に努める。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　市民の役割		市民
第２項　自主防災組織の役割		自主防災組織
第３項　事業所の役割		事業所
第４項　地区防災計画の作成支援	危機管理部	自主防災組織等

第１項　市民の役割

市民は、災害時の市民一人ひとりの行動が被害の軽減に大きく貢献することから、「自分の命は自分で守る」という精神のもとに、おおむね次に示す活動に積極的に取り組むことに努める。

平常時	災害時
１　防災知識の習得 風水害、地震等の災害特性、日頃からの備え、緊急地震速報メール受信時や災害時の初期行動等を身につける。 ２　防災訓練への参加 防災行動力を高めるため、防災訓練に積極的に参加する。 ３　家庭内での防災会議 災害時の避難先、避難方法、連絡方法、家族の役割などについて話し合い、備える。 ４　備蓄の確保（７日分） （１）非常持出品	１　率先避難 災害時に地域住民の避難を促進するため、自ら迅速な避難行動を行う。 ２　情報の収集 迅速かつ的確に避難行動を行うため、和歌山市防災情報メールや防災ラジオなどを用いて必要な災害情報を収集する。 ３　初期消火などの防火対策 災害時に避難行動を行うための最低限必要な対策を行う。 ４　自主防災組織等関係団体の支援 （１）避難誘導

平常時	災害時
非常持出品として、最低限必要となる物品（防じんマスク、常備薬等含む）をリュックサック等に保管する。 （２）非常備蓄品 非常備蓄品として、水・食料、その他生活用品（７日分程度）の備蓄を行う。 ５　住宅の安全確認 住宅耐震性の確保、家具転倒防止対策及び感震ブレーカーの取付による火災予防対策を実施するとともに、ブロック塀や外壁、屋根の安全性・損傷等を確認し、必要に応じて修繕しておく。 ６　地震保険等の加入の検討 地震・洪水等自然災害を対象とした保険・共済への加入について検討する。 ７　自主防災組織への参加 災害発生時に有効な防災活動ができるよう、積極的に自主防災組織に参加する。 ８　家庭動物と同行避難する際の備え 家庭動物と同行避難する必要がある場合、飼い主は、日常の健康管理やしつけに加え、避難時に必要な準備を図る。	（２）救出救護 （３）避難所運営の支援

第２項　自主防災組織の役割

自主防災組織は、地域の防災力の強化を図るため、「自分たちのまちは自分たちで守る」という連帯意識のもとに、おおむね次に示す活動を地域住民が互いに協力し合い、促進することに努める。

平常時	災害時
１　防災知識の習得・普及活動 風水害、地震等の災害特性、日頃からの備え、緊急地震速報メール受信時や災害時の初期行動等を身につけ、地域への知識の普及を図る。 ２　防災訓練の実施 地域の防災行動力を高めるため、防災訓練を実施する。 ３　地区内危険箇所の把握	１　情報の収集伝達 迅速かつ的確に防災活動、避難行動を行うため、必要な災害情報を収集し、地域住民へ伝達する。 ２　初期消火などの防火対策 災害時に防災活動、避難行動を行うための最低限必要な対策を行う。 ３　避難誘導 ４　救出救護

防災マップ等により、危険箇所の把握に努める。 4　地区防災計画、地区避難計画の策定及び検証 災害時に地域住民の安全を確保し、地区内で迅速かつ的確に防災活動、避難行動を行うため、計画を策定し、検証する。 5　防災資機材等の備蓄・点検 災害時に防災活動に使用する資機材等を平常時から備蓄し、安全点検を実施する。 6　ボランティア組織、消防団等、防災関係団体との連携 災害時における対応力の強化を図るため、関係団体との協力体制を整える。 7　避難行動要支援者の所在把握・交流 平常時から避難行動要支援者と交流を図る。	5　地域住民の安否確認 6　避難所運営の支援 7　救援物資等の配布 8　その他必要なこと。

第３項　事業所の役割

事業所は、災害時、従業員及び利用者等の安全を確保する責任を有するとともに、地域経済復興のために、迅速な事業の継続、再開が期待されている。

このため、各事業所において防災・減災の事前対策として事業継続力強化計画を策定し、さらに重要業務を継続するための事業継続計画（ＢＣＰ）を策定するように努めるとともに、平常時からも防災活動の推進に努める。

なお、消防法第８条の２の５第１項において防火対象物（事業所等）のうち、多数の者が出入するものであり、かつ、大規模なものとして消防法施行令で定めるものの管理について権原を有する者は、消防法施行令で定めるところにより、当該防火対象物に自衛消防組織を置かなければならないとされている。

平常時	災害時
1　防災知識の普及と訓練の実施 従業員への防災知識の普及を行うとともに、各自の役割、緊急地震速報メール受信時や災害時のとるべき行動を習得するため、事業所内で訓練を行う。 2　防災計画、事業継続力強化計画、事業継続計画（ＢＣＰ）の作成による防災体制の整備 災害時に周辺住民、施設利用者等の安全を確保し、防災活動が迅速かつ的確に行えるようにするとともに事業活動を維持・継続する	1　応急活動組織の編成 災害時に救出救護等、防災活動が迅速かつ的確に行えるよう、事業所内の防災体制を整備する。 2　情報の収集伝達 迅速かつ的確に防災活動、避難行動を行うため、必要な災害情報を収集し、地域住民へ伝達する。 3　出火防止及び初期消火 4　避難誘導

ため、計画を策定する。 3　防災資機材等の整備 救出・救護等行うための資機材の整備を行う。 4　備蓄の推進 従業員数に応じて、水、食料、その他生活用品（７日分程度）の備蓄を行う。 5　耐震化促進 地震等による建物や設備の被害を軽減するため、耐震対策等を進めるとともに定期的に安全点検を行う。 6　浸水対策の促進 豪雨及び津波時における地下施設への水の急激な流入等、地下空間で起こる危険な事態を想定し必要な施設整備を進める。 7　自主防災組織等との連携 地域で行う防災訓練等に参加し、施設開放や資機材の提供等を行い、地域との協力体制を整える。	5　救出救護 6　従業員、家族の安否確認及び帰宅困難者の安全確保 安否情報や交通情報等を確認し、帰宅可能者については安全確保に留意し帰宅させ、帰宅困難者については、事業所内で保護する。

第４項　地区防災計画の作成支援

南海トラフ地震などの大規模災害時には、地域コミュニティでの相互の助け合いが重要であることから、自主防災組織等が行う自発的な防災活動に関する地区防災計画を作成し、地域防災力を高め、地域コミュニティの維持・活性化を図ることが必要である。

市（危機管理部）は、自主防災組織等が主体となって取り組む地区防災計画の作成を支援する。

第２節　自主防災組織等の育成

計画の方針

地域住民、事業所等の「自分のまち意識」、「自分の仲間意識」の向上と、防災意識の高揚を図るとともに、地域住民の連帯協調を促進して組織化し、地域ぐるみの安全と防災体制の確立を図る。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　自主防災組織	危機管理部	自主防災組織
第２項　事業所における防災組織		事業所等

第１項　自主防災組織

市（危機管理部）は、地域住民が行う防災活動を支援するため、以下に示す事項を推進し、自主防災組織の育成・強化を図る。

１　防災リーダーの養成及び防災士資格取得支援
２　訓練の推進
３　自主防災活動に対する財政的支援
４　女性の自主防災組織への参加促進
５　要配慮者及び女性への配慮を念頭に置いた、地域コミュニティによる防災対策に向けての意識促進

「総則・予防計画第３編２－７　自主防災組織結成状況」参照

第２項　事業所における防災組織

多数の者が利用する施設、福祉施設、危険物取扱施設、工場・事業所等における防災組織の編成を促進する。事業所は、自衛防災計画を作成し、防災体制を整備する。

区分	内容
予防計画	１　予防管理組織の編成 ２　火気使用施設、危険物、指定可燃物の点検整理 ３　消防用設備等の点検整備
教育訓練計画	１　防災教育 ２　防災訓練
応急対策計画	１　応急活動組織の編成 ２　情報の収集伝達 ３　出火防止及び初期消火 ４　避難誘導 ５　救出・救護

第３節　防災知識の普及啓発

計画の方針

市職員、市民及び防災関係機関等に従事する職員それぞれが正しい防災知識を身につけ、「自分の身は自分で守る、自分達のまちは自分達で守る」という「責務」が自覚できる人づくりのための、防災教育や意識啓発等を行う。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　職員への普及	危機管理部	
第２項　市民等への普及	各部	県危機管理部
第３項　防災関係機関の職員が習熟すべき事項		防災関係機関
第４項　事業所の災害予防責任者が職員等に行う教育		災害予防責任者
第５項　防災学習センターの活用	消防局	

第１項　職員への普及

市（危機管理部）は、防災に関する意識及び知識の向上を図るため、おおむね次の内容についての研修を推進する。また、市職員は、自己及び家族の防災に対する啓発に努める。

普及の方法	普及事項
新規採用職員の研修	１　各種災害に関する基礎知識 ２　災害時の初期行動 ３　情報収集・伝達の方法 ４　地域防災計画等の内容 ５　避難所の運営方法 ６　その他必要な事項
訓練の実施	
初動対応についてマニュアル化・周知	
緊急防災要員、支部長、副支部長、避難所運営員、被害状況調査員の研修	

第２項　市民等への普及

市（各部）は、防災に関する知識をおおむね次の内容で普及を行い、防災意識の高揚を図る。

普及の方法	普及事項
防災マップ、ハザードマップ、避難カード等の配布	１　各種災害に関する基礎知識 ２　日頃からの備え（住宅の耐震化、家具の転倒防止、感震ブレーカーの取付等による火災予防、ブロック塀倒壊防止、非常持出品の準備、備蓄の推進、自動車へのこまめな満タン給油等） ３　初期消火及び救命救急の方法 ４　要配慮者及び女性に配慮した地域コミュニティによる防災対策 ５　災害教訓を活かした防災対策 ６　和歌山市の防災対策 ７　地震・洪水等自然災害を対象とした保険・共済の加入 ８　地域の災害リスクや災害時にとるべき行動 （１）地域の災害リスクや自分は災害に遭わないという思い込み（正常性バイアス）等の必要な知識を持つこと （２）「自らの命は自らが守る」という意識を持ち自らの判断で避難行動をとること （３）災害時の家族内の連絡体制の確保 （４）避難路、避難場所及び所要時間の把握 （５）正確な情報の入手方法（和歌山市防災情報メール、和歌山県防災ナビ、気象庁ホームページ「キキクル（危険度分布）」、防災ラジオ等） （６）避難場所安全レベルについての考え方 （７）避難に関する情報の意味の理解 ・安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要がないこと ・避難先として安全な親戚・知人宅等も選択肢としてあること ・警戒レベル４で危険な場所から全員避難すべきこと ・警戒レベル５（緊急安全確保）発令時には、直ちに身の安全を確保すること（防災行政無線を使ってサイレン音で周知すること）
新聞、テレビ、ラジオ等の活用	
広報紙の配布	
防災ホームページの活用	
防災訓練、講座等の開催	
啓発ＤＶＤの貸し出し	
ＶＲ防災体験車の活用	

	（８）マイタイムライン（市民自らがとる防災行動を時系列に整理したもの）の作成啓発 （９）広域避難及び広域一時滞在の考え方 （10）家庭動物との同行避難の方法や受け入れる避難所の場所、避難所での飼養についての準備 ９　生活の再建に資する行動（家屋が被災した際に、片付けや修理の前に、家屋の内外の写真を撮影するなど） 10　その他必要な事項

第３項　防災関係機関の職員が習熟すべき事項

防災関係機関の職員は災害対応力の向上を図ることを目的に、おおむね次の内容について習熟する。

習熟の方法	習熟事項
講習会・研修会への参加	１　各種災害に関する知識 ２　防災関係法令 ３　過去の主な災害事例と対策の現状と課題 ４　災害発生時の被害拡大抑制に関する初動措置 ５　防災関係機関との相互連携 ６　土木、建築その他地震・津波・洪水等対策に必要な技術等
実災害に即した想定訓練への参加	

第４項　事業所の災害予防責任者が職員等に行う教育

災害予防責任者は、職員及び災害対策要員に対して、防災関係法令又は各々の事業所が定める防災計画に基づき、その所掌事務又は業務について防災教育を実施する。

また、災害予防責任者は防災教育を行おうとするときは、教育機関その他の関係のある公私の団体に協力を求めることができる。

教育の方法	教育事項
講習会・研修会の実施及び参加	１　各種災害に関する知識 ２　防災関係法令 ３　災害時の消火・通報及び避難等の自衛消防活動
各事業所の消防計画の周知徹底	

実災害に即した想定訓練の実施	４　職員等の任務分担や活動 ５　事業所職員等以外の利用者等に配慮した避難誘導等の対策 ６　事業所内の防災関係施設・設備等の維持管理及び応急対策
避難又は防災の管理上必要な階段・通路等及び設備の現地査察	

※　災害予防責任者とは、指定行政機関の長及び指定地方行政機関の長、地方公共団体の長その他の執行機関、指定公共機関及び指定地方公共機関、公共的団体並びに防災上重要な施設の管理者である（災害対策基本法47条）。
災害予防責任者は、法令又は防災計画の定めるところにより、それぞれ又は他の災害予防責任者と共同して、その所掌事務又は業務について、防災教育の実施に努めなければならない（災害対策基本法48条）。

第５項　防災学習センターの活用

防災対策の推進に資するためには、市民及び地域等へ災害に対する危機意識を促し、災害発生時の災害対応力の自助・共助精神の向上が必要である。

市（消防局）は、防災学習センターにおける下記の施設の利用により幅広い年齢層の防災教育の普及に努める。

施設	概要
フロアーマップ	床面に紀伊半島と紀伊水道を表し、伊勢湾台風の軌跡を投影
南海トラフマップ	床面に赤いラインで南海トラフの位置を示し、紀伊半島及び紀伊水道との位置関係を表示
和歌山市災害年表	和歌山市が過去に被った主な風水害と南海地震の歴史を紹介
災害体感シアター	大型スクリーンと送風・音響装置により風水害及び地震を体感
津波ハザード	東海・東南海・南海地震が同時に発生した場合の津波到達についてシミュレーション
消火・通報・避難体験	災害発生初期の各種自衛活動を擬似体験
ＶＲ防災体験車	「火災」・「地震」・「津波」の３種類の災害をＶＲシステムで再現し、刻一刻と変化するリアルな災害状況を体験
防災アプリ体験	タブレットを使用し、「和歌山県防災ナビ」をはじめとした様々な防火防災関連のアプリを体験

第４節　防災訓練

計画の方針

市、関係機関、市民など各自の災害対応力強化、相互の連携強化及び防災意識高揚等を図るため、より実践的な訓練を積極的、継続的に実施する。また、訓練結果検証により、体制の改善、本計画・各種マニュアルの改善を行うとともに、次回の訓練に反映させる。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　市、県及び防災関係機関の訓練	各部、危機管理部	県危機管理部、防災関係機関、相互応援協定市、自主防災組織、防災ボランティア団体、市民、事業所
第２項　事業所及び自主防災組織の訓練	危機管理部、消防局	事業所、自主防災組織
第３項　訓練の留意点		

第１項　市、県及び防災関係機関の訓練

市（各部）は、市民の生命、身体及び財産を災害から守るという責務を遂行するため、計画的に訓練を実施し、職員及び組織の災害対応能力を高め、災害時における混乱の中で、適切に判断し行動できる力を身につける。

防災関係機関は、防災業務計画等に基づき、各種訓練を実施するとともに、市の訓練に参加又は協力を行う。

また、市及び防災関係機関は互いに連携して訓練を実施する。

項目	概要
総合防災訓練	市（危機管理部）は、大型台風の来襲及び大規模地震、又はそれらの複合災害を想定し、自衛隊・警察・日本赤十字社等の防災関係機関、相互応援協定市、自主防災組織、防災ボランティア団体、市民、事業所等と合同して、消火、避難（大規模広域災害時の円滑な広域避難含む）、救出救護、情報伝達等、各種の訓練を総合的に行う。 また、住民、防災関係機関等の参加の下、地震発生から津波来襲までを想定した情報収集、伝達、避難を含めた実践的な訓練を実施する。

項目	概要
個別訓練	市（各部）は災害時、迅速かつ的確に災害対応を行うため、防災関係機関と連携した訓練を実施する。 １　水防訓練 ２　消防訓練 ３　医療救護訓練及び医療救護本部運営訓練 ４　通信訓練 ５　参集・初期活動訓練 ６　避難所開設・運営訓練（感染症対策を含む） ７　その他災害時応急対策に必要な訓練

第２項　事業所及び自主防災組織の訓練

事業所及び自主防災組織は、被害想定及び地区の特性を踏まえた訓練を実施する。
市（危機管理部及び消防局）は、状況に応じ、事業所及び自主防災組織の訓練を支援する。

項目	概要
事業所が行う訓練	消防法において防火管理者等の選任を義務付けられた事業所は、防火管理者等の作成する消防計画に基づく災害発生時初動措置による被害の軽減を目的に、消火、避難及び通報訓練等を実施する。
自主防災組織が行う訓練	各地域の実情に即し、防災マップ等を活用し、災害発生時における情報の収集・伝達、避難誘導、安否確認表示、応急救護、要配慮者支援、避難所運営及び他組織との連携に関する訓練等を実施し、地域住民の共助精神の高揚を図り、防災意識及び災害対応力の強化に努める。

第３項　訓練の留意点

訓練を通じて得られた教訓・課題を訓練終了後に整理・検証し、防災対応力の向上を図る。

第５節　ボランティアとの連携

計画の方針

ボランティアによる災害時における活動が円滑に行われるよう、市域のＮＰＯやボランティア団体、専門的な知識を有する技能者等の関係団体等との連携を、平常時より確保し、活動環境の整備を図る。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　ボランティアの区分		
第２項　一般ボランティアとの連携	市民部	市社会福祉協議会、県社会福祉協議会、県環境生活部、市ボランティア連絡協議会、市地区社会福祉協議会、市民生委員・児童委員協議会、日本赤十字社和歌山県支部
第３項　防災ボランティアとの連携	各部、市民部、危機管理部、社会福祉部	
第４項　人材の確保	危機管理部、総務部、消防局、企業局各部、健康推進部、観光国際部	

第１項　ボランティアの区分

災害時のボランティアは、次の区分による。

１　一般ボランティア

専門的な知識及び技能に関係なく、労力、物資、場所、情報等の提供を行う。

主な活動
１　給水・給食・生活必需品の配布
２　被害情報・生活情報の収集・伝達
３　避難所・物資拠点及び災害ボランティアセンター運営支援
４　避難所における要配慮者の介護補助
５　清掃・防疫の補助
６　その他危険を伴わない応急復旧作業等

２　防災ボランティア

項目	概要
専門ボランティア	専門的な知識及び技能を必要とする災害救援活動に当たる個人又は団体
救援ボランティア	ボランティアとして指導者の指揮の下、統一されたグループとして災害救援活動に当たる団体

第２項　一般ボランティアとの連携

和歌山市社会福祉協議会は、市（市民部）と連携して、災害時のボランティア活動における自主性、自発性の精神を尊重した支援体制を構築するため、関係機関と平常時から相互理解を深めるとともに、ボランティア活動が円滑に行なわれるよう、必要な体制整備を図る。

項目	概要
関係機関	県社会福祉協議会、市地区社会福祉協議会、市ボランティア連絡協議会、市民生委員・児童委員協議会、自治会、自主防災組織
体制整備	１　災害ボランティアセンターの開設予定地の確保 ２　災害ボランティアセンターの運営マニュアルの作成、見直し ３　県社会福祉協議会を通した相互支援体制の構築（職員派遣、資機材提供等） ４　ボランティア団体の育成 ５　ボランティアコーディネーターの育成 ６　ボランティアの普及 ７　防災教育の実施 ８　防災訓練の実施 ９　その他一般ボランティアの活動支援に必要なこと。

第３項　防災ボランティアとの連携

１　技能者との連携

市（各部）は、専門的な知識を有する技能者等の関係団体と平常時から連携を深め、災害時における協力が得られる体制を整備する。

専門的な知識を有する技能者
１　被災建築物応急危険度判定士及び被災宅地危険度判定士
２　土木・建築技術者
３　医師、歯科医師、薬剤師、看護師、保健師、助産師、理学療法士等
４　教師・保育士及びカウンセラー

専門的な知識を有する技能者
５　通訳（多言語、手話等） ６　無線技士及び各種機器の修理技術者 ７　大型自動車・重機の運転士 ８　その他

２　県との連携

市（市民部）は、県に登録している専門ボランティア登録団体への派遣要請が円滑に行えるよう、必要な体制を整備する。

分野	活動内容（資格要件）
通信ボランティア	１　活動内容 アマチュア無線による情報通信活動 ２　資格要件 アマチュア無線技師
通訳ボランティア	１　活動内容 外国人の被災者に対する通訳活動 ２　資格要件 多言語の知識や通訳の経験を有する者
手話ボランティア	１　活動内容 ろうあ者の被災者に対する支援活動 ２　資格要件 手話の知識や手話通訳の経験を有する者
介護ボランティア	１　活動内容 避難所等における要介護者への対応、一般ボランティアへの介護指導等 ２　資格要件 介護福祉士
要約筆記ボランティア	１　活動内容 中途失聴・難聴者の被災者に対する支援活動 ２　資格要件 要約筆記養成講座修了者又は同等の講座修了者
救護ボランティア	１　活動内容 被災者に対する医療救護活動（柔道整復師法に規定された業務の範囲） ２　資格要件 柔道整復師
	１　活動内容 被災者に対する医療救護活動（理学療法士及び作業療法士法に規定された範囲）

	２　資格要件 理学療法士、作業療法士

３　日本赤十字社和歌山県支部との連携

市（危機管理部及び社会福祉部）は、日本赤十字社和歌山県支部に対して、赤十字奉仕団の派遣要請が円滑に行えるよう、必要な体制を整備する。

第４項　人材の確保

市（危機管理部・総務部・消防局・企業局各部・健康推進部・観光国際部）は、平常時の減災に向けた防災知識普及活動及び災害時の支援活動等を行うため、地域特性を熟知した災害対策の経験のあるＯＢ職員、又は防災に係る様々な活動を行う専門的知識のある人材確保について検討を進める。

担当部	活動内容
市（危機管理部）	防災士資格取得者による防災知識の普及
市（総務部）	市ＯＢ職員による災害時の活動支援
市（消防局）	消防職員ＯＢによる災害時の活動支援
市（企業局各部）	企業局職員ＯＢによる災害時の活動支援
市（健康推進部）	保健所職員ＯＢによる災害時の活動支援
市（観光国際部）	通訳協力職員による災害時の活動支援

第６節　要配慮者支援体制の整備

計画の方針

高齢者及び障害者等の要配慮者のうち、災害発生時の避難に特に支援を要する者（以下「避難行動要支援者」という。）の支援の基礎資料となる「避難行動要支援者名簿」の作成及び要配慮者全般に係る支援体制の整備推進を図る。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　避難行動要支援者名簿	社会福祉部、消防局、消防団、健康推進部	県福祉保健部、県警の各警察署、自治会（自主防災組織）、民生委員、市社会福祉協議会
第２項　避難支援体制の整備	危機管理部、社会福祉部、保険医療部、健康推進部、各部	県危機管理部、県福祉保健部、避難支援等関係者、施設管理者
第３項　避難所における支援体制の整備	危機管理部、健康推進部、社会福祉部、財政部、産業部、建物を管理する各部	県危機管理部、県福祉保健部、福祉サービス提供者、施設管理者
第４項　外国人対策	観光国際部、各部、危機管理部	県企画部
第５項　災害ケースマネジメント体制の構築	保険医療部、健康推進部、社会福祉部	社会福祉協議会、専門職団体、ボランティア等

第１項　避難行動要支援者名簿

市（社会福祉部）は、「災害対策基本法第 49 条の 10～第 49 条の 13」及び「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」（内閣府）に基づき、「避難行動要支援者名簿（以下、本節において「名簿」という。）」を作成するとともに、市（健康推進部）と連携して、情報入手等必要な体制整備を推進する。

なお、名簿の作成に当たっては、次の点に留意する。

１　避難支援等関係者

避難行動要支援者の避難支援の実施に携わる関係者（以下「避難支援等関係者」という。）となる者は、以下のとおりとする。

避難支援等関係者
消防局、消防団、県警各警察署、自治会、自主防災組織、民生委員、市社会福祉協議会、その他市長が必要と認める関係者

２　避難行動要支援者

避難行動要支援者として名簿に掲載する者の範囲は、以下のとおりとする。

避難行動要支援者
本市に住所又は居所を有し、自宅もしくは親族等の居宅に居住する者であって、次に掲げる要件のうち一以上の要件を満たす者 １　要介護認定３～５を受けている者 ２　身体障害者手帳１・２級を所持する者（心臓、じん臓機能障害のみで該当の者は、申出により名簿掲載が可能） ３　療育手帳Ａを所持する者 ４　精神障害者保健福祉手帳１級を所持する者 ５　難病患者で避難支援が特に必要とされる者 ６　小児慢性特定疾病医療受給者証を所持する者で重症認定を受けている者 ７　乳幼児及び妊産婦で避難支援が特に必要とされる者 ８　上記以外で避難支援が特に必要とされる者

３　名簿作成に必要な個人情報及び入手方法

（１）個人情報

名簿には、避難行動要支援者に関する以下の個人情報を掲載する。

名簿掲載事項
１　氏名 ２　生年月日 ３　性別 ４　住所又は居所 ５　電話番号その他の連絡先 ６　避難支援等を必要とする事由 ７　避難支援の実施に関し市長が特に必要であると認める事項

（２）入手方法

名簿作成に必要な個人情報について、以下のとおり入手する。

入手先	入手方法
市の関連部局	情報を保有する市の関連部局に情報提供を求める。
県	県に情報提供を求める。
避難行動要支援者	申請書（同意書）の提出

４　避難行動要支援者の名簿からの削除

市が保有する名簿から削除を希望する避難行動要支援者については、「避難行動要支援者登録抹消申請書」を提出してもらい、名簿からの削除を行う。

５　名簿の共有

（１）共有方法

避難支援等関係者との名簿の共有方法は、以下のとおりとする。

なお、平常時における名簿情報の提供については、避難行動要支援者の同意を得て行う。

避難支援等関係者	共有方法
消防局	行政地区単位で、消防長宛てに紙資料で提供
消防団	行政地区単位で、団長宛てに紙資料で提供
県警の各警察署	警察署の管轄地域単位で、各署長宛てに紙資料で提供
自治会、自主防災組織	行政地区単位で、各連合自治会長宛てに紙資料で提供
民生委員	地区民生委員・児童委員協議会単位で、各協議会長宛てに紙資料で提供
市社会福祉協議会	行政地区単位で、協議会長宛てに紙資料で提供
その他市長が必要と認める関係者	避難支援に必要な範囲で、関係者宛てに紙資料で提出

（２）名簿提供時の措置

市（社会福祉部）は、名簿情報の提供に際し、情報漏えいを防止するために避難支援等関係者に対して、以下の措置を講じる。

情報漏えいの防止
１　担当地区の避難支援等関係者に限り提供するなど、情報を無用に共有、利用されないように指導する。 ２　基本法に基づく守秘義務を避難支援等関係者に十分説明する。 ３　コピー偽造防止用紙を用いて名簿を作成し、名簿を必要以上に複製しないように指導する。 ４　名簿の取扱い状況について、必要に応じて報告を求める。

６　名簿の更新

名簿情報については、住民基本台帳の異動情報や避難行動要支援者からの申出を基に、名簿情報を更新する。

更新後は、年４回程度の頻度で更新した名簿を作成し、避難支援等関係者等に通知する。

通知先	通知手段
避難支援等関係者	更新した名簿による通知
避難行動要支援者	通知しない。

第２項　避難支援体制の整備

避難行動要支援者の円滑な避難のために、以下の体制を整備する。

１　高齢者等避難等発令基準の策定

市（危機管理部）は、避難行動要支援者が円滑かつ安全な避難行動を取ることができるよう、「避難情報の判断・伝達マニュアル」において、高齢者等避難等の発令基準を定める。

「総則・予防計画第２編第３章第４節　避難体制の整備」参照

２　情報伝達体制の整備

市（危機管理部）は、自主防災組織や要配慮者利用施設等への防災行政無線戸別受信機の計画的配置等、「総則・予防計画第２編第３章第３節　情報収集・伝達体制の整備」に基づいた、複数の手段を活用した情報伝達体制を整備する。

市（社会福祉部）は、避難行動要支援者の日常生活を支援する機器への情報伝達体制を整備する。

・聴覚障害者　：インターネット、テレビ放送（地上デジタル放送等）、聴覚障害者通報システム登録者へのＦＡＸ一斉同報
・視覚障害者　：受信メールを読み上げる携帯電話
・肢体不自由者：フリーハンド用機器を備えた携帯電話

３　個別避難計画の作成

市（社会福祉部、健康推進部、危機管理部及び各部）は、避難支援等関係者、福祉専門職等と連携し、避難行動要支援者ごとに地域におけるハザード状況、心身の状況、独居等の居住実態を踏まえ、個別避難計画の作成を推進する。

４　避難支援等関係者との連携

市（社会福祉部及び健康推進部）は、「本節第１項　避難行動要支援者名簿」に基づき、避難支援等関係者と連携を図り、地域の避難支援者の共助を得て、災害時の避難支援や安否確認を行える体制づくりを推進する。

また、避難支援等関係者及び避難行動要支援者に対して、名簿の提供又は申請受付時等に避難支援等関係者の安全確保についての理解を図る。

５　自主防災組織の育成

市（危機管理部）は、自主防災組織の育成・強化を図るため、必要な施策を推進する。

「総則・予防計画第２編第２章第２節　自主防災組織等の育成」参照

６　訓練及び防災講座の推進

市（社会福祉部及び保険医療部）は、社会福祉施設管理者に対して、避難行動要支援者に配

慮した避難訓練及び防災講座等の実施を推進する。

「総則・予防計画第２編第２章第３節　防災知識の普及啓発」参照
「総則・予防計画第２編第２章第４節　防災訓練」参照

７　高齢者福祉施設等の取組

高齢者福祉施設等の管理者は、災害発生時の施設利用者及び職員の安全確保を図るため、「和歌山県高齢者福祉施設における災害対応マニュアル作成の手引き」等を参照し、平常時から防災対策の推進を図る。

項目	概要
施設の安全対策	各種の災害に備え施設・設備等の点検と整備に努める。
必需品の備蓄	施設利用者が災害時に継続して施設生活をおくることができるよう、食料や必要な物資の備蓄を推進する。
災害発生時の初動体制の確立	施設利用者の活動能力等を考慮した、地震、津波、洪水等の災害や火災発生時の施設職員の役割分担等を定めた防災計画を策定する。
地域社会との連携づくり	施設周辺の自主防災組織等の地域各種団体や事業所との連携を推進し、災害発生時に協力が得られる体制整備に努める。
防災教育と防災訓練	職員及び施設利用者の防災に対する意識及び対応力の向上を図るため、職員研修や、地震や火災等を想定した避難訓練を定期的に実施する。

第３項　避難所における支援体制の整備

１　避難所開設・運営マニュアルの策定

市（危機管理部）は、要配慮者に配慮した「避難所開設・運営マニュアル」を策定する。

「総則・予防計画第２編第３章第４節　避難体制の整備」参照

２　福祉サービス提供者等との連携

市（危機管理部及び社会福祉部）は、平常時から福祉サービス提供者等との連携を図り、避難所及び福祉避難所における要配慮者の支援体制（物資確保・人員確保）の整備に努める。

３　食料・生活必需品の備蓄・調達体制の整備

市（危機管理部）は、アレルギー保有者や乳幼児等に配慮した備蓄の増強を推進するとともに、市（財政部及び産業部）は、物資の速やかな調達体制の推進を図る。

「総則・予防計画第２編第３章第６節　物資の備蓄及び確保体制の整備」参照

４　施設整備

市（建物を管理する各部）は、要配慮者に配慮した施設整備を推進する。

「総則・予防計画第２編第３章第４節　避難体制の整備」参照

５　福祉避難所の指定

市（社会福祉部）は、一般の避難所において何らかの特別な支援を必要とする要配慮者が避難するための施設を、福祉避難所として指定する。

また、障害者及び医療的ケアを必要とする者に配慮した福祉避難所の指定も推進する。

６　健康管理体制の整備

市（健康推進部）は、被災者の二次的健康障害の予防を計るため、必要な体制整備を推進する。

第４項　外国人対策

地域に住む外国人に対し、次の施策を推進する。

１　情報提供及び相談体制の整備

市（観光国際部）は、多言語通訳者及び語学ボランティア等と連携を図り、情報提供及び相談体制を整備する。

２　多言語の併記

市（各部）は、各所管業務の遂行における標識や案内板の設置について、多言語の併記表示を推進する。

３　防災意識の啓発

市（観光国際部及び危機管理部）は、外国人を対象とした防災講座の開催や、多言語を併記した防災啓発パンフレット及び防災マップの作成・配布を行い、外国人の防災意識の啓発を推進する。

第５項　災害ケースマネジメント体制の構築

市（保険医療部、健康推進部及び社会福祉部）は、社会福祉協議会・専門職団体・ボランティア等と連携し、被災者の主体的な自立・生活再建が進むよう、災害ケースマネジメント体制の構築を図る。

第３章　災害に強いシステムづくり

第３章　災害に強いシステムづくり

第１節　総合防災体制の推進

計画の方針

迅速な防災活動を実施するため、市、県、防災関係機関、市民及び事業者が、必要な防災組織の整備を推進し、総合防災体制の確立を図る。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　市の防災体制	各部、危機管理部	和歌山市防災会議
第２項　県及び防災関係機関の体制		県、防災関係機関
第３項　市民及び事業者の役割		

第１項　市の防災体制

１　防災会議

災害対策基本法第 16 条に基づき、和歌山市防災会議を設置する。

所掌事務
１　地域防災計画を作成し、その実施を推進すること。 ２　市長の諮問に応じて本市の地域に係る防災に関する重要事項を審議すること。 ３　上記「２」に規定する重要事項に関し、市長に述べること。 ４　本市の地域に係る災害が発生した場合において、当該災害に係る災害復旧に関し、本市及び関係各機関相互間の連絡調整を図ること。 ５　上記「１～４」に掲げるもののほか、法律又はこれに基づく政令により、その権限に属する事務

「総則・予防計画第３編２－１　和歌山市防災会議条例」参照
「総則・予防計画第３編２－２　和歌山市防災会議運営要綱」参照
「総則・予防計画第３編２－３　和歌山市防災会議委員・幹事名簿」参照

２　災害対策本部

災害対策基本法第 23 条の２に基づき、災害が発生し又は発生するおそれがある場合において、災害対策本部を設置する。

災害対策本部は、必要に応じ、関係指定地方行政機関、関係地方公共団体、関係指定公共機関及び関係指定地方公共機関との連携の確保に努めるとともに、必要な所掌事務について地域防災計画に定める。

市（各部）は、所属職員に対して、訓練等を通じて、災害時の役割や体制の周知徹底を図ることを目的に、具体的な行動手順等を明確にした災害対応マニュアルを作成するとともに、適宜必要な見直しに努める。

また、防災関係機関や民間事業者との円滑な連携を図るため、協定締結を推進するとともに、日ごろから情報交換や合同訓練を行い、「顔の見える関係」を構築し、連携体制の強化を図る。

所掌事務
1　災害に関する情報を収集すること。 2　災害応急対策を的確かつ迅速に実施するための方針を作成し、並びに当該方針に沿って災害応急対策を実施すること。

「総則・予防計画第３編２－４　和歌山市災害対策本部条例」参照
「総則・予防計画第３編２－５　関係機関連絡先」参照
「災害対策計画第１編第１章第１節　災害対策組織」参照
「災害対策計画第１編第１章第２節　職員の動員体制」参照

３　初動体制の強化

市長は、総合防災課へ休日・夜間勤務職員を配置するとともに、災害緊急対応要員（避難所運営員、被害状況調査員及び緊急防災要員等）を任命する。

任命に際しては、過去の所属部署や災害対応の経験等を踏まえることとし、より有効に即応体制を整備するものとする。

市（危機管理部）は初動対応についてマニュアル化し、周知を図るとともに、災害発生時の配備体制の伝達手段を構築する。

市（各部）は、各配備体制に基づき、動員する職員をあらかじめ定めておく。

４　課題の改善

市（各部）は、訓練や実際の災害対応の経験を通して、災害応急対策の実施における課題の改善を図る。

第２項　県及び防災関係機関の体制

県及び和歌山市の区域を管轄し、又は区域内に所在する防災関係機関は、災害対策基本法第 47 条の規定に基づき、防災に関する組織を整備するとともに、絶えずその改善を図る。

第３項　市民及び事業者の役割

１　市民

市民は、災害発生時の被害軽減を図るため、自治会、婦人会、自主防災組織等地域各種団体

連携のもと、自主防災組織活動を強化し、災害に備えるよう努める。

２　事業者

事業者は、自主的な防災組織を編成し、事業所内における安全確保を図るほか、地域各種団体との密接な連携を図り、地域の安全に積極的に寄与するよう努める。

第２節　広域応援体制の整備

計画の方針

市単独では対応しきれない大規模災害が発生した場合に備え、都市間における相互応援協定の締結を推進するとともに、受援体制及び支援体制の整備推進を図る。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　相互応援協定の推進	危機管理部、各部	
第２項　受援体制の整備	危機管理部、各部	県危機管理部、自衛隊、近畿地方整備局和歌山河川国道事務所、県警
第３項　支援体制の整備	危機管理部	

第１項　相互応援協定の推進

市（危機管理部）は、災害時の業務遂行に当たり、あらかじめ必要な要員等を確保するために、広域に他の市町村との相互応援協定の締結を推進する。

なお、専門性が高く、応援の受入が確実視される業務については、市（各部）で必要な協定締結を推進する。

協定種別	応援の種類
中核市相互応援	1　食料、飲料水及び生活必需物資並びにその供給に必要な資器材の提供 2　被災者の救出、医療、防疫、施設の応急復旧等に必要な資器材及び物資の提供 3　救援及び救助活動に必要な車両等の提供 4　救助及び応急復旧に必要な職員の派遣 5　遺体処理に関すること。 6　災害による被害により被災市がホームページを利用して災害情報等を発信することが不能となった場合において、当該災害情報等を協定市のホームページに掲載を要請 7　その他要請のあった事項

協定種別	応援の種類
協定市間相互応援	1　食料、飲料水及び生活必需物資並びにその供給に必要な資器材の提供 2　被災者の救出、医療、防疫、施設の応急復旧等に必要な資器材及び物資の提供 3　救援及び救助活動に必要な車両、舟艇等の提供 4　救助及び応急復旧に必要な職員の応援 5　被災者を一時収容する施設の提供 6　被災児童、生徒等の一時受入 7　コンピュータ相互バックアップに関すること。
消防業務に関する相互応援	1　消防組織法第39条の規定に基づく和歌山県内において大規模又は特殊な災害が発生した場合における応援 2　和歌山県内の市町村及び消防事務組合が災害による被害を最小限に防止するための和歌山県防災ヘリコプターの応援 3　和歌山県北部臨海都市における大規模災害及び産業災害等の予防、鎮圧及び民心の安定を図るための消防隊等の派遣 4　府県境界を接する阪和林野火災が発生した場合における、林野火災防御のための消防隊等の派遣 5　阪和自動車道、湯浅御坊道路、関西空港自動車道及び京奈和自動車道における消火及び救急救助業務の実施 6　大規模災害が発生した場合における、消防活動資機材及び支援物資等の調達に関する応援 7　海上火災の発生又はおそれがある場合の消火、警戒活動の協力 8　大規模災害若しくは救助事故等が発生し、大型重機等を必要とする場合の大型重機等の提供 9　消防組織法第39条の規定に基づき和歌山市、那賀消防組合、海南市、有田市及び紀美野町の消防力を最大限に発揮するため、和歌山広域消防指令センターの機能を活用して消防相互応援を実施 10　第二阪和国道和歌山岬道路における消火及び救急救助業務の実施
水道業務に関する相互応援	1　連絡配水管等による水の相互融通 2　応急給水・復旧作業 3　応急復旧資材の供出 4　工事業者のあっせん

協定種別	応援の種類
生鮮食料品等の供給に関する相互応援	１　被災都市の住民に供給する生鮮食料品の提供 ２　被災都市の住民に供給する生鮮食料品の提供に係る搬送 ３　被災都市の住民に供給する生鮮食料品の提供に関し特に要請のあるもの
一般廃棄物処理に関する相互応援	１　災害時廃棄物の処理等 ２　レンタル機材の供給
福祉に関する相互応援	１　被災地支援ボランティアコーディネート ２　要配慮者の実態把握及び緊急的福祉サービスの調査及び提供 ３　生活福祉資金貸付 ４　その他救援活動に必要な事項 ５　必要な物品、資材及び機材の貸与・提供 ６　その他救援活動に必要な事項

「総則・予防計画第３編５－１－１　応援協定都市連絡表」参照
「総則・予防計画第３編５－１－２　防災関連（都市間、企業等）協定等一覧表」参照

第２項　受援体制の整備

市（危機管理部）は、市（各部）と連携して、前項で定めた各支援機関の他、県（各部）、自衛隊、国土交通省「緊急災害対策派遣隊（ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥ）」、警察災害派遣隊、緊急消防援助隊、災害派遣医療チーム（ＤＭＡＴ）、その他の広域支援・救助部隊等の受入れに必要な人員体制、災害情報の提供体制、活動期間中の生活支援体制等の受援体制を整備する。

１　被害状況、被災者ニーズ等の迅速な情報収集
２　応援の要請
３　応援部隊（自衛隊、ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥ等）や他市町村応援要員との、情報共有及び調整
４　応援部隊等の活動拠点、救援物資受入拠点等の確保
５　応援職員の宿泊場所の確保（感染症対策に配慮の上）
６　その他活動の長期化に伴う必要な施策

第３項　支援体制の整備

市（危機管理部）は、市域外で大規模広域災害が発生した場合において、以下のとおり必要な支援体制を整備する。

ただし、法令及び応援協定に規定がある場合は、その定めによるものとする。

１　初期被災地状況の収集、伝達体制

２　派遣可能人員・職種・必要資格・活動資器材・期間等
３　派遣職員、物資等の輸送手段
４　指揮命令系統
５　応援職員の配置体制
６　救援物資の送付
７　被災者受入施設等の提供
８　現地活動に要する搬入物資等の集積、輸送体制被災者受入施設等の提供
９　義援金の送付

第３節　情報収集・伝達体制の整備

計画の方針

迅速な情報の収集・伝達を行うために、必要な体制整備を行うとともに、多様な通信システム等を活用した伝達網の構築を図る。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　情報の収集・伝達体制の整備	危機管理部、各部	
第２項　情報の共有・伝達体制の強化	危機管理部、各部	県危機管理部
第３項　通信システム等を活用した伝達網の整備	危機管理部、各部	県危機管理部

第１項　情報の収集・伝達体制の整備

市（危機管理部）及び市（各部）は、迅速な情報の収集・伝達を行うために、必要な体制整備を図る。

1　風水害（気象）情報及び地震・津波情報の収集・伝達体制の確保のため、防災行政無線、その他の通信施設の充実、地震計の設置等とその運用体制の整備を図る。

2　災害発生のおそれがある場合は、災害の危険性の予測を行い、情報の収集・伝達体制の確立を早期に図る。

3　災害発生直後における被害規模把握のための、被害情報の収集・整理・報告・伝達及び広報のために必要な体制の整備を早期に図る。

4　要配慮者、災害による孤立危険地域の被災者、都市部における帰宅困難者等、情報の入手が困難な被災者等に対しても、確実に情報伝達が可能となるよう、市は、防災関係機関や自主防災組織等と連携し、様々な広報・放送手段を講じて伝達する体制を整備する。

5　浸水想定区域又は土砂災害警戒区域内の地下空間及び福祉施設の把握に努め、管理者等に対して、迅速に情報を伝達する体制の整備を図る。

6　地上の災害の影響を受けにくい通信衛星を利用し、国、県、他市町村等とを結ぶ地域衛星通信ネットワークを構築する。

7　通常の通信手段が確保できない場合を考慮し、平常時より他機関等の通信手段が利用できる

よう代替ルートについて検討する。

8　災害時に有効な移動系防災行政無線、衛星携帯電話等の移動通信系の整備を図るとともに、業務用無線保有事業所やアマチュア無線家との協力体制の構築に努める。

9　衛星通信、インターネット、地域防災無線等の整備により、民間事業所、報道機関、住民等からの情報など、多様な災害関連情報等の収集体制の整備に努める。

10　被害状況を速やかに把握するため、あらかじめ被害状況調査員を任命する。

第２項　情報の共有・伝達体制の強化

市（危機管理部）及び市（各部）は、情報の集約・共有のために、必要な体制整備を図る。

１　市から住民への伝達

住民への情報伝達を迅速に行えるよう、災害情報メールの配信システムの普及に努める。

２　放送マニュアル等の充実

放送内容から事態の進展、地理的なイメージを住民が共通認識できるよう、広報演習・訓練等の結果を踏まえて、広報マニュアルや放送例文を毎年検証し、更新する。

３　和歌山県総合防災情報システムの活用

和歌山県総合防災情報システムは、県・市町村・消防機関等により速やかな防災情報の収集・配信・共有、及びＬアラートとの連動による放送事業者等への情報提供手段であることから、システムの習熟・活用を図る。

※　Ｌアラート

ICT（情報通信技術）を活用して、地域の安心・安全に関するきめ細やかな情報の配信を簡素化・一括化し、テレビ、ラジオなどの様々なメディアを通じて、地域住民に迅速かつ効率的に提供することを実現したもの。

第３項　通信システム等を活用した伝達網の整備

市（危機管理部）及び市（各部）は、相互連絡を緊密にとり、迅速に情報伝達を行うために、多様な通信システムを活用した伝達網の構築を図る。

なお、通信手段について、技術進歩に注視しながら、最適なものを検討するとともに増設を図る。

１　伝達網の状況

（１）市民への情報伝達

ア　防災行政無線

全国瞬時警報システム（J－ALERT）の活用を図るとともに気象警報等を伝達する。

イ　防災行政無線の補完措置

防災行政無線の放送は、屋外での放送のため、屋内にいる場合や気象条件によっては聞き取りづらい場合がある。そのため、防災行政無線を補完する手段を多様に実施する。

（ア）音声による伝達

・防災行政無線戸別受信機
・防災情報電話案内サービス
・広報車両による広報
・臨時災害放送局の開設による広報
・報道機関による音声放送

（イ）文字による伝達

・防災情報メール、緊急速報メール・エリアメール
・ＳＮＳ
・災害情報ＦＡＸ配信メール
・市ホームページ
・テレビ（データ放送）
・報道機関による文字放送

（２）職員及び関係機関への情報伝達

ア　職員参集メール

職員への参集要請及び安否確認のためにメール配信を行う。

イ　和歌山県総合防災情報システム

気象情報等の受信及び被害状況の報告を行うとともに、防災関係機関及び他市町村相互の情報共有を図る。

ウ　衛星携帯電話

電話回線の途絶、輻輳の影響がなく、災害時における通話を確保する。

エ　消防無線（活動波１ｃｈ等）及び無線中継車

消防活動に活用する。

オ　津波監視カメラ・高所監視カメラ

沿岸部及び市域の状況を、リアルタイムで確認する。

カ　災害時優先電話

加入回線の一部を指定し、回線輻輳時における通話を確保する。

キ　内線電話及び庁内放送設備

市（各部）相互間の通信手段に用いる。

内線電話網が被害を受けている場合は、衛星携帯電話、災害時優先電話を活用する。

ク　ＦＡＸ

地図情報等各種情報を送信する。

ケ　安否情報システム

市(各部)・関係機関並びに施設管理者等が、被災者の安否状況を入力し、その共有を図る。

コ　防災相互通信用無線局

防災相互通信用無線局を備える防災機関は、災害時における迅速かつ円滑な情報の収集、

伝達のため、相互の連絡手段として、同無線局を活用する。

（３）その他

ア　気象・震度観測装置、簡易地震計等を整備し、詳細なデータの収集に努めるとともに、気象情報、地震情報、津波情報等の情報を受ける通信網の整備を推進する。

イ　防災関係機関による緊急時の移動通信システムの提供に向けた必要な連携体制を推進するとともに、民間協力体制の推進を図る。

「総則・予防計画第３編３－１　和歌山市防災行政無線設備一覧表」参照
「総則・予防計画第３編３－２　和歌山市防災行政無線管理運用規程」参照
「総則・予防計画第３編３－３　和歌山市防災行政無線運用要綱」参照
「総則・予防計画第３編３－４　和歌山市防災行政無線同報無線系運用要領」参照
「総則・予防計画第３編３－５　和歌山県総合防災情報システム・防災電話整備状況一覧表（本市関連）」参照
「総則・予防計画第３編３－６　津波監視カメラ設置場所」参照

２　通信システムの維持管理等

災害時に通信システムが、十分機能し活用できる状態を保つために、以下の対策を講じる。

（１）停電対策

受電系等の２ルート化を図るとともに、無停電電源装置、蓄電池等の非常電源や自家発電機の整備を図る。

（２）耐震対策

システムの転倒防止及び建築物耐震化。

（３）浸水対策

津波浸水想定区域内にある施設について、高所への移設等必要な措置を図る。

３　職員のシステム技能の向上

災害発生時に、通信機能を有効に活用することができるように、平常時から次により知識・技能の習得に努める。

（１）平常業務における運用

防災行政無線等平常業務に運用できる通信網については、平常時から連絡手段として積極的に使用するよう努め、使用方法の習熟を図る。

（２）通話試験の実施

随時、各通信系統網に通話試験を実施し、統制局を中心とした使用方法の習熟を図る。

（３）通常及び随時点検の実施

通信機器の外観、機能、充電状況等について、職員による通常及び随時点検を実施し、点検技能の向上を図る。

（４）総合点検の実施

保守業者や専門的知識を持つ職員が実施する総合的な点検に、担当職員も積極的に参画し、

通信施設に関する専門知識の習得を図る。

（５）他機関との訓練の実施

バックアップルートとして、他の機関の通信網を利用した訓練を随時実施し、その通信網の活用方法の習熟を図る。

（６）通信訓練の実施

実際の災害を想定し、総合的な通信訓練を実施することにより通信技術の習熟を図る。

（７）無線従事者の育成

無線従事者免許取得を推進する。

第４節　避難体制の整備

計画の方針

住民が安全に避難できるよう、避難場所の確保や避難誘導体制の整備を推進し、安全避難の環境整備に努める。

なお、甚大災害時の広域避難及び広域一時滞在対策について、他市町村からの受入れ体制とあわせて、必要な体制整備に努めるものとする。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　避難所等の指定	危機管理部、社会福祉部	県危機管理部、県福祉保健部
第２項　避難体制の整備	危機管理部、社会福祉部、道路河川部、都市計画部、観光国際部、健康推進部	県危機管理部
第３項　建物整備	建物を管理する各部	
第４項　公園整備	都市計画部、危機管理部	

第１項　避難所等の指定

１　用語

避難所等に関係する用語は次のとおり取り扱う。

項目	内容
避難所	地震、風水害等の災害により家屋の倒壊、焼（流）失等の被害を受けた者又は被害を受けるおそれがある者を収容する公共施設及びその他の施設
避難場所	学校の校庭及び公園等、災害から避難者の安全を確保する場所
広域避難場所	おおむね、面積が10ha（約100,000㎡）程度の公園で、地震等に伴う大規模火災の発生危険がある市街地において、周辺地区の居住者等の安全を確保する場所
津波避難場所	津波の危険が迫っている場合に、居住者等が緊急的に避難する場所
津波避難ビル	津波の危険が迫っている場合に、避難する時間的余裕がない居住者等が緊急的に避難するため、緊急時の円滑な解錠が可能であり、想定浸水深よりも高い場所に避難場所が配置され、安全な構造である施設

項目	内容
津波・洪水避難ビル	津波や洪水の危険が迫っている場合に、避難する時間的余裕がない居住者等が緊急的に避難するため、緊急時の円滑な解錠が可能であり、想定浸水深よりも高い場所に避難場所が配置され、安全な構造である施設
洪水避難ビル	洪水の危険が迫っている場合に、避難する時間的余裕がない居住者等が緊急的に避難するため、緊急時の円滑な解錠が可能であり、想定浸水深よりも高い場所に避難場所が配置され、安全な構造である施設
補助避難所	地域の立地条件から、市が指定した避難所への避難が困難な者を受け入れる市有施設 施設管理者と地域住民が開設、運営し、各支部と連携する。
自主避難所	地域の立地条件から、市が指定した避難所への避難が困難である地域の住民が、自主的に選定した安全を確保するための場所 地域住民が開設、運営し、各支部と連携する。
福祉避難所	避難所において、避難所生活が困難な高齢者や障がいのある方など、何らかの特別な配慮を必要とする方が避難する施設 原則、二次的避難所として開設する施設であるが、事前に市が開設の可否を確認した上での直接避難は可能。
こどものための福祉避難所	福祉避難所の一種として定めたもので、通学・通園している児童とその家族が、自宅等から直接避難することも可能とする施設

２　指定

（１）指定緊急避難場所

市（危機管理部）は、災害対策基本法第 49 条の４に基づき、災害が発生し又は発生するおそれがある場合における居住者等の円滑かつ迅速な避難のための立ち退きの確保を図るため、政令で定める基準に適合する施設又は場所を「指定緊急避難場所」として指定する。

ア　政令で定める基準

項目	基準
管理条件	危険が迫っている状況において、速やかに居住者等が避難できる管理体制であること。
立地条件	１　想定される災害による影響が比較的少ない場所に立地していること。 ２　当該場所及びその周辺に、地震発生時危険を及ぼすおそれのある建築物や工作物等がないこと。

構造条件		地震に対して安全な構造であり、避難上有効なスペースがあること。
該当する避難場所	地震	避難所、避難場所、広域避難場所
	津波	想定浸水深から避難する高さが確保されている避難所、想定浸水区域外の避難場所、広域避難場所、津波避難場所、津波避難ビル、津波・洪水避難ビル
	風水害	避難所、津波・洪水避難ビル、洪水避難ビル
	火災	避難所、避難場所、広域避難場所

イ　指定にあたる留意点

留意点	１　指定については、当該施設管理者の同意を得て行うものとし、新たに指定又は指定解除を行なった時は、県知事に通知するとともに公示を行う。 ２　施設管理者は、当該施設又は場所を廃止・改築等の変更を加えるときは、市（危機管理部）に届け出ること。

（２）指定避難所

市（危機管理部）は、災害対策基本法第 49 条の７に基づき、災害の危険性があり避難した居住者等を災害の危険性がなくなるまで必要な間滞在させ、又は災害により居住の場所を確保することが困難な被災住民を一時的に滞在させるため、政令で定める基準に適合する公共施設又はその他の施設を「指定避難所」として指定する。

市（社会福祉部）は、政令で定める基準に加え、要配慮者を受け入れる体制が整備されている施設を指定する。

ア　政令で定める基準

項目		概要
立地条件		想定される災害による影響が比較的少ない場所に立地していること。
構造条件		１　地震に対して安全な構造であり、避難上有効なスペースがあること。 ２　被災者の受入及び各種支援活動実施のために、適切な規模・設備を有すること。
該当する避難所	地震	避難所、福祉避難所
	津波	避難所、福祉避難所
	風水害	避難所、福祉避難所
	火災	避難所、福祉避難所

イ　指定にあたる留意点

「本節第１項２（１）イ　指定にあたる留意点」に準じて指定する。

第２項　避難体制の整備

１　警戒避難体制の整備

市（危機管理部）は、避難指示等の避難情報の判断基準を整理した、「避難情報の判断・伝達マニュアル」の作成、県・和歌山地方気象台との避難指示等発令、解除時の助言等気象情報の防災活用に関する連携強化を推進するとともに、多様な情報伝達手段を整備し、市民への情報伝達のための必要な体制整備を推進する。

また、避難情報に関する情報の伝達・入手方法、避難場所及び避難所の安全レベル及び津波避難目標地点（住民が避難する際の目標とする地点）等、円滑な避難のために必要な事項を記載した印刷物（防災マップ等）の作成・周知をし、併せてマイタイムラインの普及啓発を図る。

「総則・予防計画第３編５－２－１　災害時避難所・避難場所・津波避難目標地点一覧表」参照

（１）緊急避難場所安全レベル

項目	津波	風水害（洪水／土砂）
安全レベル３ ★★★	浸水想定区域外で安全な避難場所	大規模災害等が想定される場合でも十分に安全な避難施設
安全レベル２ ★★	安全レベル３★★★へ避難する余裕がないときの緊急避難場所（屋外避難場所のうち、浸水想定区域に近接するところ。屋内避難施設のうち、浸水想定区域内にあるものの、想定上、指定された避難場所の高さまで浸水することがないところ）	大規模災害等が想定される場合でも一定の安全を確保することが可能である避難施設
安全レベル１ ★	安全レベル３★★★又は安全レベル２★★へ避難する余裕がないときの緊急避難場所（屋外避難場所のうち、浸水想定区域内にあるところ。屋内避難施設のうち、安全レベル２よりもさらに周囲が浸水する可能性が高いものの、想定上、指定された避難場所の高さまで浸水することがないところ）	大規模災害等が想定される場合には事前に開設しないとするか、開設した場合であっても、危険が迫った場合には閉鎖の可能性がある避難施設

（２）周知方法

ア　「市報わかやま」に随時掲載する。

イ　和歌山市ホームページに常時掲載する。

ウ　避難場所、避難路等、津波避難場所及び津波避難ビル等において避難標識の設置を推進する。

エ　案内標識及び誘導標識は、要配慮者に配慮した整備を推進する。

２　避難行動要支援者の支援体制の整備

市（社会福祉部）は、避難行動要支援者の把握に努め、地域の避難支援者の共助を得て避難行動要支援者に対する避難支援体制を整備する。

「総則・予防計画第２編第２章第６節　要配慮者支援体制の整備」参照

３　避難路の指定

市（危機管理部、道路河川部及び都市計画部）は、避難圏域内の住民を迅速かつ安全に避難させるとともに、緊急車両の通行に配慮した、できる限り広い幅員（概ね 8m以上※）を有する道路を、避難路として指定するよう努める。

「総則・予防計画第３編５－２－４　災害時における避難路図」参照
「総則・予防計画第２編第１章第２節　道路の整備」参照
「総則・予防計画第２編第１章第５節　建築物の災害予防」参照

４　避難所開設・運営体制の整備

（１）「避難所運営員」の任命及びマニュアルの整備

市長は、避難所の開設・運営を円滑に行うため、あらかじめ職員のうちから「避難所運営員」を任命する。

市（危機管理部）は、「市町村避難所運営マニュアル作成モデル（和歌山県）」及び「内閣府指針」に基づき、「避難所開設・運営マニュアル」（避難所運営員用）及び「避難所運営マニュアル」（住民用）の整備を図る。

内閣府指針
１　「避難生活における良好な生活環境の確保にむけた取組指針」内閣府
２　「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」内閣府

（２）施設管理者による避難所運営

施設管理者は、災害時の避難所開設に配慮して、「避難所運営員」と連携した避難所運営を行うため、市（危機管理部）及び「避難所運営員」と定期的に「避難所開設・運営マニュアル」の確認を行い、必要に応じて見直しを図る。

確認事項	１　開設基準 ２　開錠箇所 ３　避難者の誘導方法 ４　要配慮者用スペースの確保 ５　避難所運営物品、備蓄食料保管場所

	６　災害対策本部事務局等外部との連絡方法 ７　その他必要な事項

（３）避難所緊急開放協力員の委嘱

市長は、休日・夜間等の施錠時間帯に、緊急に避難所として施設を開放する必要が生じた場合に備えて、避難所の近隣の住民のうちから「和歌山市避難所緊急開放協力員」を委嘱し、災害時の迅速な避難所開放体制を確立する。

「総則・予防計画第３編５－２－２　災害時における避難所緊急開放要綱」参照
「総則・予防計画第３編５－２－３　和歌山市避難所緊急開放協力員による開放要領」参照

５　帰宅困難者対策の推進

市（危機管理部）及び事業者は、「自助・共助・公助」の理念のもと、災害時の公共交通機関の運行停止による多数の帰宅困難者が生じることによる混乱及び事故の発生防止を図るため、必要な体制整備を総合的に推進する。

項目	概要
市	市（危機管理部）及び県は、民間事業者の協力を得て、帰宅支援のための必要な体制整備を推進する。 １　輸送 ２　便所及び災害関連情報の提供 ３　一時滞在施設の提供
事業者	事業者は、従業員及び施設利用者の安全確保のため必要な体制整備を推進する。 １　一斉帰宅の抑制 ２　施設の安全確保 ３　備蓄の確保 ４　安否確認・情報収集手段の従業員への周知 ５　来客者、施設利用者への災害情報の提供及び避難誘導 ６　研修及び避難訓練の実施

６　広域避難及び広域一時滞在対策実施体制の整備

市（危機管理部）は、市域の避難所が不足する場合や甚大災害時等多数の市民を対象として長期にわたり市外への広域一時滞在対策実施が必要となる事態に備えるため、市外施設の確保、被災者の輸送、広域一時滞在先での施設運営要員の派遣や受入方法等に関し広域一時滞在対策実施要領の作成を相互応援協力協定締結自治体及び近隣自治体等と協議する等、必要な広域避難及び広域一時滞在対策実施体制の整備を推進する。

「総則・予防計画第３編５－１－２　防災関連（都市間、企業等）協定等一覧表」参照

７　要配慮者利用施設の避難確保

社会福祉施設、学校、医療施設、その他の主として防災上配慮を要する者が利用する施設のうち、河川洪水・津波の浸水想定区域内及び土砂災害警戒区域又は特別警戒区域内にある施設の所有者又は管理者は、避難確保計画の作成、訓練の実施等により、利用者及び従業員の安全確保にかかる対策を推進し、市（危機管理部及び各部）は必要に応じて円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な助言等を行う。

８　避難所における感染症対策の推進

市（危機管理部）は、避難所における避難者の過密抑制など感染症対策の観点を取り入れた避難体制の整備を推進する。

（１）可能な限り多くの避難所の開設

発災した災害や被災者の状況等によっては、避難所の収容人数を考慮し、あらかじめ指定した指定避難所以外の避難所を開設するなど、通常の災害発生時よりも可能な限り多くの避難所の開設を図るとともに、市（観光国際部）と連携して、ホテルや旅館等の活用等も検討する。

（２）親戚や友人の家等への避難の検討

災害時に避難生活が必要な方に対しては、避難所が過密状態になることを防ぐため、可能な場合は親戚や友人の家等への避難を検討していただくことを周知する。

（３）自宅療養者等の避難の検討

自宅療養等を行っている感染症の軽症者等への対応については、市（危機管理部及び健康推進部）は十分に連携の上で、適切な対応を事前に検討する。

（４）避難者の健康状態の確認

避難者の健康状態の確認については、市（危機管理部及び健康推進部）は、避難所への到着時に実施できるよう、適切な対応を事前に検討する。

（５）災害対応に当たる職員等の感染症対策の徹底

災害対応に当たる職員等の感染症対策を徹底する。

第３項　建物整備

市（建物を管理する各部）は、災害時の避難所開設に配慮した建物の整備を推進する。

項目	概要
安全確保	１　建物及び施設の耐震化 ２　屋内物品の転倒防止及び天井崩落対策の推進 ３　植樹等による、火災の延焼防止及び輻射熱の遮断効果向上対策の推進

項目	概要
要配慮者への配慮	和歌山県福祉のまちづくり条例に基づき、高齢者や障害者等の要配慮者が安心して利用できるよう、出入口・廊下・階段・便所等の整備を推進する。 １　バリアフリー化の推進 ２　スロープ、手すり、身体障害者用トイレの設置 ３　車イス等身体障害者用資機材の確保
情報の収集及び通信手段の確保	１　テレビ、ラジオの設置 ２　インターネットを活用できる無線ＬＡＮの整備 ３　公衆電話、無線通信機器の整備
非常用電源の確保	再生可能エネルギーの活用を含めた非常用発電設備等の整備
ガス設備の確保	冷暖房機器や調理設備を含めたガス設備の整備
水の確保	１　井戸及び貯水施設の整備 ２　浄水型プールへの更新
食料等保管場所の確保	備蓄食料及び避難所運営物品等保管場所を確保する。

第４項　公園整備

１　公園整備計画の策定

市（都市計画部及び危機管理部）は連携し、防災上重要な役割を担っている公園について防災力向上を図るため、公園整備計画の策定に努める。

２　公園整備の推進

市（都市計画部）は、計画に基づき災害時の避難場所、又は火災延焼を防止するためのオープンスペースとして防災上重要な役割を担っている公園整備を推進する。

（１）災害時は多くの避難者が利用する施設であるため、ユニバーサルデザインを取り入れた出入口、園路、トイレ、かまどベンチ、避難誘導看板等の整備を推進する。

（２）災害時の公園トイレは、避難者及び自宅トイレが使用できない等多くの利用者が予想されるため、トイレ整備を推進する。

（３）計画に基づき災害応急対策に必要な備蓄倉庫、耐震性貯水槽、防火水槽等の整備に努める。

第５節　学校及び幼稚園、保育所等の防災体制の整備

計画の方針

災害発生時の児童生徒（園児）の安全を確保するとともに、迅速な応急措置が行えるよう、防災計画を策定するとともに、「自分の命は自分で守る」という姿勢を育むことを目的とした防災教育を推進する。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　防災教育の推進	学校教育部	県教育委員会、各学校
第２項　学校防災体制の整備	学校教育部、危機管理部、教育学習部	県教育委員会、各学校 県企画部
第３項　幼稚園、保育所等の防災体制の整備	学校教育部、こども未来部	県福祉保健部、各幼稚園、各保育所等、県企画部

第１項　防災教育の推進

市（学校教育部）は、児童生徒が災害に関する基本的事項を理解し、判断力を高め、災害時に適切な行動がとれるように、関連する教科、総合的な学習の時間、特別活動など学校の教育活動全体を通じた系統的・計画的な地域の災害リスクに基づいた防災教育の推進を図る。

また、市（消防局）と連携して、消防団員等が参画した体験的・実践的な防災教育の推進に努める。

【基本目標】

１　自然災害等の現状、原因及び減災等について理解を深め、現在及び将来に直面する災害に対して、的確な思考・判断に基づく適切な意思決定や行動選択ができるようにする。

２　地震、台風の発生等に伴う危険を理解・予測し、自らの安全を確保するための行動ができるようにするとともに、日常的な備えができるようにする。

３　自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりの重要性を認識して、学校、家庭及び地域社会の安全活動に進んで参加・協力し、貢献できるようにする。

第２項　学校防災体制の整備

市（学校教育部）は、児童生徒の安全確保のため、「学校防災マニュアル作成の手引き」（文部

科学省）を参照して、所管する各学校別の学校防災計画の策定を推進する。

なお、学校が所在する地域環境や防災関係資料等を考慮しながら作成するとともに、地域環境の変化や訓練等の実施により必要な見直しを図り、学校防災体制の向上を図る。

１　事前の危機管理体制（備える）

項目	概要
体制整備と備蓄	学校防災の体制整備や災害時に役立つ備品、物品等の備蓄を整備する。 また、市（危機管理部）と連携して、備蓄物資及び避難所運営物品の配置を行う。
点検	市（教育学習部）と連携して、学校の施設及び設備の安全点検を定期的に実施する。
避難訓練	災害発生時に、児童生徒が安全に避難できるよう、定期的に避難訓練を実施し、実践的な態度や能力を養う。
教職員研修等	「自分の命は自分で守る」という姿勢を育むため、学校における重要性と緊急性を十分認識し、防災に関する自らの意識や対応能力、防災教育に関する指導力を高めるための実践的な研修を定期的に行う。

２　発生時の危機管理体制（命を守る）

項目	概要
初期対応	地震の感知時（実際に揺れを感じた場合や緊急地震速報受信時）の安全確保のための初期行動について、日常の指導や訓練等によって児童生徒の判断力、行動力を養う。
二次対応	地震の揺れが収まった後、素早く情報を収集し、次に発生が予想される二次災害（火災、土砂災害、津波等）から身を守る避難体制を整備する。

３　事後の危機管理体制（立て直す）

項目	概要
対策本部	災害時の教職員の役割分担を整備する。
安否確認	休日・下校後などの在宅時や登下校時に災害が発生した場合の児童生徒の安否確認体制を整備する。
引渡しと待機	多様な状況下での災害発生を想定した、児童生徒の引渡し方法（保護者に引き渡せない場合の安全な場所における保護待機措置を含むルール）を作成し、保護者への周知を図る。
避難所協力	学校及び教職員の避難所協力体制について、市（危機管理部）及び市（避難所運営員）とあらかじめ協議し、

	必要に応じて避難所開設・運営マニュアルの見直しを図る。
こころのケア	児童生徒のこころのケアについて、保護者や主治医等と連携した支援体制を整備する。

第３項　幼稚園、保育所等の防災体制の整備

市（学校教育部及びこども未来部）は、災害発生時の園児の安全確保を図るため、上記第２項の内容に加え、以下に示す内容に留意し、所管する各幼稚園、各保育所等の防災体制の整備を推進する。

１　配慮を要する園児の特徴や個別の配慮事項について、全教職員で共通理解を図るとともに、災害時の引渡し方法について、個別に保護者と確認する。
２　園児と保護者や地域住民の避難先となることを想定した施設整備を図る。

第６節　物資の備蓄及び確保体制の整備

計画の方針

本市は、平成26年３月公表の「東海・東南海・南海３連動地震」による被害想定及び県の「地震被害対策のための備蓄基本方針」を基に、震災直後における物資確保の困難性を勘案し、県、市民、自主防災組織、事業所等と連携し、緊急輸送ルートが確立されるまでの３日分の「生命の維持と最低限度の生活の維持」に必要な物資の備蓄体制を推進する。

食料備蓄量（９食／３日分）の割合は、次のとおりを基本とする。

・市備蓄１／３（３食／１日分）
・県備蓄１／３（３食／１日分）
・市民備蓄１／３（３食／１日分）

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　行政備蓄の推進	危機管理部	県福祉保健部
第２項　市民及び事業所備蓄の推進	危機管理部	自主防災組織、事業所
第３項　流通備蓄の推進	経営管理部、危機管理部、財政部、産業部、各部、総務部、農林水産部	県福祉保健部、関西電力送配電㈱
第４項　物資拠点運営体制の整備	財政部	県危機管理部

第１項　行政備蓄の推進

１　行政備蓄の推進

市（危機管理部）は、平成 26 年３月公表の「東海・東南海・南海３連動地震」による想定避難所生活者数（88,300 人）を基に食料等を備蓄する。また、毛布・オムツ・マスク・消毒液をはじめとした最低限度避難所生活に必要な生活必需品等に加え、その他アレルギー保有者や乳幼児及び女性に配慮した備蓄を推進する。

推進する食料等の備蓄数量は、阪神淡路大震災の事例に基づき、以下のとおりとする。

（１）食料

想定避難所生活者数（88,300 人）の 1.2 倍を対象者数として、一人（３食／１日分）の内、１／３を直接備蓄（106,000 食）。

（２）飲料水

想定避難所生活者数（88,300 人）を対象者数として、一人（３ℓ／１日分）の内、１／３

を直接備蓄（88,300ℓ）。

（３）毛布

想定避難所生活者数（88,300 人）を対象者数として、一人（１枚）が必要であり、市備蓄（１／３）すべてを直接備蓄（29,434 枚）。

２　備蓄倉庫の整備

市（危機管理部）は、紀の川を境として、南部側に３か所、北部側に３か所を目標とし、備蓄倉庫の整備を推進する。

３　分散備蓄

市（危機管理部）は、災害発生時の迅速な供給を図るため、次のとおり備蓄物資、保管場所等について管理・活用を図り分散備蓄を推進する。

（１）備蓄倉庫及び小中学校の空き教室等の活用

（２）状況に応じた備蓄物資の配置転換及び定期的な点検・整理

（３）使用物資が発生した場合の即時補強

（４）有効期限のある物資についての、期限毎の区分け保管及び、期限が切れる前の活用(防災訓練での使用など)

「総則・予防計画第３編４－２－２　備蓄保管場所一覧表」参照
「総則・予防計画第３編４－２－３　物資備蓄品目」参照

第２項　市民及び事業所備蓄の推進

市（危機管理部）は、市民の防災意識の啓発を図り、市民自身による災害時のための食料、生活必需品等の備蓄の必要性について、平常時よりあらゆる機会を通じて指導、啓発を図る。

なお、本市における食料調達困難者に対しての備蓄体制は、市民備蓄１／３（３食／１日分）を基本としているが、食料等の個人備蓄については、可能な限り被災後７日分程度を備蓄するように啓発を図る。

項目	概要
個人備蓄	「生命の維持と最低限度の生活の維持」に必要な物資の備蓄・確保に努める。 １　１人３ℓ／日を基準とした被災後７日分程度の飲料水の備蓄 ２　風呂の残り水、雨水等を活用した生活用水の確保 ３　被災後７日分程度の最低限度の生活の維持に必要な食料等の備蓄 ４　非常持ち出し品の準備 ５　その他必要な物資（家庭動物の飼養に関する資材を含む）
自主防災組織備蓄	地域の共助を推進するため、市補助金等を活用しながら、必要

項目	概要
	な物資の共同備蓄・確保に努める。 １　個人での備蓄が困難な物資の備蓄・確保 ２　地域内の各種販売店への協力要請 ３　地域内の活用可能な資源の調査・確保 ４　応急対策及び避難誘導上必要な資機材等の備蓄 ５　その他必要な物資
事業所備蓄	事業所は、帰宅困難者（従業員、宿泊客等）の必要な物資の備蓄・確保に努める。 なお、保管場所は、原則として、津波や浸水等の二次災害の影響の及ばない場所とし、非常電源の確保等災害時を考慮した建物整備を図る。 １　１人３ℓ／日を基準とした被災後７日分程度の飲料水の備蓄 ２　被災後７日分程度の最低限度の生活の維持に必要な食料等の備蓄 ３　日常生活用品、毛布等寝具類の備蓄 ４　生活用水対策の推進 ５　その他事業所特性に応じた自主防災組織との連携及び必要な物資の備蓄

第３項　流通備蓄の推進

避難所生活者に対する行政備蓄確保分以外（市備蓄１／３の内２／３）を流通備蓄分として、想定避難所生活者を始めとする避難者に対して円滑供給できるように、流通・販売業者等と在庫の把握、連絡、運搬体制等事前に協議して実効性のある協定書の締結を推進する。

また、備蓄物資や物資拠点の確認や管理等、大規模災害時に速やかな物資支援が実施できるよう、物資調達・輸送調整等支援システムを活用し、平時から準備に努める。

１　確保すべき物資の種類

避難者の生活支援を行うための必要な主な物資は、次のとおりである。

（１）水（飲料水、生活用水）
（２）食料（ペットボトル飲料水、乾パン、アルファ化米、粉ミルク等）
（３）生活必需品（寝具、衣服、その他日用品等）
（４）管理面から備蓄に適さない物資（燃料、生鮮食料品等）
（５）その他応急対策に必要な医薬品、資機材等

２　確保体制の整備

（１）水

市（経営管理部）は、水道防災計画により、水道施設及び応急給水資機材を整備するとともに以下の対象者へ、下表の給水量を目標に迅速な応急給水活動が行える体制を整備する。

・災害による想定避難所生活者（88,300人）
・その他の断水のため飲料水及び生活用水を確保できない者（発災直後337,600人、一週間後129,300人）

また、市（危機管理部）は、各部が所管する緊急時用浄水装置の設置を推進するとともに、井戸水の活用について検討を図る。

給水目標量
発災直後は、１人３ℓ／日（生命維持に必要な飲料水の給水）とし、その後応急復旧の進歩状況に応じ、給水量を徐々に増やしていく（炊事、洗濯などの生活用水の供給）。

（２）食料、生活必需品

市（財政部、産業部）は、物資供給業者及び物流業者との協定を推進し、円滑な物資の調達・輸送体制の整備を図る。

（３）資機材、燃料等

市（各部）は、保有する資機材及び施設を、災害時に有効使用できるよう常時点検、整備を行うとともに、災害応急措置に不足する資機材について、物資供給業者との協定等による円滑な確保体制の整備を図る。

また、市（危機管理部）は、広域停電事故発生時における電源車、発電機の配備等について、関西電力送配電株式会社から円滑な支援を受けられるよう、あらかじめ、重要施設の非常用電源の設置状況等を収集・整理し、リスト化を行う。

（４）災害対策要員用食料

市（総務部）は、災害応急対策に従事する職員の非常食の備蓄を推進する。

非常食の備蓄は２日分とし、その後の食料について、物資供給業者から円滑に確保できる体制の整備を図る。

なお、各職員は不測の事態に備え、ロッカー等に必要な非常食等の備蓄に努める。

（５）生鮮食料品

市（農林水産部）は、円滑な生鮮食料品の供給を図るため、全国の中央卸売市場との相互応援体制の推進を図る。

「総則・予防計画第３編４－２－４～７　設備等の状況」参照
「総則・予防計画第３編５－１－２　防災関連（都市間、企業等）協定等一覧表」参照

第４項　物資拠点運営体制の整備

１　物資拠点予定地の選定

物資拠点開設予定地及び選定基準は、次のとおりとする。

市（財政部）は、民間物流業者の施設等を活用した新たな予定地の選定を行い、その充実を

図る。

（１）予定地

名称		所在地	連絡先
県営上屋第1号		築港6丁目22	和歌山下津港湾事務所 ＴＥＬ431-7266
県営上屋第4号			
県営上屋第5号		西浜1662	
県営上屋第6号			
県営上屋第7号			
和歌山競輪場		五筋目10-1	和歌山競輪場　ＴＥＬ431-1019
わかやま農業 協同組合本店		栗栖642	わかやま農業協同組合 ＴＥＬ471-3731
紀三井寺公園		毛見200	紀の国はまゆう　ＴＥＬ444-7565
マリーナシティ 第３駐車場		毛見1527	和歌山マリーナシティホテル ＴＥＬ448-0320
ガーデンパーク 和歌山店		松江1469-1	オークワ本社　ＴＥＬ425-2481
和歌山大学 陸上競技場		栄谷930	国立大学法人和歌山大学総務課 ＴＥＬ457-7007
和歌山県倉庫協会会員倉庫	和歌山インターロジ 1号倉庫2号倉庫	満屋 137-1.139-2	和歌山県倉庫協会　ＴＥＬ431-3104
	和歌山港倉庫	西浜1660-625	
	南港倉庫	西浜1660-390	
	西浜倉庫	西浜796-1	

（２）選定基準

選定基準	１　1,000㎡以上のホールのある建築物があること（ホール付きの建築物がない場合でも、その規模の天幕を設置できること）。 ２　相当数の駐車スペースがあること。 ３　緊急輸送道路に近く、アクセスがよいこと。 ４　車両の出入りが多くても危険が少ないこと。

「総則・予防計画第３編５－１－２　防災関連（都市間、企業等）協定等一覧表」参照

２　運営体制の整備

市（財政部）は、次のとおり運営体制の整備を図る。

（１）調達物資、救援物資等の受入・仕分け・管理・輸送を効率的に行うための関係機関及び民間物流業者等との協力、調整。

（２）物資拠点予定地の選定及び必要となる要員の確保。

（３）被害状況、避難者数や避難者のニーズ等を把握し、迅速かつ的確な物資提供に資するために災害の発生直後から被害情報を収集できる体制の構築。

（４）市が開設する物資拠点は、県が開設する広域物資拠点（和歌山ビッグホエール）からの受入を担う２次拠点として位置づけ、定期的に訓練を実施しながらの連携体制構築。

「総則・予防計画第３編５－１－２　防災関連（都市間、企業等）協定等一覧表」参照

第７節　消防活動体制の整備

計画の方針

市民及び事業所の自主救護能力の向上を図るとともに、断水時や同時多発火災にも対応できる消火活動等の消防活動体制及び広域消防応援受援体制の整備を進め、消防力の強化を図る。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　市民及び事業者の自主救護能力の向上	消防局	県危機管理部、市民、事業者
第２項　計画の策定	消防局	県危機管理部
第３項　消防力の強化	消防局、消防団	県危機管理部
第４項　広域消防応援体制の整備	消防局	県危機管理部

第１項　市民及び事業者の自主救護能力の向上

市（消防局）は、災害時の被害軽減を図るため、市民及び事業者の自主救護能力の向上を図る。

なお、出火防止や初期消火の教育等を以下のとおり実施することとするが、地震等の災害発生時にまず行うべきことは、火災を食い止めることではなく、自らの命を最優先に考えた行動をとることを周知する。

項目	対象	概要
出火防止	市民	自治会、自主防災組織、婦人防火クラブ、防火委員会等各種団体を対象とした出火防止のための教育を以下の事項について実施し、出火防止意識の向上を図る。 １　火気使用機器類を適切な設置場所で使用及び転倒や可燃物、落下物の有無に配慮する。 ２　平常時から不要な電気機器のプラグを抜く。 ３　避難行動時のブレーカー、ガスの元栓等の遮断又は感震ブレーカー・コンセントの設置 ４　停電からの復電による、通電火災を考慮した、機器再使用時におけるガス漏れ、配線器具等の安全確認

項目	対象	概要
	事業者	1　火気使用設備・器具の安全化 対震自動消火装置付ストーブやガス対震自動遮断装置（マイコンメーター）の普及、ＬＰガス容器の転倒防止策の実施を促進する。 2　危険物施設等の安全化 地域内の危険物施設等の把握、危険物の安全取扱いと適正管理について事業所関係者に対する教育・指導、防災資機材の整備の促進、立入検査の実施等による出火及び流出防止対策の実施を促進する。 3　自家用電気設備の安全化 変電設備、自家発電設備、蓄電池設備等の電気設備に対する点検、整備及び耐震不燃化対策の実施を促進する。 4　化学薬品等の安全化 化学薬品等の取扱施設の把握、学校、病院、研究所等関係団体に対する保管時の転倒防止措置、適正配置の指導及び保管施設の耐震不燃化を促進する。 5　高層建築物等の安全化 高層建築物、地下空間、百貨店及び多量の火気を使用する特殊建築物等については、立入検査の重点実施、火気使用設備・器具の固定、当該設備・器具への可燃物の転倒・落下防止等の措置を促進するとともに、発災時における従業員等の対応要領の周知を図る。 6　ガスの安全化 ガス事業者及び消費者を対象としたガスの安全管理のための研修会等を実施し、火災爆発等の災害防止に努める。
初期消火	市民	1　街頭用消火器等を活用し、自主防災組織による初期消火。 2　地震動の継続中に消火作業を行わないよう指導 3　住宅用火災警報器を政令で定める場所（寝室、階段、廊下）に設置するよう指導
	事業者	1　防火対象物等における消防用設備の耐震化を促進する。 2　地震等により、複数箇所から出火した場合の優先消火場所への対応を指導 3　建物損壊に伴う、防火区画閉鎖不能に陥った場合の対応を指導
救急救命	市民 事業所	災害時に重複するおそれのある救急救助要請に対応するため、応急手当の方法等救急知識の普及啓発及びバイスタンダー養成促進計画の推進などにより、救急救助体制の充実強化を図る。

項目	対象	概要
	事業所	多数の人が集まる場所、公共施設等から順次、ＡＥＤ（自動体外式除細動器）の設置を推進するとともに、取り扱い方法の研修を行う。

第２項　計画の策定

市（消防局）は、平常時における職員・車両等の適正な配置計画及び資機材の充実等はもちろんのこと、災害発生時の被害軽減を図るとともに、消防活動の効果的な実施を図るため、「和歌山市消防局地震警備計画」及び「和歌山市風水害等消防活動計画」等の計画の策定・見直しを推進する。

第３項　消防力の強化

市（消防局）は、次のとおり消防施設、人員等の充実強化に努める。

項目	概要
消防活動拠点	地震等大規模災害に備えるため、災害時における活動拠点としての機能を強化するため、庁舎整備を推進する。
消防車両及び資機材	地震等大規模災害や職員の高齢化に対応するため、消防機械器具の整備（軽量化、自動化等）を推進する。
消防水利	消防水利の基準を指針として整備充実するものとし、各地区に40立方メートル級の耐震性防火水槽の増設を目指すとともに、既存の非耐震性防火水槽の簡易耐震化を図る。 また、防災拠点への耐震性防火水槽の設置を図る。 地震等大規模災害に伴う同時多発型火災に備えるため、自然水利（海、川等）やビル地下受水槽等を消防水利として活用するなど、多様な消防水利の確保に努める。
消防職員の強化	複雑多様化する災害に対処するため、特殊車両等の運用要員の確保と救急業務要員の確保に努める。
消防指令業務	データ伝送による確実かつ効率的な消防救急活動支援を強化するため、無線の260ＭＨｚ帯デジタル方式への移行。（平成27年2月20日移行） 和歌山広域消防指令センターでの消防指令業務（119番通報の受信、消防車や救急車の出動指令及び無線の統制など）の共同運用により、市町境の災害や大規模災害時における応援活動等の連携円滑化を図る。（平成27年４月

項目	概要
	運用開始）
警防、救急、救助体制	地震等大規模災害における家屋の倒壊、危険物、毒劇物の流出、漏洩などの複合発生に備えるため、各種研修・訓練を通じての特殊車両等の運用要員の育成、高度救助資機材取扱等の救助活動に係る知識、技能の向上を図る。 計画的な救急救命士の養成、救急高度化及び高規格救急車等の整備並びに救命効果（社会復帰率）を向上させるための救急隊員等の資質向上に努める。
水防活動	水防工法習得による対応力強化及び水防倉庫の充実・水防資機材の整備強化を図る。 また、水防活動への住民参加等水防意識の啓発を図るとともに、関係機関と調整協議し、消防団や水防協力団体の育成・研修・訓練、青年層・女性層の団員の参画促進などにより人員の確保に努め、河川及び土砂災害等の警戒体制の整備を図る。
避難誘導活動	避難行動要支援者及び安全に配慮した計画的避難誘導体制の整備を図る。
消防団の強化	地震等大規模災害において、地域防災の中核としての消防団の役割が一層期待される中で、地域に根ざした幅広い地域活動を積極的に推進するとともに、自主防災組織や防災士との連携協力を進め、消防団を中心とした地域防災力の充実強化を図る。

「総則・予防計画第３編４－１－１　消防庁舎の一覧」参照
「総則・予防計画第３編４－１－２　消防局の編成」参照
「総則・予防計画第３編４－１－３　消防署の編成」参照
「総則・予防計画第３編４－１－４　消防水利の状況」参照
「総則・予防計画第３編４－１－５　消防団の状況」参照

第４項　広域消防応援体制の整備

市（消防局）は、不測の大規模災害及び産業災害等の予防及び鎮圧に万全を期し、併せて民心の安定を図るため、各市町村等と広域消防協定を結び、相互の協力体制を確立する。

今後も広域災害を想定し、県外の市町村も含めた広域消防協定の締結を進める。

項目	概要
相互応援協定締結状況	1　和歌山県下消防広域相互応援協定 2　和歌山県防災ヘリコプター応援協定 3　和歌山北部臨海都市広域消防協定及び和歌山北部臨海地域事業場消防相互応援協定 4　阪和林野火災消防相互応援協定 5　阪和自動車道、湯浅御坊道路、関西空港自動車道及び京奈和自動車道消防相互応援協定 6　消防活動資機材及び支援物資等相互応援協定 7　和歌山海上保安部と和歌山市との消防業務協定 8　建設機械器具に関する消防業務協定 9　和歌山広域消防指令共同運用に係る消防相互応援協定 10　第二阪和国道和歌山岬道路消防相互応援協定
その他の消防応援	1　緊急消防援助隊の編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画に基づく消防応援 2　「大規模特殊災害時における広域航空消防応援実施要綱」に基づく広域航空消防応援 3　ガス漏れ及び爆発事故等の防災対策に関する申し合わせ

第８節　医療体制の整備

計画の方針

災害時の医療活動を迅速に実施するため、関係機関と連携して必要な体制整備を推進する。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　医療救護体制の整備	健康推進部	県福祉保健部、市医師会、市薬剤師会、市歯科医師会、県病院協会、県看護協会、県助産師会、災害拠点病院、災害支援病院、救護拠点医療機関、透析医療機関、周産期施設、災害医療コーディネーター
第２項　重症者搬送体制の整備	健康推進部、消防局	
第３項　後方医療体制の整備	健康推進部	
第４項　専門医療体制の整備	健康推進部	
第５項　医療関係機関との連携強化	健康推進部	
第６項　各種公的保険制度の事務処理対策	保険医療部	県福祉保健部、福祉サービス提供者

第１項　医療救護体制の整備

市（健康推進部）は、災害時において適切な医療が実施できるよう、市医師会等関係機関と連携して、医療救護体制を整備する。

項目	概要
情報収集・伝達体制の整備	１　災害時の連絡・調整窓口や、通信手段（衛星電話、災害時優先電話等）及び情報収集システムの整備に努める。 ２　情報の収集伝達手段が麻痺した場合にも、医療機関の被害状況など地域における保健医療に関する情報を収集するため、医療情報連絡員の配置等必要な体制を整備する。
医療救護体制の整備	医療救護所の設置予定場所を確保するとともに、市医師会及び市薬剤師会と医療救護活動における必要な連携体制を整備する。

項目	概要
	【医療救護活動】 １　傷病者の重症度の判定 ２　傷病者の応急処置 ３　救急搬送の順位決定 ４　助産活動 ５　死体の検案 ６　調剤及び薬剤管理等
各種派遣医療チーム受入体制の整備	災害派遣医療チーム（ＤＭＡＴ）、日本医師会災害派遣医療チーム（ＪＭＡＴ）、こころのケアチーム（ＤＰＡＴ）を初め医療関係団体より派遣される各医療チームの受入れ手順を確立する。
医薬品等の確保体制の整備	震災発生初動期の救護活動に必要な、医薬品等の備蓄・確保体制を整備する。

第２項　重症者搬送体制の整備

市（健康推進部）は、市（消防局）及び医療機関と連携して、特定の医療機関へ傷病者が集中しないよう、ＥＭＩＳ（和歌山県広域災害救急医療情報システム）及びその他の災害関連情報システムの情報に基づく適切な搬送体制を整備する。

また、市域外への広域搬送を想定し、各種搬送手段を利用した搬送体制の整備を図る。

「総則・予防計画第３編３－７　救護拠点医療機関一覧表」参照

第３項　後方医療体制の整備

市（健康推進部）は、市内の医療機関と調整を図り、多数の傷病者発生に対応できるよう、災害拠点病院等との連携体制を確保するとともに、協力医療機関の整備・拡充に努める。

また、災害拠点病院、災害支援病院、救護拠点医療機関、特殊機能医療機関（透析医療機関、産科医療機関）等の管理者は、施設・設備等の防災機能の強化整備を推進するとともに、入院患者等の安全を確保し、医療活動を維持するため、ＢＣＰ（業務継続計画）等の作成及び災害医療訓練の定期的な実施を行い、体制の整備を図る。

第４項　専門医療体制の整備

市（健康推進部）は、専門医療が必要となる人工呼吸器、人工透析、難病、小児・周産期医療、感染症、精神疾患、歯科疾患等について、医療機関のネットワーク化、必要医薬品等の確保・供給体制及び在宅医療傷病者への情報提供方法などを整備する。また、在宅人工呼吸器使用者については、関係機関とともに個別支援計画を作成し、常時に見直しを行う。

第５項　医療関係機関との連携強化

市（健康推進部）は、市医師会及び市薬剤師会の医療救護計画の作成を促進するとともに、定期的に災害医療訓練を実施する。

第６項　各種公的保険制度の事務処理対策

市（保険医療部）は、県、国及び関係機関（医療機関、地域包括支援センター等）と連携し、被災により国民健康保険、後期高齢者医療制度又は介護保険の被保険者証を紛失もしくは提示不可能となっていても、本人確認等により必要な医療もしくは介護サービスを受けられる体制整備を推進する。

また、ケアマネジャー等の福祉サービス提供者との連携を密に取り、福祉サービスの継続に必要な体制の整備に努める。

第９節　保健衛生体制の整備

計画の方針

災害の発生に伴う二次的な健康障害の予防を始め感染症予防活動、蔓延を未然に防止するための防疫活動など保健衛生体制を整備するとともに、被災した動物の収容体制の整備を行う。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　保健衛生体制の整備	健康推進部	県福祉保健部、県環境生活部
第２項　動物の収容体制等の整備	健康推進部	県環境生活部、獣医師会

第１項　保健衛生体制の整備

市（健康推進部）は、災害発生に伴う二次的な健康障害の予防、感染症の発生の早期探知及び拡大防止するための保健衛生体制を整備する。

１　体制整備

項目	概要
健康管理体制	１　災害発生時に保健活動を実施できるよう、健康推進部に係る業務継続計画（ＢＣＰ）を定期的に見直す。 ２　災害時保健活動に必要な物品等の確保及び整備を図る。 ３　要配慮者（在宅難病患者等）登録の対象者把握に努める。 ４　各種団体等と連携して、保健活動の体制整備を図る。 ５　外部からの災害時健康危機管理チーム（ＤＨＥＡＴ）及び保健医療活動チームの受け入れ手順等を確立する。 ６　災害発生時の感染症発生状況を探知するシステム（症候別サーベイランス「避難所サーベイランス」）を整備する。
精神保健福祉体制	１　災害時地域精神保健福祉業務に必要な物品等の確保及び整備を図る。

項目	概要
	2　県や精神科医療機関等と連携し、災害時の精神科診療の体制整備を図る。 3　精神保健福祉に関する援助資源の確保体制整備を図る。 4　こころのケアに関する啓発用資料の作成及び整備を図る。 5　災害時の精神保健医療活動についての住民教育の実施を推進する。 6　要配慮者（精神障害者）登録の対象者把握に努める。 7　精神保健福祉従事者への災害時メンタルヘルスに関する知識の習得に努める。 8　地域における精神保健福祉ネットワークの充実を図る。
食品衛生体制	1　臨時給食施設及び避難所等での食品衛生に関する指導体制を整備する。 2　飲用井戸水の衛生的な利用についての指導体制を整備する。 3　営業施設及び給食施設での食品衛生に関する指導体制を整備する。 4　上記施設等の監視・指導を実施する食品衛生監視員の資質向上を図る。
防疫体制	1　災害発生時に、直ちに防疫活動が実施できるよう業務継続計画（ＢＣＰ）を定期的に見直す。 2　防疫用薬品等の調達計画の作成 3　住民が行う防疫活動について普及啓発を図る。

２　薬剤・医療資器材の備蓄

市（健康推進部）は、感染症の発生防止、被災家屋の消毒等、防疫業務に必要な薬剤・医療資器材の備蓄を推進する。

また、災害時の不足に備え、関係機関との協力体制の構築を図る。

第２項　動物の収容体制等の整備

市（健康推進部）は、負傷又は放し飼い状態の動物が多数発生すると同時に、避難所等に避難した動物にかかる問題も予想されることから、関係団体と連携を図り、適切な収容体制を整備する。

項目	概要
収容体制	1　収容場所と輸送手段の確保に努める。

項目	概要
	２　収容動物の管理に必要な人材を確保するために、動物関係団体、ボランティア等との連携を図る。 ３　収容動物の保管に必要な水、餌の確保に努める。 ４　飼育困難な動物の一時保管施設の整備、確保を図る。
治療体制	１　動物用医薬品、動物用医療機器の確保に努める。 ２　獣医師会と連携して、治療施設の確保に努める。 ３　治療中の収容動物、死亡した収容動物の保管場所の確保に努める。 ４　動物の死亡後の取扱いについて、関係団体、関係機関と連携し、体制を整備する。
情報提供体制	収容した動物の情報提供及びその他、動物に関する相談を行える体制を整備する。
指導体制	１　「健康管理としつけ」「所有明示」「フード、水等の備蓄」「避難先や避難経路の事前確認」等について啓発を行う。 ２　飼い主とともに避難所に避難した動物の適切な飼育に関する指導体制を整備する。

第10節　遺体収容体制の整備

計画の方針

大規模災害発生時における、多数遺体の収容及び埋火葬を迅速に行うことができるよう必要な環境整備に努める。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　遺体収容所の確保	保険医療部	
第２項　遺体収容所運営体制の整備	保険医療部	県警
第３項　埋火葬体制の整備	保険医療部	
第４項　応援体制の整備	保険医療部	県環境生活部、県福祉保健部、葬祭業者
第５項　従事者のこころのケア	健康推進部	

第１項　遺体収容所の確保

市（保険医療部）は、災害時の多数の遺体を適切に収容するために、あらかじめ開設予定施設を確保する。

開設予定地
１　市斎場 ２　体育館（和歌山東公園体育館、県立体育館、市民体育館、河南総合体育館、松下体育館） ３　その他施設

第２項　遺体収容所運営体制の整備

市（保険医療部）は、遺体の収容所における、検視・検案、身元確認、遺族への引渡し等の運営体制について、県警及び捜索活動を行う各機関と連携した体制構築を図るとともに、必要な資機材の確保に努める。

第３項　埋火葬体制の整備

市（保険医療部）は、多数遺体の迅速かつ円滑な火葬を行うことができるよう、市斎場の適切な改修及びその管理運営に必要な人員、資機材等の確保に努める。

また、火葬後の遺骨及び遺留品を保管する施設の確保に努める。

第４項　応援体制の整備

市（保険医療部）は、遺体の搬送及び遺体収容所の運営において、専門的な知識・経験を有する葬祭業者の協力が得られる体制を整備するとともに、市斎場の使用困難な場合又は火葬能力を超える場合について、県を通じた広域な応援が得られる体制を整備する。

第５項　従事者のこころのケア

市（健康推進部）は、従事者の「こころのケア」対策について、心の健康状態の把握、カウンセリングの実施等、必要な体制を整備する。

第11節　緊急輸送体制の整備

計画の方針

災害時において、迅速に重傷者及び防災活動上必要な物資等の輸送を行うため、関係機関と連携を図りながら、陸上、海上、空中輸送に必要な環境整備を図る。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　陸上輸送の環境整備	道路河川部、都市計画部、総務部、財政部、各部	県県土整備部、県農林水産部、県危機管理部、県警、近畿地方整備局和歌山河川国道事務所、近畿地方整備局和歌山港湾事務所
第２項　海上輸送の環境整備	農林水産部、道路河川部	
第３項　空中輸送の環境整備	危機管理部、各部	

第１項　陸上輸送の環境整備

１　道路の維持補修

市（道路河川部）は、他の道路管理者と協調して、災害発生時の道路機能の向上を図るため、道路施設の整備を計画的に推進する。

「総則・予防計画第２編第１章第２節　道路の整備」参照

２　放置車両等の発生防止

市（都市計画部）は、災害時の防災活動の確保のために、県警と連携し、放置自動車等の発生の防止及び適正な処理に関する施策を総合的に推進する。

３　車両の確保

（１）緊急通行車両の確認申出

市（総務部）及び市（各部）は、管理・保有する公用車が、災害時の交通規制下においても、緊急通行車両として運用できるよう確認申出を行う。

「総則・予防計画第３編４－２－１　市有自動車所属別保有台数（四輪車）」参照

項目	概要
確認申出の対象となる緊急通行車両	指定行政機関等が保有し、災害応急対策等を実施するために使用される車両（災害対策基本法第50条第１項に定める災害応急対策に従事する車両、大規模地震対策特別措置法第21条第１項に定める地震防災応急対策に従事する車両、原子力災害対策特別措置法第26条第１項に定める緊急事態応急対策に従事する車両、武力攻撃事態における国民の保護のための措置に関する法律第２条第３項に定める国民の保護のための措置の対策に従事する車両のすべてを満たすことが必要） ※　道路交通法第39条第１項の緊急自動車（消防用自動車等）は対象外
確認申出	災害発生時に速やかに応急対策を行うため、確認申出を行い、標章及び緊急通行車両確認証明書の交付を受けるよう努める。 なお、車両の廃車や業務上の必要がなくなったときは、届出先警察署へ、標章及び確認証明書を返還すること。
届出先	車両の使用の本拠の位置を管轄する警察署
提出書類	１　緊急通行車両確認申出書 ２　添付書類 ・自動車検査証又は軽自動車届出済証の写し ・災害応急対策を実施するための車両として使用されるものであることを確かめるに足りる書類 ※防災業務計画（抜粋可） ・指定行政機関等の車両であることを確かめるに足りる書類） 【事前届出済証（令和５年８月以前）交付済みの場合】 １　緊急通行車両確認申出書 ２　事前届出済証
届出済証の交付	確認申出提出後、書類審査を経て後日交付される。 交付された標章及び確認証明書は、市（各部）で保管し、確認証明書の写しを市（総務部）で一括管理する。

（２）二輪車の整備

市（総務部）及び市（各部）は、道路被害による通行障害に備え、二輪車（バイク、自転車）の整備を推進する。

（３）民間車両の活用

市（総務部）は、市（財政部）と連携して、災害時の車両の不足に備え、民間からの車両の活用について、必要な体制を整備する。

「総則・予防計画第３編５－４－４　輸送車両の調達先等（調達先）」参照
「総則・予防計画第３編５－１－２　防災関連（都市間、企業等）協定等一覧表」参照

第２項　海上輸送の環境整備

１　施設整備

市（農林水産部）及び他の港湾・漁港管理者は、災害発生時の施設機能の向上を図るため、施設の整備を計画的に推進する。

市（道路河川部）は、災害時の陸路の被災に備え、港湾施設の利用について、必要な体制を整備する。

「総則・予防計画第２編第１章第４節　海岸保全施設・港湾施設・漁港の整備」参照

２　放置艇対策

港湾・漁港の各管理者は、公共水域の秩序ある利用を実現するとともに、津波来襲時の二次災害を防止するため、係留環・係船柱の充実及び係留保管施設の整備を推進するとともに、不法係留船の状況を把握し、当該所有者に対して移動又は撤去の勧告を行い、船舶の適切な保管・管理を促進する。

第３項　空中輸送の環境整備

市（危機管理部）は、災害発生による交通途絶に備え、臨時ヘリポートの整備を図るとともに、予定発着地を、次の基準によりあらかじめ選定・確保する。また、市（各部）は、関係機関や協定締結先等と連携を図りながら、無人航空機等の輸送手段の確保に努めるものとする。

選定基準
１　地面は堅固で勾配５％以内であること。 ２　コンクリート舗装地又は芝地、草地が適していること。 ３　発着地に障害物がないこと。

「総則・予防計画第３編５－３－１　災害時ヘリコプター予定発着地」参照
「総則・予防計画第３編５－３－２　臨時ヘリポート」参照
「総則・予防計画第３編５－３－３　ヘリコプター発着地等の基準図」参照

第12節　災害廃棄物処理体制の整備

計画の方針

災害時に発生する大量の廃棄物（避難所ごみ等含む。）の処理が迅速かつ円滑に行えるよう、必要な体制整備を図るとともに、災害時の生活環境の保全と公衆衛生の維持のため、災害廃棄物処理計画に基づき、平常時における災害予防対策、迅速かつ適切な災害応急対策及び災害復旧・復興対策の構築を図る。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　災害廃棄物処理計画の推進	環境部、下水道部、危機管理部	県環境生活部、近畿地方環境事務所
第２項　一般廃棄物処理基本計画の推進	環境部	県環境生活部

第１項　災害廃棄物処理計画の推進

１　災害時の廃棄物

災害廃棄物は一般廃棄物であるため、市が処理の主体を担う。その種類は、次のとおりである。

（１）災害によって発生する廃棄物（木くず、コンクリートがら、金属くず等）

（２）津波堆積物

（３）生活に伴い発生する廃棄物（生活ごみ、避難所ごみ、し尿）

２　災害廃棄物処理計画の作成

市（環境部）は、県及び近畿地方環境事務所と連携を図りながら「災害廃棄物処理計画」に基づき、体制の構築及び施設等の整備を図る。

（１）情報連絡体制

廃棄物処理施設の被害状況、災害廃棄物等の発生量を把握するための情報連絡体制の確保を図る。

（２）協力・連携体制

ア　道路啓開活動を行う機関との、連携体制の確保を図る。

イ　県及び県内外の広域的な連携体制の確保を図る。

ウ　廃棄物関係団体及び委託業者等の協力体制の確保を図る。

「総則・予防計画第３編５－１－２　防災関連（都市間、企業等）協定等一覧表」参照

（３）廃棄物処理施設の整備

ア　廃棄物処理施設の非常用発電機の点検など必要な予防措置を行うとともに、災害時における非常停止マニュアルや事業継続計画（ＢＣＰ）の整備を図る。

イ　避難所等におけるトイレ需要に備え、仮設トイレ等の資機材の確保を図る。

（ア）市（環境部）は、くみ取り式応急仮設トイレの確保・設置について、民間業者との協力体制の整備を図る。

（イ）市（下水道部）は、マンホールトイレ下部構造物の整備を推進するとともに、設置に関するマニュアル整備を図る。

（ウ）市（危機管理部）は、簡易トイレ処理セット及びマンホールトイレに接続する仮設トイレの備蓄を推進する。

ウ　廃棄物処理施設に浸水防止用土のう袋の常備を推進するとともに資材の確保を図る。

資材は生分解性素材等を使用したものを積極的に導入することで環境への配慮に努める。

（４）廃棄物処理体制

ア　災害廃棄物の一時集積等を行う仮置場を複数選定するなど、必要な準備を事前に行い、災害に備える。

各仮置場の特徴は、次のとおりである。

分類	特徴	期間
市民仮置場	市民が片付けごみ等を可能な限り分別し排出する場所であり、市民が排出しやすい地域に隣接した場所に設置を検討する。	一次集積場に搬出されるまで
一次集積場	市民が自己搬入をしたり、市民仮置場から搬入した災害廃棄物の粗選別等を行い、分別した廃棄物を処理事業者へ引き渡す。各ブロック（10 か所）で設置を検討する。	二次集積場又は中間処理施設等への搬出が完了するまで
二次集積場	一次集積場から集積したものを、再度、分別を行い、コンクリートがらや柱材、角材の処理も行う。状況により、破砕機や仮設焼却炉を設置し、処理を行う。このため、広大な土地が必要であり、１～２か所程度の設置を検討する。	災害廃棄物の処理等が完了するまで設置（３年を目途）

イ　最終処分場の確保及び広域的な処理体制の整備を図る。

ウ　避難所から排出される廃棄物の収集方法について、あらかじめ方針・手順の検討を行う。

エ　市（環境部及び下水道部）は、し尿処理方法について、あらかじめ方針・手順の検討を行う。

（５）その他（相談、周知、広報等）

災害廃棄物に関連する情報等についてホームページで公開するなど周知に努めるとともに、廃棄物処理に関する多数の相談・問い合わせを想定して、受付体制の整備を図る。

第２項　一般廃棄物処理基本計画の推進

市（環境部）は、「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、ごみの減量化、資源化を促進するとともに、災害時においても、生活環境の保全と公衆衛生の向上が図られるよう、地域の災害拠点となり得る廃棄物の処理施設の整備を推進する。

第13節　罹災証明書等交付体制の整備

計画の方針

迅速な住家被害調査が行えるよう、市（被害状況調査員）を事前に任命するとともに、住家被害調査、被災者台帳作成等罹災証明書交付に必要な体制整備を行う。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　罹災証明書	危機管理部、税務部、都市計画部	県福祉保健部
第２項　火災証明書	消防局	

第１項　罹災証明書

罹災証明書は、住家被害の程度を証明する書類であり、被災者生活再建支援金や義援金の配分等の被災者支援措置の判断材料となる証明書である。

市長は、市域に災害が発生した場合において、当該災害の被災者から申請があったときは、遅滞なく、住家の被害等を調査し、当該災害による被害の程度を証明する書面（以下「罹災証明書」という。）を交付しなければならない（基本法90条の２）。

１　調査体制の整備

市長は、迅速な住家被害調査が行えるよう、市（被害状況調査員）を事前に任命する。

市（危機管理部）は、市（税務部及び都市計画部）、県及び専門的な知識や経験を有する以下の民間団体の協力を得た調査体制の確立を図るとともに、住家被害認定士の養成及び必要資機材やマニュアル等の整備により、体制強化を推進する。

（１）一般社団法人和歌山県建築士会
（２）一般社団法人和歌山県建築士会和歌山市支部
（３）一般社団法人和歌山県建築士事務所協会
（４）公益社団法人日本建築家協会

２　被災者支援システムの整備

市（危機管理部）は、住家被害状況及び被災者支援措置状況を総合的かつ効率的に管理する「被災者支援システム」の整備を図る。これにより被災者台帳の作成、罹災証明書交付の迅速化を図るものとする。

３　研修の実施

市（危機管理部、税務部及び都市計画部）は、住家被害調査及び「被災者支援システム」の活用について、必要な研修の実施に努める。

第２項　火災証明書

火災証明書は、原則として市（消防局）が交付するが、地震等大規模災害時には、火災による被害も甚大かつ広範囲にわたり、消防活動の長期化が予想されるため、関係各局と調整を行う。

第14節　危険物等災害予防対策

計画の方針

危険物等取扱者等関係者に対し、保安教育の実施、立入検査の実施、施設の安全対策等の指導強化を図るなどし、危険物、高圧ガス、火薬類、毒・劇物及び放射性物質、並びに海上排出油等による災害の防止に努める。

特に、大規模地震対策特別措置法及び南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法に基づく計画、予防規程等を定めなければならない施設等に対して地震、津波災害への予防対策及び応急対策の充実・強化を図るように指導する。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　危険物施設等の区分		
第２項　危険物災害（消防法による危険物）	消防局	県危機管理部、施設管理者
第３項　高圧ガス及び火薬類等災害	消防局	県危機管理部、一般社団法人和歌山県ＬＰガス協会和歌山市支部、施設管理者
第４項　毒物・劇物災害	消防局、健康推進部	県福祉保健部、施設管理者
第５項　放射性物質事故災害（原子力を除く）	消防局、健康推進部	県危機管理部、施設管理者
第６項　海上排出油等災害	消防局、危機管理部	和歌山県排出油等防除協議会、和歌山海上保安部
第７項　災害によるアスベスト飛散	環境部、各部	

第１項　危険物施設等の区分

下表のとおり、広義の危険物について分類し、消費、製造、貯蔵及び取り扱う施設の形態を区分する。

分類	保有形態	主な根拠法令	施設等の例示
危険物（消防法）	製造所・貯蔵所・取扱所	消防法	製造施設・屋内外タンク貯蔵所・給油取扱所等

分類	保有形態	主な根拠法令	施設等の例示
高圧ガス	製造所・貯蔵所・消費施設・販売所・充てん所・輸送施設	高圧ガス保安法、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律	製造工場・酸素、アセチレンガス等による溶接及び溶断を行う場所・ＬＰガススタンド・タンクローリー等
火薬類	製造施設・火薬庫	火薬類取締法	製造所・保管場所・販売所・消費場所・廃棄場所等
毒物・劇物	製造所・販売所・取扱所	毒物及び劇物取締法	農家・病院・研究所・金属熱処理工場等・タンクローリー等
放射性物質	使用施設・輸送施設	放射性同位元素等の規制に関する法律	病院・研究所・ＲＩ輸送車等
海上排出油等	船舶・臨海施設等	海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律	旅客船・石油コンビナート施設等

第２項　危険物災害（消防法による危険物）

１　調整・指導等

（１）保安教育の実施

市（消防局）は、危険物施設における保安管理の徹底を図るため、施設の関係者、防火（防災）管理者、危険物取扱者等に対し講習会、研修会等の保安教育を実施するとともに、災害時に備えた訓練の実施等を盛り込んだ消防計画（地震防災計画等）及び予防規程（南海トラフ地震防災規程等）を定めるよう指導する。

また、危険物施設において、危険物安全週間、防災週間等の機会を捉えて、行政、防災関係機関等及び地域住民と連携を図り、危険物施設全体の防災体制が確立するよう指導する。

（２）立入検査

市（消防局）は、危険物施設に対し、和歌山市火災予防査察要綱に基づき検査及び質問を行い、火災予防上の不備事項を関係者に指摘し、是正のために必要な指導を行う。

（３）貯蔵タンク等流出予防対策

市（消防局）は、液体危険物（二硫化炭素を除く。）を貯蔵する屋外タンクについて、防油堤の構造強化、排出油等防除資機材の整備等により流出防止又は被害軽減が行えるよう指導を強化する。

２　安全対策の促進

危険物施設では、災害が発生した場合の対応についての特殊性を考慮し、消防計画、予防規程又保安マニュアル等に定めるところにより、防災活動について管理運営面の改善、必要な資機材の整備、訓練を通じた自衛消防組織及び事業所間の相互協力体制の確立に努めるとともに、「消防法」、「建築基準法」等の関連法令に基づく構造、設備等に関する遵守はもとより、液状化発生危険等設置地盤の状況について調査し、耐震性等安全対策の向上に努める。

また、学校及び研究施設には、指定数量未満の少量の危険物、毒・劇物及び火薬類が保管されている場合があり、地震動等による転倒・落下で、混触や酸化による発火の危険性があるため、適切な措置を講ずるよう指導する。

第３項　高圧ガス及び火薬類等災害

１　調整・指導等

市（消防局）及び関係各機関は、高圧ガス、火薬類及び液化石油ガス等による災害の発生及び拡大を防止するため、関係行政機関との連携のもとに、保安意識の高揚、取締りの強化及び自主保安体制の整備を重点に災害予防対策を推進する。

また、消防法第９条の３第１項に基づき、高圧ガス及び火薬類を業務として製造、貯蔵又は取扱いをしようとする者に届出をさせるとともに、災害発生時の消防活動の障害とならないよう指導する。

特に、液化石油ガスについては、市民の生活に密着しているため、安全対策について取扱業者を指導し、周知徹底させる。

２　安全対策の促進

事業所の管理者は、「消防法」、「建築基準法」等の関連法令に基づく構造、設備等に関する遵守はもとより、液状化発生危険等設置地盤の状況についても調査し、耐震性等安全対策の向上に努める。

また、一般社団法人和歌山県ＬＰガス協会和歌山市支部は、一般消費家庭において、ＬＰガス容器のチェーン止め等による転倒・転落防止措置の徹底、感震自動ガス遮断装置、ガス放出防止装置等の設置を促進する。

第４項　毒物・劇物災害

１　調整・指導等

市（消防局）及び市（健康推進部）は、毒物及び劇物による事故を防止するため、関連法令に規定されている毒物又は劇物の販売業者に対し、関係行政機関との連携のもとに、適切な措置を講ずるよう指導する。

市（消防局）は、毒物及び劇物を業務として製造、貯蔵又は取り扱おうとする者に届出をさせるとともに、災害発生時の消防活動の障害とならないよう指導する。

また、県（福祉保健部）と連携して、関連法令に規定されている構造設備の基準に適合するよう、立入検査の際に構造設備に係る指導を強化する。

２　安全対策の促進

市（消防局）及び市（健康推進部）は、毒物劇物保護衣、防毒マスク等の保護具の整備に努め、緊急事態が発生した場合、相互に協力できる体制を確立する。

事業所の管理者は、関連法令に基づく構造、設備等に関する遵守はもとより、施設の耐震性等安全対策の向上に努める。

第５項　放射性物質事故災害（原子力を除く）

１　調整・指導等

現在、国においては「放射性同位元素等の規制に関する法律」に基づき、放射性物質の使用等に関し、安全を確保するための体制を整備している。

市（健康推進部）は、医療機関に対し、医療廃棄物の適正処理について指導を行うとともに、市（消防局）と連携して、市域の取扱事業所の所在地等について確認を行う。

想定する事故
１　放射性物質を取扱う施設からの放射線の漏洩 「総則・予防計画第３編１－８　放射性同位元素等取扱事業所一覧」参照
２　放射性物資輸送中の車両からの放射線の漏洩

２　安全対策の促進

市（消防局）は、放射性物質事故災害時において円滑な消防活動が行われるよう、放射線測定器等の整備、許可施設等を対象とした消防活動上必要な警防調査の実施、防ぎょ活動要領の作成などを行うとともに、放射性物質事故災害時の市民への情報伝達など応急体制の確立を図る。また、市（健康推進部）と連携して、平常時から放射線被曝を受けた者の収容医療機関等の情報を把握しておくよう努める。

放射性物質を取り扱う事業者は、事故災害を防止するため、次の対策を講ずる。なお、放射性物質取扱施設以外で放射性物質の存在を確認した者は、直ちに消防機関等に状況を連絡するとともに、応急の措置を行う。

（１）事業者は、放射性物質事故災害から市民の安全を確保するため、関連法令を遵守し、放射性物質事故災害の防止に努める。

（２）事業者は、放射性物質事故災害の防止に係る計画の整備、資機材等の整備点検、従業員に対する防災教育、事故災害の発生時における通報、応急措置、救出・救護、避難対策等を実施するための防災組織の整備を図る。

（３）事業者は、施設等において放射線の異常な漏洩等が発生したときは、直ちに消防機関等に状況を連絡する。

第６項　海上排出油等災害

１　調整・指導等

市域沿岸に大量の油又は有害液体物質等が排出された場合に、関係各部局・関係機関は次の対策を講ずる。

和歌山海上保安部は、災害状況の把握及び防災関係機関への通報、航行警報等による災害発生の周知、災害の発生又は拡大防止のための応急措置を行う。

市（消防局）及び市（危機管理部）は、災害発生時、関係機関と連携して沿岸住民への情報伝達等必要な措置を講ずる。

和歌山県排出油等防除協議会は、会員に対し情報を提供するとともに防除活動の調整を実施し、二次災害防止等の対策を図る。

防災活動を適切かつ効果的に実施するため、関係各部局・関係機関は、次に掲げる防災関係資料の収集及び調査研究を行う。

（１）災害発生状況及び災害の教訓等に関する資料

（２）災害の予想に関する資料（気象、海象等に起因する災害の種類、災害発生の時期及び程度の予察並びに判断のための諸資料）

（３）港湾状況（特に避泊地、危険物の荷役場所、貯木場、マリーナ等の状況）

（４）防災施設、機材等の種類、分布等の状況

（５）関係機関の災害救助計画

和歌山海上保安部は、各種船舶に対する海難防止啓発活動のほか、海難防止講習会を開催し、資料の配付等により海上災害防止思想の普及に努める。また、海上保安官による船舶への訪船指導等を行う。

２　安全対策の促進

関係各部局・関係各機関は、油等流出による災害の防止及び被害の軽減を図るため、次の対策を講ずる。

（１）排出油等事故の発生を想定し、関係機関と合同による防災訓練

（２）ボランティア受入れ体制の整備

（３）排出油等防除資機材等の整備

ア　オイルフェンスの整備

イ　回収装置等の整備

ウ　油吸着材及び油処理剤の整備

エ　船舶における油等流出防止設備の整備

オ　沿岸漂着油等の処理対策の整備

カ　回収油等の処理対策の整備

（４）事故に備えた関係機関の相互連絡体制の確立

（５）大規模な石油類貯蔵施設の在庫把握、保全・整備指導、立入検査、防除資機材の備蓄指導等を行う。

第７項　災害によるアスベスト飛散

アスベストを含む建材使用の恐れがある建築物の所有者等は、災害によるアスベスト飛散防止に備え、必要な対策を図る。

市（環境部）は、アスベストを含む建材の廃棄物処理等について災害廃棄物処理計画に基づいた体制を構築するとともに、市（各部）と連携し、災害ボランティア、復興従事者及び住民

等に対し防じんマスクの着用など必要な知識の普及啓発を図る。

第４章　災害の抑制と被害の軽減

第４章　災害の抑制と被害の軽減

計画の方針

本市に影響をもたらす、大規模地震及び台風等の集中豪雨による被害の抑制と軽減を図るため、各計画に基づき、ハード・ソフトの各対策事業の推進を図る。

また、本市はもとより、国や県の災害調査の研究成果にも絶えず目をむけ、これらの成果を各計画の見直しに当たって取り入れていく。

実施担当

項目	担当部	関係機関
第１項　業務継続計画の推進	各部、危機管理部、産業部	商工会議所等商工業関係団体
第２項　情報システムの維持	総務部、各部	
第３項　和歌山市地震防災対策行動計画の推進	各部	
第４項　地震防災緊急事業五箇年計画の推進	各部	
第５項　水防計画の推進	各部	県県土整備部、県農林水産部、近畿地方整備局和歌山河川国道事務所、近畿地方整備局和歌山港湾事務所
第６項　事前復興計画の策定	危機管理部、都市計画部、各部	
第７項　災害対応後の検証		

第１項　業務継続計画の推進

市（各部）は、市役所機能の低下を伴う大規模災害が発生した場合の業務遂行体制を確保するため、業務継続計画（あらかじめ優先的に実施すべき業務を、具体的かつ時間別に特定するとともに、その実施に必要な対策を講じる。）を作成する。

また、訓練や実際の災害対応を通して、必要な見直しを行い、業務継続力の向上を図る。

市（危機管理部）は、各部の業務継続計画のとりまとめ・調整を行う。

市（産業部）は、事業所が防災・減災の事前対策として事業継続力強化計画を策定し、さらに

は実効性のある防災体制の整備として事業継続計画（ＢＣＰ）の策定を行うよう、商工団体等を通じて普及・啓発を実施する。

基本姿勢
1　発災後３日までは人命救助に関する業務を最優先する。 2　職員の安全を確保しつつ、災害対策本部機能を早期に確保する。 3　災害発生後、本計画を発動した時は、あらかじめ特定した業務を、優先的に実施し、それ以外の業務は積極的に休止するか、特定した業務に支障のない範囲で実施する。

第２項　情報システムの維持

市（総務部）は、免震対応架台の導入等により、基幹系システムの地震対策を図る。

市（各部）は、災害による行政情報の喪失を回避するため、磁気媒体等によりバックアップデータを作成するとともに、分散保管を図る。

第３項　和歌山市地震防災対策行動計画の推進

南海トラフ巨大地震等の大規模地震に対して事前に備え、災害発生時の迅速・適切な対策を促進し、被害を最小限に抑えるため、目標及び重点テーマを掲げ、市（各部）が取り組むべき各施策を体系化し、各施策を計画的に実施する。

目標	重点テーマ
1　大地震に着実に備える	1　津波対策の推進 2　耐震化の促進と災害に強いまちづくり 3　防災意識の普及推進 4　地域の防災体制づくりの推進 5　行政の防災体制の強化
2　災害発生時に迅速適切な対策を実施する	1　災害応急対策の整備 2　被災後の生活支援体制の充実
3　復旧・復興を進め安全で安定した生活を構築する	迅速確実な市民生活の再建復興の推進

第４項　地震防災緊急事業五箇年計画の推進

市（各部）は、地震防災対策特別措置法に基づく「地震防災緊急事業五箇年計画」を推進し、地震防災施設の整備の推進を図る。

対象事業
①避難地　②避難路　③消防用施設　④消防活動用道路　⑤緊急輸送道路等（緊急輸送のための道路、交通管制施設、ヘリポート、港湾施設及び漁港施設）　⑥共同溝等　⑦公的医療機関等　⑧社会福祉施設　⑧-2 公立幼稚園　⑨公立小中学校等　⑩公立特別

支援学校　⑪公的建造物　⑫海岸保全施設又は河川管理施設）　⑬砂防設備、保安施設、地すべり防止施設等　⑭地域防災拠点施設　⑮防災行政無線等　⑯井戸、貯水槽、水泳プール、自家発電設備等　⑰備蓄倉庫　⑱救護設備等　⑲老朽住宅密集対策

【第６次地震防災緊急事業五箇年計画の実施状況（R３-R７）】

分類	事業内容	実施予定年度	担当部（局）
避難路	街路事業（今福神前線、有本中島線）	R３-R７	道路河川部
消防用施設	庁舎移転事業	R5-R７	消防局
	高機能消防指令センター総合整備事業（１箇所）	R７	
	耐震性貯水槽（８箇所）	R４-R７	
	災害対応特殊救急自動車、高度救命処置用資機材（５箇所）	R４-R７	
	災害対応特殊消防ポンプ自動車（２箇所）	R４、R５	
	災害対応特殊化学消防ポンプ自動車（２箇所）	R３、R６	
	救助工作車（１箇所）	R７	
	高度救助用資機材（１箇所）	R７	
	高度探査装置（１箇所）	R７	
	消防団総合整備事業（消防車両３５台）	R３-R７	
緊急輸送道路等	道路事業（市駅和佐線）	R３-R４	道路河川部
	街路事業（市駅和佐線）	R３-R４	
社会福祉施設	社会福祉施設等施設整備（１施設）補助	R７	※（社会福祉部）
ため池	ため池等整備事業ほか（２４箇所）	R３-R７	農林水産部
防災行政無線等	防災行政無線整備事業	R３	危機管理部
井戸、貯水槽、水泳プール	小学校のプール（安原小学校）	R３	教育学習部

※（　）実施主体は社会福祉法人

第５項　水防計画の推進

市（各部）は、洪水、雨水出水、津波又は高潮による被害の未然防止又は軽減を図るために、関係機関と連携して、重要水防箇所の警戒等、別に定める「水防計画」に基づいた水防活動体制の整備を推進する。

第６項　事前復興計画の推進

市（各部）は、大規模災害発生時、いち早く復興まちづくりの計画を策定して復興に取り組むことができるように、想定される被害やまちづくりの課題を把握・整理し、災害に強い復興まちづくりに向けた基本方針や実施体制等を定めた「和歌山市事前復興計画」に基づき、復興事前準備を推進する。

また、市（危機管理部、都市計画部及び各部）は、「和歌山市事前復興計画」に基づき、訓練・研修による職員のスキルアップ、継続的な状況分析と体制への反映、市民・事業者との復興イメージの共有を通じて、より良い復興の実現を目指すための取組を推進する。

第７項　災害対応後の検証

市は、実際の災害対応の経験を通して、実施した災害対策及び事前予防を含めた防災体制について、達成度、実効性の観点から事後検証し、課題の抽出を行い、教訓として継続的に活用することで、次の災害に備えたより有効な防災体制の構築につなげる。

第３編　資　　料

第３編　資料　目次

資　　料　　名	資料番号
１．地域の災害危険箇所一覧表	
山地災害危険地区一覧表 …… 1	1-1
砂防指定地一覧表 …… 13	1-2
急傾斜地崩壊危険区域一覧表 …… 14	1-3
地すべり防止区域一覧表 …… 17	1-4
土砂災害（特別）警戒区域指定一覧 …… 18	1-5
防災重点農業用ため池一覧 …… 37	1-6
紀の川重要水防箇所一覧表 …… 41	1-7
放射性同位元素等取扱事業所一覧 …… 43	1-8
２．防災関連組織	
和歌山市防災会議条例 …… 45	2-1
和歌山市防災会議運営要綱 …… 48	2-2
和歌山市防災会議委員・幹事名簿 …… 49	2-3
和歌山市災害対策本部条例 …… 52	2-4
関係機関連絡先 …… 53	2-5
防災ボランティア団体 …… 55	2-6
自主防災組織結成状況 …… 55	2-7
防火協力団体 …… 56	2-8
３．警戒期及び発災後の情報収集・連絡体制関連資料	
和歌山市防災行政無線設備一覧表 …… 57	3-1
和歌山市防災行政無線管理運用規程 …… 71	3-2
和歌山市防災行政無線運用要綱 …… 76	3-3
和歌山市防災行政無線同報無線系運用要領 …… 81	3-4
和歌山県総合防災情報システム･防災電話整備状況一覧表(本市関連) …… 84	3-5
津波監視カメラ設置場所 …… 86	3-6
救護拠点医療機関一覧表 …… 87	3-7
衛星携帯電話番号一覧 …… 88	3-8
気象観測施設及び地震津波観測施設 …… 89	3-9
４．市の防災対策の現況	
4-1　消防力の現況	
消防庁舎の一覧 …… 95	4-1-1
消防局の編成 …… 96	4-1-2

資　　料　　名	資料番号
消防署の編成 …… 96	4-1-3
消防水利の状況 …… 97	4-1-4
消防団の状況 …… 98	4-1-5
4-2　市有車両や資機材等の備蓄状況	
市有自動車所属別保有台数（四輪車） …… 99	4-2-1
備蓄保管場所一覧表 …… 101	4-2-2
物資備蓄品目 …… 102	4-2-3
設備等の状況　（応急給水用機器の保有状況） …… 104	4-2-4
設備等の状況　（緊急時用浄水装置配備場所） …… 105	4-2-5
設備等の状況　（配水池の有効貯水量） …… 106	4-2-6
設備等の状況　（その他） …… 107	4-2-7
4-3　要配慮者関連施設の立地状況	
紀の川洪水浸水想定区域内の施設 …… 111	4-3-1
和田川洪水浸水想定区域内の施設 …… 146	4-3-2
亀の川洪水浸水想定区域内の施設 …… 152	4-3-3
土砂災害（特別）警戒区域内の施設 …… 155	4-3-4
4-4　その他施設状況	
宅地造成工事規制区域図 …… 159	4-4-1
大規模盛土造成図 …… 160	4-4-2
指定文化財の状況 …… 161	4-4-3
５．個別対策項目別関連	
5-1　他市、関係機関、団体等との応援・協力協定	
応援協定都市連絡表 …… 162	5-1-1
防災関連（都市間、企業等）協定等一覧表 …… 168	5-1-2
5-2　災害時の避難及び避難所開設	
災害時避難所･避難場所･津波避難目標地点一覧表 …… 177	5-2-1
災害時における避難所緊急開放要綱 …… 194	5-2-2
和歌山市避難所緊急開放協力員による開放要領 …… 195	5-2-3
災害時における避難路図 …… 197	5-2-4
5-3　ヘリコプターによる支援	
災害時ヘリコプター予定発着地 …… 199	5-3-1
臨時ヘリポート …… 199	5-3-2
ヘリコプター発着地等の基準図 …… 200	5-3-3

資　　料　　名	資料番号
和歌山県防災ヘリコプター応援協定 ····· 202	5-3-4
5-4　陸上及び海上緊急輸送	
緊急輸送道路ネットワーク図 ····· 204	5-4-1
和歌山下津港湾岸壁位置図 ····· 206	5-4-2
輸送車両の調達先等　（市有トラック）····· 207	5-4-3
輸送車両の調達先等　（調達先）····· 207	5-4-4
5-5　ごみ・し尿処理及び下水・排水処理	
ごみ処理班編成表 ····· 208	5-5-1
し尿処理班編成表 ····· 208	5-5-2
処理施設の状況 ····· 208	5-5-3
低地排水ポンプ場一覧表 ····· 209	5-5-4
公共下水道の整備計画　（分流　（雨水））····· 211	5-5-5
公共下水道の整備計画　（合流）····· 211	5-5-6
5-6　その他	
支部職員任命要領 ····· 212	5-6-1
緊急防災要員任命要領 ····· 214	5-6-2
被害認定基準表 ····· 215	5-6-3
災害救助法による救助の程度・方法及び期間 ····· 216	5-6-4

１．地域の災害危険箇所一覧表

1-1

山地災害危険地区一覧表

山腹崩壊危険地区　　［県森林整備課／248か所］

地区番号		大字	字	面積(ha)	備考
201	0013	加太		1.27	
201	0014	加太		0.65	
201	0015	加太		0.88	
201	0017	加太		2.56	
201	0020	加太		3.53	
201	0022	加太		0.75	
201	0023	加太	山田来原	1.80	
201	0024	加太		2.20	
201	0025	加太	山田来原	2.60	
201	0026	加太		1.23	
201	0028	加太	大谷	3.00	
201	0029	加太	下女原	3.70	
201	0030	加太	八幡	5.57	
201	0031	加太	八幡	2.65	
201	0032	加太		1.57	
201	0033	加太	大谷	2.25	
201	0034	加太		0.46	
201	0035	加太		0.52	
201	0036	加太	城ヶ崎団地	0.57	
201	0037	加太	大振	2.75	
201	0038	加太		0.46	
201	0039	深山	宏鳥部谷	5.89	
201	0040	深山	田井谷	1.35	
201	0041	深山	阿振川	0.60	
201	0047	大川	松谷	2.24	
201	0048	大川	向の山	1.05	
201	0050	磯の浦		0.62	
201	0051	磯の浦		0.50	
201	0052	磯の浦	焼山	3.62	
201	0053	磯の浦		2.29	
201	0056	磯の浦		0.34	
201	0057	磯の浦		1.08	
201	0058	本脇		0.27	

地区番号		大字	字	面積(ha)	備考
201	0059	日野	南谷	1.16	
201	0061	日野		0.35	
201	0062	日野	南谷	1.13	
201	0064	日野	西原	1.43	
201	0065	木ノ本		0.80	
201	0066	木ノ本		0.23	
201	0069	梅原		2.10	
201	0071	栄谷		2.23	
201	0072	栄谷	高塚	4.16	
201	0073	栄谷	高塚	4.20	
201	0074	平井		5.12	
201	0075	平井	前原	2.74	
201	0076	平井		0.86	
201	0077	大谷		0.98	
201	0078	平井		0.51	
201	0080	園部		0.39	
201	0081	園部		0.65	
201	0082	園部		3.21	
201	0084	園部		0.34	
201	0085	六十谷		2.78	
201	0086	六十谷		0.78	
201	0087	六十谷		1.12	
201	0088	直川		0.60	
201	0089	直川		0.81	
201	0090	直川	黒神了	2.63	
201	0091	直川		0.72	
201	0093	府中		2.40	
201	0095	府中		0.99	
201	0096	府中		0.45	
201	0097	直川		0.90	
201	0098	直川		1.07	
201	0099	直川	メツリ原	5.95	
201	0100	直川	割谷	0.52	
201	0101	直川	日向谷	0.87	
201	0103	北	別所	2.01	
201	0105	落合		3.01	
201	0106	落合		1.79	
201	0107	滝畑	南出	3.95	

地区番号		大字	字	面積(ha)	備考
201	0108	滝畑	小林	1.39	
201	0109	滝畑	小林	0.70	
201	0110	滝畑	小林	4.33	
201	0113	上三毛		1.35	
201	0115	下三毛		1.02	
201	0116	東田中	東原	8.58	
201	0117	金谷		0.70	
201	0119	矢田	心池	0.55	
201	0120	明王寺		1.47	
201	0124	和佐関戸	永谷	1.70	
201	0125	禰宜		0.69	
201	0127	禰宜		1.59	
201	0129	山東中		1.32	
201	0130	山東中		1.01	
201	0131	山東中		0.74	
201	0132	黒岩		0.98	
201	0133	黒岩	葉山	1.32	
201	0134	黒岩		1.06	
201	0135	黒岩		0.30	
201	0136	黒岩		1.06	
201	0137	黒岩	友渕	1.88	
201	0138	黒岩		1.16	
201	0140	黒谷		1.75	
201	0141	黒谷		0.39	
201	0145	岩橋		1.19	
201	0146	岩橋		0.59	
201	0147	岩橋		1.41	
201	0148	栗栖		2.38	
201	0149	栗栖		0.44	
201	0150	鳴神		1.84	
201	0151	鳴神		1.19	
201	0152	鳴神		2.98	
201	0153	鳴神		2.43	
201	0156	神前		4.91	
201	0158	吉原		0.92	
201	0159	坂田		0.61	
201	0161	吉原		1.46	
201	0162	吉原		3.27	

地区番号		大字	字	面積(ha)	備考
201	0163	吉原		1.71	
201	0164	広原		5.07	
201	0165	広原		5.88	
201	0167	冬野		3.35	
201	0168	冬野	南山	0.84	
201	0169	冬野		0.89	
201	0171	冬野		0.62	
201	0172	本渡	宮の前	1.84	
201	0173	仁井辺		1.16	
201	0175	井戸		4.24	
201	0176	相坂		0.35	
201	0178	相坂		1.15	
201	0181	境原		1.02	
201	0184	紀三井寺		26.09	
201	0185	三葛		0.92	
201	0186	打越町		2.66	
201	0188	秋葉町		2.31	
201	0189	秋葉町		1.59	
201	0190	秋葉町		3.81	
201	0191	塩屋	焼山	5.28	
201	0192	塩屋		1.73	
201	0193	和歌浦東		2.58	
201	0194	関戸	焼山	2.01	
201	0195	和歌浦西		6.74	
201	0196	関戸		4.99	
201	0197	新和歌浦		4.70	
201	0198	西浜		9.39	
201	0199	新和歌浦		8.40	
201	0200	西浜		7.42	
201	0201	田野		2.37	
201	0202	西浜		7.29	
201	0203	雑賀崎		2.40	
201	0204	雑賀崎		3.72	
201	0205	雑賀崎		1.32	
201	0207	毛見		19.47	
201	0208	毛見	大宮	2.05	
201	0209	毛見		24.18	
201	0210	毛見		2.08	

地区番号		大字	字	面積(ha)	備考
201	0211	西庄		1.05	
201	0212	梅原		0.54	
201	1001	直川		1.59	
201	1002	弘西		0.40	
201	5001	山東中		0.17	
201	5002	奥須佐		0.25	
201	5003	和歌浦中		0.23	
201	5004	岩橋		0.31	
201	5005	鳴神		0.25	
201	5006	塩屋		0.59	
201	5007	和歌浦東		0.73	
201	5008	三葛		0.65	
201	5009	内原		0.36	
201	5010	内原		0.89	
201	5011	内原		0.09	
201	5012	冬野		0.39	
201	5013	冬野		0.17	
201	5014	黒岩		0.37	
201	5015	黒岩		0.08	
201	5016	田野		0.18	
201	5017	和歌浦中		0.39	
201	5018	和歌浦中		0.27	
201	5019	三葛		0.17	
201	5020	頭陀寺		0.24	
201	5021	南畑		0.15	
201	5022	黒岩		0.31	
201	5023	三葛		0.10	
201	5024	奥須佐		0.18	
201	5025	奥須佐		0.25	
201	5026	相坂		0.07	
201	5027	永山		0.14	
201	5028	永山		0.07	
201	5029	永山		0.14	
201	5030	永山		0.08	
201	5031	永山		0.09	
201	5032	永山		0.11	
201	5033	永山		0.23	
201	5034	平尾		0.05	

地区番号		大字	字	面積(ha)	備考
201	5035	永山		0.12	
201	5036	井辺		0.09	
201	5037	井辺		0.41	
201	5038	寺内		0.04	
201	5039	塩ノ谷		0.12	
201	5040	塩ノ谷		0.12	
201	5041	明王寺		0.11	
201	5042	塩ノ谷		0.05	
201	5043	井辺		0.10	
201	5044	禰宜		0.22	
201	5045	鳴神		0.11	
201	5046	大河内		0.07	
201	5047	大河内		0.05	
201	5048	大河内		0.14	
201	5049	吉礼		0.07	
201	5050	吉礼		0.10	
201	5051	坂田		0.19	
201	5052	坂田		0.42	
201	5053	寺内		0.11	
201	5055	西		0.10	
201	5056	西		0.13	
201	5057	深山		1.85	
201	5058	西庄		1.27	
201	5059	園部		0.23	
201	5060	木ノ本		3.20	
201	5061	加太		0.89	
201	5062	西庄		0.47	
201	5063	六十谷		1.15	
201	5065	中		0.57	
201	5066	加太		0.21	
201	5067	加太		0.83	
201	5068	加太		1.35	
201	5069	磯の浦		0.36	
201	5070	木ノ本		0.31	
201	5071	梅原		1.44	
201	5072	中		0.82	
201	5073	梅原		0.39	
201	5074	栄谷		0.21	

地区番号		大字	字	面積(ha)	備考
201	5075	栄谷		0.36	
201	5076	栄谷		0.16	
201	5077	園部		0.09	
201	5078	園部		0.40	
201	5079	園部		0.43	
201	5080	園部		0.67	
201	5081	六十谷		0.43	
201	5082	六十谷		0.55	
201	5083	直川		1.23	
201	5084	六十谷		0.50	
201	5085	六十谷		0.28	
201	5086	直川		0.34	
201	5087	大谷		0.13	
201	5088	大谷		0.04	
201	5089	大谷		0.04	
201	5090	善明寺		0.07	
201	5091	園部		0.07	
201	5092	弘西		0.24	
201	5093	加太		0.52	
201	7512	鳴神		0.97	
201	7514	毛見		1.20	
201	7515	冬野		0.73	
201	7516	吉礼		0.73	
201	7517	弘西		1.03	
201	7519	弘西		1.21	
計	248 箇所		計	416.21	ha

山腹崩壊危険地区　　［近畿中国森林管理局／１か所］

県箇所番号	大字／字	国有林名	面積(ha)
201- 10	滝　　畑	小　野　山	4.00

崩壊土砂流出危険地区　［近畿中国森林管理局／４か所］

県箇所番号	大字／字	国有林名	面積(ha)
201-0010	落　　合	紀泉高原	8.25
201-0020	直　　川	紀泉高原	1.88
201-0030	直　　川	紀泉高原	0.18
201-0040	直　　川	紀泉高原	0.60

崩壊土砂流出危険地区　　［県森林整備課／177か所］

地区番号		大字	字	面積(ha)	備考
201	0025	大川		4.04	
201	0023	大川		109.40	
201	0050	平井		17.70	
201	0044	園部		57.56	
201	5029	園部		32.96	
201	5012	直川		60.31	
201	5008	弘西		26.86	
201	5006	落合		28.93	
201	0028	滝畑	滝谷	18.39	
201	0029	滝畑		5.45	
201	0031	滝畑		26.59	
201	0033	北	別所	3.12	
201	5016	北野		36.23	
201	5017	弘西		25.44	
201	0059	上三毛		5.37	
201	0063	東田中		19.24	
201	0065	金谷	庄ノ森	30.24	
201	0067	金谷		23.87	
201	0070	金谷		40.93	
201	5045	和佐関戸		12.40	
201	0080	和佐関戸		4.85	
201	0079	和佐関戸		10.49	
201	0076	井ノ口		4.47	
201	0075	禰宜		15.60	
201	0074	明王寺		10.50	
201	0073	明王寺		9.72	
201	0090	黒岩		8.41	
201	0093	黒岩		6.56	
201	0001	加太		2.18	
201	0002	加太		2.81	
201	0003	加太		6.33	
201	0005	加太		4.04	
201	0006	加太		3.87	
201	0007	加太	大谷	5.08	
201	0009	加太		5.42	
201	0011	日野		2.80	
201	0012	日野		3.18	

地区番号		大　字	字	面積(ha)	備　考
201	0013	日野		3.53	
201	0014	日野		3.69	
201	0015	日野		1.19	
201	0016	磯の浦		3.99	
201	0017	加太		3.07	
201	0018	加太		2.34	
201	0019	加太		20.29	
201	0020	加太		1.26	
201	0021	加太		20.36	
201	0022	加太		7.54	
201	0024	大川		11.94	
201	0026	大川		4.04	
201	0027	大川		1.57	
201	0030	滝畑		67.02	
201	0032	上黒谷		39.70	
201	0034	北	別所	4.77	
201	0035	弘西		4.18	
201	0036	府中		6.75	
201	0037	直川		2.58	
201	0038	直川		3.92	
201	0039	直川		4.67	
201	0040	直川		12.09	
201	0041	直川		9.07	
201	0042	六十谷		3.56	
201	0043	園部	浅木谷	1.48	
201	0045	園部		7.14	
201	0046	大谷		33.51	
201	0047	大谷		1.15	
201	0048	大谷		4.10	
201	0049	平井		2.09	
201	0051	平井		76.29	
201	0052	平井		3.48	
201	0055	梅原		2.42	
201	0058	上三毛		15.75	
201	0061	上三毛		30.59	
201	0062	東田中		25.96	
201	0064	金谷	庄ノ森	7.04	
201	0066	金谷		7.10	

地区番号		大　字	字	面積(ha)	備　考
201	0068	金谷		40.27	
201	0069	金谷		23.07	
201	0071	矢田		7.35	
201	0072	明王寺		5.41	
201	0077	禰宜		14.77	
201	0078	和佐関戸		2.87	
201	0081	永山		3.14	
201	0082	永山		11.63	
201	0083	山東中		8.02	
201	0084	山東中		8.83	
201	0085	黒岩		6.91	
201	0086	黒岩		5.33	
201	0087	黒岩	葉山	27.27	
201	0088	黒岩	葉山	5.73	
201	0089	黒岩		9.12	
201	0091	黒岩		7.54	
201	0092	黒岩		2.14	
201	0094	鳴神		8.05	
201	0095	鳴神		11.23	
201	0096	鳴神		2.30	
201	0097	鳴神		2.50	
201	0098	鳴神		1.94	
201	0099	鳴神		4.06	
201	0100	井辺		2.06	
201	0101	井辺		3.44	
201	0102	井辺		9.07	
201	0103	栗栖		2.29	
201	0104	栗栖		2.32	
201	0106	井戸		2.59	
201	0107	冬野		5.33	
201	0108	冬野		4.33	
201	0109	内原		3.13	
201	0110	内原		2.93	
201	0111	内原		5.40	
201	0112	紀三井寺		10.11	
201	0113	三葛		8.76	
201	0115	吉原		7.15	
201	0116	吉原		12.74	

地区番号		大　字	字	面積(ha)	備　考
201	0117	吉原		9.90	
201	1001	岩橋		4.14	
201	5001	深山		9.54	
201	5002	加太		6.28	
201	5004	日野		8.99	
201	5005	日野		13.56	
201	5009	弘西		13.00	
201	5010	弘西		7.49	
201	5011	弘西		32.46	
201	5014	上黒谷		8.59	
201	5015	谷		16.27	
201	5018	弘西		3.62	
201	5020	府中		15.04	
201	5024	直川		9.94	
201	5026	府中		1.59	
201	5027	直川		37.89	
201	5028	園部		21.16	
201	5030	平井		21.25	
201	5032	園部		9.46	
201	5033	園部		23.46	
201	5035	北	別所	58.32	
201	5037	磯の浦		6.05	
201	5038	西庄		9.89	
201	5039	落合		16.28	
201	5041	井辺		8.41	
201	5042	岩橋		3.02	
201	5043	岩橋		8.48	
201	5044	下和佐		5.12	
201	5046	金谷		4.86	
201	5048	下和佐		8.50	
201	5049	和佐中		3.87	
201	5051	内原		4.58	
201	5052	朝日		7.93	
201	5053	薬勝寺		4.82	
201	5055	頭陀寺		31.22	
201	5058	加太		0.91	
201	5059	加太		2.58	
201	5060	加太		1.32	

地区番号		大　字	字	面積(ha)	備　考
201	5061	加太		2.58	
201	5063	加太		1.10	
201	5066	深山		3.15	
201	5067	深山		7.46	
201	5072	日野		3.00	
201	5075	深山		10.96	
201	5076	深山		7.51	
201	5079	深山		8.76	
201	5080	深山		11.54	
201	5081	深山		19.37	
201	5082	深山		5.69	
201	5083	深山		8.66	
201	5084	永山		2.20	
201	5086	永山		1.44	
201	5087	矢田		16.73	
201	5089	平尾		6.29	
201	5091	平尾		3.18	
201	5092	吉礼		1.43	
201	5093	吉礼		5.08	
201	5094	平尾		4.01	
201	5095	平尾		2.12	
201	5096	平尾		3.52	
201	5097	平尾		10.21	
201	5098	和佐中		5.08	
201	5099	栗栖		0.87	
201	5101	木ノ本		7.14	
計	177か所		計	2072.56	ha

1-2

砂防指定地一覧表

〔県砂防課／25か所〕

番号	支流名・渓流名等	大字	字	面積（ha）
1	千手川	口畑	博浦谷	1.05
2	土入川支打手川	平井	西谷、古池	0.72
3	鳴滝川	園部		2.20
4	千手川		奥畑	1.65
5	鳴滝川	園部		1.65
6	七瀬川	上野	鏡山、八本松、西奥垣内	1.81
7	打手川	平井	古池	1.19
8	高川		砂山西原、道ノ瀬	2.40
9	大年川	中野、中	道意、篭池	7.17
10	浜代川	木本	東上田、仁王垣内	1.96
11	清水川	大川		1.55
12	千手川	口畑		4.72
13	千手川	直川	伝浦谷、伝浦、千手、開き、中川原、龍ノ尻	4.55
14	大谷川	加太	大谷	1.03
15	高川	府中	日請、馬淵（国有林有り）	2.30
16	松ノ谷川	府中	平野、日請	0.30
17	大谷川	加太	大谷	4.85
18	高川及び右支川、松ノ谷川	府中	梅ノ木原、赤坂、平野	1.78
19	東登谷川	直川	大久畑	0.27
20	不老谷川	加太	笠松原	3.23
21	西浜谷川	西浜	大浦ノ坪、大浦西山	0.13
22	西浜谷川右支渓	西浜	大浦ノ坪	0.03
23	阿弥陀寺谷	加太	堤、水神	0.18
24	猿坂谷	西庄	岩ノ谷	0.72
25	鳴神大谷	鳴神	栗坪、大谷	0.76

1-3

急傾斜地崩壊危険区域一覧表

〔県砂防課／131か所〕

番号	区域名	大字	字１	字２	字３		区域面積 (㎡)
1	左近谷	本渡					900
2	泊り谷	加太	泊り谷	小浦谷			2,300
3	名草山	紀三井寺	北垣内	名草山			1,700
4	雑賀崎(1)	雑賀崎	州崎	泊り上	北浦		2,000
5	雑賀崎(2)	雑賀崎	南浦				10,000
6	本渡	本渡	左近谷				6,000
7	岩橋西村	岩橋	西村				5,400
8	出島の坪	和歌浦	出島の坪				12,700
9	雑賀崎東山	雑賀崎	東山				7,100
10	泊り谷(2)	加太	泊り谷				3,600
11	木ノ本	木ノ本	釜山	谷河橋	井山	片山	22,203
12	北浦	雑賀崎	北浦				7,000
13	権現前	和歌浦	権現前				16,000
14	左近谷	本渡	左近谷				600
15	毛見	毛見	堂免	大岩			8,000
16	向の丁	加太	向の丁	泊り谷	水神		6,400
17	口須佐	口須佐					3,800
18	新出	新出					2,800
19	向ノ丁(2)	加太	向ノ丁	水神			30,500
20	雑賀崎（中ノ丁）	雑賀崎	南浦内				5,100
21	水神	加太	堤	水神			14,800
22	東高松	東高松	悟				3,300
23	左近谷	本渡	左近谷				900
24	本渡(2)	本渡					4,000
25	本渡(3)	本渡					5,900
26	岩橋（花山）	岩橋	花山	西村			11,400
27	広田	冬野	広田	砂山			5,000
28	紀三井寺	紀三井寺	中垣内	八幡谷			1,700
29	加太浦谷	加太	新出	小浦谷			14,000
30	雑賀崎西ノ丁	雑賀崎	西ノ丁				8,200
31	塩屋	塩屋	村ノ内				14,000
32	関戸	関戸	村内坪				9,600
33	打越	宇須	打越町				10,000
34	善明寺	善明寺	東畑				2,600
35	園部	園部	柳谷				24,800
36	加太（山田）	加太	山田	山田東の原			5,200
37	泊り谷(3)	加太	新出	泊り谷西原			3,700
38	加太（仲の町）	加太	出口	笹松原	八幡山		12,300
39	北浦(1)	雑賀崎	北浦内				900

番号	区域名	大字	字１	字２	字３		区域面積 (㎡)
40	岩橋(2)	岩橋	西村				6,200
41	寺内	寺内	寺下				4,500
42	和田	和田	垣内	前山			13,000
43	三田	坂田	仏堂原				3,100
44	広田(1)	冬野	砂山				3,400
45	本渡(4)	本渡	岩崎	唐崎山			5,200
46	本渡(5)	本渡	岩崎	盤城山			3,000
47	吉礼(1)	吉礼	稲葉枝				5,000
48	吉礼(2)	吉礼	稲葉枝				3,000
49	口須佐(1)	口須佐	森山				600
50	大川	大川	村坪	向ノ山			2,800
51	加太（山田）	加太	山田東ノ原	山田			15,000
52	口須佐	口須佐	森山				2,700
53	江南	江南	木下	東山			9,100
54	境原	境原	垣内	北山			13,100
55	和歌浦中１	和歌浦	和田ノ坪	和中			8,700
56	和歌浦中１(2)	和歌浦中	中				1,200
57	塩屋(2)	塩屋	塩屋三丁目				6,400
58	田の浦	田野	あぜ浦	西山			3,700
59	雑賀崎（東ノ丁）	東ノ丁	東				11,400
60	琴ノ浦	琴の浦	馬瀬	琴ノ浦			5,400
61	琴ノ浦(2)	毛見	馬瀬				12,000
62	大川	大川	村坪	上ノ谷			15,900
63	加太（山田）	加太	山田	山田東ノ原			12,100
64	田の浦(2)	田野	あぜ浦				4,400
65	和歌浦(1)	和歌浦					6,400
66	和歌浦(3)	和歌浦中三丁目					4,100
67	和歌浦中(3)	和歌浦中三丁目					2,800
68	関戸(1)	関戸二丁目					11,600
69	広原	広原	沖	本行山			6,700
70	和田	和田	前山				9,000
71	森小手穂	森小手穂	小手穂				9,800
72	木枕	木枕	中垣内	殿山	脇ノ谷		9,700
73	奥須佐	奥須佐	王子				10,300
74	吉里	吉里	赤阪				8,300
75	平尾	平尾	馬ノ背				5,300
76	和田	和田	前山				6,200
77	田ノ浦	田野	あぜ浦	兵庫谷	西山		2,400
78	深山	深山	寺谷	阿振			5,800
79	平尾	平尾	王子之脇	須松			13,200
80	南畑	南畑	毛地ノ谷	杉岡			11,100
81	塩の谷	塩の谷	トンベ				6,000
82	永山	永山	北谷	北山			5,400

番号	区域名	大字	字１	字２	字３		区域面積 (㎡)
83	広原	広原	前田	高山			5,000
84	永山	永山	樫木山	新田			14,500
85	雑賀崎	雑賀崎	永尾西原				1,600
86	永山(2)	永山	新田	樫木			4,600
87	永山(3)	永山	小骨				800
88	雑賀崎(1)	雑賀崎	東				24,700
89	雑賀崎(2)	雑賀崎	北浦				2,000
90	雑賀崎(3)	雑賀崎	北浦				4,500
91	雑賀崎(5)	雑賀崎	南浦				1,200
92	新道	雑賀崎	泊り上				5,200
93	雑賀崎(3-1)	雑賀崎	東				1,400
94	園部(1)	園部	奥垣内				1,800
95	大谷(1)	大谷	池ノ内	池ノ谷			18,500
96	吉原	吉原	南小山	北原	仁阪		16,700
97	大谷	大谷	池ノ内	東分			5,300
98	毛見	毛見	女夫岩				15,000
99	相坂	相坂	西山	谷口			18,000
100	三葛	三葛	池脇	中尾	大南方		17,500
101	和歌浦中	和歌浦中一丁目					2,400
102	毛見	内原	西山				7,200
103	鳴神	鳴神	栗坪	大谷			7,200
104	本渡	本渡	蔵田	東山			16,000
105	塩屋六丁目	塩屋六丁目					7,200
106	明王寺	明王寺	小谷	奥ノ谷	大門脇		7,200
107	大谷東谷	大谷	東谷	池ノ内			7,900
108	田野	田野	北山				2,800
109	大浦	西浜	大浦西山	大浦ノ坪			5,600
110	鳴神川蟬谷	鳴神	栗坪	川蝉谷	坂戸		15,900
111	三葛	三葛	北山				2,200
112	井辺	井辺	山貫				8,005
113	八幡山	加太	八幡				9,035
114	滝畑	滝畑	垣内	小林			36,808
115	黒岩	黒岩	尾鼻	振リノ谷	柳谷		30,135
116	西浜	西浜	大浦西山	大浦ノ坪			16,078
117							
118	内原	内原	南山				9,976
119	和歌浦中(3)	和歌浦中三丁目					4,062
120	内原	内原	南山				3,286
121	加太（仲の町）	加太	出口	八幡			22,202
122	東高松４丁目	東高松四丁目・秋葉町					1,511
123	和歌浦中	和歌浦中一丁目					2,800
124	府中	府中・直川					13,354

番号	区域名	大字	字１	字２	字３		区域面積 (㎡)
125	栄谷２	栄谷	楠ノ木	城谷	宮ノ前		12,178
126	栄谷	栄谷	西谷	城谷	菴ノ前		5,774
127	園部 18	園部	奥ノ垣内				4,770
128	西庄 4	西庄	土井	不動寺原			4,015
129	六十谷	六十谷	笹谷				2,355
130	寺内 2(1)	寺内	堂脇				2,401
131	寺内 2(2)	寺内	堂脇				4,486

1-4

地すべり防止区域一覧表

（砂防課/１か所）

区域名	位置（大字）	指定面積計(ha)
善明寺	善明寺	7.33

1-5

土砂災害（特別）警戒区域指定一覧

（1）土石流

番号	渓流番号	字	面積（㎡）		戸数（戸）		流域面積 (k ㎡)	指定日
			区域	内　特別警戒区域	区域	内　特別警戒区域		
1	1-201-1-001	西庄	11,121	98	0	0	0.04	H30.3.13
2	1-201-1-002-1	西庄	13,841	350	0	0	0.01	H30.3.13
3	1-201-1-002-2	西庄	8,937	58	0	0	0.05	H30.3.13
4	1-201-1-002-3	西庄	10,834	77	0	0	0.02	H30.3.13
5	1-201-1-005	中	23,361	90	54	0	0.01	H28.11.22
6	3-201-2-901	ふじと台	66,846	77	1	0	0.01	R3.4.13
7	3-201-2-902	ふじと台・中	23,064	135	1	0	0.01	R3.4.13
8	3-201-2-903	中	10,565	137	4	0	0.03	R3.4.13
9	1-201-1-006	栄谷	33,524	113	166	0	0.02	H28.11.22
10	1-201-1-007	栄谷	32,161	190	87	0	0.01	H28.11.22
11	1-201-1-010	大谷	23,399	41	53	0	0.01	H29.1.24
12	1-201-1-011	園部	11,388	－	2	－	0.02	H29.10.10
13	1-201-1-015	園部	13,412	94	46	0	0.01	H29.10.10
14	1-201-1-016	園部	61,005	162	110	1	0.01	H29.10.10
15	1-201-1-019	園部	20,164	51	20	0	0.01	H29.10.10
16	1-201-1-020	園部	57,275	－	97	－	0.01	H29.10.10
17	1-201-1-021	園部	12,638	3,852	24	0	0.17	H29.10.10
18	1-201-1-022	六十谷	57,061	44	170	1	0.01	H29.10.10
19	1-201-1-023	六十谷	38,157	64	152	0	0.01	H29.10.10
20	1-201-1-024	六十谷	7,367	105	27	0	0.03	H29.10.10
21	1-201-1-026	六十谷	10,626	108	33	0	0.01	H29.10.10
22	1-201-1-027	直川	15,661	6,563	5	0	0.31	H28.9.27
23	1-201-1-028	直川	1,941	444	1	1	0.14	H28.9.27
24	1-201-1-029	直川	31,242	1,827	1	0	0.16	H28.9.27
25	1-201-1-030	直川	63,797	163	67	0	0.03	H28.9.27
26	1-201-1-031	直川	88,432	288	71	0	0.01	H28.9.27
27	1-201-1-032	直川	114,050	193	129	0	0.02	H28.9.27
28	1-201-1-034	府中・直川	124,288	－	152	－	0.04	H29.9.19
29	1-201-1-035-1	府中	94,410	285	121	0	0.02	H29.9.19
30	1-201-1-035-2	府中	103,987	31	135	0	0.02	H29.9.19
31	1-201-1-036	北別所	14,205	129	7	0	0.03	H29.3.21
32	1-201-1-037	上黒谷	76,679	3,032	11	0	0.05	H29.3.21
33	1-201-1-038	上三毛	50,870	45	4	0	0.06	H29.10.10
34	1-201-1-039	上三毛	100,520	177	25	0	0.03	H29.10.10
35	1-201-1-040	上三毛	73,293	122	59	0	0.02	H29.10.10
36	1-201-1-041	上三毛	93,003	510	68	0	0.04	H29.10.10
37	1-201-1-042	上三毛	52,199	209	47	0	0.04	H29.10.10
38	1-201-1-043	下三毛	92,588	194	225	0	0.02	H29.10.10
39	1-201-1-044-1	下三毛	78,561	171	214	0	0.13	H29.10.10
40	1-201-1-044-2	下三毛	203,103	309	309	0	0.11	H29.10.10
41	1-201-1-045	東田中	72,622	71	107	0	0.24	H29.10.10

番号	渓流番号	字	面積（㎡）		戸数（戸）		流域面積	指定日
			区域	内　特別警戒区域	区域	内　特別警戒区域	（k ㎡）	
42	1-201-1-046	金谷	97,163	523	22	0	0.1	H29.10.10
43	1-201-1-047	金谷	32,862	355	0	0	0.06	H29.10.10
44	1-201-1-048-1	金谷	73,933	1030	2	0	0.17	H29.10.10
45	1-201-1-048-2	金谷	70,285	290	3	0	0.16	H29.10.10
46	1-201-1-049	布施屋	21,643	113	3	0	0.01	H29.9.19
47	1-201-1-050	布施屋	17,712	158	3	0	0.01	H29.9.19
48	1-201-1-051	和佐関戸	38,928	53	28	0	0.05	H29.9.19
49	1-201-1-052	井ノ口	63,134	43	15	0	0.07	H29.9.19
50	1-201-1-053	禰宜	58,238	946	21	0	0.13	H29.9.19
51	1-201-1-054	禰宜	63,044	111	17	0	0.04	H29.9.19
52	1-201-1-055	下和佐	49,751	398	8	0	0.06	H29.9.19
53	1-201-1-056-1	岩橋	81,934	491	45	0	0.01	H29.7.4
54	1-201-1-056-2	岩橋	58,386	189	17	0	0.03	H29.7.4
55	1-201-1-057	岩橋	92,416	218	72	0	0.02	H29.7.4
56	1-201-1-058	岩橋	46,163	109	72	0	0.03	H29.7.4
57	1-201-1-059	岩橋	44,510	211	47	0	0.03	H29.7.4
58	1-201-1-060	岩橋	81,838	29	118	0	0.05	H29.7.4
59	1-201-1-063	鳴神	52,173	31	233	0	0.01	H29.3.21
60	1-201-1-064	鳴神	76,236	767	258	0	0.01	H29.3.21
61	1-201-1-065	鳴神	76,855	57	302	0	0.03	H29.3.21
62	1-201-1-066	井辺	45,312	－	99	－	0.02	H27.4.24
63	1-201-1-067	井辺	35,553	36	199	0	0.02	H27.4.24
64	1-201-1-068	神前	15,898	26	32	0	0.01	H27.4.24
65	1-201-1-069	神前	26,476	219	24	0	0.01	H27.4.24
66	1-201-1-070	西	33,469	23	44	0	0.01	H27.4.24
67	1-201-1-071	西	19,011	55	9	0	0.01	H27.4.24
68	1-201-1-072	明王寺	13,627	26	3	0	0.01	H24.8.7
69	1-201-1-073	明王寺	23,946	0	6	0	0.01	H24.8.7
70	1-201-1-074	明王寺	30,811	8	7	0	0.01	H24.8.7
71	1-201-1-075-1	明王寺	31,662	144	11	0	0.01	H24.8.7
72	1-201-1-075-2	明王寺	31,543	157	11	0	0.08	H24.8.7
73	1-201-1-076-1	明王寺	52,235	180	16	0	0.02	H24.8.7
74	1-201-1-076-2	明王寺	46,620	111	14	0	0.05	H24.8.7
75	1-201-1-077	明王寺	53,828	155	17	0	0.02	H24.8.7
76	1-201-1-078	明王寺	46,616	209	15	0	0.09	H24.8.7
77	1-201-1-079	明王寺・矢田	35,335	128	14	0	0.05	H24.8.7
78	1-201-1-080	矢田	26,286	0	11	0	0.04	H24.8.7
79	1-201-1-081	木枕	12,510	168	7	0	0.01	H24.8.7
80	1-201-1-082	永山	18,195	0	2	0	0.01	H24.8.7
81	1-201-1-083	黒岩	18,918	0	7	0	0.004	H24.8.7
82	1-201-1-084	黒岩	12,907	0	8	0	0.008	H24.8.7
83	1-201-1-085	黒岩	13,003	65	7	0	0.023	H24.8.7
84	1-201-1-086	黒岩	30,133	2,257	9	2	0.054	H24.8.7
85	1-201-1-087	黒岩	18,663	0	10	0	0.035	H24.8.7
86	1-201-1-088	頭陀寺	21,627	61	7	0	0.014	H24.8.7
87	1-201-1-089	黒谷	70,060	0	9	0	0.013	H24.8.7
88	1-201-1-090	境原	77,222	0	38	0	0.020	H24.8.7

番号	渓流番号	字	面積（㎡）		戸数（戸）		流域面積	指定日
			区域	内　特別警戒区域	区域	内　特別警戒区域	（k ㎡）	
89	1-201-1-091	井戸	37,223	0	22	0	0.01	H24.8.7
90	1-201-1-092	冬野	18,673	0	14	0	0.01	H24.8.7
91	1-201-1-093	冬野	64,751	0	40	0	0.05	H24.8.7
92	1-201-1-094	冬野	34,501	108	28	0	0.01	H24.8.7
93	1-201-1-095	冬野	35,405	0	27	0	0.01	H24.8.7
94	1-201-1-096	広原	28,151	34	46	0	0.01	H24.8.7
95	1-201-1-097	吉原	58,146	10	43	0	0.01	H24.8.7
96	1-201-1-098	吉原	6,992	9	6	0	0.01	H24.8.7
97	1-201-1-099	三葛	33,051	8	46	0	0	H26.4.30
98	1-201-1-100	三葛	44,557	－	76	－	0	H26.4.30
99	1-201-1-101	三葛	35,445	7	77	0	0	H26.4.30
100	1-201-1-102	三葛	29,023	54	57	0	0	H26.4.30
101	1-201-1-103	三葛	19,198	90	38	0	0	H26.4.30
102	1-201-1-104	三葛	34,490	166	61	0	0	H26.4.30
103	1-201-1-105	紀三井寺	44,909	－	84	－	0	H26.4.30
104	1-201-1-106	紀三井寺	23,277	－	81	－	0	H26.4.30
105	1-201-1-107	紀三井寺	29,537	－	78	－	0	H26.4.30
106	1-201-1-108	冬野	15,389	0	34	0	0.02	H24.8.7
107	1-201-1-109	冬野	16,168	0	37	0	0.02	H24.8.7
108	1-201-1-110	本渡	25,630	0	56	0	0.03	H24.8.7
109	1-201-1-111	本渡	50,240	0	27	0	0.01	H24.8.7
110	1-201-1-112	本渡	47,515	0	31	0	0.01	H24.8.7
111	1-201-1-113	本渡	30,750	0	22	0	0.01	H24.8.7
112	1-201-1-114	内原・毛見	34,338	－	49	－	0	H26.4.30
113	1-201-1-115	内原・毛見・紀三井寺	87,796	100	246	0	0	H26.4.30
114	1-201-1-116	内原・毛見・紀三井寺	46,379	109	132	0	0	H26.4.30
115	1-201-1-117	内原・毛見・紀三井寺	49,999	－	167	－	0	H26.4.30
116	1-201-1-118	内原・毛見・紀三井寺	47,228	－	145	－	0	H26.4.30
117	1-201-1-119	大川	26,570	348	20	0	0.01	H27.9.4
118	1-201-1-120	深山	15,068	－	8	－	0.02	H27.9.4
119	1-201-1-121	深山	15,645	1,814	2	0	0.11	H27.9.4
120	1-201-1-122	深山	3,159	25	2	0	0.07	H27.9.4
121	1-201-1-123	深山	16,246	3,780	23	4	11	H27.9.4
122	1-201-1-124-1	深山	12,248	9	16	0	0.05	H27.9.4
123	1-201-1-124-2	深山	11,821	144	16	0	0.02	H27.9.4
124	1-201-1-127	加太	34,989	165	96	0	0.01	H27.9.4
125	1-201-1-128	加太	42,710	－	117	－	0.03	H27.9.4
126	1-201-1-129	加太	37,671	83	76	0	0.01	H27.9.4
127	1-201-1-130	加太	51,413	9	151	0	0.05	H27.9.4
128	1-201-1-131	日野	10,035	－	4	－	0.01	H30.3.13
129	1-201-1-132	磯の浦	11,994	81	4	0	0.01	H30.3.13
130	1-201-1-133	加太	12,692	20	46	0	0.02	H27.9.4
131	1-201-1-134	加太	4,139	7	14	0	0.01	H27.9.4
132	1-201-1-135	加太	6,663	167	25	0	0.01	H27.9.4
133	1-201-1-136	秋葉町	10,977	0	33	0	0.01	H24.5.18

番号	渓流番号	字	面積（㎡）		戸数（戸）		流域面積	指定日
			区域	内　特別警戒区域	区域	内　特別警戒区域	（k ㎡）	
134	1-201-1-137	秋葉町	10,771	0	24	0	0.01	H24.5.18
135	1-201-1-138-1	和歌浦中１丁目・和歌浦西１丁目・和歌浦西２丁目・関戸２丁目	20,544	165	61	0	0.01	H24.5.18
136	1-201-1-138-2	和歌浦中１丁目・和歌浦西１丁目・和歌浦西２丁目・関戸２丁目	22,264	20	55	0	0.01	H24.5.18
137	1-201-1-139	関戸３丁目	25,742	0	130	0	0.01	H24.5.18
138	1-201-1-140	関戸３丁目	22,551	0	110	0	0.01	H24.5.18
139	1-201-1-141	西浜	44,891	83	150	0	0.02	H24.5.18
140	1-201-1-142	西浜	36,220	8	85	0	0.02	H24.5.18
141	1-201-1-143	西浜	19,981	28	72	0	0.02	H24.5.18
142	1-201-1-144	西浜	22,042	105	133	0	0.01	H24.5.18
143	1-201-1-145	西浜	18,819	0	142	0	0.02	H24.5.18
144	1-201-1-146	西浜	19,791	137	155	0	0.01	H24.5.18
145	1-201-1-147	西浜	19,116	0	154	0	0.03	H24.5.18
146	1-201-1-148	大川	4,632	23	2	0	0.04	H27.9.4
147	1-201-1-149	加太	2,818	19	11	0	0.01	H27.9.4
148	1-201-1-150	加太	12,226	136	15	0	0.03	H27.9.4
149	1-201-1-151-1	加太	8,159	364	11	0	0.01	H27.9.4
150	1-201-1-151-2	加太	12,066	178	16	0	0.02	H27.9.4
151	1-201-1-151-3	加太	15,410	350	19	0	0.02	H27.9.4
152	1-201-1-152	田野	22,325	0	184	0	0.01	H24.5.18
153	1-201-1-153	新和歌浦	16,115	0	115	0	0.01	H24.5.18
154	1-201-1-154	新和歌浦・和歌浦南１丁目・和歌浦西２丁目	20,301	51	85	0	0.02	H24.5.18
155	1-201-1-155	和歌浦中１丁目・和歌浦西２丁目	26,096	0	10	0	0.01	H24.5.18
156	1-201-1-156	毛見	28,767	43	21	0	0	H26.4.30
157	1-201-1-157	毛見・船尾	32,288	196	38	0	0	H26.4.30
158	1-201-1-158	毛見・船尾	37,508	148	27	0	0	H26.4.30
159	1-201-1-159	加太	9,915	146	1	0	0.02	H27.9.4
160	1-201-1-160	加太	5,069	70	2	0	0.03	H27.9.4
161	1-201-1-161	加太	14,348	9	2	0	0.05	H27.9.4
162	1-201-2-001	本脇	19,364	359	9	0	0.01	H30.3.13
163	1-201-2-002	平井	6,101	92	0	0	0.02	H29.1.24
164	1-201-2-003	平井	10,087	229	1	0	0.02	H29.1.24
165	1-201-2-005	六十谷	92,147	－	95	－	0.01	H29.10.10
166	1-201-2-006	直川	8,057	809	5	1	0.11	H28.9.27
167	1-201-2-007-1	直川	99,908	38	90	0	0.02	H28.9.27
168	1-201-2-007-2	直川	100,309	89	95	0	0.01	H28.9.27
169	1-201-2-008	府中	20,968	41	3	0	0.01	H29.9.19

番号	渓流番号	字	面積（㎡）		戸数（戸）		流域面積	指定日
			区域	内　特別警戒区域	区域	内　特別警戒区域	（k ㎡）	
170	1-201-2-009	北別所	16,890	210	9	0	0.07	H29.3.21
171	1-201-2-010	北別所	14,404	15	2	0	0.01	H29.3.21
172	1-201-2-011	下三毛	62,051	400	32	0	0.02	H29.10.10
173	1-201-2-012	金谷	34,950	119	11	0	0.02	H29.10.10
174	1-201-2-013	金谷	26,998	556	6	0	0.16	H29.10.10
175	1-201-2-014	金谷	40,740	1,367	8	0	0.17	H29.10.10
176	1-201-2-015	金谷	78,342	38	16	0	0.01	H29.10.10
177	1-201-2-016	金谷	43,502	78	11	0	0.08	H29.10.10
178	1-201-2-017	金谷	89,734	137	19	0	0.11	H29.10.10
179	1-201-2-018	金谷	119,741	213	14	0	0.12	H29.10.10
180	1-201-2-019	和佐関戸	15,808	83	11	0	0.02	H29.9.19
181	1-201-2-020	禰宜	88,693	362	23	0	0.13	H29.9.19
182	1-201-2-021	禰宜	59,170	168	36	0	0.02	H29.9.19
183	1-201-2-022	禰宜	85,840	209	55	0	0.02	H29.9.19
184	1-201-2-024	禰宜	44,097	－	5	－	0.02	H29.9.19
185	1-201-2-025	禰宜	25,002	26	1	0	0.01	H29.9.19
186	1-201-2-026	禰宜	70,547	188	4	0	0.05	H29.9.19
187	1-201-2-027	下和佐	22,864	110	6	0	0.01	H29.9.19
188	1-201-2-028	下和佐	28,109	92	4	0	0.05	H29.9.19
189	1-201-2-029	岩橋	83,423	25	80	0	0.04	H29.7.4
190	1-201-2-030	井辺	41,156	19	96	0	0.01	H27.4.24
191	1-201-2-031	神前	29,547	186	43	0	0.02	H27.4.24
192	1-201-2-032	塩ノ谷	25,067	16	4	0	0.01	H24.8.7
193	1-201-2-033-1	塩ノ谷	19,382	350	3	0	0.01	H24.8.7
194	1-201-2-033-2	塩ノ谷	22,509	0	3	0	0.01	H24.8.7
195	1-201-2-034	永山	10,825	8	1	0	0.01	H24.8.7
196	1-201-2-035	永山	14,977	0	2	0	0.01	H24.8.7
197	1-201-2-036	永山	20,169	9	3	0	0.01	H24.8.7
198	1-201-2-037	永山	13,861	159	3	0	0.01	H24.8.7
199	1-201-2-038-1	永山	8,112	136	0	0	0.01	H24.8.7
200	1-201-2-038-2	永山	7,339	0	0	0	0.01	H24.8.7
201	1-201-2-039	大河内	7,499	0	1	0	0.01	H24.8.7
202	1-201-2-040-1	山東中	16,882	0	0	0	0.03	H24.8.7
203	1-201-2-040-2	山東中	12,509	100	0	0	0.01	H24.8.7
204	1-201-2-041	永山	8,819	122	2	0	0.03	H24.8.7
205	1-201-2-042	黒岩	21,027	858	6	0	0.044	H24.8.7
206	1-201-2-043	黒岩	10,321	17	8	0	0.013	H24.8.7
207	1-201-2-044	黒岩	7,857	0	3	0	0.009	H24.8.7
208	1-201-2-045	黒岩	20,327	153	1	0	0.051	H24.8.7
209	1-201-2-046	黒岩	18,424	328	4	0	0.019	H24.8.7
210	1-201-2-047	黒岩	8,321	26	1	0	0.019	H24.8.7
211	1-201-2-048	黒岩	19,494	157	7	0	0.013	H24.8.7
212	1-201-2-049	南畑	11,825	0	7	0	0.008	H24.8.7
213	1-201-2-050	奥須佐	13,269	0	6	0	0.006	H24.8.7
214	1-201-2-051	黒谷	16,794	0	2	0	0.004	H24.8.7
215	1-201-2-052	江南・薬勝寺	46,536	19	4	0	0.03	H24.8.7
216	1-201-2-053	朝日	24,400	103	3	0	0.01	H24.8.7

番号	渓流番号	字	面積（㎡）		戸数（戸）		流域面積	指定日
			区域	内　特別警戒区域	区域	内　特別警戒区域	(k ㎡)	
217	1-201-2-054	吉原	48,872	19	25	0	0.04	H24.8.7
218	1-201-2-055	吉原	20,755	18	6	0	0.01	H24.8.7
219	1-201-2-056	吉原	19,222	0	6	0	0.01	H24.8.7
220	1-201-2-057	内原	35,618	－	48	－	0	H26.4.30
221	1-201-2-058	本渡	34,316	0	8	0	0.02	H24.8.7
222	1-201-2-059	落合	10,012	130	5	0	0.01	H29.3.21
223	1-201-2-060	滝畑	3,556	50	2	0	0.06	H29.3.21
224	1-201-2-061	滝畑	1,502	122	2	0	0.05	H29.3.21
225	1-201-2-062	滝畑	2,411	74	1	0	0.01	H29.3.21
226	1-201-2-063	滝畑	4,045	62	0	0	0.01	H29.3.21
227	1-201-2-064	滝畑	5,162	95	1	0	0.01	H29.3.21
228	1-201-2-065	大川	4,016	142	3	0	0.04	H27.9.4
229	1-201-2-066	大川	28,502	639	9	0	0.1	H27.9.4
230	1-201-2-067	加太	15,418	181	13	0	0.01	H27.9.4
231	1-201-2-068	加太	17,375	71	13	0	0.01	H27.9.4
232	1-201-2-069-1	加太	21,044	96	15	0	0.02	H27.9.4
233	1-201-2-069-2	加太	12,426	100	9	0	0.01	H27.9.4
234	1-201-2-071	加太	22,737	95	3	0	0.01	H27.9.4
235	1-201-2-072	加太	12,792	76	6	0	0.02	H27.9.4
236	1-201-2-073	加太	5,012	55	1	0	0.01	H27.9.4
237	1-201-2-074	加太	30,314	53	92	0	0.01	H27.9.4
238	1-201-2-075	加太	18,518	61	34	0	0.01	H27.9.4
239	1-201-2-076	日野	14,707	－	6	－	0.01	H30.3.13
240	1-201-2-077	日野	12,057	47	4	0	0.03	H30.3.13
241	1-201-2-078	日野	7,082	117	4	0	0.01	H30.3.13
242	1-201-2-079	日野	7,405	117	3	0	0.03	H30.3.13
243	1-201-2-080	日野	8,207	313	4	0	0.04	H30.3.13
244	1-201-2-081	日野	7,380	－	2	－	0.01	H30.3.13
245	1-201-2-083	加太	1,350	199	0	0	0.01	H27.9.4
246	1-201-2-084	加太	7,834	15	4	0	0.01	H27.9.4
247	1-201-2-085	加太	8,265	－	1	－	0.03	H27.9.4
248	1-201-2-086	加太	30,030	636	17	0	0.07	H27.9.4
249	1-201-2-087	加太	17,870	84	17	0	0.01	H27.9.4
250	1-201-2-088	加太	15,812	95	17	0	0.01	H27.9.4
251	1-201-2-089	加太	4,581	54	6	0	0.01	H27.9.4
252	1-201-2-090	加太	10,919	77	7	0	0.01	H27.9.4
253	1-201-2-091-1	加太	23,013	17	6	0	0.04	H27.9.4
254	1-201-2-091-2	加太	21,221	50	3	0	0.04	H27.9.4
255	1-201-2-091-3	加太	17,048	25	4	0	0.03	H27.9.4
256	1-201-2-092	加太	15,314	57	4	0	0.02	H27.9.4
257	1-201-2-093	加太	11,979	－	4	－	0.03	H27.9.4
258	1-201-2-094	加太	4,978	53	4	0	0.01	H27.9.4
259	1-201-2-095	大川	26,386	98	1	0	0.04	H27.9.4
260	1-201-2-096-1	大川	8,912	18	0	0	0.01	H27.9.4
261	1-201-2-096-2	大川	15,704	16	0	0	0.01	H27.9.4
262	1-201-2-097-1	加太	6,155	71	1	0	0.02	H27.9.4
263	1-201-2-097-2	加太	5,557	26	1	0	0.01	H27.9.4

番号	渓流番号	字	面積（㎡）		戸数（戸）		流域面積	指定日
			区域	内　特別警戒区域	区域	内　特別警戒区域	（k ㎡）	
264	1-201-2-098	加太	2,819	26	1	0	0.01	H27.9.4
265	1-201-2-099-1	加太	14,561	60	1	0	0.03	H27.9.4
266	1-201-2-099-2	加太	14,229	48	1	0	0.03	H27.9.4
267	1-201-2-099-3	加太	10,921	75	1	0	0.01	H27.9.4
268	1-201-2-100	磯の浦	7,949	73	2	0	0.03	H30.3.13
269	1-201-2-101	雑賀崎	16,107	14	1	0	0.02	H24.5.18
270	1-201-2-102	新和歌浦	13,103	97	90	0	0.01	H24.5.18
271	1-201-3-001	本脇	8,468	36	5	0	0.02	H30.3.13
272	1-201-3-006	湯屋谷	17,162	52	5	0	0.02	H29.3.21
273	1-201-3-007-1	上三毛	31,582	534	4	0	0.03	H29.10.10
274	1-201-3-007-2	上三毛	35,587	248	3	0	0.03	H29.10.10
275	1-201-3-008	禰宜	76,868	50	25	0	0.09	H29.9.19
276	1-201-3-009	平尾	11,945	52	0	0	0.01	H26.4.30
277	1-201-3-010	明王寺	18,680	256	0	0	0.01	H26.4.30
278	1-201-3-011	矢田	57,715	115	4	0	0.03	H26.4.30
279	1-201-3-012-1	永山	8,677	105	1	0	0.01	H26.4.30
280	1-201-3-012-2	永山	8,567	113	1	0	0.01	H26.4.30
281	1-201-3-013	永山	6,190	68	0	0	0.01	H26.4.30
282	1-201-3-014-1	黒岩	13,448	115	0	0	0.06	H26.4.30
283	1-201-3-014-2	黒岩	11,621	500	0	0	0.01	H26.4.30
284	1-201-3-015	黒岩	8,880	213	0	0	0.01	H26.4.30
285	1-201-3-016	黒岩	24,089	3,846	0	0	0.05	H26.4.30
286	1-201-3-017	滝畑	10,290	954	0	0	0.16	H29.3.21
287	1-201-3-018	深山	6,395	255	0	0	0.04	H27.9.4
288	1-201-3-019	深山	4,430	364	0	0	0.09	H27.9.4
289	1-201-3-020	深山	7,007	958	0	0	0.19	H27.9.4
290	1-201-3-021	深山	3,331	77	0	0	0.06	H27.9.4
291	1-201-3-022	深山	2,422	412	0	0	0.11	H27.9.4
292	1-201-3-023	深山	8,900	438	0	0	0.01	H27.9.4
293	1-201-3-024	深山	2,649	1,420	0	0	0.15	H27.9.4
294	1-201-3-025	深山	7,749	4,351	0	0	0.27	H27.9.4
295	1-201-3-026	深山	12,573	2,535	0	0	0.15	H27.9.4
296	1-201-3-027	深山	7,368	840	0	0	0.16	H27.9.4
297	1-201-3-028	深山	3,325	40	0	0	0	H27.9.4
298	1-201-3-029	深山	6,563	86	0	0	0	H27.9.4
299	1-201-3-030	深山	2,584	86	0	0	0.01	H27.9.4
300	1-201-3-031	深山	3,316	178	0	0	0.01	H27.9.4
301	1-201-3-032	加太	6,229	95	0	0	0.01	H27.9.4
302	1-201-3-033	加太	4,570	67	0	0	0.01	H27.9.4
303	1-201-3-034	加太	7,922	21	0	0	0.04	H27.9.4
304	1-201-3-035	加太	10,108	116	1	0	0.02	H27.9.4
305	1-201-3-036	大川	4,745	271	2	0	0.05	H27.9.4
306	1-201-3-037	大川	3,478	139	0	0	0.02	H27.9.4
307	1-201-3-038	加太	2,013	67	0	0	0.03	H27.9.4
308	1-201-3-039	雑賀崎	19,879	139	1	0	0.01	H24.5.18
309	1-201-3-040	雑賀崎	15,473	17	1	0	0.02	H24.5.18
310	1-201-3-041	毛見	28,117	130	67	0	0	H26.4.30

（２）急傾斜地崩壊

番号	箇所番号	大字	面積（㎡）		戸数（戸）		最大高（m）	指定日
			区域	内　特別警戒区域	区域	内　特別警戒区域		
1	Ⅰ-259	大川	2,643	438	3	0	20	H27.9.4
2	Ⅰ-260	深山	34,502	16,904	27	9	57	H27.9.4
3	Ⅰ-261	加太	9,324	3,127	1	1	26	H27.9.4
4	Ⅰ-262	加太	23,418	8,199	46	24	40	H27.9.4
5	Ⅰ-263	加太	28,201	10,531	79	35	36	H27.9.4
6	Ⅰ-264	加太	42,990	20,243	65	11	52	H27.9.4
7	Ⅰ-265	加太	30,157	11,261	79	6	57	H27.9.4
8	Ⅰ-266	加太	16,270	4,482	27	1	37	H27.9.4
9	Ⅰ-267	加太	46,797	19,586	44	21	38	H27.9.4
10	Ⅰ-268	西庄	20,851	7,475	6	1	35	H30.3.13
11	Ⅰ-269	西庄	20,414	7,087	5	2	31	H30.3.13
12	Ⅰ-270	西庄	29,602	16,153	19	7	64	H30.3.13
13	Ⅰ-271	木ノ本	26,720	7,979	42	12	34	H27.9.4
14	Ⅰ-272	梅原	31,181	13,600	17	3	47	H28.9.27
15	Ⅰ-273	中	35,000	17,484	80	16	69	H28.9.27
16	Ⅰ-274	栄谷・平井	56,351	33,873	55	7	80	H29.1.24
17	Ⅰ-275	大谷	31,992	10,239	26	9	43	H29.1.24
18	Ⅰ-276	大谷	15,426	3,020	25	5	13	H29.1.24
19	Ⅰ-277	善明寺	1,422	373	0	0	12	H29.1.24
20	Ⅰ-278	善明寺	4,653	1,755	0	0	20	H29.1.24
21	Ⅰ-279	善明寺	1,604	530	3	2	12	H29.1.24
22	Ⅰ-280	六十谷	10,186	3,896	14	9	30	H29.10.10
23	Ⅰ-281	黒岩	21,145	8,933	8	6	48	H24.8.7
24	Ⅰ-282	黒岩	13,785	4,789	2	0	38	H24.8.7
25	Ⅰ-284	黒岩	47,692	15,343	21	3	48	H24.8.7
26	Ⅰ-285	口須佐	2,916	228	4	0	9	H24.8.7
27	Ⅰ-286	木枕	2,452	0	6	0	7	H24.8.7
28	Ⅰ-287	永山	4,501	411	4	1	9	H24.8.7
29	Ⅰ-289	永山	1,279	77	1	0	7	H24.8.7
30	Ⅰ-290	山東中	251	43	1	1	5	H24.8.7
31	Ⅰ-291	大河内	5,436	530	5	2	8	H24.8.7
32	Ⅰ-292	南畑	4,499	415	7	1	9	H24.8.7
33	Ⅰ-293	下三毛	1,638	493	2	2	15	H29.10.10
34	Ⅰ-294	明王寺	3,190	164	3	0	8	H24.8.7
35	Ⅰ-295	岩橋	922	－	2	－	6	H29.7.4
36	Ⅰ-297	雑賀崎	3,158	506	2	0	16	H24.5.18
37	Ⅰ-299	塩ノ谷	3,831	481	3	0	8	H24.8.7
38	Ⅰ-300	塩ノ谷	8,595	903	6	2	12	H24.8.7
39	Ⅰ-302	明王寺	1,204	47	1	0	8	H24.8.7
40	Ⅰ-303	明王寺	2,925	711	3	1	10	H24.8.7
41	Ⅰ-305	紀三井寺	21,041	8,279	33	6	66	H26.4.30
42	Ⅰ-311	冬野	7,080	1,870	5	2	11	H24.8.7
43	Ⅰ-312	毛見・冬野・内原・黒江	19,835	10,052	10	3	55	H26.4.30
44	Ⅰ-313	冬野	3,187	1,203	1	1	16	H24.8.7
45	Ⅰ-314	冬野	15,611	6,093	7	2	31	H24.8.7
46	Ⅰ-315	冬野	17,164	6,465	22	5	28	H24.8.7
47	Ⅰ-316	冬野	5,711	920	19	0	16	H24.8.7
48	Ⅰ-317	本渡	11,461	3,309	9	0	33	H24.8.7
49	Ⅰ-318	冬野	28,195	13,739	48	13	48	H24.8.7
50	Ⅰ-319	毛見	64,710	27,423	49	8	62	H26.4.30
51	Ⅰ-320	毛見	4,034	1,444	3	1	63	H26.4.30
52	Ⅰ-321	毛見	24,354	9,097	33	0	60	H26.4.30
53	Ⅰ-322	毛見	76,234	30,608	58	9	58	H26.4.30

番号	箇所番号	大字	面積（㎡）		戸数（戸）		最大高（m）	指定日
			区域	内　特別警戒区域	区域	内　特別警戒区域		
54	Ⅰ-327	朝日	695	0	2	0	5	H24.8.7
55	Ⅰ-329	境原	31,441	12,883	10	1	56	H24.8.7
56	Ⅰ-330	本渡	27,025	11,428	36	5	57	H24.8.7
57	Ⅰ-331	本渡	12,787	5,695	6	1	73	H24.8.7
58	Ⅰ-332	黒谷	21,543	8,422	3	3	36	H24.8.7
59	Ⅰ-333	森小手穂	1,842	144	4	1	7	H27.4.24
60	Ⅰ-334	寺内	4,474	1,310	11	5	14	H27.4.24
61	Ⅰ-335	森小手穂	6,829	763	10	0	14	H27.4.24
62	Ⅰ-336	吉礼	328	0	1	0	5	H24.8.7
63	Ⅰ-337	吉礼	6,646	624	14	2	9	H24.8.7
64	Ⅰ-338	口須佐	5,879	688	7	1	12	H24.8.7
65	Ⅰ-339	平尾	5,862	57	10	0	10	H24.8.7
66	Ⅰ-341	相坂	2,901	191	2	0	6	H24.8.7
67	Ⅰ-342	相坂	2,806	0	3	0	9	H24.8.7
68	Ⅰ-343	奥須佐	1,938	329	2	0	8	H24.8.7
69	Ⅰ-349	打越町	15,536	5,617	53	12	43	H24.5.18
70	Ⅰ-350	東高松２丁目・東高松４丁目・宇須４丁目・打越町	22,984	8,793	67	41	30	H24.5.18
71	Ⅰ-351	秋葉町・東高松４丁目	5,773	1,624	11	3	14	H24.5.18
72	Ⅰ-352	秋葉町	38,955	15,268	104	22	55	H24.5.18
73	Ⅰ-353	和歌浦東１丁目・塩屋３丁目・塩屋６丁目	37,600	13,719	78	16	43	H24.5.18
74	Ⅰ-354	和歌浦東１丁目・和歌浦東２丁目	26,086	10,301	69	29	33	H24.5.18
75	Ⅰ-355	和田	19,271	2,779	33	2	22	H27.2.10
76	Ⅰ-356	坂田	6,073	2,022	18	12	15	H27.2.10
77	Ⅰ-357	吉原	26,979	6,212	33	1	30	H24.8.7
78	Ⅰ-358	三葛	13,240	3,912	26	3	31	H26.4.30
79	Ⅰ-359	広原	13,325	3,603	10	2	16	H24.8.7
80	Ⅰ-360	田尻	6,046	1,545	7	5	13	H27.2.10
81	Ⅰ-361	坂田	6,859	1,129	11	0	18	H27.2.10
82	Ⅰ-362	西	1,730	667	3	0	16	H27.4.24
83	Ⅰ-364	田野	10,388	3,092	3	1	24	H24.5.18
84	Ⅰ-366-1	田野	27,272	10,090	75	20	34	H24.5.18
85	Ⅰ-366-2	田野	5,556	2,440	24	3	33	H24.5.18
86	Ⅰ-367	園部	4,117	286	14	1	12	H29.10.10
87	Ⅰ-369	田野	9,989	3,280	42	4	45	H24.5.18
88	Ⅰ-370	田野・新和歌浦	4,870	1,393	0	0	23	H24.5.18
89	Ⅰ-371	田野	16,136	7,924	34	8	52	H24.5.18
90	Ⅰ-372	新和歌浦	10,355	3,223	10	6	25	H24.5.18
91	Ⅰ-373	新和歌浦	12,742	3,474	10	3	19	H24.5.18
92	Ⅰ-374	和歌浦中３丁目	14,323	3,086	35	2	28	H24.5.18
93	Ⅰ-375	薮ノ丁	2,994	343	5	0	11	H29.10.10
94	Ⅰ-377	井辺	22,474	4,813	137	59	15	H27.4.24
95	Ⅰ-378	滝畑	63,576	28,777	23	3	107	H29.3.21
96	Ⅰ-379	秋葉町	17,614	6,119	66	34	29	H24.5.18
97	Ⅰ-380	和歌浦東１丁目	8,483	3,136	13	7	23	H24.5.18
98	Ⅰ-381	関戸２丁目	15,118	5,992	47	12	54	H24.5.18
99	Ⅰ-382	和歌浦中１丁目・和歌浦西２丁目	10,715	4,098	15	4	27	H24.5.18
100	Ⅰ-383	和歌浦中１丁目	8,544	1,359	45	12	14	H24.5.18
101	Ⅰ-384	和歌浦中２丁目・和歌浦中３丁目	23,457	7,124	75	19	24	H24.5.18

番号	箇所番号	大字	面積（㎡）		戸数（戸）		最大高（m）	指定日
			区域	内　特別警戒区域	区域	内　特別警戒区域		
102	Ⅰ-385	和歌浦中３丁目	15,823	5,347	30	2	26	H24.5.18
103	Ⅰ-386	新和歌浦・和歌浦南１丁目・和歌浦西２丁目	23,391	7,195	91	17	27	H24.5.18
104	Ⅰ-387	新和歌浦	8,578	2,963	36	11	26	H24.5.18
105	Ⅰ-388	関戸５丁目	30,845	12,123	58	17	44	H24.5.18
106	Ⅰ-389	西浜	10,367	3,239	34	9	31	H24.5.18
107	Ⅰ-390	西浜	10,871	3,259	26	3	28	H24.5.18
108	Ⅰ-391	雑賀崎	6,729	2,368	12	0	22	H24.5.18
109	Ⅰ-392	雑賀崎	21,616	5,468	102	33	27	H24.5.18
110	Ⅰ-393	雑賀崎	12,935	2,721	109	28	28	H24.5.18
111	Ⅰ-394	雑賀崎	2,115	690	1	0	17	H24.5.18
112	Ⅰ-395	雑賀崎	3,916	1,228	2	2	14	H24.5.18
113	Ⅰ-396	雑賀崎	1,579	578	1	0	16	H24.5.18
114	Ⅰ-397	雑賀崎	3,477	2,399	2	0	61	H24.5.18
115	Ⅰ-398	木枕	702	170	0	0	9	H24.8.7
116	Ⅰ-399	吉里	8,657	2,924	13	4	25	H24.8.7
117	Ⅰ-400	園部	13,888	2,912	35	0	32	H29.10.10
118	Ⅰ-401	加太	6,201	1,991	11	8	14	H27.9.4
119	Ⅰ-402	雑賀崎	2,721	0	31	0	19	H24.5.18
120	Ⅰ-403	園部	6,586	2,264	13	6	35	H29.10.10
121	Ⅰ-404	新和歌浦	39,839	23,102	10	4	78	H24.5.18
122	Ⅰ-2133	吉原	8,873	3,128	10	5	21	H24.8.7
123	Ⅰ-2134	冬野	6,190	1,955	6	2	12	H24.8.7
124	Ⅰ-2135	吉原	7,018	2,643	2	0	23	H24.8.7
125	Ⅰ-2136	坂田	7,950	2,843	2	1	23	H27.2.10
126	Ⅰ-2141	雑賀崎	6,751	1,569	15	4	17	H24.5.18
127	Ⅰ-2142	中	16,714	6,014	18	1	35	H28.9.27
128	Ⅰ-2143	栄谷	14,553	5,593	68	0	40	H28.11.22
129	Ⅰ-2144	直川	5,876	1,353	13	3	18	H28.9.27
130	Ⅰ-2145	府中･直川	12,587	4,158	32	15	33	H28.9.27
131	Ⅰ-2146	園部	2,513	695	8	7	10	H29.10.10
132	Ⅰ-2147	吉礼	6,827	859	42	4	11	H24.8.7
133	Ⅰ-2150	三葛	11,439	1,978	34	8	19	H26.4.30
134	Ⅰ-2232	冬野	5,091	1,305	9	6	16	H24.8.7
135	Ⅰ-2233	朝日	7,613	2,113	10	2	16	H24.8.7
136	Ⅰ-2235	平尾	3,335	292	7	1	8	H24.8.7
137	Ⅰ-2237	西浜	4,588	524	15	0	19	H24.5.18
138	Ⅰ-2240	日野	25,185	10,884	7	1	44	H30.3.13
139	Ⅰ-2242	相坂	296	0	1	0	5	H24.8.7
140	Ⅰ-2243	永山	8,667	2,239	4	2	23	H24.8.7
141	Ⅰ-2247	善明寺	8,185	2,422	7	1	16	H29.1.24
142	Ⅰ-2248	鳴神	53,307	20,470	100	21	47	H29.3.21
143	Ⅰ-2249	三葛・田尻	17,202	5,612	10	3	32	H26.4.30
144	Ⅰ-2265	口須佐	475	0	2	0	7	H24.8.7
145	Ⅰ-3401	加太	29,745	11,958	67	19	33	H27.9.4
146	Ⅰ-3402	雑賀崎	807	0	5	0	8	H24.5.18
147	Ⅰ-3404	加太	12,664	5,505	19	3	38	H27.9.4
148	Ⅰ-3405	永山	271	41	1	0	5	H24.8.7
149	Ⅰ-3406	深山	9,867	4,980	4	1	50	H27.9.4
150	Ⅰ-3407	磯の浦	15,587	7,644	15	2	43	H30.3.13
151	Ⅰ-3408	本脇	19,460	8,568	10	4	34	H30.3.13
152	Ⅰ-3409	西庄	9,999	4,386	27	7	32	R3.4.13
153	Ⅰ-3410	西庄	12,607	4,850	29	6	32	R3.4.13
154	Ⅰ-3411	木ノ本	10,957	4,053	19	0	17	H27.9.4

番号	箇所番号	大字	面積（㎡）		戸数（戸）		最大高（m）	指定日
			区域	内　特別警戒区域	区域	内　特別警戒区域		
155	Ⅰ-3412	木ノ本	45,778	21,766	57	9	46	H27.9.4
156	Ⅰ-3413	梅原	28,711	14,488	44	37	49	H28.9.27
157	Ⅰ-3414	岩橋・栗栖	4,335	509	8	1	13	H29.7.4
158	Ⅰ-3415	栄谷	35,347	16,913	78	14	61	H28.11.22
159	Ⅰ-3416	栄谷	20,048	10,730	49	10	93	H28.11.22
160	Ⅰ-3417	園部	5,133	1,475	8	2	29	H29.10.10
161	Ⅰ-3418	園部・六十谷	16,412	7,073	42	18	51	H29.10.10
162	Ⅰ-3419	六十谷	7,692	3,463	14	8	56	H29.10.10
163	Ⅰ-3420	六十谷	12,406	4,549	27	6	53	H29.10.10
164	Ⅰ-3421	六十谷	25,726	9,015	77	14	31	H29.10.10
165	Ⅰ-3422	六十谷	16,454	8,127	13	0	42	H29.10.10
166	Ⅰ-3423	直川	27,454	13,002	5	0	59	H29.10.10
167	Ⅰ-3424	直川	1,831	915	1	0	45	H29.10.10
168	Ⅰ-3425	直川	14,868	9,721	13	5	93	H28.9.27
169	Ⅰ-3426	弘西	15,322	5,306	19	4	33	H29.9.19
170	Ⅰ-3427	西浜	2,611	663	5	4	10	H24.5.18
171	Ⅰ-3428	西浜	4,846	576	8	3	8	H24.5.18
172	Ⅰ-3429	雑賀崎	7,977	2,959	32	16	27	H24.5.18
173	Ⅰ-3430	雑賀崎	5,145	1,704	13	4	19	H24.5.18
174	Ⅰ-3431	西浜	31,552	15,887	99	2	48	H24.5.18
175	Ⅰ-3432	境原	5,821	2,021	4	1	19	H24.8.7
176	Ⅰ-3433	新和歌浦	7,703	3,847	31	16	32	H24.5.18
177	Ⅰ-3434	関戸３丁目	15,698	5,359	45	10	27	H24.5.18
178	Ⅰ-3435	秋葉町	13,271	5,697	39	21	35	H24.5.18
179	Ⅰ-3436	塩屋３丁目・秋葉町	19,242	6,268	30	13	32	H24.5.18
180	Ⅰ-3437	和歌浦東１丁目	10,245	3,939	22	2	33	H24.5.18
181	Ⅰ-3438	和歌浦中３丁目	8,198	1,586	31	8	29	H24.5.18
182	Ⅰ-3439	田尻	10,512	3,655	21	8	28	H27.2.10
183	Ⅰ-3440	三葛・紀三井寺	11,038	3,415	26	5	30	H26.4.30
184	Ⅰ-3441	紀三井寺	60,918	26,807	73	9	52	H26.4.30
185	Ⅰ-3442	紀三井寺	20,182	9,510	30	5	60	H26.4.30
186	Ⅰ-3444	坂田	5,441	2,501	10	6	19	H27.2.10
187	Ⅰ-3445	広原	9,958	3,288	9	0	28	H24.8.7
188	Ⅰ-3446	冬野	10,206	3,171	41	9	30	H24.8.7
189	Ⅰ-3448	坂田	6,206	2,536	26	3	26	H27.2.10
190	Ⅰ-3449	岩橋・鳴神	7,664	3,208	15	5	28	H29.7.4
191	Ⅰ-3450	鳴神	9,346	2,237	30	1	31	H29.3.21
192	Ⅰ-3451	南畑	10,125	3,156	7	3	29	H24.8.7
193	Ⅰ-3452	内原・毛見	43,871	17,983	29	2	47	H26.4.30
194	Ⅰ-3453	内原・毛見	22,903	8,837	28	1	41	H26.4.30
195	Ⅰ-3454	毛見・船尾	25,344	9,874	10	0	49	H26.4.30
196	Ⅰ-3581	深山	14,749	9,728	1	0	61	H27.9.4
197	Ⅰ-3582	加太	6,514	2,444	1	1	29	H27.9.4
198	Ⅰ-3584	西庄	15,701	7,110	0	0	44	H30.3.13
199	Ⅰ-3585	中	10,571	4,307	0	0	48	H28.9.27
200	Ⅰ-3586	善明寺	11,968	3,863	4	0	28	H29.10.10
201	Ⅰ-3588	園部	6,717	2,290	8	0	18	H29.10.10
202	Ⅰ-3589	弘西	5,569	2,148	1	0	29	H29.9.19
203	Ⅰ-3590	西庄	21,659	9,552	0	0	47	H30.3.13
204	Ⅰ-3591	木ノ本	1,049	－	3	－	8	H27.9.4
205	Ⅰ-3592	栄谷	3,162	1,027	14	1	17	H28.11.22
206	Ⅰ-3593	大谷	4,658	1,507	9	3	14	H29.1.24
207	Ⅰ-3594	善明寺	17,451	8,157	10	0	32	H29.1.24
208	Ⅰ-3596	園部	896	194	3	0	6	H29.10.10
209	Ⅰ-3597	園部	2,275	728	5	4	10	H29.10.10

番号	箇所番号	大字	面積（㎡）		戸数（戸）		最大高（m）	指定日
			区域	内　特別警戒区域	区域	内　特別警戒区域		
210	Ⅰ-3598	園部	1,980	678	5	2	13	H29.10.10
211	Ⅰ-3599	直川	1,510	－	3	0	8	H28.9.27
212	Ⅰ-3604	宇須４丁目	5,979	1,858	16	6	16	H24.5.18
213	Ⅰ-3606	寺内	6,136	1,353	11	3	12	H27.4.24
214	Ⅰ-3600	和佐関戸	11,341	6,442	3	0	73	H29.9.19
215	Ⅰ-3601	金谷	6,276	1,789	3	0	16	H29.10.10
216	Ⅰ-3603	下三毛	3,534	788	1	0	11	H29.10.10
217	Ⅰ-3607	吉礼	1,703	153	3	0	7	H24.8.7
218	Ⅰ-3608	三葛・田尻	10,421	3,214	23	7	22	H26.4.30
219	Ⅰ-3609	三葛・田尻	21,834	7,652	35	12	52	H26.4.30
220	Ⅰ-3610	雑賀崎	577	0	6	0	8	H24.5.18
221	Ⅰ-3611	関戸４丁目	10,983	3,798	68	11	17	H24.5.18
222	Ⅰ-3612	西浜	2,475	742	7	3	10	H24.5.18
223	Ⅰ-3613	関戸５丁目	8,211	1,741	31	12	21	H24.5.18
224	Ⅰ-3614	関戸３丁目	5,990	2,235	18	8	23	H24.5.18
225	Ⅰ-3615	和歌浦中１丁目・和歌浦西２丁目	10,166	3,489	4	2	27	H24.5.18
226	Ⅰ-3616	冬野	2,991	728	1	0	19	H24.8.7
227	Ⅰ-3617	冬野	3,477	1,010	1	1	14	H24.8.7
228	Ⅰ-3618	相坂	3,935	1,187	9	0	9	H24.8.7
229	Ⅰ-3619	吉礼	13,657	4,185	138	4	25	H24.8.7
230	Ⅰ-3620	吉里・吉礼	3,473	955	16	0	10	H24.8.7
231	Ⅰ-3621	相坂・吉里	3,482	712	33	31	8	H24.8.7
232	Ⅰ-3622	吉里	2,521	649	60	30	11	H24.8.7
233	Ⅰ-3623	和歌浦中３丁目	10,392	3,652	20	9	30	H24.5.18
234	Ⅰ-3624	紀三井寺・内原	18,345	5,871	11	1	30	H26.4.30
235	Ⅰ-3625	冬野	13,981	1,749	31	6	24	H24.8.7
236	Ⅰ-3626	黒岩	18,026	7,365	5	2	44	H24.8.7
237	Ⅰ-3627	毛見・内原	15,237	4,319	31	5	26	H26.4.30
238	Ⅰ-3628	和歌浦東１丁目	12,531	4,660	20	3	29	H24.5.18
239	Ⅰ-3629	毛見・内原	2,049	729	2	0	19	H26.4.30
240	Ⅰ-3631	西庄	6,181	2,439	0	0	21	H30.3.13
241	Ⅰ-3633	六十谷	19,368	8,242	1	1	51	H29.10.10
242	Ⅰ-3634	直川	8,108	4,420	7	0	36	H29.10.10
243	Ⅰ-30001	江南	1,869	465	1	0	14	H24.8.7
244	Ⅰ-30002	相坂	14,622	4,510	1	0	22	H24.8.7
245	Ⅰ-30003	相坂	5,963	1,866	5	1	16	H24.8.7
246	Ⅰ-30004	坂田	7,312	1,574	22	10	16	H27.2.10
247	Ⅰ-30005	西脇	6,903	1,674	1	0	20	H30.3.13
248	Ⅰ-30006	西脇	7,565	2,920	0	0	17	H30.3.13
249	Ⅰ-30007	井辺	4,719	1,233	11	6	17	H27.4.24
250	Ⅰ-30008	西	6,617	397	13	1	12	H27.4.24
251	Ⅰ-30010	加太	9,323	3,152	38	1	20	H27.9.4
252	Ⅰ-30011	中	15,433	3,979	48	0	16	H28.9.27
253	Ⅰ-30012	中･栄谷	33,143	16,369	19	0	53	H28.9.27
254	Ⅰ-30013	梅原	4,413	－	1	0	10	H28.9.27
255	Ⅰ-30014	つつじが丘３丁目・日野	17,860	6,800	5	0	25	H30.3.13
256	Ⅰ-30015	磯の浦	1,121	143	5	1	6	H30.3.13
257	Ⅰ-30016	本脇	7,970	3,095	2	0	17	H30.3.13
258	Ⅰ-30017	木ノ本	9,839	3,542	3	1	24	H27.9.4
259	Ⅰ-30018	木ノ本	3,303	910	5	0	11	H27.9.4
260	Ⅰ-30019	木ノ本	3,889	1,152	1	1	16	H27.9.4
261	Ⅰ-30020	深山	4,079	2,851	1	0	58	H27.9.4
262	Ⅰ-30021	園部	6,357	2,578	8	0	24	H29.10.10

番号	箇所番号	大字	面積（㎡）		戸数（戸）		最大高（m）	指定日
			区域	内　特別警戒区域	区域	内　特別警戒区域		
263	Ⅰ-30022	園部	4,013	1,145	9	4	12	H29.10.10
264	Ⅰ-30023	園部	1,592	647	0	0	14	H29.10.10
265	Ⅰ-30024	園部	9,468	3,256	13	4	15	H29.10.10
266	Ⅰ-30025	園部	4,127	1,195	2	1	16	H29.10.10
267	Ⅰ-30026	園部	4,051	1,342	2	1	22	H29.10.10
268	Ⅰ-30027	園部	3,161	－	8	－	8	H29.10.10
269	Ⅰ-30028	園部	2,503	820	4	0	12	H29.10.10
270	Ⅰ-30029	六十谷	5,260	1,557	7	0	13	H29.10.10
271	Ⅰ-30030	六十谷	5,566	2,046	7	1	16	H29.10.10
272	Ⅰ-30031	六十谷	2,845	822	7	0	12	H29.10.10
273	Ⅰ-30032	六十谷	1,666	356	6	0	7	H29.10.10
274	Ⅰ-30033	六十谷	10,562	3,526	24	8	21	H29.10.10
275	Ⅰ-30034	加太	5,246	1,094	13	1	12	H28.3.18
276	Ⅰ-30035	加太	7,594	2,459	9	3	27	H28.3.18
277	Ⅰ-30043	加太	8,620	2,362	25	3	20	H28.3.18
278	Ⅰ-30038	北野	2,090	454	1	0	6	H29.9.19
279	Ⅰ-30039	北野	3,927	1,012	1	0	8	H29.9.19
280	Ⅰ-30040	上野	3,693	1,010	5	0	11	H29.9.19
281	Ⅰ-30041	鳴神	2,233	167	8	1	8	H29.3.21
282	Ⅰ-30042	府中	6,580	2,322	2	0	26	H29.9.19
283	Ⅰ-30044	加太	4,610	1,324	7	3	13	H28.3.18
284	Ⅰ-30045	加太	8,236	2,636	5	0	21	H28.3.18
285	Ⅰ-30046	加太	10,038	2,572	13	0	19	H28.3.18
286	Ⅰ-30047	加太	6,361	1,200	11	0	14	H28.3.18
287	Ⅰ-30048	加太	4,680	1,284	6	1	15	H28.3.18
288	Ⅰ-30049	加太	19,166	4,315	28	12	32	H28.3.18
289	Ⅰ-30050	加太	5,333	－	14	0	12	H28.3.18
290	Ⅰ-30051	加太	3,352	505	6	1	11	H28.3.18
291	Ⅰ-30052	雑賀崎	2,104	88	27	4	9	H29.10.10
292	Ⅰ-30053	栄谷・中	33,312	8,852	44	2	37	R3.4.13
293	Ⅰ-30054	中	28,305	11,409	58	7	38	R3.4.13
294	Ⅰ-30055	栄谷・中	19,730	7,564	25	0	30	R3.4.13
295	Ⅰ-30056	栄谷	9,073	3,450	1	1	29	R3.4.13
296	Ⅱ-2004	永山	1,481	28	2	0	5	H24.8.24
297	Ⅱ-2005	相坂	1,910	648	0	0	9	H24.9.8
298	Ⅱ-2006	加太	72,078	30,920	54	19	50	H27.9.4
299	Ⅱ-2007	黒岩	4,120	793	1	1	12	H24.8.7
300	Ⅱ-2008	加太	15,835	5,793	2	0	32	H27.9.4
301	Ⅱ-2009	大川	7,072	4,690	2	0	51	H27.9.4
302	Ⅱ-2010	大川	1,719	805	1	0	27	H27.9.4
303	Ⅱ-2011	大川	4,342	795	4	2	30	H27.9.4
304	Ⅱ-2013	滝畑	4,500	1,455	1	0	28	H29.3.21
305	Ⅱ-2014	滝畑	7,827	2,673	0	0	31	H29.3.21
306	Ⅱ-2015	黒岩	9,042	3,003	3	3	23	H24.8.8
307	Ⅱ-2016	深山	14,648	7,506	2	2	72	H27.9.4
308	Ⅱ-2017	深山・加太	14,003	7,856	7	4	66	H27.9.4
309	Ⅱ-2018	深山・加太	21,156	12,766	11	3	70	H27.9.4
310	Ⅱ-2019	加太	3,992	1,347	1	0	32	H27.9.4
311	Ⅱ-2020	加太	5,035	2,676	1	0	42	H27.9.4
312	Ⅱ-2021	加太	8,260	4,919	1	1	53	H27.9.4
313	Ⅱ-2022	滝畑	2,374	861	1	0	22	H29.3.21
314	Ⅱ-2023	加太	7,223	2,395	4	0	34	H27.9.4
315	Ⅱ-2025	加太	3,505	1,520	1	0	24	H27.9.4
316	Ⅱ-2026	加太	11,362	5,418	2	0	31	H27.9.4
317	Ⅱ-2027	加太	1,360	425	2	2	10	H27.9.4

番号	箇所番号	大字	面積（㎡）		戸数（戸）		最大高（m）	指定日
			区域	内　特別警戒区域	区域	内　特別警戒区域		
318	Ⅱ-2028	加太	8,467	3,346	17	1	37	H27.9.4
319	Ⅱ-2029	加太	6,207	2,980	10	7	28	H27.9.4
320	Ⅱ-2030	加太	5,185	2,533	1	0	52	H27.9.4
321	Ⅱ-2031	加太	4,360	1,584	1	1	29	H27.9.4
322	Ⅱ-2032	日野	9,246	3,335	3	2	22	H30.3.13
323	Ⅱ-2033	つつじが丘３丁目・日野	16,646	5,619	9	0	31	H30.3.13
324	Ⅱ-2034	園部	4,869	1,724	8	1	30	H29.10.10
325	Ⅱ-2036	直川	14,089	6,613	3	1	53	H28.9.27
326	Ⅱ-2037	直川	10,712	6,193	1	1	47	H28.9.27
327	Ⅱ-2038	直川	6,673	2,584	4	0	39	H28.9.27
328	Ⅱ-2039	府中	15,808	6,569	6	2	34	H29.9.19
329	Ⅱ-2040	北別所	4,775	1,716	2	0	27	H29.3.21
330	Ⅱ-2041	上黒谷	5,219	2,209	4	0	30	H29.3.21
331	Ⅱ-2043	加太	13,486	4,741	20	6	32	H28.3.18
332	Ⅱ-2044	加太	20,395	11,875	21	6	43	H28.3.18
333	Ⅱ-2045	加太	12,356	3,645	29	11	25	H28.3.18
334	Ⅱ-2046	加太	13,160	5,087	38	26	38	H28.3.18
335	Ⅱ-2047	加太	12,395	3,663	30	14	48	H28.3.18
336	Ⅱ-2048	加太	6,636	2,895	1	1	53	H27.9.4
337	Ⅱ-2049	磯の浦	18,397	6,786	33	0	43	H30.3.13
338	Ⅱ-2050	磯の浦	13,866	5,872	15	4	33	H30.3.13
339	Ⅱ-2051	磯の浦	5,720	3,011	2	2	26	H30.3.13
340	Ⅱ-2052	本脇	1,964	645	1	1	11	H30.3.13
341	Ⅱ-2053	本脇	14,092	7,458	1	0	43	H30.3.13
342	Ⅱ-2054	西庄	34,263	18,401	4	1	64	H30.3.13
343	Ⅱ-2055	西庄	6,343	3,032	3	1	45	H30.3.13
344	Ⅱ-2056	西庄	11,866	2,765	9	2	28	H30.3.13
345	Ⅱ-2057	大谷	5,566	1,953	1	1	29	H29.1.24
346	Ⅱ-2058	大谷	7,240	2,237	9	0	12	H29.1.24
347	Ⅱ-2059	園部	2,656	879	5	1	14	H29.10.10
348	Ⅱ-2060	六十谷	8,573	3,079	6	0	27	H29.10.10
349	Ⅱ-2061	六十谷	3,838	1,359	3	0	35	H29.10.10
350	Ⅱ-2062	六十谷	2,936	1,912	2	0	32	H29.10.10
351	Ⅱ-2063	六十谷	8,911	3,343	8	0	26	H29.10.10
352	Ⅱ-2064	直川	15,376	8,549	2	0	69	H28.9.27
353	Ⅱ-2068	岩橋・栗栖	6,196	1,849	8	1	15	H29.7.4
354	Ⅱ-2069	下三毛	391	－	0	－	7	H29.10.10
355	Ⅱ-2070	下三毛	1,333	－	1	－	8	H29.10.10
356	Ⅱ-2071	鳴神	1,584	493	2	1	17	H29.3.21
357	Ⅱ-2072	井辺	5,172	2,886	1	1	62	H27.4.24
358	Ⅱ-2073	寺内	5,319	1,968	16	8	26	H27.4.24
359	Ⅱ-2074	岩橋	1,081	174	4	1	9	H29.7.4
360	Ⅱ-2075	下和佐	1,724	524	1	0	14	H29.9.19
361	Ⅱ-2076	平尾・明王寺	1,628	202	1	0	6	H24.8.25
362	Ⅱ-2077	明王寺	789	94	1	0	6	H24.8.26
363	Ⅱ-2078	禰宜	2,848	288	2	0	22	H29.9.19
364	Ⅱ-2079	禰宜	4,734	3,127	4	3	68	H29.9.19
365	Ⅱ-2080	新和歌浦	8,594	2,356	13	4	33	H24.5.18
366	Ⅱ-2081	明王寺	1,051	267	1	0	14	H27.4.24
367	Ⅱ-2082	秋葉町	10,702	4,224	14	1	22	H24.5.18
368	Ⅱ-2083	東高松４丁目	6,755	2,771	12	0	37	H24.5.18
369	Ⅱ-2084	坂田	2,642	863	3	2	11	H27.2.10
370	Ⅱ-2085	和田	6,232	3,025	0	0	23	H27.2.10
371	Ⅱ-2086	和田	3,052	813	6	2	10	H27.2.10

番号	箇所番号	大字	面積（㎡）		戸数（戸）		最大高（m）	指定日
			区域	内　特別警戒区域	区域	内　特別警戒区域		
372	Ⅱ-2087	神前	6,005	1,588	4	0	18	H27.4.24
373	Ⅱ-2088	神前	3,207	1,170	7	1	17	H27.4.24
374	Ⅱ-2089	井辺	1,992	624	4	0	12	H27.4.24
375	Ⅱ-2090	寺内	7,599	2,490	8	2	20	H27.4.24
376	Ⅱ-2091	吉礼	1,310	0	1	0	11	H24.8.27
377	Ⅱ-2092	吉礼	4,342	1,405	2	1	22	H24.8.28
378	Ⅱ-2093	平尾	757	142	0	0	5	H24.8.29
379	Ⅱ-2094	永山	4,307	1,467	1	1	23	H24.8.30
380	Ⅱ-2095	永山	6,133	863	4	0	23	H24.8.31
381	Ⅱ-2096	永山	1,521	0	0	0	6	H24.9.1
382	Ⅱ-2097	三葛	3,302	882	4	0	15	H26.4.30
383	Ⅱ-2098	三葛	11,267	3,863	17	2	34	H26.4.30
384	Ⅱ-2099	雑賀崎	4,738	3,277	0	0	56	H24.5.18
385	Ⅱ-2100	雑賀崎	1,394	253	3	1	13	H24.5.18
386	Ⅱ-2101	雑賀崎	4,825	701	10	0	18	H24.5.18
387	Ⅱ-2102	雑賀崎	14,288	4,430	3	1	43	H24.5.18
388	Ⅱ-2103	雑賀崎	2,641	637	6	4	14	H24.5.18
389	Ⅱ-2104	西浜	909	272	1	0	14	H24.5.18
390	Ⅱ-2105	和歌浦西１丁目・関戸２丁目	10,383	2,821	19	3	24	H24.5.18
391	Ⅱ-2106	和歌浦西２丁目	10,267	5,617	0	0	54	H24.5.18
392	Ⅱ-2107	吉原	1,591	438	2	0	9	H24.9.13
393	Ⅱ-2108	吉原	8,034	3,066	1	0	19	H24.9.12
394	Ⅱ-2109	境原	35,841	18,437	13	0	57	H24.8.22
395	Ⅱ-2110	山東中	2,504	675	0	0	9	H24.9.2
396	Ⅱ-2111	田野	1,086	0	1	0	8	H24.5.18
397	Ⅱ-2112	田野	19,797	7,559	1	0	42	H24.5.18
398	Ⅱ-2113	新和歌浦	2,476	1,679	1	1	47	H24.5.18
399	Ⅱ-2114	内原	1,784	232	2	1	9	H26.4.30
400	Ⅱ-2115	紀三井寺・内原	11,514	3,371	21	1	29	H26.4.30
401	Ⅱ-2116	冬野	6,070	1,802	4	0	18	H24.9.10
402	Ⅱ-2117	黒岩	40,519	19,027	3	2	43	H24.8.9
403	Ⅱ-2118	黒岩	6,701	3,297	1	1	42	H24.8.10
404	Ⅱ-2119	黒岩	5,316	2,558	1	1	44	H24.8.11
405	Ⅱ-2120	黒岩	5,598	2,083	2	0	31	H24.8.12
406	Ⅱ-2121	黒岩	13,081	4,739	2	0	25	H24.8.13
407	Ⅱ-2122	黒岩	8,914	3,218	1	1	26	H24.8.14
408	Ⅱ-2123	黒岩	15,401	7,245	5	2	45	H24.8.15
409	Ⅱ-2124	黒岩	10,854	4,808	2	2	50	H24.8.16
410	Ⅱ-2125	黒岩	11,300	4,003	7	5	18	H24.8.17
411	Ⅱ-2126	黒岩	7,862	2,857	1	1	79	H24.8.18
412	Ⅱ-2128	寺内	2,382	560	2	1	9	H27.4.24
413	Ⅱ-2129	永山	3,066	569	3	0	9	H24.9.3
414	Ⅱ-2130	内原・毛見	13,452	4,300	3	1	33	H26.4.30
415	Ⅱ-2131	加太	13,227	4,901	4	3	31	H27.9.4
416	Ⅱ-2132	西浜	5,389	2,553	5	0	36	H24.5.18
417	Ⅱ-2133	磯の浦	5,871	1,865	2	1	33	H30.3.13
418	Ⅱ-2134	六十谷	6,045	2,382	14	0	40	H29.10.10
419	Ⅱ-2135	栄谷	7,896	2,866	5	1	32	H28.11.22
420	Ⅱ-2136	坂田	1,407	446	4	2	10	H27.2.10
421	Ⅱ-2137	森小手穂	6,107	2,068	1	0	16	H27.4.24
422	Ⅱ-2138	六十谷	3,318	1,627	4	0	27	H29.10.10
423	Ⅱ-2139	西	926	207	1	1	9	H27.4.24
424	Ⅱ-2140	黒谷	4,218	1,535	1	0	18	H24.8.20
425	Ⅱ-2141	黒谷	10,217	3,606	1	0	23	H24.8.21

番号	箇所番号	大字	面積（㎡）		戸数（戸）		最大高（m）	指定日
			区域	内　特別警戒区域	区域	内　特別警戒区域		
426	Ⅱ-2142	深山	29,357	15,211	2	1	58	H27.9.4
427	Ⅱ-2143	南畑	4,749	1,226	3	2	13	H24.8.23
428	Ⅱ-2144	冬野	15,476	5,185	5	0	28	H24.9.9
429	Ⅱ-2145	六十谷	16,422	6,580	27	0	40	H29.10.10
430	Ⅱ-2146	深山	7,514	2,748	4	3	29	H27.9.4
431	Ⅱ-2147	井辺	6,726	2,532	43	12	18	H27.4.24
432	Ⅱ-2148	黒岩	11,753	5,357	1	1	56	H24.8.19
433	Ⅱ-2150	新和歌浦	4,645	1,998	6	4	35	H24.5.18
434	Ⅱ-2151	冬野	8,616	3,231	7	3	26	H24.9.11
435	Ⅱ-30001	森小手穂	3,053	1,767	1	1	68	H27.4.24
436	Ⅱ-30002	森小手穂	1,183	310	1	1	9	H27.4.24
437	Ⅱ-30003	森小手穂	3,351	1,118	5	3	14	H27.4.24
438	Ⅱ-30013	平尾	3,708	258	2	1	15	H24.9.4
439	Ⅱ-30014	永山	739	202	1	1	9	H24.9.5
440	Ⅱ-30015	大河内	2,005	665	1	0	14	H24.9.6
441	Ⅱ-30016	大河内	4,986	1,609	1	0	14	H24.9.7
442	Ⅱ-30017	吉原	4,324	1,305	3	2	10	H24.9.14
443	Ⅱ-30018	朝日	862	90	1	0	8	H24.9.15
444	Ⅱ-30019	朝日	3,907	1,363	4	1	17	H24.9.16
445	Ⅱ-30020	冬野	12,621	6,307	1	1	45	H24.9.17
446	Ⅱ-30021	永山	4,009	1,074	1	0	14	H26.4.30
447	Ⅱ-30022	神前	3,346	980	1	0	15	H27.4.24
448	Ⅱ-30025	加太	2,351	822	5	1	14	H27.9.4
449	Ⅱ-30026	加太	3,392	626	6	0	10	H27.9.4
450	Ⅱ-30027	西庄	31,786	16,752	3	2	75	H30.3.13
451	Ⅱ-30028	加太	3,980	1,790	1	0	29	H27.9.4
452	Ⅱ-30029	加太	2,757	918	1	1	14	H27.9.4
453	Ⅱ-30030	加太	6,483	3,837	2	2	43	H27.9.4
454	Ⅱ-30031	加太	3,273	1,354	2	0	27	H27.9.4
455	Ⅱ-30032	加太	1,726	618	1	0	14	H27.9.4
456	Ⅱ-30033	加太	4,770	2,183	1	1	23	H27.9.4
457	Ⅱ-30034	梅原	6,466	2,878	0	0	30	H28.11.22
458	Ⅱ-30035	梅原	16,651	8,081	1	0	45	H28.11.22
459	Ⅱ-30036	梅原	7,804	1,339	1	0	27	H28.11.22
460	Ⅱ-30037	梅原	2,526	748	0	0	9	H28.11.22
461	Ⅱ-30038	ふじと台・中	7,529	2,297	0	0	27	H28.11.22
462	Ⅱ-30039	ふじと台・中	935	229	0	0	7	H28.11.22
463	Ⅱ-30040	ふじと台・中	2,606	838	0	0	12	H28.11.22
464	Ⅱ-30041	大川	1,654	580	1	1	14	H27.9.4
465	Ⅱ-30042	深山	4,222	1,822	1	0	34	H27.9.4
466	Ⅱ-30043	深山	5,537	3,022	1	1	70	H27.9.4
467	Ⅱ-30044	磯の浦	6,372	2,369	1	0	28	H30.3.13
468	Ⅱ-30045	磯の浦・本脇	10,245	3,621	3	0	24	H30.3.13
469	Ⅱ-30046	園部	1,917	394	3	0	8	H29.10.10
470	Ⅱ-30047	園部	750	186	1	1	8	H29.10.10
471	Ⅱ-30048	六十谷	4,982	1,783	4	2	22	H29.10.10
472	Ⅱ-30049	六十谷	3,985	1,274	1	0	19	H29.10.10
473	Ⅱ-30050	六十谷	3,992	705	1	0	7	H29.10.10
474	Ⅱ-30051	直川	469	－	1	0	6	H28.9.27
475	Ⅱ-30052	直川	2,968	972	1	0	16	H28.9.27
476	Ⅱ-30053	直川・六十谷	5,267	1,797	4	1	21	H29.10.10
477	Ⅱ-30054	下和佐	1,718	414	1	0	10	H29.9.19
478	Ⅱ-30055	直川	1,389	－	1	0	6	H28.9.27
479	Ⅱ-30057	栗栖	2,102	464	1	0	8	H29.7.4
480	Ⅱ-30058	岩橋・栗栖	630	204	3	0	11	H29.7.4

番号	箇所番号	大字	面積（㎡）		戸数（戸）		最大高（m）	指定日
			区域	内　特別警戒区域	区域	内　特別警戒区域		
481	Ⅱ-30059	上野	8,201	2,427	3	0	11	H29.9.19
482	Ⅱ-30060	上野	1,251	338	3	0	9	H29.9.19
483	Ⅱ-30061	北野	3,787	881	2	0	8	H29.9.19
484	Ⅱ-30062	北野	1,070	68	1	0	6	H29.9.19
485	Ⅱ-30063	落合	2,815	1,070	1	0	30	H29.3.21
486	Ⅱ-30064	落合	15,490	9,816	1	1	80	H29.3.21
487	Ⅱ-30065	直川	2,587	1,095	1	1	32	H28.9.27
488	Ⅱ-30066	直川	2,331	1,008	1	1	39	H28.9.27
489	Ⅱ-30067	直川	5,415	3,547	1	0	56	H28.9.27
490	Ⅱ-30068	弘西	2,702	321	2	0	7	H29.9.19
491	Ⅱ-30069	府中	6,661	1,447	11	0	14	H29.9.19
492	Ⅱ-30070	府中	556	104	1	1	5	H29.9.19
493	Ⅱ-30071	府中	3,338	390	8	5	8	H29.9.19
494	Ⅱ-30072	府中	664	103	4	2	6	H29.9.19
495	Ⅱ-30073	府中	5,867	1,631	3	2	11	H29.9.19
496	Ⅱ-30074	府中	6,289	1,808	1	1	12	H29.9.19
497	Ⅱ-30075	府中	4,909	1,283	3	0	11	H29.9.19
498	Ⅱ-30076	府中	1,226	222	2	2	5	H29.9.19
499	Ⅱ-30077	府中	17,805	6,359	14	6	15	H29.9.19
500	Ⅱ-30078	和佐関戸	25,509	13,333	1	0	60	H29.9.19
501	Ⅱ-30079	禰宜	3,427	830	2	1	7	H29.9.19
502	Ⅱ-30080	加太	4,003	798	3	0	16	H28.3.18
503	Ⅱ-30081	加太	770	249	1	0	17	H28.3.18
504	Ⅱ-30082	加太	882	222	1	1	17	H28.3.18
505	Ⅱ-30083	加太	3,905	1,227	3	0	22	H28.3.18
506	Ⅱ-30084	加太	2,157	727	3	0	14	H28.3.18
507	Ⅱ-30085	加太	9,444	4,282	1	0	31	H28.3.18
508	Ⅱ-30086	加太	1,143	－	2	0	5	H28.3.18
509	Ⅱ-30087	加太	933	177	3	1	8	H28.3.18
510	Ⅱ-30088	加太	2,071	392	3	1	8	H28.3.18
511	Ⅱ-30089	鳴神	1,882	163	1	1	10	H29.3.21
512	Ⅱ-30090	雑賀崎	1,876	332	22	3	11	H29.10.10
513	Ⅱ-30091	吹上１丁目	902	111	4	1	6	H29.10.10
514	Ⅱ-30092	鷹匠町５丁目	657	139	3	2	6	H29.10.10
515	Ⅱ-30093	鷹匠町６丁目	451	－	1	－	6	H29.10.10
516	Ⅱ-30094	中	5,237	1,697	2	0	13	R3.4.13
517	Ⅲ-1002	大川	433	145	0	0	8	H27.9.4
518	Ⅲ-1003	大川	1,217	377	0	0	28	H27.9.4
519	Ⅲ-1006	深山	20,173	6,827	0	0	51	H27.9.4
520	Ⅲ-1007	深山	6,403	3,033	0	0	40	H27.9.4
521	Ⅲ-1008	深山	8,818	4,992	0	0	38	H27.9.4
522	Ⅲ-1009	深山	2,818	1,479	0	0	23	H27.9.4
523	Ⅲ-1010	深山	15,947	10,493	0	0	84	H27.9.4
524	Ⅲ-1011	深山	8,290	4,953	0	0	47	H27.9.4
525	Ⅲ-1012	深山	15,651	9,664	0	0	77	H27.9.4
526	Ⅲ-1013	深山	20,118	14,168	0	0	82	H27.9.4
527	Ⅲ-1014	深山	23,365	13,753	0	0	61	H27.9.4
528	Ⅲ-1015	加太	9,908	4,694	1	1	36	H27.9.4
529	Ⅲ-1017	加太	14,830	6,041	0	0	45	H28.3.18
530	Ⅲ-1018	加太	27,565	10,681	19	2	48	H28.3.18
531	Ⅲ-1019	加太	5,819	1,794	12	5	20	H28.3.18
532	Ⅲ-1020	加太	17,952	9,851	1	0	55	H27.9.4
533	Ⅲ-1021	加太	15,269	6,576	2	0	52	H27.9.4
534	Ⅲ-1022	加太	17,317	7,897	0	0	51	H27.9.4
535	Ⅲ-1023	加太	17,866	7,448	0	0	53	H27.9.4

番号	箇所番号	大字	面積（㎡）		戸数（戸）		最大高（m）	指定日
			区域	内　特別警戒区域	区域	内　特別警戒区域		
536	Ⅲ-1024	加太	18,683	8,640	0	0	60	H27.9.4
537	Ⅲ-1025	加太	29,735	13,641	0	0	50	H27.9.4
538	Ⅲ-1028	加太	3,781	985	4	0	20	H28.3.18
539	Ⅲ-1029	加太	17,936	7,180	0	0	24	H27.9.4
540	Ⅲ-1030	本脇	7,065	2,616	0	0	34	H30.3.13
541	Ⅲ-1031	磯の浦	15,340	5,794	2	1	25	H30.3.13
542	Ⅲ-1035	日野	6,228	2,141	0	0	32	H30.3.13
543	Ⅲ-1038	つつじが丘３丁目	13,276	5,652	3	0	37	H30.3.13
544	Ⅲ-1039	つつじが丘３丁目	17,213	3,655	2	0	39	H30.3.13
545	Ⅲ-1041	西庄	17,070	9,556	1	0	46	H30.3.13
546	Ⅲ-1042	西庄	3,579	1,371	0	0	23	H30.3.13
547	Ⅲ-1053	梅原	21,982	9,881	0	0	34	H28.11.22
548	Ⅲ-1054	ふじと台・中	48,474	27,953	0	0	87	H28.11.22
549	Ⅲ-1055	梅原	19,243	9,992	0	0	78	H28.11.22
550	Ⅲ-1056	梅原	11,817	5,906	0	0	42	H28.11.22
551	Ⅲ-1057	梅原	17,885	6,929	1	0	32	H28.11.22
552	Ⅲ-1059	梅原	4,047	2,283	0	0	38	H28.11.22
553	Ⅲ-1061	木ノ本	1,219	348	2	2	10	H27.9.4
554	Ⅲ-1064	平井	3,571	2,871	0	0	50	H29.1.24
555	Ⅲ-1065	平井	8,677	7,342	0	0	85	H29.1.24
556	Ⅲ-1068	善明寺	4,523	1,958	0	0	59	H29.1.24
557	Ⅲ-1070	善明寺	8,702	4,923	0	0	56	H29.1.24
558	Ⅲ-1076	園部	8,659	4,562	3	0	49	H29.10.10
559	Ⅲ-1078	園部	5,354	2,784	9	2	50	H29.10.10
560	Ⅲ-1081	滝畑	12,466	8,197	0	0	82	H29.3.21
561	Ⅲ-1082	滝畑	3,305	1,485	0	0	29	H29.3.21
562	Ⅲ-1090	井辺	7,579	4,072	0	0	53	H27.4.24
563	Ⅲ-1091	森小手穂	9,226	3,381	1	1	23	H27.4.24
564	Ⅲ-1092	森小手穂	11,887	5,688	0	0	34	H27.4.24
565	Ⅲ-1093	寺内	4,145	1,556	2	1	21	H27.4.24
566	Ⅲ-1094	寺内	10,183	4,184	0	0	30	H27.4.24
567	Ⅲ-1095	森小手穂	14,296	6,053	0	0	41	H27.4.24
568	Ⅲ-1096	井辺	9,502	3,407	7	0	26	H27.4.24
569	Ⅲ-1097	吉礼	2,356	826	0	0	16	H26.4.30
570	Ⅲ-1098	吉礼	1,003	319	0	0	30	H26.4.30
571	Ⅲ-1099	吉礼	4,163	1,943	0	0	37	H26.4.30
572	Ⅲ-1100	吉礼	16,746	8,864	0	0	50	H26.4.30
573	Ⅲ-1101	吉礼	18,806	9,355	0	0	46	H26.4.30
574	Ⅲ-1102	永山	5,511	1,347	2	1	20	H24.8.7
575	Ⅲ-1103	永山	6,767	2,370	0	0	20	H26.4.30
576	Ⅲ-1104	永山	2,616	1,027	0	0	24	H26.4.30
577	Ⅲ-1105	永山	4,690	2,260	0	0	27	H26.4.30
578	Ⅲ-1106	永山	4,369	1,545	0	0	15	H26.4.30
579	Ⅲ-1107	永山	4,336	1,797	0	0	33	H26.4.30
580	Ⅲ-1108	永山	1,429	501	1	1	12	H26.4.30
581	Ⅲ-1110	和歌浦中２丁目・和歌浦中３丁目	8,667	2,654	3	0	20	H24.5.18
582	Ⅲ-1111	冬野・内原	27,373	9,796	1	0	31	H26.4.30
583	Ⅲ-1112	毛見・内原	14,429	6,470	2	1	40	H26.4.30
584	Ⅲ-1114	黒岩	4,129	2,266	0	0	83	H26.4.30
585	Ⅲ-1115	黒岩	3,711	1,934	0	0	52	H26.4.30
586	Ⅲ-1122	毛見・内原・黒江	2,876	516	1	0	8	H26.4.30
587	Ⅲ-30001	鳴神	1,655	147	0	0	12	H29.3.21
588	Ⅲ-30002	ふじと台	9,587	3,437	0	0	27	R3.4.13
589	Ⅲ-30003	ふじと台	13,634	5,408	0	0	36	R3.4.13

番号	箇所番号	大字	面積（㎡）		戸数（戸）		最大高（m）	指定日
			区域	内　特別警戒区域	区域	内　特別警戒区域		
590	Ⅲ-30004	ふじと台	15,474	8,169	0	0	42	R3.4.13
591	Ⅲ-30005	ふじと台	15,352	10,597	0	0	85	R3.4.13
592	Ⅲ-30006	栄谷	8,005	3,136	0	0	18	R3.4.13
593	Ⅲ-30007	栄谷	32,730	15,570	0	0	40	R3.4.13
594	Ⅳ-3001	黒岩	7,007	2,244	2	1	23	H24.8.7
595	Ⅳ-3002	黒岩	17,000	6,290	3	0	43	H24.8.7
596	Ⅳ-3003	黒岩	21,097	7,711	1	0	30	H24.8.7
597	Ⅳ-3004	黒谷	4,398	1,194	1	1	10	H24.8.7
598	Ⅳ-3005	境原	2,260	369	1	0	8	H24.8.7
599	Ⅳ-3006	境原	6,248	2,212	2	0	35	H24.8.7
600	Ⅳ-3007	南畑	4,913	1,503	1	1	22	H24.8.7
601	Ⅳ-3008	南畑	9,429	2,863	2	2	14	H24.8.7
602	Ⅳ-3009	南畑	1,553	148	1	0	7	H24.8.7
603	Ⅳ-3010	南畑	4,819	1,644	2	2	15	H24.8.7
604	Ⅳ-3011	南畑	4,066	892	1	1	10	H24.8.7
605	Ⅳ-3012	頭陀寺	2,712	956	0	0	18	H24.8.7
606	Ⅳ-3013	頭陀寺	18,511	7,143	1	0	35	H24.8.7
607	Ⅳ-3014	奥須佐	1,405	264	1	1	9	H24.8.7

（３）地滑り

番号	箇所番号	字	面積（㎡）		戸数（戸）		指定日
			区域	内　特別警戒区域	区域	内　特別警戒区域	
1	98	善明寺	31,303	－	66	－	H29.1.24
2	100	大谷	58,775	－	2	－	H29.1.24
3	187	上三毛	35,676	－	0	－	H29.10.10
4	188	矢田	89,579	－	0	－	H26.4.30
5	189	吉原	148,889	－	60	－	H26.4.30
6	190	広原	76,173	－	57	－	H26.4.30
7	191	仁井辺	21,291	－	5	－	H26.4.30
8	192	黒岩	23,324	－	1	－	H26.4.30
9	508	寺口	15,650	－	13	－	R01.12.24

土砂災害警戒区域等指定区域数 合計

土石流		急傾斜地の崩壊		地滑り	
警戒区域	（うち特別警戒区域）	警戒区域	（うち特別警戒区域）	警戒区域	（うち特別警戒区域）
310	(251)	607	(584)	9	(0)

1-6

防災重点農業用ため池一覧

（令和6年4月1日現在）

番号	ため池番号	ため池名称	所在地	番号	ため池番号	ため池名称	所在地
1	302010001	小林池	滝畑	39	302010060	新池(府中)	府中
2	302010004	樫子池上	上黒谷	40	302010061	湯谷池	府中
3	302010005	樫子池下	上黒谷	41	302010062	八幡上池	府中
4	302010006	新池(湯屋谷)	湯屋谷	42	302010064	奥新池(直川)	直川
5	302010007	窪池(湯屋谷)	湯屋谷	43	302010065	奥ノ池(直川)	直川
6	302010008	大子谷池	湯屋谷	44	302010066	中ノ池	直川
7	302010009	花子池	湯屋谷	45	302010067	口ノ池	直川
8	302010012	観音寺池	谷	46	302010068	中谷池	直川
9	302010013	花ヤ池	谷	47	302010071	市谷池	直川
10	302010014	宮池(谷)	谷	48	302010072	三味上池	直川
11	302010015	がま池	谷	49	302010073	三味下池	直川
12	302010016	谷口池	谷	50	302010075	上栗池	六十谷
13	302010017	皿池(上黒谷)	上黒谷	51	302010077	新池(園部)	園部
14	302010019	ハス池	上黒谷	52	302010078	龍池(六十谷)	六十谷
15	302010020	籠池(上黒谷)	上黒谷	53	302010079	下栗池	六十谷
16	302010021	坊池(上黒谷)	上黒谷	54	302010080	未谷上池	六十谷
17	302010022	おんば池	上黒谷	55	302010081	未谷下池	六十谷
18	302010024	奥ノ池上(上黒谷)	上黒谷	56	302010083	口新池	六十谷
19	302010025	奥ノ池下(上黒谷)	上黒谷	57	302010084	奥新池(六十谷)	六十谷
20	302010028	新池(北別所)	北別所	58	302010085	三昧池	六十谷
21	302010031	峠池(落合)	落合	59	302010088	蓮池(六十谷)	六十谷
22	302010035	上久六池	上野	60	302010091	柳谷池	園部
23	302010036	下久六池	上野	61	302010092	宮池(園部)	園部
24	302010037	山田池(北野)	北野	62	302010093	ショウブ池	園部
25	302010041	私池(上野)	上野	63	302010094	枇杷谷池	園部
26	302010042	内池(上野)	上野	64	302010096	口峠谷池	園部
27	302010043	皿池(北野)	北野	65	302010100	大池(善明寺)	善明寺
28	302010044	新池(北野)	北野	66	302010103	雨谷池	大谷
29	302010045	若宮池	北野	67	302010106	大谷上池	大谷
30	302010047	個人池(北野)	北野	68	302010107	大谷下池	大谷
31	302010050	長谷池	弘西	69	302010108	大池(大谷)	大谷
32	302010051	米山池	弘西	70	302010109	東谷池	平井
33	302010052	名草池	弘西	71	302010110	西渓池	平井
34	302010053	深谷池	弘西	72	302010111	政所池	平井
35	302010054	内山池	弘西	73	302010112	畑池(大谷)	大谷
36	302010056	天王池	府中	74	302010113	大池(栄谷)	栄谷
37	302010058	奥新池(府中)	府中	75	302010116	西谷池	栄谷
38	302010059	平野池	府中	76	302010117	三笠池	中

番号	ため池番号	ため池名称	所在地	番号	ため池番号	ため池名称	所在地
77	302010118	寺谷池	中	120	302010218	押池	金谷
78	302010119	上池(梅原)	梅原	121	302010226	北端池	金谷
79	302010120	下ノ池	梅原	122	302010229	山田池	和佐関戸
80	302010121	万蔵池	梅原	123	302010237	別所谷上池	禰宜
81	302010122	安楽池	木ノ本	124	302010239	鐘池	禰宜
82	302010123	龍池(木ノ本)	木ノ本	125	302010241	和坂池	禰宜
83	302010125	大池(木ノ本)	木ノ本	126	302010242	皿池(禰宜)	禰宜
84	302010126	大台池	木ノ本	127	302010244	大池(禰宜)	禰宜
85	302010127	女谷池	木ノ本	128	302010245	マト谷池	禰宜
86	302010129	坂ノ谷中池	西庄	129	302010247	大谷池(禰宜)	禰宜
87	302010130	坂ノ谷下池	西庄	130	302010248	大谷池(下和佐)	下和佐
88	302010131	岩ノ谷池	西庄	131	302010249	苫屋谷池	下和佐
89	302010132	平ノ上池	西庄	132	302010250	口池(下和佐)	下和佐
90	302010133	平ノ下池	西庄	133	302010251	奥池(下和佐)	下和佐
91	302010134	城ヶ谷池	西庄	134	302010253	大池(岩橋)	岩橋
92	302010136	池ノ谷池	本脇	135	302010254	大岩谷池	岩橋
93	302010137	丸池	本脇	136	302010255	長尾池	岩橋
94	302010138	蛇ノ舞池	本脇	137	302010259	大谷池(鳴神)	鳴神
95	302010140	小屋木池	磯ノ浦	138	302010260	ソゴ寺池	井辺
96	302010146	鷲ノ巣ノ池	日野	139	302010266	藤井池	西
97	302010147	春日池	日野	140	302010273	大谷池	西
98	302010148	大井谷池	磯ノ浦	141	302010274	墓地谷池	森小手穂
99	302010149	石打池	加太	142	302010276	上念仏池	森小手穂
100	302010152	山田池(加太)	加太	143	302010277	下念仏池	森小手穂
101	302010154	大崎小池	加太	144	302010282	東谷池	寺内
102	302010156	大崎池	加太	145	302010283	ハサミ池	森小手穂
103	302010176	参マイ池	上三毛	146	302010284	新池	森小手穂
104	302010177	中川池	上三毛	147	302010288	カゴ池(森小手穂)	森小手穂
105	302010180	鎌池(上三毛)	上三毛	148	302010290	ハサミ池	坂田
106	302010183	長谷池	上三毛	149	302010294	田所池	三葛
107	302010185	南ノ芝池	上三毛	150	302010295	皿池(三葛)	三葛
108	302010186	京森池	上三毛	151	302010296	志連田池	内原
109	302010190	馬場洗池	上三毛	152	302010297	デン田池	内原
110	302010191	皿池(上三毛)	上三毛	153	302010298	奥池(内原)	内原
111	302010192	谷口池	下三毛	154	302010299	下汚池	内原
112	302010196	次郎池	下三毛	155	302010303	こも池	内原
113	302010199	奥ノ池(下三毛)	下三毛	156	302010305	深池(吉原)	吉原
114	302010201	孫六池	下三毛	157	302010306	ジュンドウ池	吉原
115	302010203	新庄池	新庄	158	302010308	大池(吉原)	吉原
116	302010204	大明神池	東田中	159	302010310	岩池	吉原
117	302010207	尾崎池	金谷	160	302010311	清水谷口池	吉原
118	302010210	奥ノ池(金谷)	金谷	161	302010312	清水谷池	吉原
119	302010211	弁財天池	金谷	162	302010313	大門池(広原)	広原

番号	ため池番号	ため池名称	所在地	番号	ため池番号	ため池名称	所在地
163	302010315	こも池(広原)	広原	206	302010384	砂羅池	吉礼
164	302010316	オオカミ坂池	冬野	207	302010387	大池(吉礼)	吉礼
165	302010322	寺池(冬野)	冬野	208	302010389	外池	吉礼
166	302010323	中池(冬野)	冬野	209	302010391	奥ノ谷池	吉礼
167	302010324	池川池	冬野	210	302010392	小池(吉礼)	吉礼
168	302010325	大谷池(冬野)	冬野	211	302010396	上池(口須佐)	口須佐
169	302010326	下池(冬野)	冬野	212	302010398	丸池(吉礼)	吉礼
170	302010327	上池(冬野)	冬野	213	302010400	上池(口須佐)	口須佐
171	302010331	符ノ谷池	冬野	214	302010401	小谷池	吉礼
172	302010332	広田池	冬野	215	302010403	吉里下池	吉里
173	302010333	足ヶ谷池	冬野	216	302010407	西谷池(奥須佐)	奥須佐
174	302010334	奥ノ谷池	本渡	217	302010408	奥谷池(奥須佐)	奥須佐
175	302010335	山田池(本渡)	本渡	218	302010409	堂池(奥須佐)	奥須佐
176	302010338	西ノ奥ノ池	朝日	219	302010417	新池(頭陀寺)	頭陀寺
177	302010340	重助池	朝日	220	302010420	中池(境原)	境原
178	302010343	浅池	朝日	221	302010425	青木谷池	境原
179	302010344	赤阪池	朝日	222	302010433	桜池(伊太祁曽)	伊太祁曽
180	302010347	土池(朝日)	朝日	223	302010434	ハス池(大河内)	大河内
181	302010348	三左衛門池	朝日	224	302010436	サクラ谷池	伊太祁曽
182	302010349	大皿池	江南	225	302010438	泉谷池	南畑
183	302010350	二ツ池北	江南	226	302010439	ハス池(南畑)	南畑
184	302010352	東池(本渡)	本渡	227	302010441	新出池(南畑)	南畑
185	302010354	下奥ノ池	薬勝寺	228	302010442	芝の浦上池	南畑
186	302010355	上奥ノ池	薬勝寺	229	302010443	芝の浦下池	南畑
187	302010356	仁井辺下池	仁井辺	230	302010444	神水池	南畑
188	302010357	仁井辺上池	仁井辺	231	302010445	露ヶ谷池	南畑
189	302010358	清水池	江南	232	302010446	北底池	黒谷
190	302010359	里ノ池	江南	233	302010448	新池(黒谷)	黒谷
191	302010362	ショウブ谷上池	相坂	234	302010449	妙見池	黒谷
192	302010363	ショウブ谷下池	相坂	235	302010450	奥谷池	黒谷
193	302010364	谷奥池	井戸	236	302010451	甚作池	黒谷
194	302010365	応供寺池	相坂	237	302010452	有ノ本池	黒谷
195	302010367	上池(相坂)	相坂	238	302010457	新池(黒岩)	黒岩
196	302010368	下池(相坂)	相坂	239	302010458	すりばち池	黒岩
197	302010369	東池(相坂)	相坂	240	302010462	個人池(黒岩)	黒岩
198	302010370	成福寺池	松原	241	302010463	星ヶ谷池	黒岩
199	302010371	諏訪池	松原	242	302010465	ショウブ池	黒岩
200	302010375	宮畑池	薬勝寺	243	302010466	寺池(黒岩)	黒岩
201	302010376	新池(松原)	松原	244	302010467	友渕池	黒岩
202	302010377	大池(薬勝寺)	薬勝寺	245	302010470	新池(大河内)	大河内
203	302010378	王寺谷下池	薬勝寺	246	302010476	戸ノ谷池	南畑
204	302010381	彦次池	森小手穂	247	302010478	千蔵池	大河内
205	302010383	本谷池	吉礼	248	302010480	後屋谷池	大河内

番号	ため池番	ため池名称	所在地	番号	ため池番	ため池名称	所在地
249	302010482	ツチノコ池	大河内	270	302010535	弥治谷池	平尾
250	302010485	北谷池	大河内	271	302010536	坂ノ谷池	平尾
251	302010486	釜池(大河内)	大河内	272	302010537	カゴ池(平尾)	平尾
252	302010487	見丁池	大河内	273	302010540	十谷池	平尾
253	302010493	大池(永山)	永山	274	302010545	取子下池	明王寺
254	302010494	中池(山東中)	山東中	275	302010546	取子上池	平尾
255	302010495	下池(大河内)	大河内	276	302010547	谷奥池(明王寺)	明王寺
256	302010496	コガ池(山東中)	山東中	277	302010548	谷奥池	明王寺
257	302010498	東奥大池	永山	278	302010549	津村池	明王寺
258	302010504	オジヤ池	永山	279	302010550	下瀬出池	明王寺
259	302010513	米山池	永山	280	302010551	上瀬出池	明王寺
260	302010516	奥ノ谷池	永山	281	302010553	下竹ヤ谷池	明王寺
261	302010521	北池(木枕)	木枕	282	302010554	上竹ヤ谷池	明王寺
262	302010522	えびす谷下池	明王寺	283	302010558	丹生池	明王寺
263	302010524	ヒシ池	矢田	284	302010559	丹生池(東)	明王寺
264	302010526	前池(矢田)	矢田	285	302010561	奥ノ谷池	明王寺
265	302010528	新池(永山)	永山	286	302010565	岩井出西池	吉礼
266	302010530	小浜池	明王寺	287	302010567	八幡池	府中
267	302010532	ニゴリ池	明王寺	288	302010568	雄ノ山池	滝畑
268	302010533	小谷池(塩ノ谷)	塩ノ谷				
269	302010534	鴨折池	塩ノ谷				

※「防災重点農業用ため池」

・決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池

・選定基準

① ため池から100m未満の浸水区域内に家屋、公共施設等があるもの

② ため池から100m以上500m未満の浸水区域内に家屋、公共施設等があり、かつ貯水量1,000㎥以上のもの

③ ため池から500m以上の浸水区域内に家屋、公共施設等があり、かつ貯水量5,000㎥以上のもの

④ 上記①～③以外で、地形条件、家屋等の位置関係、維持管理の状況等から、都道府県又は市町村が必要と認めるもの

1-7

紀の川重要水防箇所一覧表

和歌山河川国道事務所

① 図面対象番号	② 河川名	③ 左右岸の別	④ 種　別	⑤ 重要度	⑥ 地　先　名	⑦ 距離杭	⑧ 延　長	⑨ 対象とする流量	⑩ 対象とする流量を現河道に流した時の水位	⑪ 現堤防高	⑫ 計画堤防余裕高	⑬ 担当出張所	⑭ 備　考
296	紀の川	左岸	堤体漏水	A	和歌山市湊	0.2 0.2 ～ +25	25	12,000 (0.2)	2.99	4.52	2.00	紀の川下流	パラペット区間 （堤防断面）
1	紀の川	左岸	新堤防・破堤跡・旧川跡	要注意	和歌山市湊 ～和歌山市久保丁四丁目	0.2 ～ 2.0	1,661	12,000 (1.0)	3.55	5.50	2.00	紀の川下流	旧川跡
19	紀の川	左岸	堤体漏水	B	和歌山市築港五丁目	0.4	199	12,000 (0.4)	3.17	5.72	2.00	紀の川下流	
2	紀の川	右岸	新堤防・破堤跡・旧川跡	要注意	和歌山市湊	0.8 ～ 2.2	982	12,000 (1.4)	3.81	6.71	2.00	紀の川下流	旧川跡
20-1	紀の川	左岸	堤体漏水	B	和歌山市湊	0.8 ～ 1.0	385	12,000 (0.8)	3.34	3.34	2.00	紀の川下流	
500	紀の川	左岸	越水 （溢水）	B	和歌山市湊 ～和歌山市築港一丁目	1.0 ～ 1.2	372	12,000 (1.0)	3.55	3.55	2.00	紀の川下流	
20-2	紀の川	左岸	堤体漏水	B	和歌山市久保丁四丁目	2.0 ～ 2.2	415	12,000 (2.0)	4.06	6.39	2.00	紀の川下流	
7	紀の川	左岸	工作物	B	和歌山市久保丁四丁目	2.0 ＋ 0.0	－	12,000 (2.0)	4.06	6.39	2.00	紀の川下流	紀の川大橋
8	紀の川	左岸	新堤防・破堤跡・旧川跡	要注意	和歌山市湊紺屋町三丁目	2.4	－	12,000 (2.4)	4.23	6.71	2.00	紀の川下流	破堤跡
28	紀の川	左岸	堤体漏水	B	和歌山市西蔵前丁 ～和歌山市石橋丁	2.8 ～ 3.0	447	12,000 (2.8)	4.57	7.06	2.00	紀の川下流	
9	紀の川	左岸	工作物	B	和歌山市西蔵前丁、 和歌山市石橋丁	2.8 ＋ 19.8	－	12,000 (2.8)	4.57	7.06	2.00	紀の川下流	河西橋
300	紀の川	右岸	工作物	B	和歌山市北島	3.2 ＋ 173.6	－	12,000 (3.2)	4.98	7.53	2.00	紀の川下流	北島橋
10	紀の川	右岸	新堤防・破堤跡・旧川跡	要注意	和歌山市北島 ～和歌山市福島	3.4 ～ 3.6	707	12,000 (3.4)	5.16	7.54	2.00	紀の川下流	旧川跡
30	紀の川	右岸	基礎地盤漏水	B	和歌山市北島	3.4	354	12,000 (3.4)	5.16	7.54	2.00	紀の川下流	
32-1	紀の川	左岸	堤体漏水	B	和歌山市西汲丁五丁目	3.4	233	12,000 (3.4)	5.16	8.89	2.00	紀の川下流	
32-2	紀の川	左岸	堤体漏水	B	和歌山市本町九丁目	3.8	218	12,000 (3.8)	5.44	8.80	2.00	紀の川下流	
11	紀の川	左岸	工作物	B	和歌山市本町九丁目	3.6 ＋ 120	－	12,000 (3.6)	5.16	8.90	2.00	紀の川下流	南海本線 紀ノ川橋梁
12	紀の川	右岸	新堤防・破堤跡・旧川跡	要注意	和歌山市栗 ～和歌山市船所	4.2 ～ 4.4	430	12,000 (4.2)	5.60	8.26	2.00	紀の川下流	旧川跡
14	紀の川	左岸	新堤防・破堤跡・旧川跡	要注意	和歌山市中之島	4.6 ～ 5.2	779	12,000 (4.8)	5.49	9.24	2.00	紀の川下流	旧川跡
15	紀の川	右岸	新堤防・破堤跡・旧川跡	要注意	和歌山市園部	6.2 ～ 6.4	752	12,000 (6.2)	6.66	10.26	2.00	紀の川下流	旧川跡
16	紀の川	左岸	工作物	A	和歌山市有本	6.2 ＋ 0.0	－	12,000 (6.2)	6.66	11.78	2.00	紀の川下流	有本樋門
17	紀の川	左岸	新堤防・破堤跡・旧川跡	要注意	和歌山市有本 ～和歌山市出島	6.4 ～ 9.6	3,538	12,000 (8.0)	9.87	11.95	2.00	紀の川下流	旧川跡
53	紀の川	左岸	工作物	B	和歌山市松島	6.8 ＋ 160	－	12,000 (6.8)	7.49	10.86	2.00	紀の川下流	JR阪和線 紀の川橋梁
22	紀の川	左岸	工作物	A	和歌山市松島	7.6 ＋ 100.0	－	12,000 (7.6)	9.33	11.45	2.00	紀の川下流	県営第二工水取水口
501	紀の川	左岸	越水 （溢水）	B	和歌山市松島	7.8	204	12,000 (7.8)	9.65	11.56	2.00	紀の川下流	
301	紀の川	右岸	工作物	B	和歌山市直川、 和歌山市田屋	7.8 ＋ 43.2	－	12,000 (7.8)	9.65	12.02	2.00	紀の川下流	紀の川橋（阪和道）
73-1	紀の川	左岸	堤体漏水	B	和歌山市出島	8.0	205	12,000 (8.0)	9.87	11.95	2.00	紀の川下流	
511	紀の川	左岸	基礎地盤漏水	B	和歌山市出島	8.0	205	12,000 (8.4)	9.87	11.95	2.00	紀の川下流	
70	紀の川	右岸	堤体漏水	B	和歌山市小豆島	8.4 ～ 9.0	780	12,000 (8.6)	10.58	12.62	2.00	紀の川下流	
73-2	紀の川	左岸	堤体漏水	B	和歌山市出島 ～和歌山市布施屋	8.4 ～ 12.2	4,176	12,000 (10.2)	12.11	14.57	2.00	紀の川下流	
302	紀の川	右岸	工作物	B	和歌山市小豆島	8.8 ＋ 170.4	－	12,000 (8.8)	10.74	12.92	2.00	紀の川下流	北田井ノ瀬橋
23	紀の川	左岸	工作物	B	和歌山市出島	9.0 － 84.5	－	12,000 (9.0)	11.17	13.37	2.00	紀の川下流	南田井ノ瀬橋
21-2	紀の川	右岸	越水 （溢水）	B	和歌山市小豆島 ～和歌山市永穂	9.0 ～ 10.0	1,092	12,000 (9.4)	11.77	13.55	2.00	紀の川下流	
24	紀の川	右岸	新堤防・破堤跡・旧川跡	要注意	和歌山市小豆島 ～和歌山市永穂	9.4 ～ 9.6	317	12,000 (9.4)	11.77	13.55	2.00	紀の川下流	旧川跡

① 図面対象番号	② 河川名	③ 左右岸の別	④ 種　別	⑤ 重要度	⑥ 地　先　名	⑦ 距離杭	⑧ 延　長	⑨ 対象とする流量	⑩ 対象とする流量を現河道に流した時の水位	⑪ 現堤防高	⑫ 計画堤防余裕高	⑬ 担当出張所	⑭ 備　考
18-3	紀の川	左岸	越水（溢水）	B	和歌山市出島	9.4 ～ 9.6	426	12,000 (9.4)	11.77	13.65	2.00	紀の川下流	
78	紀の川	左岸	基礎地盤漏水	B	和歌山市出島	9.4	217	12,000 (9.4)	11.77	13.65	2.00	紀の川下流	
79	紀の川	右岸	基礎地盤漏水	B	和歌山市永穂	9.8 ～ 10.0	391	12,000 (9.8)	11.96	13.67	2.00	紀の川下流	
25	紀の川	左岸	新堤防・破堤跡・旧川跡	要注意	和歌山市出島 ～和歌山市吐前	10.0 ～ 12.4	2,651	12,000 (11.2)	12.83	15.47	2.00	紀の川下流	旧川跡
27	紀の川	右岸	新堤防・破堤跡・旧川跡	要注意	和歌山市永穂 ～岩出市中島	10.4 ～ 14.2	4,080	12,000 (12.2)	13.81	17.17	2.00	紀の川下流	旧川跡
127	紀の川	右岸	水衝洗掘	B	和歌山市川辺	12.6	350	12,000 (12.6)	14.12	17.41	2.00	紀の川下流	
31	紀の川	左岸	新堤防・破堤跡・旧川跡	要注意	和歌山市吐前	13.0	216	12,000 (13.0)	14.68	17.77	2.00	紀の川下流	旧川跡
34	紀の川	左岸	新堤防・破堤跡・旧川跡	要注意	和歌山市吐前	13.8	200	12,000 (13.8)	15.99	18.73	2.00	紀の川下流	旧川跡
271	紀の川	右岸	新堤防・破堤跡・旧川跡	要注意	岩出市中島	14.8	119	12,000 (14.8)	17.37	21.12	2.00	紀の川下流	旧川跡
36	紀の川	右岸	新堤防・破堤跡・旧川跡	要注意	岩出市中島 ～岩出市宮	15.8 ～ 16.6	1,224	12,000 (16.2)	19.39	23.95	2.00	紀の川下流	旧川跡
38	紀の川	左岸	堤体漏水	A	岩出市船戸	16.6	211	12,000 (16.6)	19.73	21.86	2.00	紀の川下流	パラペット区間 （堤防断面）
39	紀の川	左岸	陸閘	要注意	岩出市船戸	16.6 － 77	－	12,000 (16.6)	19.73	21.86	2.00	紀の川下流	船戸第一陸閘
40	紀の川	左岸	陸閘	要注意	岩出市船戸	16.6 ＋ 59.9	－	12,000 (16.6)	19.73	21.86	2.00	紀の川下流	船戸第二陸閘
42	紀の川	右岸	工作物	A	岩出市清水	16.8 ＋ 79.2	－	12,000 (16.8)	20.45	24.83	2.00	紀の川下流	岩出樋管
43	紀の川	右岸	工作物	A	岩出市清水	16.8 ＋ 148	－	12,000 (16.8)	20.45	24.83	2.00	紀の川下流	岩出井堰
41	紀の川	右岸	新堤防・破堤跡・旧川跡	要注意	岩出市清水	16.8	－	12,000 (16.8)	20.45	24.83	2.00	紀の川下流	破堤跡 (S28.09)
44	紀の川	右岸	工作物	A	岩出市清水	17.0 ＋ 89.0	－	12,000 (17.0)	23.75	26.14	2.00	紀の川下流	岩出第一樋管
45-2	紀の川	右岸	越水（溢水）	B	岩出市高塚 ～紀の川市下井阪	19.0 ～ 21.0	2,074	9,500 (20.0)	26.29	27.37	2.00	紀の川下流	
46	紀の川	右岸	新堤防・破堤跡・旧川跡	要注意	岩出市高塚	19.0	393	12,000 (19.0)	25.37	26.01	2.00	紀の川下流	旧川跡
47	紀の川	左岸	越水（溢水）	B	岩出市山崎	19.0 ～ 19.2	684	12,000 (19.0)	25.37	26.21	2.00	紀の川下流	
48	紀の川	右岸	新堤防・破堤跡・旧川跡	要注意	岩出市岡田	19.6	－	9,500 (19.6)	26.20	27.09	1.50	紀の川下流	破堤跡 (S34.09)
50-1	紀の川	左岸	越水（溢水）	B	紀の川市桃山町調月 ～紀の川市桃山町段新田	19.6 ～ 22.4	3,132	9,500 (21.0)	27.12	27.58	1.50	紀の川下流	
51	紀の川	左岸	新堤防・破堤跡・旧川跡	要注意	紀の川市桃山町調月	19.8	－	9,500 (19.8)	26.23	27.36	1.50	紀の川下流	破堤跡 (S34.09)
49	紀の川	左岸	新堤防・破堤跡・旧川跡	要注意	紀の川市桃山町調月 ～紀の川市桃山町段	19.6 ～ 20.4	1,130	9,500 (20.0)	26.29	27.37	1.50	紀の川下流	旧川跡
52	紀の川	右岸	工作物	A	岩出市岡田	20.2 － 3.6	－	9,500 (20.2)	26.40	27.30	1.50	紀の川下流	岡田樋管
272	紀の川	左岸	新堤防・破堤跡・旧川跡	要注意	紀の川桃山町市段	20.4	－	9,500 (20.4)	26.47	26.80	1.50	紀の川下流	破堤跡 (S28.09)
303	紀の川	右岸	工作物	B	紀の川市下井阪	20.8 ＋ 120.2	－	9,500 (20.8)	26.61	27.90	1.50	紀の川下流	井阪橋
55	紀の川	右岸	新堤防・破堤跡・旧川跡	要注意	紀の川市下井阪	20.8 ～ 21.0	407	9,500 (20.8)	26.61	27.90	1.50	紀の川下流	旧川跡

1-8

放射性同位元素等取扱事業所一覧

県危機管理・消防課
（令和6年3月31日現在）

	事業所名	許可･届出区分
1	日本赤十字社 和歌山医療センター	許可使用者
2	日本製鉄株式会社 関西製鉄所 和歌山地区	許可使用者
3	独立行政法人国立病院機構 和歌山病院	許可使用者
4	独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター	許可使用者
5	医療法人 西村会 向陽病院	許可使用者
6	株式会社 新日本科学 薬物代謝分析センター	許可使用者
7	公立 那賀病院	許可使用者
8	公立大学法人 和歌山県立医科大学	許可使用者
9	公立大学法人 和歌山県立医科大学附属病院	許可使用者
10	東洋検査工業株式会社 インフラ技術センター	許可使用者
11	新宮市立医療センター	許可使用者
12	橋本市民病院	許可使用者
13	紀南病院	許可使用者
14	医療法人 昭陽会 和歌山南放射線科クリニック	許可使用者
15	和歌山労災病院	許可使用者
16	和歌山県環境衛生研究センター	届出使用者
17	和歌山県農業試験場	届出使用者
18	加賀エアロシステム株式会社	届出使用者
19	和歌山県防災航空センター	届出使用者
20	株式会社後藤建設	届出使用者
21	岡崎工業株式会社 和歌山科学研究センター	表示付認証機器届出使用者
22	日鉄テクノロジー株式会社 関西事業所	表示付認証機器届出使用者
23	有限会社和歌山アナライズ	表示付認証機器届出使用者
24	協同組合 中紀環境科学	表示付認証機器届出使用者
25	和建技術株式会社	表示付認証機器届出使用者
26	和歌山市消防局	表示付認証機器届出使用者
27	由良ドック株式会社	表示付認証機器届出使用者
28	和歌山県警察本部警備部機動隊	表示付認証機器届出使用者
29	消防テクノス株式会社	表示付認証機器届出使用者
30	藤本製薬株式会社 和歌山工場	表示付認証機器届出使用者
31	西村工業株式会社	表示付認証機器届出使用者
32	一般財団法人 雑賀技術研究所	表示付認証機器届出使用者
33	医療法人 昭陽会 和歌山南放射線科クリニック	表示付認証機器届出使用者

34	株式会社阪和総合防災	表示付認証機器届出使用者
35	航空自衛隊 第5警戒隊	表示付認証機器届出使用者
36	三友防災有限会社	表示付認証機器届出使用者
37	大成建設株式会社 近畿道江住地区改良工事作業所	表示付認証機器届出使用者
38	株式会社 安藤･間 安宅トンネル作業所	表示付認証機器届出使用者
39	西村工業株式会社 粉河作業所	表示付認証機器届出使用者
40	益田工業有限会社 国道24号栗栖地区管渠補修工事作業所	表示付認証機器届出使用者
41	岡本土石工業株式会社 生コンクリート部 新宮工場	表示付認証機器届出使用者
42	株式会社 日比野生コン 新宮工場	表示付認証機器届出使用者
43	セントラルコンクリート株式会社	表示付認証機器届出使用者
44	西松建設株式会社 南紀芝山出張所	表示付認証機器届出使用者
45	株式会社日比野生コン 勝浦工場	表示付認証機器届出使用者
46	奥村組土木興業株式会社 紀北東道路中津川地区改良工事	表示付認証機器届出使用者
47	西村工業株式会社 和歌山岬道路平井地区工事用道路設置工事	表示付認証機器届出使用者
48	有限会社マルヤマ三紀商会	表示付認証機器届出使用者
49	株式会社夏山組 池田地区築堤その他工事	表示付認証機器届出使用者
50	日鉄住金ビジネスサービス和歌山株式会社	表示付認証機器届出使用者
51	株式会社ケイ･エステクノロジー	表示付認証機器届出使用者
52	株式会社合同興業 京奈和自動車道法面復旧等整備工事事務所	表示付認証機器届出使用者
53	テッラ地質	表示付認証機器届出使用者
54	有限会社ボウキョウ	表示付認証機器届出使用者
55	すさみ串本道路サンゴ台中央線北地区改良工事	表示付認証機器届出使用者
56	株式会社葵消防設備	表示付認証機器届出使用者
57	大阪ガス株式会社 ネットワークカンパニー 南部導管部 保全チーム 他工事和歌山グループ	表示付認証機器届出使用者
58	大豊建設株式会社 あやの台造成作業所	表示付認証機器届出使用者
59	株式会社上田労働衛生コンサルタント	表示付認証機器届出使用者
60	日本赤十字社 和歌山医療センター	表示付認証機器届出使用者
61	戸田建設株式会社 大阪支店 東地トンネル工事作業所	表示付認証機器届出使用者
62	鉄建建設株式会社 大阪支店 すさみ中平見トンネル作業所	表示付認証機器届出使用者
63	奈和建設株式会社 令和4年度県債ため池等第97号－1 平谷池改修（その2）工事	表示付認証機器届出使用者
64	株式会社上平建設 現場	表示付認証機器届出使用者
65	一般社団法人和歌山県薬剤師会医薬品･公衆衛生検査センター	表示付認証機器届出使用者
66	株式会社後藤建設	表示付認証機器届出使用者

（原子力規制委員会資料）

２．防災関連組織

2-1

和歌山市防災会議条例

昭和３８年３月１２日
条例第１６号
改正　昭和５４年９月２７日条例第２２号
平成８年３月２６日条例第３１号
平成１２年４月１日条例第９３号
平成２４年１０月１日条例第４１号

（目的）

第１条　この条例は、災害対策基本法（昭和３６年法律第２２３号。第３条において「法」という。）第１６条第６項の規定に基づき、和歌山市防災会議（以下「防災会議」という。）の所掌事務及び組織を定めることを目的とする。

（所掌事務）

第２条　防災会議は、次に掲げる事務をつかさどる。

(1) 和歌山市地域防災計画を作成し、及びその実施を推進すること。

(2) 市長の諮問に応じて本市の地域に係る防災に関する重要事項を審議すること。

(3) 前号に規定する重要事項に関し、市長に意見を述べること。

(4) 本市の地域に係る災害が発生した場合において、当該災害に係る災害復旧に関し、本市及び関係各機関相互間の連絡調整を図ること。

(5) 前各号に掲げるもののほか、法律又はこれに基づく政令により、その権限に属する事務。

（会長及び委員）

第３条　防災会議は、会長及び委員をもつて組織する。

２　会長は、市長をもつて充てる。

３　会長は、会務を総理する。

４　会長に事故があるときは、あらかじめその指名する委員がその職務を代理する。

５　委員は、市長が、第１号から第４号及び第８号から第１０号までに掲げる者のうちから委嘱し、及び第５号に掲げる者のうちから任命し、並びに第６号及び第７号に掲げる職にある者をもつて充てる。

(1) 指定地方行政機関（法第２条第４号に規定する指定地方行政機関をいう。）の職員

(2) 和歌山県の知事の部内の職員

(3) 和歌山県警察の警察官

(4) 陸上自衛隊の自衛官

(5) 本市の職員

(6) 和歌山市教育委員会の教育長

(7) 和歌山市消防長及び和歌山市消防団長

(8) 本市の地域において業務を行う指定公共機関（法第２条第５号に規定する指定公共機関をいう。次条において同じ。）又は指定地方公共機関（同条第６号に規定する指定地方公共機関をいう。次条において同じ。）の役員又は職員

(9) 自主防災組織（法第５条第２項に規定する自主防災組織をいう。）を構成する者又は学識経験のある者

(10) 前各号に掲げる者のほか、市長が特に必要と認める者

６　前項の委員の定数は、４０人以内とする。

７　第５項第８号から第１０号に掲げる者のうちから委嘱された委員の任期は、２年とする。ただし、補欠の委員の任期は、その前任者の残任期間とする。

８　前項の委員は、再任されることができる。

（専門委員）

第４条　防災会議に、専門の事項を調査させるために専門委員を置くことができる。

２　専門委員は、関係地方行政機関の職員、和歌山県の職員、本市の職員、関係指定公共機関の職員、関係指定地方公共機関の職員及び学識経験のある者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

３　専門委員は、当該専門の事項に関する調査が終了したときは、解任されるものとする。

（幹事）

第５条　防災会議に幹事を置く。

２　幹事は、委員の属する機関の職員のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

３　幹事は、防災会議の所掌事務について委員及び専門委員を補佐する。

（議事等）

第６条　前各条に定めるもののほか防災会議の議事その他防災会議の運営に関し必要な事項は、会長が防災会議にはかつて定める。

附　則

この条例は、公布の日から施行する。

附　則　　（昭和５４年９月２７日）

この条例は、公布の日から施行する。

附　則　　（平成８年３月２６日）

この条例は、平成８年４月１日から施行する。

附　則　　（平成１２年３月２７日）

この条例は、平成１２年４月１日から施行する。

附　則　　（平成２４年１０月１日）

この条例は、平成２４年１０月１日から施行する。

2-2

和歌山市防災会議運営要綱

（目　　的）

第１条　この要綱は、和歌山市防災会議条例（昭和38年条例第16号、以下「条例」という。）第６条の規定に基づき防災会議（以下「会議」という。）の議事及び運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。

（会　　議）

第２条　会議は、会長が招集し、会長は会議の議長となる。

２　会議は、委員の２分の１以上が出席しなければ開くことができない。

３　会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

４　会議は、必要な場合には、書面において開催することができる。

（専　　決）

第３条　会長は、会議を招集する暇がないと認めるときは、会議の権限に属する事項を専決処分することができる。

２　前項の規定による処分については、次回の会議においてこれを報告し、その承認を求めなければならない。

（幹　事　会）

第４条　会議に幹事を置く。

２　幹事会は、あらかじめ会長が指名する幹事が招集し、その議長とする。

（会議録署名委員）

第５条　会長は、会議録を調整し、会長の指名する２人以上の委員とともに署名しなければならない。

（公表等の方法）

第６条　地域防災計画を作成し、又は修正した場合の公表その他防災会議が行う公表等は和歌山市公告式条例（昭和25年条例第35号）の例による。

（そ　の　他）

第７条　その他必要な事項は、その都度会議にはかって決定する。

附　則

この要綱は、昭和38年８月26日から施行する。

附　則

この要綱は、令和３年１月22日から施行する。

2-3

和歌山市防災会議委員・幹事名簿

委　　員（40名）

１　号　委　員

和歌山地方気象台　次長

近畿運輸局和歌山運輸支局　支局長

近畿農政局和歌山県拠点　企画調整室総括農政推進官

近畿地方整備局和歌山河川国道事務所　所長

和歌山海上保安部　部長

近畿地方整備局和歌山港湾事務所　所長

２　号　委　員

和歌山県危機管理部長

３　号　委　員

和歌山西警察署　署長

和歌山東警察署　署長

和歌山北警察署　署長

４　号　委　員

陸上自衛隊第３７普通科連隊　連隊長

５　号　委　員

和歌山市副市長

和歌山市副市長

和歌山市公営企業管理者

６　号　委　員

和歌山市　教育長

７　号　委　員

和歌山市　消防局長

和歌山市　消防団長

８　号　委　員

大阪ガスネットワーク株式会社　南部事業部導管計画チームマネージャー

日本赤十字社和歌山県支部　総務係長

日本放送協会和歌山放送局　局長

関西電力送配電株式会社和歌山本部　地域担当部長

西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部和歌山支社　防災担当

西日本電信電話株式会社和歌山支店　設備部長

日本通運株式会社和歌山支店　支店長

南海電気鉄道株式会社　公共交通グループ　安全推進部長

和歌山バス株式会社　経営企画チーム長　次長

株式会社和歌山放送　報道制作部副部長

株式会社テレビ和歌山　報道部長

９　号　委　員

国立大学法人和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センター　センター員

国立大学法人和歌山大学　システム工学部　助教

１０　号　委　員

一般社団法人和歌山市医師会　会長

和歌山市婦人防火クラブ連合会　会長

和歌山商工会議所　専務理事

和歌山県看護協会　専務理事

和歌山市民生委員・児童委員協議会　会長

和歌山市社会福祉協議会　副会長

ＢＰＷ和歌山クラブ　副会長

和歌山市小学校ＰＴＡ連合会　交流推進部長

和歌山市地域活動連絡協議会　会長

日本ボーイスカウト和歌山地区協議会　会長

幹　　事　（36名）

和歌山地方気象台　防災管理官

近畿運輸局和歌山運輸支局　首席運輸企画専門官

近畿農政局和歌山県拠点　企画調整室総括農政推進官

近畿地方整備局和歌山河川国道事務所　防災課長

和歌山海上保安部　警備救難課長

近畿地方整備局和歌山港湾事務所　企画調整課長

和歌山県海草振興局建設部　参事・建設部長

和歌山県総務部危機管理局防災企画課　課長

和歌山西警察署　副署長

和歌山東警察署　副署長

和歌山北警察署　副署長

陸上自衛隊第３７普通科連隊　第１中隊長

大阪ガネットワーク株式会社　南部事業部緊急保安チームマネージャー

日本赤十字社和歌山県支部　事業推進課長

日本放送協会和歌山放送局　コンテンツセンター長

関西電力送配電株式会社和歌山本部　統括グループ副長（地域）

西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部和歌山支社　担当課長

西日本電信電話株式会社和歌山支店　設備部　災害対策室次長

日本通運株式会社和歌山支店　次長

南海電気鉄道株式会社　公共交通グループ安全推進部課長

和歌山バス株式会社　営業部課長

株式会社和歌山放送　エグゼクティブアナウンサー・ディレクター

株式会社テレビ和歌山　報道部副部長

一般社団法人和歌山市医師会　副会長

和歌山市危機管理局長

〃　市長公室長

〃　総務局長

〃　財政局長

〃　市民環境局長

〃　健康局長

〃　福祉局長

〃　産業交流局長

〃　都市建設局長

〃　企業局長

〃　教育局長

〃　消防局副局長

2-4

和歌山市災害対策本部条例

昭和38年３月１２日

条例第17号制定

改正　平成８年７月３日条例第41号

（趣　　旨）

第１条　この条例は、災害対策基本法（昭和36年法律第 223号）第23条の2第8項の規定に基づき、和歌山市災害対策本部（以下「災害対策本部」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

（組　　織）

第２条　災害対策本部長は、災害対策本部の事務を総括し、職員を指揮監督する。

２　災害対策副本部長は、災害対策本部長を助け、災害対策本部長に事故があるときは、その職務を代理する。

３　災害対策本部員は、災害対策本部長の命を受け、災害対策本部の事務に従事する。

（　　部　　）

第３条　災害対策本部長は、必要と認めるときは、災害対策本部に部を置くことができる。

２　部に属する災害対策本部員は、災害対策本部長が指名する。

３　部に部長を置き、災害対策本部長の指名する災害対策本部員がこれに当たる。

４　部長は、部の事務を掌理する。

（現地災害対策本部）

第４条　現地災害対策本部に現地災害対策本部長、現地災害対策副本部長及び現地災害対策本部員その他の職員を置き、災害対策副本部長、災害対策本部員その他の職員のうちから災害対策本部長が指名する。

２　現地災害対策本部長は、現地災害対策本部の事務を掌理する。

３　現地災害対策副本部長は、現地災害対策本部長を助け、現地災害対策本部長に事故があるときは、その職務を代理する。

（雑　　則）

第５条　前３条に定めるもののほか、災害対策本部に関し必要な事項は、災害対策本部長が定める。

附　則

この条例は、公布の日から施行する。

附　則　　（平成８年７月３日）

この条例は、公布の日から施行する。

2-5

関係機関連絡先

（国）

名　　称	所　在　地	電 話	FAX
近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所	和歌山市西汀丁16番	424-2471	436-6231
近畿農政局（和歌山県拠点）	和歌山市二番丁3 和歌山地方合同庁舎5F	436-3831	436-0914
近畿運輸局和歌山運輸支局	和歌山市湊1106-4	422-2130	435-1771
和歌山地方気象台	和歌山市男野芝丁4	422-5348	435-3132
近畿地方整備局和歌山港湾事務所	和歌山市湊薬種畑の坪1344	422-8198	435-2089
海上保安庁和歌山海上保安部	和歌山市築港6丁目22-2	402-5851	402-5854
消防庁	東京都千代田区霞が関2-1-2	03-5253-5111	
消防庁防災課　応急対策室	東京都千代田区霞が関2-1-2	03-5253-7527	03-5253-7537

（自衛隊）

名　　称	所　在　地	電 話	FAX
陸上自衛隊　第37普通科連隊	和泉市伯太町官有地	0725-41-0090	0725-41-0090

（県）

名　　称	所　在　地	電 話	FAX
和歌山県庁 危機管理部危機管理局 災害対策課	和歌山市小松原通1丁目1	441-2262 夜間休日緊急 441-3300	422-7652 夜間休日緊急 431-5776
海草振興局地域づくり部	和歌山市湊通丁北1-2-1	441-3477	423-9269
和歌山下津港湾事務所	和歌山市築港6丁目22	431-7266	431-7165
海草振興局建設部	和歌山市森小手穂227	488-7876	488-5182
防災航空センター	和歌山県西牟婁郡白浜町3031-56	0739-45-8211	0739-45-8213

（公共機関）

名　　称	所　在　地	電 話	FAX
西日本旅客鉄道（株）近畿統括本部 和歌山支社	和歌山市吉田94番地の1	425-6094	425-6096
西日本電信電話(株) 和歌山支店災害対策室	和歌山市宇須1-5-41	421-9180	433-2391
関西電力送配電(株)　和歌山配電営業所	和歌山市岡山丁40	463-0604	463-0608
大阪ガスネットワーク㈱ 南部事業部	堺市堺区住吉橋町2-2-19	【地震津波発生時】 平日日中　072-238-2375 休日夜間　072-222-0589 【上記以外の災害発生時】 平日日中　072-238-2375 休日夜間　072-238-2716	【地震津波発生時】 平日日中　072-222-3476 休日夜間　072-222-3476 【上記以外の災害発生時】 平日日中　072-222-3476 休日夜間　06-6205-3373

日本赤十字社 和歌山県支部事業推進課	和歌山市吹上2-1-22	422-7141	422-7148
日本放送協会和歌山放送局	和歌山市吹上2-3-47	424-8111（代表）	424-8149
西日本高速道路（株） 関西支社和歌山高速道路事務所	和歌山市栗栖字中須1038-2	472-2091	473-1584
紀の川土地改良区連合	和歌山市雑賀屋町東ノ丁26	423-3177	431-7188
郵便事業（株）和歌山支店	和歌山市一番丁4	422-0070	425-3154
日本通運(株)　和歌山支店	和歌山市西浜796-1	431-3101	428-2669

（地方公共機関）

名　　称	所　在　地	電 話	FAX
南海電気鉄道(株)	大阪市浪速区敷津東2丁目1-41	06-6644-7193	06-6644-7163
和歌山バス(株)	和歌山市和歌浦西1-8-1	445-9133	445-7271
和歌山電鐵（株）	和歌山市伊太祈曽73	478-4131	466-3577
一般社団法人和歌山県ＬＰｶﾞｽ協会	和歌山市黒田102-1	475-4740	475-4741
（株）和歌山放送	和歌山市湊本町3―3	428-1431（代表）	428-0785
（株）テレビ和歌山	和歌山市栄谷151	455-5711（代表）	453-9543
一般社団法人　和歌山県医師会	和歌山市小松原通1-1 (和歌山県民文化会館5階)	424-5101	436-0530
一般社団法人　和歌山市医師会	和歌山市手平2-1-2 (和歌山ビッグ愛)	435-5199	435-5205

(警察)

名　　称	所　在　地	電　話	FAX
和歌山県警察本部	和歌山市小松原通1-1	423-0110	423-0110
和歌山西警察署	和歌山市吹上1-6-30	424-0110	424-5850
和歌山東警察署	和歌山市栗栖686-7	475-0110	475-1050
和歌山北警察署	和歌山市松江北2-1-41	453-0110	453-0116

（報道機関）

テレビ・ラジオ

名　　称	所　在　地	電　話	FAX
日本放送協会	和歌山市吹上2-3-47	424-8121（報道）	424-8149
（株）和歌山放送	和歌山市湊本町3―3	432-7161（報道）	428-0785
（株）テレビ和歌山	和歌山市栄谷151	455-3211（報道）	453-9543

（災害拠点病院・災害支援病院）

名　　称	所　在　地	電 話	FAX
和歌山県立医科大学附属病院	和歌山市紀三井寺811―1	447-2300	441-0515
日本赤十字社和歌山医療センター	和歌山市小松原通4―20	422-4171	426-1168
和歌山労災病院	和歌山市木ノ本93-1	451-3181	452-7171
済生会和歌山病院	和歌山市十二番丁45	424-5185	425-6485

2-6

防災ボランティア団体

名　　称	人　員　等	結 成 年 月 日
和歌山市虎伏災害救援隊	5事業所	平成11年5月10日

2-7

自主防災組織結成状況

名　　称	結成年月日
加太地区防災会	平成 7年4月 1日
三田地区防災会	平成10年4月 1日
東山東地区防災会	平成10年4月 1日
有功地区防災会	平成10年7月17日
田野地区防災会	平成10年7月23日
吹上地区防災会	平成10年8月 1日
山口地区防災会	平成10年8月 1日
本町地区防災会	平成10年8月 3日
安原地区防災会	平成10年8月 5日
岡崎地区防災会	平成10年8月 7日
西山東地区防災会	平成10年8月10日
宮地区防災会	平成10年8月11日
大新地区防災会	平成11年4月 1日
今福地区防災会	平成11年6月11日
新南地区防災会	平成11年7月 1日
木本地区防災会	平成11年7月 1日
紀伊地区防災会	平成11年7月30日
砂山地区防災会	平成11年8月 1日
宮前地区防災会	平成11年8月 1日
西脇地区防災会	平成11年8月 1日
直川地区防災会	平成11年8月 1日
西和佐地区防災会	平成11年8月 3日
和歌浦地区防災会	平成11年8月 6日
和佐地区防災会	平成11年8月17日
松江地区防災会	平成12年6月26日
雄湊地区防災会	平成12年7月 1日
高松地区防災会	平成12年6月27日
芦原地区防災会	平成12年7月 1日
楠見地区防災会	平成12年7月28日
川永地区防災会	平成12年8月 1日
広瀬地区防災会	平成12年8月24日
貴志地区防災会	平成12年8月11日
小倉地区防災会	平成12年8月 1日
宮北地区防災会	平成12年8月 1日
四箇郷地区防災会	平成12年4月 1日
城北地区防災会	平成13年6月25日
雑賀地区防災会	平成13年5月16日
中之島地区防災会	平成13年4月26日
雑賀崎地区防災会	平成13年5月12日
湊地区防災会	平成13年7月31日
野崎地区防災会	平成13年6月30日
名草地区防災会	平成13年8月10日

2-8

防火協力団体

名　　称	数
和歌山市防火委員会連合会	42地区
和歌山市婦人防火クラブ連合会	26　隊

３．警戒期及び発災後の情報収集・連絡体制関連資料

3-1

和歌山市防災行政無線設備一覧表

１．同報系

(1) 親局　和歌山市役所　（操作設備　消防庁舎６階　総合防災課）
（屋外拡声設備　市役所屋上）

(2) 屋外拡声子局

（224局）

番号	地区	時差	局　名	所　在　地	緯　度	経　度
1	加太	A	友ヶ島灯台	加太大字苫ヶ沖島2673番地の1	34.280517	135.000601
2	加太	B	野奈浦	加太大字苫ヶ沖島2673番地の1	34.283337	135.008332
3	加太	A	南垂水	加太大字苫ヶ沖島2673番地の1	34.280667	135.013947
4	加太	A	大川港	大川字村坪16番地先	34.307929	135.088426
5	加太	B	深山会館	深山105番地	34.289583	135.074264
6	加太	A	城ヶ崎	加太2609番1	34.286693	135.071388
7	加太	B	加太港緑地	加太2693番1地先	34.278919	135.071834
8	加太	B	加太漁港	加太大波止	34.276552	135.067250
9	加太	A	加太小学校	加太1210	34.275026	135.076337
10	加太	B	加太東	加太1108番59地先	34.271791	135.083907
11	加太	A	見晴らしの丘	加太1823番地2	34.267207	135.069023
12	加太	A	加太サニータウン	加太2201-4地先	34.264611	135.073420
13	西脇	A	磯ノ浦ネオポリス	磯の浦西大堤555番222	34.270988	135.092493
14	西脇	A	つつじが丘北	つつじが丘3丁目19番地	34.272940	135.102461
15	西脇	A	つつじが丘南	つつじが丘4丁目4番地　つつじが丘ﾃﾆｽｺｰﾄ場敷地内	34.269045	135.101733
16	西脇	A	磯ノ浦	磯の浦337番地の1	34.261322	135.091094
17	西脇	B	西脇漁港	本脇海岸地先	34.256721	135.099652
18	西脇	A	西脇小学校	西庄1012	34.258250	135.104287
19	西脇	B	西庄南	西庄1037番地	34.254012	135.110917
20	西脇	A	八幡台小学校	西庄1110	34.265180	135.116670
21	西脇	B	西庄公園	西庄 215 番地	34.259768	135.116966
22	木本	A	古屋	古屋488-1	34.249486	135.120487
23	木本	A	木本小学校	榎原255	34.257230	135.126435
24	木本	A	木ノ本北	木ノ本1450番81	34.270997	135.130230
25	木本	A	木ノ本文化会館	木ノ本728-2　木ノ本文化会館敷地内	34.263335	135.134792
26	松江	B	松江小学校	松江北4丁目1-1	34.252045	135.134680

番号	地区	時差	局　　名	所　在　地	緯　　度	経　　度
27	松江	A	松江西	松江2044番227	34.247717	135.124500
28	松江	B	松江連絡所	松江中3丁目4番17号　松江連絡所敷地内	34.248518	135.133186
29	松江	A	松江東	松江東1丁目1545-12	34.241727	135.139217
30	湊	A	湊小学校	湊2丁目17-40	34.233258	135.144525
31	湊	B	湊	湊5丁目42番地(622番地)	34.228497	135.145222
32	湊	B	湊中州	湊1820番43地先	34.234346	135.151436
33	湊	A	日本製鉄１	湊1850番地内(鋼片工場南側)	34.248697	135.107135
34	湊	A	日本製鉄２	湊1850番地内(パイプヤード南側)	34.244288	135.113566
35	湊	A	日本製鉄３	湊字浜の坪2675-33	34.228527	135.107945
36	湊	A	日本製鉄４	湊1850番地内(黒潮グランド西側)	34.225503	135.126640
37	湊	A	日本製鉄５	湊1850番地内(高炉セメント前)	34.225589	135.137753
38	貴志	B	藤戸台配水池	栄谷字城谷974番3	34.270578	135.153965
39	貴志	A	貴志中学校	梅原579番地の2	34.266378	135.143509
40	貴志	A	貴志南小学校	中野11-1	34.256835	135.140233
41	貴志	B	貴志雨水ポンプ場	土入75番1　貴志雨水ポンプ場敷地内	34.252335	135.145115
42	貴志	B	貴志小学校	栄谷895-2	34.259756	135.150075
43	貴志	A	藤戸台小学校	栄谷974-245	34.270723	135.155481
44	貴志	A	栄谷南公園	栄谷字茶屋ノ前83-1	34.256223	135.158410
45	野崎	B	島橋公園	島橋西ノ丁62-130	34.244787	135.146611
46	野崎	A	野崎西小学校	梶取301-3	34.251137	135.152192
47	野崎	A	河北中学校	北島370番地の1	34.241017	135.152909
48	野崎	B	野崎小学校	野崎130-1	34.243588	135.158855
49	野崎	A	北島団地	北島433-1(市営北島団地敷地内)	34.238644	135.158582
50	野崎	A	福島	福島字向840番3	34.245718	135.163820
51	野崎	B	福島小学校	福島135-4	34.251131	135.163933
52	楠見	B	平井ふれあいセンター	平井72番1　平井複合施設	34.259724	135.165449
53	楠見	A	楠見西小学校	市小路31	34.257605	135.167443
54	楠見	A	粟団地	粟127(市営粟団地敷地内)	34.249742	135.172911
55	楠見	A	楠見小学校	大谷349-2	34.259076	135.176011
56	楠見	B	楠見ポンプ場用地	粟331-2	34.251334	135.175017
57	楠見	B	楠見中学校	善明寺706番地	34.266181	135.180080
58	楠見	B	楠見東小学校	善明寺150-1	34.257272	135.181709
59	楠見	A	船所	船所200番6地先	34.252562	135.184783
60	有功	A	鳴滝小学校	善明寺615-3	34.265759	135.186675
61	有功	B	園部	園部1239番8	34.254612	135.188517
62	有功	B	有功小学校	園部1453	34.263687	135.196491
63	有功	A	市立和歌山高校	六十谷45番地	34.261225	135.198186

番号	地区	時差	局　　名	所　在　地	緯　　度	経　　度
64	有功	A	有功東配水池	六十谷字下田塚1289番2	34.276145	135.209017
65	有功	A	有功東小学校	六十谷895	34.267634	135.204832
66	有功	A	六十谷第１浄水場	六十谷287-1	34.258100	135.205875
67	直川	A	あさひ公園	直川2871-118、-123、2874-32	34.273129	135.211155
68	直川	A	直川北	直川2336番地(直川消防団第２分団器具庫付近)	34.280627	135.215402
69	直川	A	直川小学校	直川1253	34.263965	135.215830
70	直川	A	直川ニュータウン	直川753-15	34.268474	135.221353
71	直川	A	さんさん公園	直川328番6	34.258885	135.219759
72	紀伊	A	小豆島	小豆島350番地先	34.251043	135.227557
73	紀伊	B	府中ポンプ所	府中1391-8	34.269425	135.231831
74	紀伊	A	府中児童遊園	府中1011-47	34.264273	135.232827
75	紀伊	A	西田井児童遊園	西田井157番31	34.258650	135.235572
76	紀伊	B	紀伊小学校	弘西321	34.267131	135.238283
77	紀伊	A	鴨居川団地公園	北101番17号	34.259926	135.243057
78	紀伊	A	紀伊中学校	北野544	34.270889	135.244435
79	紀伊	B	上野公園	上野88番1	34.265272	135.251293
80	川永	A	永穂	永穂620-2地先	34.251088	135.240761
81	川永	A	川永団地公園	島26-10	34.261572	135.253702
82	川永	B	川永小学校	楠本285	34.256957	135.256025
83	川永	A	川辺	川辺607番地先	34.257317	135.265179
84	山口	A	上黒谷団地	上黒谷460-1(市営上黒谷団地敷地内)	34.275434	135.257743
85	山口	A	滝畑浄水場	滝畑351-3、353-2、357-2	34.304563	135.264747
86	山口	B	谷ポンプ所	谷230-3	34.274178	135.270901
87	山口	A	山口小学校	里146	34.267090	135.268565
88	砂山	A	青岸突端	湊字青岸坪1342番地先	34.220126	135.136658
89	砂山	A	和歌山本港	湊薬種畑ノ坪1344番地先	34.216412	135.144720
90	砂山	A	築港	築港4丁目1番地先	34.222265	135.151583
91	砂山	A	湊御殿公園	湊御殿3丁目7-7	34.218025	135.158834
92	砂山	B	砂山小学校	砂山南2丁目1-52	34.218481	135.162379
93	今福	B	今福小学校	今福3丁目7-46	34.208951	135.163568
94	雄湊	A	植松丁	植松丁19番地先	34.227249	135.159067
95	雄湊	A	河岸公園	久保丁4丁目70	34.231310	135.162399
96	雄湊	B	東京医療保健大学	東坂ノ上丁3番地	34.228270	135.166171
97	吹上	A	吹上小学校	吹上4丁目1-15	34.216407	135.170725
98	城北	B	東布経丁	東布経丁6丁目1番地　東布経丁団地内	34.242098	135.172056
99	城北	A	杉ノ馬場児童遊園	杉ノ馬場5丁目2-6	34.239249	135.167951
100	城北	B	伏虎義務教育学校	鷺ノ森南ノ丁1	34.235198	135.171056

番号	地区	時差	局　　名	所　在　地	緯　　度	経　　度
101	広瀬	B	広瀬小学校	広瀬中ノ丁1丁目5	34.225609	135.179421
102	芦原	A	汐見町	汐見町1丁目19-1、19-4	34.222052	135.185004
103	芦原	B	芦原小学校	雄松町4丁目25	34.219331	135.182018
104	本町	A	紀和駅団地西	宇治家裏212番地1(市営紀和駅団地1号棟西側駐車場内)	34.241958	135.177660
105	本町	A	和歌山信愛大学	住吉町1番地　和歌山信愛大学教育学部キャンパス	34.237072	135.176173
106	中之島	B	紀和駅団地東	中之島843(市営紀和駅団地6号棟西側駐車場敷地内)	34.242588	135.182192
107	中之島	A	中之島小学校	中之島1491	34.239825	135.186012
108	大新	A	大新小学校	新大工町23	34.232835	135.181229
109	宮北	A	宮北小学校	納定21	34.238211	135.192088
110	新南	B	新南小学校	木広町4丁目23	34.227020	135.189237
111	四箇郷	A	紀之川中学校	有本669	34.246312	135.190107
112	四箇郷	A	四箇郷北小学校	有本321	34.250337	135.199975
113	四箇郷	B	四箇郷小学校	有本183	34.246550	135.200586
114	四箇郷	A	加納浄水場	松島字下新田403番2	34.251886	135.205246
115	四箇郷	A	松島公園	松島262番地35	34.242383	135.208676
116	宮	A	南太田公園	太田4丁目8番地	34.228458	135.196673
117	宮	A	和歌山東公園	北出島133	34.220474	135.198356
118	宮	B	太田小学校	太田636	34.234106	135.198558
119	宮	A	出水	太田675-3地先	34.236774	135.203498
120	宮	A	日進中学校	秋月365-3	34.228423	135.203713
121	宮	B	宮小学校	秋月475	34.225311	135.206041
122	宮	A	鳴神公園	鳴神951他	34.232570	135.209084
123	宮	A	鳴神団地南	鳴神139-1(市営鳴神団地40号北側公園内)	34.225674	135.215445
124	宮	A	鳴神団地東	鳴神429-5(市営鳴神団地内)	34.229528	135.218332
125	西和佐	A	出島堤防	出島468番地の2地先	34.249677	135.216744
126	西和佐	A	出島浄水場	出島字松原98番	34.244738	135.220055
127	西和佐	B	栗栖	栗栖372番4	34.237264	135.218403
128	西和佐	A	西和佐小学校	栗栖84-1	34.238779	135.227220
129	西和佐	A	岩橋文化会館	岩橋1330-8　岩橋文化会館敷地内	34.233278	135.225908
130	和佐	A	下和佐自治会館	下和佐105(下和佐自治会館)	34.232283	135.237050
131	和佐	B	河南総合体育館	和佐中165番地の1　河南総合体育館敷地内	34.236506	135.238301
132	和佐	A	松下公園	禰宜字西ノ口1264先	34.240730	135.243234
133	和佐	B	井ノ口堤防	井ノ口550番地の4地先	34.244874	135.250251
134	和佐	B	和佐小学校	禰宜949-2	34.235785	135.249675
135	和佐	A	和佐王子跡	禰宜260	34.228688	135.250454
136	和佐	A	布施屋駅	布施屋651-1	34.244239	135.261542
137	和佐	B	高積中学校	布施屋112番地2	34.241062	135.262576

番号	地区	時差	局　　名	所　在　地	緯　　度	経　　度
138	小倉	B	大垣内公園	大垣内720番1他	34.243201	135.275837
139	小倉	A	金谷自治会館	金谷471(金谷自治会館)	34.233558	135.275885
140	小倉	A	小倉堤防	小倉9番地の2地先	34.251914	135.282372
141	小倉	A	小倉小学校	新庄348	34.243499	135.287751
142	小倉	B	木工団地	小倉294-1 (294-57地先)	34.250732	135.294488
143	小倉	A	下三毛	上三毛740-3(こうま保育園第二駐車場)	34.245135	135.297468
144	小倉	A	上三毛児童遊園	上三毛274-1(上三毛児童遊園)	34.245537	135.307925
145	雑賀崎	A	雑賀崎北	雑賀崎2015番地	34.194479	135.142814
146	雑賀崎	B	雑賀崎灯台	雑賀崎字鷹巣山809番地の2	34.188375	135.140954
147	雑賀崎	A	沖見の里	雑賀崎1729	34.191336	135.145420
148	雑賀崎	A	雑賀崎漁港	雑賀崎1996	34.188283	135.144970
149	雑賀崎	B	雑賀崎小学校	西浜1148	34.193207	135.150798
150	田野	B	田ノ浦漁港	田野地先	34.183479	135.152458
151	雑賀	B	中央卸売市場	西浜1660番地401　和歌山市中央卸売市場敷地内	34.208899	135.146527
152	雑賀	A	和歌山南港	西浜1660-3番地	34.200051	135.150642
153	雑賀	A	花王南	西浜1443-2　花王株式会社和歌山工場南側駐車場	34.209106	135.155534
154	雑賀	A	今福雨水ポンプ場	西浜844番(今福雨水ポンプ場敷地内)	34.204601	135.156734
155	雑賀	A	松下体育館	西浜1037番地　松下体育館敷地内	34.195572	135.158489
156	雑賀	B	雑賀小学校	西浜1丁目4-48	34.199480	135.165873
157	雑賀	A	秋葉山公園	秋葉町14他	34.199753	135.172005
158	雑賀	A	和歌川終末処理場	塩屋5丁目3番41号	34.199070	135.180638
159	高松	A	高松小学校	東高松2丁目4-45	34.208663	135.173313
160	高松	B	新堀橋南	宇須3丁目275番14地先	34.212889	135.177551
161	高松	A	小雑賀橋南	塩屋1丁目215番1地先	34.204584	135.179849
162	宮前	B	手平第２公園	手平2丁目223-1	34.217860	135.189381
163	宮前	B	宮前小学校	北中島1丁目7-4	34.212962	135.186469
164	宮前	A	東和中学校	杭ノ瀬116	34.212345	135.191326
165	宮前	A	杭ノ瀬公園	杭ノ瀬8-1	34.213612	135.199864
166	宮前	B	南中島児童遊園	中島334-4	34.206126	135.189408
167	宮前	A	杭ノ瀬川ポンプ場	杭ノ瀬435番4	34.204662	135.192429
168	和歌浦	A	和歌浦漁港	新和歌浦1759番地	34.186969	135.161915
169	和歌浦	B	和歌浦小学校	和歌浦西2丁目1-18	34.191568	135.167045
170	和歌浦	A	秋葉山南	和歌浦東1丁目393-6	34.196851	135.171826
171	和歌浦	A	津屋川ポンプ場	和歌浦中3丁目1056番地先(津屋川ポンプ場)	34.187951	135.173266
172	和歌浦	B	片男波	和歌浦南3丁目地先	34.182650	135.171672
173	名草	A	中央終末処理場	三葛510番地の1	34.197529	135.188383
174	名草	B	旭橋雨水ポンプ場	紀三井寺807番地の66	34.190009	135.180861

番号	地区	時差	局　　名	所　在　地	緯　　度	経　　度
175	名草	B	紀三井寺駅	三葛106-19	34.188101	135.187978
176	名草	B	明和中学校	紀三井寺832番地の1	34.185412	135.179919
177	名草	A	緑道紀三井寺	紀三井寺673-43地先	34.183857	135.186960
178	名草	A	布引北	布引字北出461番4	34.175588	135.179834
179	名草	B	名草小学校	紀三井寺240	34.178896	135.190525
180	名草	A	内原共同墓地	内原1655(398-30地先)	34.178072	135.203677
181	名草	A	緑道布引	布引907-1地先	34.173475	135.188166
182	名草	A	浜宮小学校	内原778-16	34.170652	135.196194
183	名草	B	布引南	布引847	34.168073	135.182511
184	名草	A	緑道競技場	紀三井寺228-5地先	34.166303	135.188730
185	名草	A	浜の宮	毛見981番地先	34.163318	135.183359
186	名草	B	琴ノ浦	毛見1437-218	34.157920	135.186232
187	名草	A	琴ノ浦公園	毛見1437-260	34.159382	135.190304
188	名草	A	マリーナシティ北	毛見1514番地先	34.158927	135.177421
189	名草	B	マリーナシティ南	毛見1538番地	34.153278	135.179977
190	三田	B	南保健センター	田尻493番地1　南保健センター敷地内	34.200766	135.191106
191	三田	B	三田連絡所	坂田286　三田連絡所敷地内	34.203034	135.202211
192	三田	A	名草排水機場	和田1153-1(和歌山市名草排水機場敷地内)	34.205830	135.205921
193	三田	A	三田小学校	和田419-1	34.198853	135.204880
194	岡崎	A	岡崎中央児童遊園	井辺144-107	34.216823	135.210875
195	岡崎	B	岡崎排水機場	和田1288番2地先	34.206166	135.212198
196	岡崎	B	井辺児童遊園	井辺370(井辺児童遊園)	34.222593	135.217985
197	岡崎	B	岡崎小学校	寺内426	34.214833	135.220031
198	岡崎	A	森小手穂	森小手穂726-3番地先	34.207963	135.224289
199	安原	B	中言神社	吉原1110(吉原中言神社)	34.193015	135.198816
200	安原	A	県警冬野庁舎	冬野687番地1	34.189469	135.207456
201	安原	B	赤津広場	冬野165-1	34.191259	135.215862
202	安原	A	若葉団地児童遊園	冬野1190-2	34.179634	135.210798
203	安原	B	本渡公園	本渡369他	34.177311	135.217157
204	安原	A	東中学校	松原337番地	34.200842	135.224720
205	安原	A	安原小学校	江南239	34.192278	135.224469
206	安原	A	本渡東	本渡216-2	34.177094	135.223320
207	安原	A	薬勝寺	薬勝寺270番1地先	34.182564	135.234641
208	西山東	B	吉礼	吉礼1118-1地先	34.209013	135.231971
209	西山東	A	口須佐公園	口須佐51番地の4	34.205004	135.247453
210	西山東	A	山東小学校	吉礼326	34.201786	135.241181
211	西山東	B	菖蒲ヶ丘団地	相坂755-1(市営菖蒲ヶ丘団地敷地内)	34.195265	135.236627

番号	地区	時差	局　　名	所　在　地	緯　　度	経　　度
212	西山東	A	吉里	吉里116番	34.194688	135.241877
213	西山東	B	境原	境原238地先	34.189453	135.244055
214	東山東	B	塩ノ谷	塩ノ谷176番地(薬王寺敷地内)	34.219787	135.253184
215	東山東	A	平尾ポンプ所	平尾字妙見341番1	34.213542	135.251066
216	東山東	A	四季の郷公園	明王寺85	34.216621	135.259285
217	東山東	A	東山東小学校	山東中52-1	34.203350	135.259547
218	東山東	A	大河内	大河内640地先	34.195972	135.261463
219	東山東	A	南畑自治会館	南畑35-2	34.193321	135.260341
220	東山東	A	黒谷配水池	黒谷字中ノ坂474番2	34.184439	135.253810
221	東山東	A	黒谷	黒谷140地先	34.179969	135.259078
222	東山東	A	黒岩	黒岩160番地先	34.184098	135.265586
223	東山東	A	永山	永山152-3番地先	34.205911	135.269578
224	東山東	A	大池	山東中533番1地先	34.201929	135.282494

(3) 戸別受信機　　(363か所)

番号	施設種別	施設名称	所在地	電話番号
1	市関係	市危機管理局危機管理部総合防災課	八番丁12番地	435-1199
2	市関係	保健所（総務企画課）	吹上5-2-15	433-2261
3	市関係	西保健センター	松江775-1	455-3210
4	市関係	南保健センター	田尻493番地の1	499-5566
5	市関係	市教育委員会（学校支援課）	七番丁23番地	432-0001
6	学校施設(市)	加太幼稚園	加太1310	459-0356
7	学校施設(市)	紀伊幼稚園	弘西317	461-0371
8	学校施設(市)	雑賀崎幼稚園	西浜1148	445-3112
9	学校施設(市)	中之島幼稚園	中之島1495	423-7966
10	学校施設(市)	西脇幼稚園	西庄1012	455-1996
11	学校施設(市)	西和佐幼稚園	栗栖70	471-3083
12	学校施設(市)	湊幼稚園	湊2丁目17番40号	455-3822
13	学校施設(市)	宮前幼稚園	北中島1-7-4	423-3133
14	学校施設(市)	山口幼稚園	里146	461-0084
15	学校施設(市)	和佐幼稚園	禰宜949	477-0167
16	学校施設(市)	岡山幼稚園	吹上1丁目4番1号	422-4583
17	学校施設(市)	伏虎義務教育学校	鷺ノ森南ノ丁1番地	435-5115
18	学校施設(市)	広瀬小学校	広瀬中ノ丁1丁目5番地	436-0671
19	学校施設(市)	大新小学校	新大工町23番地	433-1471
20	学校施設(市)	新南小学校	木広町4丁目23番地	425-0212
21	学校施設(市)	吹上小学校	吹上4丁目1番15号	424-8181
22	学校施設(市)	砂山小学校	砂山南2丁目1番52号	425-0131
23	学校施設(市)	今福小学校	今福3丁目7番46号	424-6101
24	学校施設(市)	高松小学校	東高松2丁目4番45号	425-0351
25	学校施設(市)	宮小学校	秋月475番地	473-6131
26	学校施設(市)	太田小学校	太田636番地	471-3834
27	学校施設(市)	宮北小学校	納定21番地	471-2483
28	学校施設(市)	四箇郷小学校	有本183番地	471-2200
29	学校施設(市)	四箇郷北小学校	有本321番地	431-4301
30	学校施設(市)	中之島小学校	中之島1491番地	422-5145
31	学校施設(市)	芦原小学校	雄松町4丁目25番地	436-7277
32	学校施設(市)	宮前小学校	北中島1丁目7番4号	424-4474
33	学校施設(市)	湊小学校	湊2丁目17番40号	455-0286
34	学校施設(市)	野崎小学校	野崎130番地の1	455-3234
35	学校施設(市)	福島小学校	福島135番地の4	452-5112
36	学校施設(市)	野崎西小学校	梶取301番地の3	451-1841
37	学校施設(市)	三田小学校	和田419番地の1	471-1488
38	学校施設(市)	松江小学校	松江北4丁目1番1号	451-4154
39	学校施設(市)	木本小学校	榎原255番地	455-0053
40	学校施設(市)	貴志小学校	栄谷895番地の2	452-5123
41	学校施設(市)	貴志南小学校	中野11番地の1	455-9090
42	学校施設(市)	楠見小学校	大谷349番地の2	455-1714
43	学校施設(市)	楠見西小学校	市小路31番地	452-7455
44	学校施設(市)	楠見東小学校	善明寺150番地の1	451-3423
45	学校施設(市)	西和佐小学校	栗栖84番地の1	471-3644
46	学校施設(市)	岡崎小学校	寺内426番地	471-1750
47	学校施設(市)	西脇小学校	西庄1012番地	455-0118
48	学校施設(市)	八幡台小学校	西庄1110番地	453-5666
49	学校施設(市)	和佐小学校	祢宜949番地の2	477-0016
50	学校施設(市)	安原小学校	江南239番地	479-0049
51	学校施設(市)	山東小学校	吉礼326番地	478-0028
52	学校施設(市)	東山東小学校	山東中52番地の1	478-0052
53	学校施設(市)	有功小学校	園部1453番地	461-0124
54	学校施設(市)	鳴滝小学校	善明寺615番地の3	453-2315
55	学校施設(市)	有功東小学校	六十谷895番地	462-1322
56	学校施設(市)	直川小学校	直川1253番地	461-0134
57	学校施設(市)	川永小学校	楠本285番地	461-1061
58	学校施設(市)	小倉小学校	新庄348番地	477-0455
59	学校施設(市)	加太小学校	加太1210番地	459-0049

番号	施設種別	施設名称	所在地	電話番号
60	学校施設(市)	山口小学校	里146番地	461-1062
61	学校施設(市)	紀伊小学校	弘西321番地	461-0207
62	学校施設(市)	雑賀小学校	西浜1丁目4番48号	444-1480
63	学校施設(市)	和歌浦小学校	和歌浦西2丁目1番18号	444-0229
64	学校施設(市)	名草小学校	紀三井寺240番地	444-1030
65	学校施設(市)	浜宮小学校	内原778番地の16	445-8368
66	学校施設(市)	雑賀崎小学校	西浜1148番地	444-0048
67	学校施設(市)	藤戸台小学校	栄谷975-245	457-2560
68	学校施設(市)	西脇小・中学校みらい分校	つつじが丘7丁目2番1号	456-3378
69	学校施設(市)	城東中学校	美園町2丁目63番地	424-4408
70	学校施設(市)	西和中学校	砂山南3丁目3番地の9	436-7111
71	学校施設(市)	日進中学校	秋月365番地の3	471-5391
72	学校施設(市)	紀之川中学校	有本668番地の1	433-3125
73	学校施設(市)	東和中学校	杭ノ瀬116番地	471-0451
74	学校施設(市)	河北中学校	北島370番地の1	455-2114
75	学校施設(市)	河西中学校	松江北5丁目19番1号	455-3125
76	学校施設(市)	貴志中学校	梅原579番地の2	452-8132
77	学校施設(市)	楠見中学校	善明寺706番地	453-6300
78	学校施設(市)	西脇中学校	西庄1110番地の5	455-0112
79	学校施設(市)	高積中学校	布施屋112番地の2	477-0595
80	学校施設(市)	東中学校	松原337番地	479-0044
81	学校施設(市)	有功中学校	六十谷1238番地	461-4716
82	学校施設(市)	加太中学校	加太2692番地の1	459-0004
83	学校施設(市)	紀伊中学校	北野544番地の1	461-0035
84	学校施設(市)	西浜中学校	西小二里1丁目6番地の1	444-0482
85	学校施設(市)	明和中学校	紀三井寺832番地の1	444-1207
86	学校施設(市)	市立和歌山高等学校	六十谷45	461-3690
87	学校施設(県)	桐蔭中学校・桐蔭高等学校	吹上5-6-18	436-1366
88	学校施設(県)	きのくに青雲高等学校	吹上5丁目6-8	422-5660
89	学校施設(県)	和歌山商業高等学校	砂山南3-3-94	424-2446
90	学校施設(県)	向陽中学校・高等学校	太田127	471-0621
91	学校施設(県)	和歌山北高等学校	市小路388	455-3528
92	学校施設(県)	和歌山東高等学校	森小手穂136	472-5620
93	学校施設(県)	和歌山北高等学校　西校舎	西庄1148-1	453-1281
94	学校施設(県)	和歌山高等学校	新庄188	477-3933
95	学校施設(県)	星林高等学校	西浜2-9-9	444-4181
96	学校施設(県)	和歌山工業高等学校	西浜3-6-1	444-0158
97	学校施設(県)	和歌山ろう学校寄宿舎	砂山南3丁目1番73号	424-3276
98	学校施設(県)	紀北支援学校	冬野227番地	479-1356
99	学校施設(県)	和歌山盲学校寄宿舎	府中949番地の23	461-0322
100	学校施設(県)	紀伊コスモス支援学校	弘西555	461-6500
101	学校施設(県)	和歌山さくら支援学校	西庄1148-1	453-0303
102	学校施設(国)	和歌山大学教育学部附属小・中学校	吹上1丁目4番1号	422-6104
103	学校施設(国)	和歌山大学教育学部附属特別支援学校	西小二里2丁目5番18号	444-1080
104	学校施設(民)	日前幼稚園	秋月365番地	471-0380
105	学校施設(民)	おのみなと幼稚園	道場町1番地の1	431-0241
106	学校施設(民)	鷺森幼稚園	鷺ノ森1番地	422-6952
107	学校施設(民)	聖愛幼稚園	吹上4丁目3番45号	422-5010
108	学校施設(民)	さくら幼稚園	吹上3丁目1番41号	422-2191
109	学校施設(民)	たちばな幼稚園	西819番地	471-3918
110	学校施設(民)	ナザレ幼稚園	堀止西2丁目4番9号	422-6593
111	学校施設(民)	和歌山信愛幼稚園	屋形町3丁目32番地	423-0114
112	学校施設(民)	野崎幼稚園	梶取86番地	455-4113
113	学校施設(民)	安原幼稚園	松原212番地	479-0212
114	学校施設(民)	智辯学園和歌山小・中・高等学校	冬野2066-1	479-2811
115	学校施設(民)	和歌山信愛中学校・高等学校	屋形町2-23	424-1141
116	学校施設(民)	開智中学校・高等学校	直川113-2	461-8080
117	学校施設(民)	近畿大学附属和歌山高等学校・中学校	善明寺516	452-1161
118	市施設	木ノ本児童館	木ノ本728-1	455-7062

番号	施設種別	施設名称	所在地	電話番号
119	市施設	杭の瀬児童館	杭ノ瀬77-10	471-9785
120	市施設	本渡児童館	本渡435-1	479-0510
121	市施設	鳴神児童館	鳴神966-1	473-6021
122	市施設	芦原児童館	雄松町5丁目2-1	436-1099
123	市施設	岩橋児童館	岩橋1329-5	472-2995
124	市施設	善明寺児童館	善明寺390-1	451-7989
125	市施設	芦原文化会館	島崎町6丁目13番地の2	423-5041
126	市施設	木ノ本文化会館	木ノ本728-2	453-5909
127	市施設	口須佐文化会館	吉礼260-1	478-2905
128	市施設	杭の瀬文化会館	杭ノ瀬76-7	471-0433
129	市施設	本渡文化会館	本渡393-5	479-2890
130	市施設	岩橋文化会館	岩橋1330-8	473-3525
131	市施設	善明寺文化会館	善明寺361-3	452-6969
132	市施設	平井文化会館	平井72-1	451-2765
133	市施設	鳴神文化会館	鳴神967-3	473-3014
134	市施設	大垣内文化会館	大垣内783-5	477-1195
135	市施設	弘西文化会館	弘西858-4	461-6669
136	市施設	栄谷文化会館	栄谷487	452-2620
137	市施設	青少年国際交流センター	加太1907-2	459-2107
138	市施設	和歌浦アートキューブ	和歌浦南3丁目10番1号	445-1188
139	市施設	市民図書館西分館	松江775-1	455-3210
140	市施設	市民温水プール	土入318-1	455-8022
141	避難所等	中央コミュニティセンター	三沢町1-2	402-2678
142	避難所等	河西コミュニティセンター	松江北2-20-7	480-1171
143	避難所等	河北コミュニティセンター	市小路192-3	480-3610
144	避難所等	東部コミュニティセンター	寺内665	475-0020
145	避難所等	河南コミュニティセンター	布施屋41	477-6522
146	避難所等	北コミュニティセンター	直川326-7	464-3031
147	避難所等	南コミュニティセンター	紀三井寺856番地	494-3755
148	避難所等	和歌山城ホール	七番丁25番地の1	432-1212
149	避難所等	あいあいセンター	小人町29	431-5246
150	避難所等	ふれ愛センター	木広町5-1-9	433-8866
151	避難所等	きのくに志学館	西高松1-7-38	436-9500
152	避難所等	和歌山東公園	北出島133	474-3331
153	避難所等	県立体育館	中之島2238	422-4108
154	避難所等	市民体育館	土入318-1	453-2007
155	避難所等	和歌山大学	栄谷930	457-7007
156	避難所等	河南総合体育館	和佐中165-1	477-4009
157	避難所等	休暇村紀州加太	深山483	459-0321
158	避難所等	松下体育館	西浜1037	444-8274
159	避難所等	県立医科大学保健看護学部	三葛580	446-6700
160	避難所等	和歌山ビッグホエール	手平2-1-1	433-0035
161	避難所等	和歌山ビッグ愛	手平2-1-2	435-5200
162	避難所等	つつじが丘テニスコート	つつじが丘4丁目4番地	488-5702
163	避難所等	紀三井寺公園管理事務所	毛見200番地陸上競技場内	444-7565
164	避難所等	秋葉山公園県民水泳場	秋葉町4番11号	445-7300
165	避難所等	和歌山信愛大学	住吉町1番地	488-6228
166	避難所等	東京医療保健大学　雄湊キャンパス	東坂ノ上丁3	435-5819
167	避難所等	中央卸売市場	西浜1660番地の401	431-3161
168	支所連絡所	雑賀支所	西浜1丁目4番48号	446-2701
169	支所連絡所	雑賀崎支所	雑賀崎1286番地	444-0049
170	支所連絡所	田野支所	田野343番地	445-0356
171	支所連絡所	和歌浦支所	和歌浦西2丁目1番19号	444-0001
172	支所連絡所	名草支所	紀三井寺673番地の1	444-1001
173	支所連絡所	西和佐支所	栗栖72番地	471-3651
174	支所連絡所	岡崎支所	森小手穂1262番地の1	471-1783
175	支所連絡所	西脇支所	西庄1016番地の90	455-0030
176	支所連絡所	和佐支所	井ノ口255番地の1	477-0001
177	支所連絡所	安原支所	桑山38番地の1	479-0001
178	支所連絡所	西山東支所	吉礼342番地の2	478-0007
179	支所連絡所	東山東支所	山東中51番地	478-0004

番号	施設種別	施設名称	所在地	電話番号
180	支所連絡所	有功支所	園部1456番地の1	461-6279
181	支所連絡所	直川支所	直川1254番地	461-0021
182	支所連絡所	川永支所	楠本283番地	461-1004
183	支所連絡所	小倉支所	新庄45番地の2	477-0415
184	支所連絡所	加太支所	加太2692番地	459-0001
185	支所連絡所	山口支所	里146番地の2	461-1011
186	支所連絡所	紀伊支所	弘西1034番地の1	461-0031
187	支所連絡所	本町連絡所	北桶屋町7番地	422-3028
188	支所連絡所	城北連絡所	西鍛冶屋町7番地	431-2717
189	支所連絡所	広瀬連絡所	広瀬中ノ丁1丁目16番地	422-2007
190	支所連絡所	雄湊連絡所	伝法橋南ノ丁16番地	422-9533
191	支所連絡所	大新連絡所	新大工町23番地	422-4534
192	支所連絡所	新南連絡所	木広町4丁目23番地	422-1621
193	支所連絡所	吹上連絡所	堀止東1丁目6番17号	425-8775
194	支所連絡所	砂山連絡所	砂山南2丁目1番4号	423-3832
195	支所連絡所	今福連絡所	今福2丁目2番88号	436-2782
196	支所連絡所	高松連絡所	東高松2丁目4番46号	422-2874
197	支所連絡所	芦原連絡所	雄松町4丁目18番2号	422-1605
198	支所連絡所	宮連絡所	太田2丁目1番26号	471-0486
199	支所連絡所	宮北連絡所	黒田205番地の2	471-2218
200	支所連絡所	四箇郷連絡所	有本186番地の3	471-2210
201	支所連絡所	中之島連絡所	中之島1495番地	422-4695
202	支所連絡所	宮前連絡所	北中島1丁目7番1号	422-1671
203	支所連絡所	湊連絡所	湊3丁目8番21号	455-0702
204	支所連絡所	野崎連絡所	野崎194番の1	455-1293
205	支所連絡所	三田連絡所	坂田286番地	471-1754
206	支所連絡所	松江連絡所	松江中3丁目4番17号	455-0022
207	支所連絡所	木本連絡所	木ノ本127番地の2	455-0035
208	支所連絡所	貴志連絡所	向88番地の1	455-0009
209	支所連絡所	楠見連絡所	楠見中98番地の7	455-1704
210	自主防災	雄湊地区防災会		
211	自主防災	宮前地区防災会		
212	自主防災	和歌浦地区防災会		
213	自主防災	加太地区防災会		
214	自主防災	田野地区防災会		
215	自主防災	榎原団地自治会館	榎原150番地3	
216	自主防災	松江第十四区自治会館	松江北1丁目3-26	
217	自主防災	西庄自治会館	西庄699-9	
218	自主防災	榎原自治会館	榎原332	
219	認定こども園(市)	本町こども園	北桶屋町7番地	488-5220
220	認定こども園(市)	芦原こども園	雄松町5丁目4番地1	488-3626
221	認定こども園(民)	愛徳幼稚園	今福3丁目6番37号	423-9796
222	認定こども園(民)	みどり幼稚園	東高松3丁目3番30号	444-3261
223	認定こども園(民)	三宝幼稚園	楠本267番地の1	462-0444
224	認定こども園(民)	たから幼稚園	塩屋2丁目1番15号	444-2773
225	認定こども園(民)	いさお幼稚園	園部1518番地の1	461-9585
226	認定こども園(民)	和歌山ひかり幼稚園	関戸1丁目2番31号	444-9014
227	認定こども園(民)	名草幼稚園	紀三井寺520番地	445-6902
228	認定こども園(民)	木ノ本こども園	木ノ本300-1	488-1700
229	認定こども園(民)	広瀬幼保園	片岡町1丁目2番地	425-7887
230	認定こども園(民)	片男波こども園	和歌浦南2丁目11番8号	444-3627
231	認定こども園(民)	つくし幼保園	吉礼486-1	488-7470
232	認定こども園(民)	むつみこども園	砂山南3丁目2番21号	424-4414
233	認定こども園(民)	まことなるたきこども園	園部381番地	455-6469
234	認定こども園(民)	とうようこども園	宇田森67番地	461-2890
235	認定こども園(民)	こひつじこども園	木ノ本1230番地の2	452-0001
236	認定こども園(民)	しょうぶこども園	吉礼53番地の6	478-2001
237	認定こども園(民)	ようすい子ども園	西浜1218番地の3	445-6875
238	認定こども園(民)	ひまわりこども園	有本431番地	432-4567
239	認定こども園(民)	かんどりこども園	平井466番地の1	451-4350
240	認定こども園(民)	山口こども園	谷2番地	462-0567

番号	施設種別	施設名称	所在地	電話番号
241	認定こども園(民)	じろうまるこども園	次郎丸107番地の1	453-0190
242	認定こども園(民)	さつきこども園	中島70番地の8	473-2444
243	認定こども園(民)	新堀こども園	新堀東2丁目1番25号	436-1022
244	認定こども園(民)	第二ひまわりこども園	栄谷58番地の2	455-2155
245	認定こども園(民)	和歌山認定こども園	中132番3号	455-1983
246	認定こども園(民)	ほしや子ども園	布施屋3-1	477-2790
247	認定こども園(民)	すみれこども園	木ノ本321-2	455-6656
248	認定こども園(民)	まつえ幼稚園	松江中3丁目1-35	453-0050
249	認定こども園(民)	まこと保育園	つつじが丘4丁目3番2号	453-0020
250	医療施設	嶋本脳神経外科内科	西浜921-4	446-3636
251	医療施設	医療法人福慈会　福外科病院	和歌浦東3-5-31	445-3101
252	医療施設	藤民病院	塩屋3-6-2	445-9881
253	医療施設	和歌浦中央病院	塩屋6-2-70	444-1600
254	医療施設	高山病院	小雑賀3丁目1-11	426-2151
255	医療施設	稲田病院	和田1175	472-1135
256	医療施設	県立医科大学附属病院	紀三井寺811-1	447-2300
257	医療施設	上山病院	内原998	446-1200
258	医療施設	宮本病院	塩屋3-6-1	444-0567
259	医療施設	河西田村病院	島橋東ノ丁1-11	455-1015
260	医療施設	西和歌山病院	土入176	452-1233
261	医療施設	青木整形外科	布引763-8	446-2110
262	医療施設	和歌浦病院	和歌浦東3-2-38	444-0861
263	福祉施設(市)	砂山保育所	砂山南2丁目1番4号	423-3833
264	福祉施設(市)	宮前保育所	北中島1丁目2番6号	422-6622
265	福祉施設(市)	名草保育所	紀三井寺287番地	444-0735
266	福祉施設(市)	楠見保育所	楠見中105番地	455-1728
267	福祉施設(市)	川永保育所	楠本284番地の1	461-3504
268	福祉施設(市)	小倉保育所	新庄56番地	477-0310
269	福祉施設(市)	西脇保育所	西庄1016番地	455-3916
270	福祉施設(市)	安原保育所	本渡396番地の4	479-0257
271	福祉施設(市)	宮北保育所	黒田354番地の1	471-1237
272	福祉施設(市)	宮保育所	太田4丁目5番20号	472-2523
273	福祉施設(市)	西和佐保育所	岩橋1317番地の4	472-7637
274	福祉施設(市)	杭ノ瀬保育所	杭ノ瀬19-8	472-7638
275	福祉施設(市)	鳴神保育所	鳴神695番地	473-2595
276	福祉施設(市)	栄谷保育所	栄谷428番地の3	453-0807
277	福祉施設(県)	県子ども・女性・障害者相談センター	毛見1437番地の218	445-5311
278	福祉施設(民)	城北保育所	小人町29番地	422-3239
279	福祉施設(民)	さかえ保育園	狐島394番地	455-2893
280	福祉施設(民)	ふたば保育園	友田町3丁目30番地	423-1103
281	福祉施設(民)	のぞみ保育園	善明寺471番地	452-0685
282	福祉施設(民)	紀伊保育園	直川326-9	461-6566
283	福祉施設(民)	みちる保育園	毛見435番地1	445-4488
284	福祉施設(民)	こうま保育園	下三毛566番地	477-3310
285	福祉施設(民)	有功保育園	園部1番地の1	461-9130
286	福祉施設(民)	のざき保育園	野崎115番地	451-2327
287	福祉施設(民)	きわ保育園	中之島969番地の10	432-2088
288	福祉施設(民)	紀之川保育園	松島121番地の1	473-2003
289	福祉施設(民)	太陽保育園	土入284番地の12	455-3300
290	福祉施設(民)	あわ保育園	粟255番地の5	453-2003
291	福祉施設(民)	しろがね保育園	秋月67番地の3	473-4320
292	福祉施設(民)	さんた保育園	坂田18番地	473-2327
293	福祉施設(民)	かぜのこ保育園	大谷831番地の215	453-1506
294	福祉施設(民)	岡崎保育園	井辺134番地の2	472-0774
295	福祉施設(民)	旭学園	冬野155	479-0080
296	福祉施設(民)	介護老人保健施設光苑	秋月568番地の7	471-0323
297	福祉施設(民)	社会福祉法人一麦会	岩橋643番地	474-2466
298	福祉施設(民)	社会福祉法人みどり会	和佐中213番地の1	477-4374
299	福祉施設(民)	社会福祉法人哲人会小倉園	新庄388番地の1	477-4102
300	福祉施設(民)	特別養護老人ホーム大日山荘	平尾634番地	478-3437

番号	施設種別	施設名称	所在地	電話番号
301	福祉施設(民)	特別養護老人ホーム君里苑	木ノ本1837番地の1	454-9820
302	福祉施設(民)	介護老人保健施設和歌川苑	和歌川町5番44号	446-2400
303	福祉施設(民)	介護老人保健施設かまやま苑	和田350番地	474-6660
304	福祉施設(民)	特別養護老人ホーム親和園	杭ノ瀬255番地の2	471-6235
305	福祉施設(民)	特別養護老人ホーム紀伊松風苑	園部1668番地の1	455-3676
306	福祉施設(民)	養護老人ホーム喜望園	楠本266番地	462-3933
307	福祉施設(民)	養護老人ホーム喜和の郷	北野572番地の1	462-7000
308	福祉施設(民)	特別養護老人ホーム喜成会	北野128番地	462-3033
309	福祉施設(民)	特別養護老人ホーム山口葵園	藤田25番地の1	461-5757
310	福祉施設(民)	特別養護老人ホーム紀伊てまり苑	西田井224番地	462-6020
311	福祉施設(民)	みずほ園	朝日83-1	479-3740
312	福祉施設(民)	三寿苑	島橋南ノ丁6番21号	454-6800
313	福祉施設(民)	デイサービスセンター内原	毛見168-7	448-1206
314	福祉施設(民)	デイサービスあおぞら（第2あすか苑）	小雑賀728-1	435-0831
315	福祉施設(民)	陽光の里　しおや	塩屋4-5-6	444-3358
316	福祉施設(民)	春風会　かたおなみ	和歌浦東4-3-51	494-6266
317	福祉施設(民)	有料老人ホーム　セレンディピティ	築港4-23-4	421-3777
318	福祉施設(民)	グループホームあおぞら (小規模多機能型居宅介護第2あおぞら)	打越町3-30	402-0551
319	福祉施設(民)	小規模多機能型居宅介護　くるみ	布引935-1	445-4513
320	福祉施設(民)	障害者総合施設綜成苑	西庄1107番地の1	452-0294
321	福祉施設(民)	特別養護老人ホーム西庄園	西庄1133番地の2	452-8856
322	福祉施設(民)	社会福祉法人琴の浦ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ	毛見1451番地	444-3141
323	福祉施設(民)	特別養護老人ホーム第二親和園	杭ノ瀬462番地の2	474-1300
324	福祉施設(民)	介護老人保健施設　ラ・エスペランサ	中島192番地	427-0027
325	福祉施設(民)	救護施設かつらぎ園	園部366番地の1	455-3651
326	福祉施設(民)	つわぶき授産工場	和田1283-2	473-0294
327	福祉施設(民)	特別養護老人ホーム紀三井寺苑 （グループホーム紀三井寺苑）	紀三井寺560-2	448-2255
328	福祉施設(民)	マウンテンラブ	吉原270	479-1133
329	福祉施設(民)	グループホーム古川園	江南48-6	479-1133
330	福祉施設(民)	グループホーム第2古川園	広原166-1	479-1133
331	福祉施設(民)	グループホーム第3古川園	江南48-4	479-1133
332	福祉施設(民)	グループホーム第6古川園	坂田243-5	479-1133
333	福祉施設(民)	ウイズ	和田80-1	475-3333
334	福祉施設(民)	カノン	和田80-5	475-3333
335	福祉施設(民)	グループホームすこやか （特別養護老人ホームすこやか） （デイサービスすこやか）	和田592-6	475-6022
336	福祉施設(民)	あさひの家	朝日21-1	479-5566
337	福祉施設(民)	第2デイサービスセンター　サン （デイサービスセンター　サン） （有料老人ホーム　サン）	和田1205-1	471-5800
338	福祉施設(民)	デイサービス草原（グループホーム草原）	田尻153-5	475-9007
339	福祉施設(民)	ゆたかデイサービス	中島452-7	402-3135
340	福祉施設(民)	グループホームすずらん内原	内原634-1	447-2940
341	福祉施設(民)	デイサービス成幸	紀三井寺748-3	488-9311
342	福祉施設(民)	ホームあすなろ	塩屋3-6-1	444-0576
343	福祉施設(民)	つわぶき会　綜愛苑	西庄1107番地の45	454-2940
344	福祉施設(民)	社会福祉法人愛徳園	今福3丁目5番41号	425-2391
345	福祉施設(民)	有功ヶ丘学園	園部381番地の2	455-3531
346	福祉施設(民)	こばと学園	直川1437番地	461-0072
347	福祉施設(民)	あおい学園	今福2-9-35	422-0347
348	福祉施設(民)	こじか園	上黒谷460-2	462-2895
349	福祉施設(民)	和歌山すみれホーム	松江中1丁目4	499-8650
350	福祉施設(民)	つむぎ共同作業所	和歌浦東3-6-13	444-8903
351	福祉施設(民)	グループホーム第六親和園	杭ノ瀬362-5	488-9072

番号	施設種別	施設名称	所在地	電話番号
352	福祉施設(民)	社会福祉法人すずらん会わかやま苑	屋形町1丁目39-2	476-4410
353	福祉施設(民)	竹の里園	明王寺3番地1	466-2233
354	福祉施設(民)	第Ⅱ竹の里園デイサービスセンター	明王寺17番地1	466-2233
355	福祉施設(民)	第Ⅲ竹の里園	明王寺16番地1	466-3001
356	福祉施設(民)	地域密着型介護老人福祉施設第五親和園	杭ノ瀬432番地3	474-5553
357	福祉施設(民)	光と風の家　春風会きし	栄谷460番1	488-4306
358	福祉施設(民)	幹はうす	冬野703番地9	479-5785
361	その他	特定非営利活動法人　エフエム和歌山	塩屋五丁目5-43	446-3696
362	その他	和歌山放送	湊本町3丁目3番地	428-1431
363	その他	ジェイコムウエスト和歌山局	和歌山市黒田39 ｱｽﾞﾏﾊｳｽ黒田ﾋﾞﾙ2階	0120-999-000

3-2

和歌山市防災行政無線管理運用規程

平成９年２月３日
訓 令 第 ２ 号

（趣旨）

第１条　この規程は、和歌山市が、災害対策基本法（昭和３６年法律第２２３号）に基づく防災に係る事務その他事務において円滑な通信の確保を図るために設置する和歌山市防災行政無線（以下「防災行政無線」という。）の管理及び運用に関し、電波法（昭和２５年法律第１３１号）及びこれに基づく命令（以下「電波法関係法令」という。）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第２条　この規程において、次に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 無線局　無線設備（受信のみを目的とするものを除く。以下この号において同じ。）及び無線設備の操作を行う者の総体をいう。

(2) 同報親局　特定の受信設備に対し、同時に同一内容の通報を通信する同報無線系の固定局をいう。

(3) 同報子局　同報親局の通信の相手方となる屋外子局及び戸別受信機の無線設備をいう。

(4) 同報無線系　同報親局と同報子局との間の通信系をいう。

(5) 無線従事者　無線設備の操作又はその監督を行う者であって、総務大臣の免許を受けたものをいう。

（総括管理者）

第３条　防災行政無線に、総括管理者を置く。

２　総括管理者は、防災行政無線の管理及び運用を総括する。

３　総括管理者は、危機管理部長をもって充てる。

（管理責任者）

第４条　防災行政無線に、管理責任者を置く。

２　管理責任者は、総括管理者の命を受け、防災行政無線の管理及び運用を所掌するとともに、同報親局の管理を分掌する。

３　管理責任者は、総合防災課長をもって充てる。

（通信取扱責任者）

第５条　防災行政無線に、通信取扱責任者を置く。

２　通信取扱責任者は、管理責任者の命を受け、防災行政無線の運用を分掌する。

３　通信取扱責任者は，総合防災課の職員で、無線従事者の資格を有する者のうちから管理責任者が指名

する。

（通信取扱者）

第６条　総合防災課に通信取扱者を置く。

２　通信取扱者は、無線従事者の監督の下、電波法関係法令に基づく適正な無線局の運用を行う。

３　通信取扱者は、管理責任者が、総合防災課の職員のうちから指名する。

（無線従事者の配置、養成）

第７条　総括管理者は、防災行政無線の適正な運用を図るため必要な無線従事者を配置しなければならない。

２　総括管理者は、無線従事者の適正な配置を確保するため、常に無線従事者の養成に留意するものとする。

（無線従事者の任務）

第８条　無線従事者は、無線設備の操作を行うとともに、通信取扱者の行う無線設備の操作を監督する。

２　同報親局を運用する無線従事者は、業務日誌（別記様式）を作成しなければならない。

（備付け書類等の管理）

第９条　管理責任者は、電波法関係法令に基づく業務関係書類を管理し、及び保管する。

２　前条第２項に規定する業務日誌は、管理責任者の閲覧を受けるものとする。

（無線設備の保守点検）

第１０条　無線設備の正常な機能維持を確保するため、次の各号に掲げる点検を、当該各号に定める者が行う。

(1) 毎日点検　通信取扱者

(2) 毎月点検　管理責任者

(3) 毎年点検　総括管理者

（通信訓練）

第１１条　総括管理者は、非常災害の発生に備え、通信機能の確認及び通信運用の習熟を図るため、次の通信訓練を実施する。

(1) 総合防災訓練に併せて実施する総合通信訓練

(2) 定期通信訓練

（研修）

第１２条　総括管理者は、通信取扱者に対し、電波法関係法令、無線設備の取扱等についての研修を行うものとする。

（通信統制）

第１３条　総括管理者は、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合は通信統制を行うものとする。

２　総括管理者に事故があるときは、管理責任者が通信統制を行う。

（雑則）

第１４条　この規程に定めるもののほか、防災行政無線の管理及び運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附　則

この規程は、平成９年３月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成９年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成１０年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成１０年１２月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成１１年５月８日から施行する。

附　則

この規程は、平成１１年１２月２日から施行する。

附　則

この規程は、平成１２年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成１３年１月６日から施行する。

附　則

この規程は、平成１４年２月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成１５年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成１５年１２月１５日から施行する。

附　則

この規程は、平成１６年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成１８年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成１９年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２１年８月22日から施行する。

附　則

この規程は、平成２２年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成２３年５月１６日から施行する。

附　則

この規程は、平成２３年６月１日から施行する。

別記様式（第８条関係）

無 線 業 務 日 誌

年　　月

免　　許　　人	和　歌　山　県　和　歌　山　市
管　理　責　任　者	総　合　防　災　課　長

	資　　格	氏　　名
無線従事者		

日	曜日	記　載　事　項	日	曜日	記　載　事　項
１			１６		
２			１７		
３			１８		
４			１９		
５			２０		
６			２１		
７			２２		
８			２３		
９			２４		
１０			２５		
１１			２６		
１２			２７		
１３			２８		
１４			２９		
１５			３０		
			３１		

記載事項	非常通信の実施状況，空電，混信，受信感度の減退等の通信状況，機器の状態その他参考となる事項（発生時間等）

3-3

和歌山市防災行政無線運用要綱

平成９年２月１２日
例　規　第　１　号

目次

第１章　総則（第１条－第５条）
第２章　同報無線系の運用（第６条－第１１条）
第３章　雑則（第１２条―第１３条）

第１章　総則

（趣旨）

第１条　この要綱は、和歌山市防災行政無線管理運用規程（平成９年訓令第２号。以下規程」という。）第１４条の規定に基づき、防災行政無線の運用について必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第２条　この要綱において、次に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 一斉送信　同報無線系を使用して、すべての同報子局に同時に送信することをいう。

(2) ブロック送信　同報無線系において、あらかじめ組織化した同報子局のうちの一部の組織に対して送信することをいう。

(3) 個別送信　同報無線系において、１の同報子局にのみ送信することをいう。

（運用の体制）

第３条　平常時における通信は、同報親局を管理責任者が、運用する。

２　前項の規定にかかわらず規程第１３条の定めにより総括管理者が通信統制を行う場合は、管理責任者が運用する。

（運用の原則）

第４条　通信を行うときは、次の事項を守らなければならない。

(1) 必要のない通信を行ってはならない。

(2) 無線通信に使用する用語は、できる限り簡潔でなければならない。

(3) 通信を行うときは、自局の呼出名称を付して、その出所を明らかにしなければならない。

(4) 通信は正確に行うものとし、通信上の誤りを知ったときは、直ちに訂正しなければならない。

(5) 事前に無線設備の状況を確かめ、適性な操作を行い、無用な電波を発射しないように努めなければならない。

（無線局の呼出名称）

第５条　無線局の呼出名称は、次のとおりとする。

(1) 同報親局　ぼうさいわかやまし

第２章　同報無線系の運用

（運用時間）

第６条　同報無線系の運用時間は、常時とする。

（送信内容）

第７条　同報親局により送信できる事項は、次のとおりとする。

(1) 気象業務法（昭和２７年法律第１６５号）第１３条第１項、第１４条第１項又は第１４条の２第１項若しくは第２項の規定による気象、津波、高潮、波浪及び洪水の警報

(2) 市民に対し緊急に伝達を必要とするもの

(3) 市行政に関する連絡事項

(4) 定時放送

(5) その他市長が特に必要と認める事項

（送信の種別等）

第８条　同報親局による送信は、非常送信及び一般送信とし、送信の内容、送信の時刻及び送信の種別は、次のとおりとする。

区　分	送　信　の　内　容	送信の時刻	送信の種別
非常送信	第７条第１号及び第２号に掲げる事項	必要の都度	一斉送信、ブロック送信又は個別送信
一般送信	第７条第３号及び第５号に掲げる事項		
	第７条第４号に掲げる事項	毎日　１７時	

（送信の方法）

第９条　同報親局による送信は、次に掲げる送信の区分に応じ、当該各号に定める事項を順次送信して行うものとする。

(1) 非常送信　次の事項とし、イからエまでを３回繰り返すものとする。

ア　チャイム又はサイレン

イ　「こちらは、ぼうさいわかやましです。」

ウ　本文

エ　「こちらは、ぼうさいわかやましです。」

オ　チャイム

(2) 一般送信　次の事項とし、イからエまでを３回繰り返すものとする。

ア　チャイム

イ　「こちらは、ぼうさいわかやましです。」

ウ　本文

エ　「こちらは、ぼうさいわかやましです。」

オ　チャイム

（送信依頼）

第１０条　同報親局により送信しようとする部課長等は、送信依頼書（別記様式）を管理責任者に提出し、その承認を得るものとする。

２　緊急やむを得ないときは、口頭により依頼することができる。この場合においては事後速やかに依頼書を提出するものとする。

３　管理責任者は、前項の依頼書の提出があったときは、その内容を検討し、適当と認めたものに限り、送信するものとする。

（送信記録の整理及び保存）

第１１条　通信取扱責任者は、送信文を整理し、保存しておかなければならない。

第３章　雑則

（試験電波の発射）

第１２条　無線設備の試験又は調整のため、試験電波を発射するときは、電波を発射する前に聴守し、他の通信に混信を与えないことを確かめた後、次に掲げる事項を順次送信する。

(1) ただいま試験中　　３回

(2) こちらは　　１回

(3) 自局の呼出名称　　３回

２　前項の各号に掲げる事項の送信後、１分間聴守を行い、他の無線局から停止の請求がない場合に限り、次に掲げる事項を１０秒間以内で送信する。

(1) 「本日は晴天なり」の連続

(2) 自局の呼出名称

（雑則）

第１３条　この要綱に定めるもののほか必要な事項は、総括管理者が別に定める。

附　則

この要綱は、平成９年３月１日から施行する。ただし、第３章の規定は、同年４月１日から施行する。

附　則

この要綱は、平成１２年４月１日から施行する。

附　則

この要綱は、平成１５年４月１日から施行する。

附　則

この要綱は、平成１６年４月１日から施行する。

附　則

この要綱は、平成１８年４月１日から施行する。

附　則

この要綱は、平成２３年６月１日から施行する。

別記様式（第１０条関係）

同報無線送信依頼書

年　　月　　日

総 合 防 災 課 長　様

職

氏名

和歌山市防災行政無線運用要綱第１０条の規定により、次のとおり送信を依頼します。

送信日時	年　　月　　日（　） 時　　分
送信種別	□ 一斉　　□ ブロック（　　）　□ 個別（　　）
送信件名	
送 信 文	
特記事項	

3-4

和歌山市防災行政無線同報無線系運用要領

（趣旨）

第１条　この要領は、和歌山市防災行政無線運用要綱（平成９年２月１２日例規第１号（以下「要綱」という。））第７条第１号に定める津波の警報等及び同条第２号に定める市民に対し緊急に伝達を必要とするもの（以下「緊急伝達事項」という。）で吹鳴するサイレンについての種別等（以下「サイレンの種別」という。）、緊急伝達事項、同条第３号に定める市行政に関する連絡事項（以下「市行政連絡事項」という。）並びに要綱第１０条第１項に定める送信依頼書について、必要な事項を定めるものとする。

（サイレンの種別）

第２条　防災行政無線で吹鳴するサイレンは、下記のとおりとする。ただし、国民保護情報で吹鳴するサイレンは国が発信するサイレン音とする。

	情報種別	吹鳴時間	回数
要綱第７条第１号	大津波警報	３秒吹鳴、２秒休止	３回
要綱第７条第１号	津波警報	５秒吹鳴、６秒休止	２回
要綱第７条第１号	津波注意報	１０秒吹鳴、２秒休止	２回
第３条別表第１第１項	国民保護情報	１４秒吹鳴	１回
第３条別表第１第４項第１号	警戒レベル５ 緊急安全確保	２０秒吹鳴	１回
第３条別表第１第８項	訓練及び試験	必要な時間	必要な回数

（緊急伝達事項）

第３条　緊急伝達事項の放送については、別表第１に定める放送事項区分に応じ、同表に定める放送時刻により実施する。

（市行政連絡事項）

第４条　市行政連絡事項の放送については、別表第２に定める放送事項区分に応じ、同表に定める放送時刻により実施する。

（送信依頼書）

第５条　送信依頼書は、次の事項による。

（１）送信文は、簡潔明瞭な内容で概ね１００文字程度とし、送信依頼した所属名により送信するものとする。

（２）原則として送信日の７日前までに管理責任者に提出しなければならない。ただし、管理責任者が必要と認めた場合は、この限りでない。

附　則

この要領は、令和５年　１月１１日から施行する。

別表第１（第３条関係）

緊急伝達事項

放送事項	放送時刻
１　国民保護情報（武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律（平成十六年法律第百十二号）に関するもの（以下「国民保護法」という）） （１）ゲリラ・特殊部隊攻撃情報 （２）航空攻撃情報 （３）弾道ミサイルに関する情報 （４）大規模テロ情報	・情報受信時
２　緊急地震速報 （１）震度５弱以上の地震が予想され、和歌山県北部で震度４以上と予想される場合 （２）長周期地震動階級３以上が、和歌山県北部で予想される場合	・速報受信時
３　震度速報 （１）和歌山市で震度４以上の地震が発生した場合 （２）前項の緊急地震速報が伝達された場合	・震度確定後
４　災害時及び災害が予想される場合（国民保護法に関するものも含む）における伝達が必要な情報 （１）避難情報 （２）避難生活に関する情報 （３）危険情報 （４）その他必要と認める情報	・災害対策本部長及び災害警戒本部長、国民保護対策本部長が必要と判断したとき
５　環境に関する情報 （１）微小粒子状物質（ＰＭ２．５）基準超過 （２）光化学オキシダント（スモッグ）警報以上（予報、注意報については学校施設関係の戸別受信機のみ）	・関係機関から要請があったとき
６　住民の生命、身体及び財産を保護するための情報	・消防、警察機関等の要請に基づき、放送が必要と判断されたとき
７　ライフライン等に発生した大規模な事故等に関する情報（停電、断水、通信途絶、テレビ・ラジオ放送の受信不能、ガス漏れ等市民生活に重大な影響を及ぼすと認められるもの）	・関係機関の要請に基づき放送が必要と判断されたとき
８　次項に掲げるものに係る訓練及び試験	
９　前各項に掲げるもののほか、管理責任者が緊急に伝達する必要があると認める情報	

別表第２（第４条関係）

市行政連絡事項

放送事項	放送時刻
１　地域の安心安全に関する情報 （１）火災予防注意喚起 （２）感染症対策等に関する情報 （３）ライフライン等に発生した小規模な事故等に関する情報 （４）高温注意情報（熱中症注意喚起を含む） （５）防犯に関する情報（詐欺注意喚起を含む） （６）地域の防災訓練に関するもの ２　市民生活に深く係わる事項で、その目的等を達成するために市民の協力を欠くことができないなどの必要性が高い情報 （１）渇水時における節水を求めるもの （２）電力ひっ迫時における節電を求めるもの （３）全市的に行う清掃等への協力を求めるもの （４）選挙の周知及び投票を呼びかけるもの ３　一斉に多数の市民に周知することが市民の利便等につながるなどの必要性があり、補完的な放送によって、周知できる情報 （１）全市的な行事の中止等に関するもの（みなと祭りや紀州おどりなどの大規模な行事に限る） （２）全市的な施策の周知に関するもの（ワクチン接種、給付金等） ４　前各項に掲げるもののほか、管理責任者が伝達する必要があると認める情報	・関係機関及び組織からの依頼に基づき、放送が必要と判断されたとき時刻を定めて放送する

3-5

和歌山県総合防災情報システム・防災電話整備状況一覧表(本市関連)

１．和歌山県（県庁）

設　置　場　所	呼　出　番　号	設　置　場　所	呼　出　番　号
統制室	300-400、402 FAX 300-496～499	教育支援課	300-419 FAX　300-488
当直室	300-401	災害対策本部室	300-420～425 FAX　300-487
災害対策課	300-403 FAX 300-496～499	防災対策室	300-426（情報整理G） 300-427～428、466 （総括調整G） 300-429 （産業保安・燃料調整G） 300-430～431 （活動調整G） 300-432、434 （消防応援活動調整本部） 300-433（ヘリ調整G） 300-435（交通G） 300-436（道路G） 300-437～438（医療G） 300-439（DMAT調整本部） 300-440（警察リエゾン） 300-470（通信G） 300-471 （電気・都市ガスG） 300-472（水道G） 300-473（救援物資G） FAX　300-484～486
防災企画課	300-404		
危機管理消防課	300-405		
災害対策本部長室	300-406		
県土整備政策課	300-407 FAX 300-495		
道路保全課	300-408 FAX 300-494		
道路建設課	300-409		
河川課	300-410 FAX 300-493		
砂防課	300-411		
都市政策課	300-412 FAX　300-492		
港湾漁港整備課	300-413 FAX　300-491	海草振興局地域づくり課	300-415 FAX　300-490
教育総務局総務課	300-417	海草振興局建設部 管理保全第二課	312-403 FAX　312-499
生涯学習課	300-418	防災航空センター	364-400 FAX　364-499
教育支援課	300-419 FAX　300-488	東京事務所	048-300-9-3308

２．和歌山市

設　置　場　所	呼　出　番　号	設　置　場　所	呼　出　番　号
総合防災課	(210)-400 FAX(210)-499	消防局指令課	(210)-500 FAX (210)-599
建築指導課	(210)-401	消防局トレーニング室	(210)-501
農林水産課	(210)-402	消防局警防課	(210)-502
河川港湾課	(210)-403	消防局予防課	(210)-503
下水道管理課	(210)-404	消防局消防総務課	(210)-504
道路管理課	(210)-405	消防局消防警備本部室	(210)-505

３．防災関係機関

設　置　場　所	呼 出 番 号
自衛隊信太山駐屯地	392-400～402 FAX 392-499

※有線回線：（県番号）－（局番）－（電話番号）、衛星回線：７－（県番号）－（局番）－（電話番号）和歌山県番号は０３０

3-6

津波監視カメラ設置場所

地区	設置場所	所在地	緯度	経度
加太	防災行政無線屋外拡声子局 （加太港緑地）	加太2693番1地先 加太港緑地内	34.278919	135.071834
西脇	防災行政無線屋外拡声子局 （磯ノ浦）	磯の浦337番地の1	34.261322	135.091094
和歌浦	防災行政無線屋外拡声子局 （片男波）	和歌浦南3丁目地先	34.182650	135.171672
名草	防災行政無線屋外拡声子局 （浜の宮）	毛見981番地先	34.163318	135.183359

3-7

救護拠点医療機関一覧表

名称	所在地	電話番号	ＦＡＸ
今村病院	砂山南2丁目4番21号	425-3271	425-3435
宇都宮病院	鳴神505番地4	471-1111	473-8567
上山病院	内原998番地	446-1200	445-0115
河西田村病院	島橋東ノ丁1番11号	455-1015	453-2359
向陽病院	津秦40番地	474-2000	474-1880
嶋病院	西仲間町1丁目30番地	431-3900	432-6202
誠佑記念病院	西田井391番地	462-6211	462-6633
伏虎リハビリテーション病院	畑屋敷東ノ丁1番地	433-4488	433-0162
中谷病院	鳴神123番地1	471-3111	473-0864
中江病院	船所30番地1	451-0222	455-9788
橋本病院	堀止南ノ丁4番31号	426-3388	424-7953
堀口記念病院	湊本町3丁目4番地1	435-0113	435-0114
和歌山生協病院	有本143番地1	471-7711	474-2387
月山チャイルドケアクリニック	秋月482番地1	476-2300	476-2320
西和歌山病院	土入176番地	452-1233	452-1040
向井病院	北野283番地	461-1156	462-2521
和歌浦中央病院	塩屋6丁目2番70号	444-1600	441-3101

災害拠点病院・・・・・和歌山県立医科大学附属病院、日本赤十字社和歌山医療センター、和歌山労災病院
災害支援病院・・・・・済生会和歌山病院

3-8

衛星携帯電話番号一覧

機種	No.	配布先	機種	No.	配布先
イリジウム（ＫＤＤＩ）	01～05	災害対策本部	ワイドスターⅡ（ＮＴＴドコモ）	00～02	災害対策本部
	06	財政課		03～25	各連絡所（23）
	07	市民自治振興課		26～44	各支所（19）
	08	保険総務課		45	和歌山市保健所
	09	耕地課		46	南保健センター
	10	建設総務課		47	西保健センター
	11	道路管理課		48	北保健センター
	12	下水道管理課		49	直川畑自治会
	13	下水道企画建設課		50	大阪ガスネットワーク南部事業部
	14	企業総務課		51	日本放送協会和歌山放送局
				52	関西電力送配電和歌山本部
				53	日本通運和歌山支店
				54	南海電気鉄道本社
				55	和歌山バス
				56	和歌山放送
				57	テレビ和歌山
				58	和歌山市医師会
				59	日本赤十字社和歌山医療センター
				60	和歌山労災病院
				61	済生会和歌山病院

イリジウム(KDDI) からのダイヤル方法

1　一般電話　　00-81（日本）―先頭の０を取った市外局番―電話番号

2　イリジウム　　00-　イリジウムの電話番号

3　携帯電話　　00-81（日本）―先頭の０を取った携帯電話番号

ワイドスターⅡ(NTTドコモ)からのダイヤル方法は一般の携帯電話と同じ

3-9

気象観測施設及び地震津波観測施設

(1)　気象観測所

和歌山地方気象台

観測所名	観測種目							所在地
	気温	風向・風速	日照時間	降水量	湿度	積雪	その他	
葛城山				○				紀の川市切畑
かつらぎ	○	○	○*	○	○			伊都郡かつらぎ町妙寺
友ケ島	○	○	○*	○	○			和歌山市加太苫ヶ沖島
和歌山	○	○	○	○	○	○	○	和歌山市男野芝丁4（和歌山地方気象台）
高野山	○	○	○*	○	○			伊都郡高野町高野山
湯浅				○				有田郡湯浅町湯浅
清水	○	○	○*	○	○			有田郡有田川町清水
護摩壇山				○				田辺市龍神村龍神
龍神	○	○	○*	○	○			田辺市龍神村湯ノ又
川辺	○	○	○*	○	○			日高郡日高川町和佐
本宮				○				田辺市本宮町本宮
栗栖川	○	○	○*	○	○			田辺市中辺路町栗栖川
新宮	○	○	○*	○	○			新宮市佐野
南紀白浜	○	○		○				西牟婁郡白浜町（南紀白浜空港）
西川	○	○	○*	○	○			東牟婁郡古座川町西川
色川				○				東牟婁郡那智勝浦町大野
日置川				○				西牟婁郡白浜町安居
潮岬	○	○	○	○	○		○	東牟婁郡串本町潮岬

※の説明は、次ページ「和歌山県内の気象観測施設」内で説明。
資料：和歌山地方気象台（令和5年5月19日現在）

（2）　和歌山地方気象台所管の気象観測所配置図



資料：和歌山地方気象台（令和5年5月19日現在）

(3)検潮所

和歌山地方気象台

潮位観測点名称	潮位観測に関する情報に用いる観測点名称	所在地	観測に使用する機器		所管
和歌山	和　歌　山	和歌山市湊青岸	検潮儀 (電波式)	巨大津波計	和歌山地方気象台
御　坊	御坊市祓井戸	御坊市野島	津波観測計 (精密型電波式)	－	和歌山地方気象台
白　浜	白浜町堅田	白浜町堅田	検潮儀 (電波式)	巨大津波計	和歌山地方気象台
串　本	串本町袋港	串本町串本	検潮儀 (精密型電波式)	巨大津波計	和歌山地方気象台
浦　神	那智勝浦町浦神	那智勝浦町浦神	検潮儀 (電波式)	巨大津波計	和歌山地方気象台

資料：和歌山地方気象台（令和4年4月1日現在）

(4)地震観測施設

和歌山地方気象台

震度発表名称	所　在　地	所　管　官　署	備　　考
和歌山市男野芝丁	和歌山市男野芝丁4	和歌山地方気象台	多機能型地震計
高野町高野山中学校	伊都郡高野町高野山26-2	和歌山地方気象台	多機能型地震計
みなべ町土井	日高郡みなべ町土井431	和歌山地方気象台	多機能型地震計
田辺市中辺路町近露	田辺市中辺路町近露177-3	和歌山地方気象台	多機能型地震計
串本町潮岬	東牟婁郡串本町潮岬3380-1	和歌山地方気象台	多機能型地震計
紀の川市粉河	紀の川市粉河1479	和歌山地方気象台	震度計
有田市箕島	有田市箕島50	和歌山地方気象台	震度計
御坊市薗	御坊市薗226	和歌山地方気象台	震度計
白浜町消防本部	西牟婁郡白浜町2927-259	和歌山地方気象台	震度計
古座川町高池	東牟婁郡古座川町高池770	和歌山地方気象台	震度計
新宮市新宮	新宮市新宮451	和歌山地方気象台	震度計

資料：和歌山地方気象台（令和4年4月1日現在）

地震観測施設（強震ネットワーク（K-NET）接続観測所）

独立行政法人防災科学技術研究所（略称：防災科研）

観測所	設　置　場　所	震度発表名称	震度計の所管	備　　考
和歌山	和歌山市一番丁3	和歌山市一番丁	防災科学技術研究所	県に分岐
有　田	有田市初島町浜1367-3	有田市初島町	防災科学技術研究所	
御　坊	御坊市薗350	御坊市役所	防災科学技術研究所	県に分岐、※１
田　辺	田辺市中屋敷町24-45	なし	防災科学技術研究所	
新　宮	新宮市磐盾1473	新宮市磐盾	防災科学技術研究所	
那　賀	紀の川市名手市場1456	紀の川市那賀総合ｾﾝﾀｰ	防災科学技術研究所	
清　水	有田郡有田川町清水389-1	有田川町清水	防災科学技術研究所	県に分岐
龍　神	田辺市龍神村西376	なし	防災科学技術研究所	
本　宮	田辺市本宮町本宮254-4	なし	防災科学技術研究所	
太　地	東牟婁郡太地町太地3769-2	太地町太地暖海公園	防災科学技術研究所	

観測所	設　置　場　所	震度発表名称	震度計の所管	備　　考
すさみ	西牟婁郡すさみ町周参見4038-10	すさみ町周参見	防災科学技術研究所	県に分岐
串　本	東牟婁郡串本町串本2427	串本町串本	防災科学技術研究所	県に分岐
高　野	伊都郡高野町高野山33	和歌山高野町役場	防災科学技術研究所	県に分岐
大　塔	田辺市木守325	なし	防災科学技術研究所	

※１：気象庁（和歌山地方気象台）所管の「御坊観測所」が長期障害時には、防災科研所管の「御坊観測所」の震度情報が発表される場合があります。

出典：和歌山県地域防災計画

地震観測施設（和歌山県震度情報ネットワーク接続観測所）

県防災企画課

NO	観測所	震度発表名称	設　置　場　所	震度計の所管
1	和歌山	和歌山市一番丁	一番丁3　和歌山城公園内	防災科学技術研究所
2	海南	海南市南赤坂	南赤坂11　海南市役所敷地内	県
3	下津	海南市下津	下津518-6　海南市消防本部下津消防署敷地内	県
4	橋本	橋本市東家	東家1-1-1　橋本市役所敷地内	県
5	高野口	橋本市高野口町名倉	高野口町名倉813-2 橋本市役所高野口公民館敷地内	県
6	岩出	岩出市西野	西野209　岩出市役所敷地内	県
7	打田	紀の川市西大井	西大井338　紀の川市役所敷地内	県
8	桃山	紀の川市桃山町元	元376　紀の川市役所桃山支所敷地内	県
9	貴志川	紀の川市貴志川町神戸	神戸327-1　紀の川市役所貴志川支所敷地内	県
10	有田	有田市箕島	箕島50　有田市役所敷地内	気象庁
11	御坊	御坊市湯川	湯川町富安2330-6　県営下富安団地敷地内	防災科学技術研究所
12	中屋敷	田辺市中屋敷町	中屋敷町24-49　田辺社会福祉センター敷地内	県
13	中辺路	田辺市中辺路町栗栖川	中辺路町栗栖川396-1　田辺市役所中辺路行政局敷地内	県
14	大塔	田辺市鮎川	鮎川2567　田辺市役所大塔行政局敷地内	県
15	本宮	田辺市本宮町本宮	本宮町本宮219　田辺市役所本宮行政局敷地内	県
16	龍神	田辺市龍神村西	龍神村西376　田辺市役所龍神行政局敷地内	県
17	新宮	新宮市新宮	新宮451　新宮市保健センター敷地内	気象庁
18	熊野川	新宮市熊野川町日足	熊野川町日足350　新宮市役所熊野川行政局敷地内	県
19	野上	紀美野町下佐々	下佐々803-1　紀美野町消防本部敷地内	県
20	美里	紀美野町神野市場	神野市場226-1　紀美町役場神野支所敷地内	県
21	かつらぎ	かつらぎ町丁ノ町	丁ノ町2338-2　地域福祉センター敷地内	県
22	花園	かつらぎ町花園梁瀬	梁瀬645　かつらぎ町役場花園支所敷地内	県
23	九度山	九度山町九度山	九度山1190　九度山町役場敷地内	県
24	高野	和歌山高野町役場	高野山33　高野町役場駐車場	防災科学技術研究所
25	湯浅	湯浅町青木	青木668-1　湯浅町役場敷地内	県

NO	観測所	震度発表名称	設　置　場　所	震度計の所管
26	広川	和歌山広川町広	広1500　広川町役場敷地内	県
27	吉備	有田川町下津野	下津野2018-4　有田川町役場吉備庁舎内	県
28	金屋	有田川町中井原	中井原136-2　有田川町役場金屋庁舎敷地内	県
29	清水	有田川町清水	清水389-1　有田川町役場清水行政局駐車場	防災科学技術研究所
30	美浜	和歌山美浜町和田	和田1138-278　美浜町役場敷地内	県
31	日高	和歌山日高町高家	高家626　日高町役場敷地内	県
32	由良	由良町里	里1220-1　由良町役場敷地内	県
33	印南	和歌山印南町印南	印南2570　印南町役場敷地内	県
34	南部	みなべ町芝	芝742　みなべ町役場第１庁舎敷地内	県
35	川辺	日高川町土生	土生160　日高川町役場本庁敷地内	県
36	中津	日高川町高津尾	高津尾29　日高川町役場中津支所敷地内	県
37	美山	日高川町川原河	川原河264　日高川町保健福祉センター	県
38	白浜	白浜町消防本部	2927-259　白浜町消防本部敷地内	気象庁
39	日置川	白浜町日置	日置980-1　白浜町役場日置川事務所敷地内	県
40	上富田	上富田町朝来	朝来763　上富田町役場敷地内	県
41	すさみ	すさみ町周参見	周参見4038-10　すさみ町役場駐車場	防災科学技術研究所
42	那智勝浦	那智勝浦町天満	大字天満1244-1　那智勝浦町消防・防災センター敷地内	県
43	太地	太地町役場	太地3767-1　太地町役場敷地内	県
44	北山	北山村大沼	大沼42　北山村役場敷地内	県
45	串本	串本町串本	串本2427　串本町立体育館敷地内	防災科学技術研究所
46	古座	串本町古座	古座1035　串本町消防本部古座消防署敷地内	県

（参考）和歌山県震度情報ネットワーク接続観測所（４６箇所）の震度計所管内訳

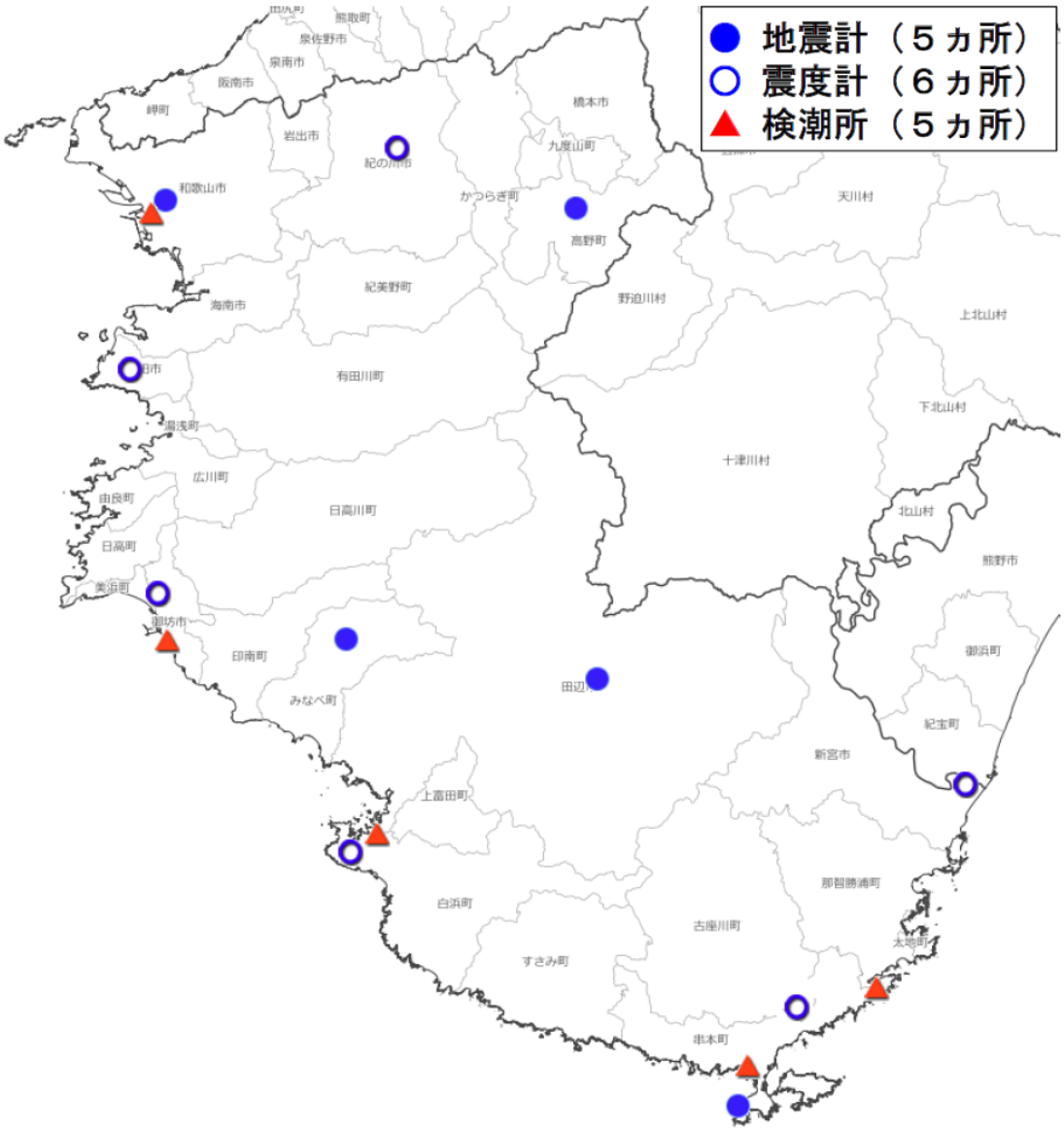
・和歌山県所管震度計：３７箇所

・気象庁所管震度計　：　３箇所

・独立行政法人防災科学技術研究所（防災科研）所管震度計：６箇所

出典：和歌山県地域防災計画

(5)和歌山地方気象台所管の地震計、震度計、検潮所配置図



※図の作成には、国土地理院ウェブサイト（https://maps.gsi.go.jp/）を利用

資料：和歌山地方気象台（令和4年4月1日現在）

４．市の防災対策の現況

4-1　消防力の現況

4-1-1

消防庁舎の一覧

（令和5年4月現在）

名称		所在地	構造	建築年月	面積(㎡)		
					敷地面積	建築面積	延べ面積
消防局・中消防署		八番丁12番地	鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 一部鉄骨 地下１階地上６階建て	H16.12	1,856.00	1,148.82	7,260.57
中消防署	南分署	和歌浦東1丁目 1番13号	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ ３階建て	H29. 8	866.11	322.96	693.75
	宮前 出張所	小雑賀2丁目 2番8号	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ ２階建て	S53. 5	595.92	220.58	284.28
東消防署	本署	鳴神1059番地6	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ ２階建て	S49. 4	2,480.59	481.35	806.52
	四箇郷 出張所	加納246番地3	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ ２階建て	S62. 3	330.64	159.04	213.76
	河南 出張所	吐前568番地	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ ２階建て	S59. 7	998.80	191.45	245.45
	岡崎分署 （消防活動センター）	森小手穂 49番地1	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ ３階建て	R3. 5	3,347.78	734.05	1,621.16
北消防署	本署	狐島645番地3	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ一部鉄骨 ２階建て	H25.11	4,318.98	1,148.98	1,617.55
	加太 出張所	加太1203番地4	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 平屋建て	S43. 9	697.95	160.21	160.21
	紀伊分署	弘西1101番地2	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ ２階建て	S48. 6	1,663.29	349.53	661.41
	鳴滝 出張所	園部596番地 163	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ ２階建て	S56.12	630.09	216.33	268.33

※津波浸水想定区域内にある和歌山市中消防署南分署宮前出張所の庁舎移転を図る。

4-1-2

消防局の編成

（令和6年10月1日現在）

所　属　別	人　　員	車　　両	
消防総務課(付)	21(7)　（局長、副局長、指令統括監を含む）	乗用車 軽貨物車 人員搬送車 防災活動車	1 1 1 1
予防課	17	VR防災体験車 広報車 指令車	1 2 1
警防課	17	広報車 指令車 貨物車 指揮車 救急車	1 2 1 1 1
指令課	19	無線中継車	1
計	74(7)		15

4-1-3

消防署の編成

（令和6年10月1日現在）

署別	人員	車両								
	(吏員)	はしご車	化学車	ポンプ車	タンク車	救急車	救助車		その他	計
中消防署	人 124	台 1	台 2	台 5	台 2	台 5	台 2		台 8	台 25
東消防署	92	1	1	5	1	4	2		6	20
北消防署	98	1	1	6	1	6	1		6	22
合　計	314	3	4	16	4	15	5		20	67

4-1-4

消防水利の状況

（令和6年4月1日現在）

種別／署別	消火栓			防火水槽				井戸公設	プール
				公設			私設		
	上水	工水	私設	20m³	40m³～	耐震性100m³			
中消防署	2,038	42	27	293 (155)	224 (75)	2 (2)	205	31	36
				小計 519(232)					
東消防署	1,189	1	18	377 (162)	136 (59)	1 (1)	146	9	15
				小計 514(222)					
北消防署	1,663	4	100	416 (171)	357 (152)	2 (2)	234	13	36
				小計 775(325)					
計	4,890	47	145	1,086 (488)	717 (284)	5 (5)	585	53	87
				合計 1,808(779)					

（ ）は、耐震性貯水槽に準ずる水槽

※　屋外給水栓 構内（定数外）	中署　花王内	118
	北署　日本製鉄内	230
	合　計	348

4-1-5

消防団の状況

（令和6年10月1日現在）

分団名	配置基準数（団員）	ポンプ車	積載用車両		小型動力ポンプ
			普通車	軽四輪車	
団本部	68	台	台	台	台
本町	22			1	1
城北	22			1	1
宮北	25		1	1	2
中之島	15		1	1	2
大新	15		1		1
新南	15			2	2
広瀬	20		1		1
芦原	15			1	1
雄湊	15		1		1
砂山	20		1	1	2
今福	20			1	1
吹上	22		1		1
安原	90		2	9	11
三田	44			3	3
宮前	60			7	7
高松	20			1	1
名草	69		3	2	5
和歌浦	34		1	1	3
雑賀	40			3	3
雑賀崎	20			1	1
田野	20			1	1
小倉	80			6	7
和佐	45			6	8
西和佐	46			6	6
四箇郷	30		1	1	2
宮	55			4	4
岡崎	59			6	6
東山東	80			9	9
西山東	60			5	5
加太	45		1	1	2
西脇	45	2	1		1
木本	50	2	1	2	3
松江	50	1	1	4	5
貴志	32	0	1	1	2
野崎	30	1			
湊	39	1			1
楠見	40		1	1	2
有功	49			2	2
直川	40			2	2
紀伊	85			6	9
山口	54			2	3
川永	45			2	2
合計	1,750	7	20	103	132

4-2　市有車両や資機材等の備蓄状況

4-2-1

市有自動車所属別保有台数（四輪車）

（令和7年3月現在）

局	部	貨物自動車 普通貨物	貨物自動車 小型貨物	乗用自動車 普通乗用	乗用自動車 小型乗用	軽自動車 軽貨物 軽乗用 軽特種	自家用乗合 自家用乗　合	特種（特殊）用途自動車 特種塵芥車	特種身体障	特種X車 図書館	犬捕獲 消毒 大気汚染	大型特殊	※その他	（内容）	合計	うち広報車
市長公室	政策調整部			1											1	1
総務局	総務部				4	20									24	3
危機管理局	危機管理部		1			1							1	パトロールカー	3	0
財政局	財政部														0	0
	税務部					7									7	0
市民環境局	市民部		1			4									5	0
	環境部	8	12		1	43		34				2	6	フォークリフト・バックフォー・特殊吸引作業車	106	0
健康局	保険医療部					23		1							24	0
	健康推進部	1	1	1	3	14									20	0
福祉局	社会福祉部		1	4	11	16							25	輸送車	57	0
	こども未来部			1		4									5	0
産業交流局	産業部					1									1	0
	観光国際部		1			1							2	ショベルローダー、ミニショベル	4	0
	文化スポーツ部		1			4									5	0
	農林水産部		2			7						1	1	フォークリフト	11	0
都市建設局	建設総務部			1		6									7	0
	道路河川部	4	5	1		11		2					3	ホイルローダー・パトロールカー	26	0
	建築住宅部					9	1								10	0
	都市計画部	1	4		2	4		2							13	0
出納室															0	0
議会事務局				2											2	0
企業局	経営管理部			1		7									8	2
	水道工務部	1	3		1	37							4	給水車	46	21
	下水道部		1			22							3	パトロールカー、糞尿車	26	1

局	部	貨物自動車 普通貨物	貨物自動車 小型貨物	乗用自動車 普通乗用	乗用自動車 小型乗用	軽自動車 軽貨物 軽乗用 軽特種	自家用乗合 自家用乗合	特種（特殊）用途自動車 特種塵芥車	特種身体障	特種 X車 図書館	犬捕獲 消毒 大気汚染	大型特殊	※その他	（内容）	合計	うち広報車
消防局				1		1							80	消防自動車・救急自動車等緊急車両及び防災体験車	82	11
教育委員会事務局	教育学習部			1		19				2					22	0
	学校教育部		1			2									3	0
監査事務局															0	0
選挙管理委員会事務局															0	0
人事委員会事務局															0	0
農業委員会事務局															0	0
固定資産評価審査委員会事務局															0	0
小　計		16	38	14	23	241	1	39	0	2	0	3	121		498	39

（リース車除く）

4-2-2

備蓄保管場所一覧表

(1)備蓄拠点倉庫

名　　称	所　　在　　地	面　積（㎡）
和歌山市備蓄倉庫	雄松町3丁目17番地の1	164
和歌山市第二備蓄倉庫	平井470番地の1	118
和歌山市第三備蓄倉庫	野崎204番地の3	205
和歌山市第四備蓄倉庫	中之島803番地の14	335

(2)その他

名　　称	所　　在　　地
和歌山市保健所備蓄倉庫	吹上5丁目2番15号
つつじが丘総合公園備蓄倉庫	つつじが丘4丁目1-2
公立小中学校をはじめとする各避難所（資５－２－１参照）	

4-2-3

物資備蓄品目

(1)食料

（令和7年3月現在）

品　　名	数　　量	保　管　場　所
アルファ化米	96,200 食	備蓄倉庫 及び避難所
乾パン	10,008 缶	
粉ミルク	240 箱	
粉ミルク（アレルギー対応）	8 缶	
液体ミルク	120 缶	
飲料水	190,262 本	

(2)日用品等

（令和7年3月現在）

品　　名	数　　量	保　管　場　所
簡易トイレ	414 個	備蓄倉庫 及び避難所
トイレ処理剤	136,100 回	
おむつ(大人用)	6,761 枚	
おむつ(乳幼児用)	5,936 枚	
生理用品	18,537 枚	
毛　　布	27,135 枚	
簡易アルミ寝袋	26,595 枚	
ブルーシート	16,195 枚	

(3)医療救護資機材

（令和7年3月現在）

品　　名	保　管　内　容	保　管　場　所
外科的処置材料	副木、三角巾、包帯、ガーゼ、救急セット	和歌山市保健所 備蓄倉庫
トリアージ実施用備品	テント、車いす、投光機付き発電機、四つ折り担架、トリアージタッグ	和歌山市保健所 備蓄倉庫

(4)活動用資機材

（令和7年3月現在）

品　　名	数　　量	保　管　場　所
発電機（1.6kVA）ガソリン携行缶含む	42 台	支所・連絡所
投光機（150W）投光機用三脚及び電工ドラム含む	42 台	

(5)感染症対策物品

（令和7年3月現在）

品　　名	数　　量	保　管　場　所
消毒用アルコール液	432 本	備蓄倉庫 及び避難所
アルコールシート	206 本	
ウェットタオル	25,750 枚	
ハンドソープ	515 本	
ペーパータオル	63,000 枚	
体温計	120 本	
非接触体温計	162 本	
サーマルカメラ	103 台	
マスク	215,760 枚	
フェイスシールド	895 個	
ゴム手袋	30,000 枚	
防護服	515 着	
段ボールパーティション	11,216 セット	
クイックパーティション	927 張	
屋内テント	1,030 張	
エアマット	10,400 枚	
段ボールベッド	1,115 基	
レジ袋	41,200 枚	
ブルーシート	1,030 枚	

4-2-4

設備等の状況（応急給水用機器の保有状況）

（令和6年8月末現在）

種　別	容　量	保管場所	数　量	備　考
非常用飲料水容器	6 ℓ	和佐配水池	77,200 袋	
	6 ℓ	加納浄水場	2,360 袋	
	10 ℓ	加納浄水場	600 袋	
	10 ℓ	真砂配水場	400 袋	
	10 ℓ	禰宜自治会館敷地内倉庫	1,000 袋	
	10 ℓ	ふじと台ポンプ所敷地内倉庫	2,500 袋	
ポ リ 容 器	10 ℓ	市庁舎地下	15 個	
	20 ℓ	島橋工水中継ポンプ所	410 個	
	20 ℓ	禰宜自治会館敷地内倉庫	19 個	
	20 ℓ	加納浄水場	365 個	
給 水 タ ン ク	1.5 t	加納浄水場	2 個	搭載用
	2.0 t	加納浄水場	6 個	搭載用
	1.5 t	真砂配水場	1 個	搭載用
	1.8 t	真砂配水場	2 個	搭載用
給水タンク車	3.8 t	加納浄水場	1 車	
	2.0 t	真砂配水場	1 車	
	2.0 t	市庁舎地下	1 車	
	1.5 t	市庁舎地下	1 車	
仮 設 給 水 栓	—	禰宜自治会館敷地内倉庫	8 台	接続口 φ65㎜
		島橋工水中継ポンプ所	3 台	
		本庁舎地下	6 台	
		加納建設事務所	11 台	

4-2-5

設備等の状況（緊急時用浄水装置等配備場所）

緊急用浄水装置（可搬式）

番号	所管部局	処理能力	配備場所	番号	所管部局	処理能力	配備場所
1	消 防 局	4,000ℓ/h	中消防署	１２	総合防災課	4,000ℓ/h	和歌山市備蓄倉庫
2	消 防 局	4,000ℓ/h	中消防署南分署	１３	総合防災課	4,000ℓ/h	加太小学校
3	消 防 局	4,000ℓ/h	中消防署南分署宮前出張所	１４	総合防災課	4,000ℓ/h	楠見小学校
4	消 防 局	4,000ℓ/h	東消防署	１５	総合防災課	4,000ℓ/h	有功東小学校
5	消 防 局	4,000ℓ/h	東消防署四箇郷出張所	１６	総合防災課	4,000ℓ/h	新南小学校
6	消 防 局	4,000ℓ/h	東消防署河南出張所	１７	総合防災課	4,000ℓ/h	四箇郷北小学校
7	消 防 局	4,000ℓ/h	東消防署岡崎分署	１８	総合防災課	4,000ℓ/h	宮前小学校
8	消 防 局	4,000ℓ/h	北消防署	１９	総合防災課	4,000ℓ/h	浜宮小学校
9	消 防 局	4,000ℓ/h	北消防署加太出張所	２０	総合防災課	4,000ℓ/h	西脇中学校
１０	消 防 局	4,000ℓ/h	北消防署紀伊分署	２１	総合防災課	4,000ℓ/h	高積中学校
１１	消 防 局	4,000ℓ/h	北消防署紀伊分署鳴滝出張所	２２	総合防災課	4,000ℓ/h	和歌山市第三備蓄倉庫
				２３	総合防災課	100ℓ/h	松江小学校

緊急用浄水装置（固定式）

番号	所管部局	処理能力	配備場所	番号	所管部局	処理能力	配備場所
1	教育施設課	(25℃)1,000ℓ/h (2℃) 336ℓ/h	藤戸台小学校	4	教育施設課	(25℃)1,668ℓ/h (2℃) 517ℓ/h	岡崎小学校
2	教育施設課	(25℃)1,000ℓ/h (2℃) 336ℓ/h	大新小学校	5	教育施設課	(25℃)1,668ℓ/h (2℃) 517ℓ/h	紀伊小学校
3	教育施設課	(25℃)1,668ℓ/h (2℃) 517ℓ/h	芦原小学校	6	教育施設課	(25℃)1,668ℓ/h (2℃) 517ℓ/h	安原小学校

緊急時用ろ過装置車

番号	所管部局	処理能力	配備場所
1	総合防災課	1,800ℓ/h	加納浄水場

4-2-6

設備等の状況（配水池の有効貯水量）

名　　称	有効貯水量	名　　称	有効貯水量
貴志配水池	14,000m³	城内給水場	5,583m³
木ノ本低区配水池	250m³	花山配水池	10,000m³
木ノ本高区配水池	150m³	秋葉山配水池	20,000m³
つつじが丘低区配水池	853m³	新和歌浦配水池	2,000m³
つつじが丘高区配水池	737m³	黒谷配水池	850m³
有功配水池	6,600m³	明王寺配水池	600m³
鳴滝配水池	600m³	和佐配水池	20,000m³
紀伊配水池	4,200m³	有功西配水池	416m³
大谷配水池	660m³	ふじと台南低区配水池	300m³
有功東配水池	770m³	ふじと台北低区配水池	2,800m³
鳴滝緑ヶ丘配水池	75m³	ふじと台北高区配水池	1,800m³
加太サニータウン低区配水池	235m³	真砂配水場	7,000m³
加太サニータウン高区配水池	234m³		

4-2-7

設備等の状況（その他）

防災用井戸　６８基

災害時に生活用水を確保するため、下記の井戸を防災用井戸とする

１　打ち込み式手押しポンプ

	所　在　地	完成年度	備考
1	河北コミュニティセンター	平成 28 年度	－
2	西和佐小学校	平成 28 年度	－
3	和佐小学校	平成 28 年度	－
4	高積中学校	平成 28 年度	－
5	河南コミュニティセンター	平成 28 年度	－
6	川永小学校	平成 28 年度	－
7	小倉小学校	平成 28 年度	－

２　電動井戸用ポンプ

	所　在　地	完成年度	備考
1	楠見西小学校	平成 8 年度	非常用ポンプ室、定点時用発電機あり
2	宮小学校	平成 9 年度	非常用ポンプ室、定点時用発電機あり
3	貴志南小学校	平成 10 年度	非常用ポンプ室、定点時用発電機あり
4	楠見小学校	平成 13 年度	非常用ポンプ室、定点時用発電機あり
5	野崎小学校	平成 14 年度	非常用ポンプ室、定点時用発電機あり

３　自治会設置井戸

	所　在　地	完成年度	備考
1	高松小学校	平成 20 年度	連絡所物置に運転用資機材あり

４　マンホールトイレ用井戸

	所　在　地	完成年度	備考
1	東京医療保健大学敷地 **※1**	平成 23 年度	一般 8 車いす用 2
2	岡東公園	平成 23 年度	一般 4 車いす用 1
3	芦原小学校	平成 23 年度	一般 8 車いす用 2
4	和歌浦小学校	平成 23 年度	一般 8 車いす用 2
5	今福小学校	平成 23 年度	一般 8 車いす用 2
6	西浜中学校	平成 23 年度	一般 8 車いす用 2
7	中之島公園	平成 24 年度	一般 8 車いす用 2
8	大新公園	平成 24 年度	一般 4 車いす用 1
9	黒田公園	平成 24 年度	一般 4 車いす用 1
１０	城東中学校	平成 24 年度	一般 12 車いす用 3
１１	県立桐蔭中学･高等学校	平成 24 年度	一般 8 車いす用 2
１２	県立きのくに青雲高等学校	平成 24 年度	一般 4 車いす用 1
１３	西脇小学校	平成 24 年度	一般 8 車いす用 2
１４	県立向陽中学･高等学校	平成 25 年度	一般 24 車いす用 6、井戸２基あり

	所　在　地	完成年度	備考
１５	名草小学校	平成 25 年度	一般 12 車いす用 3
１６	木本小学校	平成 25 年度	一般 20 車いす用 5、井戸２基あり
１７	県立和歌山商業高等学校	平成 26 年度	一般 8 車いす用 2
１８	中之島小学校	平成 26 年度	一般 16 車いす用 4
１９	砂山小学校	平成 26 年度	一般 4 車いす用 1
２０	宮前小学校	平成 27 年度	一般 24 車いす用 6、井戸３基あり
２１	県立星林高等学校	平成 27 年度	一般 8 車いす用 2
２２	手平第２公園	平成 27 年度	一般 8 車いす用 2
２３	明和中学校	平成 27 年度	一般 12 車いす用 3
２４	高松小学校	平成 28 年度	一般 12 車いす用 3
２５	河西中学校	平成 28 年度	一般 8 車いす用 2
２６	紀和駅前公園 ※2	平成 28 年度	一般 9 車いす用 2、井戸２基あり
２７	港公園	平成 29 年度	一般 8 車いす用 2
２８	木本公園	平成 29 年度	一般 8 車いす用 2
２９	市民体育館	平成 29 年度	一般 8 車いす用 2
３０	浜宮小学校	平成 29 年度	一般 12 車いす用 3、井戸２基あり
３１	宮北小学校	平成 29 年度	一般 4 車いす用 1
３２	長町公園	平成 30 年度	一般 8 車いす用 2
３３	鳴神公園	平成 30 年度	一般 4 車いす用 1
３４	和歌山ビッグホエール	平成 30 年度	一般 12 車いす用 3
３５	県立和歌山工業高等学校	令和元年度	一般 12 車いす用 3
３６	和歌山県立体育館	令和元年度	一般 4 車いす用 1
３７	雑賀小学校	令和 2 年度	一般 12 車いす用 3
３８	新南小学校	令和 2 年度	一般 8 車いす用 2
３９	和歌山信愛大学	令和 3 年度	一般 4 車いす用 1
４０	紀三井寺公園	令和 3 年度	一般 20 車いす用 5、井戸２基あり
４１	松江小学校	令和 3 年度	一般 8 車いす用 2
４２	広瀬小学校	令和 4 年度	一般 12 車いす用 3
４３	県立きのくに志学館	令和 4 年度	一般 4 車いす用 1
４４	吹上小学校	令和 4 年度	一般 4 車いす用 1
４５	大新小学校	令和 5 年度	一般 12 車いす用 3
４６	砂山公園	令和 5 年度	一般 8 車いす用 2
４７	湊御殿公園	令和 5 年度	一般 8 車いす用 2
４８	伏虎義務教育学校	令和 6 年度	一般 32 車いす用 8

※1　電動ポンプのため、停電時は可搬式発電機が必要

※2　井戸のほかに飲料水兼用耐震性貯水槽(40㎥)が設置されている

西庄公園、園部公園、高津公園に設置されている飲料水兼用耐震性貯水槽は100㎥

※※　西脇中学校、松下体育館、雄湊公園のマンホールトイレは下部構造物のみ

※※※　上記のほかに災害時協力井戸が９１基ある（令和７年２月２８日時点）

4-3　要配慮者関連施設の立地状況

分類番号	分類	根拠法
1	老人福祉施設（老人介護支援センター除く）	老人福祉法第５条の３
1-1	老人デイサービスセンター	
1-2	老人短期入所施設	
1-3	養護老人ホーム	
1-4	特別養護老人ホーム	
1-5	軽費老人ホーム	
1-6	老人福祉センター	
2	有料老人ホーム	老人福祉法第２９条
3	認知症対応型老人共同生活援助事業の用に供する施設	老人福祉法第５条の２第６項
4	身体障害者社会参加支援施設	身体障害者福祉法第５条第１項
4-1	身体障害者福祉センター	
4-2	補装具製作施設	
4-3	盲導犬訓練施設	
4-4	視聴覚障害者情報提供施設	
5	障害者支援施設	総合支援法第５条第１１項
6	地域活動支援センター	総合支援法第５条第２７項
7	福祉ホーム	総合支援法第５条第２８項
8	障害福祉サービス事業（生活介護、短期入所、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援又は共同生活援助を行う事業に限る。）の用に供する施設	総合支援法第５条第１項
8-1	生活介護事業	
8-2	短期入所事業	
8-3	自立訓練事業	
8-4	就労移行支援事業	
8-5	就労継続支援事業	
8-6	共同生活援助事業	
9	保護施設（医療保護施設及び宿泊提供施設を除く。）	生活保護法第３８条
9-1	救護施設	
9-2	更生施設	
9-3	授産施設	
10	児童福祉施設（母子生活支援施設及び児童遊園を除く。）	児童福祉法第７条第１項
10-1	助産施設	
10-2	乳児院	
10-3	保育所	
10-4	幼保連携型認定こども園	
10-5	児童厚生施設	
10-6	児童養護施設	
10-7	障害児入所施設	
10-8	児童発達支援センター	

分類番号	分類	根拠法
10-9	児童心理治療施設	
10-10	児童自立支援施設	
10-11	児童家庭支援センター	
11	障害児通所支援事業（児童発達支援又は放課後等デイサービスを行う事業に限る。）の用に供する施設	児童福祉法第６条２の２第１項
11-1	児童発達支援事業	
11-2	放課後等デイサービス事業	
12	児童自立生活援助事業の用に供する施設	児童福祉法第６条の３第１項
13	放課後児童健全育成事業の用に供する施設	児童福祉法第６条の３第２項
14	子育て短期支援事業の用に供する施設	児童福祉法第６条の３第３項
15	一時預かり事業の用に供する施設	児童福祉法第６条の３第７項
16	児童相談所	児童福祉法第１２条
17	母子健康センター	母子保健法第２２条
18	その他これらに類する施設	
18-1	幼稚園型認定こども園 保育所型認定こども園	就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律　第３条
18-2	認可外保育施設	児童福祉法
18-3	生活支援ハウス	生活支援ハウス（高齢者生活福祉センター）運営事業実施要綱
18-4	サービス付き高齢者向け住宅	高齢者の居住の安定確保に関する法律　第５条
18-5	小規模多機能型居宅介護	介護保険法第８条１９項
18-6	看護小規模多機能型居宅介護	介護保険法第８条第２３項
18-7	介護老人保健施設	介護保険法第８条第２８項
18-8	通所リハビリテーション	介護保険法第８条第８項
18-9	その他これらに類する施設	
19	幼稚園	学校教育法
20	小学校	
21	中学校	
22	義務教育学校	
23	高等学校	
24	中等教育学校	
25	特別支援学校	
26	高等専門学校	
27	専修学校（高等過程を置くものに限る）	
28	病院	医療法第１条の５
29	診療（うち有床診療所）	医療法第１条の５第２項
30	助産所	医療法第２条

紀の川浸水想定区域内の施設

要配慮者利用施設（1,028施設）　（令和7年1月現在）

分類	施設名	施設所在地
11-2	ハッピーステーション	米屋町3ぶらくり丁ブリスビル1階
2	介護付（混合型）有料老人ホームBLISS（ブリス）ぶらくり	米屋町3番地ぶらくり丁ブリスビル4階5階
28	嶋病院	西仲間町1-30
6	紀州の手	元寺町1丁目55
2	有料老人ホーム　アトム	嘉家作丁23
1-1	リハビリ特化型デイサービスリハいち	宇治鉄砲場112
8-5	ドリームサポート	匠町25 ポポロビル
1-1	本町デイサービスセンターしあわせ	北新博労町8-4
2	ライフドリーム本町	本町5丁目30
2	ラ　フィーユ本町	本町9丁目10-30
8-5	USHIMARU	匠町44-1
8-3	すてっぷ・ぽーと　わかやま	雑賀町59
10-4	本町こども園	北桶屋町7
1-1	BLISS　MORE	米屋町3番地ぶらくり丁ブリスビル1階
8-6	志道場（雑賀町）	雑賀町60
2	Cuoreゆたかー元寺町の家ー	元寺町3丁目55番地
1-1	デイサービスアトム	宇治家裏278
28	済生会和歌山病院	十二番丁45
1-1	デイサービス花	一筋目26
1-1	デイサービス旺	元博労町29 シオジビル1F
8-5	花咲か	十二番丁79
3	セントケアホーム城北	東布経丁3丁目6番地
18-5	セントケア城北	東布経丁3丁目5番地
18-6	セントケア看護小規模城北	東布経丁3丁目6番地
3	ニチイケアセンター和歌山城北	二筋目11番地
19	鷺森幼稚園	鷺ノ森1
22	伏虎義務教育学校	鷺ノ森南ノ丁1
13	伏虎義務教育学校若竹学級	鷺ノ森南ノ丁1
18-5	セントケア城北クオーレ	西釘貫丁2-1

分類	施設名	施設所在地
18-2	English School Shiny Kids	二番丁4-3
18-8	十一番丁てらしたクリニック	十一番丁18
18-8	デイケアアクア	舟大工町12
18-2	Kid’s Garden ムーミンママ	東蔵前丁6番地
18-2	ひとつむぎ保育園	南大工町7-1 フォルテワジマ北館1階
8-4	ウェルビー和歌山市駅前センター	東蔵前丁4番地ファーストビル7階
18-2	夢いっぱい保育園	南大工町7-1 フォルテワジマ北館2階
28	医療法人弘仁会　瀬藤病院	岡山丁71
18-8	瀬藤病院	岡山丁71
18-9	介護医療院ふじの郷	岡山丁71
28	伏虎リハビリテーション病院	畑屋敷東ノ丁1番地
18-8	伏虎リハビリテーション病院	畑屋敷東ノ丁1番地
1-4	地域密着型介護老人福祉施設わかやま苑	屋形町1丁目39-2
20	広瀬小学校	広瀬中ノ丁1丁目5
13	広瀬小学校若竹学級	広瀬中ノ丁1丁目5
1-4	特別養護老人ホームグランリーフ	南片原2丁目12番地
1-2	グランリーフショートステイ	南片原2丁目12番地
1-1	グランリーフデイサービスセンター	南片原2丁目12番地
1-1	いやしハウスカインド	和歌町12番地
18-4	ファミリーハイツわかまち	和歌町12番地
23	和歌山信愛高等学校	屋形町2丁目23
21	和歌山信愛中学校	屋形町2丁目23
19	和歌山信愛女子短期大学 附属幼稚園	屋形町3丁目32
8-6	ホーム・フラタニテ3	谷町33-1 グリーンプラザ谷町壱番館308号室、弐番館202、203、206、207、208、307、308号室
18-2	ニチイキッズみきまち保育園	三木町中ノ丁15 和歌山フコク生命ビル2F
8-5	株式会社リシェス広瀬	広瀬通丁2丁目12-1 301号
18-8	寺下整形外科・内科	三木町南ノ丁35
8-6	グループホーム　パプリカ	広瀬中ノ丁2丁目88番地
8-2	グループホームパプリカ短期入所事業	広瀬中ノ丁2丁目88番地
18-2	らいふきっず保育園	三木町中ノ丁17 レトプラザ1階

分類	施設名	施設所在地
1-2	短期入所生活介護事業所わかやま苑	屋形町1丁目39-2
8-6	グループホーム第四AQUA	谷町33-1　グリーンプラザ壱番館201号室
1-1	そうわヘルスケア	屋形町2丁目7
11-1	ゆうりかきっず	山蔭丁7
11-2	ゆうりかきっず	山蔭丁7
6	地域活動支援センターⅡ型　カムカム	広瀬中ノ丁2丁目84番地
28	堀口記念病院	湊本町3-4-1
18-2	堀口記念病院（託児室）	湊本町3-4-1
1-1	パパイヤデイサービス	北中間町50番地
8-1	みどりの家	土佐町2丁目38-1
8-5	みどりの家	土佐町2丁目38-1
8-6	志道場（植松丁）	植松丁100
18-2	ニチイキッズ土佐町公園保育園	土佐町1丁目47
20	大新小学校	新大工町23
13	大新小学校若竹学級	新大工町23
8-5	まほろば	新通6丁目7番地
8-4	ネクステージ	南材木丁3丁目13
1-1	よっといで三木町	南材木丁2丁目14
1-1	げんきくらぶ	新八百屋丁17
1-1	デイサービスマーガレット	畑屋敷新道丁9 セレブ畑屋敷
18-7	サテライト型小規模介護老人保健施設松寿苑	北ノ新地裏田町1-1
18-8	サテライト型小規模介護老人保健施設松寿苑	北ノ新地裏田町1-1
18-2	エンジェル保育園	新通5丁目17ロイヤルコーポ新通1F
18-2	アンキッズ・アカデミー	茶屋町29
2	Cuoreゆたか－築地の家－	新雑賀町5番地
8-5	華小町	新通7丁目3 1階
11-1	放課後等デイサービス　ストロベリーハート	新通7丁目2-1
11-2	放課後等デイサービス　ストロベリーハート	新通7丁目2-1
8-3	ハレルヤ（生活）	新堺丁12
11-1	あんさんぶる	新中通4-7

分類	施設名	施設所在地
11-2	あんさんぶる	新中通4-7
8-6	輝産業南材木丁	南材木丁2-35
18-9	和歌山市ふれ愛センター	木広町5-1-9
28	古梅記念病院	新生町5-37
28	須佐病院	吹屋町4-30
21	城東中学校	美園町2-63
1-1	デイサービスケアネット新生町	新生町2-5
1-1	吹屋町デイサービス園	吹屋町2丁目69-1
3	ネオファミリー・和歌山	田中町2丁目19
8-4	T－JOB	美園町5-4-2
8-3	T－JOB	美園町5-4-2
8-5	協働ファクトリー	北出島1丁目2番18号
20	新南小学校	木広町4丁目23
13	新南小学校若竹学級	木広町4丁目23
18-2	童夢ぽけっと	田中町2-64
8-5	パンダ作業所（和歌山営業所）	田中町4-62
8-5	たいよういっぱい夢いっぱい	木広町2丁目58
8-1	シニアカレッジtomorrow	新留丁136
8-6	志道場（木広町）	木広町2丁目17
1-1	シニアカレッジtomorrow	新留丁136
8-6	シェアライフえいと	美園町5丁目5-1
8-4	ディーキャリア和歌山オフィス	美園町5丁目1-2
8-6	輝産業みその	美園町5丁目9-1
28	今村病院	砂山南2丁目4-21
18-8	今村病院	砂山南2丁目4-21
10-4	むつみこども園	砂山南3-2-21
21	西和中学校	砂山南3-3-9
11-2	さくらんぼ教室	舟津町2丁目16-1
3	総合介護センターあおばの里	湊1115-55
11-2	クロスオーバージュニア	湊御殿1丁目4

分類	施設名	施設所在地
8-5	クロスオーバーMOPO	湊御殿1丁目4
8-5	クロスオーバー楠見	湊御殿1丁目5-42
8-6	クロスワン	湊御殿1丁目5-42
20	砂山小学校	砂山南2丁目1-52
13	砂山小学校若竹学級	砂山南2丁目1-52
2	オリーブの木	砂山南2丁目4-18
1-1	まつい訪問看護ステーションキュアルーム	砂山南4-1-37
2	有料老人ホームかしの木苑　舟津	舟津町1丁目13-1
1-1	デイサービスセンターかしの木　舟津	舟津町1丁目13-1
1-1	デイサービスTwinkle	舟津町3丁目32-3パレ・ロワイヤル舟津1階
2	有料老人ホーム　セレンディピティ1号館	築港4丁目23-4
1-1	通所介護セレン	築港4丁目9-1
1-1	ピーチデイサービス	土佐町2丁目53-1
1-1	いのうえデイサービス	土佐町2丁目20-1
8-5	クロスオーバー舟津	湊御殿1丁目5-13
2	オリーブの木Ⅱ	湊御殿3丁目2-2
2	住宅型有料老人ホーム　桜	湊553-3
23	和歌山県立和歌山商業高等学校	砂山南3-3-94
25	和歌山県立和歌山ろう学校	砂山南3-1-73
2	あっぷるほーむ	築港5丁目11-22
2	ゆうが　築港ウエスト	築港5丁目11-24
18-4	ゆうが　築港	築港5丁目11-11の一部
18-2	楽ナーサリースクール	築港3丁目20-4
2	ア・ピアチューレ陽慈里	湊通丁南4丁目5-3
8-5	六星舎	舟津町2丁目9-3
18-2	和歌山キンダースクール附属保育園	築港3丁目20-4
1-1	みどりデイサービスセンター	土佐町3丁目25
1-2	特別養護老人ホーム第2みどりが丘ホームⅠ	土佐町3丁目25
1-2	特別養護老人ホーム第2みどりが丘ホームⅡ	土佐町3丁目25
1-1	デイサービス成幸西浜	湊4-1 プレザントパレス1階
1-4	特別養護老人ホーム第2みどりが丘ホームⅠ	土佐町3丁目25

分類	施設名	施設所在地
1-4	特別養護老人ホーム第2みどりが丘ホームⅡ	土佐町3丁目25
8-1	エンジェルハウス	葵町3番2
8-5	エンジェルハウス	葵町3番2
10-8	カナの家	葵町3番25号
8-5	ひまわり	宇須4丁目2-17
3	グループホームあおぞら	打越町3-30
18-5	小規模多機能型居宅介護第2あおぞら	打越町3-30
2	つくしの里	東高松1丁目3-4
1-1	つくし介護センター	東高松1丁目3-4
20	高松小学校	東高松2丁目4-45
13	高松小学校若竹学級	東高松2丁目4-45
1-1	デイサービスアンダンテ	東高松3丁目3-39
18-4	Casa・東高松	東高松3丁目3-39
11-2	児童デイサービス Miku	東高松4丁目4-36
10-4	みどり幼稚園	東高松3丁目3-30
8-6	グループホームキュービー	宇須4丁目3-56
10-3	しろがね保育園	秋月67-3
11-2	和歌山YMCAシードクラブ	太田1丁目12-13
11-1	和歌山YMCAシードクラブ	太田1丁目12-13
10-3	宮保育所	太田4丁目5-20
21	日進中学校	秋月365-3
28	向陽病院	津秦40
18-7	老人保健施設向陽苑	津秦40
28	医療法人裕紫会　中谷病院	鳴神123-1
18-7	老人保健施設桔梗苑	鳴神123-1
18-8	医療法人裕紫会中谷病院	鳴神123-1
28	宇都宮病院	鳴神505-4
10-3	鳴神保育所	鳴神695
10-5	鳴神児童館	鳴神966-1
18-7	介護老人保健施設光苑ケアセンター	秋月535-3

分類	施設名	施設所在地
18-8	介護老人保健施設光苑ケアセンター	秋月535-3
20	宮小学校	秋月475
13	宮小学校若竹学級	秋月475
29	花山ママクリニック	秋月483
18-7	介護老人保健施設光苑	秋月568-7
18-8	介護老人保健施設光苑	秋月568-7
1-1	一織庵デイサービス秋月	秋月95-9
8-5	Kera kera	出水44-5
1-1	キララリハビリデイサービス	太田299-7
20	太田小学校	太田636
13	太田小学校若竹学級	太田636
1-1	デイサービス夢広場	鴛町56
2	なかや在宅1番館	鳴神111
1-1	大日倶楽部オリオン	鳴神120-5
29	医療法人裕紫会オリオン	鳴神129-5
18-2	奏保育園（中谷病院）	鳴神129-5
2	なかや在宅2番館	鳴神41-4
2	なかや在宅3番館	鳴神62-9
18-4	スローライフホーム	有家329-1
2	シルバーハイム太田Ⅱ	鳴神784-4
2	シルバーハイム太田	鳴神798-1
1-1	デイサービス陽なた	有家320-1
23	和歌山県立向陽高等学校	太田127
21	和歌山県立向陽中学校	太田127
19	日前幼稚園	秋月365
18-4	ひだまり	秋月499-1
2	花りぼん鳴神	鳴神771
8-3	myステーション	太田1丁目14-11 オオトヨビル4F
8-4	～キセキの杜～ジョブステーション	太田1丁目14-11 オオトヨビル4F
1-1	輝楽魂やすらぎの家	北出島87-7

分類	施設名	施設所在地
18-4	ロイヤルケア向陽　太田	太田560-1
11-1	いろは学育室	太田1丁目14-11 オオトヨビル5階 C･D･E号室
11-2	いろは学育室	太田1丁目14-11 オオトヨビル5階 C･D･E号室
8-6	feel	秋月126-12
29	月山チャイルドケアクリニック	秋月482-1
18-2	病児保育室ぴょんぴょん	秋月482
1-1	デイサービスいろは	有家375-24
1-1	デイサービスピース&ピース	北出島12-7
18-8	医療法人一穂会　武用整形外科	鳴神1005
11-1	あうる学育室	太田1丁目14-11 オオトヨビル8階
11-2	あうる学育室	太田1丁目14-11 オオトヨビル8階
18-2	キッズルームこうふく	太田2丁目8-11
18-8	宇都宮病院	鳴神505-4
8-2	月山チャイルドケアクリニック短期入所事業所	秋月482-1
11-1	Shima Shima―しましま―	有家320-2
11-2	Shima Shima―しましま―	有家320-2
8-1	輝楽魂やすらぎの家	北出島87-7
8-1	デイサービス夢広場	駕町56
8-5	パンダ作業所	鳴神968番地の11
8-2	グループホームRASIEL和歌山	出水3-1
8-6	グループホームRASIEL和歌山	出水3-1
18-2	保育ルームつぼみ	鳴神983-3
1-1	彩友	鳴神870-1
1-1	デイサービスふたば	太田667-6
1-1	デイサービス成幸出水	出水43-8
11-2	放課後デイGranny和歌山	有家76-1 ヴィラージュ有家A
10-3	宮北保育所	黒田354-1
10-3	ふたば保育園	友田町3-30
28	角谷リハビリテーション病院	納定10-1
18-8	角谷リハビリテーション病院	納定10-1

分類	施設名	施設所在地
28	角谷整形外科病院	吉田337
1-1	大日倶楽部ヒメジオン	吉田423
1-1	デイサービスセンターライトハウス	黒田272
1-1	ケアランド和歌山	黒田279-4
1-1	グリーン介護センター	黒田359番地
20	宮北小学校	納定21
13	宮北小学校若竹学級	納定21
1-1	デイサービスたがみ	友田町3丁目20
29	星野クリニック	友田町5丁目32番地
18-2	宮北センター	黒田2丁目5-17
11-1	すぷらうと	友田町2丁目145番地 KEG教育センタービル4F
11-2	すぷらうと	友田町2丁目145番地 KEG教育センタービル4F
18-2	スミヤ保育園	納定11-4
28	児玉病院	友田町4丁目130番地
20	四箇郷北小学校	有本321
13	四箇郷北小学校若竹学級	有本321
28	和歌山生協病院	有本143-1
1-1	生協よりあい	有本143-1
18-2	にじのこ保育所	有本143-1
18-8	和歌山生協病院	有本143-1
10-4	ひまわりこども園	有本431
21	紀之川中学校	有本668-1
10-3	紀之川保育園	松島121-1
2	ハッピーコスモス	加納206-4
1-1	デイサービスセンターまんぼう	加納145-3
18-4	まんぼうのお家	加納145-3
2	グラン・コスモス	加納197-1
2	ハッピーコスモス2号館	加納206-2
2	憩いの郷 加納	加納220
2	シニアヴィラジュレ松島	松島137-1

分類	施設名	施設所在地
2	メゾンハートフル2	新在家103-1
2	メゾンハートフル	新在家104-11
2	シルバーハイム新在家	新在家91-1
1-1	喜成会デイサービス「有本の家」	有本127-1
1-4	特別養護老人ホームわかば	有本140
1-1	デイサービスわかば	有本140
1-2	ショートステイわかば	有本140
20	四箇郷小学校	有本183
13	四箇郷小学校若竹学級	有本183
2	あかり苑紀ノ川	有本481-3
2	あかり苑有本	有本531-8
2	若宮シルバーハイム	有本653
2	ニチイケアセンター木の国ありもと	有本字城ノ前518番地の1
1-1	デイサービスてんとうむし	松島52-3
2	有料老人ホーム　てんとうむし	松島52-3
8-5	ともづな作業所	有本625番地
1-1	あすかリハビリデイサービス	新在家165-8
18-4	そうせい松島	加納322-1
18-4	サービス付き高齢者向け住宅　生協にじ	有本147-2、148-2、148-9、156-6
2	介護付有料老人ホームさわやか和歌山館	松島234-1
1-1	JCファミリー	有本721-19
8-1	JCファミリー	有本721-19
8-2	モンキーハウス	加納246-1 パルム加納
11-1	モンキー’Sスクール	加納246-1 パルム加納
11-2	モンキー’Sスクール	加納246-1 パルム加納
1-1	加納の手デイサービスセンター	加納407-1
2	きのくにの手	加納407-1
18-8	和歌山生協病院附属診療所	有本141-1
11-1	児童発達支援ポニー	新在家150
11-2	児童発達支援ポニー	新在家150

分類	施設名	施設所在地
8-5	十四階農園	加納181-5 シカゴテラス
3	医療法人研医会和歌山すみれホーム	加納295-11
1-1	コスモス	加納206-2
11-1	すぷらうと シカゴテラス	加納181-5 シカゴテラス2F
11-2	すぷらうと シカゴテラス	加納181-5 シカゴテラス2F
3	医療法人研医会和歌山第2すみれホーム	有本533-3
8-1	加納の手デイサービスセンター	加納407-1
8-1	デイサービスまんぼう	加納145-3
11-2	生協レインボー	有本144-17
11-2	かめのこ塾	中之島1280
10-3	きわ保育園	中之島969-10
8-5	ワークステーションかめのこ	中之島1280
20	中之島小学校	中之島1491
13	中之島小学校若竹学級	中之島1491
19	中之島幼稚園	中之島1495
2	シニアハイツ花組	中之島1716
8-5	ワークショップ フラット	中之島1794
1-1	デイサービスみなみ中之島	中之島343-2
3	セントケアホーム中之島	中之島380-10
3	グループホームしあわせ	中之島500-10
1-1	在宅ケアセンターしあわせデイサービス	中之島500-10
18-5	小規模多機能ホームしあわせ	中之島500-10
1-1	生協中之島	中之島880-2
18-2	託児保育所ぷ～の家	中之島2323 いずみマンション2F 201
18-6	セントケア看護小規模中之島	中之島2074
18-5	セントケア中之島	中之島2074
18-4	ロイヤルケア向陽 中之島	中之島796-1
8-6	かめホーム	中之島1280-1
18-6	生協中之島複合型サービス	中之島880-2
1-1	ふくろうデイサービス	中之島784-1

分類	施設名	施設所在地
10-5	芦原児童館	雄松町5丁目2-1
8-5	むぎピース	三沢町2丁目23-3
1-1	生協芦原診療所	雄松町2丁目55
3	グループホームグランリーフ	雄松町3丁目19-6
20	芦原小学校	雄松町4丁目25-1
8-6	たつのこホーム	雄松町4丁目20
8-6	ホーム・フラタニテ1	雄松町4丁目2-2 コーポ35　107,201,203,205号室
8-6	ホーム・フラタニテ2	雄松町4丁目2-2 コーポ35 302,402,406,503,504,507号室
12	明・咲・花	雄松町4丁目2-2 コーポ35　104,105,206,307号室
8-5	株式会社リシェス	雄松町1丁目20
8-6	アリス	雄松町4丁目27
8-6	ホーム・フラタニテ	雄松町4丁目3-1
10-4	芦原こども園	雄松町5丁目4-1
8-6	梅の木荘	雄松町3丁目15-8
8-6	雄松ホーム	雄松町4丁目20-11
8-6	ホワイトハウス	雄松町4丁目21-3
6	麦の郷和歌山生活支援センター	三沢町2丁目23-3
8-2	グループホーム　とわ	雄松町5丁目1-1
8-6	グループホーム　とわ	雄松町5丁目1-1
1-1	デイサービス心和	雄松町1丁目61-1
8-6	グループホームここわ	雄松町1丁目61-1
10-3	宮前保育所	北中島1-2-6
21	東和中学校	杭ノ瀬116
10-3	杭ノ瀬保育所	杭ノ瀬19-8
30	岡本助産院	小雑賀207
28	高山病院	小雑賀3-1-11
10-8	第二こじか園	田尻155-1
10-4	さつきこども園	中島70-8
13	さつきこども園	中島70-8
1-4	特別養護老人ホーム親和園	杭ノ瀬255-2

分類	施設名	施設所在地
1-2	指定短期入所生活介護事業所親和園	杭ノ瀬255-2
1-4	地域密着型介護老人福祉施設第五親和園	杭ノ瀬432-3
1-2	指定短期入所生活介護事業所第五親和園	杭ノ瀬432-3
1-1	デイサービスクローバー	杭ノ瀬449-2
18-4	クローバーの郷	杭ノ瀬449-2
2	湧れの杜	杭ノ瀬449-5
2	粋の杜	杭ノ瀬449-5
1-4	特別養護老人ホーム第二親和園	杭ノ瀬462-2
1-2	指定短期入所生活介護事業所第二親和園	杭ノ瀬462-2
1-1	第二親和園デイサービスセンター	杭ノ瀬462-2
8-1	第二親和園デイサービスセンター	杭ノ瀬462-2
1-5	ケアハウス第三親和園	杭ノ瀬463-1
2	憩の泉	手平1丁目10-5
1-1	いこいデイサービス	手平1丁目10-5
2	あすか苑	手平2丁目5-49
18-5	株式会社あおぞらケアセンター	手平2丁目5-49
18-4	シニアパレスりゅうじん	手平3丁目6-7
8-4	就労支援センターベストワーク	手平3丁目12-19
8-5	就労支援センターベストワーク	手平3丁目12-19
2	集いの家みやまえ	手平1丁目7-27
3	グループホームみさき宮前	手平3丁目8-35
2	小雑賀の家	小雑賀134-5
1-1	ユア・デイサービス	小雑賀134-5
1-1	デイサービスあおぞら夢	小雑賀726-14
2	介護付有料老人ホーム第2あすか苑	小雑賀728-1
1-1	ケアパートナー和歌山	新中島105-1
1-1	デイサービスセンターピース	新中島118 新中島エクセランス1F
2	陽光の郷わかやま	新中島63-5
1-1	ひまわり福祉サービス	新中島63-5
1-1	ゆたかデイサービス	中島452-7　ユタカ創造ビル

分類	施設名	施設所在地
8-5	ジョイ・コム	中島528 菱岡工業株式会社内
18-2	わっしょい保育園	中島528
2	あかり苑中島	中島6-1
2	癒の泉	南出島28-16
1-1	ハートケアデイサービス	南出島28-16
1-1	デイサービスりゅうじん	北中島1丁目2-4
18-7	ラ・エスペランサ	中島192
18-8	ラ・エスペランサ	中島192
20	宮前小学校	北中島1丁目7-4
13	宮前小学校若竹学級	北中島1丁目7-4
19	宮前幼稚園	北中島1丁目7-4
2	そうせい宮前	杭ノ瀬126-1
11-1	こどもサポート教室「きらり」和歌山小雑賀校	小雑賀677-17
11-2	こどもサポート教室「きらり」和歌山小雑賀校	小雑賀677-17
18-8	医療法人真正会龍神整形外科	北中島1丁目5-1
10-5	杭の瀬児童・地区福祉センター	杭ノ瀬77-10
8-5	ナチュレ	杭ノ瀬234-3
1-1	ひかりサロンりゅうじん	小雑賀805-1　スーパーセンターオークワセントラルシティ和歌山店
11-2	みらい発達塾ダックチャイルド神前校	神前568-22
8-6	彩叶Ⅰ	鳴神870-1
8-6	彩叶Ⅱ	鳴神870-1
8-6	彩叶Ⅲ	鳴神870-1
8-1	和くわく作業所　生活介護事業所（多機能型事業所）	手平6丁目112-3
8-5	和くわく作業所　就労継続支援B型事業所（多機能型事業所）	杭ノ瀬243-6
8-5	事務支援センター ソラーナ	新中島132-6
1-1	デイサービスiBUKi	小雑賀696-1
3	グループホーム第六親和園	杭ノ瀬362-5
8-1	デイサービスiBUKi	小雑賀696-1
8-1	デイサービスあおぞら夢	小雑賀726-14

分類	施設名	施設所在地
1-1	プラムデイサービス	湊1820-28
2	あっぷるはうす	湊1820-28
11-2	おれんじ倶楽部	湊1820-28
1-1	湊リハビリデイサービスひぐち	湊1丁目8-13
8-5	リバーフォレスト	湊3丁目12-11
2	憩いの郷 御膳松	湊3丁目16-5
18-4	Kiyomi’s郷あゆむ	湊1820-101
1-1	デイサービスあみご	湊5丁目7-11
8-6	tomari木	湊1115-77
1-1	デイサービスリデンテ	湊2丁目11-7
2	愛観護の郷	湊5丁目7-11
1-1	特化型デイサービス湊リハ	湊1丁目8-33
8-5	クリエイターズ	湊1833-3
8-5	手の郷	湊1丁目2-29
18-4	サービス付き高齢者向け住宅　モコ屋	福島680-1
8-1	生活介護事業所あい	梶取20-1
11-1	児童デイサービスあい	梶取20-1
11-2	児童デイサービスあい	梶取20-1
21	河北中学校	北島370-1
10-3	さかえ保育園	狐島394
28	医療法人青松会　河西田村病院	島橋東ノ丁1-11
18-2	託児所たんぽぽ	島橋東ノ丁1-11
18-8	医療法人青松会河西田村病院通所リハビリテーション青空	島橋東ノ丁1-11
10-3	のざき保育園	野崎115
11-1	親と子の広場・ポコ	福島487
8-5	エジソンBee	梶取169
11-2	エジソンジュニア	梶取169
20	野崎西小学校	梶取301-3
13	野崎西小学校若竹学級	梶取301-3
1-1	デイサービスぱなさんぶる	狐島266-4

分類	施設名	施設所在地
18-4	サービス付き高齢者向け住宅ぱなさんぶる103	狐島266-4
18-5	ぱなさんぶる101	狐島266-4
6	支援センターぱせり	狐島388-4 メゾンKITSUNEJIMA 101号室
1-1	デイサービスセンターぱせり	狐島388-4 メゾンKITSUNEJIMA 101号室
3	松鶴野崎弐番館	狐島590
18-4	松鶴野崎弐番館	狐島590
18-5	松鶴野崎弐番館	狐島590
2	しあわせの里喜楽	狐島691-17
2	しあわせの里喜楽2号館	狐島691-18
2	福家	島橋東ノ丁1-42
1-4	地域密着型介護老人福祉施設三寿苑	島橋南ノ丁6-21
20	福島小学校	福島135-4
13	福島小学校若竹学級	福島135-4
1-1	デイサービスゆうゆう福島	福島269-8
18-4	ルピナス瀬藤	福島269-8
3	グループホームはるすのお家・和歌山	福島486-1
2	有料老人ホーム　ひろみ	福島674-3
1-1	デイサービスひろみ	福島674-3
3	寿寿ソーラス	福島898-6
20	野崎小学校	野崎130-1
13	野崎小学校若竹学級	野崎130-1
1-1	デイサービスアーク	野崎3-4
1-1	デイサービスライフサイズのざき	野崎62-1
18-4	ライフサイズ野崎	野崎62-1
11-1	親と子の広場・アン	野崎62-1
19	野崎幼稚園	梶取86
11-1	ユーカ農園	福島572-27
11-2	ユーカ農園	福島572-27
1-1	パナソニックエイジフリーケアセンター和歌山北島（デイサービス）	北島325-25
1-2	パナソニックエイジフリーケアセンター和歌山北島（ショートステイ）	北島325-25

分類	施設名	施設所在地
18-4	福徳の里	梶取316-30
8-5	エンジョイ・ワーク　ぱせり	狐島385-6
1-1	デイサービスひなた	野崎45-2
8-6	Kvell	北島27-19
11-2	指定多機能型事業所パレット	北島404-40
1-1	ポシブルわかやま狐島	狐島262-4
1-1	わくわくMOTHERデイホーム北島	北島468-8
8-1	わくわくMOTHERデイホーム北島	北島468-8
8-3	わくわくMOTHERデイホーム北島（生活訓練）	北島468-8
8-3	わくわくMOTHERデイホーム北島（機能訓練）	北島468-8
8-1	生活介護事業所　よつば	北島307-15
1-1	デイサービス喜楽々	狐島691-17 2階
10-8	児童発達支援センター　通園あるば	島橋北ノ丁1-15
2	ナーシングホームはーとふる和歌山	福島700-1
2	有料老人ホーム　ソーラス	福島296-3
8-5	Kirakira	北島27-9
8-5	まほろばトライ	梶取171-1　ウィンドービル3F-A室
10-3	さんた保育園	坂田18
13	さんた保育園	坂田18
3	グループホーム草原	田尻153-5
1-1	デイサービス草原	田尻153-5
3	グループホームささゆり	田尻496-4
1-1	デイサービスささゆり	田尻496-4
8-1	生活介護施設　つわぶき授産工場	和田1283-2
8-5	就労支援施設　つわぶき授産工場	和田1283-2
20	三田小学校	和田419-1
13	三田小学校若竹学級	和田419-1
1-4	特別養護老人ホームすこやか	和田583-1
1-2	ショートステイすこやか	和田583-1
3	グループホームすこやか	和田592-6

分類	施設名	施設所在地
8-1	ウイズ	和田80-1
28	稲田病院	和田1175
18-8	山東整形外科肛門科医院	和田1202-5
1-1	デイサービスセンターサン	和田1205-1
2	有料老人ホーム　サン	和田1207-1
18-7	介護老人保健施設かまやま苑	和田350
18-8	介護老人保健施設かまやま苑	和田350
29	稲田クリニック	和田461
18-2	しまキッズランド	坂田85
11-2	くろすはうす	和田729-8
8-6	グループホーム第6古川園	坂田243-5
18-4	サービス付き高齢者向け住宅ポーラ	田尻693-1
8-5	カノン	和田80-5
1-1	社会福祉法人桃の木会デイサービス三田山	坂田348
8-1	社会福祉法人桃の木会デイサービス三田山	坂田348
28	山東整形外科肛門科医院	和田1202-5
8-1	センティア	坂田658-10
8-6	GH　樹	和田1287-1
8-2	短期入所事業　樹	和田1287-1
1-1	つるかめ庵東松江	松江東4丁目8-19
21	河西中学校	松江北5丁目19-1
20	松江小学校	松江北4丁目1-1
13	松江小学校若竹学級	松江北4丁目1-1
2	高齢者住宅第2クレール松江	松江北7丁目9-18
1-1	デイサービスサン・クレール	松江北7丁目9-18
2	高齢者住宅クレール松江	松江北7丁目11-13
1-1	クレール松江デイサービスセンター	松江北7丁目11-13
1-1	クレールアイル	松江北7丁目11-21
11-2	幹はうす松江	松江北1丁目3-7
1-1	リハビリケアセンター愛う笑緒	松江北5丁目5-11

分類	施設名	施設所在地
10-8	幹はうす松江	松江北1丁目3-7
28	独立行政法人労働者安全機構　和歌山労災病院	木ノ本93-1
10-4	すみれこども園	木ノ本321-2
2	楪～ゆずりは～	榎原174-100
1-1	デイサービスセンター楪～ゆずりは～	榎原174-100
29	宇治田循環器科内科	榎原204-8
18-8	宇治田循環器科内科	榎原204-8
20	木本小学校	榎原255
13	木本小学校若竹学級	榎原255
1-1	デイサービス宝夢	榎原84-4
18-4	シニアリビング　あっと宝夢	榎原84-4
29	医療法人弘愛会黒田医院	古屋64
2	アトリオきみさと	古屋153-9 古屋スクエアビル2~4F
2	かいてきの郷	木ノ本253-3
8-6	スマイルホーム	木ノ本684-9
8-2	スマイルホーム	木ノ本684-9
11-2	ほほえみ・ねくすと	木ノ本684-4
10-4	木ノ本こども園	木ノ本300-1
18-2	和歌山ヤクルト販売株式会社　紀の川保育所	榎原43-2
18-2	せせらぎの病児保育	古屋153-7
3	けあビジョンホーム和歌山木ノ本	木ノ本476-2
6	ランドマーク	木ノ本554-1
18-2	あした保育園	榎原204-10
7	福祉ホームあした	榎原204-10
18-4	サービス付き高齢者向け住宅あしあとゆるり	木ノ本307-1
1-1	地域密着型通所介護デイサービスがじゅまる	木ノ本307-1
18-9	黒田医院介護医療院	古屋64
8-1	ほほえみ・それいゆ	木ノ本208-6
11-1	みらい	木ノ本122-1 スクールサイドヴィラ101・102号
11-2	みらい	木ノ本122-1 スクールサイドヴィラ101・102号

分類	施設名	施設所在地
11-2	ほほえみ・ぷらす	梅原185-7
10-4	じろうまるこども園	次郎丸107-1
28	西和歌山病院	土入176
18-8	西和歌山病院	土入176
10-3	太陽保育園	土入284-12
10-4	第二ひまわりこども園	栄谷58-2
1-1	デイサービスセンターせいがの森	栄谷58-2
10-3	栄谷保育所	栄谷428-3
3	千代の里グループホーム	延時84-1
2	介護付有料老人ホーム　あい向	向143-1
1-1	デイサービスあい向	向143
8-5	多機能型施設マロニエ	向150
2	フローレンス三寿	向180-1
3	フローレンス三寿	向180-1
1-1	デイサービスかなえ	向228-18
18-4	ライフドリームかなえ	向228-18
20	貴志南小学校	中野11-1
13	貴志南小学校若竹学級	中野11-1
29	かわばた産婦人科	土入25-1
11-2	ファミリー児童デイサービス	土入25-10 フリューゲル21 2F
11-1	ファミリー児童デイサービス	土入25-10 フリューゲル21 2F
2	有料老人ホーム笑福	向55-2
1-1	パソナライフケア栄谷	栄谷179-1
1-1	わくわくMOTHERデイホーム	向167-1
18-2	くうねる保育園	向2-8 2F
8-5	kirakira	栄谷393-5
8-6	マホロバHOME	次郎丸21-2
8-1	わくわくMOTHERデイホーム	向167-1
8-3	わくわくMOTHERデイホーム（生活）	向167-1
8-3	わくわくMOTHERデイホーム（機能）	向167-1

分類	施設名	施設所在地
1-1	シニアデイサービスCOCOfine	延時84-1
1-1	フィットネス型デイサービスか・ら・ふ・る	次郎丸80-3　パークハウスJ2 1F
8-6	グループホームTRUST	延時46-7
8-5	まほろばプラス	次郎丸167-16
2	アクアホーム和歌山栄谷	栄谷431-1
10-3	あわ保育園	粟255-5
13	あわ保育園	粟255-5
20	楠見小学校	大谷349-2
13	楠見小学校若竹学級	大谷349-2
10-3	楠見保育所	楠見中105
20	楠見西小学校	市小路31
13	楠見西小学校若竹学級	市小路31
13	楠見東小学校若竹学級	善明寺150-1
20	楠見東小学校	善明寺150-1
10-5	平井ふれあいセンター	平井72-1
28	中江病院	船所30-1
1-1	ルミエール・デイサービスセンター	粟128-6
18-4	やすらぎの郷メゾン・ド・シンフォニー	粟237
2	有料老人ホーム　さくら	市小路30-1
1-1	ぽぽろ紀ノ川デイサービスセンター	善明寺354-1
29	紀泉KDクリニック	善明寺358-1
8-1	生活介護事業所ぷれぜんと	善明寺365番地1
1-1	楠見デイサービスセンターすずらん	楠見中148-2
18-5	楠見第3介護センターすずらん	楠見中148-2
3	あい楠見	楠見中197-8
1-1	デイサービスあい楠見	楠見中197-8
18-5	あい楠見	楠見中197-8
1-1	デイサービスあい船所	楠見中206-8
3	楠見グループホームすずらん	楠見中26-1
1-1	楠見第3デイサービスセンターすずらん	楠見中26-1

分類	施設名	施設所在地
1-1	楠見第4デイサービスセンターすずらん	楠見中26-1
18-4	楠見シルバーホームすずらん	楠見中26-1
18-5	楠見第2介護センターすずらん	楠見中26-1
1-1	かがやきくらぶ	楠見中47-19
1-1	河西診療所	平井66-1
23	和歌山県立和歌山北高等学校	市小路388
18-7	老人保健施設エスポワール	船所39-1
18-2	エスポBABY	船所39-1
18-8	老人保健施設エスポワール	船所39-1
1-1	デイサービスケアネット大谷	大谷264-9
8-6	グループホーム第三AQUA	善明寺122-8
8-6	さくらの家第1ホーム	市小路30-1
8-6	さくらの家第2ホーム	市小路30-1
8-6	さくらの家第3ホーム	市小路30-1
8-2	さくらの家	市小路30-1
18-4	あい船所	船所55
1-1	レインボーデイサービス	大谷271
18-5	楠見介護センターすずらん	楠見中295-5
18-4	楠見第2シルバーホームすずらん	楠見中295-5
8-5	モンキーランド	市小路308-1
18-4	楠見シルバーホームまごころ	楠見中148-1
1-1	タイガー健康くらぶ	粟14-4
18-8	クリニック三木	粟250-3
18-8	ほしの整形外科	善明寺302-1
1-1	あんだんて	楠見中47-1
18-2	きらきら保育園	市小路283-1 ポアール紀ノ川1階
18-4	紀ごころ市小路	市小路349-2
18-4	楠見第3シルバーホームすずらん	楠見中296-4
3	医療法人研医会紀の川すみれホーム	船所36-2
8-6	だいふくのおうち善明寺	善明寺238-16

分類	施設名	施設所在地
1-1	楠見第2デイサービスセンターすずらん	楠見中295-5
1-1	楠見第5デイサービスセンターすずらん	楠見中296-4
18-6	楠見第4介護センターすずらん	楠見中296-4
1-1	通所介護事業所さくら	船所191-1 1階
8-6	さくらhouse	市小路30-1
8-4	みらい	楠見中107-5
10-3	西和佐保育所	岩橋1317-4
10-5	岩橋児童館	岩橋1329-5
11-1	モンキー’Sスクール Ⅱ	栗栖634-3
11-2	モンキー’Sスクール Ⅱ	栗栖634-3
2	ケアーセンター虹	岩橋257-1
8-3	はぐるま共同作業所	岩橋643
8-6	麦の芽ホーム	岩橋643
8-5	ソーシャル・ファーム・ピネル	岩橋643
8-5	はぐるま共同作業所	岩橋643
8-5	はぐるま共同作業所和の杜	岩橋798-1
8-5	叶夢向	出島31-8
2	住宅型有料老人ホーム いちごの里 本館	岩橋973-1
1-1	デイサービスいちごの里	岩橋973-1
2	高齢者向け賃貸住宅いちごの里2号館	岩橋1583-9
2	高齢者向け賃貸住宅いちごの里	岩橋1597-1
20	西和佐小学校	栗栖84-1
13	西和佐小学校若竹学級	栗栖84-1
19	西和佐幼稚園	栗栖70
8-5	ピーチ	出島372-1
8-5	就労B型事業所あいショップ	出島362-3
1-1	デイサービス成幸出島	出島472-5
8-5	yumeの木	岩橋567-3
11-2	放課後等デイサービスmameの木	岩橋567-3
11-2	わんだふる	岩橋837-2

分類	施設名	施設所在地
1-1	デイサービス成幸花山	岩橋1630-4
1-1	紀風苑デイサービスふうど	岩橋1271-1 風土記の丘診療所1階
10-3	岡崎保育園	井辺134-2
11-1	児童デイサービス　あい・らんど	森小手穂2-1
11-2	児童デイサービス　あい・らんど	森小手穂2-1
8-1	生活介護事業所　あい・らんど	森小手穂2-1
20	岡崎小学校	寺内426
13	岡崎小学校若竹学級	寺内426
8-6	グループホーム第7古川園	井辺124-12
1-1	北浦デイサービス	森小手穂738-3
2	セラヴィ神前	神前182-1
1-1	りはびりデイ長寿館	神前194-5
1-1	ツクイ和歌山神前	神前246-1
23	和歌山県立和歌山東高等学校	森小手穂136
19	たちばな幼稚園	西819
11-2	みらい発達塾ダック	神前85-5
8-3	みんなの広場	神前488-4
18-4	ピースONE	神前546-1
1-1	デイサービスピース＆ピースⅡ	神前546-1
8-5	みんなの広場	神前488-4
8-4	ネクストマーリン	神前125-3
11-1	はぐみ神前教室	神前109-19
11-2	はぐみ神前教室	神前109-19
1-1	ぽぽろデイサービスセンター	西庄223-5
8-5	ベルフラワー	西庄330-2
1-1	リハビリデイサービス自然倶楽部	西庄337-3
1-1	なごみの郷あゆむ	西庄92-8
18-4	清美の郷あゆむ	西庄94-8
18-2	保育所あおぞら西庄園	西庄378-6
2	メゾン・ド・ぱせり	西庄518-18

分類	施設名	施設所在地
8-1	YMA 生活介護事業所だるま	西庄87-1
10-4	ほしや子ども園	布施屋3-1
21	高積中学校	布施屋112-2
11-1	児童デイサービス雪うさぎ	和佐関戸228-1
11-2	児童デイサービス雪うさぎ	和佐関戸228-1
20	和佐小学校	祢宜949-2
13	和佐小学校若竹学級	祢宜949-2
19	和佐幼稚園	祢宣949
29	きのしたクリニック	祢宜970-1
18-8	きのしたクリニック	祢宜970-1
2	きしゅうの里	布施屋143-1
2	第2きしゅうの里	和佐関戸20
1-1	デイサービスきしゅう	和佐関戸20
3	グループホームハルジオン	井ノ口302-5
1-1	デイサービスぴゅあ	下和佐441
1-1	デイサービス吉祥	祢宜1027-1
2	吉祥苑	祢宜1027-1
1-1	デイサービスかがやき	祢宜920-1
18-4	サービス付き高齢者向け住宅かがやき	祢宜920-1
1-4	特別養護老人ホームみどりが丘ホーム	和佐中213-1
1-2	特別養護老人ホームみどりが丘ホーム	和佐中213-1
1-1	みどりケアステーション	和佐中213-1
1-1	はっぴー＆はーとⅢ	布施屋339-2
8-1	はっぴー＆はーとⅢ	布施屋339-2
8-6	ほしやホーム	布施屋611-1
8-6	第2ほしやホーム	布施屋611-1
2	ケアーセンター虹 和佐	禰宜921-1
18-4	サンモールあおい	和佐関戸26-2
18-5	小規模多機能型居宅介護ハルジオン	井ノ口301-1
8-6	グループホームHug	和佐関戸82-41

分類	施設名	施設所在地
8-5	元気農園	和佐関戸51-1
8-1	げんき高積	和佐関戸51-1
2	Gran Nana	下和佐字佃400番地1
1-1	ないろDAY	布施屋557-17
21	東中学校	松原337
10-3	安原保育所	本渡396-4
2	和みの里	井戸272-1
8-5	マウンテンラブ	吉原270
1-1	デイサービスよしはら	吉原747-1
1-1	有限会社成介	吉原778-2
20	安原小学校	江南239
13	安原小学校若竹学級	江南239
1-1	デイサービスおれんじ	相坂534-22
8-1	デイサービスおれんじ	相坂534-22
1-1	あいの里	松原306-5
3	あいの里	相坂651-3
3	あさひの家	朝日21-1
5	みずほ園	朝日83-1
8-1	みずほ園	朝日83-1
25	和歌山県立紀北支援学校	冬野227
8-6	グループホーム第2古川園	広原166-1
18-4	喜の家 よしはら	吉原735
18-5	あいの里小規模多機能型居宅介護事業所	相坂655-1
18-5	あいの里第2小規模多機能型居宅介護事業所	松原306-1
1-1	一織庵デイサービス安原	桑山157-1
18-6	幹はうす	冬野703-9
8-6	グループホーム エール	朝日413-1
8-2	幹らんど	冬野703-9
10-4	しょうぶこども園	吉礼53-6
13	しょうぶこども園	吉礼53-6

分類	施設名	施設所在地
23	市立和歌山高等学校	六十谷45
8-5	いこいの家共同作業所	六十谷15-1
1-1	機能訓練&ケアデイサービスエイル	六十谷180-22
10-4	いさお幼稚園	園部1518-1
1-1	自遊会園部デイサービス	園部1218-75
20	有功小学校	園部1453
13	有功小学校若竹学級	園部1453
8-5	はぐるま共同作業所ラ・テール	園部993-2
1-1	プライマリーリハビリ・デイサービス和歌山北	園部870-1
29	前田外科	園部969-2
1-1	たいようの風	六十谷208-12 サンライト坂本1F西号室
8-6	グループホームAQUA	六十谷222-36
18-4	そうせい園部	園部1364-1
11-2	放課後デイサービスウィズ園部	園部1133-1
8-6	カーサむぎⅠ	園部1505-3
8-6	グループホーム第二AQUA	六十谷744-17 ふぁみーるⅢ
8-5	麦の郷印刷出張所	六十谷163-1
18-4	たいようの花	六十谷747
18-2	和歌山ヤクルト販売株式会社　楠見保育所	園部1364-5
18-4	せせらぎの里	園部1446-1
18-4	たいようの花Ⅱ	六十谷746
18-2	プチキッズまことむそた保育園	六十谷364-1
1-1	和気あいあい	六十谷15-1
1-1	リハビリテーションデイサービス紀のいえぷらす	園部1360-5
8-6	たいよう愛らんど	六十谷1021-1
11-1	アップルツリー	六十谷1041-1 グランメール六十谷Ⅱ 2階西
11-2	アップルツリー	六十谷1041-1 グランメール六十谷Ⅱ 2階西
11-1	LASHIK六十谷	六十谷1022-12
11-2	LASHIK六十谷	六十谷1022-12
11-1	キッズにじ	園部1218-67

分類	施設名	施設所在地
11-2	キッズにじ	園部1218-67
23	開智高等学校	直川113-2
21	開智中学校	直川113-2
10-3	紀伊保育園	直川326-9
8-1	ライフサポートセンター倖	直川611-1
8-6	ひより	直川1187
8-2	ひより	直川1187
8-6	ひよりⅡ	直川548-2木もれ日館205号、303号
18-2	東洋保育園	宇田森57-1
13	東洋キッズ	宇田森57-1
1-3	喜望園	楠本266
10-4	三宝幼稚園	楠本273-2
10-3	川永保育所	楠本284-1
29	紀伊クリニック	宇田森275-10
18-7	紀伊の里	宇田森275-10
18-8	紀伊の里	宇田森275-10
29	はまだ産婦人科	島230-2
8-1	くろしお作業所	楠本39-1
18-4	はなみずき　あおい	楠本231-1
20	川永小学校	楠本285
13	川永小学校若竹学級	楠本285
8-6	あいあいホーム	神波72-18
1-1	遊デイサービス	島120-2
10-4	とうようこども園	宇田森67
28	医療法人田村病院	小倉645
20	小倉小学校	新庄348
13	小倉小学校若竹学級	新庄348
1-1	デイサービスあさか	新庄465
1-1	デイサービスたいむ	新庄565
18-4	あさかハイツ	新庄565

分類	施設名	施設所在地
10-3	小倉保育所	新庄56
5	小倉園	新庄388-1
8-1	小倉園	新庄388-1
8-2	短期入所事業所小倉園	新庄388-1
8-6	グループホームたいむ	新庄563-1
2	スマイルハート	大垣内107-1
1-1	ひだまりの家	金谷206-6
1-1	デイサービスわをん	吐前263-1
1-1	皆楽園小倉デイサービスセンター	吐前620-1
1-2	特別養護老人ホームあんず苑	東田中307
1-4	特別養護老人ホームあんず苑	東田中307
3	グループホームあんず	東田中310
11-2	放課後デイサービスあんず	東田中310
1-1	ほすぴ小倉	満屋127
18-4	ほすぴ小倉	満屋127
8-1	ほすぴ小倉	満屋127
18-4	サンアンジュあおい	下三毛48-1、49、50、51
18-4	あさかビレッジ	新庄464
18-4	サービス付き高齢者向け住宅心　まるごとケアの家はっぴい	小倉272
11-1	わくわく親子教室	新庄99-7
8-6	グループホームふるさと	吐前49-3
11-1	あんずキッズ	東田中310
1-4	特別養護老人ホーム第2あんず苑	東田中307
8-6	グループホームたいむ　あるふぁ	新庄563-1
1-2	特別養護老人ホーム第2あんず苑	東田中307
8-2	特別養護老人ホームあんず苑	東田中307
11-2	放課後デイサービスあんずlua	東田中307
11-2	児童デイサービス　雪うさぎ虹	東田中24-6
1-4	特別養護老人ホーム山口葵園	藤田25-1
1-4	特別養護老人ホーム山口葵園ホーリーユニット	藤田25-1

分類	施設名	施設所在地
3	グループホーム山口葵園	藤田25-1
1-2	ショートステイ山口葵園	藤田25-1
1-5	山口葵園	藤田25-1
18-3	生活支援ハウス山口葵園	藤田25-1
1-1	デイサービスセンター山口葵園	藤田25-1
1-4	地域密着型介護老人福祉施設山口葵園マロウ	藤田28-1
1-2	短期入所生活介護山口葵園マロウ	藤田28-1
8-6	ひびきの郷	里62-1
18-8	医療法人光愛心まつやま整形外科クリニック	里86-1
8-6	ひびきの郷	里62
1-5	虹の園	北野129-3
29	綿貫整形外科	北野281
29	綿貫第二クリニック	北野字川原田285
18-8	綿貫デイケアセンター	北野字川原田285
18-5	小規模多機能型居宅介護てまりの里	府中20-1
18-4	てまりの里	府中20-1
1-1	リハテラス響	弘西889-3
2	介護付有料老人ホームきらら誠佑	西田井385
28	誠佑記念病院	西田井391
18-2	元気保育所	西田井391
18-8	誠佑記念病院	西田井391
1-4	特別養護老人ホーム紀伊てまり苑	西田井224
1-1	紀伊てまり苑	西田井224
1-2	紀伊てまり苑	西田井224
3	グループホーム紀伊てまり苑	西田井224
1-5	ケアハウス紀伊てまり苑	西田井224
18-3	生活支援ハウス紀伊てまり苑	西田井224
3	グループホーム喜成会	北野118-2
1-1	喜成会デイサービスセンター	北野118-2
18-3	生活支援ハウスみらい	北野118-2

分類	施設名	施設所在地
1-4	特別養護老人ホーム喜成会	北野128
1-2	喜成会ショートステイ	北野128
25	和歌山県立和歌山盲学校	府中949-23
3	グループホーム紀伊	北野117-1
1-1	共用型デイサービス紀伊	北野117-1
18-6	看護小規模多機能型紀伊	北野117-1
1-1	一織庵デイサービス直川	府中18-1
18-4	至福の郷	弘西844-1
3	グループホームてまりの里	府中20-1
1-1	紀伊てまり苑サテライト事業所てまりの里デイサービス	府中20-1
28	宮本病院	塩屋3丁目6-1
8-6	ホームあすなろ	塩屋3丁目6-1
6	地域活動支援センター櫻	塩屋3丁目6-2
8-5	就労支援事業所めばえ	塩屋3丁目6-2
28	藤民病院	塩屋3丁目6-2
18-9	藤民病院介護医療院さくらの家ふじたみ	塩屋3丁目6-2
28	和歌浦中央病院	塩屋6丁目2-70
18-2	あけぼの保育所	塩屋6丁目2-70
10-4	ようすい子ども園	西浜1218-3
13	ようすい子ども園	西浜1218-3
21	西浜中学校	西小二里1-6-1
1-1	ニチイケアセンター大浦	西小二里3丁目6-46 やまだクリニックビル3F
2	陽光の郷しおや	塩屋4丁目5-6
1-1	ひまわり福祉サービス塩屋事業所	塩屋4丁目5-6
1-1	デイサービスシルバーネスト	塩屋4丁目5-16
18-4	サービス付き高齢者向け住宅　シルバーネスト塩屋	塩屋4丁目5-16
1-1	デイサービスセンター雑賀荘	関戸1丁目4-13
29	岩橋産科婦人科	関戸1丁目6-44
10-4	和歌山ひかり幼稚園	関戸1丁目2-31
20	雑賀崎小学校	西浜1148

分類	施設名	施設所在地
13	雑賀崎小学校若竹学級	西浜1148
19	雑賀崎幼稚園	西浜1148
1-1	デイサービスゆうゆうライフ	西浜1170-2
18-4	ふるさと	西浜1170-2
1-1	リハビリ特化型デイサービス蒲輪の里	西浜1270-1
18-8	嶋本脳神経外科・内科	西浜921-4
23	和歌山県立星林高等学校	西浜2-9-9
23	和歌山県立和歌山工業高等学校	西浜3-6-1
25	和歌山大学教育学部附属特別支援学校	西小二里2丁目5-18
10-4	たから幼稚園	塩屋2丁目1-15
8-5	toco towa チョコレート事業部	塩屋4丁目6-57
18-4	そうせい関戸	関戸4丁目3-16
18-4	蒲輪の里　西浜	西浜1269-2
18-4	蒲輪の里　セゾン西浜	西浜1247-1
8-6	グループホーム西浜	西浜1014-9
18-2	和歌山ヤクルト販売株式会社　西浜保育所	西小二里3丁目6-31
8-6	ケアホーム　ウエストビーチ	西浜1014-25
2	楓	西浜1223-18
8-6	ハイツ関戸	関戸2丁目1-17
8-6	志道場(塩屋)	塩屋3丁目4-53
8-6	グループホームあじさい	西小二里2丁目5-30
1-1	まつい訪問看護ステーションメイプル	西浜1223-18
8-6	グループホームあさ	西小二里2丁目5-45
8-2	ハイツ関戸	関戸2丁目1-17
1-1	より処デイサービス塩屋	塩屋3丁目2-21
1-1	てんまりてんてん	西浜1407-1
8-1	てんまりてんてん	西浜1407-1
28	医療法人旭会　和歌浦病院	和歌浦東3丁目2-38
28	福外科病院	和歌浦東3丁目5-31
10-4	片男波こども園	和歌浦南2丁目11-8

分類	施設名	施設所在地
1-1	リハビリテーション倶楽部ひかり	和歌浦南2丁目3-11
3	春風会わかのうら	和歌浦中1丁目1-15
1-1	春風会わかのうら	和歌浦中1丁目1-15
18-5	春風会わかのうら	和歌浦中1丁目1-15
2	福の里	和歌浦東3丁目5-32
8-5	つむぎ共同作業所	和歌浦東3丁目6-13
3	春風会かたおなみ	和歌浦東4丁目3-51
1-1	デイサービスあけぼの	和歌川町3-1
18-4	サービス付き高齢者向け住宅あけぼの	和歌川町3-1
18-7	介護老人保健施設和歌川苑	和歌川町5-44
18-8	介護老人保健施設和歌川苑	和歌川町5-44
2	あかり苑和歌浦	和歌浦東3丁目4-43
1-1	アンジュール	和歌浦南3丁目1-17
1-1	リハビリ特化型デイサービススマイルラボ和歌浦	和歌浦東3丁目1-16
1-1	若なろう会	和歌浦西1丁目4-12
8-6	和歌の手	和歌浦東3丁目4-45
18-8	医療法人福慈会福外科病院	和歌浦東3丁目5-31
1-1	ちょことれフィット	和歌浦南3丁目9-1 FSビル1階
8-1	アンジュール	和歌浦南3丁目1-17
10-4	名草幼稚園	紀三井寺520
28	和歌山県立医科大学附属病院	紀三井寺811-1
18-2	クレヨン保育園	紀三井寺811-1
21	明和中学校	紀三井寺832-1
18-4	グランデージ蒲輪	紀三井寺516-1
1-1	デイサービスセンターロコ	紀三井寺539-4
8-2	紀三井寺苑	紀三井寺560-2
1-2	紀三井寺苑	紀三井寺560-2
1-4	特別養護老人ホーム紀三井寺苑	紀三井寺560-2
1-1	紀三井寺苑デイサービスセンター	紀三井寺560-2
18-3	生活支援ハウス紀三井寺苑	紀三井寺560-2

分類	施設名	施設所在地
3	紀三井寺苑グループホーム	紀三井寺617-3
1-1	桜園	紀三井寺437-1
1-1	第二紀三井寺苑デイサービスセンター	紀三井寺754
1-4	地域密着型特別養護老人ホームプチパレス紀三井寺	紀三井寺811-87
1-2	ショートステイパズ	紀三井寺811-87
1-1	デイサービスセンターパピヨン	紀三井寺811-87
2	憩いの郷 紀三井寺	三葛243-1
1-1	憩いの郷デイサービス	三葛243
2	和歌山シルバーハイム	三葛528-1
2	シニアヴィラジュレ紀三井寺駅前	三葛98-1
30	むとう助産院	内原582-6
20	浜宮小学校	内原778-16
13	浜宮小学校若竹学級	内原778-16
28	上山病院	内原998
1-1	ライフパートナー内原デイサービスセンター	内原634-1
1-1	デイサービス内原健康館	内原763-10
1-1	デイサービスセンター内原	毛見168-7
1-4	紀三井寺苑ほほえみ	布引13-7
18-6	紀三井寺苑ほほえみ	布引13-7
18-2	かもめ保育園	布引13-7
8-4	マイパレット	毛見1130-1　T・Tビル1F
8-3	自立支援教室ひだまりカフェ	毛見1130-1　T・Tビル1F
18-4	サービス付き高齢者向け住宅内原にんにこ山ハウス	内原565
8-5	ハレ	紀三井寺1113
8-1	菜々いろ	毛見342-20
18-2	企業主導型保育事業所 名草こぐま園	紀三井寺515-1
8-6	グループホーム第8古川園	紀三井寺1175-7
8-6	グループホーム　ASCENT	内原726-13
2	浜風の家	内原882-1
8-2	ミントキャンディ	内原963-9

分類	施設名	施設所在地
8-6	ミントキャンディ	内原963-9
1-1	デイサービス浜風の家	内原882-1
1-1	デイサービス成幸紀三井寺	紀三井寺748-3
3	ニチイケアセンター紀三井寺	紀三井寺516-1
8-2	グループホーム　ASCENT	内原726-13
8-6	グループホームBruno三葛	三葛285-132
2	住宅型有料老人ホーム内原すずらん	内原634-1
1-1	デイサービスさやか	布引935-1
8-1	デイサービスさやか	布引935-1

和田川浸水想定区域内の施設

要配慮者利用施設（184施設）　　（令和7年1月現在）

分類	施設名	施設所在地
18-9	和歌山市ふれ愛センター	木広町5-1-9
28	須佐病院	吹屋町4-30
1-1	デイサービスケアネット新生町	新生町2-5
1-1	吹屋町デイサービス園	吹屋町2丁目69-1
20	新南小学校	木広町4丁目23
13	新南小学校若竹学級	木広町4丁目23
8-5	たいよういっぱい夢いっぱい	木広町2丁目58
8-1	シニアカレッジtomorrow	新留丁136
1-1	シニアカレッジtomorrow	新留丁136
1-1	輝楽魂やすらぎの家	北出島87-7
8-1	輝楽魂やすらぎの家	北出島87-7
10-3	宮前保育所	北中島1-2-6
21	東和中学校	杭ノ瀬116
10-3	杭ノ瀬保育所	杭ノ瀬19-8
30	岡本助産院	小雑賀207
28	高山病院	小雑賀3-1-11
10-8	第二こじか園	田尻155-1
10-4	さつきこども園	中島70-8
13	さつきこども園	中島70-8
1-4	特別養護老人ホーム親和園	杭ノ瀬255-2
1-2	指定短期入所生活介護事業所親和園	杭ノ瀬255-2
1-4	地域密着型介護老人福祉施設第五親和園	杭ノ瀬432-3
1-2	指定短期入所生活介護事業所第五親和園	杭ノ瀬432-3
1-1	デイサービスクローバー	杭ノ瀬449-2
18-4	クローバーの郷	杭ノ瀬449-2
2	湧れの杜	杭ノ瀬449-5
2	粋の杜	杭ノ瀬449-5
1-4	特別養護老人ホーム第二親和園	杭ノ瀬462-2
1-2	指定短期入所生活介護事業所第二親和園	杭ノ瀬462-2
1-1	第二親和園デイサービスセンター	杭ノ瀬462-2

分類	施設名	施設所在地
8-1	第二親和園デイサービスセンター	杭ノ瀬462-2
1-5	ケアハウス第三親和園	杭ノ瀬463-1
2	憩の泉	手平1丁目10-5
1-1	いこいデイサービス	手平1丁目10-5
2	あすか苑	手平2丁目5-49
18-5	株式会社あおぞらケアセンター	手平2丁目5-49
18-4	シニアパレスりゅうじん	手平3丁目6-7
8-4	就労支援センターベストワーク	手平3丁目12-19
8-5	就労支援センターベストワーク	手平3丁目12-19
2	集いの家みやまえ	手平1丁目7-27
3	グループホームみさき宮前	手平3丁目8-35
2	小雑賀の家	小雑賀134-5
1-1	ユア・デイサービス	小雑賀134-5
1-1	デイサービスあおぞら夢	小雑賀726-14
2	介護付有料老人ホーム第2あすか苑	小雑賀728-1
1-1	ケアパートナー和歌山	新中島105-1
1-1	デイサービスセンターピース	新中島118 新中島エクセランス1F
2	陽光の郷わかやま	新中島63-5
1-1	ひまわり福祉サービス	新中島63-5
1-1	ゆたかデイサービス	中島452-7　ユタカ創造ビル
8-5	ジョイ・コム	中島528 菱岡工業株式会社内
18-2	わっしょい保育園	中島528
2	あかり苑中島	中島6-1
2	癒の泉	南出島28-16
1-1	ハートケアデイサービス	南出島28-16
1-1	デイサービスりゅうじん	北中島1丁目2-4
18-7	ラ・エスペランサ	中島192
18-8	ラ・エスペランサ	中島192
20	宮前小学校	北中島1丁目7-4
13	宮前小学校若竹学級	北中島1丁目7-4

分類	施設名	施設所在地
19	宮前幼稚園	北中島1丁目7-4
2	そうせい宮前	杭ノ瀬126-1
11-1	こどもサポート教室「きらり」和歌山小雑賀校	小雑賀677-17
11-2	こどもサポート教室「きらり」和歌山小雑賀校	小雑賀677-17
18-8	医療法人真正会龍神整形外科	北中島1丁目5-1
10-5	杭の瀬児童・地区福祉センター	杭ノ瀬77-10
8-5	ナチュレ	杭ノ瀬234-3
11-2	みらい発達塾ダックチャイルド神前校	神前568-22
8-1	和くわく作業所　生活介護事業所（多機能型事業所）	手平6丁目112-3
8-5	和くわく作業所　就労継続支援B型事業所（多機能型事業所）	杭ノ瀬243-6
8-5	事務支援センター ソラーナ	新中島132-6
1-1	デイサービスiBUKi	小雑賀696-1
3	グループホーム第六親和園	杭ノ瀬362-5
8-1	デイサービスiBUKi	小雑賀696-1
8-1	デイサービスあおぞら夢	小雑賀726-14
10-3	さんた保育園	坂田18
13	さんた保育園	坂田18
3	グループホーム草原	田尻153-5
1-1	デイサービス草原	田尻153-5
3	グループホームささゆり	田尻496-4
1-1	デイサービスささゆり	田尻496-4
8-1	生活介護施設　つわぶき授産工場	和田1283-2
8-5	就労支援施設　つわぶき授産工場	和田1283-2
20	三田小学校	和田419-1
13	三田小学校若竹学級	和田419-1
1-4	特別養護老人ホームすこやか	和田583-1
1-2	ショートステイすこやか	和田583-1
3	グループホームすこやか	和田592-6
8-1	ウイズ	和田80-1
28	稲田病院	和田1175
18-8	山東整形外科肛門科医院	和田1202-5

分類	施設名	施設所在地
1-1	デイサービスセンターサン	和田1205-1
2	有料老人ホーム　サン	和田1207-1
18-7	介護老人保健施設かまやま苑	和田350
18-8	介護老人保健施設かまやま苑	和田350
29	稲田クリニック	和田461
18-2	しまキッズランド	坂田85
11-2	くろすはうす	和田729-8
8-6	グループホーム第6古川園	坂田243-5
18-4	サービス付き高齢者向け住宅ポーラ	田尻693-1
8-5	カノン	和田80-5
1-1	社会福祉法人桃の木会デイサービス三田山	坂田348
8-1	社会福祉法人桃の木会デイサービス三田山	坂田348
28	山東整形外科肛門科医院	和田1202-5
8-1	センティア	坂田658-10
8-6	GH　樹	和田1287-1
8-2	短期入所事業　樹	和田1287-1
11-1	児童デイサービス　あい・らんど	森小手穂2-1
11-2	児童デイサービス　あい・らんど	森小手穂2-1
8-1	生活介護事業所　あい・らんど	森小手穂2-1
20	岡崎小学校	寺内426
13	岡崎小学校若竹学級	寺内426
1-1	北浦デイサービス	森小手穂738-3
2	セラヴィ神前	神前182-1
1-1	りはびりデイ長寿館	神前194-5
1-1	ツクイ和歌山神前	神前246-1
23	和歌山県立和歌山東高等学校	森小手穂136
19	たちばな幼稚園	西819
11-2	みらい発達塾ダック	神前85-5
8-3	みんなの広場	神前488-4
18-4	ピースONE	神前546-1
1-1	デイサービスピース＆ピースⅡ	神前546-1

分類	施設名	施設所在地
8-5	みんなの広場	神前488-4
8-4	ネクストマーリン	神前125-3
11-1	はぐみ神前教室	神前109-19
11-2	はぐみ神前教室	神前109-19
21	東中学校	松原337
2	和みの里	井戸272-1
8-5	マウンテンラブ	吉原270
1-1	デイサービスよしはら	吉原747-1
1-1	有限会社成介	吉原778-2
20	安原小学校	江南239
13	安原小学校若竹学級	江南239
1-1	デイサービスおれんじ	相坂534-22
8-1	デイサービスおれんじ	相坂534-22
1-1	あいの里	松原306-5
3	あいの里	相坂651-3
3	あさひの家	朝日21-1
5	みずほ園	朝日83-1
8-1	みずほ園	朝日83-1
25	和歌山県立紀北支援学校	冬野227
8-6	グループホーム第2古川園	広原166-1
18-4	喜の家　よしはら	吉原735
18-5	あいの里小規模多機能型居宅介護事業所	相坂655-1
18-5	あいの里第2小規模多機能型居宅介護事業所	松原306-1
1-1	一織庵デイサービス安原	桑山157-1
18-6	幹はうす	冬野703-9
8-6	グループホーム　エール	朝日413-1
8-2	幹らんど	冬野703-9
10-4	つくし幼保園	吉礼486-1
10-4	しょうぶこども園	吉礼53-6
13	しょうぶこども園	吉礼53-6
1-3	大日山荘	吉礼179

分類	施設名	施設所在地
18-2	愛友保育所	吉礼192
8-6	わさホーム	吉礼83-1リバーサイドハイツⅡ102号室、吉礼83-2リバーサイドハイツⅤ103・105号室
11-1	ハミング子ども教室	口須佐37-7
1-4	特別養護老人ホーム大日山荘	平尾2-1
1-2	ショートステイセンター大日山荘	平尾2-1
1-1	大日倶楽部ハルジオン	平尾2-1
1-5	ケアハウスバイオレット	平尾2-1
1-5	ロミオ イ フリエッタ	平尾645
1-1	大日倶楽部オラ	平尾8-1
28	和歌山県立医科大学附属病院	紀三井寺811-1
18-2	クレヨン保育園	紀三井寺811-1
21	明和中学校	紀三井寺832-1
18-4	グランデージ蒲輪	紀三井寺516-1
8-2	紀三井寺苑	紀三井寺560-2
1-2	紀三井寺苑	紀三井寺560-2
1-4	特別養護老人ホーム紀三井寺苑	紀三井寺560-2
1-1	紀三井寺苑デイサービスセンター	紀三井寺560-2
18-3	生活支援ハウス紀三井寺苑	紀三井寺560-2
3	紀三井寺苑グループホーム	紀三井寺617-3
1-1	第二紀三井寺苑デイサービスセンター	紀三井寺754
1-4	地域密着型特別養護老人ホームプチパレス紀三井寺	紀三井寺811-87
1-2	ショートステイパズ	紀三井寺811-87
1-1	デイサービスセンターパピヨン	紀三井寺811-87
2	憩いの郷 紀三井寺	三葛243-1
1-1	憩いの郷デイサービス	三葛243
2	和歌山シルバーハイム	三葛528-1
2	シニアヴィラジュレ紀三井寺駅前	三葛98-1
8-5	ハレ	紀三井寺1113
1-1	デイサービス成幸紀三井寺	紀三井寺748-3
3	ニチイケアセンター紀三井寺	紀三井寺516-1
8-6	グループホームBruno三葛	三葛285-132

亀の川浸水想定区域内の施設

要配慮者利用施設（72施設）　　（令和7年1月現在）

分類	施設名	施設所在地
20	三田小学校	和田419-1
13	三田小学校若竹学級	和田419-1
1-4	特別養護老人ホームすこやか	和田583-1
1-2	ショートステイすこやか	和田583-1
3	グループホームすこやか	和田592-6
18-7	介護老人保健施設かまやま苑	和田350
18-8	介護老人保健施設かまやま苑	和田350
10-3	安原保育所	本渡396-4
10-5	本渡児童館	本渡435-1
3	あさひの家	朝日21-1
1-1	紀州リハビリケアデイサービスセンター	冬野1335-1
1-1	デイサービスココア	冬野1305-1
1-1	地域密着型特別養護老人ホーム冬野の郷通所介護事業所	冬野2037
1-2	地域密着型特別養護老人ホーム冬野の郷短期入所生活介護事業所	冬野2037
1-4	冬野の郷	冬野2037
2	住宅型有料老人ホーム「花音」ka－non	冬野1415-1
18-6	幹はうす	冬野703-9
1-1	デイサービスセンター「花音」	冬野1415-1
8-6	グループホーム　エール	朝日413-1
8-2	幹らんど	冬野703-9
10-4	名草幼稚園	紀三井寺520
28	和歌山県立医科大学附属病院	紀三井寺811-1
18-2	クレヨン保育園	紀三井寺811-1
18-4	グランデージ蒲輪	紀三井寺516-1
1-1	デイサービスセンターロコ	紀三井寺539-4
8-2	紀三井寺苑	紀三井寺560-2
1-2	紀三井寺苑	紀三井寺560-2

分類	施設名	施設所在地
1-4	特別養護老人ホーム紀三井寺苑	紀三井寺560-2
1-1	紀三井寺苑デイサービスセンター	紀三井寺560-2
18-3	生活支援ハウス紀三井寺苑	紀三井寺560-2
3	紀三井寺苑グループホーム	紀三井寺617-3
1-1	桜園	紀三井寺437-1
1-1	第二紀三井寺苑デイサービスセンター	紀三井寺754
1-4	地域密着型特別養護老人ホームプチパレス紀三井寺	紀三井寺811-87
1-2	ショートステイパズ	紀三井寺811-87
1-1	デイサービスセンターパピヨン	紀三井寺811-87
2	憩いの郷 紀三井寺	三葛243-1
1-1	憩いの郷デイサービス	三葛243
2	シニアヴィラジュレ紀三井寺駅前	三葛98-1
30	むとう助産院	内原582-6
20	浜宮小学校	内原778-16
13	浜宮小学校若竹学級	内原778-16
28	上山病院	内原998
1-1	ライフパートナー内原デイサービスセンター	内原634-1
1-1	デイサービス内原健康館	内原763-10
1-1	デイサービスセンター内原	毛見168-7
2	セイカイ琴ノ浦	毛見琴ノ浦1437-156
2	セイカイ浜の宮	毛見琴ノ浦1437-156
1-4	紀三井寺苑ほほえみ	布引13-7
18-6	紀三井寺苑ほほえみ	布引13-7
18-2	かもめ保育園	布引13-7
8-4	マイパレット	毛見1130-1　T・Tビル1F
8-3	自立支援教室ひだまりカフェ	毛見1130-1　T・Tビル1F
18-4	ハートランド和歌山	布引874-6
18-4	サービス付き高齢者向け住宅内原にんにこ山ハウス	内原565
8-5	ハレ	紀三井寺1113

分類	施設名	施設所在地
8-1	菜々いろ	毛見342-20
18-4	ルグラン和歌山	布引874-1
18-2	企業主導型保育事業所 名草こぐま園	紀三井寺515-1
8-6	グループホーム　ASCENT	内原726-13
2	浜風の家	内原882-1
8-2	ミントキャンディ	内原963-9
8-6	ミントキャンディ	内原963-9
1-1	デイサービスセンターレサンテ和歌山	布引874-1
1-1	デイサービス浜風の家	内原882-1
1-1	デイサービス成幸紀三井寺	紀三井寺748-3
1-1	さくら庵	布引865-19
3	ニチイケアセンター紀三井寺	紀三井寺516-1
8-2	グループホーム　ASCENT	内原726-13
2	住宅型有料老人ホーム内原すずらん	内原634-1
1-1	デイサービスさやか	布引935-1
8-1	デイサービスさやか	布引935-1

土砂災害(特別)警戒区域内の施設

要配慮者利用施設(131施設)　　(令和7年1月現在)

分類	施設名	施設所在地	土石流	急傾斜	地滑り
3	グループホームあおぞら	打越町3-30		警	
18-5	小規模多機能型居宅介護第2あおぞら	打越町3-30		警	
8-6	グループホームキュービー	宇須4丁目3-56		警	
28	宇都宮病院	鳴神505-4	警		
1-1	デイサービスセンターあすも	鳴神248-30	警		
18-8	宇都宮病院	鳴神505-4	警		
18-4	サービス付き高齢者向け住宅　アシステッドリビングホーム心花	坂田599-7		警	
11-2	くろすはうす	和田729-8		警	
8-6	グループホーム第6古川園	坂田243-5		警	
10-4	こひつじこども園	木ノ本1230-2		警・特警	
10-5	木ノ本児童館	木ノ本728-1		警	
1-4	特別養護老人ホーム君里苑	木ノ本1837-1		警・特警	
5	君里苑	木ノ本1837-1		警・特警	
8-1	君里苑	木ノ本1837-1		警・特警	
8-2	君里苑	木ノ本1837-1		警・特警	
1-2	君里苑指定短期入所生活介護	木ノ本1837-1		警・特警	
1-1	君里苑デイサービスセンター	木ノ本1837-1		警・特警	
8-6	グループホームリバー	木ノ本732		警	
20	貴志小学校	栄谷895-2		警・特警	
13	貴志小学校若竹学級	栄谷895-2		警・特警	
20	藤戸台小学校	栄谷974-245		警・特警	
13	藤戸台小学校若竹学級	栄谷974-245		警・特警	
21	貴志中学校	梅原579-2		警	
2	介護付有料老人ホーム和歌山ふじと台花水木	中537－31	警		
10-3	のぞみ保育園	善明寺471		警	
11-1	なのはな・きっず	善明寺595-1			警
11-2	なのはな・きっず	善明寺595-1			警
1-1	デイサービスおかえり	善明寺654-5		警	
8-2	なのはな・ぱあく	善明寺599-1-6			警
8-6	なでしこホーム	岩橋1507-1	警		
8-6	ホームきずな	岩橋1507-2	警		
18-4	風土記の丘　紀風苑	岩橋1267-1	警		
10-3	岡崎保育園	井辺134-2	警		
20	岡崎小学校	寺内426		警	
13	岡崎小学校若竹学級	寺内426		警	
21	西脇中学校	西庄1110-5		警・特警	
5	障害者支援施設　綜成苑	西庄1107-1	警	警・特警	

分類	施設名	施設所在地	土石流	急傾斜	地滑り
8-5	就労支援施設　綜成苑	西庄1107-1	警	警・特警	
8-2	短期入所事業　綜成苑	西庄1107-1	警	警・特警	
8-1	生活介護施設　綜成苑	西庄1107-1	警	警・特警	
8-1	綜愛苑	西庄1107-45	警	警・特警	
5	綜愛苑	西庄1107-45	警	警・特警	
8-2	短期入所事業　綜愛苑	西庄1107-45	警	警・特警	
20	八幡台小学校	西庄1110-5		警・特警	
13	八幡台小学校若竹学級	西庄1110-5		警・特警	
1-2	西庄園	西庄1133-2		警・特警	
1-1	西庄園	西庄1133-2		警・特警	
1-4	特別養護老人ホーム西庄園	西庄1133-2		警・特警	
3	グループホームやつなみ	西庄489	警	警・特警	
18-5	ネクストホームやつなみ	西庄489	警	警・特警	
1-1	ジョイフルホームやつなみ	西庄527-4	警	警	
21	高積中学校	布施屋112-2	警		
23	智辯学園和歌山高等学校	冬野2066-1		警・特警	
21	智辯学園和歌山中学校	冬野2066-1		警・特警	
20	智辯学園和歌山小学校	冬野2066-1		警・特警	
19	安原幼稚園	松原212		警	
1-1	地域密着型特別養護老人ホーム冬野の郷通所介護事業所	冬野2037	警		
1-2	地域密着型特別養護老人ホーム冬野の郷短期入所生活介護事業所	冬野2037	警		
1-4	冬野の郷	冬野2037	警		
1-1	デイサービス　えみろっと和歌山	本渡800-1	警		
8-1	みなみ工房	頭陀寺63		警	
8-5	みなみ工房	頭陀寺63		警	
21	有功中学校	六十谷1238	警	警・特警	
10-7	有功ヶ丘学園	園部381-2		警	
9-1	かつらぎ園	園部366-1	警	警・特警	
3	グループホーム紀伊松風苑なるたきのさと	園部364-3	警	警	
3	グループホーム紀伊松風苑ひだまりの家	園部1637-2	警	警・特警	
18-5	小規模多機能型ホーム紀伊松風苑そのべの丘	園部1637-2	警	警・特警	
1-4	特別養護老人ホーム紀伊松風苑	園部1668-1	警	警・特警	
1-2	紀伊松風苑ショートステイ	園部1668-1	警	警・特警	
1-1	紀伊松風苑デイサービスセンター	園部1668-1	警	警・特警	
10-4	まことなるたきこども園	園部381		警・特警	
18-2	家庭的保育園なないろ	園部416-11 小林ビル2F		警	
11-1	家庭的保育園なないろ	園部416-11 小林ビル2F		警	
11-2	家庭的保育園なないろ	園部416-11 小林ビル2F		警	
8-6	とりたん園部	園部1672-43		警	

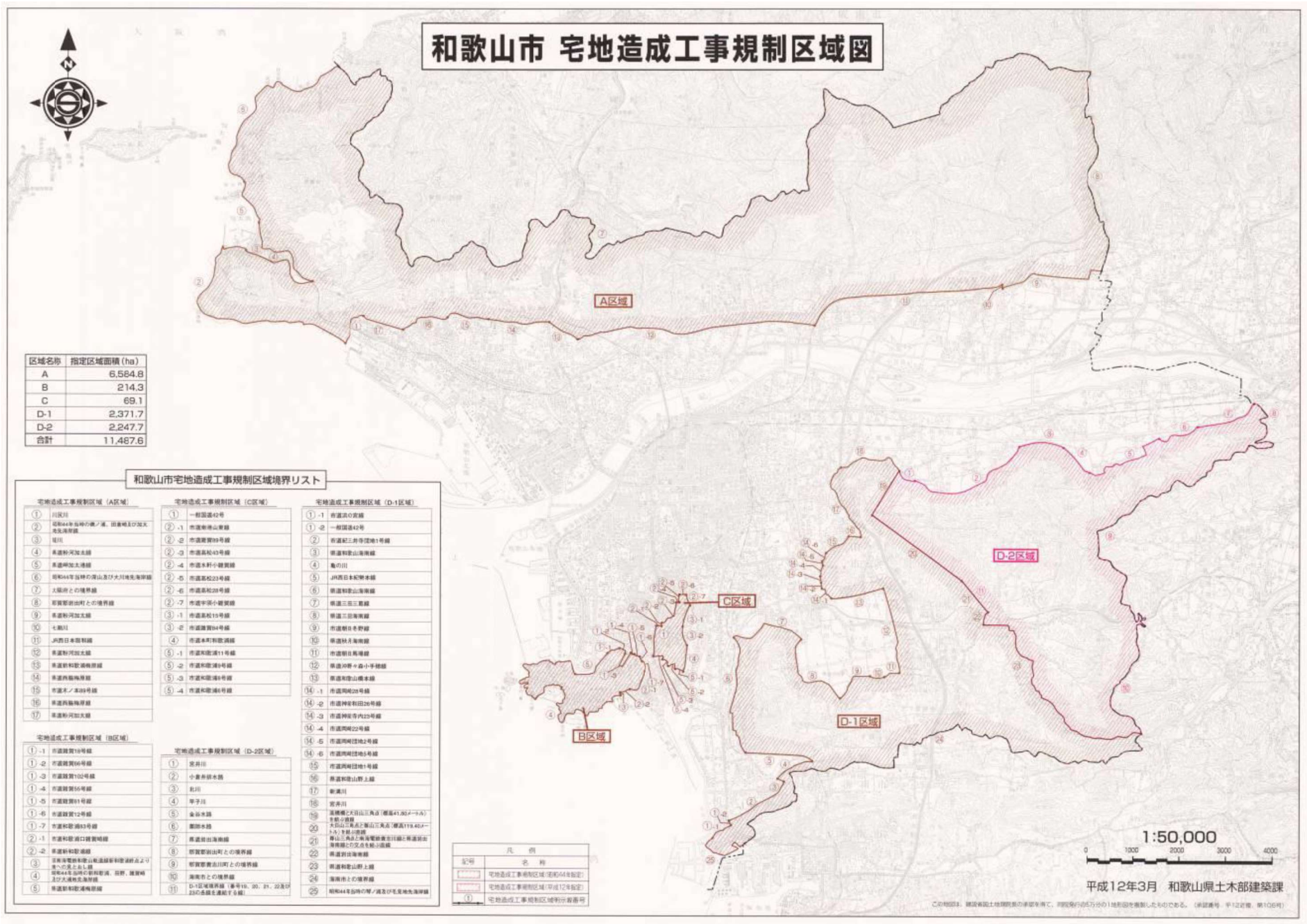
分類	施設名	施設所在地	土石流	急傾斜	地滑り
1-1	オリーブの丘デイサービス	園部110-6	警		
10-6	こばと学園	直川1437	警		
10-6	児童養護施設あすなろの家	直川1314-1	警		
10-3	こうま保育園	下三毛566		警	
13	こうま保育園	下三毛566		警	
11-2	児童デイサービス　フレンズ	新庄166-23	警		
3	グループホームなぎのやど	下三毛870-2	警		
23	和歌山県立和歌山高等学校	新庄188	警		
21	加太中学校	加太2692-1		警	
3	けあビジョンホーム和歌山加太	加太1134-128	警		
18-8	医療法人鶴寿会デイケアさかい	加太939-10	警		
1-3	喜和の郷	北野572-1		警	
1-2	喜和の郷ショートステイ	北野572-1		警	
21	紀伊中学校	北野544-1		警	
2	やすらぎ	府中105-1	警		
1-1	株式会社やすらぎ介護事業部	直川714-1	警		
2	かしの木苑	府中114	警		
1-1	デイサービスセンターかしの木	府中114	警		
25	和歌山県立紀伊コスモス支援学校	弘西555		警・特警	
18-4	サービス付き高齢者向け住宅 高橋荘	府中510-1		警	
8-6	グループホーム和	府中1233-1		警	
8-3	結	府中1233-6		警	
28	宮本病院	塩屋3丁目6-1		警・特警	
8-6	ホームあすなろ	塩屋3丁目6-1		警	
6	地域活動支援センター櫻	塩屋3丁目6-2		警	
28	藤民病院	塩屋3丁目6-2		警	
18-9	藤民病院介護医療院さくらの家ふじたみ	塩屋3丁目6-2		警	
10-4	たから幼稚園	塩屋2丁目1-15		警・特警	
8-2	つぐみの里	関戸3丁目5-58	警		
8-6	つぐみの里Ⅰ	関戸3丁目5-58	警		
8-6	つぐみの里Ⅱ	関戸3丁目5-58	警		
1-1	てんまりてんてん	西浜1407-1		警	
8-1	てんまりてんてん	西浜1407-1		警	
8-5	一般社団法人ウインワークス	雑賀崎2017-3	警		
1-4	特別養護老人ホームほうらい苑	新和歌浦2-9		警	
1-1	ほうらい苑デイサービスセンター	新和歌浦2-9		警	
1-2	ほうらい苑ショートステイ	新和歌浦2-9		警	
20	和歌浦小学校	和歌浦西2丁目1-18	警	警	
13	和歌浦小学校若竹学級	和歌浦西2丁目1-18	警	警	

分類	施設名	施設所在地	土石流	急傾斜	地滑り
20	名草小学校	紀三井寺240		警・特警	
13	名草小学校若竹学級	紀三井寺240		警・特警	
2	シニアヴィラジュレ紀三井寺駅前	三葛98-1	警		
10-3	みちる保育園	毛見435-1	警	警	
28	琴の浦リハビリテーションセンター附属病院	毛見1451	警	警	
18-7	老人保健施設サニーホーム	毛見1451	警	警	
18-2	琴の浦保育所	毛見887-2	警	警	
18-8	老人保健施設サニーホーム	毛見1451	警	警	
10-8	若竹園	毛見1451-1		警	
2	セイカイ琴ノ浦	毛見琴ノ浦1437-156		警	
2	セイカイ浜の宮	毛見琴ノ浦1437-156		警	
16	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター	毛見1437-218	警		
8-1	菜々いろ	毛見342-20	警		
8-6	グループホーム第8古川園	紀三井寺1175-7	警	警	
1-2	わかうら園ショートステイ	田野175		警	
1-4	特別養護老人ホームわかうら園	田野175		警	

4-4　その他施設状況

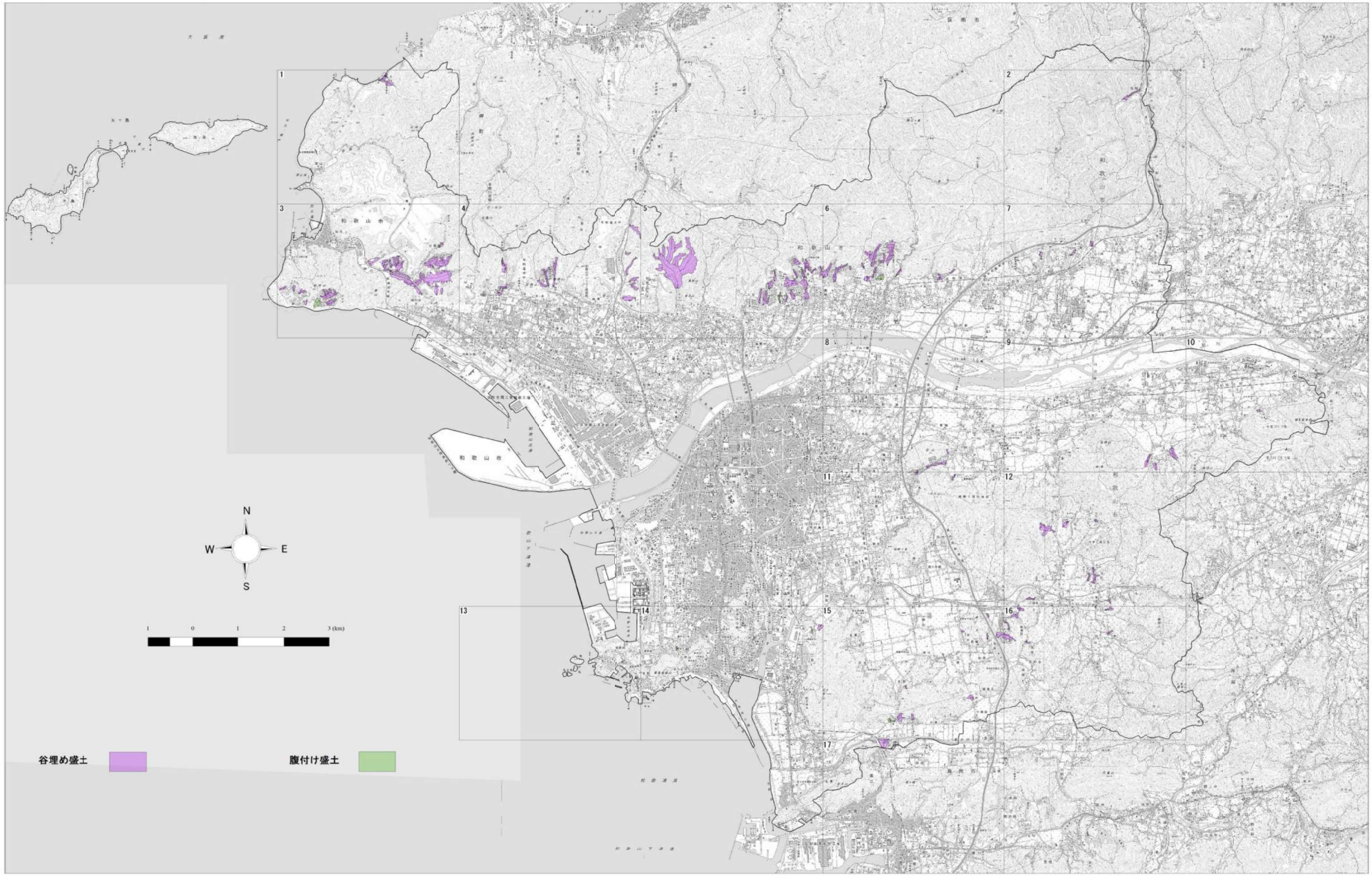
4-4-1

宅地造成工事規制区域図



4-4-2

大規模盛土造成図



4-4-3

指定文化財の状況

（令和6年3月29日現在）

指定の別		国	県	市	計
建造物		13	10	11	34
美術工芸	絵画	3	5	16	24
	彫刻	5	1	14	20
	工芸	19	17	10	46
	書跡・典籍・古文書	1	4	5	10
	考古資料	1	6	3	10
	歴史資料	0	1	10	11
記念物	史跡	7	12	9	28
	名勝	3	0	1	4
	天然記念物	0	11	4	15
無形文化財		0	1	0	1
民俗文化財	有形民俗文化財	0	2	1	3
	無形民俗文化財	0	3	2	5
伝統的建造物群保存地区		0	0	0	0
計		52	73	86	211

５．個別対策項目別関連

5-1　他市、関係機関、団体等との応援・協力協定

5-1-1

応援協定都市連絡表

令和6年4月現在

	都市名	担当部署名	電話番号		FAX番号		所在地 電子メールアドレス
			昼間	夜間・休日	昼間	夜間・休日	
	徳島市	危機管理監 危機管理課	088-621-5529		088-625-2820		徳島市幸町2丁目5番地 kiki_kanri@city-tokushima.i-tokushima.jp
	神戸市	危機管理室	078-322-6232		078-322-6031		神戸市中央区加納町 6-5-1 神戸市役所 危機管理センター2 階 kikikanri@office.city.kobe.lg.jp
	東京都 北区	危機管理室 防災・危機管理課	03-3908-8184		03-3908-4016		東京都北区王子本町 1-15-22 bosaikiki-ka@city.kita.lg,jp
以下、中核市							
1	函館市	総務部 災害対策課	0138-21-3648	0138-21-3006 （宿日直室）	0138-27-6489	0138-27-0482 （宿日直室）	北海道函館市東雲町 4-13 bousai@city.hakodate.hokkaido.jp
2	旭川市	防災安全部 防災課	0166-25-9840	0166-26-1111 （守衛）	0166-24-2783	0166-27-2131 （守衛）	北海道旭川市7条通り 9 丁目 48 番地 旭川市役所総合庁舎7階 bousai@city.asahikawa.lg.jp
3	青森市	総務部 危機管理課	017-777-8850 017-734-5059 （直通）	017-734-1111 （守衛）	017-734-5061		青森県青森市中央一丁目 22-5 kikikanri@city.aomori.aomori.jp
4	八戸市	危機管理部 危機管理課	0178-43-2147 （直通）	0178-43-2111 （巡視室）	0178-45-0099	0178-45-0099	青森県八戸市内丸一丁目 1-1 kikikanri@city.hachinohe.lg.jp
5	盛岡市	総務部 危機管理防災課	019-613-8386	019-651-4111	019-654-4569	019-654-4569	岩手県盛岡市内丸 12 番 2 号 kikikanri@city.morioka.iwate.jp
6	秋田市	総務部 防災安全対策課	018-888-5434 （直通）	018-823-4265 （消防本部指令課）	018-888-5435	018-888-5435	秋田県秋田市山王一丁目 1 番 1 号 ro-gnds@city.akita.lg.jp
7	山形市	総務部 防災対策課	023-625-1177	023-641-1212 （守衛室）	023-624-8847	023-624-8847	山形県山形市旅篭町二丁目 3 番 25 号 bosai@city.yamagata-yamagata.lg.jp

	都市名	担当部署名	電話番号		FAX番号		所在地 電子メールアドレス
			昼間	夜間・休日	昼間	夜間・休日	
8	福島市	危機管理室	024-525-3793	024-535-1111 （守衛室）	024-536-4370	024-535-1111 （守衛室）	福島県福島市五老内町 3 番 1 号 bousai@city.fukushima.lg.jp
9	郡山市	総務部 防災危機管理課 （防災係）	024-924-2161	024-924-2491 （警備室）	024-924-0999	024-924-0999	福島県郡山市朝日一丁目 23 番 7 号 bousaikikikanri@city.koriyama.lg.jp
10	いわき市	危機管理部 災害対策課	0246-22-1242 （直通）	0246-22-1111 （守衛・日直）	0246-22-7461	0246-22-7461	福島県いわき市平字梅本 21 番地 saigaitaisaku@city.iwaki.lg.jp
11	水戸市	市民協働部 防災・危機管理課	029-232-9152 （直通）	029-224-1111	029-233-0523	029-233-0523	茨城県水戸市中央 1-4-1 bousai@city.mito.lg.jp
12	宇都宮市	行政経営部 危機管理課	028-632-2052	090-1196-5866 （当番公用携帯電話）	028-632-7123	028-632-7123	栃木県宇都宮市旭 1 丁目 1 番 5 号 u2135@city.utsunomiya.lg.jp
13	前橋市	総務部 防災危機管理課	027-898-5956 （直通）	027-224-1111 （市役所宿直室）	027-221-2813	027-221-2813	群馬県前橋市大手町二丁目 12-1 kikikanri@city.maebashi.lg.jp
14	高崎市	総務部 防災安全1課 防災安全2課	027-321-1352 （1課直通） 027-321-1171 （2課直通）	027-321-1111 （宿日直室）	027-321-1277 （1課・2課直通）	027-321-1277 （1課・2課直通）	群馬県高崎市高松町 35-1 bousai@city.takasaki.lg.jp
15	川越市	防災危機管理室	049-224-5554	049-224-8811	049-225-2895	049-225-2895	埼玉県川越市元町 1 丁目 3 番地1 bosai@city.kawagoe.lg.jp
16	川口市	危機管理部 危機管理課	048-242-6358	048-258-1110	048-257-3535	048-257-3535	埼玉県川口市青木 2-1-1 050.05000@city.kawaguchi.lg.jp（lgwan） 050.05000@city.kawaguchi.saitama.jp（インターネット）
17	越谷市	危機管理室	048-963-9285	048-974-0101 （消防局・指令課）	048-965-7809	048-977-1199 （消防局・指令課）	埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目 2 番 1 号 kikikanri@city.koshigaya.lg.jp
18	船橋市	市長公室 危機管理課	047-436-2033 （危機管理課）	047-435-1186 （消防局警防指令課）	047-436-2030 （危機管理課）	047-432-8229 （消防局警防指令課）	千葉県船橋市湊町 2 丁目 10 番 25 号 bosai@city.funabashi.lg.jp
19	柏市	危機管理部 防災安全課	04-7167-1115	04-7167-5551 （守衛）	04-7163-2188	04-7163-2188	千葉県柏市柏 5-10-1 bosaianzen1@city.kashiwa.chiba.jp

	都市名	担当部署名	電話番号		FAX番号		所在地 電子メールアドレス
			昼間	夜間・休日	昼間	夜間・休日	
20	八王子市	生活安全部 防災課	042-620-7207	042-626-3111	042-626-1271	042-626-1271	東京都八王子市元本郷町三丁目 24 番 1 号 b210300@city.hachioji.lg.jp
21	横須賀市	市長室 危機管理課	046-822-9708 （市長室危機管理課）	046-822-0119 （消防局指令課）	046-827-3151 （市長室危機管理課）	046-823-3920 （消防局指令課）	神奈川県横須賀市小川町 11 番地 bousai-han@city.yokosuka.lg.jp
22	富山市	防災危機管理部 防災危機管理課	076-443-2181	076-431-6111	076-431-9939	076-431-9939	富山県富山市新桜町 7 番 38 号 bousai-01@city.toyama.lg.jp
23	金沢市	危機管理課	076-220-2060 （直通）	076-220-2121 （当直室）	076-233-9999	076-220-2124 （当直室）	石川県金沢市柿木畠1番1号 金沢市役所第二本庁舎 kiki@city.kanazawa.lg.jp
24	長野市	総務部 危機管理防災課	026-224-5006 （直通）	026-226-4911 （警備員室） 026-226-0119 （消防局通信指令課）	026-224-5109	026-224-5119 （警備員室） 026-228-6398 （消防局通信指令課）	長野県長野市大字鶴賀緑町 1613 番地 kikibousai@city.nagano.lg.jp
25	福井市	危機管理課	0776-20-5234 （直通）	0776-20-5111	0776-20-5235		福井県福井市大手3丁目 10 番 1 号 kikikanri@city.fukui.lg.jp
26	甲府市	市長直轄組織 危機管理室 防災企画課	055-237-5331	055-237-1161	055-237-9911	055-237-9911	山梨県甲府市丸の内一丁目 18 番 1 号 boutaisaku@city.kofu.lg.jp
27	松本市	危機管理部 危機管理課	0263-33-9119	0263-34-3000	0263-33-1011	0263-33-1011	長野県松本市丸の内3番7号 kikikanri@city.matsumoto.lg.jp
28	岐阜市	都市防災部 都市防災政策課	058-267-4763 （直通）	058-265-4141 （守衛室）	058-265-3857	058-264-8602	岐阜県岐阜市司町 40 番地 1 bousai@city.gifu.lg.jp
29	豊橋市	防災危機管理課	0532-51-3116	0532-51-2075 （消防本部通信指令課）	0532-56-2122	0532-56-0033 （消防本部通信指令課）	愛知県豊橋市今橋町1番地 bousaikikikanri@city.toyohashi.lg.jp
30	一宮市	総合政策部 危機管理課	0586-28-8959	0586-28-8959	0586-73-9212	0586-73-9212	愛知県一宮市本町 2 丁目 5 番 6 号 kikikanri@city.ichinomiya.lg.jp

	都市名	担当部署名	電話番号		FAX番号		所在地 電子メールアドレス
			昼間	夜間・休日	昼間	夜間・休日	
31	岡崎市	市民安全部 防災課	0564-23-6711 0564-23-6497 （災害時優先電話）	0564-21-5151 （消防本部・共同通信課）	0564-23-6618	0564-26-0373 （消防本部通・共同通信課）	愛知県岡崎市十王町二丁目 9 番地 bosai@city.okazaki.lg.jp
32	豊田市	地域振興部 市民安全室 防災対策課	0565-31-1212 0565-34-6750 （ダイヤルイン）	0565-35-9724 （消防本部指令課）	0565-34-6048	0565-35-9739 （消防本部指令課）	愛知県豊田市西町 3 丁目 60 番地 bousai@city.toyota.aichi.jp
33	大津市	総務部 危機・防災対策課	077-528-2616 （直通）	077-525-9927 （消防局通信指令課）	077-523-2202	077-522-4657 （消防局通信指令課）	滋賀県大津市御陵町 3 番 1 号 otsu1223@city.otsu.lg.jp
34	豊中市	危機管理課	06-6858-2683	06-6155-5119 （北大阪消防指令センター 指令管制係）	06-6858-2667	06-6872-8119 （北大阪消防指令センター 指令管制係）	大阪府豊中市中桜塚 3-1-1 kikikanri@city.toyonaka.lg.jp
35	吹田市	危機管理室	06-6384-1753 （防災直通）	06-6193-0119 （消防本部指令情報室）	06-6369-6080	06-6193-0100 （消防本部指令情報室）	大阪府吹田市泉町 1 丁目 3-40 bousaisuita@city.suita.osaka.jp
36	高槻市	危機管理室	072-674-7314 （直通）	072-674-7000 （宿直→担当者）	072-675-8184	072-675-8184 （危機管理室執務室）	大阪府高槻市桃園町 2 番 1 号 kikikan-82@city.takatsuki.lg.jp
37	枚方市	危機管理部 危機管理対策推進課	072-841-1270 （直通）	072-841-1221	072-841-3092	072-841-3092	大阪府枚方市大垣内町 2 丁目 1-20 kikikanri@city.hirakata.osaka.jp
38	八尾市	危機管理課	072-924-3953 （直通）	072-924-3800	072-924-3968	072-924-0026	大阪府八尾市本町一丁目 1 番 1 号 kikikanri@city.yao.lg.jp
39	寝屋川市	危機管理部 防災課	072-825-2194		072-825-2633		大阪府寝屋川市本町 1 番 1 号 bousai@city.neyagawa.osaka.jp
40	東大阪市	危機管理室	06-4309-3000 （代表） 06-4309-3130 （直通）	06-4309-3330 （宿直室）	06-4309-3858	06-4309-3858	大阪府東大阪市荒本北 1 丁目 1 番 1 号 kikikanri@city.higashiosaka.lg.jp
41	姫路市	危機管理室	079-223-9596 （直通）	079-223-0003 （消防局情報指令課）	079-223-9541	079-222-8222 （消防局情報指令課）	兵庫県姫路市三左衛門堀西の町 3 番地 （姫路市防災センター5F） kikikanri@city.himeji.lg.jp
42	尼崎市	危機管理安全局 ・企画管理課 ・災害対策課	06-6489-6564(企) 06-6489-6165(災)	06-6481-0119 （消防局情報指令課）	06-6489-6166	06-6482-1995 （消防局情報指令課）	兵庫県尼崎市東七松町 1 丁目 23-1 ama-bousai@city.amagasaki.hyogo.jp

	都市名	担当部署名	電話番号		FAX番号		所在地 電子メールアドレス
			昼間	夜間・休日	昼間	夜間・休日	
43	明石市	総務局 総合安全対策室	078-918-5069	078-912-1111	078-918-5140		兵庫県明石市中崎 1 丁目 5-1 bousai@city.akashi.lg.jp
44	西宮市	総務局 危機管理室 防災危機管理課	0798-35-3626 （防災危機管理課）	0798-35-3046 （守衛室）	0798-36-1990	0798-35-4051	兵庫県西宮市六湛寺町 8 番 28 号 bousai@nishi.or.jp
45	奈良市	危機管理監 危機管理課	0742-34-4930	0742-34-1111	0742-35-3635	0742-35-3635	奈良県奈良市二条大路南一丁目 1 番 1 号 kikikanri@city.nara.lg.jp
46	和歌山市	危機管理局 危機管理部 総合防災課	073-435-1199	073-435-1199	073-435-1299	073-435-1299	和歌山県和歌山市八番丁 12 番地 sogobosai@city.wakayama.lg.jp
47	鳥取市	危機管理部 危機管理課	0857-20-3126	0857-22-8111 （警備員室）	0857-20-3042	0857-20-3042	鳥取県鳥取市幸町 71 kikikanri@city.tottori.lg.jp
48	松江市	防災部 防災危機管理課	0852-55-5115	0852-55-5555	0852-55-5617	0852-55-5617	島根県松江市末次町 86 番地 bousai@city.matsue.lg.jp
49	倉敷市	防災危機管理室 危機管理課	086-426-3645	086-426-3033	086-421-2500	086-421-2500	岡山県倉敷市西中新田 640 lg-csmgt@city.kurashiki.lg.jp（lgwan） csmgt@city.kurashiki.okayama.jp（インターネット）
50	福山市	総務局　総務部 危機管理防災課	084-928-1228	084-921-2130 （警備員室）	084-926-0845	084-928-3501 （警備員室）	広島県福山市東桜町 3 番 5 号 kikikanri-bousai@city.fukuyama.lg.jp
51	呉市	総務部 危機管理課	0823-25-3326	0823-25-3590 （守衛室）	0823-25-0315	0823-25-0315	広島県呉市中央 4 丁目 1 番 6 号 kurekiki@city.kure.lg.jp
52	下関市	総務部 防災危機管理課	083-231-9333 （直通）	083-231-1111 （宿直）	083-231-9966	083-231-9966	山口県下関市南部町 1-1 skbousai@city.shimonoseki.lg.jp
53	高松市	総務局 危機管理課	087-839-2184	087-839-2258 （守衛室）	087-839-2210	087-839-2210	香川県高松市番町一丁目 8 番 15 号 bousai@city.takamatsu.lg.jp
54	松山市	防災危機管理部 危機管理課	089-948-6793 （直通）	089-948-6685 （宿直）	089-934-1813	089-934-1813	愛媛県松山市二番町 4 丁目 7-2 kikikanri@city.matsuyama.lg.jp
55	高知市	防災対策部 防災政策課	088-823-9055	088-822-8111 （宿直→担当者）	088-823-9085	088-823-9877 （宿直→担当者）	高知県高知市丸ノ内1丁目 7 番 45 号 kc-080200@city.kochi.lg.jp
56	久留米市	総務部 防災対策課	0942-30-9074	0942-30-9000	0942-30-9712	0942-30-9712	福岡県久留米市城南町 15-3 bousai@city.kurume.lg.jp

	都市名	担当部署名	電話番号		FAX番号		所在地 電子メールアドレス
			昼間	夜間・休日	昼間	夜間・休日	
57	長崎市	防災危機管理室	095-822-0480	095-822-0461 （消防局指令課）	095-820-0108	095-820-8872 （消防局指令課）	長崎県長崎市魚の町 4 番 1 号 bousai@city.nagasaki.lg.jp
58	佐世保市	防災危機管理局	0956-23-9258	0956-24-1114 （市役所当直）	0956-25-0086	0956-25-0086	長崎県佐世保市八幡町 1 番 10 号 bousai@city.sasebo.lg.jp
59	大分市	総務部 防災危機管理課	代表 097-534-6111 直通 097-537-5664	代表 097-534-6119 直通 097-537-5664	097-533-0252	097-533-0252	大分県大分市荷揚町 2 番 31 号 bosaikikikanri@city.oita.oita.jp
60	宮崎市	危機管理部 危機管理課	0985-21-1730	080-8394-1610	0985-25-2145	0985-25-2145	宮崎県宮崎市橘通西 1 丁目 1 番 1 号 30200@city.miyazaki.lg.jp
61	鹿児島市	危機管理課	099-216-1213 （直通）	099-224-1111 （直通）	099-226-0748	099-226-0748	鹿児島県鹿児島市山下町 11 番 1 号 kikikanri@city.kagoshima.lg.jp
62	那覇市	総務部 防災危機管理課	098-861-1102	080-9811-9143	098-862-0614	098-862-0614	沖縄県那覇市泉崎 1 丁目 1 番 1 号 BOUSAI@city.naha.lg.jp

5-1-2

防災関連（都市間、企業等）協定等一覧表

（令和7年3月現在）

種類	協定等の名称	締結先	締結年月日	担当課
（市町村間）相互応援協定	奈良市及び和歌山市災害時相互応援に関する協定	奈良市	H8.12.16	総合防災課
	徳島市及び和歌山市災害時相互応援に関する協定	徳島市	H9.8.1	総合防災課
	中核市災害相互応援協定	中核市(和歌山市含め62市)	H9.12.22	総合防災課
	神戸市及び和歌山市災害時相互応援に関する協定	神戸市	H20.4.1	総合防災課
	瀬戸内･海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定	海ネット共助会員	H29.7.21	河川港湾課
	東京都北区と和歌山県和歌山市との災害時における相互応援に関する協定書	東京都北区	R6.11.5	総合防災課
（消防局）相互応援協定	和歌山県防災ヘリコプター応援協定	和歌山県、和歌山県下30市町村及び4消防組合(本部数17消防本部)	H8.2.22	警防課
	和歌山県下消防広域相互応援協定	和歌山県下30市町村及び4消防組合(本部数17消防本部)	H8.3.1	警防課
	建設機械器具に関する消防業務協定	一般財団法人日本建設機械レンタル協会和歌山支部	H10.1.22	警防課
	和歌山北部臨海都市広域消防協定	和歌山市、海南市、有田市、御坊市	H17.4.1	警防課
	消防活動資機材及び支援物資等相互応援協定	和歌山市、堺市、姫路市、徳島市	H20.10.1	警防課
	阪和自動車道、湯浅御坊道路、関西空港自動車道及び京奈和自動車道消防相互応援協定書	堺市、和泉市、岸和田市、貝塚市、泉州南消防組合、那賀消防組合、和歌山市、海南市、有田川町、御坊市、日高広域事務組合、湯浅広川消防組合、田辺市	H29.3.18	警防課
	第二阪和国道和歌山岬道路消防相互応援協定書	泉州南消防組合、和歌山市	H29.4.1	警防課
	和歌山海上保安部と和歌山市との消防業務協定	和歌山海上保安部、和歌山市	H30.3.16	警防課
	和歌山北部臨海地域事業場消防相互応援協定	日本製鉄株式会社関西製鉄所(和歌山)、日本製鉄株式会社関西製鉄所(海南)、花王株式会社和歌山工場、ENEOS和歌山石油精製株式会社海南工場、コスモ石油ルブリカンツ株式会社下津工場、ENEOS株式会社和歌山製造所、関西電力株式会社御坊発電所	R6.2.26	警防課
	阪和林野火災消防相互応援協定書	[大阪府]河内長野市、和泉市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、岬町、泉州南消防組合、大阪南消防組合 [和歌山県] 和歌山市、橋本市、岩出市、紀の川市、かつらぎ町、那賀消防組合、伊都消防組合	R6.4.1	警防課
	和歌山広域消防指令共同運用に係る消防相互応援協定	和歌山市、那賀消防組合、海南市、紀美野町、有田市	R6.11.11	指令課
広報・情報関係	災害時における和歌山市と和歌山市内郵便局との相互協力に関する覚書	郵便事業株式会社和歌山支店	H12.1.14	総合防災課
	和歌山県総合防災情報システム整備の設置に関する協定書	和歌山県	H19.2.26	総合防災課
	和歌山県総合防災情報システム整備に関する協定書	和歌山県	H19.5.31	総合防災課
	災害時における放送要請に関する協定書	株式会社和歌山放送	H24.6.28	総合防災課
	災害時における放送要請に関する協定書	特定非営利活動法人エフエム和歌山	H24.6.28	総合防災課

種類	協定等の名称	締結先	締結年月日	担当課
広報・情報関係	災害の発生時における航空写真撮影等に関する協定書	株式会社パスコ和歌山支店	H25.12.11	総合防災課
	特設公衆電話の設置・利用に関する覚書	西日本電信電話株式会社	H26.4.1	総合防災課
	災害時における地図製品等の供給等に関する協定	株式会社ゼンリン	H26.11.4	総合防災課
	緊急放送に関する協定書	株式会社ジェイコムウエスト株式会社、ジュピターテレコム	H29.2.1	総合防災課
	無人航空機による災害応急活動に関する協定書	株式会社未来図	H29.4.17	総合防災課
	和歌山市と損保ジャパン日本興亜株式会社・第一生命保険株式会社との地方創生に係る連携協定書	損保ジャパン日本興亜株式会社、第一生命保険株式会社	H30.6.29	企画政策課
	和歌山市と東京海上日動火災保険株式会社との地方創生の実現に資する包括連携に関する協定書	東京海上日動火災保険株式会社	H30.6.29	企画政策課
	防災行政無線の再送信に係る覚書	株式会社ジェイコムウエスト	R2.4.21	総合防災課
	損害調査結果の提供及び利用に関する協定書	三井住友海上火災保険株式会社	R4.6.6	総合防災課
	災害に係る情報発信等に関する協定書	ヤフー株式会社	R4.6.10	広報広聴課
	和歌山市とあいおいニッセイ同和損害保険株式会社との地方創生の実現に資する包括連携に関する協定書／広域水災発生時の共同取組に関する覚書	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社和歌山支店	R4.8.29	企画政策課／総合防災課
	災害時等におけるドローンを活用した支援活動に関する協定書	鴻池運輸株式会社和歌山支店	R6.7.2	総合防災課
	和歌山市と株式会社トリドールホールディングスの地域活性化包括連携協定	株式会社トリドールホールディングス	R6.10.31	企画政策課
医療関係	災害時の医療救護に関する協定書	一般社団法人和歌山市医師会	H24.12.1	総務企画課
	災害時の医療救護に関する協定書	一般社団法人和歌山市薬剤師会	H24.12.1	総務企画課
	災害用医薬品の備蓄に関する協定書	救護拠点医療機関	H25.3.1	総務企画課
	和歌山市における救護拠点医療機関制度に関する協定書	救護拠点医療機関	H25.6.3	総務企画課
	常設型和歌山市救急ワークステーション運用に関する協定書	日本赤十字社和歌山医療センター	H29.1.11	警防課
食料品・生活物資等の供給	災害の発生時における生活物資の供給に関する協力協定	株式会社オークワ	H10.1.1	地域安全課
	災害時における救援物資提供に関する協定	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	H17.11.30	地域安全課
	災害時における生鮮食料品等の供給協力等相互応援に関する協定	京都市、大阪府、大阪市、神戸市、姫路市、奈良県、和歌山市中央卸売市場及び尼崎市公設地方卸売市場	H19.7.5	中央卸売市場
	災害の発生時における物資供給に関する協定	NPO法人コメリ災害対策センター	H19.9.1	地域安全課
	災害の発生時における物資供給に関する協定	コーナン商事株式会社	H19.9.1	地域安全課
	災害の発生時における物資供給に関する協定	社団法人日本福祉用具供給協会	H24.8.1	高齢者・地域福祉課
	全国中央卸売市場協会災害時相互応援に関する協定	中央卸売市場(和歌山市を含め39都市)	H24.9.1	中央卸売市場
	災害の発生時における物資の供給等に関する協定書	レントオール和歌山	H25.12.10	総合防災課
	災害の発生時における飲料の供給に関する協定書	株式会社　伊藤園	H25.12.11	地域安全課
	災害時における生活物資等の供給に関する協定書	株式会社ココカラファインヘルスケア	H26.2.3	地域安全課
	災害時における支援協力に関する協定書	イオンリテール㈱近畿カンパニー	H26.3.16	地域安全課
	災害時における畳の提供等に関する協定書	5日で5000枚の約束。プロジェクト実行委員会	H26.7.16	地域安全課
	災害の発生時における食料等供給及び被害状況調査等に関する協定	わかやま農業協同組合	H26.10.30	総合防災課

種類	協定等の名称	締結先	締結年月日	担当課
食料品・生活物資等の供給	災害の発生時における物資供給に関する協定書	レンゴー㈱	H26.12.4	地域安全課
	災害発生時における飲料等の供給に関する協定書	大塚製薬株式会社　大阪支店	H28.1.21	地域安全課
	災害時における飲料水の無償提供に関する協定書	株式会社サニコン	R2.7.22	生涯学習課
	簡易間仕切りシステム等の供給に関する協定書	大和リース株式会社	R2.7.27	地域安全課
	災害時における物資供給に関する協定	株式会社ナフコ	R3.6.16	地域安全課
	大規模災害時における防災資機材等の提供に関する協定書	株式会社ジーアイビー	R3.7.27	地域安全課
	災害時における物資供給に関する協定書	株式会社ほっかほっか亭総本部	R4.6.3	地域安全課
	災害の発生時における物資供給に関する協定書	オカジ紙業株式会社	R4.9.29	地域安全課
	災害の発生時における物資供給に関する協定書	株式会社ジュンテンドー	R4.11.18	地域安全課
	災害時における炊き出し等の協力に関する協定書	株式会社信濃路	R6.1.19	総合防災課
	災害時における物資供給に関する協定	株式会社東海大阪レンタル	R6.2.6	総合防災課／技術管理課
	災害時における物資供給に関する協定書	大東建託株式会社和歌山支店	R6.5.29	地域安全課
	災害時における生活物資の供給協力に関する協定書	株式会社カインズ	R6.11.26	総合防災課
	災害時におけるキッチンカーによる炊き出し等に関する協定書	株式会社ＴＡＢＬＯＣＡＬ	R7.1.21	総合防災課
エネルギー関係	大規模災害発生時における支援等に関する協定書	和歌山県石油商業組合	H23.8.16	総合防災課
	災害の発生時におけるLPガス等の供給に関する協定書	和歌山県LPガス協会和歌山市支部	H25.12.20	総合防災課
	災害時における災害復旧用オープンスペースに関する協定書	関西電力送配電株式会社和歌山本部	H28.8.25	農林水産課
	災害時における電動車両等の支援に関する協定書	和歌山トヨタ自動車株式会社、和歌山トヨペット株式会社、トヨタカローラ和歌山株式会社、ネッツトヨタ和歌山株式会社、トヨタモビリティパーツ株式会社和歌山支社	R4.8.8	総合防災課
	大規模災害時における相互連携に関する協定書	関西電力送配電株式会社和歌山本部	R4.10.28	総合防災課
	大規模災害時における相互連携に関する協定書	西日本電信電話株式会社和歌山支店	R4.10.28	総合防災課
	EV充電インフラの普及促進等に関する協定	ユアスタンド株式会社、西日本電信電話株式会社和歌山支店、ＮＴＴビジネスソリューションズ株式会社	R6.1.30	環境政策課
	災害時における電動車両等の支援に関する協定書	株式会社和歌山マツダ	R6.7.9	総合防災課
	電気自動車を活用した脱炭素化及び強靭化に関する連携協定	日産自動車株式会社、和歌山日産自動車株式会社、日産プリンス和歌山販売株式会社	R6.7.18	環境政策課
	災害時における協力・連携に関する協定	大阪ガスネットワーク株式会社	R6.11.8	総合防災課
輸送関係	災害時における生活物資等の輸送に関する協力協定	赤帽和歌山軽自動車運送協同組合	H10.11.6	総合防災課
	災害の発生時における輸送及び荷さばき業務等の協力に関する協定書	公益社団法人和歌山県トラック協会	H25.12.3	総合防災課
	災害の発生時における物資の受入れ及び管理業務等の協力に関する協定書	和歌山県倉庫協会	H25.12.24	総合防災課
	災害の発生時における輸送等の協力に関する協定書	和歌山バス株式会社	H26.3.12	総合防災課
	フォークリフト使用に関する覚書	和歌山県倉庫協会	H26.5.2	総合防災課
	災害の発生時における移送等の協力に関する協定書	ユタカ交通株式会社	H28.10.5	高齢者・地域福祉課

種類	協定等の名称	締結先	締結年月日	担当課
輸送関係	災害時等における緊急輸送等に関する協定書	一般社団法人和歌山県タクシー協会	H30.5.8	総合防災課
	災害時における支援物資の受入れ及び配送等に関する協定書	佐川急便株式会社	R4.7.22	総合防災課
（水道関係）応急復旧等	水道災害相互応援対策要綱に基づく協定書	日本水道協会和歌山県支部、和歌山県水道協会に所属する市町村	H8.2.23	企業総務課
	災害発生時における水道施設の応急復旧の応援に関する協定	和歌山市管工事業協同組合	H12.6.1	企業総務課
	水質分析にかかる相互応援に関する協定書	一般社団法人和歌山県薬剤師会	H17.6.1	上・工業用水道管理課
	連絡配水管等運用に関する協定書	岩出市	H19.1.17	維持管理課
	近畿2府4県内の工業用水道事業者の震災時等の相互応援に関する覚書	近畿2府4県内19事業体	H23.4.1	企業総務課
	災害の発生時における資材の供給に関する協定	カツラギ工機株式会社	H27.10.1	契約課
	災害の発生時における資材の供給に関する協定	株式会社フソウ大阪支社	H27.10.1	契約課
	災害の発生時における資材の供給に関する協定	株式会社明和製作所	H27.10.1	契約課
	災害の発生時における資材の供給に関する協定	ヤマトガワ株式会社南大阪支店	H27.10.1	契約課
	災害発生時におけるレンタル機材の供給に関する協定書	一般社団法人日本建設機械レンタル協会関西ブロック和歌山支部	R2.3.25	上・工業用水道管理課
	災害発生時における応急対策業務に関する協定書	和歌山県電気工事工業組合和歌山支部	R2.3.25	上・工業用水道管理課
	公益社団法人日本水道協会関西地方支部　災害時相互応援に関する協定書	日本水道協会関西地方支部及び近畿２府４県の各支部	R3.3.31	企業総務課
	災害時における飲用井戸の水質検査業務に関する協定書	一般社団法人和歌山県薬剤師会	R3.4.1	衛生研究所
	災害時における飲用井戸の水質検査業務に関する協定書	日鉄テクノロジー株式会社	R3.4.1	衛生研究所
	災害時における応急対策業務の応援に関する協定書	第一環境株式会社関西支店	R3.10.1	営業課
	災害の発生時における水の供給に関する協定書	ローレル株式会社	R5.5.1	企業総務課
（建設関係）応急復旧等	災害救援活動に関する確認事項	和歌山市虎伏災害救援隊	H11.6.15	技術管理課／総合防災課
	災害発生時における応急対策業務に関する協定	一般社団法人和歌山県自動車整備振興会和歌山支部	H20.5.20	総合防災課
	災害時における応急対策業務に関する協定書	和歌山市虎伏災害救援隊	H21.1.1	技術管理課
	災害予防業務及び大規模災害時における応急対策業務の応援活動に関する協定書	和歌山市建設業協会	H21.1.1	技術管理課
	災害時における応急対策業務に関する協定書	福興建設㈱他1社	H21.1.1	技術管理課
	災害時における応急対策業務に関する協定書	雄英工業・弘成開発	H21.1.1	技術管理課
	災害時における応急対策業務に関する協定書	㈱桂組	H21.1.1	技術管理課
	災害時における応急対策業務に関する協定書	㈱幸輝開発	H21.1.1	技術管理課
	災害時における応急対策業務に関する協定書	㈲火の国産業	H21.1.1	技術管理課
	災害時における応急対策業務に関する協定書	角谷産業㈱	H21.1.27	技術管理課
	災害時における応急対策業務に関する協定書	㈲ユートピア建設	H21.1.27	技術管理課
	災害時における応急対策業務に関する協定書	安原勇姿会	H21.1.30	技術管理課
	災害時における応急対策業務に関する協定書	㈱中山建設	H21.2.4	技術管理課
	災害時における応急対策業務に関する協定書	良誠工業㈱	H21.3.17	技術管理課
	災害時における応急対策業務に関する協定書	㈲栄起創建	H21.5.27	技術管理課
	災害時における応急対策業務に関する協定書	㈱希真産業	H22.11.17	技術管理課

種類	協定等の名称	締結先	締結年月日	担当課
（建設関係）応急復旧等	災害時における応急対策業務に関する協定書	ガーデンライフ	H23.1.27	技術管理課
	災害時における応急対策業務に関する協定書	中村設備工業㈱	H23.3.31	技術管理課
	災害時における住家の被害認定に関する協定書	一般社団法人和歌山県建築士会	H27.1.30	総合防災課
	災害時における住家の被害認定に関する協定書	一般社団法人和歌山県建築士事務所協会	H27.1.30	総合防災課
	災害時における住家の被害認定に関する協定書	公益社団法人日本建築家協会	H27.1.30	総合防災課
	災害時における屋外広告物の応急対策業務等に関する協定書	和歌山県屋外広告美術協同組合	H27.7.6	総合防災課
	災害時における住家の被害認定に関する協定書	一般社団法人　和歌山県不動産鑑定士協会	H28.1.22	総合防災課
	災害時における住家の被害認定に関する協定書	一般社団法人和歌山県建築士会和歌山市支部	H28.10.5	総合防災課
	災害時における応急対策業務に関する協定書	㈲一陽建設	H28.11.15	技術管理課
	災害時における応急対策業務に関する協定書	新和興業(有)	H30.2.20	技術管理課
	災害時における応急対策業務に関する協定書	(有)楠見建材	R1.12.4	技術管理課
	災害時における応急対策業務に関する協定書	庄司建設(株)	R4.6.30	技術管理課
	災害時における被害状況調査等業務に関する協定書	一般社団法人和歌山県測量設計業協会	R6.3.1	技術管理課
	災害時における応急対策業務に関する協定書	有限会社友渕建設工業	R6.6.11	技術管理課
	災害時における応急対策業務に関する協定書	岡野エンジニアリング株式会社	R6.8.2	技術管理課
	災害時における応急対策業務に関する協定書	益田工業有限会社	R6.10.21	技術管理課
	災害時における応急対策業務に関する協定書	株式会社紀の川建設	R6.10.25	技術管理課
廃棄物処理等	災害時廃棄物の処理等に関する協定書	和歌山資源協同組合	H29.7.28	廃棄物対策課
	災害時廃棄物の処理等に関する協定書	和歌山市製紙原料協同組合	H29.7.28	廃棄物対策課
	災害時廃棄物の処理等に関する協定書	和歌山市清掃連合会及び一般社団法人和歌山県清掃連合会	H29.7.28	廃棄物対策課／浄化衛生課
	災害時廃棄物の処理等に関する協定書	一般社団法人和歌山県一般廃棄物協会	H29.7.28	廃棄物対策課／浄化衛生課
	災害時廃棄物の処理等に関する協定書	一般社団法人和歌山県産業資源循環協会	H29.7.28	廃棄物対策課
	災害時における機材のレンタル提供の協力に関する協定書	一般社団法人日本建設機械レンタル協会関西支部和歌山協議会	H29.7.28	廃棄物対策課
	一般廃棄物（ごみ）処理に係る相互支援基本協定書	海南市、紀の川市、岩出市、紀美野町、紀の海広域施設組合	R2.3.31	廃棄物対策課
法律相談業務等	災害発生時における法律相談業務等に関する協定	和歌山弁護士会	H31.2.13	市民自治振興課
	災害発生時における被災者等相談業務の実施に関する協定書	和歌山県司法書士会	R7.2.13	市民自治振興課
ボランティア関係	和歌山市災害ボランティアセンター設置及び運営に関する協定書	社会福祉法人　和歌山市社会福祉協議会	R4.10.24	市民自治振興課
災害救助犬関係	災害時等における災害救助犬の出動に関する協定書	特定非営利活動法人災害救助犬ネットワーク	R6.8.21	総合防災課／警防課
	災害時における災害救助犬及びセラピードッグの出動に関する協定書	特定非営利活動法人日本レスキュー協会	R7.2.3	総合防災課
民間施設利用	大規模災害発生時における支援等に関する協定書	和歌山県石油商業組合	H23.8.16	総合防災課
	災害の発生時における施設の提供に関する協定書	和歌山ホテル協議会	H25.12.12	総合防災課
	災害時における避難所としての使用に関する協定書	MANPA	H26.2.3	総合防災課
	災害の発生時における施設の提供に関する協定書	和歌山県旅館ホテル生活衛生同業組合	H26.2.21	総合防災課

種類	協定等の名称	締結先	締結年月日	担当課
民間施設利用	災害時における被災者に対する防災活動協力に関する協定書	イオンモール株式会社イオンモール和歌山	H26.3.16	地域安全課
	災害時における避難所としての使用に関する協定書	双子島荘	H26.6.20	総合防災課
	災害時における避難所としての使用に関する協定書	スマイルホテル和歌山(大和住宅㈱)	H26.8.21	総合防災課
	災害の発生時における船舶の利用等に関する協定書	南海フェリー株式会社	H28.9.15	総合防災課
	災害時における施設等利用の協力に関する協定書	相互タクシー株式会社	R1.10.29	地域安全課
	一時滞在施設への帰宅困難者の受入に関する協定書	四丁目再開発株式会社、医療法人博文会	R2.3.31	総合防災課
	災害時における施設等利用の協力に関する協定書	株式会社ヤマシン	R2.11.25	地域安全課
	災害時における施設等利用の協力に関する協定書	ル・シャトー真砂管理組合法人	R3.6.11	地域安全課
	災害時における施設等利用の協力に関する協定書	社会福祉法人和歌山社会事業協会（旭学園）	R3.7.2	地域安全課
	災害対策強化に関する協定書	リコージャパン株式会社	R4.7.14	総合防災課
	災害時における避難所としての使用に関する協定	アズマハウス株式会社	R5.4.24	総合防災課
	災害時における施設等利用の協力に関する協定	株式会社玖保忠	R6.8.14	総合防災課
（市有施設以外の公的施設）避難所等施設利用	災害時における避難所等施設利用に関する協定書	和歌山東高等学校	H24.9.5	総合防災課
	災害時における避難所等施設利用に関する協定書	星林高等学校	H24.9.5	総合防災課
	災害時における避難所等施設利用に関する協定書	和歌山工業高等学校	H24.9.5	総合防災課
	災害時における避難所等施設利用に関する協定書	和歌山北高等学校／和歌山北高等学校西校舎	H24.9.5	総合防災課
	災害時における避難所等施設利用に関する協定書	和歌山県立体育館	H24.9.10	総合防災課
	災害時における避難所等施設利用に関する協定書	和歌山県立向陽中学校・高等学校	H24.9.11	総合防災課
	災害時における避難所等施設利用に関する協定書	和歌山商業高等学校	H24.9.11	総合防災課
	災害時における避難所等施設利用に関する協定書	きのくに志学館(和歌山県立図書館)	H24.9.11	総合防災課
	災害時における避難所等施設利用に関する協定書	県立和歌山高等学校	H24.9.26	総合防災課
	災害時における避難所等施設利用に関する協定書	和歌山県立医科大学保健看護学部	H24.9.26	総合防災課
	災害時における避難所等施設利用に関する協定書	桐蔭中学校・高等学校	H24.12.25	総合防災課
	災害時における避難所等施設利用に関する協定書	きのくに青雲高等学校	H25.1.16	総合防災課
	災害時における秋葉山公園県民水泳場の避難所等施設利用に関する協定書	秋葉山公園県民水泳場	H28.4.1	総合防災課
	災害時の指定避難所に関する協定書	東京医療保健大学(学校法人青葉学園)	H30.3.30	総合防災課
	災害時における紀三井寺公園陸上競技場の避難所等利用に関する協定書	紀三井寺公園陸上競技場	H30.4.20	総合防災課
	災害時の指定避難所に関する協定書	和歌山信愛大学	H31.3.7	総合防災課
	災害時における施設等利用の協力に関する協定書	和歌山刑務所	R3.6.15	地域安全課
	災害時における施設等利用に関する協定	公立大学法人和歌山県立医科大学	R5.4.18	総合防災課
	災害時における一時滞在施設としての使用に関する協定書	宝塚医療大学	R5.11.24	総合防災課
	災害時における一時滞在施設としての使用に関する協定書	和歌山リハビリテーション専門職大学	R5.11.24	総合防災課
福祉避難所	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	特別養護老人ホーム　グランリーフ	H23.10.21	高齢者・地域福祉課

種類	協定等の名称	締結先	締結年月日	担当課
福祉避難所	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	特別養護老人ホーム　アンシアナトー、カーサ・デ・ソコロ・アンシアナトー、グループ・ホームぶすぶす、支援ハウス　カリエンテ	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	特別養護老人ホーム　紀伊松風苑、救護施設　かつらぎ園	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	特別養護老人ホーム　紀伊てまり苑	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	特別養護老人ホーム　紀三井寺苑	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	特別養護老人ホーム　喜成会、養護老人ホーム　喜和の郷、高齢者総合ケアセンター　みらい	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	特別養護老人ホーム　ほうらい苑	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	地域密着型介護老人福祉施設　三寿苑	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	特別養護老人ホームすこやか	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	特別養護老人ホーム　君里苑、特別養護老人ホーム　ソンリッサきみさと、アトリオつつじⅠⅡⅢデイサービスセンター	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	特別養護老人ホーム　西庄園、地域密着型介護老人福祉施設　みのり西庄園	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	特別養護老人ホーム　親和園、特別養護老人ホーム　第二親和園、ケアハウス　第三親和園、地域密着型介護老人福祉施設　第五親和園	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	地域密着型介護老人福祉施設　わかやま苑	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	特別養護老人ホーム　あんず苑	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	特別養護老人ホーム　山口葵園、山口葵園　デイ・サービスセンター	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	特別養護老人ホーム　わかうら園	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	愛徳医療福祉センター	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	麦の芽ホーム	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	琴の浦リハビリテーションセンター	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	綜成苑、綜愛園	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	小倉園	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	みずほ園	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	多機能型事業所めばえ、地域活動支援センター　櫻	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	有功ヶ丘学園	H23.10.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	セラヴィ神前	H24.5.10	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	介護付き住宅　みのり紀伊	H24.5.10	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	竹の里園　デイサービスセンター、第Ⅱ竹の里園　デイサービスセンター、第Ⅲ竹の里園	H26.11.4	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	特別養護老人ホーム　大日山荘、大日倶楽部オラ	H26.11.4	高齢者・地域福祉課

種類	協定等の名称	締結先	締結年月日	担当課
福祉避難所	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	春風会きし	H27.3.5	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	ケアハウス　山口葵園	R1.8.2	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	ケアハウス　黎明の里	R2.7.22	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	介護老人保健施設　紀伊の里	R3.6.28	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	ウイズ　カノン	R3.7.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	特別養護老人ホーム　みどりが丘ホーム、第２みどりが丘ホームⅠ・Ⅱ	R4.9.15	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	幹はうす	R4.10.3	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	特別養護老人ホーム　わかば	R5.6.8	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	介護老人保健施設　ラ・エスペランサ	R5.11.14	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	有料老人ホーム　さくら、さくらⅡ	R6.9.1	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	和歌山生協病院サテライトありもと	R7.2.3	高齢者・地域福祉課
こどものための福祉避難所	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	児童発達支援センターこじか園、児童発達支援センター第二こじか園	R3.7.21	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	児童発達支援センター　通園あるば	R5.12.8	高齢者・地域福祉課
	災害時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	児童発達支援センター　カナの家	R6.9.1	高齢者・地域福祉課
（市有施設以外）津波避難ビル	津波避難への協力について	オークワ大浦街道店	H18.3.8	地域安全課
	津波避難への協力について	ライオンズマンション和歌山塩屋	H18.3.8	地域安全課
	津波避難への協力について	和歌川苑	H18.3.8	地域安全課
	津波避難への協力について	インペリアル和歌浦	H18.3.8	地域安全課
	津波避難への協力について	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター	H18.3.8	地域安全課
	津波避難への協力について	琴の浦リハビリテーションセンター	H18.3.8	地域安全課
	津波避難への協力について	紀三井寺苑	H18.3.8	地域安全課
	津波避難への協力について	ファシナシオン毛見、ファシナシオン毛見Ⅱ	H18.3.8	地域安全課
	津波避難への協力について	和歌山マリーナシティホテル	H18.3.8	地域安全課
	津波避難への協力について	グリーンフル小雑賀	H23.8.1	地域安全課
	津波避難への協力について	Nビル　パレスNAKASHIMA	H23.8.7	地域安全課
	津波避難への協力について	紀三井寺ガーデンホテルはやし	H23.8.12	地域安全課
	津波避難への協力について	マスターズエル延時	H23.8.15	地域安全課
	津波避難への協力について	インペリアル高松	H23.8.22	地域安全課
	津波避難への協力について	湊パーソナルヴィラ	H23.9.29	地域安全課
	津波避難への協力について	ローパス三葛	H23.10.5	地域安全課
	津波発生時における一時避難場所としての使用に関する協定書	近畿財務局和歌山合同庁舎1～3号棟	H23.11.22	地域安全課
	津波発生時における一時避難場所としての使用に関する協定書	和歌山県民交流プラザ和歌山ビッグ愛	H24.11.8	地域安全課
	津波発生時における一時避難施設としての使用に関する協定書	セラヴィ神前	H26.3.31	地域安全課
	津波発生時における一時避難施設としての使用に関する協定書	クローバーメゾン狐島	H26.4.17	地域安全課

種類	協定等の名称	締結先	締結年月日	担当課
(市有施設以外)津波避難ビル	津波発生時における一時避難施設としての使用に関する協定書	スーパーセンターオークワセントラルシティ和歌山店	H27.5.20	地域安全課
	津波発生時における一時避難施設としての使用に関する協定書	123+N和歌山本店	H27.9.16	地域安全課
(市有施設以外)津波・洪水避難ビル	指定緊急避難場所としての使用に関する協定書	和歌山下津港湾事務所	H31.3.28	地域安全課
	指定緊急避難場所としての使用に関する協定書	アイビースクエア	R3.2.1	地域安全課
	指定緊急避難場所としての使用に関する協定書	リベラルパレス福島	R3.2.1	地域安全課
	指定緊急避難場所としての使用に関する協定書	メゾンたんぽぽ	R3.5.19	地域安全課
	指定緊急避難場所としての使用に関する協定書	ビレッジハウス紀三井寺	R3.9.22	地域安全課
	指定緊急避難場所としての使用に関する協定書	川永団地1～2号棟、ニューかわなが団地1～5号棟、西浜団地、千旦団地10号棟、和歌山東団地、雄湊団地、宮前駅前団地、紀伊団地、今福第一団地、今福第二団地1～5号棟、東松江団地、三葛団地2号棟	R4.3.28	地域安全課
	指定緊急避難場所としての使用に関する協定書	グリーンフル中島	R6.3.5	地域安全課
	指定緊急避難場所としての使用に関する協定書	紀州技研工業株式会社	R6.4.12	地域安全課
(市有施設以外)洪水避難ビル	指定緊急避難場所としての使用に関する協定書	アズマハウス　株式会社（和歌山アーバンホテル、ワカヤマ第二冨士ホテル）	R5.3.13	地域安全課
(市有施設以外)津波避難場所	津波避難への協力について	磯の浦東部避難場所	H18.3.8	地域安全課
	津波避難への協力について	わかうら園	H18.3.8	地域安全課
	津波避難への協力について	本久寺	H18.3.8	地域安全課
	津波避難への協力について	紀三井寺護国院	H18.3.8	地域安全課
	津波避難発生時における創価学会南和歌山文化会館施設の一時避難所使用に関する申し合わせ事項確認書	創価学会南和歌山文化会館	H18.3.17	地域安全課
	津波避難への協力について	メトロヒルズ	H19.4.17	地域安全課
	津波避難への協力について	漁火の宿　シーサイド観潮(駐車場)	H23.6.9	地域安全課
	津波避難への協力について	和歌公園4か所(権現山、津屋公園・城跡山地区、篦供山地区、鏡山地区)	H23.8.4	地域安全課
	津波避難への協力について	和歌の浦温泉　萬波(駐車場)	H23.8.12	地域安全課
	津波発生時における一時避難場所としての使用に関する協定書	名草山霊園	H24.2.21	地域安全課
	津波発生時における一時避難場所としての使用に関する協定書	木本聖地霊園	H24.5.18	地域安全課
	津波発生時における一時避難場所としての使用に関する協定書	智辯学園和歌山小・中・高等学校	H24.6.11	地域安全課
	津波発生時における一時避難場所としての使用に関する協定書	和歌山カントリー倶楽部	H24.8.20	地域安全課
	国立大学法人和歌山大学と和歌山市との津波発生時における一時避難場所としての使用に関する協定書	和歌山大学附属小・中学校	H25.2.21	総合防災課
	津波発生時における一時避難場所としての使用に関する協定書	和歌山県民文化会館	H25.8.19	地域安全課
	指定緊急避難場所としての使用に関する協定書	株式会社丸和(避難場所名：三田山)	R2.10.20	地域安全課

5-2　災害時の避難及び避難所開設

5-2-1

災害時避難所・避難場所・津波避難目標地点一覧表

○避 難 所103か所（小学校50　中学校17　義務教育学校1　高等学校11　その他24）
○避難場所272か所※（避難場所184（避難所との重複施設102）、広域避難場所3、津波避難場所23、津波避難ビル35、津波・洪水避難ビル25、洪水避難ビル2）
※うち、災害種別　洪水130か所（レベル1：6、レベル2：8、レベル3：116）
土砂103か所（レベル1：7、レベル2：7、レベル3：89）
地震185か所
津波254か所（レベル1：49、レベル2：55、レベル3：150）
○津波避難目標地点24か所（レベル3：24）

令和7年3月現在

地区	名称	所在地	屋内収容人員※1	屋外避難人員※1	標高(m)※2	階層	緊急避難場所								炊出し施設	電話 FAX
							災害種別				レベル※3			津波時の指定場所		
							洪水	土砂	地震	津波	洪水	土砂	津波			
本町	和歌山信愛大学(屋内運動場・グラウンド)	住吉町1	170	700	2.9	2F	○	○	○	○	1	3	2			488-6228 F488-6260
	本町公園	北桶屋町7	—	13,000	2.9				○	○			2			
城北	伏虎義務教育学校	鷺ノ森南ノ丁1	4,621	3,556	4.3	5F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	435-5115 435-5116 F423-5855
	汀公園	西汀丁27	—	1,661	6.4				○	○			3			
	和歌山城ホール	七番丁25-1	1,797	566	5.0	5F	○	○	○	○	3	3	3			432-1212 F432-0227
	和歌山市民図書館（屋上）	屏風丁17	津波避難ビル		3.7					○			1	屋上		
	和歌山城公園（一番丁3）は次表「広域避難場所」において記載															
広瀬	広瀬小学校	広瀬中ノ丁1丁目5	1,373	1,792	3.1	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	436-0671 F436-1808
	岡東公園	広瀬中ノ丁1丁目16	—	3,553	3.0				○	○			3			
	岡公園	岡山丁3	—	3,355	4.5				○	○			3			
	南片原公園	雄松町1丁目12	—	771	2.3				○	○			1			
雄湊	雄湊グラウンド	東坂ノ上丁3	—	1,483	13.8				○	○			3			
	東京医療保健大学(屋内運動場・別館)	東坂ノ上丁3	189	—	13.8	2F※別館は3F	○	○	○	○	3	3	3			435-5819 F427-3093
	あいあいセンター	小人町29	1,757	—	5.8	7F	○	○	○	○	3	3	3		有	431-5246 F431-5248
	雄湊公園	有田屋町5	—	4,711	12.3				○	○			3			
	牛町公園	南牛町48	—	1,422	4.5				○				×	浸水予想区域内のため使用不可		

地区	名称	所在地	屋内収容人員※1	屋外避難人員※1	標高(m)※2	階層	緊急避難場所								炊出し施設	電話 FAX
							災害種別				レベル※3			津波時の指定場所		
							洪水	土砂	地震	津波	洪水	土砂	津波			
雄湊	河岸公園	久保丁4丁目70	—	869	8.4				○	○			3			
	湊北公園	伝法橋南ノ丁18	—	523	3.9				○	○			2			
	土佐町公園	土佐町1丁目43	—	283	2.1				○				×	浸水予想区域内のため使用不可		
	県営雄湊団地	男野芝丁3	津波・洪水避難ビル		10.4	9F	○			○	3		3	1階以上の共用部分		
	ワカヤマ第2冨士ホテル	湊紺屋町1丁目20	洪水避難ビル		3.2	8F	○				2			※洪水時は3階から7階の共用部分		
	和歌山県民文化会館	小松原通り1丁目1	津波避難場所		7.2					○			3	大ホール入口前広場		
大新	大新小学校	新大工町23	1,247	1,224	2.9	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	433-1471 F433-1472
	大新公園	坊主丁12	—	5,443	3.8				○	○			3			
新南	新南小学校	木広町4丁目23	1,434	1,352	2.2	3F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	425-0212 F425-0213
	城東中学校	美園町2丁目63	2,011	2,667	3.5	4F	○	○	○	○	3	3	3		有	424-4408 F424-4409
	ふれ愛センター	木広町5丁目1-9	287	—	2.3	4F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	433-8866 F433-8868
	新南公園	木広町3丁目11	—	3,688	2.3				○	○			1			
	美園公園	美園町2丁目95	—	1,761	3.2				○	○			3			
吹上	吹上小学校	吹上4丁目1-15	1,568	1,455	7.6	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	424-8181 F424-8182
	桐蔭中学校・高等学校	吹上5丁目6-18	3,556	5,840	8.1	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	436-1366 F423-8033
	きのくに青雲高等学校	吹上5丁目6-8	1,854	—	8.1	4F	○	○	○	○	3	3	3		有	422-5660 F422-4045
	吹上公園	堀止東2丁目10	—	328	6.6				○	○			3			
	堀止公園	堀止東1丁目4-23	—	382	7.9				○	○			3			
	和歌山大学附属小・中学校	吹上1丁目4-1	津波避難場所		14.4					○			3	体育館,グラウンド		
砂山	砂山小学校	砂山南2丁目1-52	1,319	1,687	4.0	3F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	425-0131 F425-0132
	西和中学校	砂山南3丁目3-9	2,509	5,566	4.8	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	436-7111 F436-7112
	県立和歌山商業高等学校	砂山南3丁目3-94	3,049	11,896	4.3	3F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	424-2446 F425-3795
	砂山公園	出口中ノ丁7	—	2,262	2.6				○	○			1			
	長町公園	東長町9丁目8	—	1,893	5.6				○	○			3			
	港公園	築港4丁目14	—	553	2.5				○				×	浸水予想区域内のため使用不可		

地区	名称	所在地	屋内収容人員※1	屋外避難人員※1	標高(m)※2	階層	緊急避難場所								炊出し施設	電話 FAX
							災害種別				レベル※3			津波時の指定場所		
							洪水	土砂	地震	津波	洪水	土砂	津波			
砂山	湊御殿公園	湊御殿3丁目7	—	1,608	1.1				○				×	浸水予想区域内のため使用不可		
	端ノ丁公園	土佐町3丁目6	—	328	2.3				○				×	浸水予想区域内のため使用不可		
	オークワ　大浦街道店	湊西ノ坪45-1	津波避難ビル		1.4	3F				○			1	屋上駐車場		
	市営薬種畑団地	湊1414-8	津波避難ビル		2.8	7F				○			1	2階以上の共用部分		
	青岸エネルギーセンター	湊1342-3	津波避難ビル		3.4	6F				○			2	センター内		
	青岸クリーンセンター	湊1342-39	津波避難ビル		3.4	9F				○			1	センター内		
	市営湊御殿第２団地	湊御殿3丁目8-2	津波避難ビル		1.1	7F				○			1	2階以上の共用部分		
	市営東長町団地	東長町7丁目35	津波避難ビル		5.1	5F				○			3	5階以上の共用部分		
	湊パーソナルヴィラ	湊18	津波避難ビル		1.4	4F				○			1	4階以上の共用部分		
	近畿財務局和歌山合同宿舎１号棟	砂山南3丁目1-65	津波避難ビル		2.4	5F				○			1	5階以上の共用部分		
	近畿財務局和歌山合同宿舎２号棟	砂山南3丁目2-8	津波避難ビル		2.3	5F				○			1	5階以上の共用部分		
	近畿財務局和歌山合同宿舎３号棟	砂山南3丁目2-12	津波避難ビル		2.0	7F				○			1	5階以上の共用部分		
	和歌山下津港湾事務所庁舎	築港6丁目22	津波・洪水避難ビル		2.1	3F	○			○	3		1	屋上		
今福	今福小学校	今福3丁目7-46	1,157	2,197	5.8	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	424-6101 F424-6102
	今福公園	今福2丁目211-3	—	529	7.2				○	○			3			
	県営今福第一団地	今福2丁目3-45	津波・洪水避難ビル		5.8	4F	○			○	3		3	1階以上の共用部分		
	県営今福第二団地（１～５号棟）	今福3丁目6-22	津波・洪水避難ビル		5.4	4-8F	○			○	3		3	1階以上の共用部分		
高松	高松小学校	東高松2丁目4-45	1,841	1,299	4.2		○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	425-0351 F425-0352
	きのくに志学館	西高松1丁目7-38	588	438	6.1	3F	○	○	○	○	3	3	3			436-9500 F436-9501
	宇須児童遊園	宇須3丁目136-10	—	358	2.0				○	○			2			
	新堀児童遊園	新堀東2丁目310-96	—	234	4.8				○	○			2			
	インペリアル高松	東高松3丁目1-28	津波避難ビル		5.8	5F				○			3	5階以上の共用部分		
	打越山遊歩道	打越町1	津波避難目標地点		45.0								3			
宮	宮小学校	秋月475	1,988	2,037	4.0	4F	○	○	○	○	3	3	3		有	473-6131 F473-6132
	太田小学校	太田636	1,238	2,603	4.7	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	471-3834 F473-4346

地区	名称	所在地	屋内収容人員※1	屋外避難人員※1	標高(m)※2	階層	緊急避難場所								炊出し施設	電話 FAX
							災害種別				レベル※3			津波時の指定場所		
							洪水	土砂	地震	津波	洪水	土砂	津波			
宮	日進中学校	秋月365-3	3,288	3,569	3.9	4F	○	○	○	○	3	3	3		有	471-5391 F471-5392
	向陽中学校・高等学校	太田127	3,399	7,536	4.7	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	471-0621 F471-6163
	和歌山東公園（体育館含む）	北出島133	693	15,593	4.0	2F	○	○	○	○	2	3	3			474-3331 F475-2874
	太田第１公園	太田3丁目2	—	505	4.8				○	○			3			
	太田第２公園	太田2丁目12	—	506	4.7				○	○			3			
	鳴神公園	鳴神951	—	1,247	5.2				○	○			3			
	太田第４公園	太田1丁目8	—	668	4.2				○	○			3			
	出水公園	秋月75-1	—	667	5.0				○	○			3			
	南太田公園	太田4丁目8	—	834	4.1				○	○			3			
	県営和歌山東団地	太田103-1	津波・洪水避難ビル		3.1	7F	○			○	3		3	2階以上の共用部分		
宮北	宮北小学校	納定21	1,306	1,226	3.8	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	471-2483 F471-2577
	城東公園	友田町3丁目29-1	—	679	3.5				○	○			3			
	黒田公園	黒田2丁目4	—	823	4.7				○	○			3			
	宮北公園	黒田359-1	—	640	3.9				○	○			3			
	和歌山アーバンホテル	黒田1丁目2-17	洪水避難ビル		3.6	11F	○				2			※洪水時は6階から11階の共用部分		
四箇郷	四箇郷小学校	有本183	1,515	1,390	4.6	4F	○	○	○	○	3	3	3		有	471-2200 F471-2025
	四箇郷北小学校	有本321	1,517	2,472	4.9	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	431-4301 F431-4302
	紀之川中学校	有本668-1	2,443	4,981	3.8	4F	○	○	○	○	3	3	3		有	433-3125 F433-3126
	松島公園	松島262-35	—	426	5.7				○	○			3			
中之島	中之島小学校	中之島1491	1,611	1,184	3.6	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	422-5145 F422-5146
	県立体育館（駐車場含む）	中之島2238	1,719	642	5.6	2F	○	○	○	○	3	3	3		有	422-4108 F422-4109
	中之島公園	中之島1495	—	3,974	3.2				○	○			3			
	向之芝公園	中之島2251	—	1,820	5.1				○	○			3			
	紀和駅前公園	中之島803-20	—	5,154	2.8				○	○			2			
芦原	芦原小学校	雄松町4丁目25	1,663	1,509	1.5	4F	○	○	○	○	3	3	1	3階以上	有	436-7277 F436-7278
	中央コミュニティセンター	三沢町1丁目2	690	—	3.2	3F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	402-2678 F424-5710
宮前	宮前小学校	北中島1丁目7-4	2,419	2,090	1.9	4F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	424-4474 F424-4475
	東和中学校	杭ノ瀬116	1,431	3,736	1.5	3F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	471-0451 F471-0087

地区	名称	所在地	屋内収容人員※1	屋外避難人員※1	標高(m)※2	階層	緊急避難場所								炊出し施設	電話 FAX
							災害種別				レベル※3			津波時の指定場所		
							洪水	土砂	地震	津波	洪水	土砂	津波			
宮前	杭ノ瀬北公園	杭ノ瀬62-1	—	420	1.9				○	○			1			
	南出島公園	南出島29-16	—	495	2.0				○	○			1			
	手平第２公園	手平2丁目223-1	—	513	1.1				○	○			1			
	杭ノ瀬公園	杭ノ瀬8-1	—	1,617	2.0				○	○			2			
	Ｎビル　パレスＮＡＫＡＳＨＩＭＡ	小雑賀3丁目6-9	津波避難ビル		1.9	8F				○			1	5階以上の共用部分		
	グリーンフル小雑賀	小雑賀583-1	津波避難ビル		1.4	5F				○			1	5階以上の共用部分		
	和歌山ビッグ愛	手平2丁目1-2	津波避難ビル		2.1	12F				○			2	5階以上の共用部分		
	１２３＋Ｎ和歌山本店	小雑賀762-1	津波避難ビル		2.5	5F				○			2	立体駐車場棟の2～5階・屋上部分		
	オークワセントラルシティ和歌山店	小雑賀805-1	津波避難ビル		3.5	1F				○			2	屋上駐車場		
	県営宮前駅前団地	北中島1-4-4	津波・洪水避難ビル		2.1	8F	○			○	3		2	2階以上の共用部分		
	グリーンフル中島	中島260-4	津浪・洪水避難ビル		1.5	3F	○			○	2		2	2階以上の共用部分		
	和歌山ビッグホエール及び和歌山ビッグ愛（手平2丁目1-1,2）は次表「広域避難場所」において記載															
湊	湊小学校	湊2丁目17-40	1,193	1,371	4.1	3F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	455-0286 F455-0287
	湊公園	湊3丁目301	—	716	4.4				○	○			1			
野崎	野崎小学校	野崎130-1	1,320	1,702	2.0	3F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	455-3234 F455-3235
	福島小学校	福島135-4	1,244	2,167	2.6	4F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	452-5112 F452-5113
	野崎西小学校	梶取301-3	1,326	1,741	1.7	3F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	451-1841 F451-1848
	河北中学校	北島370-1	2,236	5,404	2.8	4F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	455-2114 F455-2115
	島橋公園	島橋西ノ丁1	—	1,338	1.9				○				×	浸水予想区域内のため使用不可		
	福島公園	福島120-1	—	970	1.8				○	○			1			
	野崎公園	野崎191-1他	—	1,354	2.4				○	○			1			
	市営北島団地	北島433-1	津波避難ビル		2.2	5F				○			2	5階以上の共用部分		
	クローバーメゾン狐島	狐島622-1	津波避難ビル		1.9	9F				○			2	3階以上の共用部分		
	アイビースクエア	福島293-1	津波・洪水避難ビル		2.7	3F	○			○	3		1	2階以上の共用部		
	リベラルパレス福島	福島679-6	津波・洪水避難ビル		2.7	3F	○			○	3		1	2階以上の共用部		
	メゾンたんぽぽ	福島72-1	津波・洪水避難ビル		2.3	4F	○			○	3		1	2階以上の共用部（廊下）		

地区	名称	所在地	屋内収容人員※1	屋外避難人員※1	標高(m)※2	階層	緊急避難場所								炊出し施設	電話 FAX
							災害種別				レベル※3			津波時の指定場所		
							洪水	土砂	地震	津波	洪水	土砂	津波			
三田	三田小学校	和田419-1	1,566	2,243	2.1	4F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	471-1488 F473-4347
	名草山周辺(名草ゴルフセンター)	田尻	津波避難目標地点		228.0								3			
	あけぼの団地	田尻178-5	津波避難ビル		2.0	8F				○			2	2階以上の共用部分		
	三田山	坂田336番他	津波避難場所		16.9					○			3	山林の頂上広場及び頂上にいたる通路部分		
松江	松江小学校	松江北4丁目1-1	1,807	3,361	1.5	3F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	451-4159 F451-4154
	河西中学校	松江北5丁目19-1	2,524	4,333	2.4	3F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	455-3125 F455-3126
	河西コミュニティセンター	松江北2丁目20-7	796	—	1.7	4F	○	○	○	○	3	3	1	3階以上	有	480-1171 F480-1172
	市営ラブリー松江団地	松江北2丁目2-5	津波避難ビル		2.0	14F				○			2	5階以上の共用部分		
	県営東松江団地	松江東4丁目6-28	津波・洪水避難ビル		2.6	9F	○			○	3		3	2階以上の共用部分		
木本	木本小学校	榎原255	1,991	1,626	2.1	3F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	455-0053 F452-4546
	木本公園	木ノ本761-2	—	942	5.7				○	○			3			
	榎原公園	榎原26-2		517	1.5				○	○			1			
	木本聖地霊園	木ノ本1560-1	津波避難場所		27.0					○			3	敷地内		
	和歌山県警察学校周辺	木ノ本	津波避難目標地点		30.0								3			
貴志	貴志小学校	栄谷895-2	1,714	1,540	3.2	4F	○	○	○	○	3	3	3		有	452-5123 F455-1715
	貴志南小学校	中野11-1	1,487	2,245	2.5	4F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	455-9090 F455-9091
	藤戸台小学校	栄谷974-245	2,110	2,509	106.0	2F	○	○	○	○	3	2	3		有	457-2560 F451-0350
	貴志中学校	梅原579-2	2,145	6,809	40.0	4F	○	○	○	○	3	1	3		有	452-8132 F452-8157
	市民体育館	土入318-1	1,217	—	2.3	1F	○	○	○	○	1	3	2	観覧席		453-2007 F453-2141
	和歌山大学（体育館）	栄谷930	700	—	68.0	2F	○	○	○	○	3	1	3			457-7007 F457-7009
	栄谷公園	栄谷496、同497	—	461	5.6				○	○			3			
	栄谷団地公園	栄谷153-2	—	372	1.7				○	○			3			
	栄谷南公園	栄谷83-1	—	239	3.2				○	○			3			
	二葉団地児童遊園	土入291-88	—	436	1.8				○	○			1			
	マスターズエル延時	延時140-1	津波避難ビル		2.7	5F				○			2	5階以上の共用部分		
	和歌山カントリー倶楽部	梅原585	津波避難場所		83.0					○			3	駐車場・通路		
楠見	楠見小学校	大谷349-2	2,027	3,337	3.6	4F	○	○	○	○	3	3	3		有	455-1714 F455-1578
	楠見西小学校	市小路31	1,431	1,901	3.5	4F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	452-7455 F452-7460

地区	名称	所在地	屋内収容人員※1	屋外避難人員※1	標高(m)※2	階層	緊急避難場所								炊出し施設	電話 FAX
							災害種別				レベル※3			津波時の指定場所		
							洪水	土砂	地震	津波	洪水	土砂	津波			
楠見	楠見東小学校	善明寺150-1	1,588	2,377	4.1	4F	○	○	○	○	3	3	3		有	451-3423 F451-3424
	楠見中学校	善明寺706	2,233	4,856	54.9	4F	○	○	○	○	3	3	3		有	453-6300 F453-6302
	和歌山北高等学校	市小路388	3,174	5,840	2.5	3F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	455-3528 F455-5943
	河北コミュニティセンター	市小路192-3	693	—	2.4	2F	○	○	○	○	2	3	2	2階以上	有	480-3610 F453-6918
	善明寺公園	善明寺363-2	—	718	4.0				○	○			3			
	平井公園	市小路253-1	—	1,224	3.0				○	○			2			
	平井中央公園	平井470-1	—	3,890	18.3				○	○			3			
	市小路公園	市小路44-1	—	1,322	2.7				○	○			2			
	善明寺北公園	善明寺706-123	—	531	49.0				○	○			3			
	善明寺中央公園	善明寺113-4	—	1,579	3.0				○	○			3			
西和佐	西和佐小学校	栗栖84-1	1,368	1,917	6.4	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	471-3644 F473-4348
	岩橋公園	岩橋1560-1	—	898	7.1				○	○			3			
	西和佐公園	岩橋714-1	—	1,129	7.0				○	○			3			
	紀伊風土記の丘	岩橋	津波避難目標地点		25.0								3			
	花山団地付近	鳴神	津波避難目標地点		25.0								3			
岡崎	岡崎小学校	寺内426	1,298	2,200	4.1	3F	○	○	○	○	3	2	3		有	471-1750 F471-8900
	和歌山東高等学校	森小手穂136	3,718	4,576	3.3	4F	○	○	○	○	3	3	3		有	472-5620 F472-5715
	東部コミュニティセンター	寺内665	503	—	2.2	2F	○	○	○	○	2	2	3		有	475-0020 F475-0022
	岡崎中央児童遊園	井辺144-107	—	799	3.9				○	○			3			
	セラヴィ神前	神前182-1	津波避難ビル		2.5	4F				○			3	3階以上の共用部分		
	市営岡崎団地（東棟、西棟）	神前37-1	津波・洪水避難ビル		3.4	7F	○			○	2		3	2階以上の共用部分		435-1098 F435-1277
	岡崎支坊	森小手穂555	津波避難目標地点		25.0								3			
	法紹寺	神前789	津波避難目標地点		9.0								3			
	中言神社	神前	津波避難目標地点		13.0								3			
西脇	西脇小学校	西庄1012	1,536	862	6.3	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	455-0118 F452-4949
	八幡台小学校	西庄1110	1,764	3,005	23.2	4F	○	○	○	○	3	2	3		有	453-5666 F453-5667
	西脇中学校	西庄1110-5	2,081	2,931	20.3	4F	○	○	○	○	3	3	3		有	455-0112 F452-5120
	和歌山北高等学校西校舎	西庄1148-1	3,075	8,528	71.8	4F	○	○	○	○	3	3	3		有	453-1281 F453-1283
	西庄公園	西庄215	—	4,007	4.5				○	○			3			

地区	名称	所在地	屋内収容人員※1	屋外避難人員※1	標高(m)※2	階層	緊急避難場所								炊出し施設	電話 FAX
							災害種別				レベル※3			津波時の指定場所		
							洪水	土砂	地震	津波	洪水	土砂	津波			
西脇	つつじが丘総合公園	つつじが丘4丁目1-1、1-2、2、4	1,552	23,173	60.0	5F	○	○	○	○	3	3	3			488-5702 F488-5703
	元西脇中学校跡	西庄1037	—	1,109	5.6				○	○			3			
	磯の浦東部避難場所	磯の浦	津波避難場所		23.2					○			3	磯の浦自治会整備地内		
	スカイタウンつつじが丘方面	つつじが丘	津波避難目標地点		70.0								3			
和佐	和佐小学校	祢宜949-2	1,111	1,725	10.5	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	477-0016 F477-4311
	高積中学校	布施屋112-2	2,208	4,015	10.7	4F	○	○	○	○	3	2	3		有	477-0595 F477-0004
	河南コミュニティセンター	布施屋41	532	—	10.9	2F	○	○	○	○	2	3	3		有	477-6522 F477-6533
	河南総合体育館	和佐中165-1	1,002	—	9.0	1F	○	○	○	○	1	3	3			477-4009 F477-4010
	松下公園	祢宜1264	—	2,876	9.5				○	○			3			
	和佐児童遊園	祢宜1224-1	—	601	9.4				○	○			3			
	高積神社	祢宜1390	津波避難目標地点		27.0								3			
	県営千旦団地１０号棟	禰宜1341-3	津波・洪水避難ビル		9.5	6F	○			○	3		3	2階以上の共用部分		
安原	安原小学校	江南239	1,405	1,818	4.7	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	479-0049 F479-2566
	東中学校	松原337	2,409	4,293	2.2	3F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	479-0044 F479-0047
	本渡公園	本渡369	—	1,626	5.0				○	○			3			
	赤津広場	冬野165-1	—	1,303	3.7				○	○			2			
	智辯学園和歌山小学・中学・高等学校	冬野2066-1	津波避難場所		35.0					○			3	グラウンド		
	名草神社	冬野2107	津波避難目標地点		16.0								3			
	中言神社	吉原	津波避難目標地点		23.0								3			
	八幡神社	相坂	津波避難目標地点		20.0								3			
	名草山周辺（旧吉原分校）	吉原1316	津波避難目標地点		228.0								3			
西山東	山東小学校	吉礼326	1,360	1,238	9.4	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	478-0028 F478-2985
	口須佐公園	口須佐51-4	—	507	7.2				○	○			3			
東山東	東山東小学校	山東中52-1	871	1,619	15.8	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	478-0052 F478-2252
有功	有功小学校	園部1453	1,599	4,029	5.2	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	461-0124 F461-6315
	鳴滝小学校	善明寺615-3	1,418	1,883	35.0	4F	○	○	○	○	3	3	3		有	453-2315 F453-2316
	有功東小学校	六十谷895	1,696	2,686	34.7	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	462-1322 F462-3139
	有功中学校	六十谷1238	2,390	3,846	55.2	4F	○	○	○	○	3	1	3		有	461-4716 F461-9265

地区	名称	所在地	屋内収容人員※1	屋外避難人員※1	標高(m)※2	階層	緊急避難場所								炊出し施設	電話 FAX
							災害種別				レベル※3			津波時の指定場所		
							洪水	土砂	地震	津波	洪水	土砂	津波			
有功	市立和歌山高等学校	六十谷45	3,633	12,953	4.6	4F	○	○	○	○	3	3	3		有	461-3690 F461-3692
	園部公園	園部212-1	—	3,397	11.0				○	○			3			
直川	直川小学校	直川1253	1,065	1,985	15.3	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	461-0134 F461-0164
	北コミュニティセンター	直川326-7	707	—	7.2	2F	○	○	○	○	1	3	3		有	464-3031 F462-8610
川永	川永小学校	楠本285	1,511	1,518	10.1	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	461-1061 F461-1041
	川永団地公園	島26-10	—	547	10.7				○	○			3			
	県営川永団地（１～２号棟）	島51-2	津波・洪水避難ビル		10.3	12F/6F	○			○	3		3	2階以上の共用部分		
	県営ニューかわなが団地１号棟	島105-2	津波・洪水避難ビル		10.7	7F	○			○	3		3	2階以上の共用部分		
	県営ニューかわなが団地２号棟	島51-10	津波・洪水避難ビル		10.8	4F	○			○	3		3	2階以上の共用部分		
	県営ニューかわなが団地３号棟	宇田森9-6	津波・洪水避難ビル		10.8	4F	○			○	3		3	2階以上の共用部分		
	県営ニューかわなが団地４号棟	宇田森9-5	津波・洪水避難ビル		10.6	7F	○			○	3		3	2階以上の共用部分		
	県営ニューかわなが団地５号棟	島51-2	津波・洪水避難ビル		10.9	4F	○			○	3		3	2階以上の共用部分		
小倉	小倉小学校	新庄348	1,563	2,193	14.1	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	477-0455 F477-4452
	県立和歌山高等学校	新庄188	3,716	4,930	20.3	4F	○	○	○	○	3	1	3		有	477-3933 F477-4928
	大垣内公園	大垣内720-1	—	651	12.7				○	○			3			
	東田中公園	東田中160	—	386	14.0				○	○			3			
加太	加太小学校	加太1210	1,329	1,740	2.4	3F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	459-0049 F459-2652
	加太中学校	加太2692-1	1,266	2,144	2.4	4F	○	○	○	○	3	2	2	3階以上	有	459-0004 F459-2655
	休暇村紀州加太	深山483	115	—	107.7	4F	○	○	○	○	3	1	3		有	459-0321 459-0082 (21時～7時) F459-0815
	休暇村紀州加太芝生園地	深山188-1	—	11,306	11.7				○	○			3			
	青少年国際交流センター	加太1907-2	津波避難目標地点		48.0								3			
	サニータウン方面	加太	津波避難目標地点		75.0								3			
山口	山口小学校	里146	1,048	1,562	12.5	3F	○	○	○	○	3	3	3		有	461-1062 F461-1044
	山口西公園	山口西100-2	—	489	11.9				○	○			3			
	山口神社	谷377	津波避難目標地点		54.0								3			
紀伊	紀伊小学校	弘西321	1,712	1,175	16.8	4F	○	○	○	○	3	3	3		有	461-0207 F461-0275
	紀伊中学校	北野544-1	2,455	5,023	27.2	4F	○	○	○	○	3	2	3		有	461-0035 F461-4313

地区	名称	所在地	屋内収容人員※1	屋外避難人員※1	標高(m)※2	階層	緊急避難場所								炊出し施設	電話 FAX
							災害種別				レベル※3			津波時の指定場所		
							洪水	土砂	地震	津波	洪水	土砂	津波			
紀伊	弘西公園	弘西920-2	—	678	8.8				○	○			3			
	上野公園	上野87-3,同88-1	—	674	11.0				○	○			3			
	鴨居川団地公園	北101-17	—	491	8.8				○	○			3			
	県営紀伊団地	弘西1042-8	津波・洪水避難ビル		15.7	9F	○			○	3		3	1階以上の共用部分		
雑賀	雑賀小学校	西浜1丁目4-48	2,194	1,412	4.2	3F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	444-1480 F444-5368
	西浜中学校	西小二里1丁目6-1	2,749	3,175	3.5	3F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	444-0482 F444-7349
	星林高等学校	西浜2-9-9	3,192	5,333	4.4	3F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	444-4181 F444-6332
	和歌山工業高等学校	西浜3-6-1	7,690	4,325	1.7	6F	○	○	○	○	3	3	1	3階以上	有	444-0158 F444-2510
	松下体育館	西浜1037	643	—	1.1	1F	○	○	○		1	3	×	浸水予想区域内のため開設しない		444-8274 F444-8275
	秋葉山公園	秋葉町14	—	41,025	14.9				○	○			3			
	高津公園	関戸3丁目775-1	—	4,339	4.1				○	○			2			
	和歌川終末処理場（屋外）	塩屋5丁目3-41	—	16,104	2.3				○				×	浸水予想区域内のため使用不可		444-2463 F445-8474
	秋葉山公園県民水泳場	秋葉町4番11号	2,710	366	13.8	5F	○	○	○	○	3	3	3			445-7300 F445-7730
	ライオンズマンション和歌山塩屋	塩屋5丁目2-33	津波避難ビル		2.5	8F				○			1	2階以上エレベーター前廊下部分		
	県営西浜団地	西浜1丁目6-40	津波・洪水避難ビル		4.9	7F	○			○	3		3	1階以上の共用部分		
	中央卸売市場総合食品センター棟「わかやまるしぇ」	西浜1660-401	津波避難場所		3.2	1F				○			1	屋上		
	水軒堤防公園（水軒交差点より以北部分）	西浜1664	津波避難場所		4.2					○			1	斜面を登りきった広場及び通路部分		
和歌浦	和歌浦小学校	和歌浦西2丁目1-18	1,575	1,738	4.5	4F	○	○	○	○	3	1	2	3階以上	有	444-0229 F444-3250
	和歌川苑	和歌川町5-44	津波避難ビル		1.6	3F				○			1	3階ホール及び共用部分		
	インペリアル和歌浦	和歌浦東2丁目8-15	津波避難ビル		1.2	5F				○			1	2階以上の共用部分		
	秋葉山配水池	和歌浦東1丁目393-9	津波避難場所		34.0					○			3	敷地内		
	和歌公園（権現山）	和歌浦西2	津波避難場所		4.9					○			3	敷地内		
	和歌公園（津屋公園・城跡山地区）	和歌浦中3	津波避難場所		1.5					○			3	敷地内		
	和歌公園（貴供山地区）	和歌浦中3	津波避難場所		4.0					○			3	敷地内		
	和歌公園（鏡山地区）	和歌浦中3	津波避難場所		4.0					○			3	敷地内		

地区	名称	所在地	屋内収容人員※1	屋外避難人員※1	標高(m)※2	階層	緊急避難場所								炊出し施設	電話 FAX
							災害種別				レベル※3			津波時の指定場所		
							洪水	土砂	地震	津波	洪水	土砂	津波			
和歌浦	和歌の浦温泉萬波（駐車場）	新和歌浦2-10	津波避難場所		29.0					○			3	駐車場		
名草	名草小学校	紀三井寺240	1,923	2,912	3.5	3F	○	○	○	○	3	1	2	3階以上	有	444-1030 F444-4982
	浜宮小学校	内原778-16	1,543	2,711	2.6	4F	○	○	○	○	3	3	2	3階以上	有	445-8368 F445-8369
	明和中学校	紀三井寺832-1	2,528	6,959	2.7	4F	○	○	○		3	3	×	浸水予想区域内のため開設しない	有	444-1207 F444-3715
	南コミュニティセンター	紀三井寺856	1,145	—	2.3	6F	○	○	○	○	3	3	1	4階以上	有	494-3755 F494-3744
	県立医科大学保健看護学部（体育館）	三葛580	217	—	2.2	2F	○	○	○		1	3	×	浸水予想区域内のため開設しない		446-6700 F446-6720
	紀三井寺児童遊園東	紀三井寺1-56	—	417	1.7				○				×	浸水予想区域内のため使用不可		
	紀三井寺児童遊園西	紀三井寺1-204	—	311	1.7				○				×	浸水予想区域内のため使用不可		
	三葛防災広場	三葛214-2	—	265	1.5				○				×	浸水予想区域内のため使用不可		
	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター	毛見1437-218	津波避難ビル		1.6	4F				○			1	3階多目的ホール		
	琴の浦リハビリテーションセンター	毛見1451	津波避難ビル		1.9	3F				○			1	3階以上		
	紀三井寺公園陸上競技場	毛見200	191	1,153	1.6	4F	○	○	○	○	3	3	1	2階以上	有	444-7565 F444-9272
	中央終末処理場	三葛510-1	津波避難ビル		1.8	4F				○			1	屋上サッカー場		
	紀三井寺苑	紀三井寺560-2	津波避難ビル		1.6	4F				○			1	2階以上の共用部分		
	ファシナシオン毛見	毛見10-2	津波避難ビル		1.8	3F				○			1	2階以上の共用部分		
	ファシナシオン毛見Ⅱ	毛見8-1	津波避難ビル		1.8	4F				○			2	2階以上の共用部分		
	和歌山マリーナシティホテル	毛見1517	津波避難ビル		2.3	7F				○			1	2階宴会場		
	紀三井寺ガーデンホテルはやし	紀三井寺756	津波避難ビル		2.3	5F				○			1	5階以上		
	ローパス三葛	三葛247-1	津波避難ビル		1.9	5F				○			1	5階の共用部分		
	ビレッジハウス紀三井寺（１～３号棟）	紀三井寺342	津波・洪水避難ビル		1.9	5F	○			○	3		1	2階以上の共用部（廊下）		
	ビレッジハウス紀三井寺（４～６号棟）	紀三井寺1-28	津波・洪水避難ビル		1.9	5F	○			○	3		1	2階以上の共用部（廊下）		
	県営三葛団地２号棟	三葛484	津波・洪水避難ビル		1.8	5F	○			○	3		1	屋上		
	紀州技研工業株式会社（本社ビル）	布引466	津波・洪水避難ビル		3.4	6F	○			○	3		1	2階以上の共用部分		

地区	名称	所在地	屋内収容人員※1	屋外避難人員※1	標高(m)※2	階層	緊急避難場所								炊出し施設	電話 FAX
							災害種別				レベル※3			津波時の指定場所		
							洪水	土砂	地震	津波	洪水	土砂	津波			
名草	メトロヒルズ	三葛137-1	津波避難場所		3.0					○			1	屋上駐車場 立体駐車場		
	本久寺	毛見423-1	津波避難場所		5.3					○			2	山門前及び駐車場		
	紀三井寺　護国院	紀三井寺1201	津波避難場所		60.7					○			3	境内一円		
	名草山霊園	紀三井寺1301-1	津波避難場所		40.0					○			3	敷地内		
	名草山周辺（内原神社）	内原25	津波避難目標地点		228.0								3			
	名草山周辺（正行寺）	三葛869	津波避難目標地点		228.0								3			
	みちる保育園周辺	毛見	津波避難目標地点		25.0								3			
	船尾山ハイキングコース	海南市船尾	津波避難目標地点		150.0								3			
	峰の地蔵尊	毛見	津波避難目標地点		60.0								3			
	紀の川工水洞より高台	内原	津波避難目標地点		35.0								3			
	ＮＴＴ紀三井寺社宅周辺	三葛	津波避難目標地点		20.0								3			
		紀三井寺公園（毛見200）は次表「広域避難場所」において記載														
雑賀崎・田野	雑賀崎小学校	西浜1148	974	2,133	2.7	3F	○	○	○		3	3	×	浸水予想区域内のため開設しない	有	444-0048 F444-0537
	創価学会南和歌山文化会館	雑賀崎6-4	津波避難場所		26.6					○			3	敷地内		
	わかうら園	田野175	津波避難場所		39.4					○			3	指定敷地内		
	漁火の宿 シーサイド観潮 (駐車場)	田野82	津波避難場所		49.3					○			3	駐車場		
	レモンの丘公園（旧雑賀崎小学校跡地）	和歌山市雑賀崎1729 和歌山市雑賀崎1612番初め11筆 (1612, 1712-2, 1714, 1715, 1716, 1717, 1723, 1724, 1725, 1726, 1727)	津波避難場所		53.0					○			3	敷地内		
合計			180,059	474,479												

○避難所・避難場所（予定）

地区	名称	所在地	屋内収容人員※1	屋外避難人員※1	標高（m）※2	階層	緊急避難場所								炊出し施設	電話 FAX
							災害種別				レベル※3			津波時の指定場所		
							洪水	土砂	地震	津波	洪水	土砂	津波			
西脇	つつじが丘総合公園	つつじが丘4丁目1-1、1-2、2、4、5	1,552	27,011	60.0	5F	○	○	○	○	3	3	3			488-5702 F488-5703

○広域避難場所（3か所）

地区	名称	所在地	屋外避難人員※1	標高（m）※2	電話 FAX
城北	和歌山城公園	一番丁3	25,987	8.8	435-1044
宮前	和歌山ビッグ愛・	手平2丁目1-2	10,552	2.1	435-5200
	和歌山ビッグホエール	手平2丁目1-1	18,520	2.1	433-0035 F433-4181
名草	紀三井寺公園	毛見200	48,391	2.0	444-7565

※1　屋内収容人員及び屋外避難人員の収容基準について

	収容基準	
	市町村地域防災計画（震災対策編）検討委員会（平成８年３月　消防庁震災対策指導室）報告書	和歌山市
避難所	おおむね3.3㎡当たり2人	3.0㎡当たり1人 （但し、協定書に収容人員が記載されている場合は別）
避難場所	記載なし	
広域避難場所	1.0㎡当たり1人	

※2　標高について
「国土交通省国土地理院　標高がわかるWeb地図」より概算値を計測。

※3　緊急避難場所安全レベルについて

分類		安全レベルの判定基準
津波	3	浸水想定区域外で安全な避難場所
	2	安全レベル３へ避難する余裕がないときの緊急避難場所（屋外避難場所のうち、浸水想定区域に近接するところ。屋内避難施設のうち、浸水想定区域内にあるものの、想定上、指定された避難場所の高さまで浸水することがないところ）
	1	安全レベル３又は２へ避難する余裕がないときの緊急避難場所（屋外避難場所のうち、浸水想定区域内にあるところ。屋内避難施設のうち、安全レベル２よりもさらに周囲が浸水する可能性が高いものの、想定上、指定された避難場所の高さまで浸水することがないところ）
	×	浸水の危険性が大きいため、開設しない避難所もしくは使用不可の避難場所（屋外避難場所のうち、安全レベル１よりもさらに浸水する可能性が高いところ。屋内避難施設であっても特に危険が予想されるところ）
風水害（洪水／土砂）	3	大規模災害等が想定される場合でも十分に安全な施設
	2	大規模災害等が想定される場合でも、一定の安全を確保することが可能である施設
	1	大規模災害等が想定される場合には事前に開設しないとするか、開設した場合であっても、危険が迫った場合には閉鎖の可能性がある施設

○補助避難所（7 か所）

	施設名	所在地
1	杭の瀬文化会館	杭ノ瀬 76-7
2	木ノ本児童館	木ノ本 728-1
3	善明寺児童館	善明寺 390-1
4	岩橋児童館	岩橋 1329-5
5	本渡児童館	本渡 435-1
6	口須佐文化会館	吉礼 260-1
7	四季さい館	明王寺 85 （四季の郷公園内）

○自主避難所（32 か所）

	地区	施設名	所在地
1	吹上	感應寺	鷹匠町6丁目16
2	木本	木ノ本ニュータウン自治会館	木ノ本1833-5
3	木本	木本八幡宮権殿	西庄1
4	木本	浄福寺集会所	木ノ本843
5	貴志	栄谷会館	栄谷487
6	貴志	栄谷川原崎会館	栄谷
7	岡崎	神前自治会館	神前
8	西脇	坂田自治会館	本脇648-20
9	西脇	磯の浦自治会館	磯の浦64-1
10	安原	若葉団地自治会館	冬野
11	西山東	口須佐南自治会館	口須佐
12	西山東	菖蒲ヶ丘団地第二集会所	吉礼
13	西山東	元正寺	吉里243
14	東山東	塩ノ谷自治会館	塩ノ谷
15	東山東	西応寺	木枕290
16	東山東	永山自治会館	永山367-2
17	東山東	薬善寺	永山309
18	東山東	大河内自治会館	大河内
19	東山東	南畑自治会館	南畑
20	有功	法然寺	六十谷791
21	有功	園部第六有功ヶ丘団地自治会館	園部1611-4
22	直川	本恵寺	直川2436
23	小倉	上新出自治会館	上三毛
24	小倉	金谷自治会館	金谷471
25	加太	向丁自治会館	加太236
26	加太	北丁自治会館	加太(加太北ノ浜公園付近)
27	紀伊	府中自治会館	府中
28	紀伊	府中黒岩自治会館	府中1424-1
29	和歌浦	宗善寺	和歌浦中1-3-18
30	名草	紀三井寺自治会館	紀三井寺742-10
31	名草	善福寺	毛見1219
32	田野	わかうら園	田野190

○福祉避難所（68か所）

	施設名	所在地	受入対象者
1	特別養護老人ホーム　グランリーフ	南片原 2 丁目 12	要介護者、肢体不自由者
2	特別養護老人ホーム　アンシアナトー	松江東 1 丁目 7-25	要介護者、肢体不自由者、聴覚障害者、視覚障害者
3	カーサ・デ・ソコロ・アンシアナトー	松江東 1 丁目 7-25	要介護者、肢体不自由者、聴覚障害者
4	グループ・ホーム　ぷすぷす	松江東 1 丁目 7-25	要介護者、肢体不自由者、聴覚障害者、視覚障害者
5	生活支援ハウス　カリエンテ	松江東 1 丁目 7-25	要介護者、肢体不自由者、聴覚障害者
6	特別養護老人ホーム　紀伊松風苑	園部 1668-1	要介護者
7	救護施設　かつらぎ園	園部 366-1	要介護者、肢体不自由者、聴覚障害者、視覚障害者、精神障害者
8	特別養護老人ホーム　紀伊てまり苑	西田井 224	要介護者、肢体不自由者、聴覚障害者、視覚障害者
9	特別養護老人ホーム　紀三井寺苑	紀三井寺 560-2	要介護者、肢体不自由者、聴覚障害者、視覚障害者
10	特別養護老人ホーム　喜成会	北野 128	要介護者、聴覚障害者、視覚障害者
11	養護老人ホーム　喜和の郷	北野 572-1	要介護者、聴覚障害者、視覚障害者
12	高齢者総合ケアセンター　みらい	北野 118-2	要介護者、聴覚障害者、視覚障害者
13	特別養護老人ホーム　ほうらい苑	新和歌浦 2-9	要介護者
14	地域密着型介護老人福祉施設　三寿苑	島橋南ノ丁 6-21	要介護者、肢体不自由者、聴覚障害者、視覚障害者
15	竹の里園　デイサービスセンター	明王寺 3-1	要介護者、肢体不自由者、聴覚障害者、視覚障害者
16	第Ⅱ竹の里園　デイサービスセンター	明王寺 17-1	要介護者、肢体不自由者、聴覚障害者、視覚障害者
17	第Ⅲ竹の里園	明王寺 16-1	要介護者、肢体不自由者、聴覚障害者、視覚障害者、知的障害者
18	特別養護老人ホームすこやか	和田 583-1	要介護者
19	特別養護老人ホーム　大日山荘	平尾 2-1	要介護者
20	大日倶楽部オラ	平尾 8-1	要介護者
21	特別養護老人ホーム　君里苑	木ノ本 1837-1	要介護者、肢体不自由者
22	特別養護老人ホーム　ソンリッサきみさと	つつじが丘 5 丁目 3-2	要介護者
23	アトリオつつじⅠ II III　デイサービスセンター	つつじが丘 5 丁目 3-3	要介護者
24	特別養護老人ホーム　西庄園	西庄 1133-2	要介護者
25	地域密着型介護老人福祉施設　みのり西庄園	つつじが丘 7 丁目 3-3	要介護者
26	特別養護老人ホーム　親和園	杭ノ瀬 255-2	要介護者、肢体不自由者、聴覚障害者、視覚障害者
27	特別養護老人ホーム　第二親和園	杭ノ瀬 462-2	要介護者
28	ケアハウス　第三親和園	杭ノ瀬 463-1	要介護者
29	地域密着型介護老人福祉施設　第五親和園	杭ノ瀬 432-3	要介護者、肢体不自由者、聴覚障害者、視覚障害者
30	地域密着型介護老人福祉施設　わかやま苑	屋形町 1 丁目 39-2	要介護者

	施設名	所在地	受入対象者
31	特別養護老人ホーム　あんず苑	東田中 307	要介護者、肢体不自由者、聴覚障害者、視覚障害者
32	特別養護老人ホーム　みどりが丘ホーム	和佐中 213-1	要介護者
33	特別養護老人ホーム第２みどりが丘ホームⅠ・Ⅱ	土佐町 3－25	要介護者、肢体不自由者
34	特別養護老人ホーム　山口葵園	藤田 25-1	要介護者
35	山口葵園　デイ・サービスセンター	藤田 25-1	要介護者
36	ケアハウス　山口葵園	藤田 25-1	要介護者
37	特別養護老人ホーム　わかうら園	田野 175	要介護者
38	愛徳医療福祉センター	今福 3 丁目 5-41	医療的ケアを必要とする児者等
39	麦の芽ホーム	岩橋 643	聴覚障害者、精神障害者、知的障害者
40	琴の浦リハビリテーションセンター	毛見 1451	肢体不自由者
41	綜成苑	西庄 1107-1	肢体不自由者、精神障害者、知的障害者
42	綜愛苑	西庄 1107-45	肢体不自由者、精神障害者、知的障害者
43	小倉園	新庄 388-1	肢体不自由者、知的障害者
44	みずほ園	朝日 83-1	知的障害者
45	多機能型事業所　めばえ	塩屋 3 丁目 6-2	精神障害者、知的障害者
46	地域活動支援センター　櫻	塩屋 3 丁目 6-2	精神障害者、知的障害者
47	有功ヶ丘学園	園部 381-2	聴覚障害者、視覚障害者、精神障害者、知的障害者
48	セラヴィ神前	神前 182-1	要介護者
49	介護付き住宅　みのり紀伊	弘西 571	要介護者、肢体不自由者、聴覚障害者、視覚障害者、精神障害者、知的障害者
50	春風会きし	栄谷 460-1	要介護者、肢体不自由者、聴覚障害者、視覚障害者
51	ウイズ	和田 80-1	視覚障害者、精神障害者、知的障害者
52	カノン	和田 80-5	視覚障害者、精神障害者、知的障害者
53	ケアハウス　黎明の里	北野 669-1	要介護者、肢体不自由者、聴覚障害者、視覚障害者、精神障害者、知的障害者
54	介護老人保健施設　紀伊の里	宇田森 275-10	要介護者、聴覚障害者、視覚障害者
55	児童発達支援センターこじか園	上黒谷 460-2	在園児
56	児童発達支援センター第二こじか園	田尻 155-1	在園児
57	幹はうす	冬野 703-9	要介護者、肢体不自由者、聴覚障害者、視覚障害者、精神障害者、知的障害者、医療的ケア児
58	特別養護老人ホーム　わかば	有本 140	要介護者
59	あいあいセンター	小人町 29	要配慮者

	施設名	所在地	受入対象者
60	ふれ愛センター	木広町5丁目1-9	要配慮者
61	本町こども園	北桶屋町 7	乳幼児、妊産婦
62	芦原こども園	雄松町 5 丁目 4-1	乳幼児、妊産婦
63	介護老人保健施設　ラ・エスペランサ	中島 192	要介護者、肢体不自由者
64	児童発達支援センター　通園あるば	島橋北ノ丁 1-15	在園児
65	児童発達支援センター カナの家	葵町 3 番 25 号	在園児
66	有料老人ホーム さくら	市小路 30-1	要介護者
67	有料老人ホーム さくらⅡ	船所 187-3	要介護者
68	和歌山生協病院サテライトありもと	有本 526-1	要介護者、肢体不自由者、聴覚障害者、視覚障害者

○　帰宅困難者用一時滞在施設（5 か所）

地域	名称	所在地	指定場所
和歌山駅周辺	Ａタワー	友田町４丁目 130	３階病院会議室 ７階住宅集会室
和歌山駅周辺	和歌山アーバンホテル	黒田１丁目２番17号	居室、駐車場等
和歌山駅周辺	宝塚医療大学　和歌山保健医療学部	中之島2252	大講義室、教室、校庭等
和歌山市駅周辺	ワカヤマ第２冨士ホテル	湊紺屋町１丁目20	居室、駐車場等
和歌山市駅周辺	和歌山リハビリテーション専門職大学	湊本町３丁目１番地	図書室、教室、校庭等

5-2-2

災害時における避難所緊急開放要綱

（目的）

第１条　和歌山市地域防災計画（以下「計画」という。）に災害時の避難所として指定する施設の施錠時間帯に災害が発生し、又は発生するおそれがあり、緊急に避難所を開放する必要が生じた場合、市の担当者や施設管理者が迅速にこれを行うことが困難となることから、避難所近隣の住民のうちから和歌山市避難所緊急開放協力員（以下「協力員」という。）を委嘱し、あらかじめ合鍵を配付しておくことにより、災害時において迅速な避難所開放体制の確立を図ることを目的とする。

（任務）

第２条　協力員は、計画に避難所として指定する施設の施錠時間帯に災害等が発生し、緊急に避難所を開放する必要が生じた場合は、当該施設の開放を行うものとする。

（人員）

第３条　協力員は、当該施設ごとに２人程度置くものとする。

（委嘱）

第４条　協力員は、施設管理者の推薦により、市長が委嘱する。

（解嘱）

第５条　市長は、当該施設管理者から協力員が心身の故障その他の理由により、任務の遂行に支障があると認め、申出があった場合は、解嘱することができるものとする。

（開放要領）

第６条　協力員による開放要領は、別に定める。

附　則

この要綱は、平成９年７月１日から実施する。

5-2-3

和歌山市避難所緊急開放協力員による開放要領

１　開放の区分

（１）　地震が発生し、市域で震度６弱以上を記録したときの開放

（２）　和歌山県に津波警報又は大津波警報が発表されたときの開放

ただし、浸水の危険性がある地域内の下記避難所は開放しない

雑賀崎小学校	明和中学校	松下体育館

（３）　大規模な災害に伴い、避難の緊急性を自己判断したときの開放

（４）　和歌山市災害対策本部（災害警戒本部)、又は施設管理者から要請があったときの開放

２　情報の確認

揺れを感じたとき、テレビ・ラジオ等により気象台が発表する地震情報の入手に努める。

３　開放の箇所

二次災害を予防するため、施設内外の安全を確認した後、次の箇所を解錠する。

なお、施設によっては合鍵の箇所が同一ではありません。

（１）　門（正門等）

（２）　避難スペース（体育館等）

（３）　トイレ棟

４　開放の報告

避難所緊急開放協力員は、持参の合鍵で避難所を開放したときは、総合防災課（本部事務局）あてに「開放」した旨を報告する。

５　避難所運営の協力

開放後は、可能な限り避難所運営員（市職員）や施設管理者と共に初動期における避難所運営に協力する。

【～避難所開設の流れ～】

①　二次災害防止のため、避難者を広場（運動場）等、安全なスペースに誘導する

②　施設内外の安全確認をする

③　津波の危険性がある時：避難者を建物（校舎等）上階に避難誘導する

④　津波の危険性がない時：避難者を避難スペースに誘導する

６　合鍵の管理

（１）　盗難、紛失等事故防止に十分配慮する。

（２）　緊急時に備えて、施設管理者指導のもと年２回程度合鍵による開放状況を点検する。

・和歌山市　代表電話　　４３２－０００１

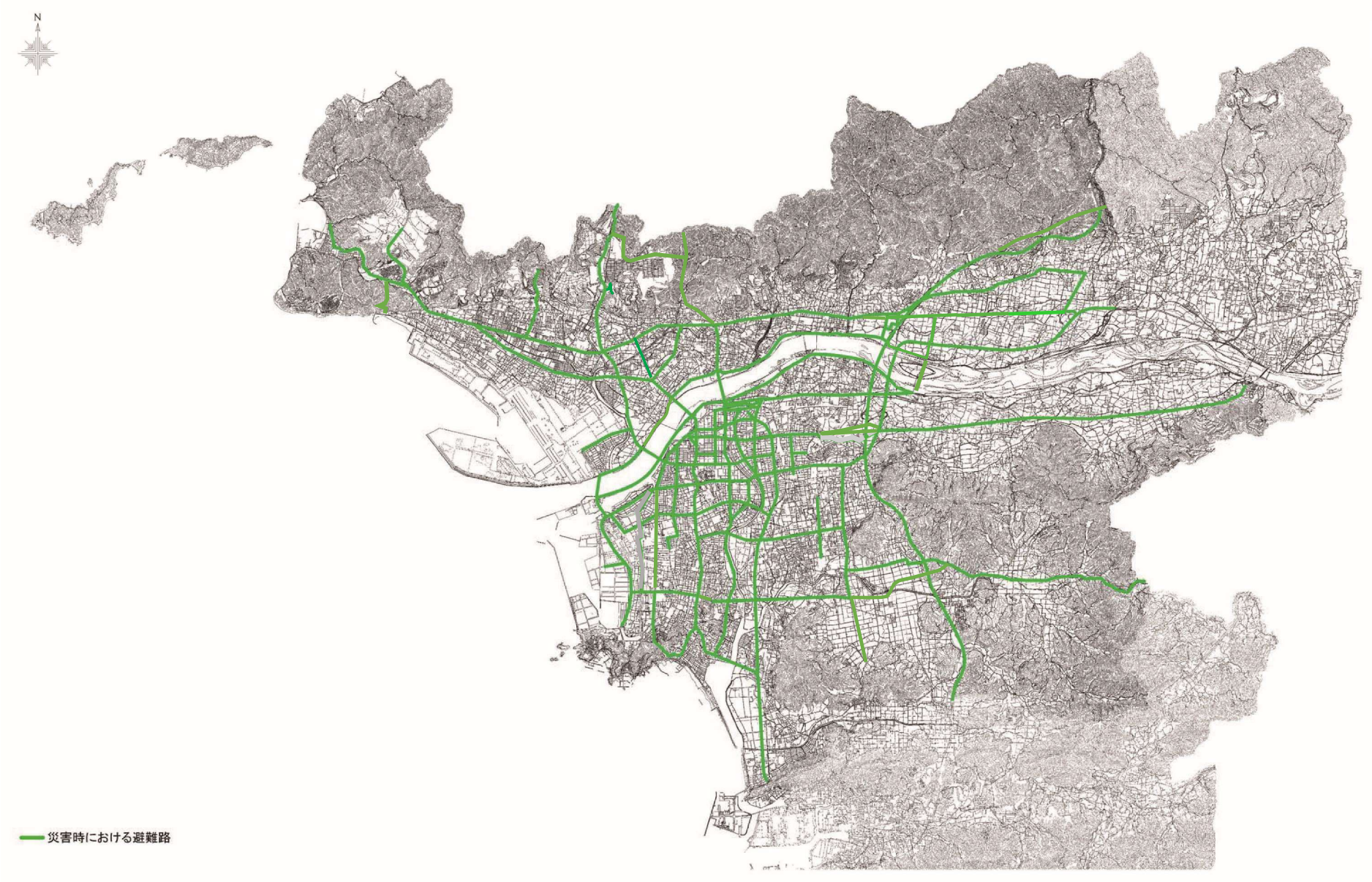
・【担当部局（市立高等学校・中学校・小学校)】
　和歌山市教育委員会　学校支援課　　４３５－１１９６

・【担当部局（松下・市民・河南体育館）　】
　和歌山市　スポーツ振興課　　４３５－１３６４

・【開放報告先】
　和歌山市　総合防災課　　４３５－１１９９

5-2-4

災害時における避難路図



5-3　ヘリコプターによる支援

5-3-1

災害時ヘリコプター予定発着地

名　　称	所　在　地	電話番号	管　理　者	発着場面積 東西×南北	備　考
市民スポーツ広場	福島796 （紀の川右岸河川敷）	435-1364（直）	スポーツ振興課	14,300㎡	陸上競技場
せせらぎ運動公園	有本地先	435-1076（直）	公園緑地課	10,800 ㎡	紀の川 左岸河川敷
日本赤十字社和歌山医療センター（屋上）	小松原通4-20	422-4171	日本赤十字社和歌山医療センター	24 × 24	
川辺防災ヘリポート	川辺字新田401番地先 （紀の川右岸河川敷）	435-1199（直）	総合防災課	900㎡ （30m×30m）	
マリーナシティ駐車場	毛見1535-1	448-0320	和歌山マリーナシティ㈱	100 ×180	
西浜県警ヘリポート	西浜1660-622	0739-43-2866	和歌山県警	25 × 25	
和歌山県庁南別館 （屋上）	湊通丁北1-2-1	441-2262	和歌山県 災害対策課	21 × 21	
コスモパーク加太 防災ヘリポート	加太2362-18	441-2262	和歌山県 災害対策課	100 × 100	
和歌山労災病院 （屋上）	木ノ本93-1	451-3181	和歌山労災病院 総務課	17 × 21	

5-3-2

臨時ヘリポート

名　　称	所　在　地	電話番号	管　理　者	発着場面積 東西×南北	備　考
紀三井寺公園	毛見200	444-7565	紀の国はまゆう	145 × 85	球技場
砂の丸広場	一番丁3	435-1044直 内3830～39	和歌山城 整備企画課	100 × 50	運動広場
深山グラウンド	深山483	459-0321 夜間459-0082	休暇村紀州加太	22,255.86㎡	
県立医大 （屋上／非公共用）	紀三井寺811-1	441-0853	県立和歌山医科大学 医事課	21 × 21	非公共用

5-3-3

ヘリコプター発着地等の基準図

《参考》発着地選定基準

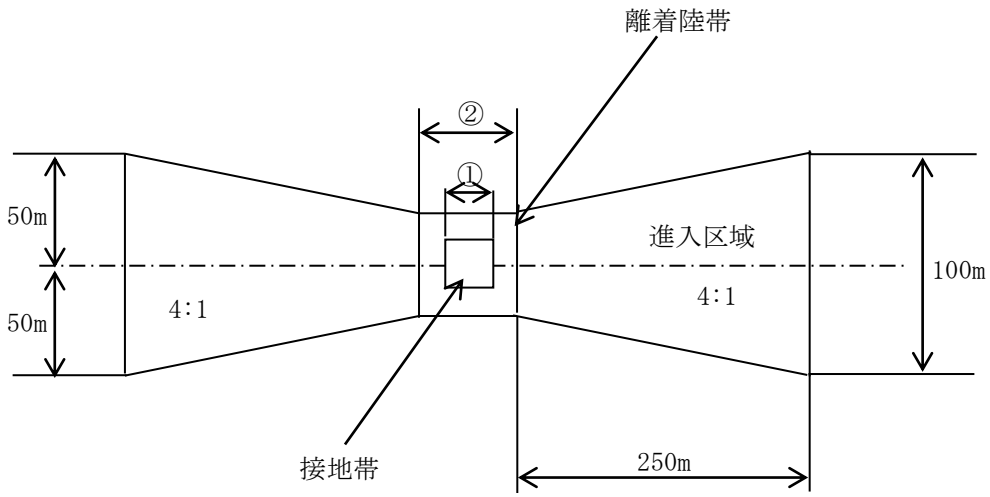
- 地面は堅固で勾配５％以内であること。
- コンクリート舗装地又は芝地、草地が適している。

  なお、運動場の場合は散水し、ほこり止めを行うこと。
- 夜間は障害物を確認することが困難であるため、障害物のない場所を選定すること。

（図１－Ａ参照）

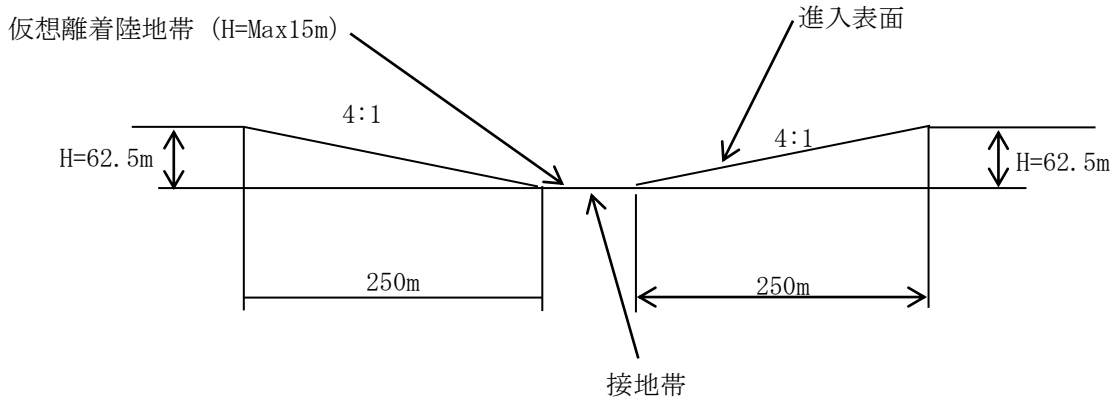
注）ヘリコプターは風に向って約10°～12°の上昇角で離着陸する。

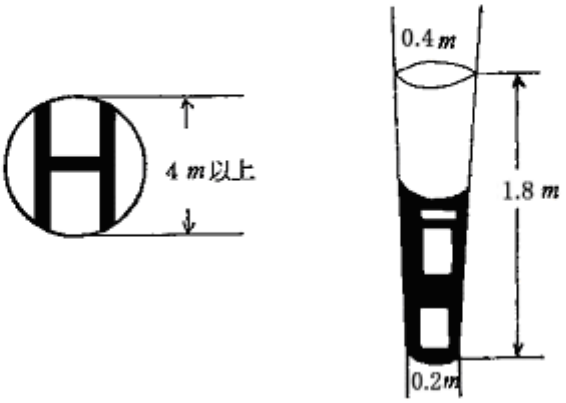
(1)平面図



①接　地　帯：長さ及び幅は使用機の全長以上の長さとする。
②離着陸地帯：長さ及び幅は使用機の全長に20メートルを加えた長さとする。
※全長が20メートルを超す機種については全長の２倍以上の長さとする。
※離着陸帯は原則として地上に設定する。ただし、周囲環境により地上に設定出来ない場合、障害物の程度により「仮想離着陸帯」として15メートルまでの高さを限度に離着陸帯の上空に設定することができる。

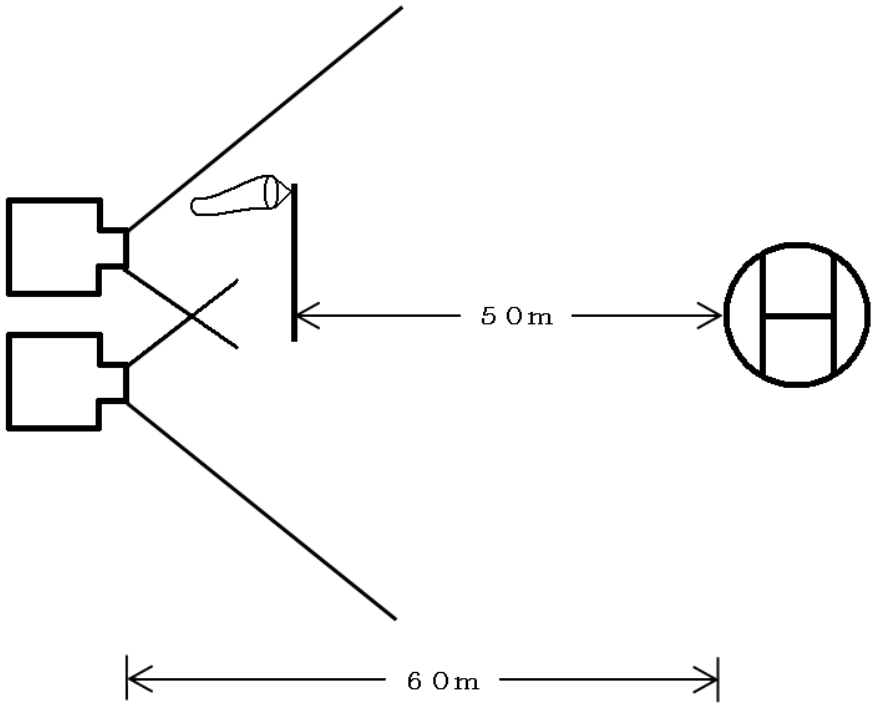
(2)進入表面断面図





○発着地の照明は次の方法による。

〔例〕



図解　　発着地の風下側から、自動車２台で一方から着陸中心地を照明する。

5-3-4

和歌山県防災ヘリコプター応援協定

（趣旨）

第１条　この協定は、和歌山県内の市町村及び消防事務に関する一部事務組合（以下「市町村等」という。）が災害による被害を最小限に防止するため、和歌山県が所有する防災ヘリコプター（以下「防災ヘリ」という。）の応援を求めることに関し、必要な事項を定めるものとする。

（協定区域）

第２条　本協定に基づき市町村等が防災ヘリの応援を求めることができる地域は、当該市町村等の行政区域とする。

（災害の範囲）

第３条　この協定において「災害」とは、消防組織法（昭和２２年法律第２２６号）第１条に規定する水火災又は地震等の災害をいう。

（応援要請）

第４条　この協定に基づく応援要請は、市町村等の行政区域内で災害が発生した場合に当該市町村等（以下「発災市町村等」という。）の長が次のいずれかに該当するため、防災ヘリによる活動が必要と判断するとき、和歌山県知事（以下「知事」という。）に対して行うものとする。

(1) 災害が隣接する市町村等の行政区域に拡大し、又は影響を与えるおそれのある場合

(2) 発災市町村等の消防力によっては、災害の防御が著しく困難と認められる場合

(3) その他救急搬送等、緊急性があり、かつ、防災ヘリ以外に適切な手段がなく、防災ヘリによる活動が最も有効な場合

（応援要請の方法）

第５条　応援要請は、和歌山県防災航空センターに電話等により、次の事項を明らかにして行うものとする。

(1) 災害の種別

(2) 災害発生の日時、場所及び被害の状況

(3) 災害発生現場の気象状態

(4) 災害現場の最高指揮者の職名・氏名及び連絡方法

(5) 場外離着陸場の所在地及び地上支援体制

(6) 応援に要する資機材の品目及び数量

(7) その他の必要事項

（防災航空隊の派遣）

第６条　知事は、第４条の規定により応援要請を受けたときは、災害発生現場の気象状態を確認のうえ、和歌山県防災航空隊（以下「防災航空隊」という。）を派遣するものとする。

２　第４条の規定による応援要請に応じることができない場合は、知事は、その旨を速やかに発災市町村等の長に通報するものとする。

（防災航空隊の隊員の指揮）

第７条　前条第１項の規定により応援する場合において、災害現場における防災航空隊の隊員（以下「隊員」という。）の指揮は、発災市町村等の消防長（消防本部を置かない町村にあっては、当該町村長）が行うものとする。ただし、緊急の場合は、災害現場の最高指揮者が行うことができるものとする。

（消防活動に従事する場合の特例）

第８条　第４条の規定による応援要請に基づき隊員が消防活動に従事する場合には、発災市町村等の長から隊員を派遣している市町村等の長に対して、和歌山県下消防広域相互応援協定（以下「相互応援協定」という。）第４条の規定に基づく応援要請があったものとみなす。

（経費負担）

第９条　この協定に基づく応援に要する運航経費は、和歌山県が負担するものとする。

２　前条に該当する活動に従事する場合においても、応援に要する運航経費は、相互応援協定第８条の規定にかかわらず、和歌山県が負担するものとする。

（その他）

第１０条　この協定に定めのない事項は、和歌山県及び市町村等が協議して定めるものとする。

（適用）

第１１条　この協定は、平成８年３月１日から適用する。

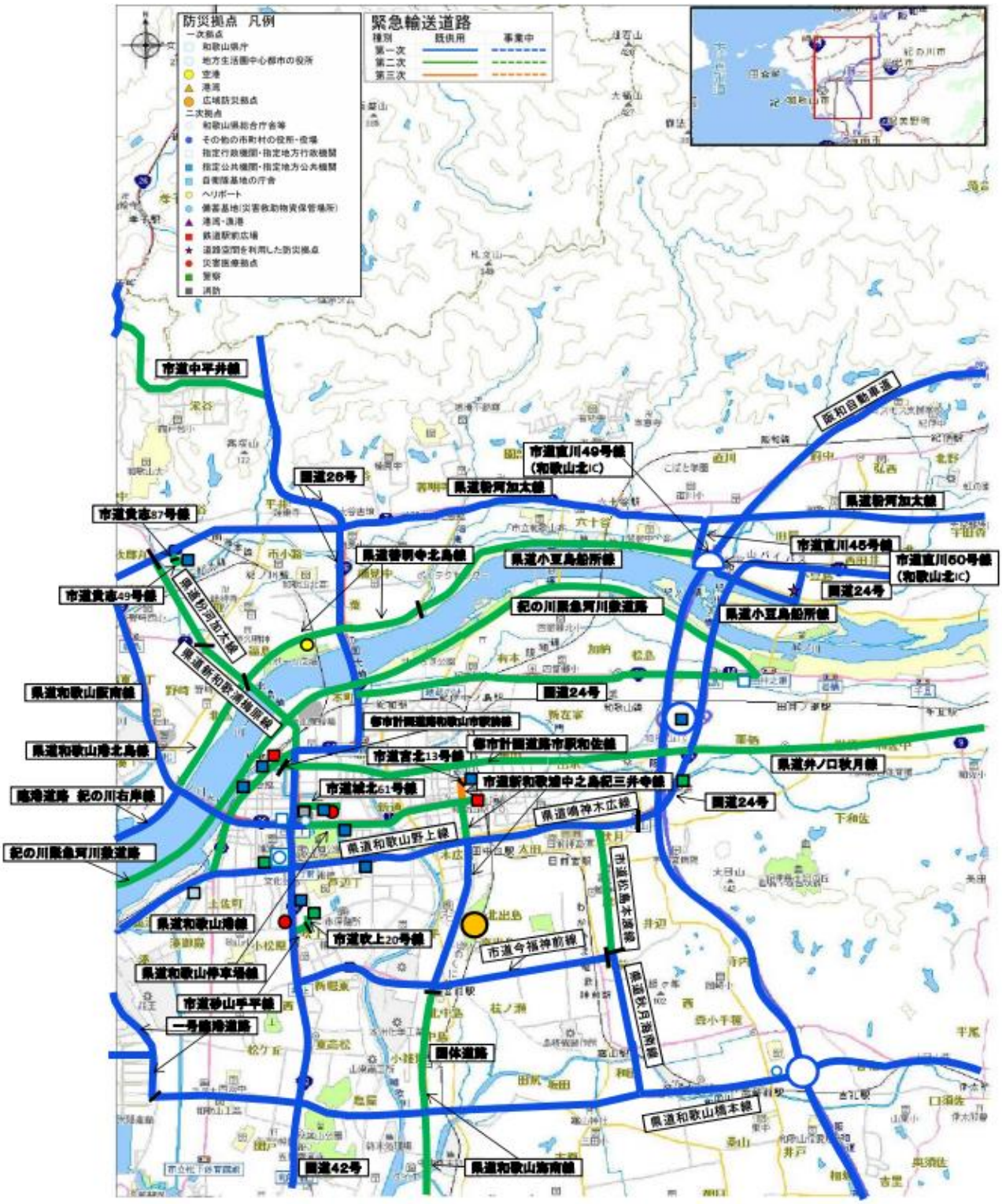
この協定の締結を証するため、本書５９通を作成し、知事及び市町村等の長が記名押印のうえ、各自それぞれ１通を所持する。

5-4　陸上及び海上緊急輸送

5-4-1

緊急輸送道路ネットワーク図

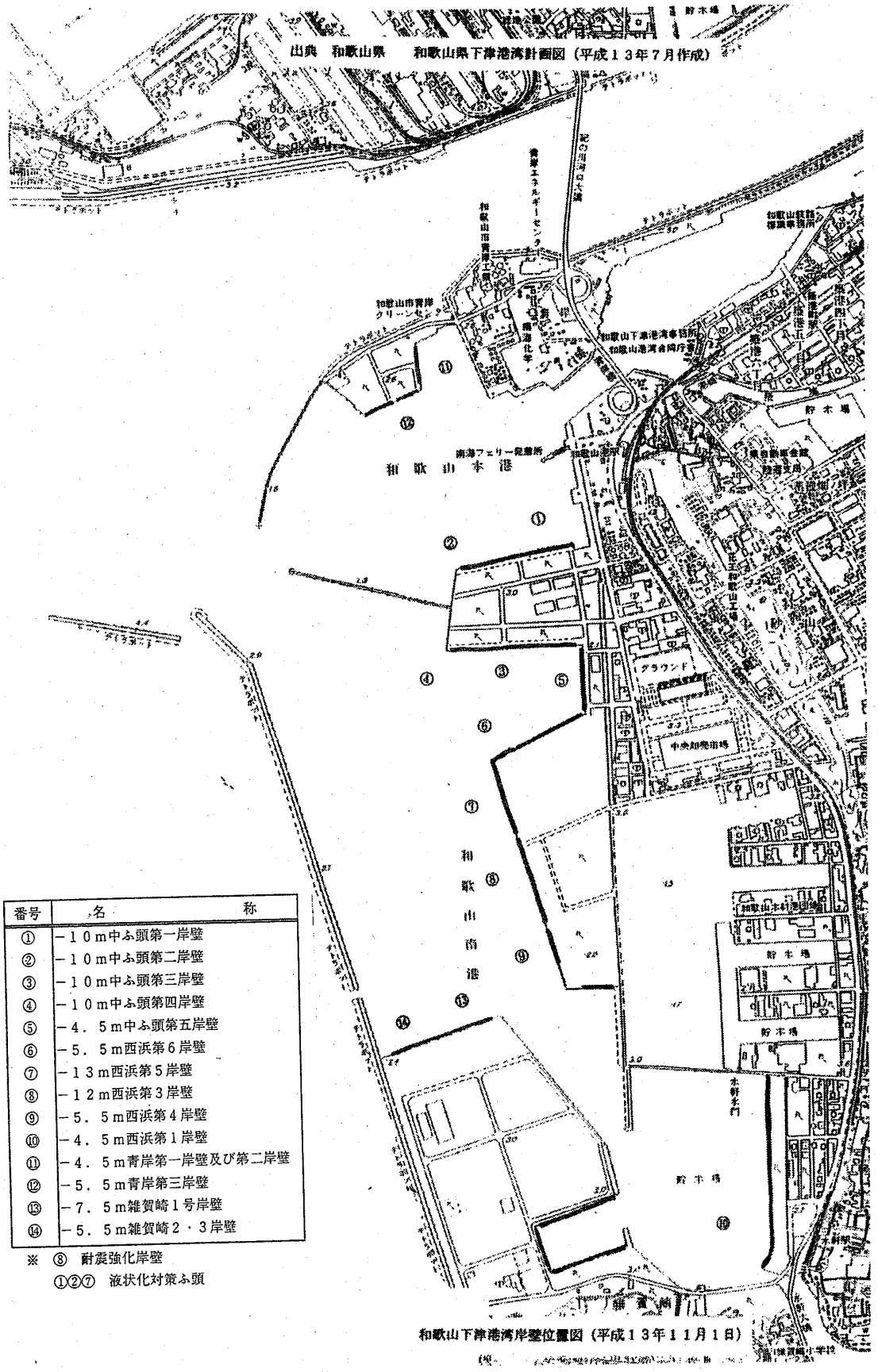



防災拠点　凡例
緊急輸送道路
種別
既供用
事業中
第一次
第二次
第三次
市道中平井線
国道26号
県道和歌山加太線
市道貴志87号線
県道和歌山加太線
市道貴志49号線
県道和歌山加太線
県道和歌山阪南線
県道和歌山港北島線
臨港道路　紀の川右岸線
紀の川緊急河川敷道路
県道和歌山港線
県道和歌山停車場線
市道砂山手平線
一号臨港道路
国道42号
県道和歌山阪南線
市道直川49号線
（和歌山北IC）
県道雑賀崎中北島線
県道小豆島船所線
紀の川緊急河川敷道路
国道24号
都市計画道路和歌山市駅前線
都市計画道路市駅和佐線
市道吉北13号線
市道城北61号線
県道和歌山野上線
市道吹上20号線
市道今福神前線
県道和歌山橋本線
市道直川45号線
市道直川60号線
（和歌山北IC）
国道24号
県道小豆島船所線
県道井ノ口秋月線
国道24号
県道鳴神木広線
市道松島木広線
県道秋月湊線
阪和自動車道
県道和歌山橋本線

5-4-2

和歌山下津港湾岸壁位置図

出典　和歌山県　　和歌山県下津港湾計画図（平成１３年７月作成）



番号	名　　称
①	－１０ｍ中ふ頭第一岸壁
②	－１０ｍ中ふ頭第二岸壁
③	－１０ｍ中ふ頭第三岸壁
④	－１０ｍ中ふ頭第四岸壁
⑤	－４．５ｍ中ふ頭第五岸壁
⑥	－５．５ｍ西浜第６岸壁
⑦	－１３ｍ西浜第５岸壁
⑧	－１２ｍ西浜第３岸壁
⑨	－５．５ｍ西浜第４岸壁
⑩	－４．５ｍ西浜第１岸壁
⑪	－４．５ｍ青岸第一岸壁及び第二岸壁
⑫	－５．５ｍ青岸第三岸壁
⑬	－７．５ｍ雑賀崎１号岸壁
⑭	－５．５ｍ雑賀崎２・３岸壁

※　⑧　耐震強化岸壁
　　①②⑦　液状化対策ふ頭

和歌山下津港湾岸壁位置図（平成１３年１１月１日）

5-4-3

輸送車両の調達先等（市有トラック）

種　　別	台　数	常　置　場　所	管 理 す る 部
小　型　ト　ラ　ッ　ク	2	和　歌　山　市	総　務　部
小　型　ト　ラ　ッ　ク	4	和　歌　山　市	道路河川部
貨物車（0.35ｔ～ 2.65ｔ）	8	消防局及び各消防署	消　防　局

5-4-4

輸送車両の調達先等（調達先）

種　別	所　有　者	所　在　地	電話番号	備　考
トラック	日　本　通　運　㈱ 和　歌　山　支　店	西浜 796-1	431-3101	普　通　車 小　　型
	日　本　通　運　㈱ 和　歌　山　支　店 中　央　事　業　所 インターロジスティクス営業課	満屋130-10	477-7200	普　通　車 小　　型
	日　本　通　運　㈱ 和　歌　山　支　店 中 央 事 業 所 営 業 課	西浜 796-1	432-6301	普　通　車 小　　型
	関　西　名　鉄　運　輸　㈱ 和　歌　山　営　業　所	中 33	455-5186	大　　型 中　　型 小　　型
	近　物　レ　ッ　ク　ス㈱ 和　歌　山　支　店	湊 1106-3	436-3151	大　　型 普　　通 小　　型
	赤帽和歌山県軽自動車協同組合	黒田 107-1	475-2700	軽 貨 物 車
バ　ス	和　歌　山　バ　ス　㈱	和歌浦西1丁目8-1	445-9133	乗合大型車 乗合中型車
	ユタカ交通㈱	中之島2287	452-3011	貸切大型車 貸切中型車
	㈱クリスタル観光	吐前992	477-1155	貸切大型車 貸切中型車

5-5　ごみ・し尿処理及び下水・排水処理

5-5-1

ごみ処理班編成表

		１日～３日まで（３日間）	４日～６日まで（３日間）	７日～10日まで（４日間）
A級	人　員	運転手・環境整備員 全職員	運転手・環境整備員 4/5の職員	運転手・環境整備員 1/2の職員
	車　両	塵芥収集車 全車両	塵芥収集車 4/5の車両	塵芥収集車 1/2の車両
B級	人　員	運転手・環境整備員 1/2の職員	運転手・環境整備員 2/5の職員	
	車　両	塵芥収集車 1/2の車両	塵芥収集車 2/5の車両	
C級	人　員	運転手・環境整備員 1/3の職員		
	車　両	塵芥収集車 1/3の車両		

5-5-2

し尿処理班編成表

A級	人　員 車両・機材	運転手　50 名　　汲取作業員　50 名　　合　計　100 名 バキューム車（1.8kL）　50 台
B級	人　員 車両・機材	運転手　25 名　　汲取作業員　25 名　　合　計　50 名 バキューム車（1.8kL）25 台
C級	人　員 車両・機材	運転手　17 名　　汲取作業員　17 名　　合　計　34 名 バキューム車（1.8kL）17 台

（注）１．被害地区の清掃完了の日まで本編成表による。
　　２．本編成表の運用については、被害状況に応じて適宜増減を考慮する。

5-5-3

処理施設の状況

施設種類	施　設　名	場　　所	電　話	処理能力
ごみ焼却場	青岸エネルギーセンター	湊1342番地の3	428-4153	400ｔ／日
	青岸クリーンセンター（令和3年度から休止）	湊1342番地の39	433-6663	320ｔ／日
し尿処理場	青岸汚泥再生処理センター	湊1342番地	422-4732	484kL／日

○　運搬車

	運　搬　車	直営・委託・許可別	人　員
ごみ処理	75 台	直　営	144 名
	41 台	委　託	118 名
	199 台	許　可	265 名
し尿処理	99 台	許　可	112 名

5-5-4

低地排水ポンプ場一覧表

1　国

河川名	名　　称	所　在　地	管　理　者
有本川	有本揚排水機場	有本	国土交通省

2　県

河川名	名　　称	所　在　地	管　理　者
和歌川	和歌川ポンプ場	塩屋5丁目	海草振興局建設部
	小雑賀地区内水排除ポンプ場	小雑賀2丁目	
杭ノ瀬川	杭ノ瀬川ポンプ場	杭ノ瀬中浜435-1	
紀三井寺川	紀三井寺川ポンプ場	紀三井寺	
亀の川	亀の川ポンプ設備	内原	
津屋川	津屋川ポンプ場	和歌浦東	
七箇川	七箇川ポンプ場	梶取147-6	

3　市

河川･水系名	名　　称	所　在　地	管　理　者
和歌川	旭橋雨水ポンプ場	紀三井寺807番66	終末処理場管理課
	芦原中継ポンプ場	雄松町六丁目36番地	
	手平中継ポンプ場	手平一丁目6番5号	
	塩屋ポンプ場	塩屋六丁目738番2地先	河川港湾課
	小雑賀２号排水ポンプ場	小雑賀783番23地先	
和田川	名草排水機場	和田1155-1	耕地課
	岡崎排水機場	和田1288-2	
	米田排水機場	朝日198-4	
	中島ポンプ場	中島471番1地先	河川港湾課
	吉礼排水ポンプ場	吉礼746番3地先	
	安堵の鼻ポンプ場	三葛526番6地先	
	前代川ポンプ場	吉礼662	
	前代川ゲートポンプ場	吉礼626番14	
	杭ノ瀬第１調整池ポンプ場	南出島86番地	終末処理場管理課
	和田川雨水簡易ポンプ場	神前632番1	下水道管理課
水軒川	大浦川ポンプ場	西浜地先	河川港湾課
	水軒ポンプ場	水軒川　右岸（8ヵ所）	
	養翠園ポンプ	西浜字下川向ノ坪1179番3（養翠園）地内	
	今福雨水ポンプ場	西浜844番	下水道管理課
	西浜雨水ポンプ場	西浜1008番2	

河川･水系名	名　　称	所　在　地	管　理　者
大門川	大門川雨水ポンプ場	太田636番地	終末処理場管理課
	黒田排水ポンプ場	太田636番地	河川港湾課
築地川	湊南第１雨水ポンプ場	湊1414番16	下水道管理課
	湊南第２雨水ポンプ場	湊1414番9	
紀三井寺川	内原排水ポンプ場	内原980番1地先	河川港湾課
	内原ゲートポンプ	内原980番1地先	
真田堀川	中之島雨水ポンプ場	宇治家裏167番12	終末処理場管理課
中津川	三葛ポンプ場	三葛187番1地先	河川港湾課
	大門北樋排水ポンプ場	紀三井寺742番1地先	
	三葛下浜２号桶門 ゲートポンプ	三葛236番4地先	
亀の川	紀三井寺ポンプ場 （紀三井寺団地）	紀三井寺190番3	河川港湾課
	紀三井寺排水ポンプ場	紀三井寺198番3	
	羽鳥橋排水ポンプ場	内原723番4地先	
	羽鳥橋第２排水ポンプ場	内原747番14地先	
	本渡ポンプ場	本渡451番3	
津屋川	和歌浦甲ポンプ場	和歌浦東二丁目568番1 地先	河川港湾課
有本川	有本排水ポンプ場 （紀ノ川中学校地内）	有本694番地内（紀ノ川 中学校地内）	河川港湾課
高　川	高川排水機場	直川245	河川港湾課
毛見地区	毛見雨水ポンプ場	毛見1439番2	終末処理場管理課
	毛見北ポンプ場	毛見1003番1地先	河川港湾課
岩橋地区	岩橋排水ポンプ場	岩橋661番17地内	河川港湾課
土入川	湊中洲ポンプ場	湊1609番3地先	河川港湾課
	湊中洲南ゲートポンプ	湊1820番54地先	
	東松江排水ポンプ場	松江東四丁目1294番54	
	野崎雨水ポンプ場	北島370番3	下水道管理課
	大淀雨水ポンプ場	狐島615番24	
	貴志雨水ポンプ場	土入75番1	
	大淀ゲートポンプ	延時93番1地先	
	島橋雨水ポンプ場	島橋西ノ丁682番1	
新堀川	松江排水ポンプ場	松江北一丁目793番29	河川港湾課
	新堀雨水ポンプ場	土入325番	下水道管理課
堤　川	加太雨水ポンプ場	加太2692番5	下水道管理課
鳴滝川	有功雨水ポンプ場	園部1002番1	下水道管理課
市堀川	本町中継ポンプ場	北桶屋町7番地	終末処理場管理課

5-5-5

公共下水道の整備計画（分流（雨水））

排　水　区	排水面積	排 水 区 内 の 地 名	備考
本町、中之島	174ha	本町、城北、中之島の各一部	分流
大新	21ha	大新、宮北、中之島の各一部	〃
中津川、紀三井寺川、亀の川第１、亀の川第２、亀の川第３、琴ノ浦、マリーナ、三葛、毛見	432ha	名草、三田の各一部	〃
大門川、宮、大門川右岸第１、大門川右岸第２、大門川右岸第３、大門川右岸第４、大門川右岸第５	370ha	宮北、宮の各一部	〃
和田川、杭ノ瀬川第１、杭ノ瀬川第２、杭ノ瀬川第３、中島川	537ha	宮、宮前、岡崎、三田の各一部	〃
西浜第１、今福、矢田川	269ha	吹上、砂山、今福、雑賀、高松、和歌浦の各一部	〃
湊南第１、湊南第２、湊南第３	308ha	雄湊、吹上、砂山、今福、雑賀の各一部	〃
新堀、西脇、川尻川、松江	801ha	西脇、木本、松江、野崎の各一部	〃
鶴立島、和歌浦、片男波	137ha	和歌浦の大部分	〃
貴志	210ha	貴志の大部分	〃
島橋、野崎、大淀、楠見第１、楠見第２	609ha	野崎、楠見の大部分	〃
有功	256ha	有功の大部分	〃
加太第１、加太第２	62ha	加太の一部	〃
計	4,186ha		

5-5-6

公共下水道の整備計画（合流）

処　理　分　区	排水面積	処 理 分 区 内 の 地 名	備考
本町	10ha	本町の一部	合流
大新、雄湊、広瀬１、広瀬第２	281ha	広瀬、大新、新南の大部分	〃
小雑賀	201ha	手平、小雑賀の大部分、新南の一部	〃
芦原、堀止、宇須、旭町高松、打越、塩屋、鶴立島	331ha	芦原、吹上、高松の大部分、和歌浦、雑賀の各一部	〃
計	823ha		

5-6　その他
5-6-1

支部職員任命要領

（配置）

第１条　本市の災害時における初動体制の円滑適正を期するため、地域防災計画に基づき支部職員を配置する。

（任命）

第２条　支部職員は、市長が任命する。

２　支部職員は、副支部長及び避難所運営員、被害状況調査員を総称し、おおむね任務地区に居住かつ勤務する職員（課長以上の者又はこれに準ずる者を除く。）のうちから任命する。

３　一つの避難所の避難所運営員が任期中に休職する等の事由により避難所運営員に欠員が生じた場合は、同地区内の被害状況調査員が残りの任期の間、避難所運営の任を補佐する。

（解任）

第３条　支部職員は、毎年、前条第２項の見直しを行い、住居の移転、勤務先の変更等事情に変更が生じた場合は解任する。

（任期）

第４条　支部職員の任期は、毎年６月１日から翌年５月３１日までとする。

（任務）

第５条　支部長及び副支部長は、以下の区分に基づき、支部に参集する。

（１）地震が発生し、市域に震度５弱以上を記録したとき

（２）和歌山県に津波警報又は大津波警報が発表されたとき

（３）南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意もしくは巨大地震警戒）が発表されたとき

（４）大雨、洪水、暴風（暴風雪を含む)、高潮、大雪に関するいずれかの警報（波浪警報を除く）が発表されたとき

（５）地区内に避難情報である「高齢者等避難」、「避難指示」が発令されたとき

（６）特別警報（警戒レベル５相当）が発表されたとき

（７）避難者対応が必要な場合等、本部長が指示するとき

（８）自主防災会から要請があったとき

第６条　避難所運営員は、以下の区分に基づき、避難所に参集する。

（１）地震が発生し、市域に震度５強以上を記録したとき

（２）和歌山県に津波警報又は大津波警報が発表されたとき

（３）地区内に「高齢者等避難」、「避難指示」が発令されたとき

（４）避難者対応が必要な場合等、本部長又は支部長、副支部長が指示するとき

（５）自主防災会から要請があったとき

第７条　被害状況調査員は、本部長の指揮のもと被害状況調査業務を実施する。

（活動）

第８条　支部職員は支部活動要領に基づき、支部長の指揮のもと活動を実施する。

附　則

この要領は、平成２８年６月１日から実施する。

この要領は、平成３０年６月１日から実施する。

この要領は、令和元年６月１日から実施する。

この要領は、令和２年３月１日から実施する。

この要領は、令和４年３月１日から実施する。

5-6-2

緊急防災要員任命要領

（設置）

第１条　本市の災害時における初動体制の円滑適正を期するため、地域防災計画に基づき緊急防災要員（以下「防災要員」という。）を設置する。

（任命）

第２条　防災要員は、市長が任命する。

２　防災要員は、市役所を中心におおむね半径３．０km 以内に居住かつ勤務する職員（課長以上の者又はこれに準ずる者を除く。）のうちから５人程度を任命する。

（解任）

第３条　防災要員は、毎年、前項の見直しを行い、住居の移転、勤務先の変更等事情に変更が生じた場合は解任する。

（任期）

第４条　防災要員の任期は、毎年６月１日から翌年５月３１日までとする。

（職務）

第５条　防災要員は、以下の区分に基づき、災害対策本部に参集する。

（１）地震が発生し、市域に震度５弱以上を記録したとき

（２）和歌山県に津波警報又は大津波警報が発表されたとき

（３）緊急に災害対策本部の業務を行う必要がある場合等、本部長が指示するとき

（活動）

第６条　防災要員は、本部長の指揮のもと災害対策本部の業務を実施する。

附　則

この要領は、平成９年５月２９日から実施する。

附　則

この要領は、平成１２年４月１日から実施する。

附　則

この要領は、平成１５年４月１日から実施する。

附　則

この要領は、平成１７年６月１日から実施する。

附　則

この要領は、平成２８年６月１日から実施する。

附　則

この要領は、令和元年６月１日から実施する。

5-6-3

被害認定基準表

被害種類		区分
人の被害	死者	当該災害が原因で死亡し、死体を確認したもの、又は死体は確認できないが死亡したことが確実な者とする。
	行方不明者	当該災害が原因で所在不明となり、かつ死亡の疑いのある者のとする。
	重傷者 軽傷者	災害により負傷し、医師の治療を受け又は受ける必要のある者のうち「重傷者」とは、1月以上の治療を要する見込みのものとし、「軽傷者」とは、1月未満で治療できる見込みのものとする。
住家被害	住家	現実に居住のため使用している建物をいい、社会通念上の住家であるかどうかを問わない。
	世帯	生計を一つにしている実際の生活単位をいう。
	全壊 (全焼・全流失)	住家がその居住のための基本的機能を喪失したもの、すなわち、住家全部が倒壊、流失、埋没、焼失したもの、または住家の損壊が甚だしく、補修により元通りに再使用することが困難なもので、具体的には、住家の損壊、消失若しくは流失した部分の床面積の70%以上に達した程度のもの又は住家の主要な構成要素の経済的被害を住家全体に占める損害割合で表し、その住家の損害割合が50%以上に達した程度のものとする。
	大規模半壊	居住する住宅が半壊し、構造耐力上主要な部分の補修を含む大規模な補修を行わなければ当該住宅に居住することが困難なもの。具体的には、損壊部分がその住家の延床面積の50%以上70%未満のもの、または住家の主要な構成要素の経済的被害を住家全体に占める損害割合で表し、その住家の損害割合が40%以上50%未満のものとする。
	中規模半壊	居住する住宅が半壊し、居室の壁、床又は天井のいずれかの室内に面する部分の過半の補修を含む相当規模の補修を行わなければ当該住宅に居住することが困難なもの。具体的には、損壊部分がその住家の延床面積の30%以上50%未満のもの、または住家の主要な構成要素の経済的被害を住家全体に占める損害割合で表し、その住家の損害割合が30%以上40%未満のものとする。
	半壊 (半焼)	住家がその居住のための基本的機能の一部を喪失したもの、すなわち、住家の損壊が甚だしいが、補修すれば元通りに再使用できる程度のもので、具体的には、損壊部分がその住家の延床面積の20%以上70%未満のもの、または住家の主要な構成要素の経済的被害を住家全体に占める損害割合で表し、その住家の損害割合が20%以上50%未満のものとする。
	準半壊	住家が半壊又は半焼に準ずる程度の損傷を受けたもので、具体的には、損壊部分がその住家の延床面積の10%以上20%未満のもの、または住家の主要な構成要素の経済的被害を住家全体に占める損害割合で表し、その住家の損害割合が10%以上20%未満のものとする。
	準半壊に至らない (一部損壊)	住家の損壊程度が準半壊に達しない程度のものとする。
	床上浸水	全壊及び半壊には該当しない場合において、住家の床より上に浸水したもの及び土砂竹木のたい積により一時的に居住することができないものとする。
	床下浸水	全壊及び半壊に該当しない場合において、床上浸水にいたらない程度に浸水したものとする。
非住家		住家以外の建物をいうものとする。なお、官公署、学校、病院、公民館、神社、仏閣等は非住家とする。ただし、これらの施設に、常時、人が居住している場合には、当該部分は住家とする。
その他		上記に該当しないもの。
田の・被畑害	田畑の流失埋没	田の耕土が流失し、又は砂利等のたい積のため、耕作が不能となったものとする。畑については、田の例に準じて取り扱うものとする。
	田畑の冠水	田については、穂の先端が見えなくなる程度に水につかったものとする。畑については、田の例に準じて取り扱うものとする。
り災世帯		災害により全壊、半壊及び床上浸水の被害を受け通常の生活を維持できなくなった生計を一つにしている世帯をいう。
り災者		り災世帯の構成人員をいう。

(注) ・ 住家被害戸数については「独立して家庭生活を営むことができるように建築された建物又は完全に区画された建物の一部」を戸の単位として算定するものとする。

・ 損壊とは、住家が被災により損傷、劣化、傾斜等何らかの変化を生じることにより、補修しなければ元の機能を復元し得ない状況に至ったものをいう。

・ 主要な構成要素とは、住家の構成要素のうち造作等を除いたものであって、住家の一部として固定された設備を含む。

5-6-4

災害救助法による救助の程度・方法及び期間 （令和6年8月現在）

救助の種類	対　　象	費用の限度額	期　　間	備　　考
避難所の設置（法第4条第1項）	災害により現に被害を受け、又は受けるおそれのある者に供与する。	（基本額） 避難所設置費 1人 1日当たり 350 円以内 高齢者等の要援護者等を収容する「福祉避難所」を設置した場合、当該地域における通常の実費を支出でき、上記を超える額を加算できる。	災害発生の日から7日以内	1 費用は、避難所の設置、維持及び管理のための賃金職員等雇上費、消耗器材費、建物等の使用謝金、借上費又は購入費、光熱水費並びに仮設便所等の設置費を含む。 2 避難に当たっての輸送費は別途計上 3 避難所での避難生活が長期にわたる場合等においては、避難所で避難生活している者への健康上の配慮等により、ホテル・旅館など宿泊施設を借上げて実施することが可能。（ホテル・旅館の利用額は@7,000円（食費込・税込）／泊・人以内とするが、これにより難い場合は内閣府と事前に調整を行うこと。）
避難所の設置（法第４条第2項）	災害が発生するおそれのある場合において、被害を受けるおそれがあり、現に救助を要する者に供与する。	（基本額） 避難所設置費 1人 1日当たり 350 円以内 高齢者等の要援護者等を収容する「福祉避難所」を設置した場合、当該地域における通常の実費を支出でき、上記を超える額を加算できる。	法第２条第２項による救助を開始した日から、災害が発生しなかったと判明し、現に救助の必要がなくなった日までの期間（災害が発生し、継続して避難所の供与を行う必要が生じた場合は、法第２条第２項に定める救助を終了する旨を公示した日までの期間）	1 費用は、災害が発生するおそれがある場合において必要となる建物の使用謝金や光熱水費とする。な お、夏期のエアコンや冬期のストーブ、避難者が多数の場合の仮設トイレの設置費や、避難所の警備等のための賃金職員等雇上費な ど、やむを得ずその他の費用が必要となる場合は、内閣府と協議すること。 2 避難に当たっての輸送費は別途計上
応急仮設住宅の供与	住家が全壊、全焼又は流失し、居住する住家がない者であって、自らの資力では住宅を得ることができない者	○ 建設型応急住宅 1 規模 応急救助の趣旨を踏まえ、実施主体が地域の実情、世帯構成等に応じて設定 2 基本額 1 戸当たり 6,883,000 円以内 3 建設型応急住宅の供与終了に伴う解体撤去及び土地の原状回復のために支出できる費用は、当該地域における実費。	災害発生の日から20日以内着工	1 費用は設置にかかる原材料費、労務費、付帯設備工事費、輸送費及び建築事務費等の一切の経費として6,883,000円以内であればよい。 2 同一敷地内等に概ね50戸以上設置した場合は、集会等に利用するための施設を設置できる。（50 戸未満であっても小規模な施設を設置できる） 3 高齢者等の要援護者等を数人以上収容する「福祉仮設住宅」を設置できる。 4 供与期間は2年以内
		○ 賃貸型応急住宅 1 規模　建設型仮設住宅に準じる 2 基本額 地域の実情に応じた額	災害発生の日から速やかに借上げ、提供	1 費用は、家賃、共益費、敷金、礼金、仲介手数料、火災保険等、民間賃貸住宅の貸主、仲介業者との契約に不可欠なものとして、地域の実情に応じた額とすること。 2 供与期間は建設型仮設住宅と同様。

救助の種類	対　　象	費用の限度額	期　　間	備　　考
炊き出しその他による食品の給与	1 避難所に収容された者 2 住家に被害を受け、若しくは災害により現に炊事のできない者	1人 1日当たり 1,330 円以内	災害発生の日から7日以内	食品給与のための総経費を延給食日数で除した金額が限度 額以内であればよい。 （1食は 1/3日）
飲料水の供給	現に飲料水を得ることができない者（飲料水及び炊事のための水であること。）	当該地域における通常の実費	災害発生の日から7日以内	輸送費、人件費は別途計上
被服、寝具その他生活必需品の給与又は貸与	全半壊（焼）、流失、床上浸水等により、生活上必要な被服、寝具、その他生活必需品を喪失、若しくは毀損等により使用することができず、直ちに日常生活を営むことが困難な者	1 夏季（4 月～9 月）冬季（10 月～3月）の季別は災害発生の日をもって決定する。 2 下記金額の範囲内	災害発生の日から10日以内	1 備蓄物資の価格は年度当初の評価額 2 現物給付に限ること

区分		1 人世帯	2 人世帯	3 人世帯	4 人世帯	5 人世帯	6 人以上 1人増すごとに加算
全壊 全焼 流失	夏	19,800	25,400	37,700	45,000	57,000	8,300
	冬	32,800	42,400	59,000	69,000	87,000	12,000
半壊 半焼 床上浸水	夏	6,500	8,700	13,000	15,900	20,000	2,800
	冬	10,400	13,600	19,400	23,000	29,000	3,800

救助の種類	対　　象	費用の限度額	期　　間	備　　考
医療	医療の途を失った者（応急的処置）	1 救護班 … 使用した薬剤、治療材料、医療器具破損等の実費 2 病院又は診療所 … 国民健康保険診療報酬の額以内 3 施術者 協定料金の額以内	災害発生の日から14日以内	患者等の移送費は、別途計上
助産	災害発生の日以前又は以後7日以内に分べんした者であって災害のため助産の途を失った者（出産のみならず、死産及び流産を含み現に助産を要する状態にある者）	1 救護班等による場合は、使用した衛生材料等の実費 2 助産師による場合は、慣行料金の100分の80以内の額	分べんした日から7日以内	妊婦等の移送費は、別途計上
被災者の救出	1 現に生命、身体が危険な状態にある者 2 生死不明な状態にある者	当該地域における通常の実費	災害発生の日から3日以内	1 期間内に生死が明らかにならない場合は、以後「死体の捜索」として取り扱う。 2 輸送費、人件費は、別途計上

救助の種類	対　　象	費用の限度額	期　　間	備　　考
住家の被害の拡大を防止するための緊急の修理	災害のため住家が半壊（焼）又はこれに準ずる程度の損傷を受け、雨水の侵入等を放置すれば住家の被害が拡大するおそれがある者	住家の被害の拡大を防止するための緊急の修理が必要な部分に対して、 １世帯当たり 51,500 円以内	災害発生の日から10日以内	
日常生活に必要な最小限度の部分の修理	1 住家が半壊（焼）若しくはこれらに準ずる程度の損傷を受け、自らの資力により応急修理をすることができない者 2 大規模な補修を行わなければ居住することが困難である程度に住家が半壊（焼）した者	居室、炊事場及び便所等日常生活に必要最小限度の部分1世帯当り ①大規模半壊、中規模半壊又は半壊若しくは半焼の被害を受けた世帯 717,000 円以内 ②半壊又は半焼に準ずる程度の損傷により被害を受けた世帯 348,000 円以内	災害発生の日から３ヵ月以内(災害対策基本法第23条の3第1項に規定する特定災害対策本部、同法第24条第1項に規定する非常災害対策本部又は同法第28条の2第1項に規定する緊急災害対策本部が設置された災害にあっては、６ヵ月以内)	
学用品の給与	住家の全壊（焼）流失半壊（焼）又は床上浸水により学用品を喪失又は毀損等により使用することができず、就学上支障のある小学校児童、中学校生徒、義務教育学校生徒及び高等学校等生徒。	1 教科書及び教科書以外の教材で教育委員会に届出又はその承認を受けて使用している教材、又は正規の授業で使用している教材実費 2 文房具及び通学用品は、1人当たり次の金額以内 小学生児童　5,200 円 中学生生徒　5,500 円 高等学校等生徒 6,000 円	災害発生の日から （教科書） 1ヵ月以内 （文房具及び 通学用品） 15日以内	1 備蓄物資は評価額 2 入進学時の場合は個々の実情に応じて支給する。
埋　　葬	災害の際死亡した者を対象にして実際に埋葬を実施する者に支給	1体当たり 大 人 （ 12 歳 以 上 ） 226,100 円以内 小 人 （ 12 歳 未 満 ） 180,800 円以内	災害発生の日から10日以内	災害発生の日以前に死亡した者であっても対象となる。
死体の捜索	行方不明の状態にあり、かつ、四囲の事情によりすでに死亡していると推定される者	当該地域における通常の実費	災害発生の日から10日以内	1 輸送費、人件費は、別途計上 2 災害発生後3日を経過したものは一応死亡した者と推定している。
死体の処理	災害の際死亡した者について、死体に関する処理(埋葬を除く。) をする。	（洗浄、消毒等） １体当たり、3,600 円以内 一時保存： ○既存建物借上費：通常の実費 ○既存建物以外：１体当たり 5,700 円以内 検案、救護班以外は慣行料金	災害発生の日から10日以内	1 検案は原則として救護班 2 輸送費、人件費は、別途計上 3 死体の一時保存にドライアイスの購入費等が必要な場合は当該地域における通常の実費を加算できる。

救助の種類	対　　象	費用の限度額	期　　間	備　　考
障害物の除去	居室、炊事場、玄関等に障害物が運びこまれているため生活に支障をきたしている場合で自力では除去することのできない者	市町村内において障害物の除去を行った一世帯当たりの平均 140,000 円以内	災害発生の日から10日以内	
輸送費及び賃金職員等雇上費（法第４条第1項）	1 被災者の避難に係る支援 2 医療及び助産 3 被災者の救出 4 飲料水の供給 5 死体の捜索 6 死体の処理 7 救済用物資の整理配分	当該地域における通常の実費	救助の実施が認められる期間以内	
輸送費及び賃金職員等雇上費（法第４条第2項）	避難者の避難に係る支援	当該地域における通常の実費	救助の実施が認められる期間以内	災害が発生するおそれ段階の救助は、高齢者・障害者等で避難行動が困難な要配慮者の方の輸送であり、以下の費用を対象とする。 ・避難所へ輸送するためのバス借上げ等に係る費用 ・避難者がバス等に乗降するための補助員など、避難支援のために必要となる賃金職員等雇上費
実費弁償	災害救助法施行令第4条第1号から第4号までに規定する者	災害救助法第7条第1項の規定により救助に関する業務に従事させた都道府県知事等（法第3条に規定する都道府県知事等をいう。）の総括する都道府県等（法第17条第1号に規定する 都道府県等をいう。）の常勤の職員で当該業務に従事した者に相当するものの給与を考慮して定める	救助の実施が認められる期間以内	時間外勤務手当及び旅費は別途に定める額

救助の事務を行うのに必要な費用	1 時間外勤務手当 2 賃金職員等雇上費 3 旅費 4 需用費（消耗品費、燃料費、食糧費、印 刷製本費、光熱水費、修繕料） 5 使用料及び賃借料 6 通信運搬費 7 委託費	救助事務費に支出できる費用は、法第21条に定める国庫負担を行う年度（以下「国庫負担対象年度」という。）における各災害に係る左記1から7までに掲げる費用について、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第143条に定める会計年度所属区分により当該年度の歳出に区分される額を合算し、各災害の当該合算した額の合計額が、国庫負担対象年度に支出した救助事務費以外の費用の額の合算額に、次のイからトまでに掲げる区分に応じ、それぞれイからトまでに定める割合を乗じて得た額の合計額以内とすること。	救助の実施が認められる期間及び災害救助費の精算する事務を行う期間以内	災害救助費の精算事務を行うのに要した経費も含む。
		イ 3 千万円以下の部分の金額については 100 分の 10 ロ 3 千万円を超え 6 千万円以下の部分の金額については 100 分の 9 ハ 6 千万円を超え 1 億円以下の部分の金額については 100 分の 8 ニ 1 億円を超え 2 億円以下の部分の金額については 100 分の 7 ホ 2 億円を超え 3 億円以下の部分の金額については 100 分の 6 ヘ 3 億円を超え 5 億円以下の部分の金額については 100 分の 5 ト 5 億円を超える部分の金額については 100 分の4		

※ この基準によっては救助の適切な実施が困難な場合には、都道府県知事等は、内閣総理大臣に協議し、その同意を得た上で、救助の程度、方法及び期間を定めることができる。

和 歌 山 市 地 域 防 災 計 画
（総則・予防計画）

令和7年3月
（2025年）

発行者　和歌山市危機管理局
危機管理部 総合防災課
〒640-8157 和歌山市八番丁12番地
TEL　(073)-435-1199
FAX　(073)-435-1299
E-mail:sogobosai@city.wakayama.lg.jp